

令和 6 年度  
常磐自動車道  
宮田川橋床版取替工事

設 計 図  
【宮田川橋(下り線)】

令和 6 年 9 月

東日本高速道路株式会社  
関東支社 水戸管理事務所

宮田川橋(下り線) 図面目次

図番	図面名	図番	図面名
1	宮田川橋（下り線）数量総括表	80 ～ 81	宮田川橋（下り線）【P2～P4】場所打ちRC床版構造図（その1～その2）
2	宮田川橋（下り線）位置図	82 ～ 87	宮田川橋（下り線）【P2～P4】場所打ちRC床版配筋図（その1～その6）
3 ～ 7	宮田川橋（下り線）橋梁一般図（その1～その5）	88 ～ 89	宮田川橋（下り線）【P2～P4】場所打ち部壁高欄詳細図（その1～その2）
8 ～ 9	宮田川橋（下り線）【A1～P2】PC床版線形図（その1～その2）	90	宮田川橋（下り線）【P2～P4】壁高欄間詰詳細図
10	宮田川橋（下り線）【A1～P2】ﾌﾟﾚｷﾞｽﾄPC床版構造図	91 ～ 99	宮田川橋（下り線）【P2～P4】伸縮装置詳細図（参考図）（その1～その9）
11	宮田川橋（下り線）【A1～P2】ﾌﾟﾚｷﾞｽﾄPC床版割付図	100	宮田川橋（下り線）【P2～P4】縁石撤去図
12 ～ 14	宮田川橋（下り線）【A1～P2】ﾌﾟﾚｷﾞｽﾄPC床版配筋図（その1～その3）	101	宮田川橋（下り線）【P2～P4】舗装工・床版防水工詳細図
15 ～ 16	宮田川橋（下り線）【A1～P2】ソールスポンジ詳細図（その1～その2）	102 ～ 103	宮田川橋（下り線）【P4～A2】PC床版線形図（その1～その2）
17	宮田川橋（下り線）【A1～P2】スタッド詳細図	104	宮田川橋（下り線）【P4～A2】ﾌﾟﾚｷﾞｽﾄPC床版構造図
18 ～ 22	宮田川橋（下り線）【A1～P2】接合部配筋図（その1～その5）	105	宮田川橋（下り線）【P4～A2】ﾌﾟﾚｷﾞｽﾄPC床版割付図
23	宮田川橋（下り線）【A1～P2】仮設鋼床版配置図	106 ～ 108	宮田川橋（下り線）【P4～A2】ﾌﾟﾚｷﾞｽﾄPC床版配筋図（その1～その3）
24 ～ 25	宮田川橋（下り線）【A1～P2】仮設鋼床版詳細図（その1～その2）	109	宮田川橋（下り線）【P4～A2】ソールスポンジ詳細図
26 ～ 28	宮田川橋（下り線）【A1～P2】仮設床版ブラケット工詳細図（その1～その3）	110	宮田川橋（下り線）【P4～A2】スタッド詳細図
29 ～ 30	宮田川橋（下り線）【A1～P2】場所打ちRC床版構造図（その1～その2）	111 ～ 113	宮田川橋（下り線）【P4～A2】接合部配筋図（その1～その3）
31 ～ 36	宮田川橋（下り線）【A1～P2】場所打ちRC床版配筋図（その1～その6）	114 ～ 118	宮田川橋（下り線）【P4～A2】仮設床版ブラケット工詳細図（その1～その5）
37 ～ 38	宮田川橋（下り線）【A1～P2】場所打ち部壁高欄詳細図（その1～その2）	119 ～ 120	宮田川橋（下り線）【P4～A2】場所打ちRC床版構造図（その1～その2）
39	宮田川橋（下り線）【A1～P2】壁高欄間詰詳細図	121 ～ 126	宮田川橋（下り線）【P4～A2】場所打ちRC床版配筋図（その1～その6）
40 ～ 41	宮田川橋（下り線）【A1～P2】橋台上壁高欄詳細図（その1～その2）	127 ～ 128	宮田川橋（下り線）【P4～A2】場所打ち部壁高欄詳細図（その1～その2）
42 ～ 46	宮田川橋（下り線）【A1～P2】伸縮装置詳細図（参考図）（その1～その5）	129	宮田川橋（下り線）【P4～A2】壁高欄間詰詳細図
47	宮田川橋（下り線）【A1～P2】橋台改良図	130 ～ 131	宮田川橋（下り線）【P4～A2】橋台上壁高欄詳細図（その1～その2）
48	宮田川橋（下り線）【A1～P2】橋台壁高欄用足場工設置図（参考図）	132 ～ 136	宮田川橋（下り線）【P4～A2】伸縮装置詳細図（参考図）（その1～その5）
49	宮田川橋（下り線）【A1～P2】縁石撤去図	137	宮田川橋（下り線）【P4～A2】橋台改良図
50	宮田川橋（下り線）【A1～P2】舗装工・床版防水工詳細図	138	宮田川橋（下り線）【P4～A2】橋台壁高欄用足場工設置図
51 ～ 52	宮田川橋（下り線）【P2～P4】PC床版線形図（その1～その2）	139	宮田川橋（下り線）【P4～A2】舗装工・床版防水工詳細図
53 ～ 54	宮田川橋（下り線）【P2～P4】ﾌﾟﾚｷﾞｽﾄPC床版構造図（その1～その2）	140	宮田川橋（下り線）既設床版撤去施工要領図（参考図）
55	宮田川橋（下り線）【P2～P4】ﾌﾟﾚｷﾞｽﾄPC床版割付図	141 ～ 144	宮田川橋（下り線）既設床版撤去時切断位置図（参考図）（その1～その4）
56 ～ 58	宮田川橋（下り線）【P2～P4】ﾌﾟﾚｷﾞｽﾄPC床版配筋図（その1～その3）	145 ～ 146	宮田川橋（下り線）照明灯・可変標示板基礎 取壊し・新設図（参考図）（その1～その2）
59 ～ 60	宮田川橋（下り線）【P2～P4】ソールスポンジ詳細図（その1～その2）	147 ～ 149	宮田川橋（下り線）施工計画図（参考図）（その1～その3）
61	宮田川橋（下り線）【P2～P4】スタッド詳細図	150 ～ 151	宮田川橋（下り線）足場工詳細図（参考図）（その1～その2）
62 ～ 74	宮田川橋（下り線）【P2～P4】接合部配筋図（その1～その13）	152 ～ 153	宮田川橋（下り線）交通規制計画図（その1～その2）
75	宮田川橋（下り線）【P2～P4】仮設縦桁詳細図	154	宮田川橋（下り線）交通保安要員配置図
76	宮田川橋（下り線）【P2～P4】仮設鋼床版配置図	155 ～ 158	宮田川橋（下り線）車線シフト平面図（参考図）（その1～その4）
77 ～ 79	宮田川橋（下り線）【P2～P4】仮設鋼床版詳細図（その1～その3）	159 ～ 165	宮田川橋（下り線）通信ケーブル(参考図)（その1～その7）

宮田川橋(下り線) 数量総括表

項目番号					8-(1)			8-(2)		8-(3)					9-(2)	11-(2)		
道路名	IC間	橋梁名	上下区分	径間	コンクリート			型わく		鉄筋					PC鋼材引張	伸縮装置		
					A1-4	P6-5		A 1	A 2	A 1 (E)	A 2 (E)	A 3 (E)	B 1 (E)	B 2 (E)	PC鋼より線 (1S21.8)S	A 1	A 2	A 3
					(A)	(A)	(B)											
					m3	m3	m3											
常磐自動車道	日立中央IC～日立北IC	宮田川橋	下り線	A1-P2	23.4	30.5	13.8	132.4	162.1	2.356	1.332	2.004	5.112	1.984	1638	7164		
常磐自動車道	日立中央IC～日立北IC	宮田川橋	下り線	P2-P4	32.5	69.8	13.0	216.9	341.8	2.946	3.485	1.908	11.985	1.882	3895		14236	
常磐自動車道	日立中央IC～日立北IC	宮田川橋	下り線	P4-A2	12.9	16.2	9.4	87.6	105.9	1.754	0.660	1.296	2.820	1.355	886			7142
計					68.8	116.5	36.2	436.9	609.8	7.056	5.477	5.208	19.917	5.221	6419	7164	14236	7142

項目番号					13-(9)	13-(14)	13-(16)	17-(31)	18-(17)				19-(1)					19-(2)
道路名	IC間	橋梁名	上下区分	径間	オーバーレイ工	レベリング工	床版防水工	はく落防止対策工	構造物等取壊し工				交通規制工					交通保安要員
					B 1	A	床版防水工 A	A	コンクリート構造物取壊し				車線規制					交通監視員
					( t = 4 c m )				(TypeA)	(TypeB)	(TypeC)	(TypeD)	Ⅳ×1×0 (A)	Ⅳ×1×0 (設置)	Ⅳ×1×0 (昼夜)	Ⅳ×1×1 (昼夜)	Ⅳ×1×0 (撤去)	A
					m2				m3	m3	m3	m3	回	回	回	回	回	人・日
常磐自動車道	日立中央IC～日立北IC	宮田川橋	下り線	A1-P2	806.2	73.9	823.3	-	1.3	4.1	3.4	0.633	56	13	231	13	13	716
常磐自動車道	日立中央IC～日立北IC	宮田川橋	下り線	P2-P4	1835.4	168.4	1891.5	201.4	6.1	-	-	-						
常磐自動車道	日立中央IC～日立北IC	宮田川橋	下り線	P4-A2	444.2	40.8	453.7	-	-	3.8	3.3	0.631						
計					3085.8	283.1	3168.5	201.4	7.4	7.9	6.7	1.264	56	13	231	13	13	716

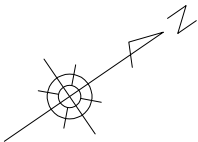
項目番号					特-(1)				特-(2)				特-(3)			特-(4)	特-(5)	特-(6)	
道路名	IC間	橋梁名	上下区分	径間	プレキャストP C床版製作工				プレキャストP C床版架設工				既設床版撤去工			路面切削工	床版排水処理工	仮設桁工	
					プレキャストP C床版の製作				プレキャストP C床版の架設				A	B	C	A	A	仮設床版 ブラケット工	仮設縦桁工
					A	B	C	D	A 1	A 2	B 1	B 2							
					枚	枚	枚	枚	枚	枚	枚	枚							
常磐自動車道	日立中央IC～日立北IC	宮田川橋	下り線	A1-P2	35	35			35	35			872.2	-	-	69.9	1	4793	-
常磐自動車道	日立中央IC～日立北IC	宮田川橋	下り線	P2-P4	33	33	51	51			84	84	-	1985.5	-	159.0	1	-	20637
常磐自動車道	日立中央IC～日立北IC	宮田川橋	下り線	P4-A2	19	19			19	19			-	-	480.5	38.5	1	2626	-
計					87	87	51	51	54	54	84	84	872.2	1985.5	480.5	267.4	3	7419	20637

項目番号					特-(7)													
道路名	IC間	橋梁名	上下区分	径間	仮設鋼床版工													
					仮設鋼床版													
					A 1	A 2	B 1	B 2	C 1	C 2	D 1	D 2	E 1	E 2	F 1	F 2	G 1	G 2
					kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg
常磐自動車道	日立中央IC～日立北IC	宮田川橋	下り線	A1-P2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2936	2702	
常磐自動車道	日立中央IC～日立北IC	宮田川橋	下り線	P2-P4	3008	2767	3008	2768	3011	2771	3013	2773	3010	2768	3009	2769	-	-
常磐自動車道	日立中央IC～日立北IC	宮田川橋	下り線	P4-A2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計					3008	2767	3008	2768	3011	2771	3013	2773	3010	2768	3009	2769	2936	2702

項目番号					特-(8)		特-(10)
道路名	IC間	橋梁名	上下区分	径間	あと施工アンカー定着工		詳細設計
					A (φ23)	A (φ26)	床版詳細設計 A
					m	m	
常磐自動車道	日立中央IC～日立北IC	宮田川橋	下り線	A1-P2	47.4	27.0	1
常磐自動車道	日立中央IC～日立北IC	宮田川橋	下り線	P2-P4	-	-	
常磐自動車道	日立中央IC～日立北IC	宮田川橋	下り線	P4-A2	44.3	27.0	
計					91.7	54.0	1

常磐自動車道 宮田川橋床版取替工事			
図面の種類	宮田川橋(下り線) 数量総括表		
縮 尺	—	図面番号	1 / 165
設計会社名	—		
施工会社名	—		
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水 戸 管 理 事 務 所		





日立中央IC資材置場

WJ工法給水場  
日立北IC外プラーザ

橋長 319.150



日立南太田IC (KP105.3)

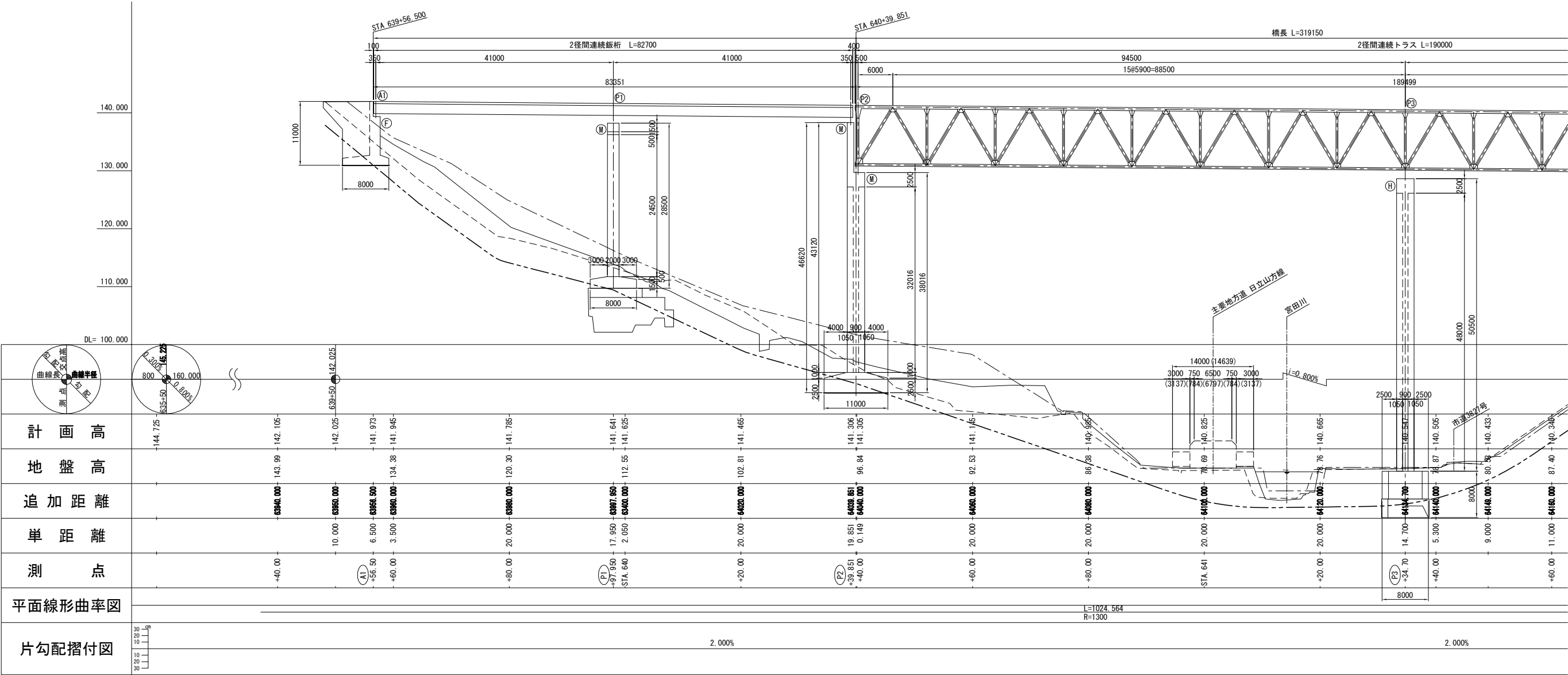
高萩IC (KP135.2)



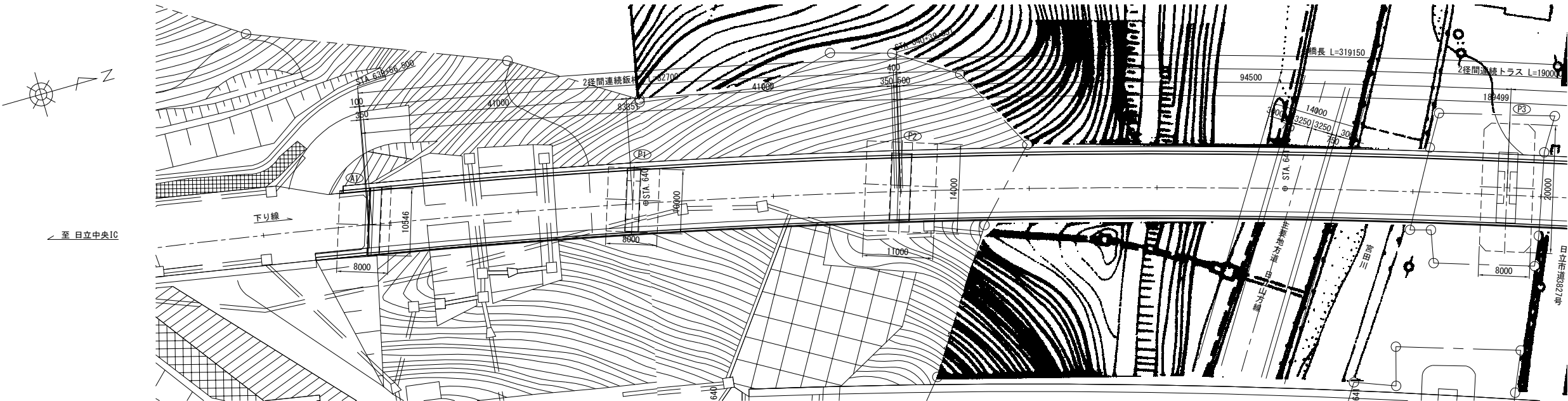
常磐自動車道 宮田川橋床版取替工事			
図面の種類	宮田川橋(下り線) 位置図		
縮尺	1/100000	図面番号	2 / 164
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		



宮田川橋(下り線) 橋梁一般図(その1)  
側面図 S=1:750

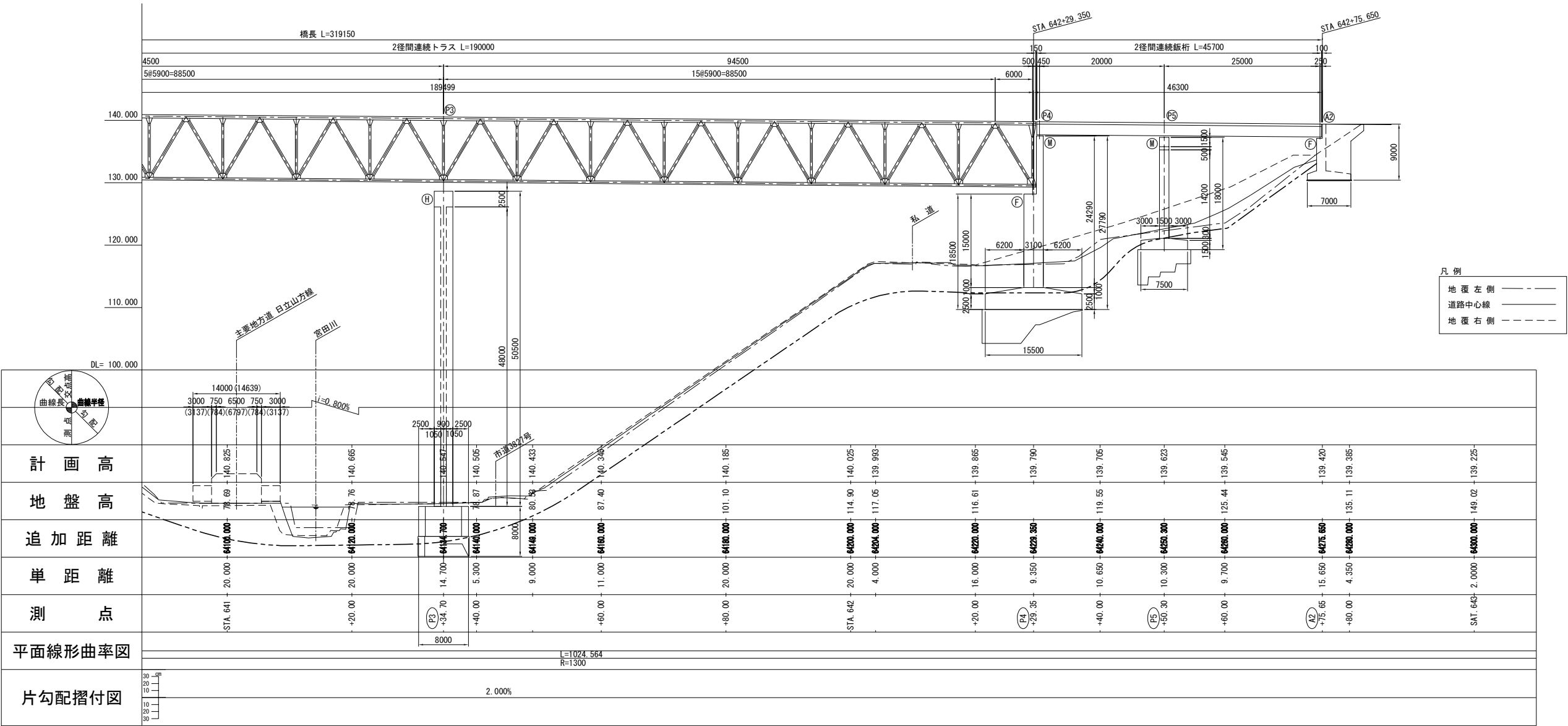


平面図 S=1:750

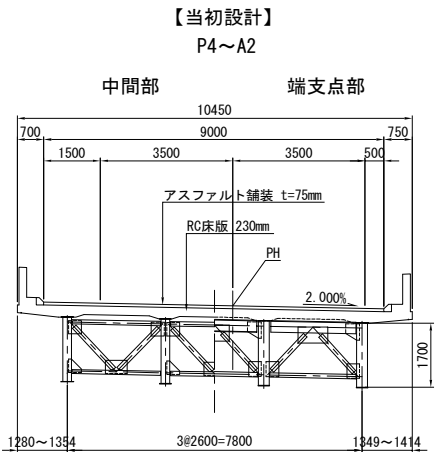
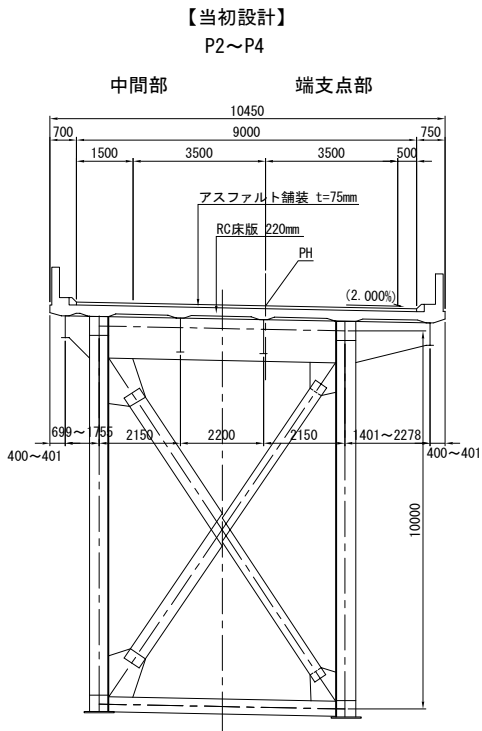
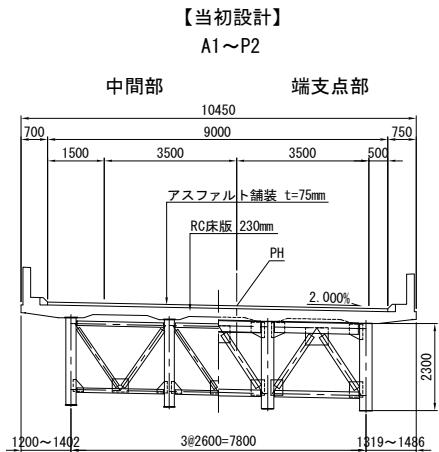


常磐自動車道 宮田川橋床版取替工事			
図面の種類	宮田川橋(下り線) 橋梁一般図(その1)		
縮尺	1:750	図面番号	3 / 165
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	水戸管理事務所		

宮田川橋(下り線) 橋梁一般図(その2)  
側面図 S=1:750



上部工標準断面図 S=1:200

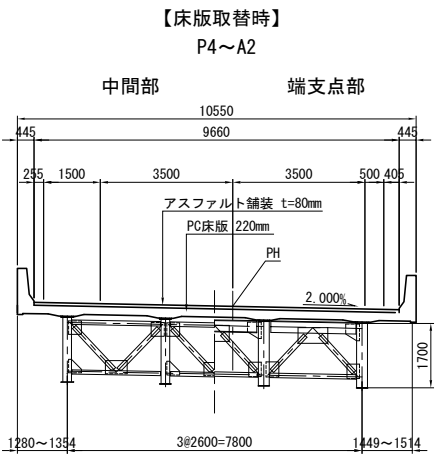
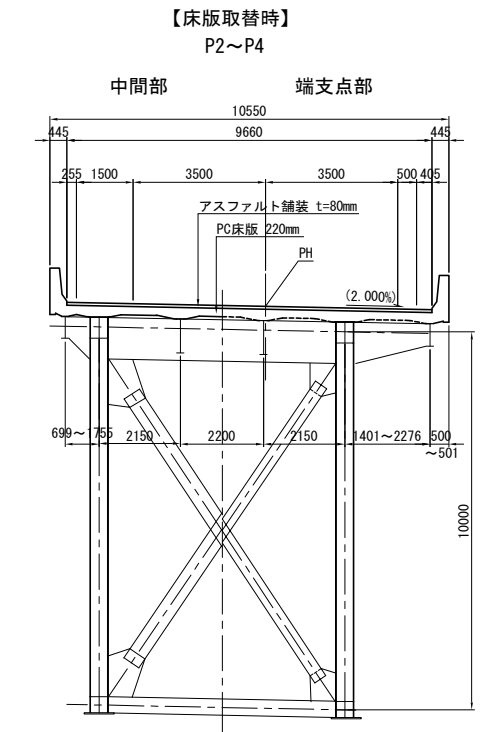
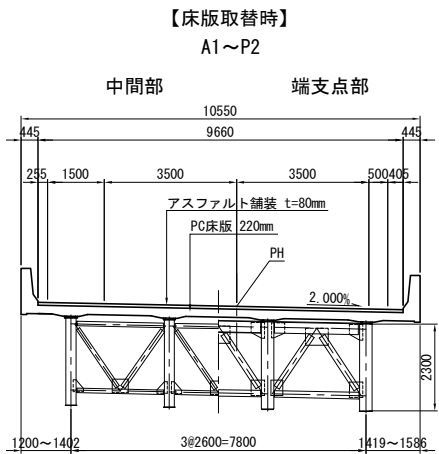


設 計 条 件 (当初設計)

橋 長	319.150m
道 路 規 格	1種 3級 A
荷 重	TL-20 , TT-43
型 式	2径間連続板桁 + 2径間連続トラス + 2径間連続板桁
支 間	2@41.000m + 2@94.500m + (20.000m + 25.000m)
有 効 幅 員	9.000m 下部方向 STA641+32.000 法線方向に全て平行
横 断 勾 配	2.0%直線片勾配
縦 断 勾 配	0.8%直線
地 震 係 数	水平震度 KH=0.18 鉛直震度KV=±0
床版コンクリート	圧縮強度 $\sigma_{ck}=240\text{kg/cm}^2$
床 版 鉄 筋	材質 SD 30 許容引張応力 $\sigma_{sa}=1400\text{kg/cm}^2$
適 用 示 方 書	昭和 55 年 2 月 道路橋示方書 同解説
使 用 材 質	SS41, SM41, SM50Y

設 計 条 件 (床版取替時)

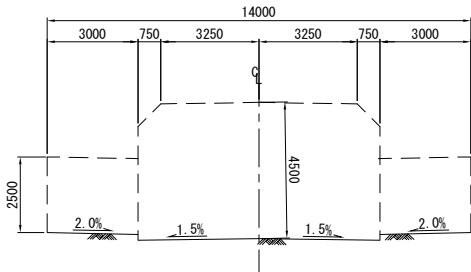
橋 長	319.150m
道 路 規 格	1種 3級 A
荷 重	B活荷重
型 式	2径間連続板桁 + 2径間連続トラス + 2径間連続板桁
支 間	2@41.000m + 2@94.500m + (20.000m + 25.000m)
有 効 幅 員	9.660m 下部方向 STA641+32.000 法線方向に全て平行
横 断 勾 配	2.0%直線片勾配
縦 断 勾 配	0.8%直線
地 震 係 数	水平震度 KH= 鉛直震度KV=
床版コンクリート	圧縮強度 $\sigma_{ck}=50\text{N/mm}^2$
床 版 鉄 筋	材質 SD 345 許容引張応力 $\sigma_{sa}=140\text{N/mm}^2$
適 用 示 方 書	平成 24 年 3 月 道路橋示方書 同解説



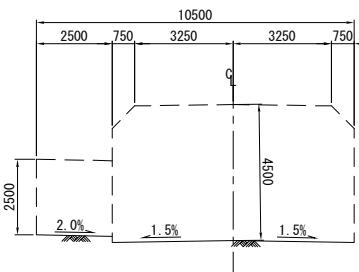
交差条件 S=1:250

主要地方道 日立山方線

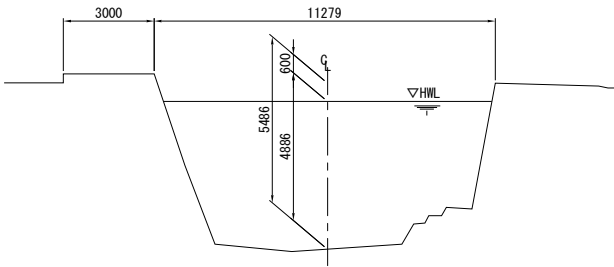
計 画



現 況



河川断面  
二級河川 宮田川



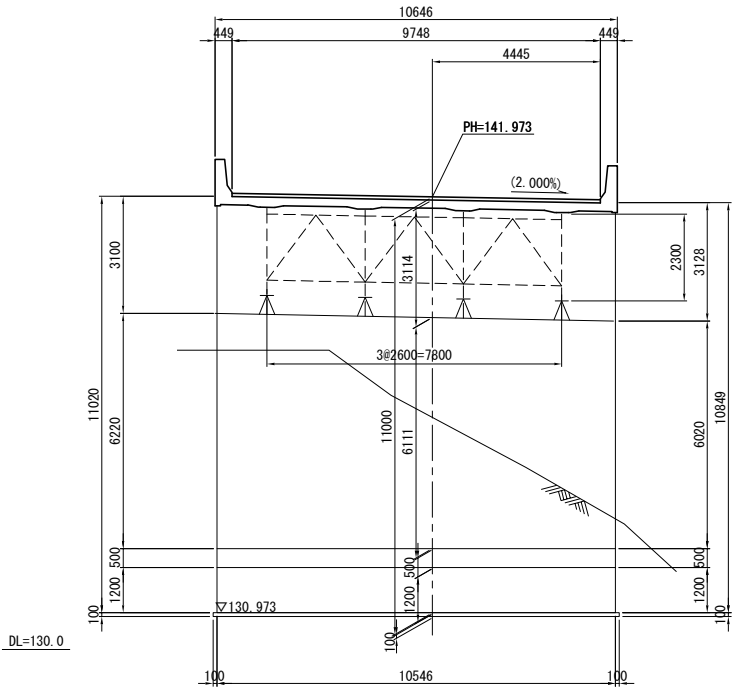
常磐自動車道 宮田川橋床版取替工事			
図面の種類	宮田川橋(下り線) 橋梁一般図(その3)		
縮 尺	図 示	図面番号	5 / 165
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水 戸 管 理 事 務 所		



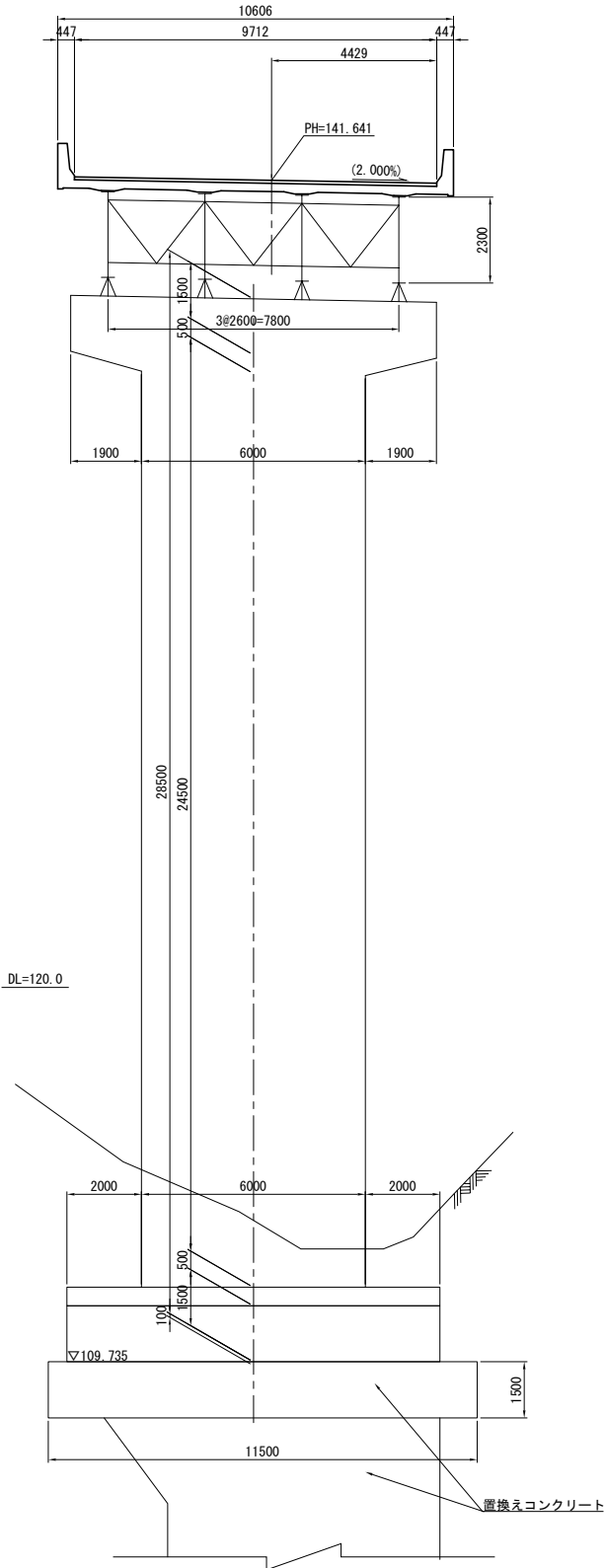
## 宮田川橋(下り線) 橋梁一般図(その4)

下部工断面图 S=1:200

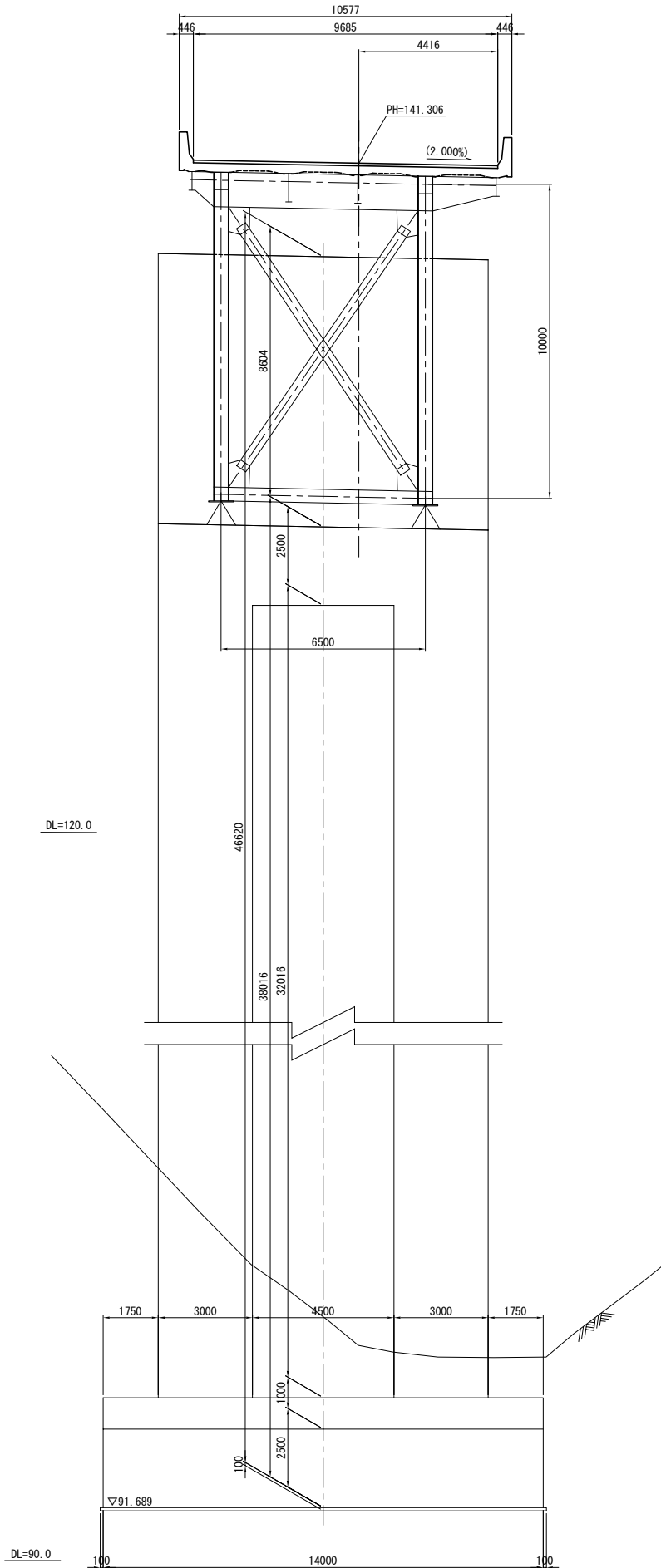
A1橋台



P1橋脚



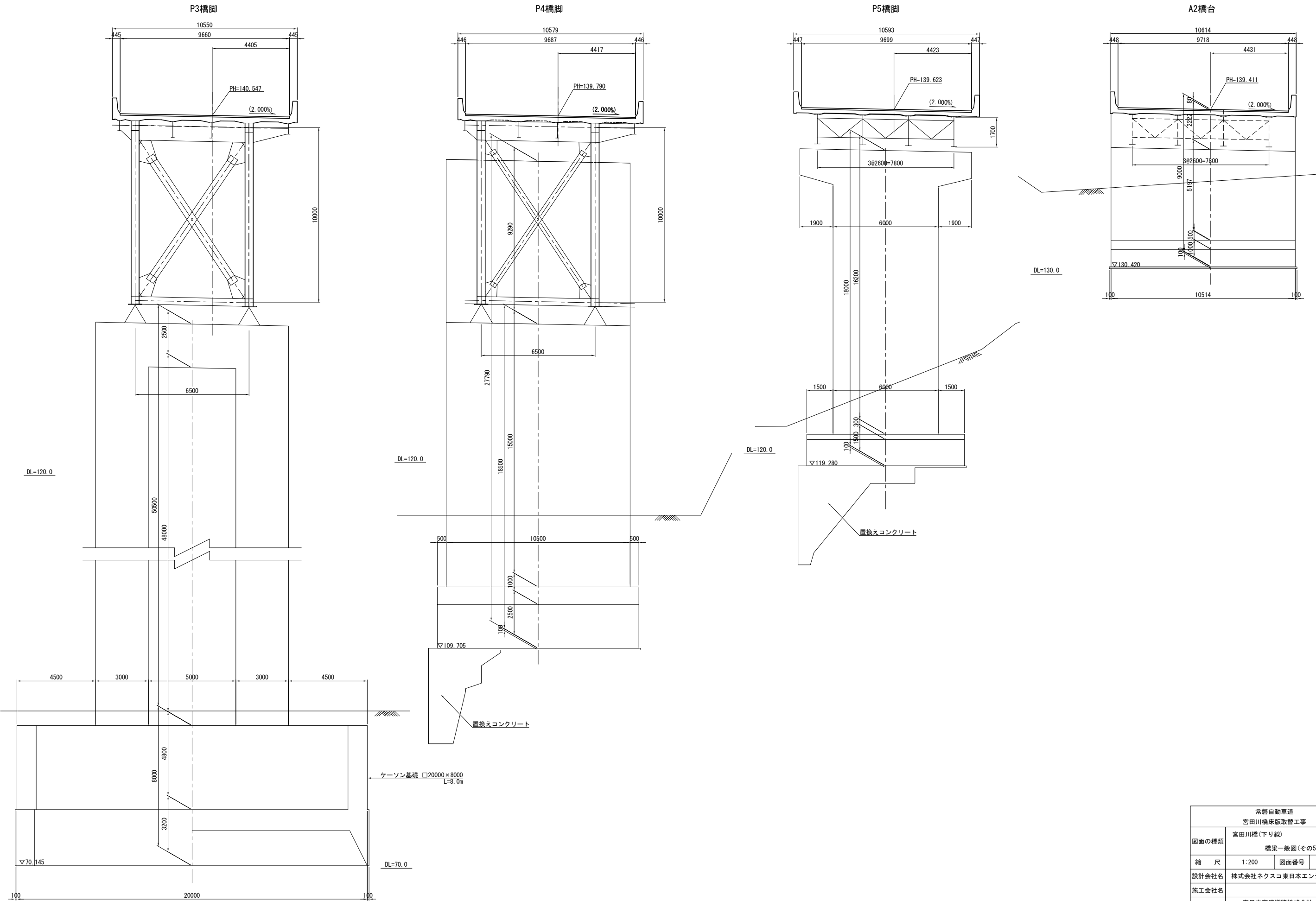
P2橋脚



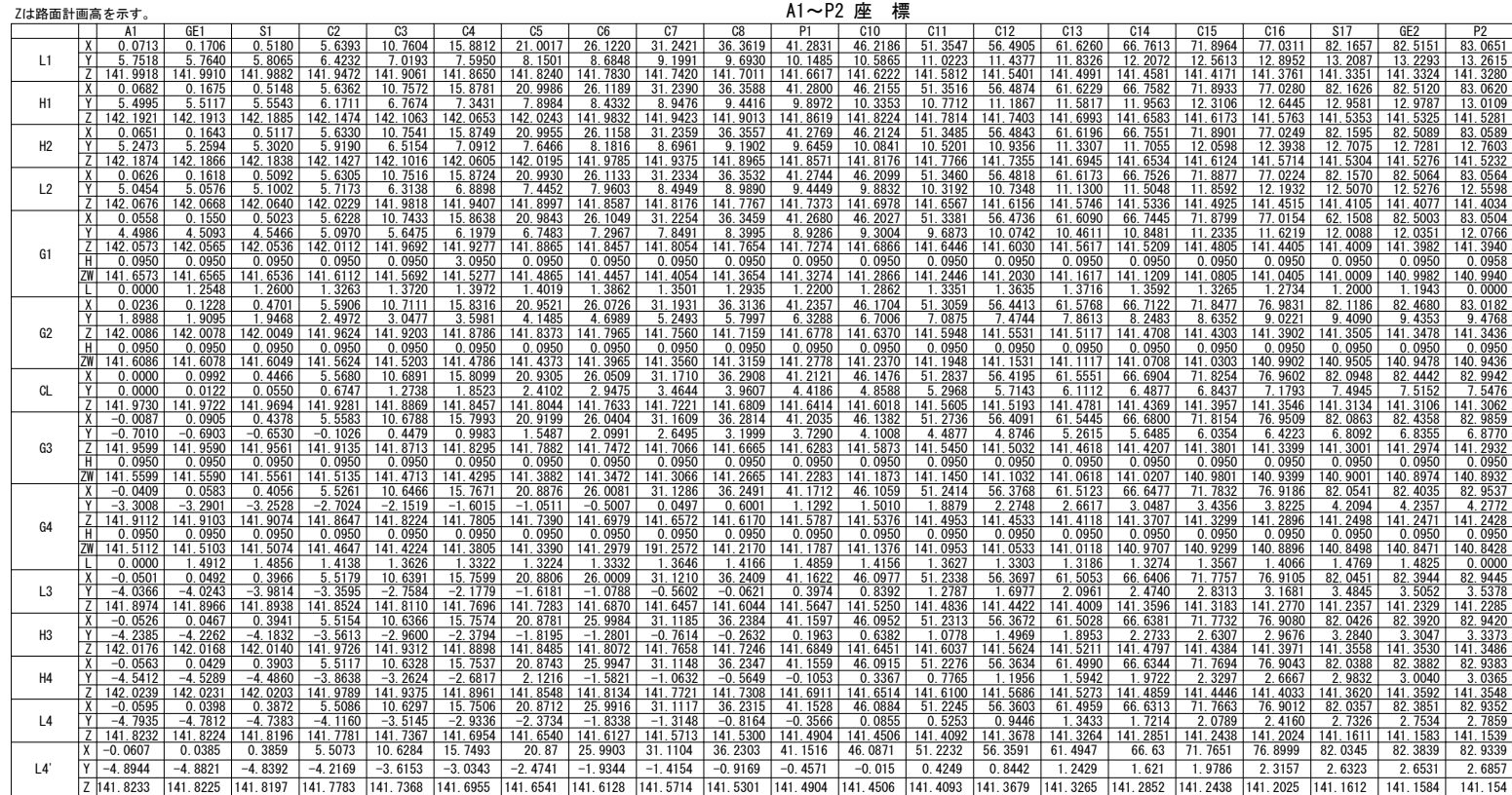
常磐自動車道			
宮田川橋床版取替工事			
図面の種類	宮田川橋(下り線)		
	橋梁一般図(その4)		
縮 尺	1:200	図面番号	6 / 165
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

宮田川橋(下り線) 橋梁一般図(その5)

下部工断面図 S=1:200



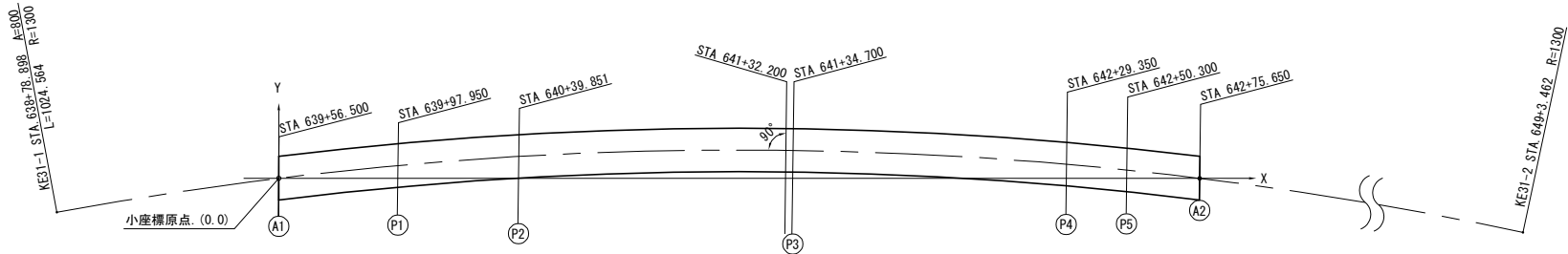
常磐自動車道 宮田川橋床版取替工事			
図面の種類	宮田川橋(下り線) 橋梁一般図(その5)		
縮 尺	1:200	図面番号	7 / 165
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		



常磐自動車道			
宮田川橋床版取替工事			
図面の種類	宮田川橋(下り線) A1～P2間PC床版線形図(その1)		
縮 尺	1:500	図面番号	8 / 165
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		



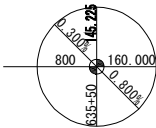
平面線形



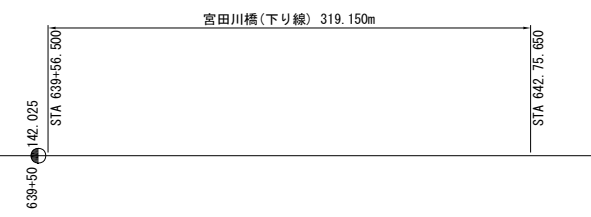
A1 P1 P2 P3 P4 P5 A2 は全てSTA641+32.2(PH-Lineに対して法線)に平行

大座標(PH-Line)

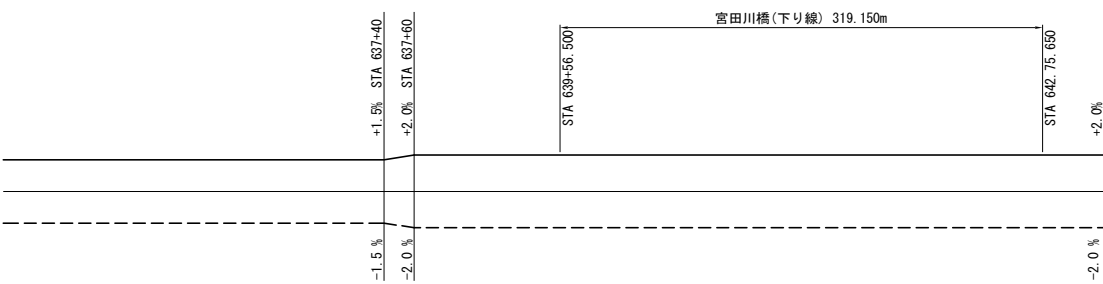
	STA	X	Y
KE31-1	638 + 78.898	+ 68,119.7068	+ 72,120.1459
A1	639 + 56.500	+ 68,196.3928	+ 72,131.9587
P1	638 + 97.950	+ 68,237.0261	+ 72,140.1375
P2	640 + 39.851	+ 68,277.8153	+ 72,149.7175
P3	641 + 34.700	+ 68,368.8638	+ 72,176.2228
P4	642 + 29.350	+ 68,457.5539	+ 72,209.2185
P5	642 + 50.300	+ 68,476.8448	+ 72,217.3889
A2	642 + 75.650	+ 68,500.0074	+ 72,227.6893
KE31-2	649 + 3.462	+ 68,987.4663	+ 72,613.6051



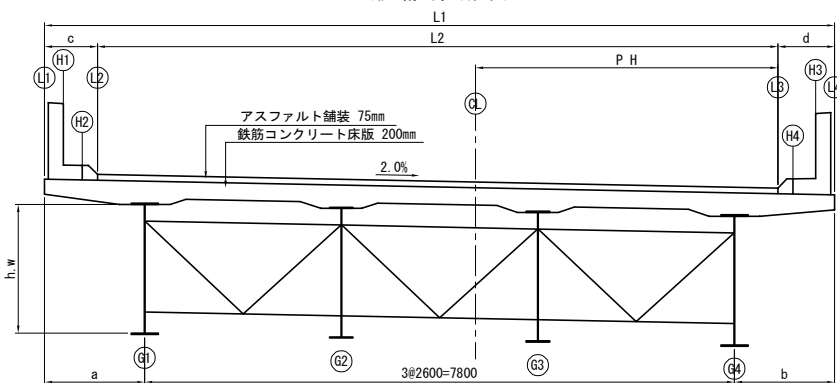
縦断線形



横断線形



鈑桁部断面



A1～P2 沓座高

名称	S-L				P1				S-R			
	G1	G2	G3	G4	G1	G2	G3	G4	G1	G2	G3	G4
路面計画高	142.054	142.005	141.956	141.907	141.727	141.678	141.628	141.579	141.401	141.351	141.300	141.250
舗装	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75
床版	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200
ハンチ	124	124	125	125	125	125	125	125	120	121	121	120
腹板高	2300	2300	2300	2300	2300	2300	2300	2300	2300	2300	2300	2300
下フランジ厚	22	16	16	22	36	32	32	36	22	16	16	22
ソールプレート	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32
沓高	400	400	400	400	620	620	620	620	245	245	245	245
計	3153	3147	3148	3154	3388	3384	3384	3388	2994	2989	2989	2994
沓座高	138.901	138.858	138.808	138.753	138.339	138.294	138.244	138.191	138.407	138.362	138.311	138.256

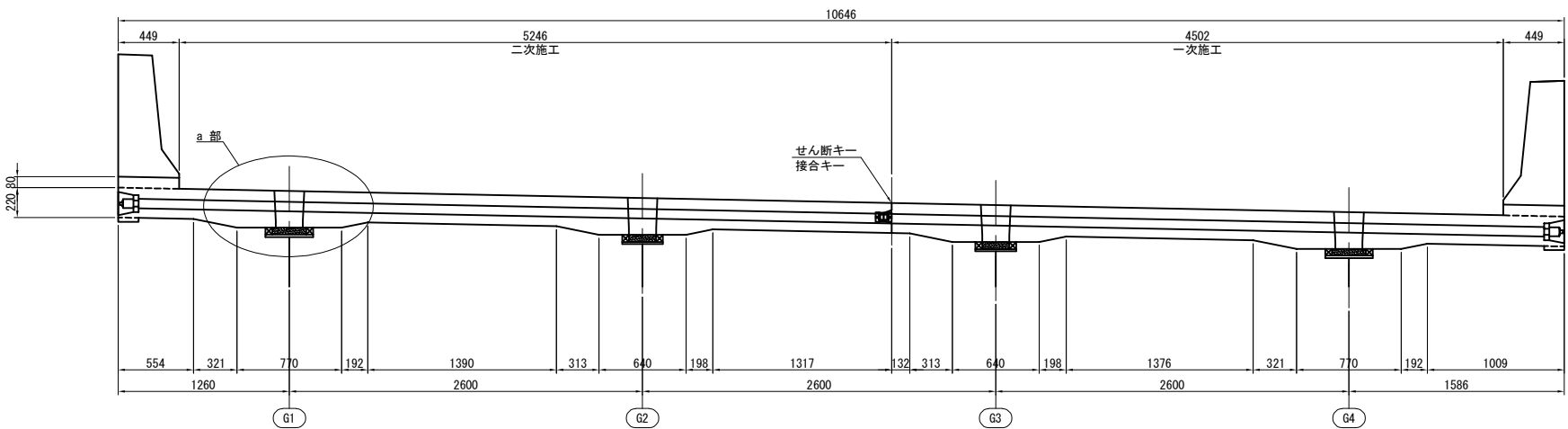
- 。A1 ～ P2 (2径間連続鈑桁)
- 主桁の配置について  
⑥1 の各支位置において床版張出し長(⑥3 に平行な方向)で⑥1 を1260mm、⑥2 を1220mm、⑥3 を1200mmにおさえて直線で結び⑥2、⑥3、⑥4 は主桁間隔3@2.6m(⑥3 に平行な方向)で⑥1 に平行とする。
  - ハンチの決め方  
⑥1 上でのハンチを⑥1 で125mmにおさえて、主桁の縦断を0.8%、横断(⑥3 平行な方向)を1.9%一定としハンチを変化させた。

注記) 1. 本図は、既設橋梁の完成図を基にした図面である。  
2. 大座標(PH-Line)は日本測地系の座標である。

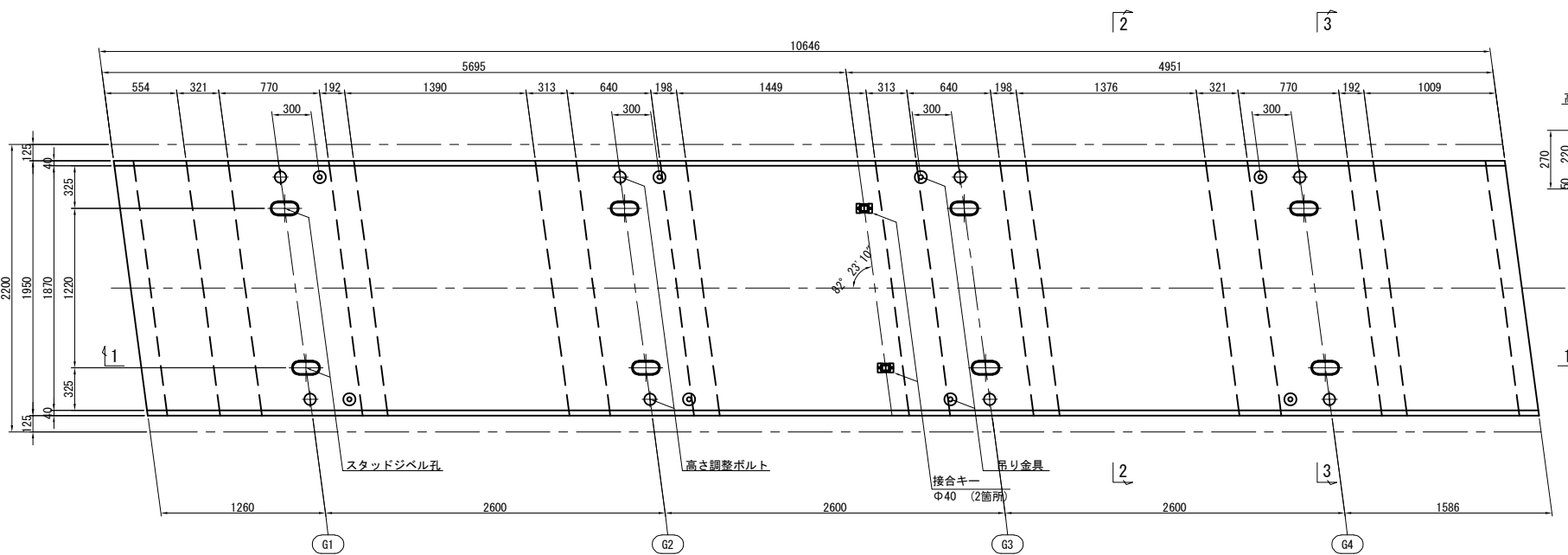
常磐自動車道 宮田川橋床版取替工事			
図面の種類	宮田川橋(下り線) A1～P2間PC床版線形図(その2)		
縮尺	1:500	図面番号	9 / 165
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

宮田川橋(下り線) A1～P2間プレキャストPC床版構造図

断面図 S=1:50  
1-1

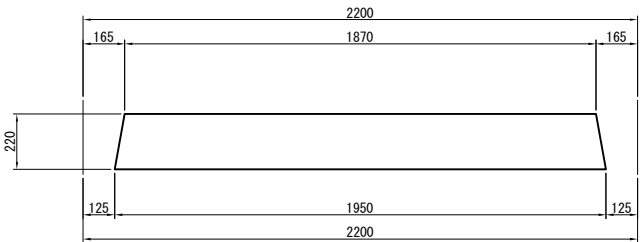


平面図 S=1:50

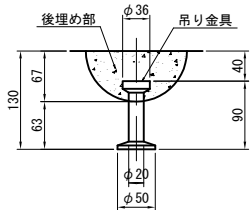


断面図 S=1:30

支間中央部  
2-2

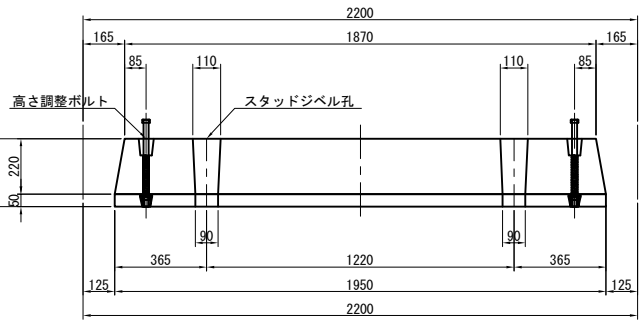


吊り金具詳細図 S=1:10  
(1床版当り8本使用する)

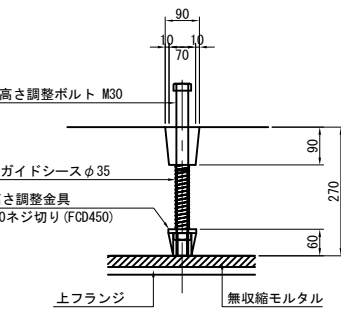


※ 取付金具は、垂鉛メッキ仕様(HDZT77)とする。  
かぶりは40mmとする。  
架設後は、無収縮モルタルで後埋め処理を行う。

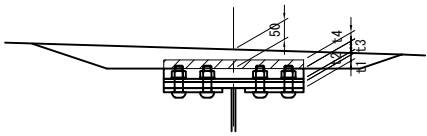
支点部  
3-3



高さ調整ボルト詳細図 S=1:20



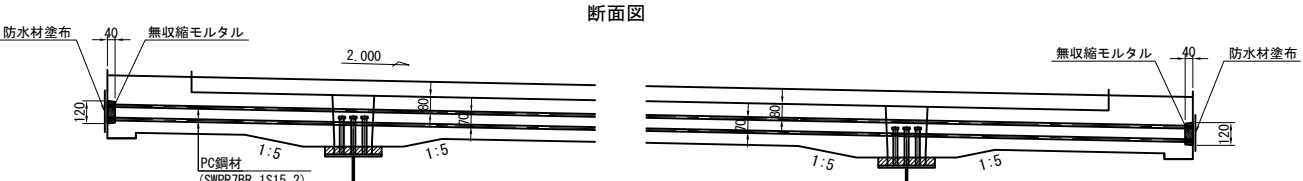
添接版部の切欠き詳細 S=1:20



a部 詳細図 S=1:30

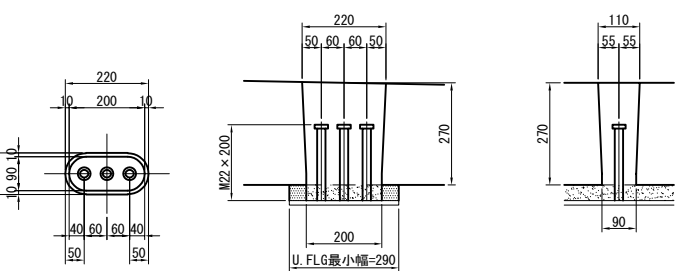


PC床版端部PC鋼材部処理詳細図 S=1:40

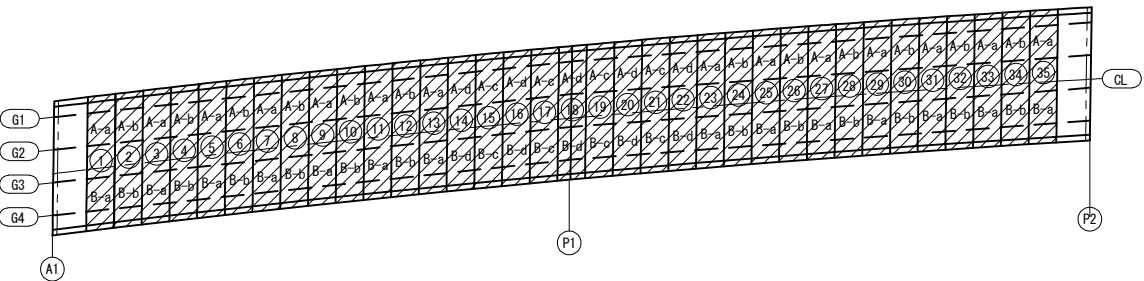


スタッド孔詳細図 S=1:20

G1～G4



位置図 S=1:600



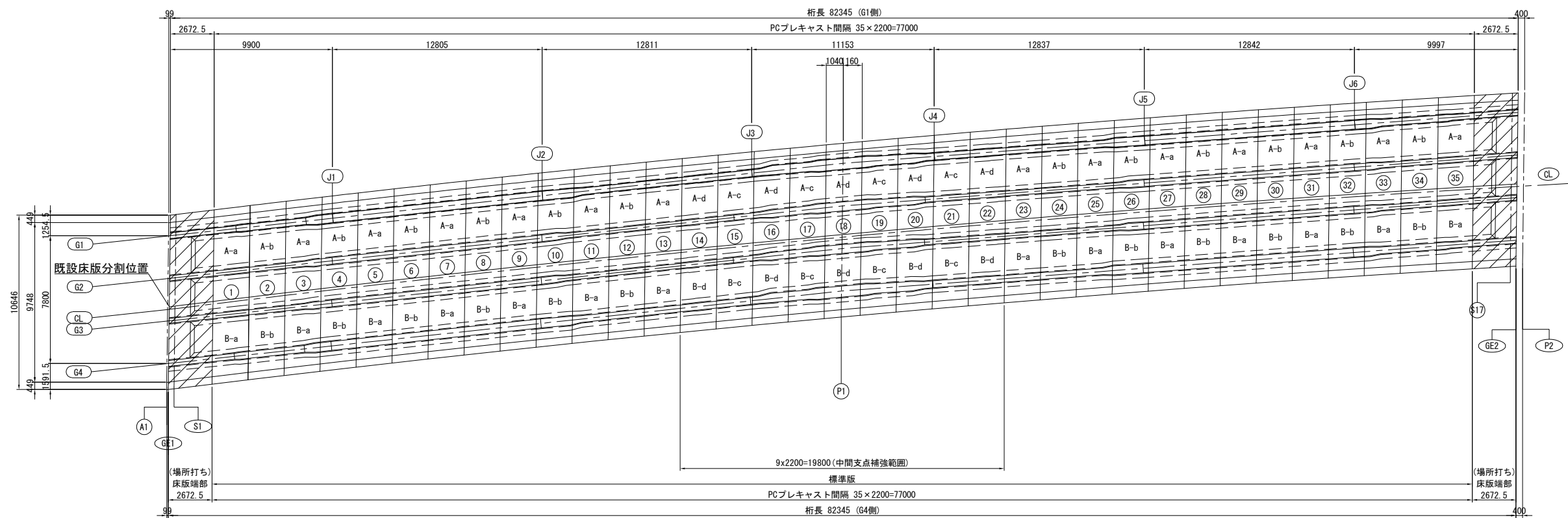
A1-P2

G1, G4	t1	t2	t3	t4
J1	25	11	32	20
J2	25	11	32	20
J3	22	14	32	20
J4	22	14	32	20
J5	25	11	32	20
J6	25	11	32	20

G2, G3	t1	t2	t3	t4
J1	22	10	36	20
J2	22	10	36	20
J3	19	12	37	20
J4	19	12	37	20
J5	22	10	36	20
J6	22	10	36	20

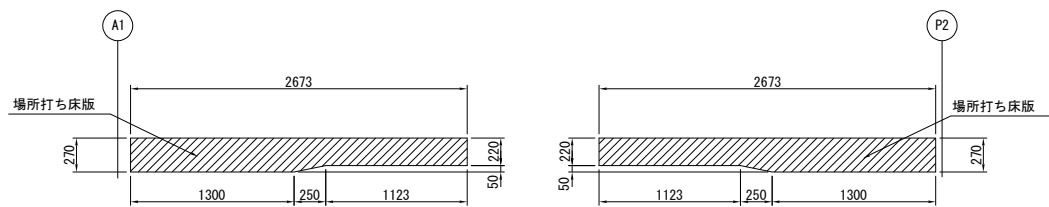
常磐自動車道 宮田川橋床版取替工事			
図面の種類	宮田川橋(下り線) A1～P2間プレキャストPC床版構造図		
縮尺	図示	図面番号	10 / 165
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

平面図 S=1:300

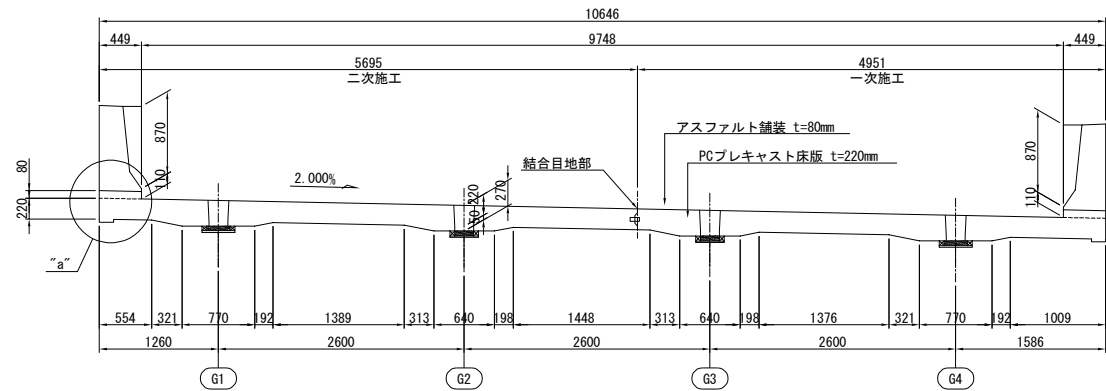


側面図 S=1:60

支間中央部



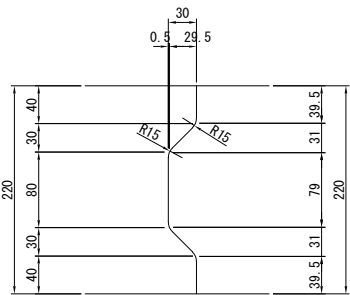
断面図 S=1:80



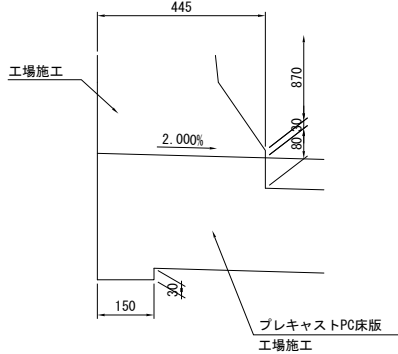
PCプレキャスト床版タイプ表

タイプ	床版番号	製作枚数
標準版 A-a	① ③ ⑤ ⑦ ⑨ ⑪ ⑬ ⑮ ⑰ ⑲ ⑳ ㉑ ㉓ ㉕ ㉗ ㉙ ㉛ ㉝ ㉟	14
標準版 B-a	① ③ ⑤ ⑦ ⑨ ⑪ ⑬ ⑮ ⑰ ⑲ ⑳ ㉑ ㉓ ㉕ ㉗ ㉙ ㉛ ㉝ ㉟	14
標準版 A-b	② ④ ⑥ ⑧ ⑩ ⑫ ⑭ ⑯ ⑰ ⑱ ㉒ ㉔ ㉖ ㉘ ㉚ ㉜ ㉞ ㊱	12
標準版 B-b	② ④ ⑥ ⑧ ⑩ ⑫ ⑭ ⑯ ⑰ ⑱ ㉒ ㉔ ㉖ ㉘ ㉚ ㉜ ㉞ ㊱	12
標準版 A-c (中間支点補強範囲)	⑮ ⑰ ⑲ ㉑	4
標準版 B-c (中間支点補強範囲)	⑮ ⑰ ⑲ ㉑	4
標準版 A-d (中間支点補強範囲)	⑭ ⑯ ⑰ ⑱ ㉒	5
標準版 B-d (中間支点補強範囲)	⑭ ⑯ ⑰ ⑱ ㉒	5

接合目地部詳細図 S=1:8



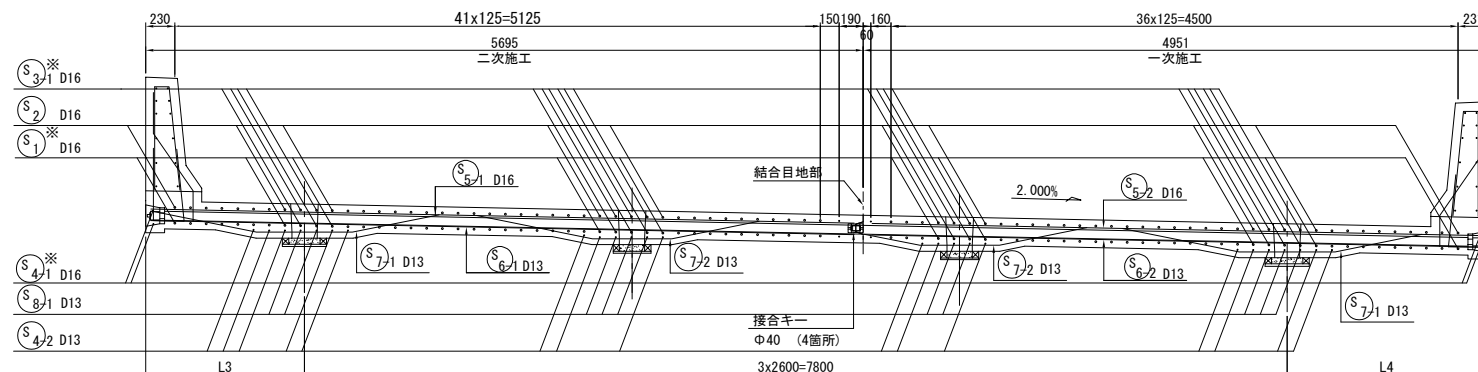
“a”部詳細図 S=1:20



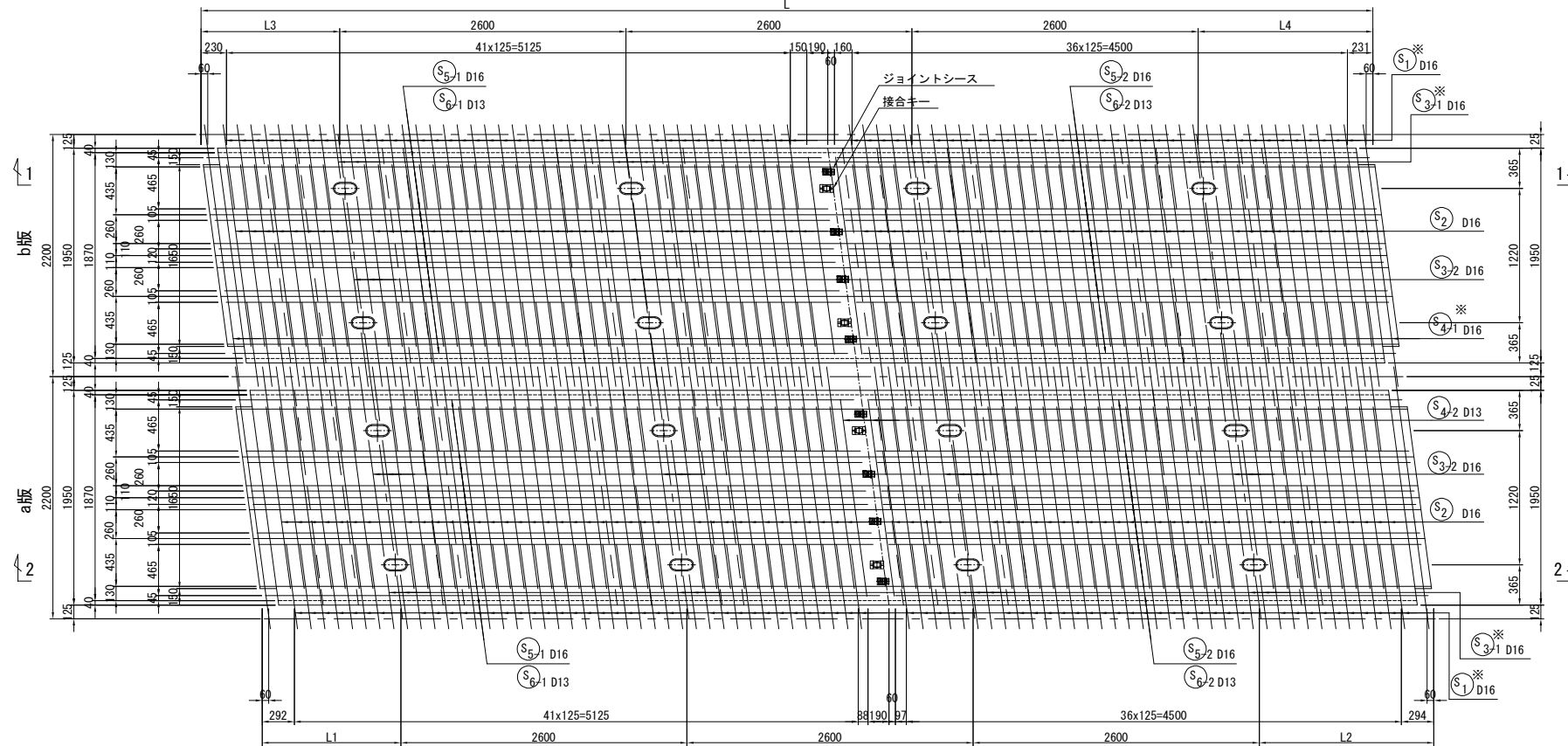
常磐自動車道 宮田川橋床版取替工事			
図面の種類	宮田川橋（下り線） A1～P2間プレキャストPC床版割付図		
縮尺	図示	図面番号	11 / 165
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		



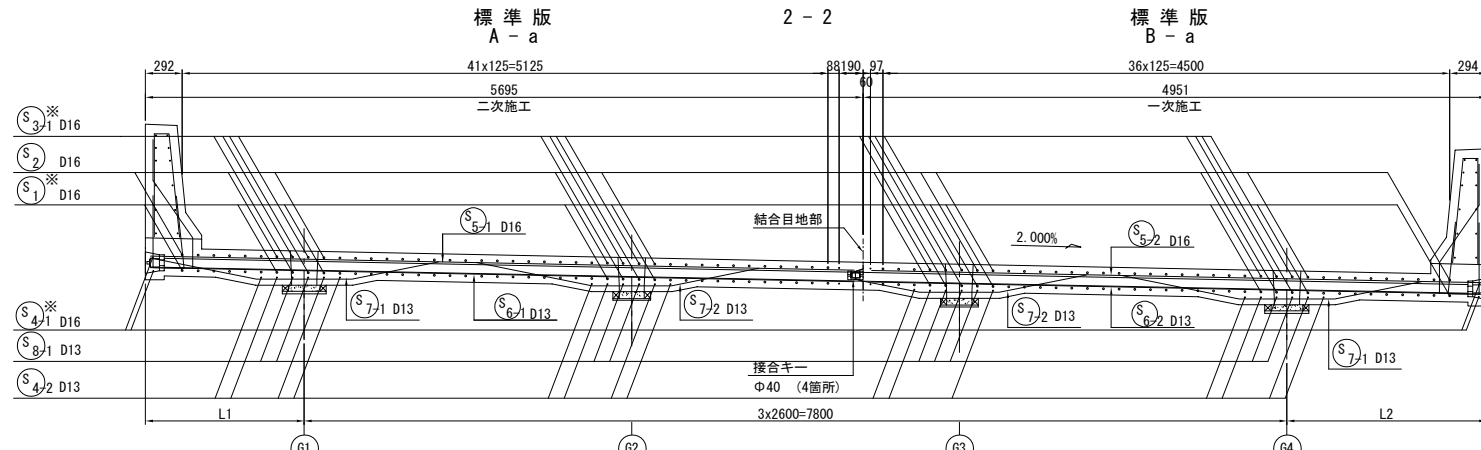
1 - 1



## 平面图



2 - 2

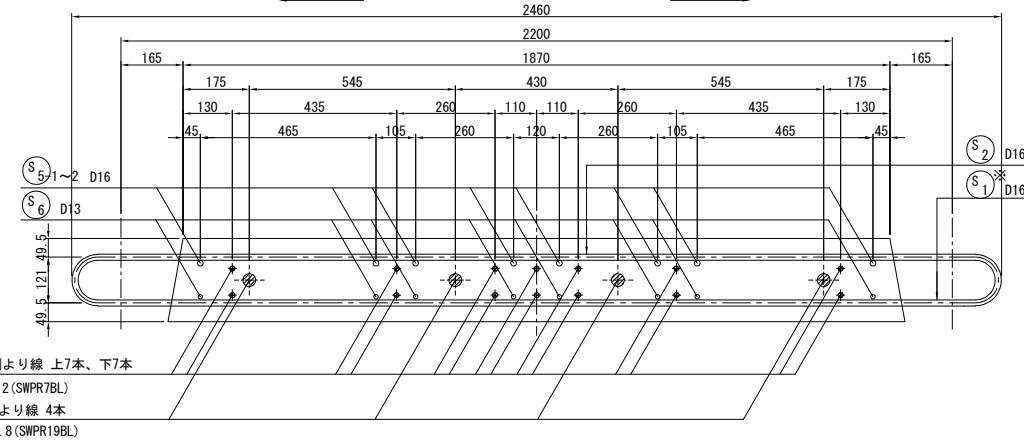


端部・支間中央部

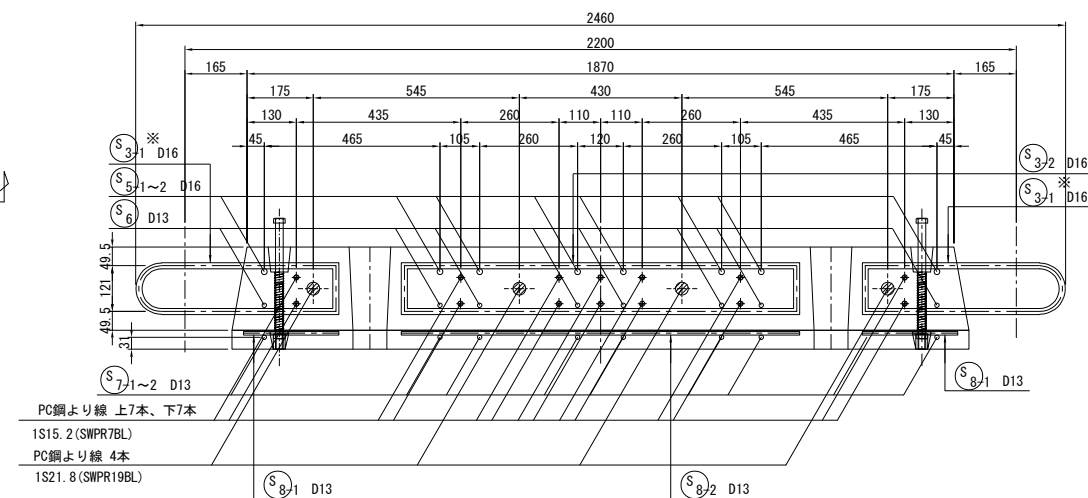
S=1 : 20

端部・支間中央部

終点側

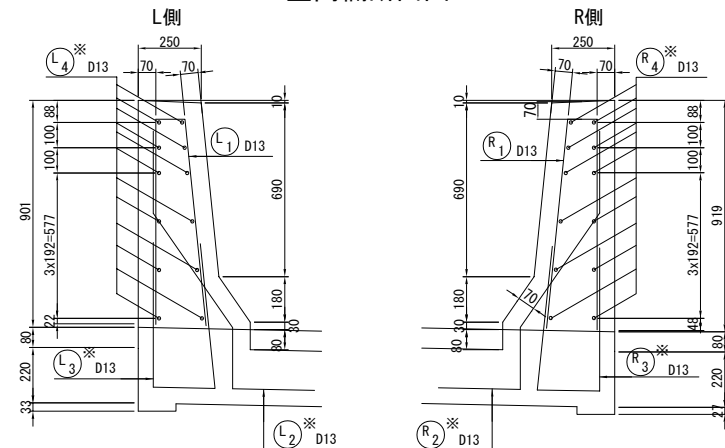


支点音

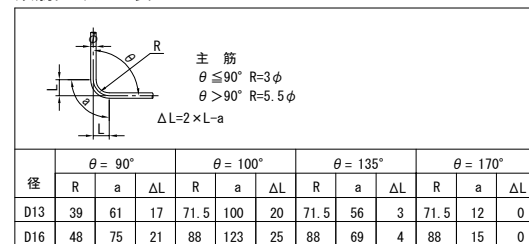


壁高欄断面図 S=1:

S=1 : 30



鉄筋曲げ加工表

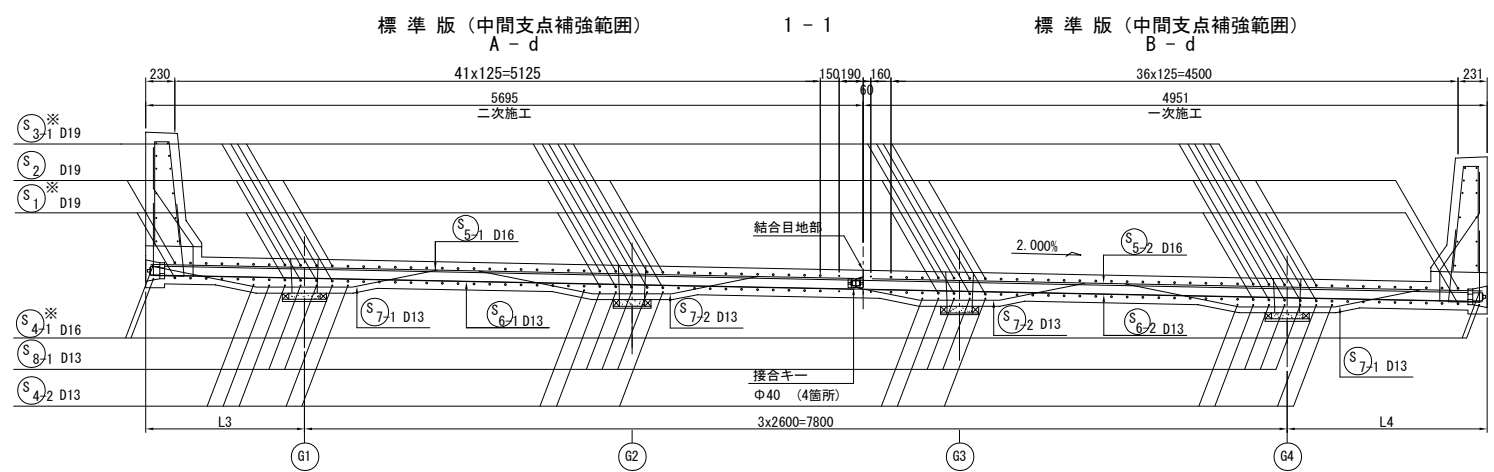


注記

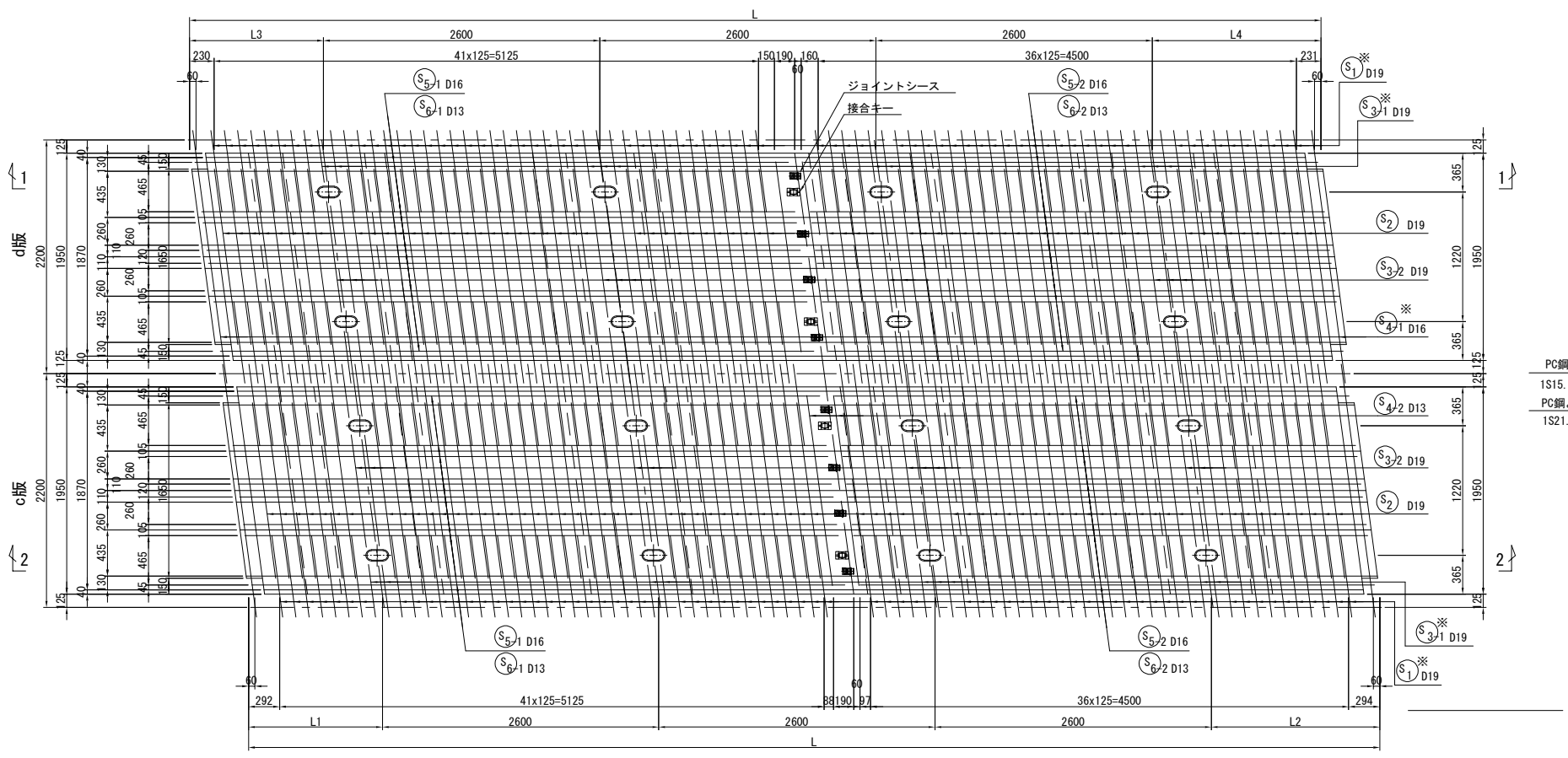
- ※印はエポキシ樹脂塗装鉄筋を示す。
- 排水樹版の配筋については詳細設計において別途検討すること。

常磐自動車道 宮田川橋床版取替工事			
図面の種類	宮田川橋（下り線） A1～P2間 レキャストPC床版配筋図（その1）		
縮 尺	図 示	図面番号	12 / 165
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水 戸 管 理 事 務 所		

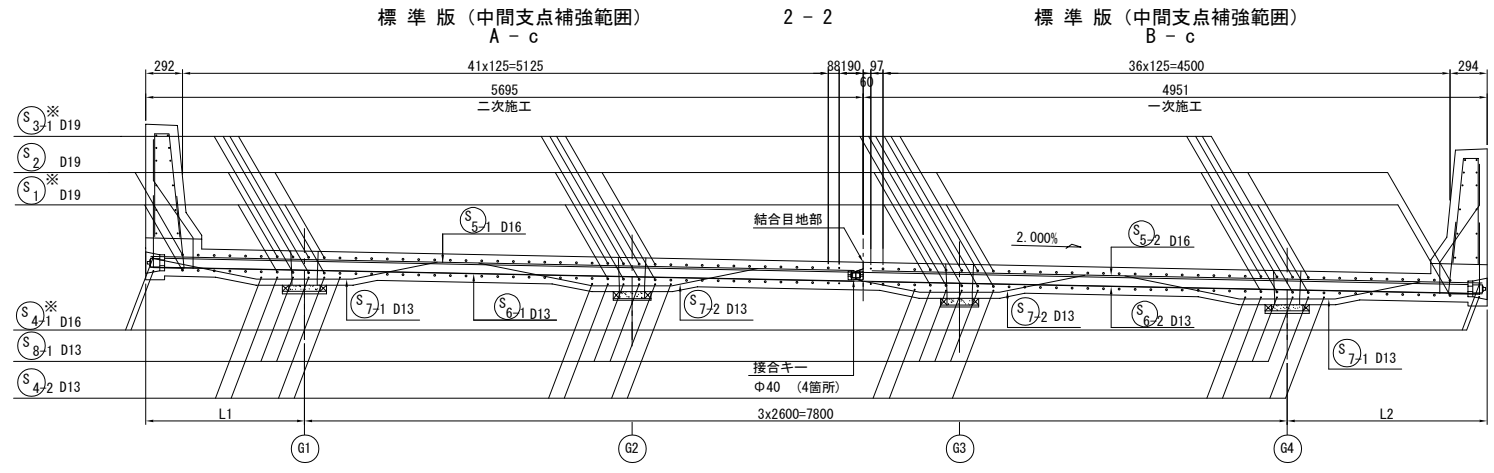
断面図



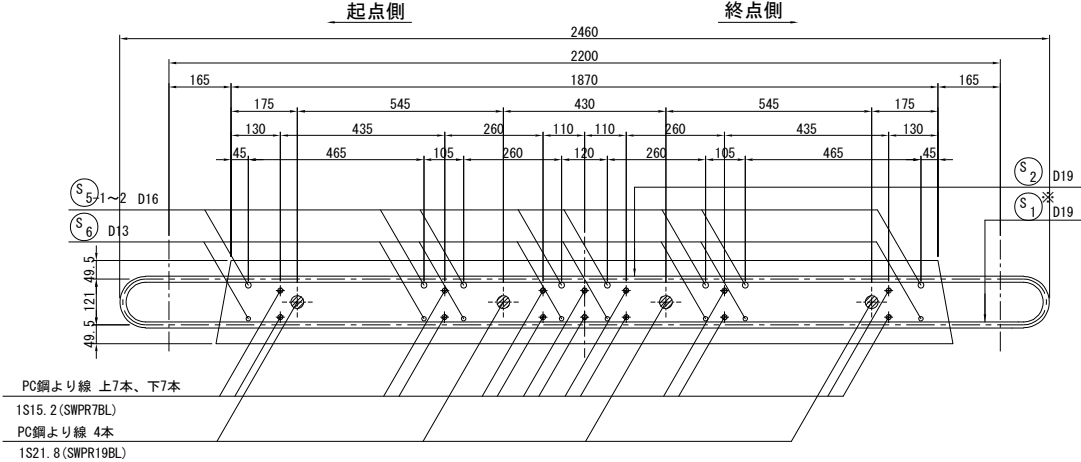
平面図



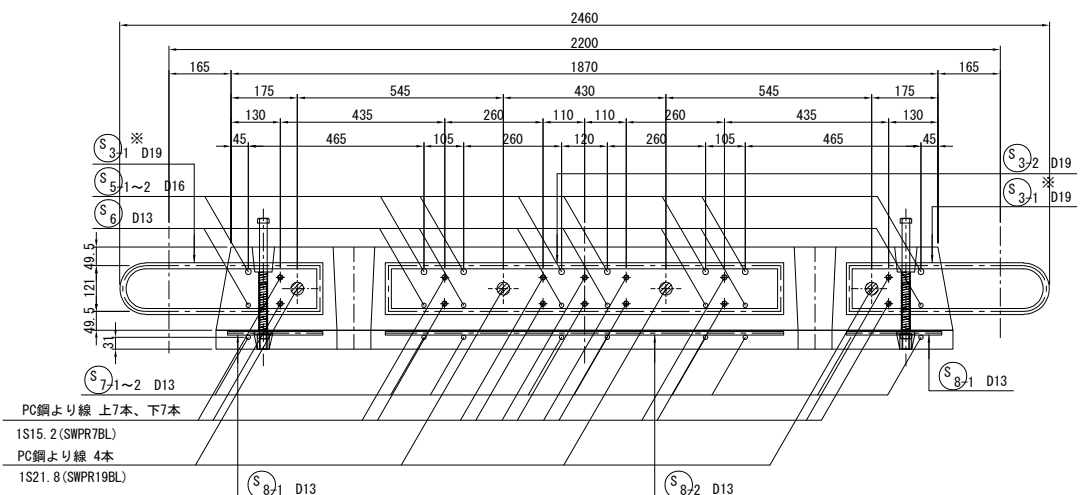
断面図



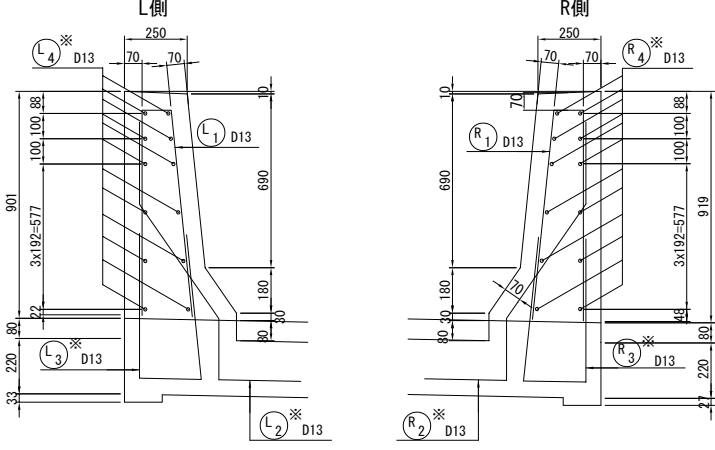
床版断面図 S=1:20



支点部



壁高欄断面図 S=1:30



c版

	L	L1	L2
⑮	10616	1325	1490
⑰	10611	1270	1541
⑱	10607	1237	1570
㉑	10603	1295	1510

d版

	L	L3	L4
⑭	10615	1347	1468
⑯	10612	1300	1512
⑰	10609	1237	1572
⑱	10606	1268	1539
㉑	10603	1316	1487

鉄筋曲げ加工表

主筋

$\theta \leq 90^\circ$  R=3 $\phi$

$\theta > 90^\circ$  R=5.5 $\phi$

$\Delta L = 2 \times L - a$

径	$\theta = 90^\circ$			$\theta = 100^\circ$			$\theta = 135^\circ$			$\theta = 170^\circ$		
	R	a	$\Delta L$	R	a	$\Delta L$	R	a	$\Delta L$	R	a	$\Delta L$
D13	39	61	17	71.5	100	20	71.5	56	3	71.5	12	0
D16	48	75	21	88	123	25	88	69	4	88	15	0

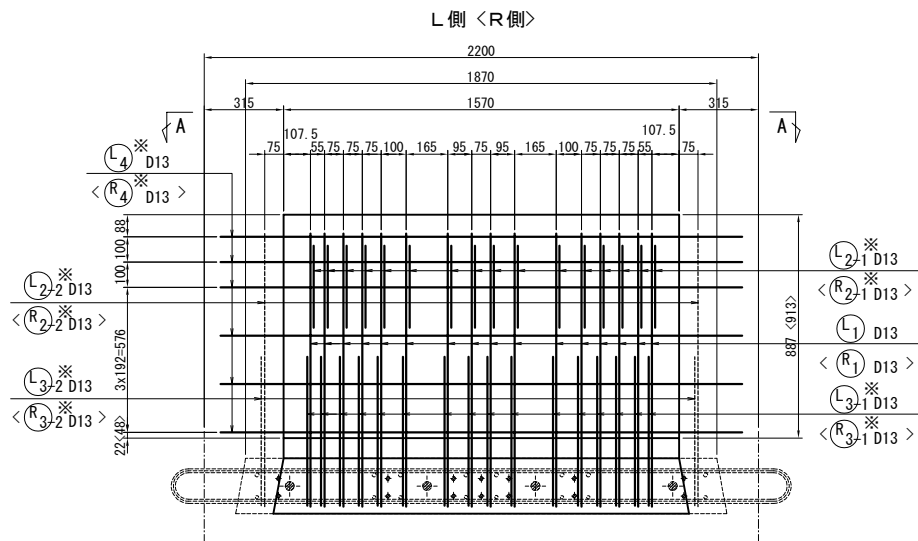
注記

1. ※印はエポキシ樹脂塗装鉄筋を示す。

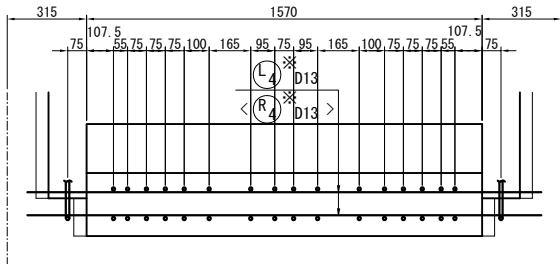
2. 排水樹版の配筋については詳細設計において別途検討すること。

常磐自動車道			
宮田川橋床版取替工事			
図面の種類	宮田川橋(下り線)		
	A1~P2間プレキャストPC床版配筋図(その2)		
縮尺	図示	図面番号	13 / 165
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
	水戸管理事務所		

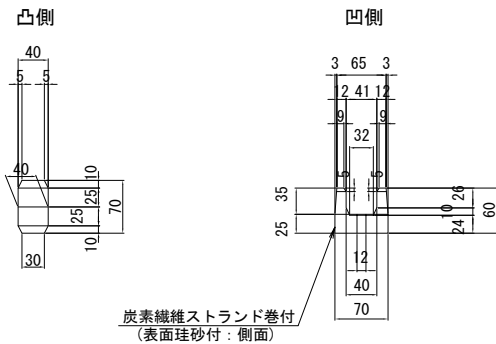
壁高欄側面図 S=1:30



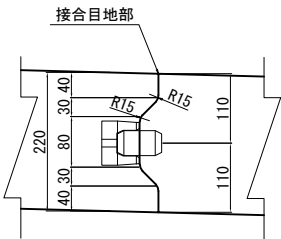
A - A



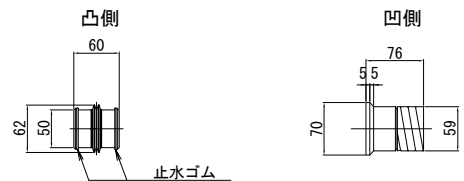
接合キー詳細図 S=1:10



接合目地部詳細図 S=1:12



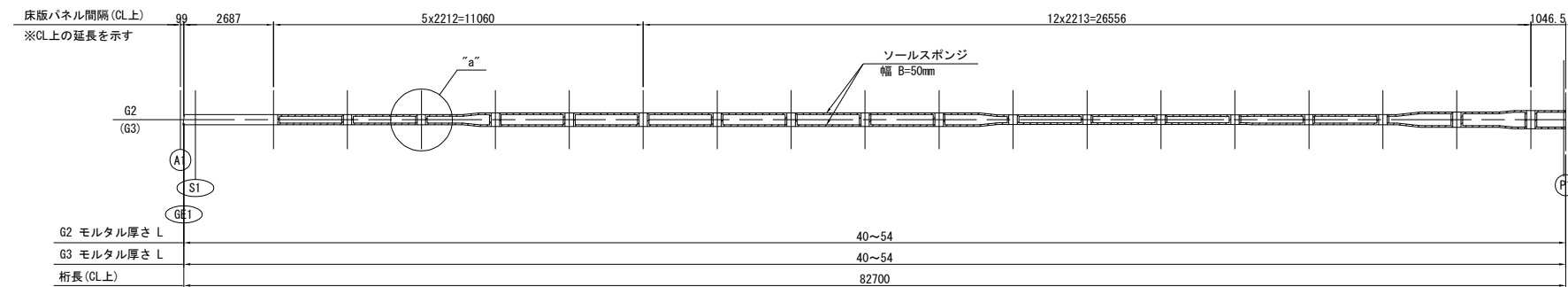
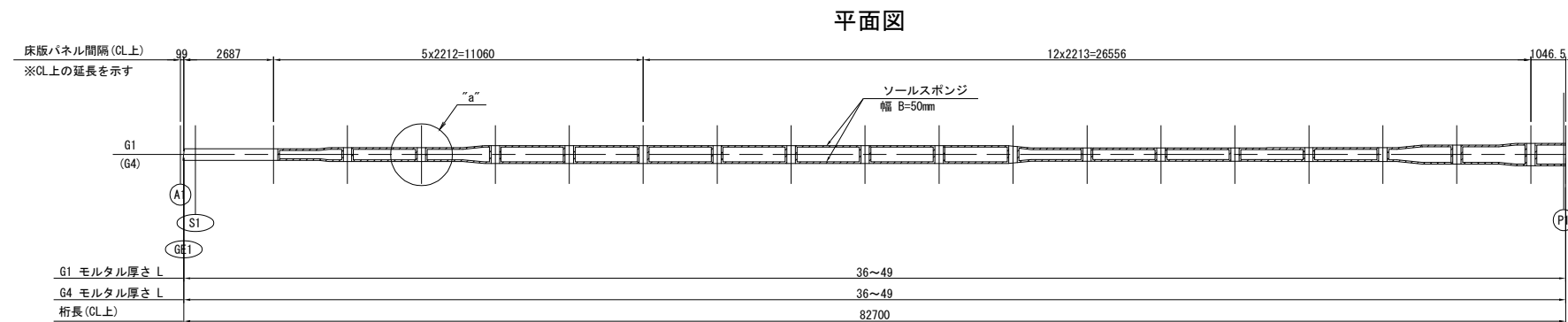
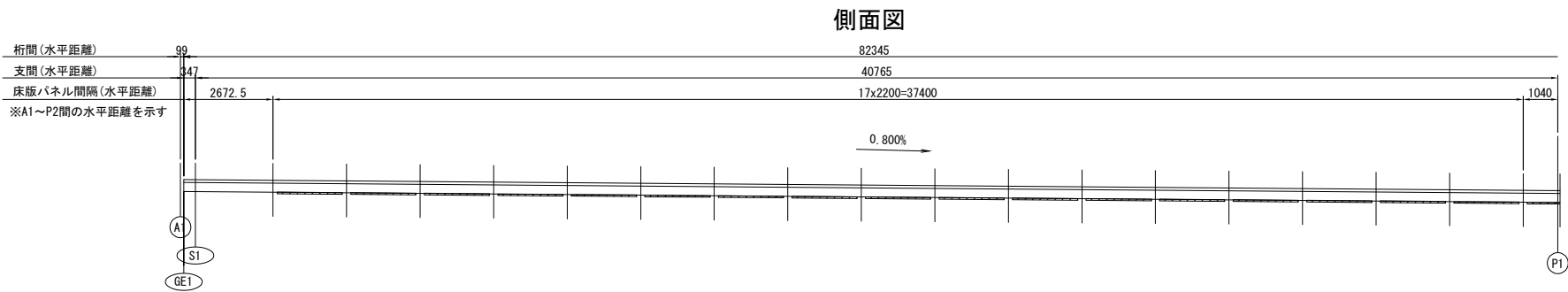
ジョイントシース詳細図 S=1:10



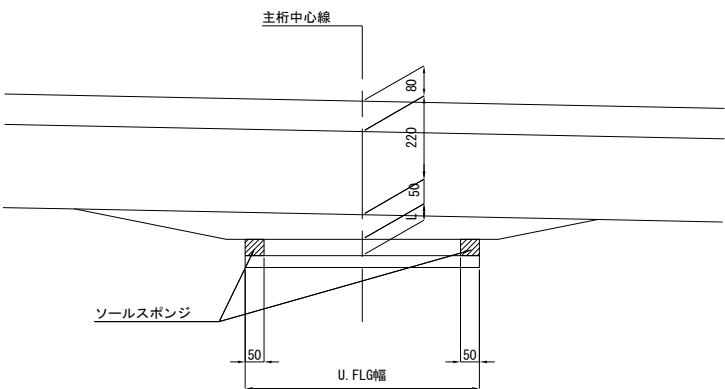
注記  
1. ※印はエポキシ樹脂塗装鉄筋を示す。  
2. 詳細設計により構造・配筋等を決定すること。

常磐自動車道 宮田川橋床版取替工事			
図面の種類	宮田川橋（下り線）		
	A1～P2間プレキャストPC床版配筋図（その3）		
縮 尺	図 示	図面番号	14 / 164
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水 戸 管 理 事 務 所		

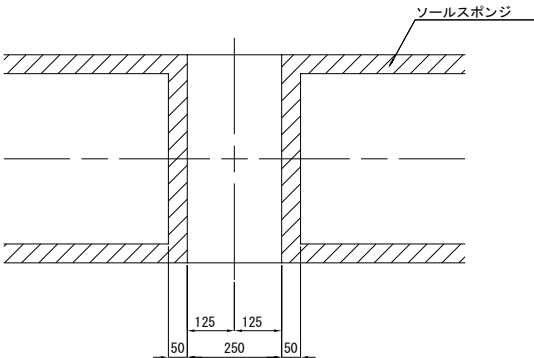




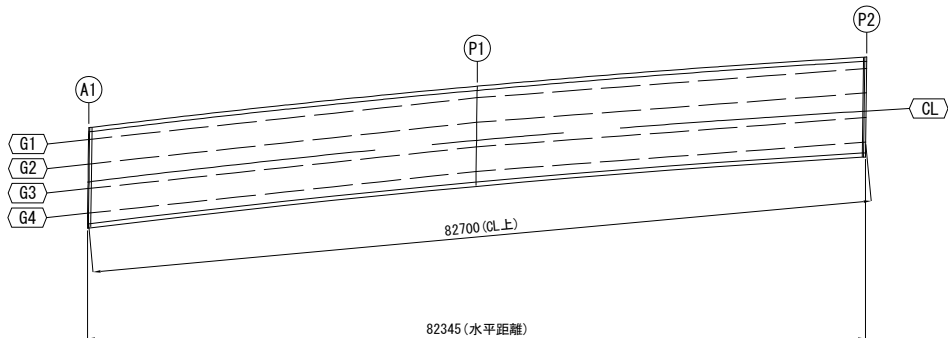
断面図 S=1:20



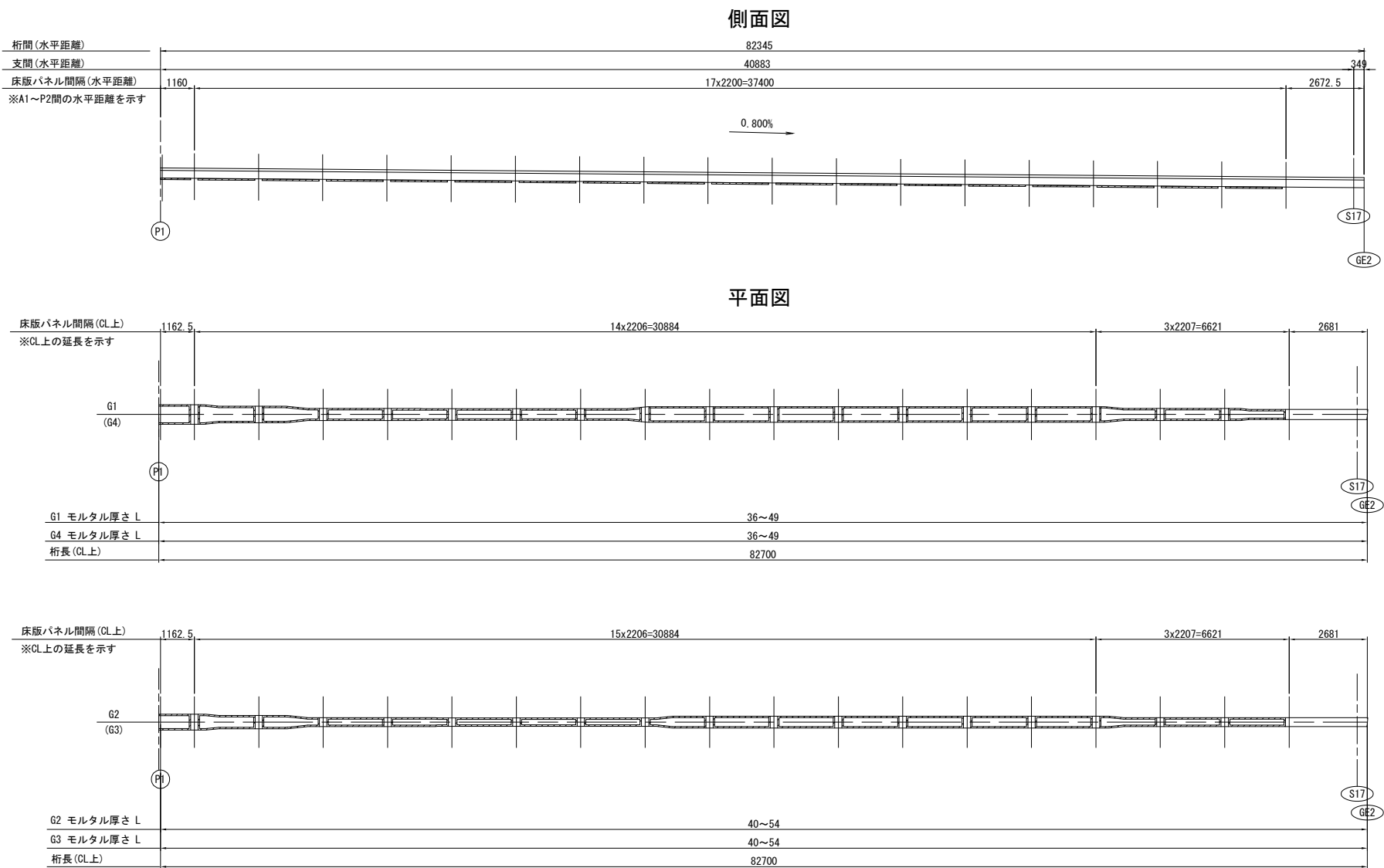
“a”部詳細 S=1:20



配置図

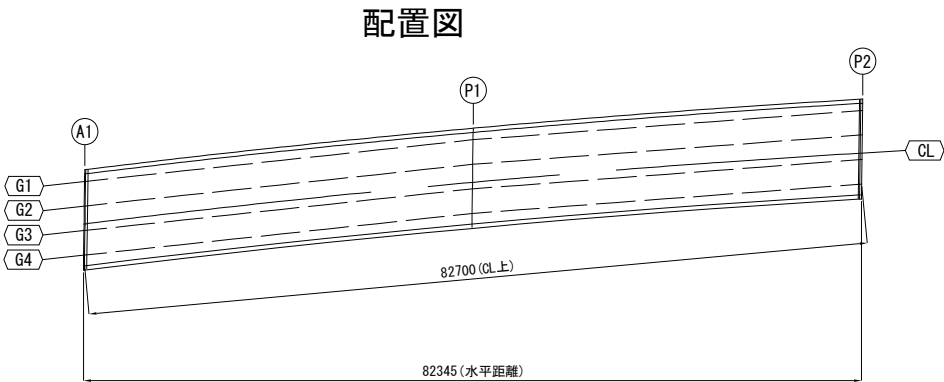


常磐自動車道			
宮田川橋床版取替工事			
図面の種類	宮田川橋(下り線) A1～P2間ソールスポンジ詳細図(その1)		
縮尺	図示	図面番号	15 / 165
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		



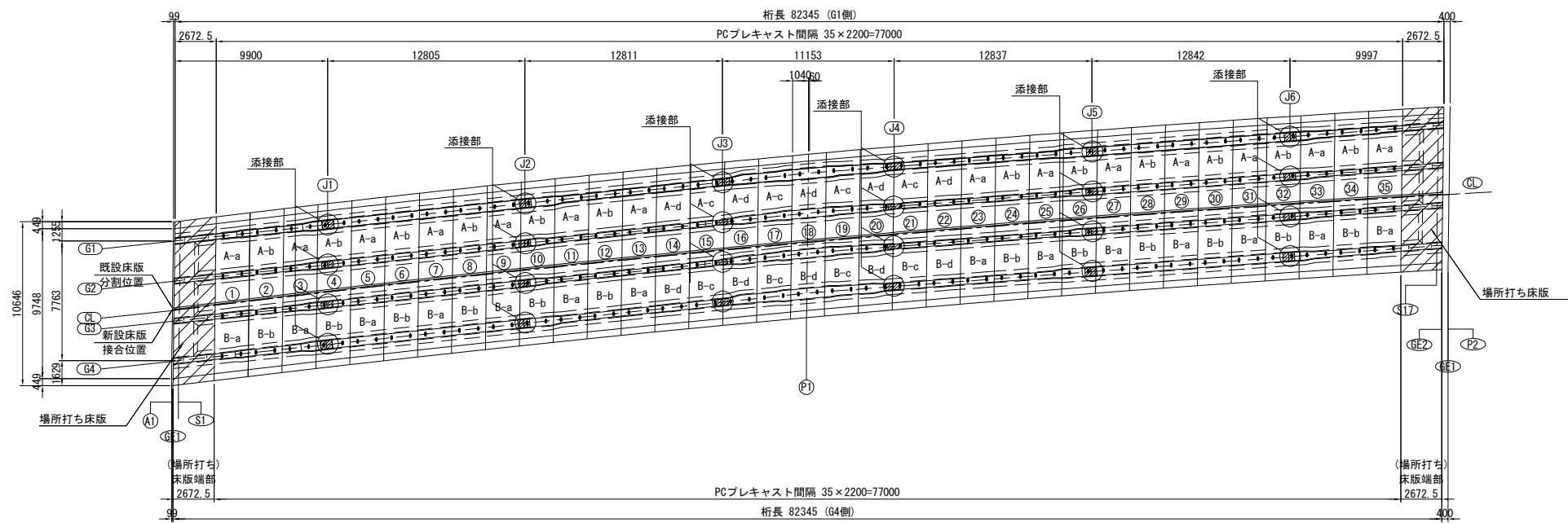
数量表

	G1	G2	G3	G4	合計
ソールスポンジ体積(m3)	0.351	0.373	0.373	0.351	1.448

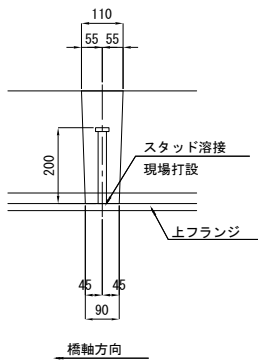


常磐自動車道			
宮田川橋床版取替工事			
図面の種類	宮田川橋(下り線) A1～P2間ソールスポンジ詳細図(その2)		
縮 尺	図 示	図面番号	16 / 165
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水 戸 管 理 事 務 所		

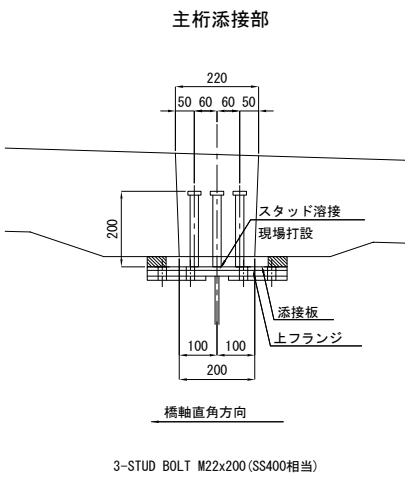
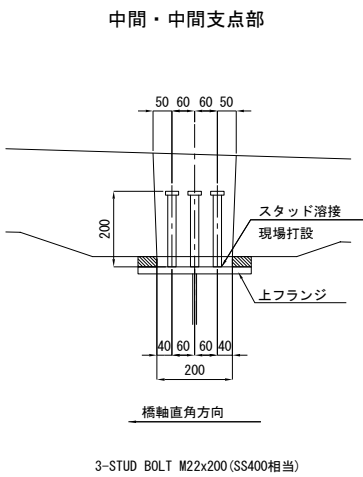
平面図 S=1:400



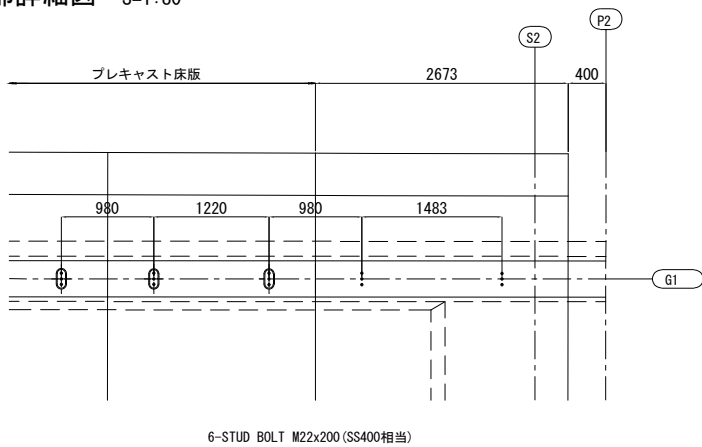
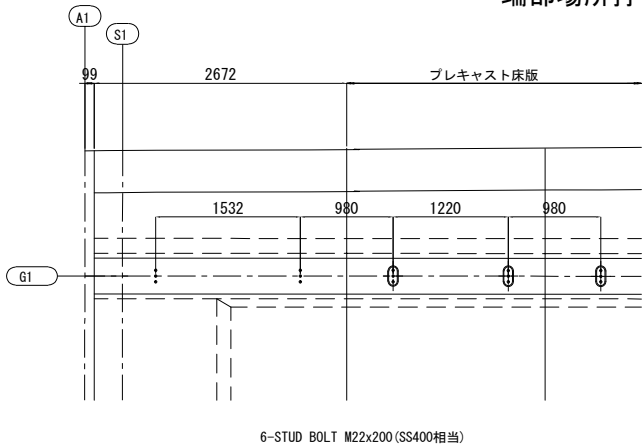
側面図 S=1:20



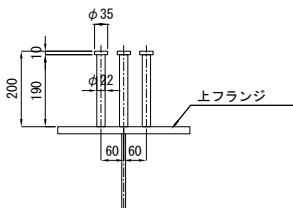
断面図 S=1:20



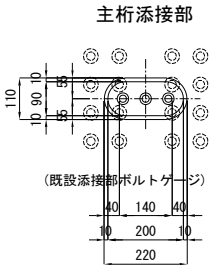
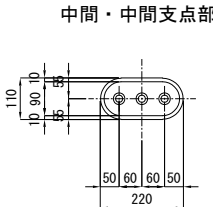
端部場所打ち床版部詳細図 S=1:80



スタッド詳細図 S=1:20



平面図 S=1:20



プレキャスト床版部スタッド本数(1箇所当り)

		本数	対象箇所
中間・中間支点部(床版 No.)		3本	1～35
添接部	G1	3本	J1, J2, J3, J5, J6
	G2		J1, J2, J3, J5, J6
	G3		J1, J2, J3, J5, J6
	G4		J1, J2, J3, J5, J6

スタッド本数集計

		G1		G2		G3		G4		合計	
		箇所数	本数	箇所数	本数	箇所数	本数	箇所数	本数	箇所数	本数
現場打ち床版端部	-	-	12	-	12	-	12	-	12	-	48
	中間・中間支点部	65	195	65	195	65	195	65	195	260	780
プレキャスト床版部	添接部	5	15	5	15	5	15	5	15	20	60
	合計		222		222		222		222		888

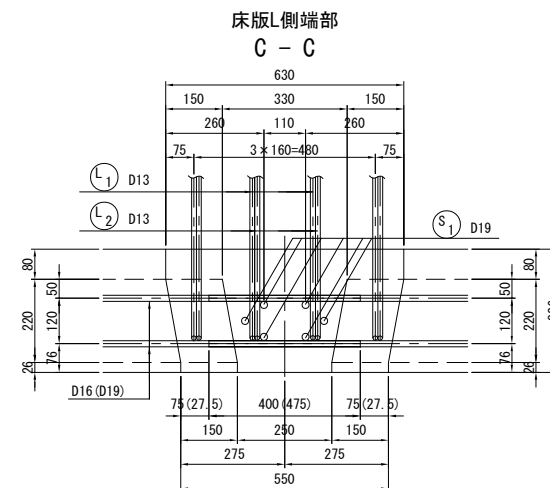
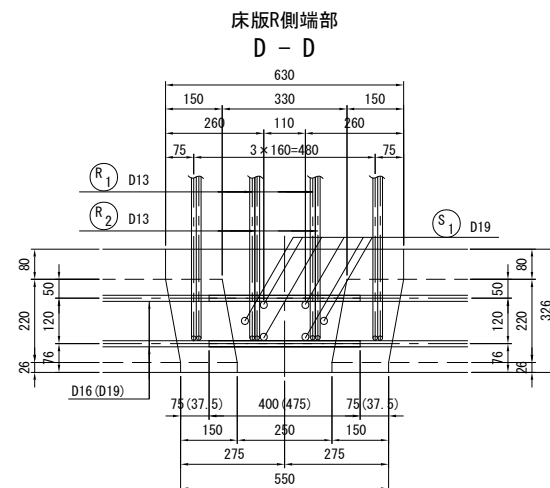
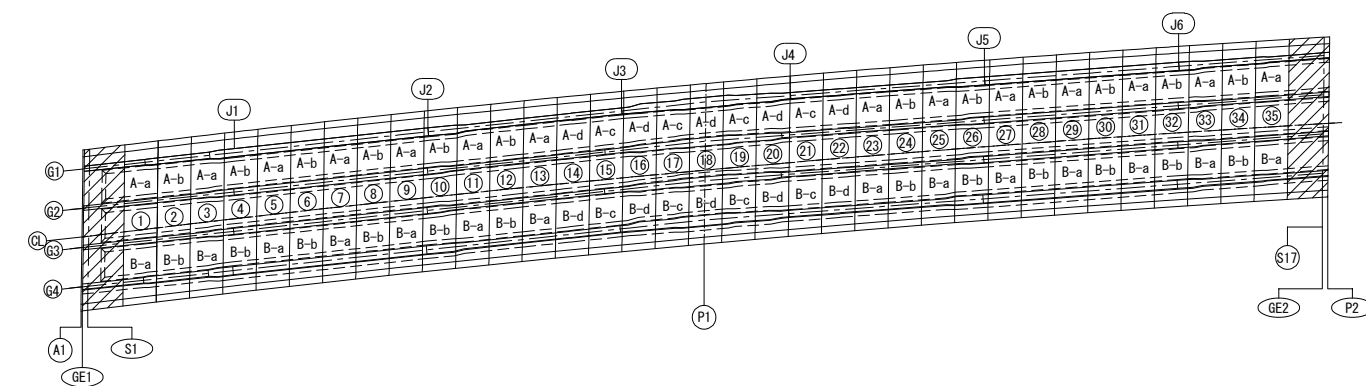
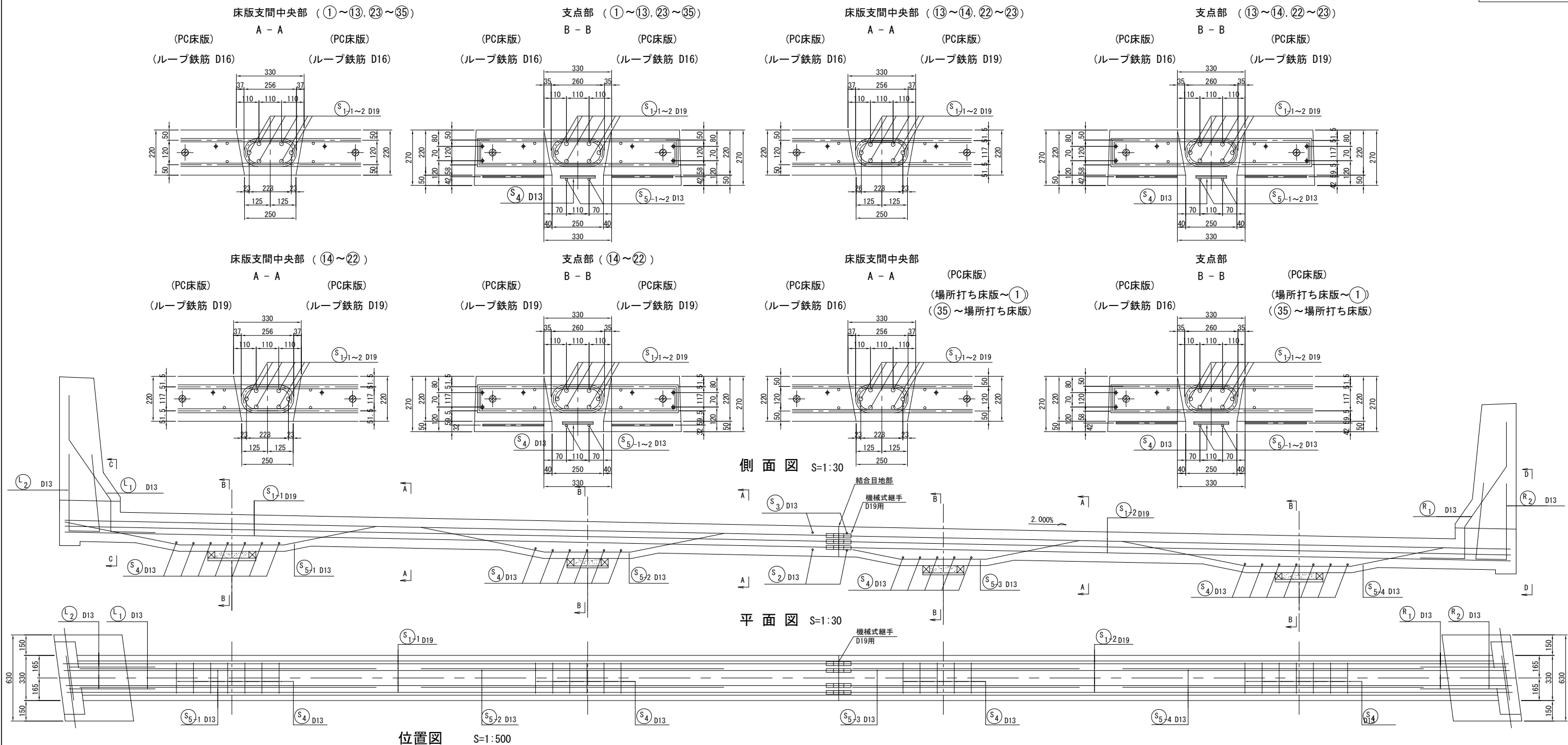
注記

1. ※主桁添接板のボルトとスタッドが干渉しないよう、調整すること。

常磐自動車道 宮田川橋床版取替工事			
図面の種類	宮田川橋(下り線) A1～P2間スタッド詳細図		
縮尺	図示	図面番号	17 / 165
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

宮田川橋(下り線) A1~P2間接合部配筋図(その1) S=1:20

18 / 165



注記  
1. 鉄筋はエポキシ樹脂塗装とする。  
但し、機械式継手挿入部は無塗装とする。

常磐自動車道	宮田川橋(下り線)
宮田川橋床版取替工事	A1~P2間接合部配筋図(その1)
図面の種類	縮尺 図示 図面番号 18 / 165
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社
事務所名	水戸管理事務所







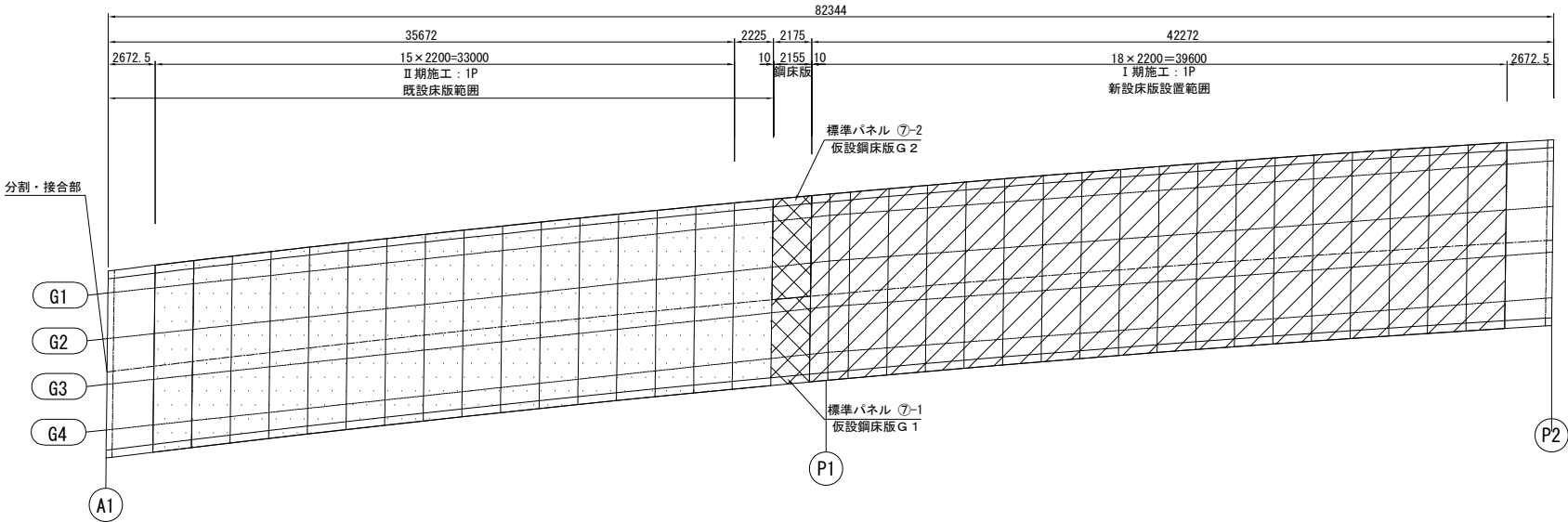




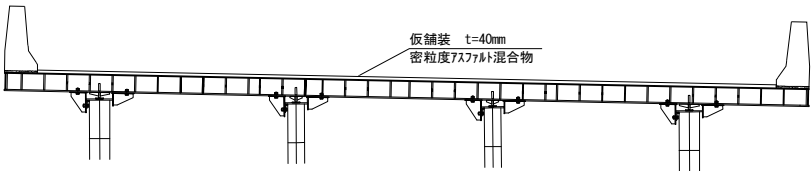
<< A1～P2間 >>

平面図

S=1:400



標準断面図 S=1:100



仮設鋼床版数量表

名 称	パネル番号	種 別	備 考
仮設鋼床版 G 1	標準パネル ⑦-1	TypeG	製作1基
仮設鋼床版 G 2	標準パネル ⑦-2		

仮設 壁高欄

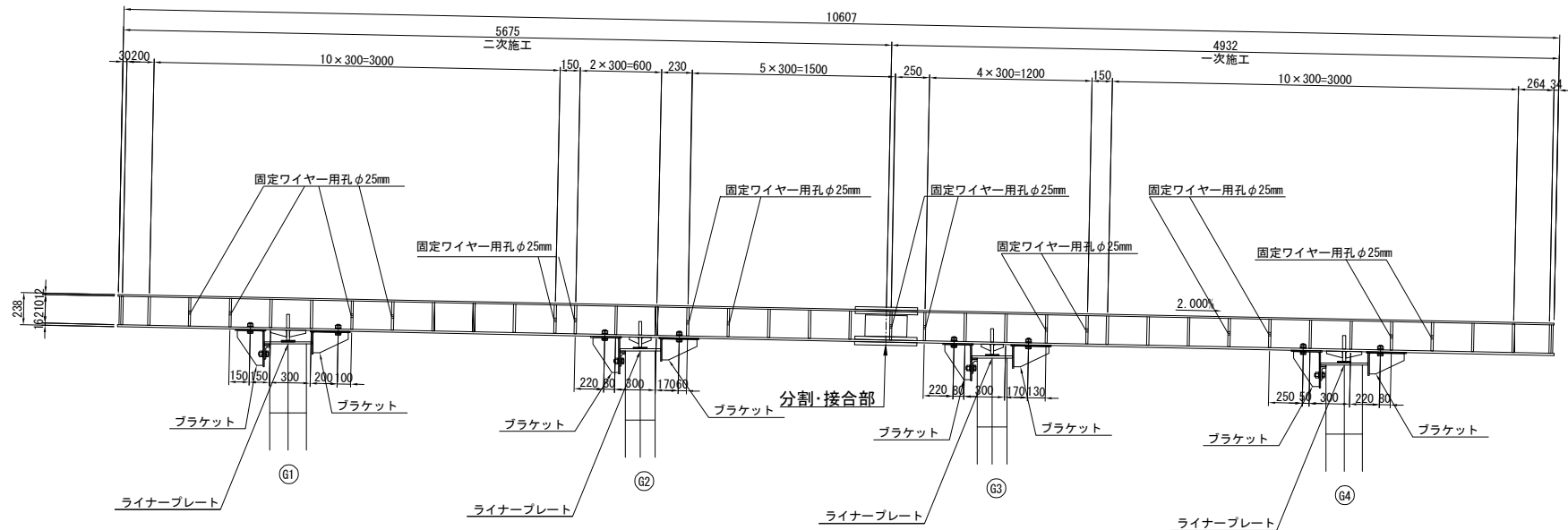
種 別	仕 様	数 量	単 位	備 考
仮設剛性防護欄	SC種	4.4	m	

常磐自動車道 宮田川橋床版取替工事			
図面の種類	宮田川橋(下り線) A1～P2間仮設鋼床版配置図		
	縮 尺	図 示	図面番号 23 / 165
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水 戸 管 理 事 務 所		

TypeG

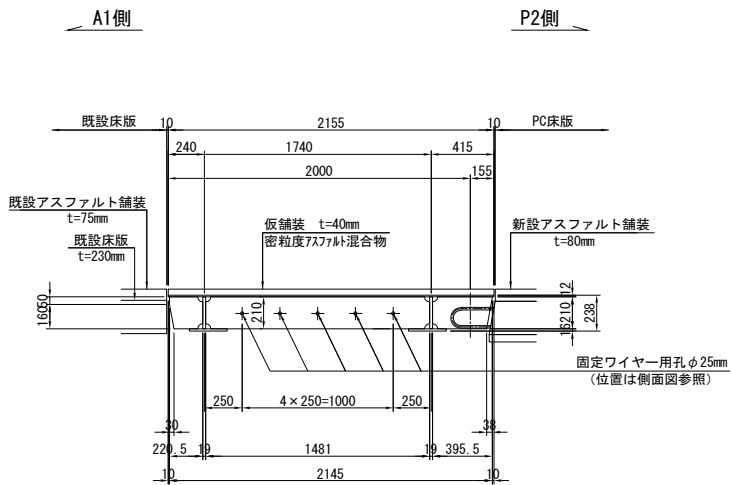
側 面 図

C - C

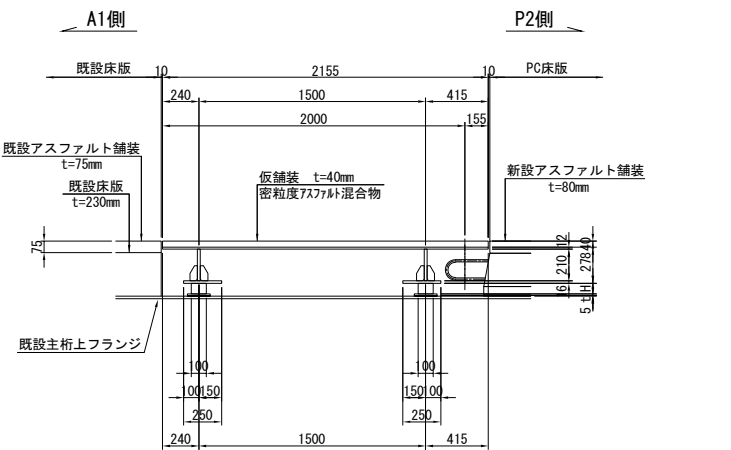


断 面 図

A - A



B - B



	TypeG	
	H	t
G1	70	6
G2	75	7
G3	75	8
G4	80	9

TypeG鋼床版材料 ( 1 箇所)  
1 - Deck PL 2155 x 12 x 10607  
2 - Web PL 210 x 19 x 10587  
2 - Flg PL 250 x 16 x 10607  
38 - Rib PL 210 x 16 x 221  
2 - Support PL 70 x 22 x 100  
4 - Support PL 75 x 22 x 100  
2 - Support PL 80 x 22 x 100  
16 - Support PL 50 x 22 x 100  
38 - Rib PL 210 x 16 x 1481  
38 - Rib PL 210 x 16 x 396  
16 - Rib PL 50 x 12 x 70

TypeG鋼床版材料 ( 1 箇所)  
2 - Liner PL 100 x 6 x 150 (SS400)  
2 - Liner PL 100 x 7 x 150 (SS400)  
2 - Liner PL 100 x 8 x 150 (SS400)  
2 - Liner PL 100 x 9 x 150 (SS400)  
8 - ゴム PL 100 x 5 x 150 (ケルミル)

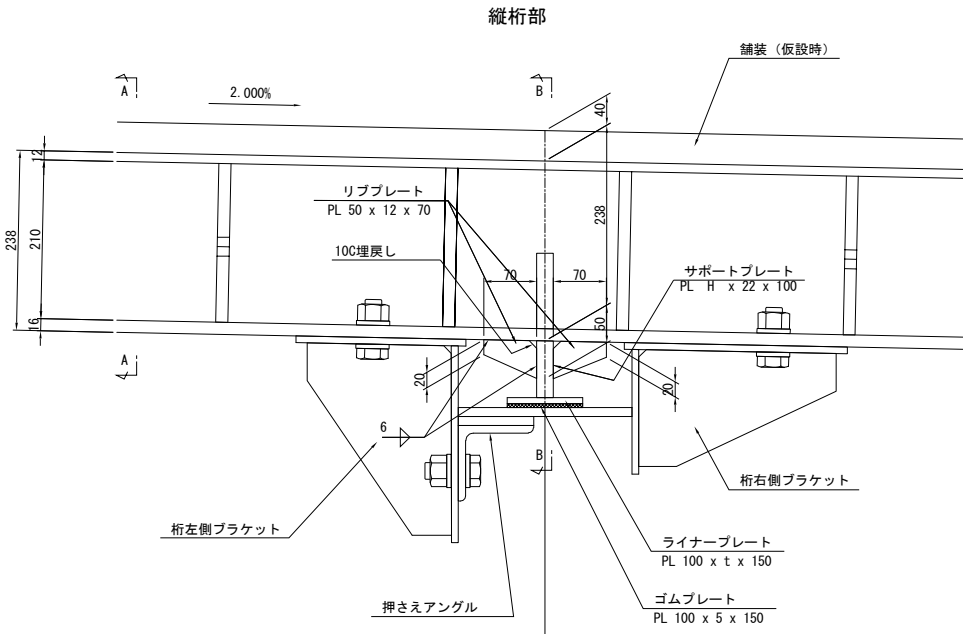
塗装数量表

	単位	TypeG	備 考
素地調整	m2	100.4	
一般外面	m2	77.5	無機ジंकリッチ
高力ボルト接合部 (外面)	m2	23.0	無機ジंकリッチ
高力ボルト頭部	m2	0.2	有機ジंकリッチ

- 注記) 1.  $\oplus$  は六角高力ボルトM22 (F10T) を示す。  
2. 高力ボルトの孔径はφ24.5とする。  
3. 特記なき材質は全てSM400Aとする。  
4. 全ての材料は仮設材とする。  
5. 一次施工と二次施工の範囲に合わせた分割及び接合等について適切な検討を行うこと。

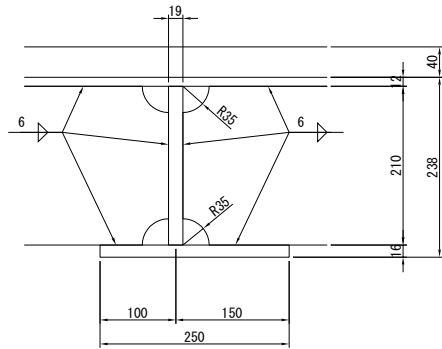
常磐自動車道 宮田川橋床版取替工事			
図面の種類	宮田川橋(下り線) A1～P2間仮設鋼床版詳細図(その1)		
縮 尺	図 示	図面番号	24 / 165
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水 戸 管 理 事 務 所		

既設桁取合部詳細

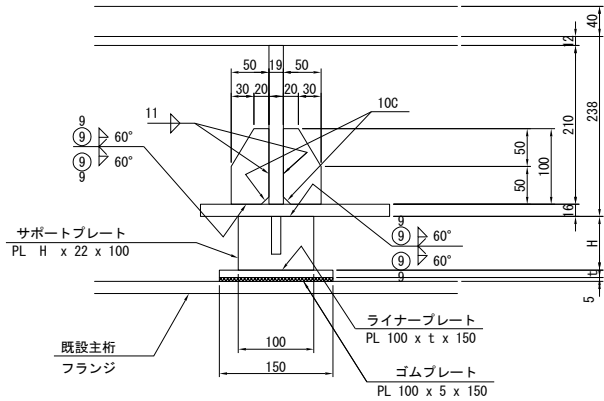


t : ライナープレート厚 (各パネル詳細図を参照のこと。)  
H : サポートプレート高 (各パネル詳細図を参照のこと。)

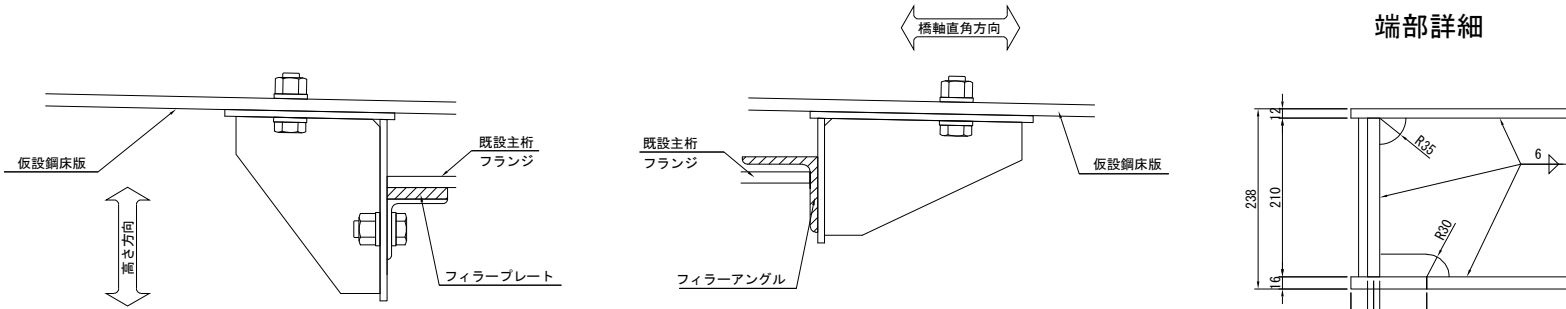
A - A



B - B

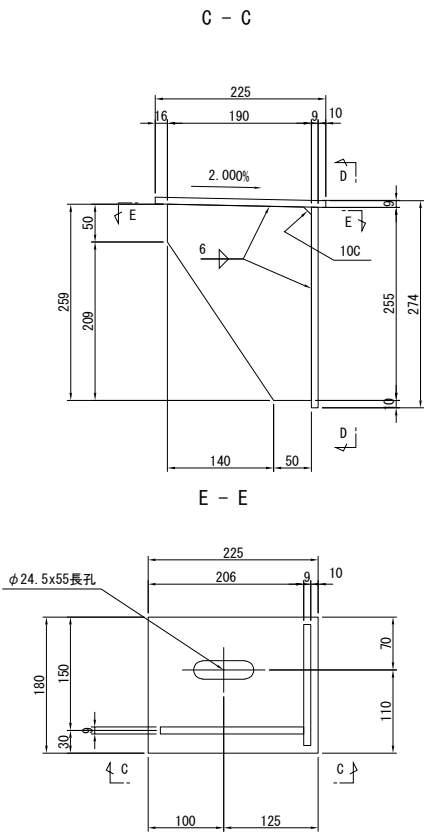


現場寸法との調整要領



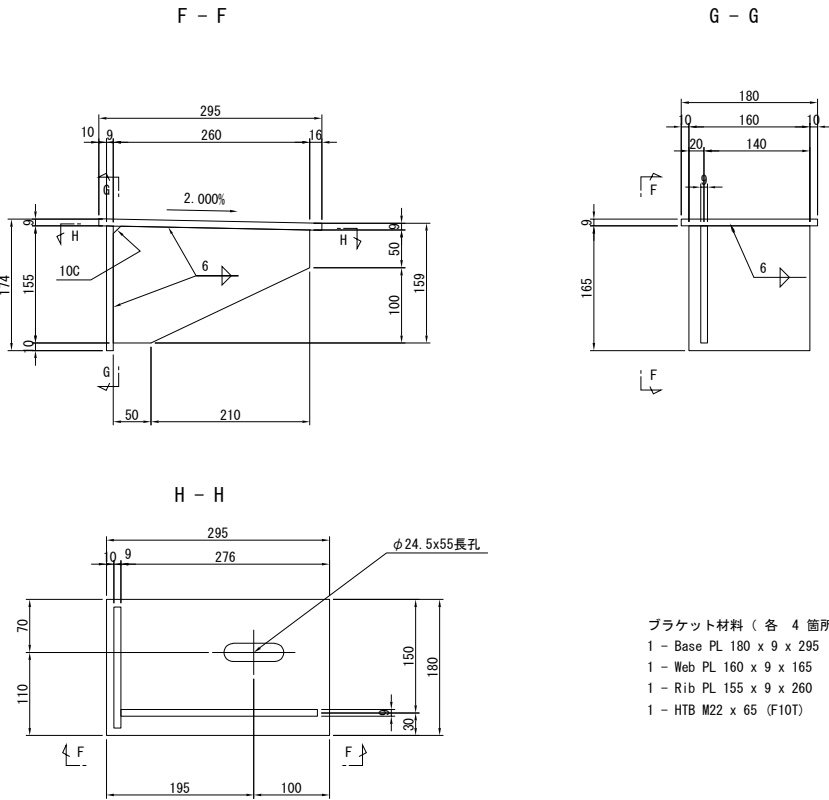
現場計測値との調整は適宜フィラープレート等を使用すること。

主桁左側ブラケット詳細



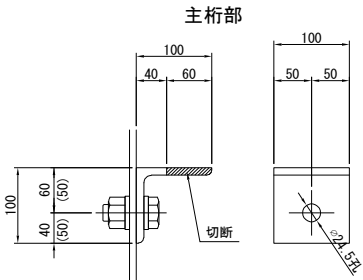
Web PLの位置が対称となる部材があるので注意のこと。(平面図を参照のこと。)

主桁右側ブラケット詳細



Web PLの位置が対称となる部材があるので注意のこと。(平面図を参照のこと。)

押さえアングル詳細



現場計測値との調整で ( ) 内の寸法を使用してもよい。  
押さえアングル材料 ( 各 4 箇所 )  
1 - L 100 x 100 x 10 x 100 (SS400)

- 注記
1. 製作前に現地で計測等の確認を行い、詳細設計を行うこと。
  2. 詳細設計においては床版横断勾配等を考慮し、部材寸法等を決定すること。
  3. 中 は六角高力ボルトM22 (F10T)を示す。
  4. 高力ボルトの孔径はφ24. 5とする。
  5. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
  6. 全ての材料は仮設材とする。
  7. ブラケットは本図と対称に製作する部材もあるので注意すること。

常磐自動車道 宮田川橋床版取替工事			
図面の種類	宮田川橋(下り線) A1～P2間仮設鋼床版詳細図(その2)	縮 尺	図 示
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング	図面番号	25 / 165
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水 戸 管 理 事 務 所		

一箇所当り  
1-BASE PL 190×11×259  
1-BASE PL 190×11×460  
1-BASE PL 190×11×209

一箇所当り  
1-R1B PL L4×18×2282  
1-BASE PL 190×11×2228  
2-BASE PL 190×9×100  
20 TCB M22×70 (S10T)  
20 TCB M22×60 (S10T)  
2 TCB M22×L5 (S10T)  
2 TCB M22×L6 (S10T)

塗装数量表（仮設床版ブラケット撤去後）

	単位	数量	備 考
現場塗装（既設桁部）	m <sup>2</sup>	13.8	g-3, 4種

※塗装色は日本塗料工業会標準色07-40X7.5R/14(R=赤色)とする。

注記

1. 特記なき材質はSM400Aとする。
2. 特記なきはスカーラップR35とする。
3. 印はトルシア形高力ボルトM22 (S10T) を示す。

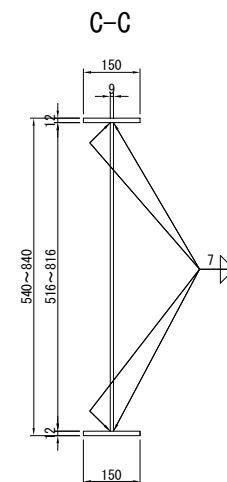
常盤自動車道 宮田川橋床版取替工事				
図面の種類	宮田川橋（下り線） A1～P2間床版床版ブラケット詳細図（その1）			
縮 尺	図 示	図面番号	26 / 165	
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所			

"c"部詳細図 S=1:10

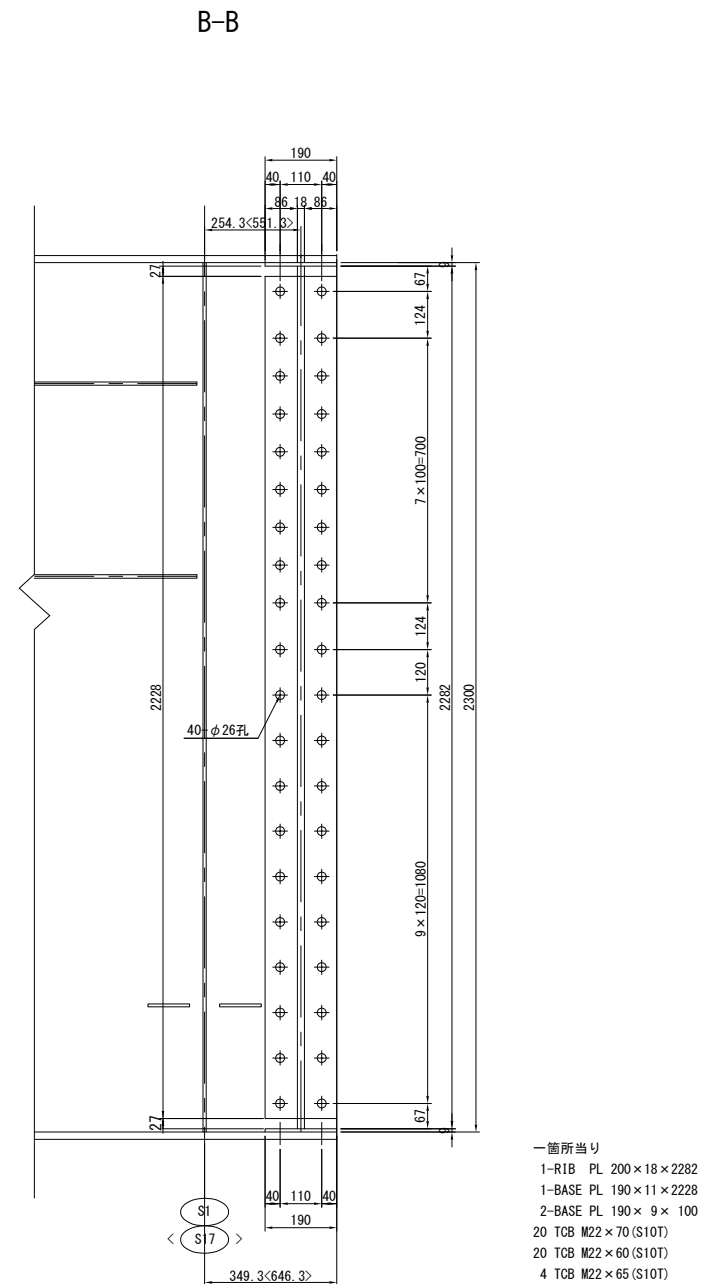
	BR6, BR11	BR7, BR10	BR8, BR9
L1	95	105	175
L2	145	155	225
L3	45	55	125
L4	170. 5	180. 5	250. 5
L5	65	65	70
L6	65	70	75

部材名	位置	板厚(mm)	箇所数(箇所)	削孔方向	鋼桁の材質	備 考
中間ブラケット	A1～P2	t≦30mm	704	水平・下向き	SM490	

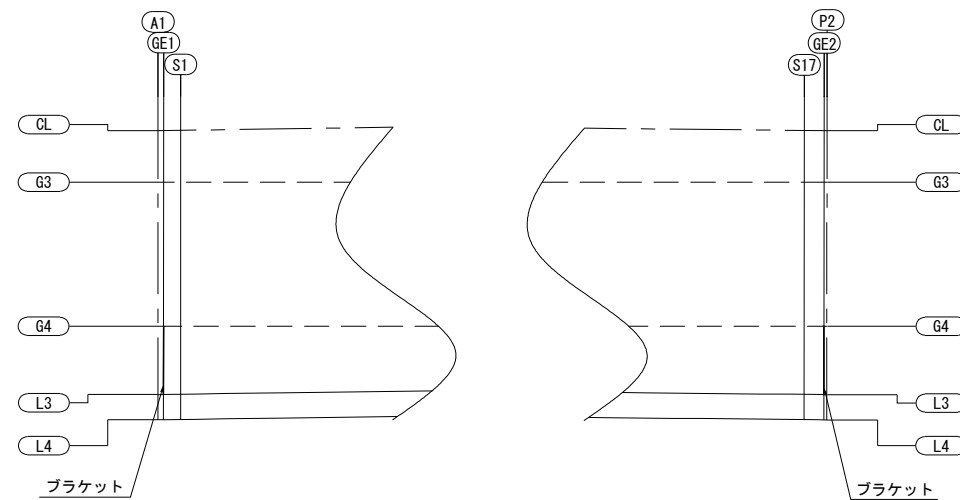
名 称	ボルト長	数量	組数	ボルト総数	単位質量	総質量	備 考
		(本)		(本)	(g/セット)	(kg)	
BR-1, 16	M22×70	20	2	40	523	20	
	M22×60	24	2	48	493	24	
BR-2, 15	M22×70	20	2	40	523	20	
	M22×60	20	2	40	493	20	
BR3～5 BR12～14	M22×65	4	2	8	508	4	
	M22×70	24	6	144	523	72	
BR-6, 11	M22×60	20	6	120	493	60	
	M22×70	20	2	40	523	20	
BR-7, 10	M22×60	20	2	40	493	20	
	M22×65	4	2	8	508	4	
	M22×70	22	2	44	523	22	
	M22×60	20	2	40	493	20	
BR-8, 9	M22×65	2	2	4	503	2	
	M22×75	2	2	4	538	2	
	M22×70	22	2	44	523	22	
	M22×60	20	2	40	493	20	
合 計				704		352	



## A-A



C-C



	単位	数量	備 考
素地調整	m2	10.5	
一般外面	m2	9.1	無機ジンクリッチ
高力ボルト接合部（外面）	m2	1.3	無機ジンクリッチ
高力ボルト頭部	m2	0.4	有機ジンクリッチ

塗装数量表（仮設床版ブラケット撤去後）			
	単位	数量	備 考
現場塗装（既設桁部）	m2	1.8	g-3, 4種

※塗装色は日本塗料工業会標準色07-40X7.5R4/14(R=赤色)とする。

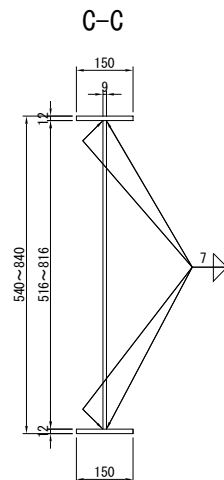
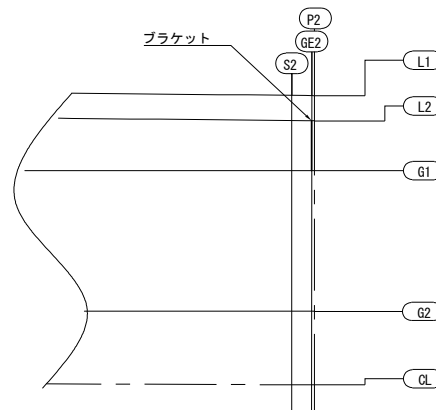
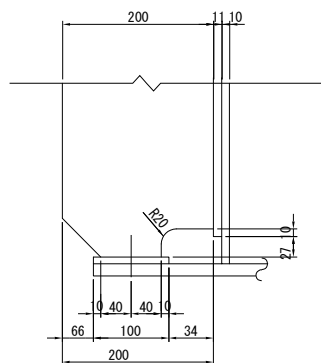
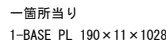
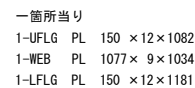
名 称	ボルト長	数量 (本)	単位質量 (g/セット)	総質量 (kg)	備 考
BEA1	M22×70	20	523	10	
	M22×65	4	508	2	
	M22×60	20	493	10	
BEP2	M22×70	20	523	10	
	M22×65	4	508	2	
	M22×60	20	493	10	
合 計				44	

常磐自動車道			
宮田川橋床版取替工事			
図面の種類	宮田川橋(下り線) A1~I2間仮設床版プラケット工詳細図(その2)		
縮 尺	図 示	図面番号	27 / 165
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

注記

1. 特記なき材質はSM400Aとする。
2. 特記なきはスカーラップR35とする。
3. 印はトルシア形高力ボルトM22(S10T)を示す。


## A-A



名 称	ボルト長	数量	単位質量	総質量	備 考
		(本)	(g/セット)	(kg)	
BEA1	M22×70	20	523	10	
	M22×65	4	508	2	
	M22×60	20	493	10	
BEP2	M22×70	20	523	10	
	M22×65	4	508	2	
	M22×60	20	493	10	
合 計				44	

常磐自動車道			
宮田川橋床版取替工事			
図面の種類	宮田川橋(下り線) A1～P2間仮設床版ラケット工詳細図(その3)		
縮 尺	図 示	図面番号	28 / 165
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水 戸 管 理 事 務 所		

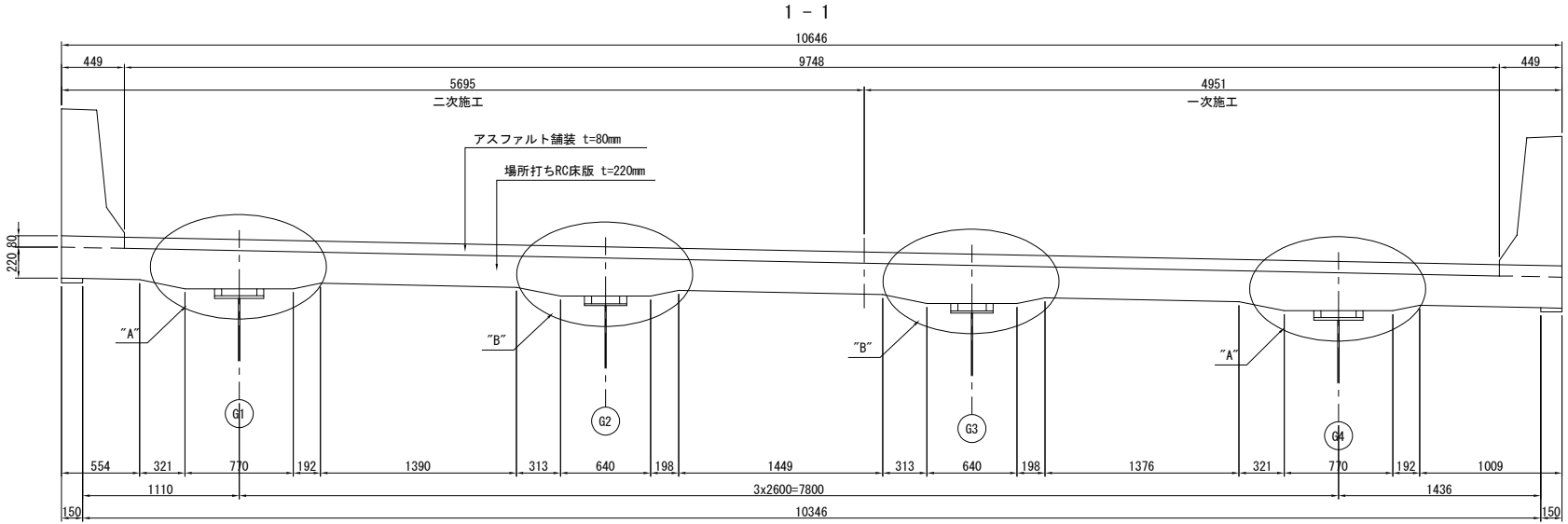
注記

1. 特記なき材質はSM400Aとする。
2. 特記なきはスカーラップR35とする。
3. 印はトルシア形高力ボルトM22(S10T)を示す。

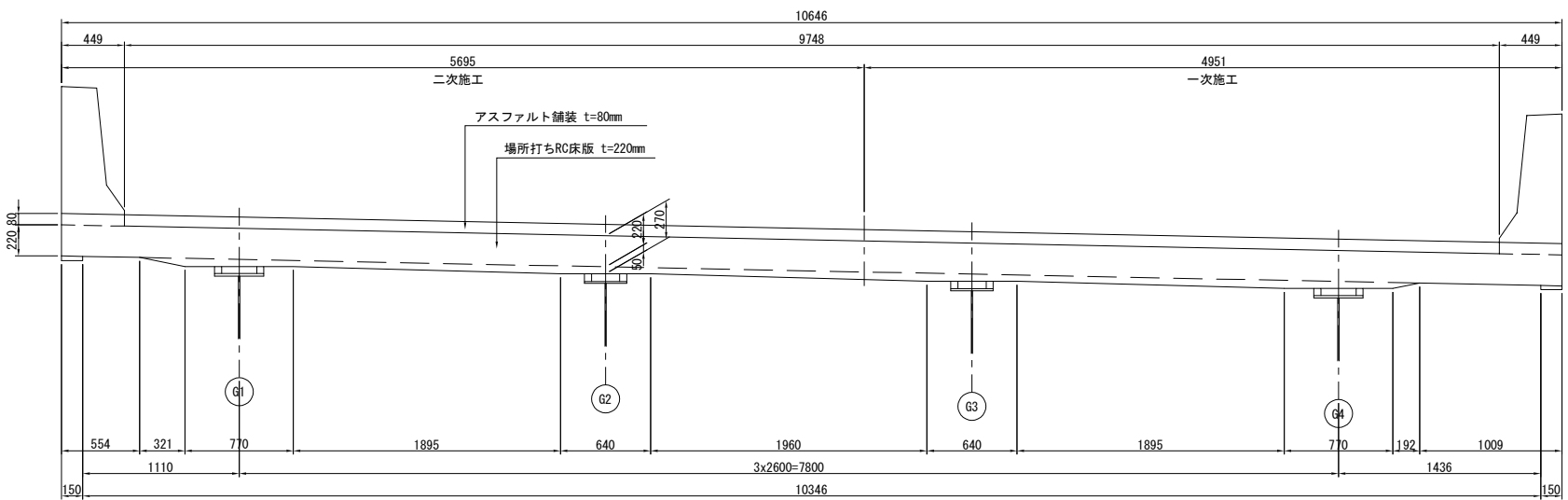


宮田川橋(下り線) A1～P2間場所打ちRC床版構造図(その1)

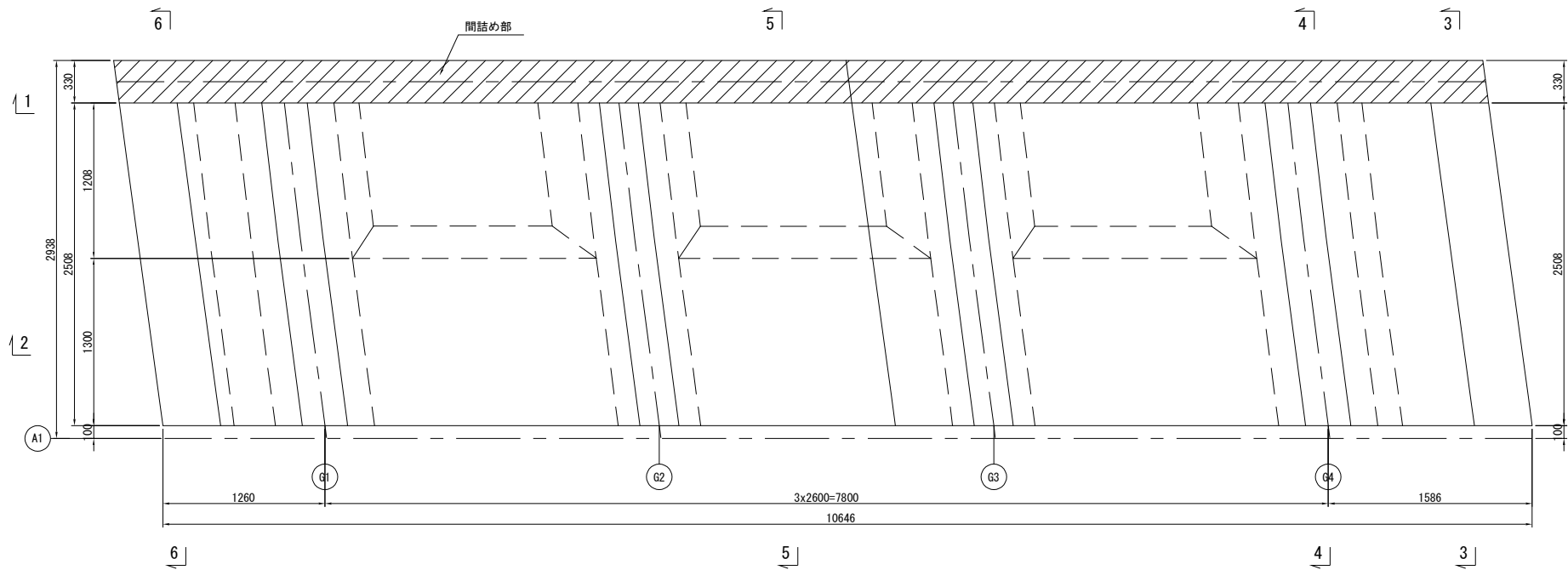
断面図【A1】 S=1:50



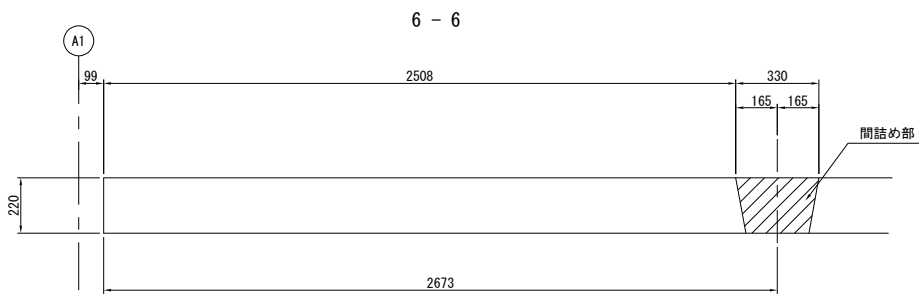
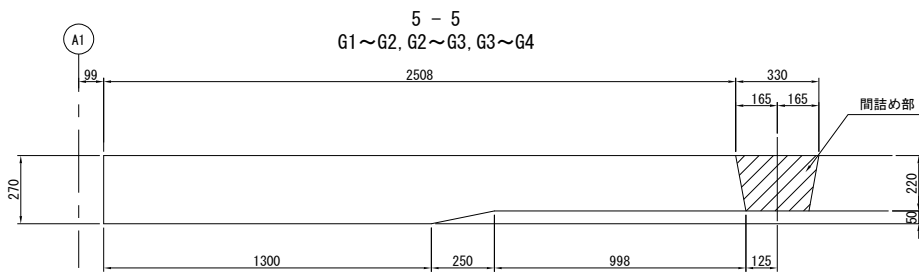
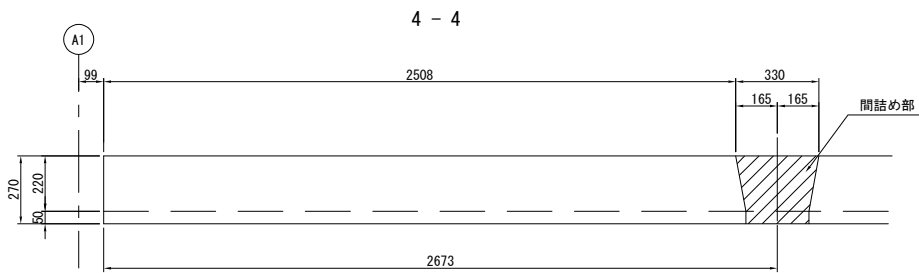
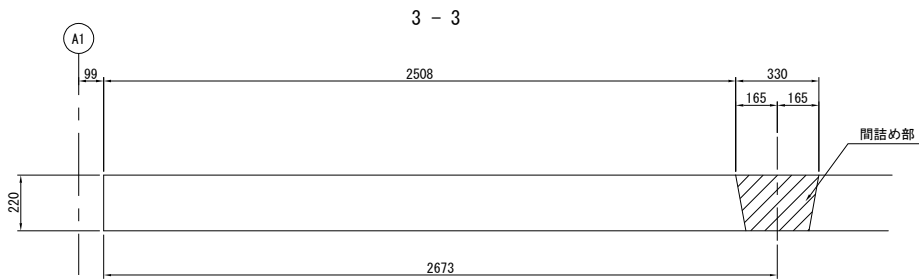
2 - 2



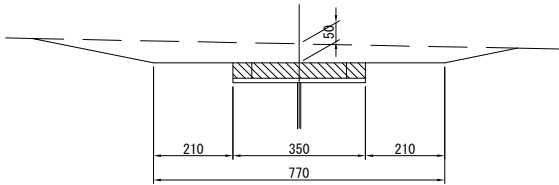
平面図【A1】 S=1:50



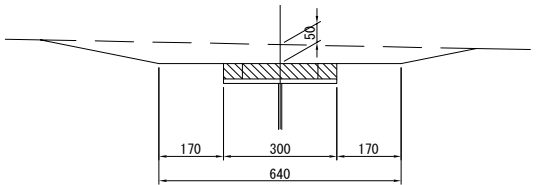
断面図 S=1:30



“A”部詳細図 S=1:20



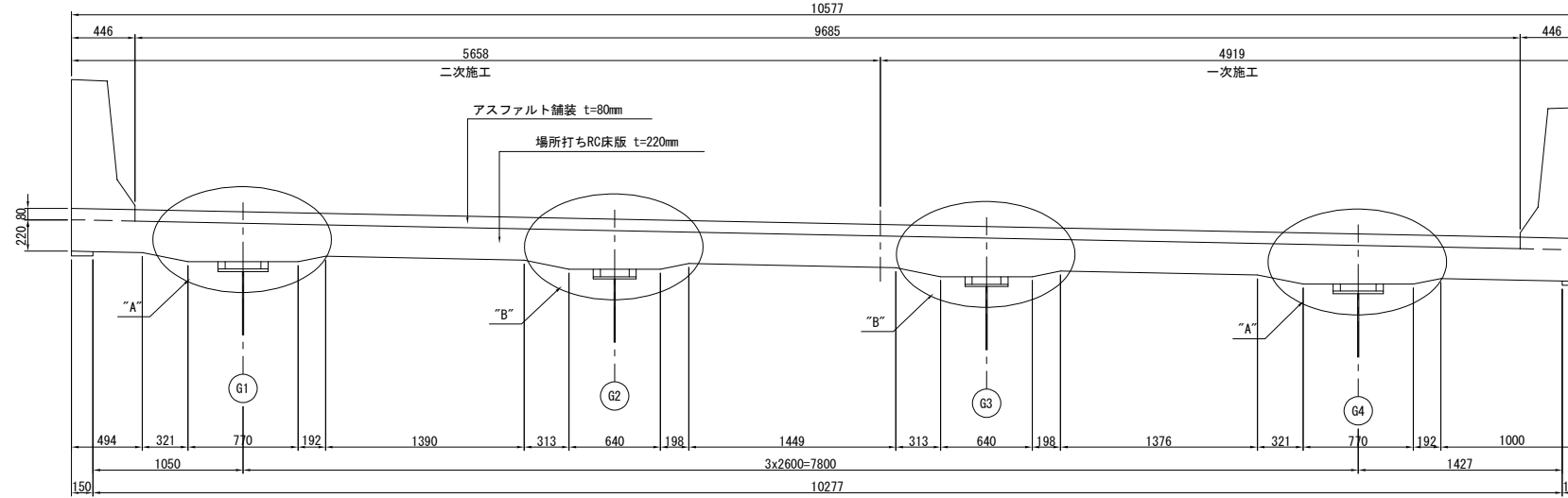
“B”部詳細図 S=1:20



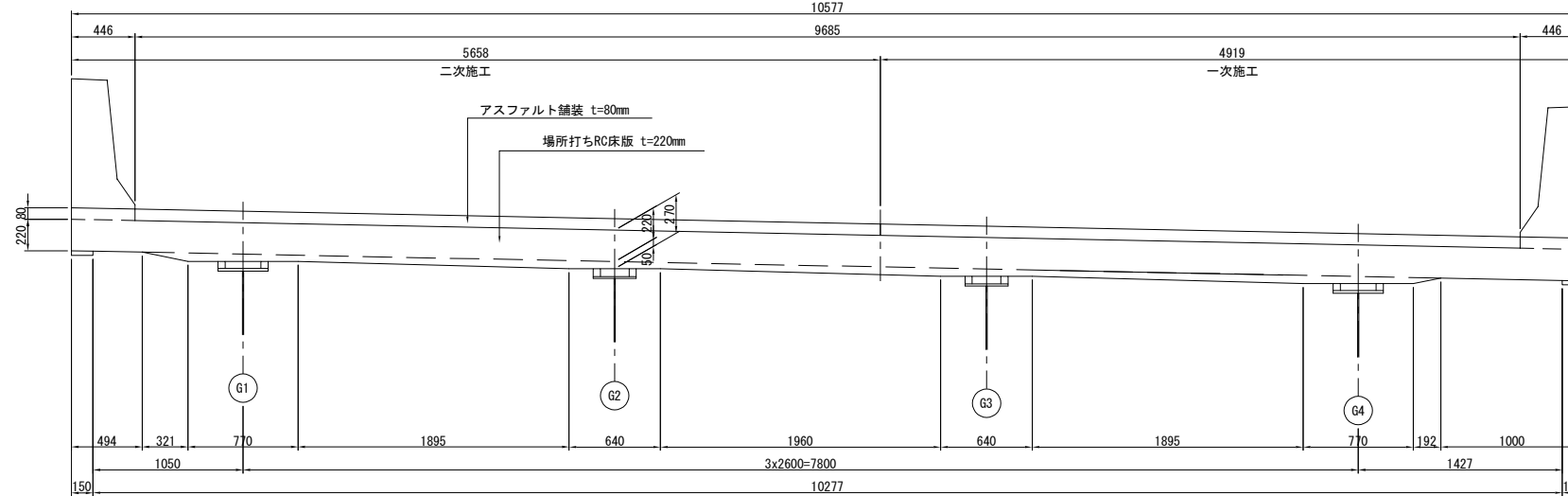
常磐自動車道 宮田川橋床版取替工事			
図面の種類	宮田川橋(下り線) A1～P2間場所打ちRC床版構造図(その1)		
縮尺	図示	図面番号	29 / 165
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

断面図 S=1:30

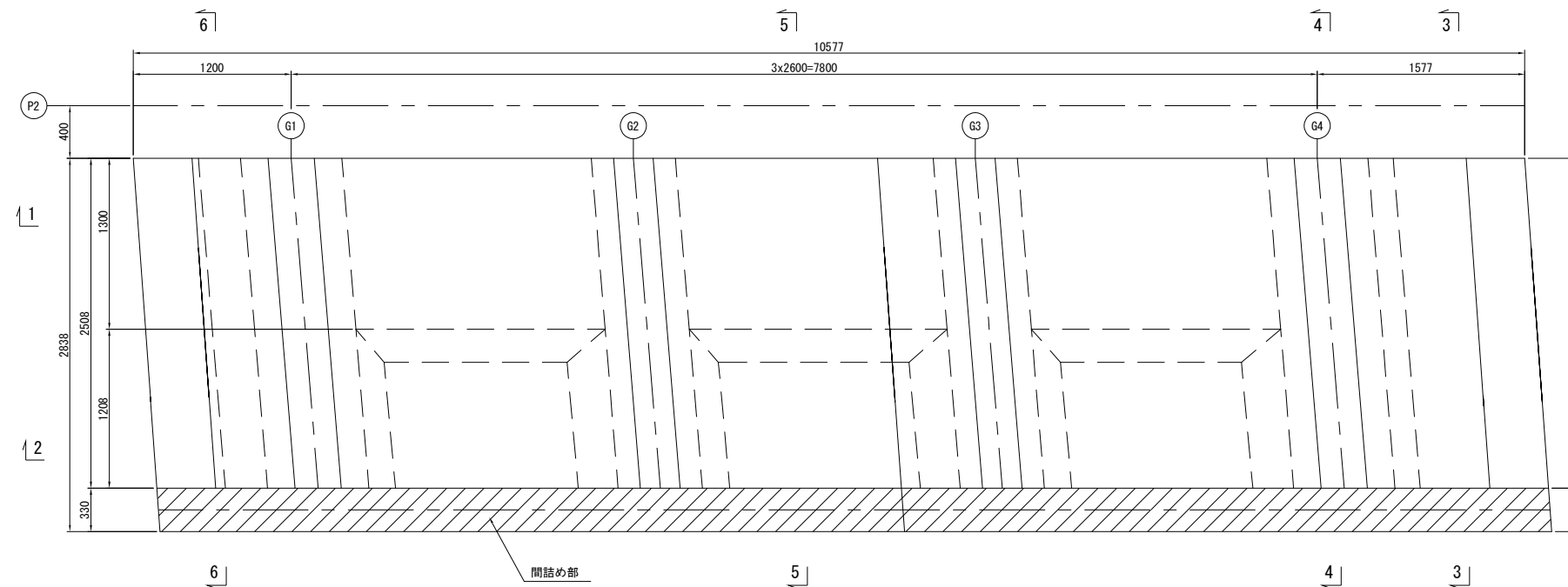
1 - 1



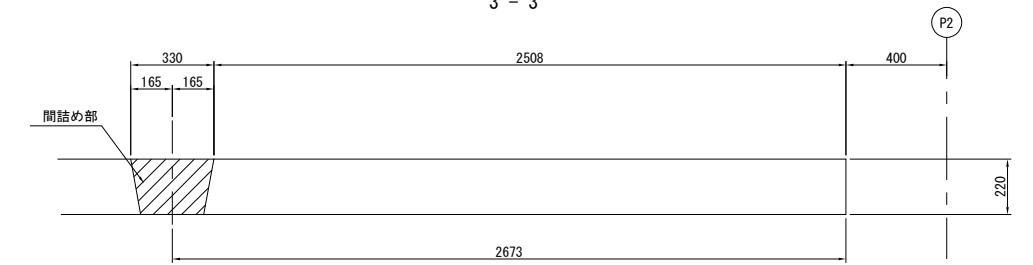
2 - 2



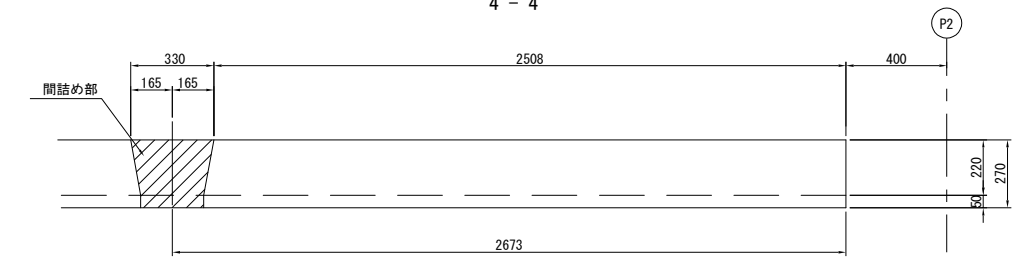
平面図【P2】 S=1:50



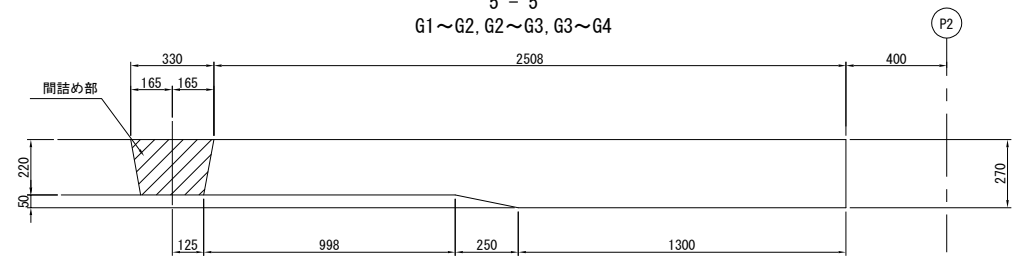
3 - 3



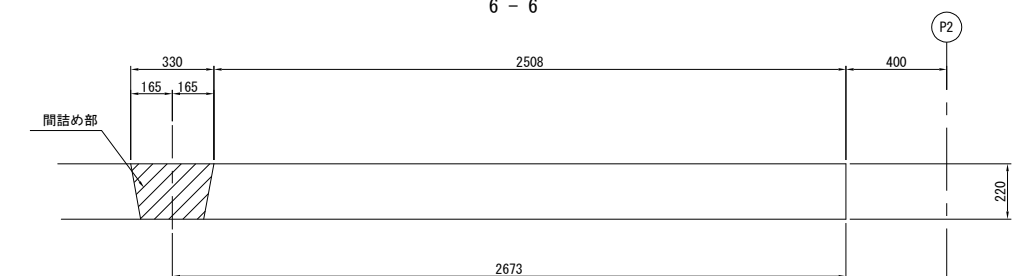
4 - 4



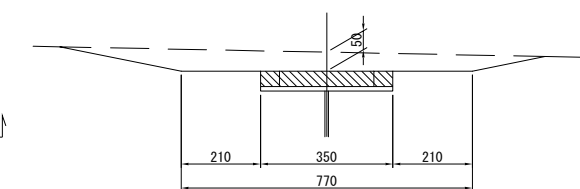
5 - 5  
G1~G2, G2~G3, G3~G4



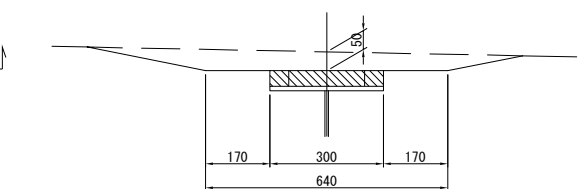
6 - 6



“A” 部 詳 細 図 S=1:20



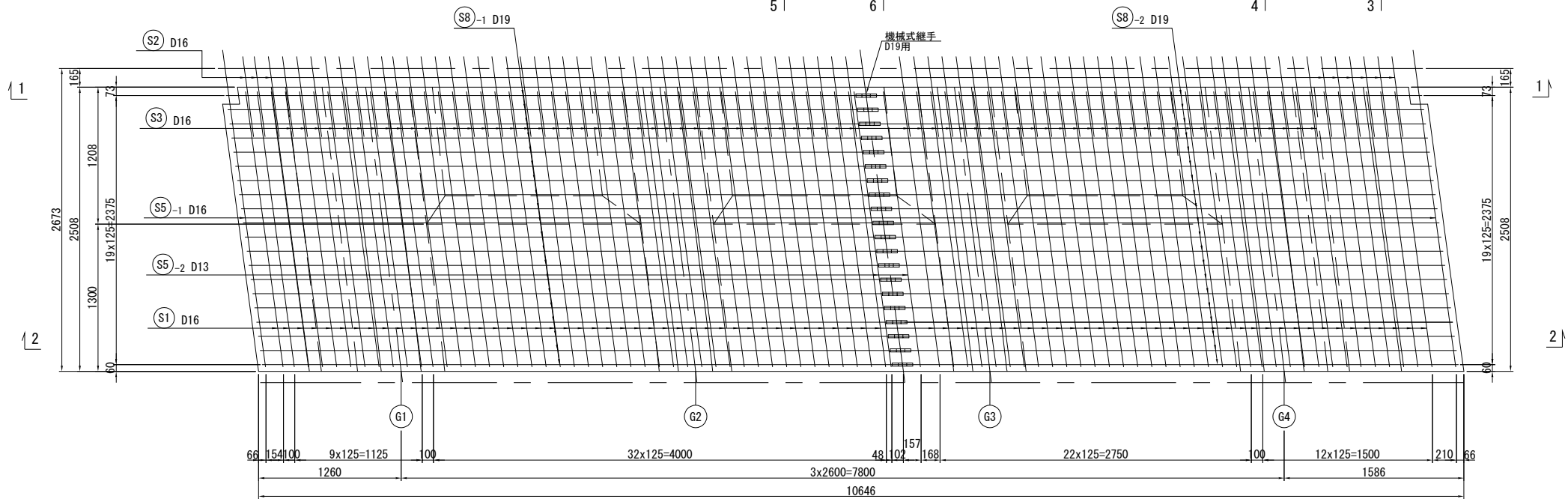
“B”部詳細図 S=1:20



常磐自動車道 宮田川橋梁取替工事			
図面の種類	宮田川橋（下り線） A1～P2間場所打ちRC床版構造図（その2）		
縮 尺	図 示	図面番号	30 / 165
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

平面図【A1】 S=1:50

上 面



下 面

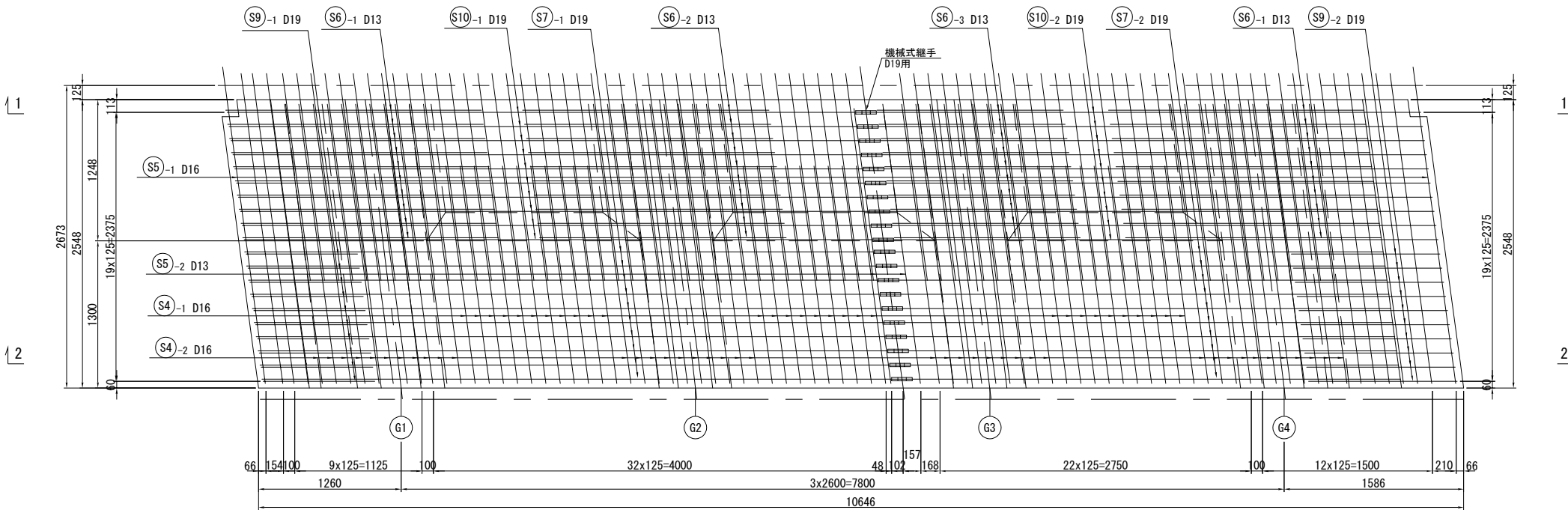
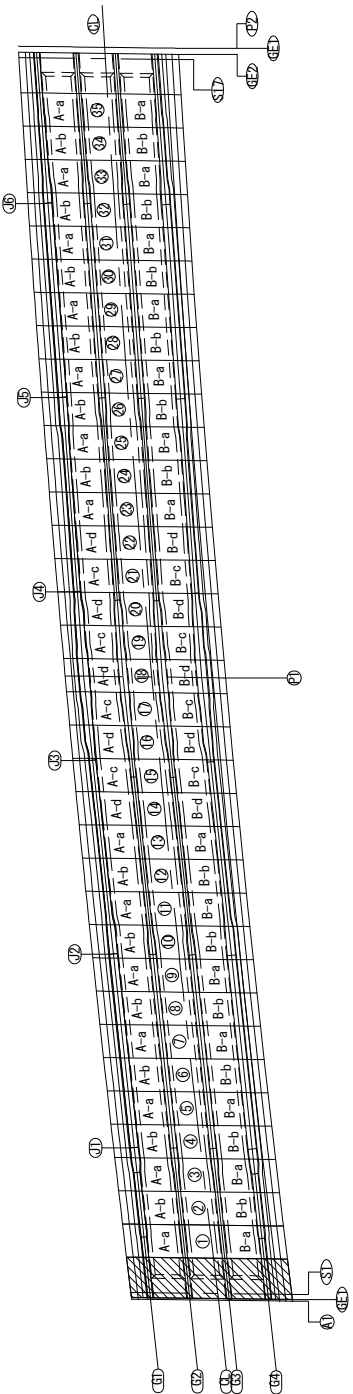


図 位 置



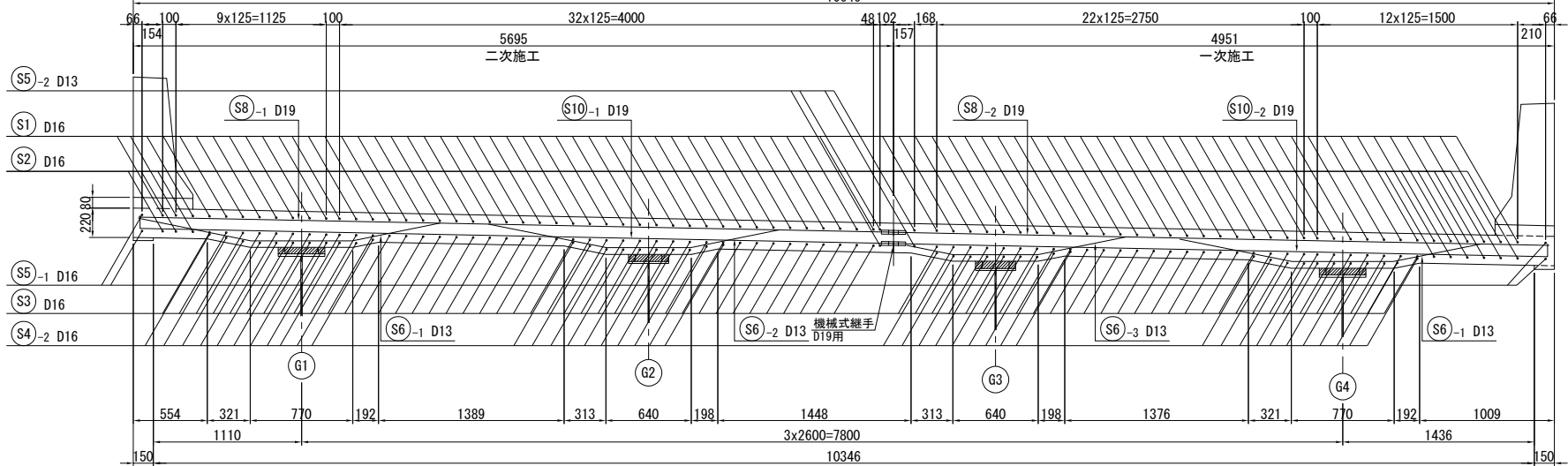
注記  
1. 鉄筋はエポキシ樹脂塗装とする。  
但し、機械式継手挿入部は無塗装とする。

常磐自動車道			
宮田川橋床版取替工事			
図面の種類	宮田川橋(下り線)		
	A1～P2間場所打ちRC床版配筋図(その1)		
縮 尺	図 示	図面番号	31 / 165
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

断面図【A1】 S=1:50

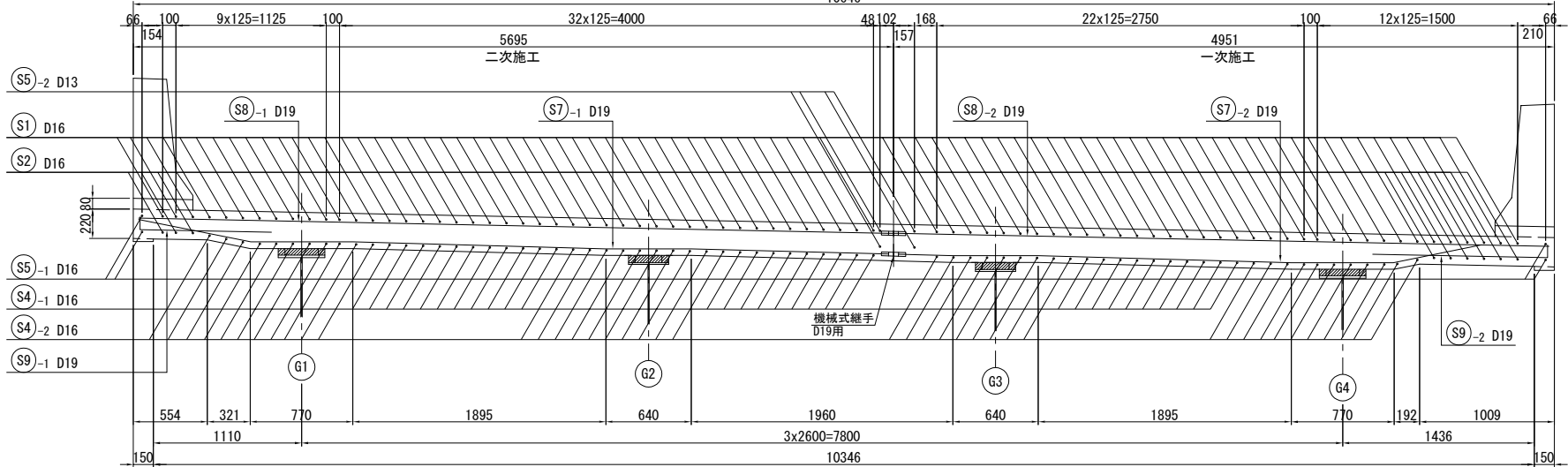
1 - 1 (橋台部)

10646

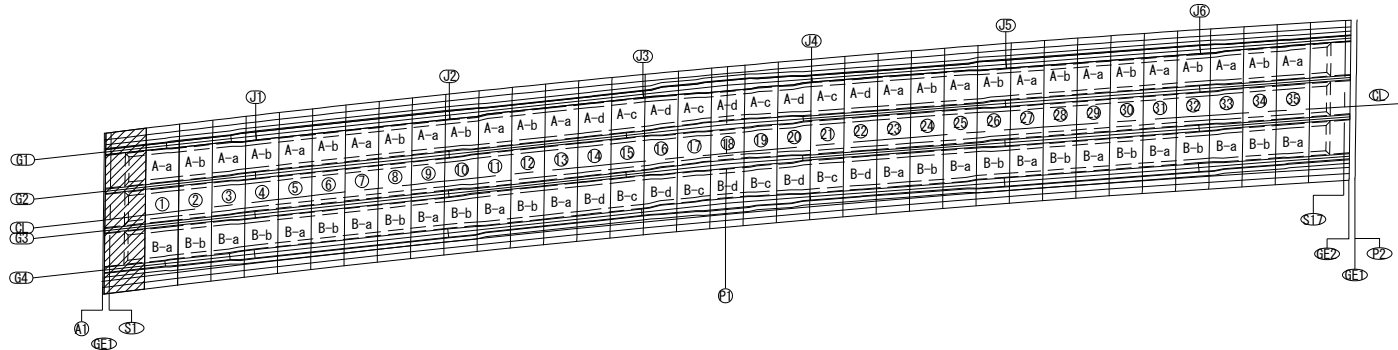


2 - 2 (桁端部)

10646

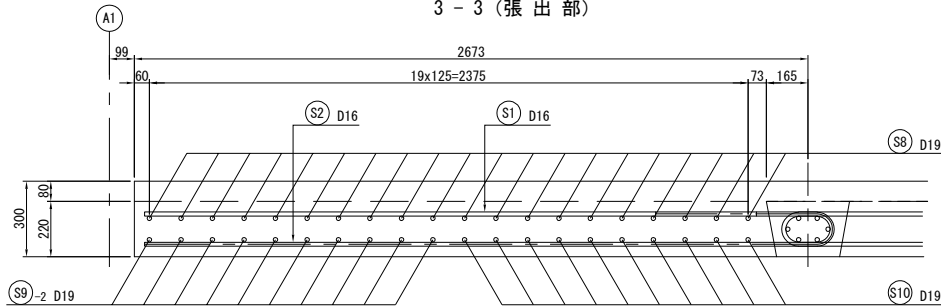


位置図

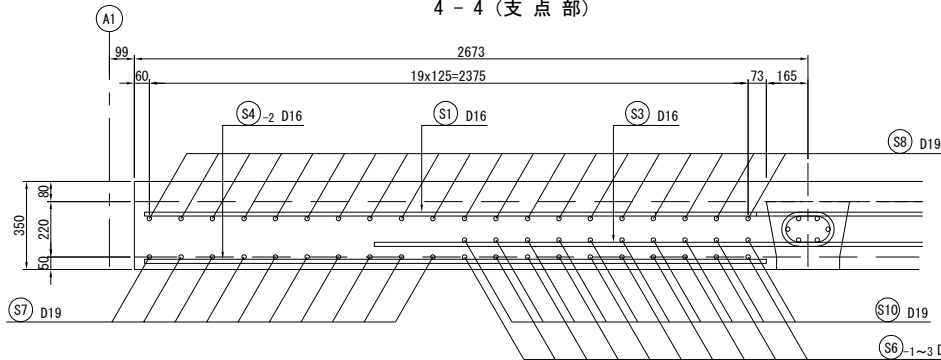


断面図 S=1:30

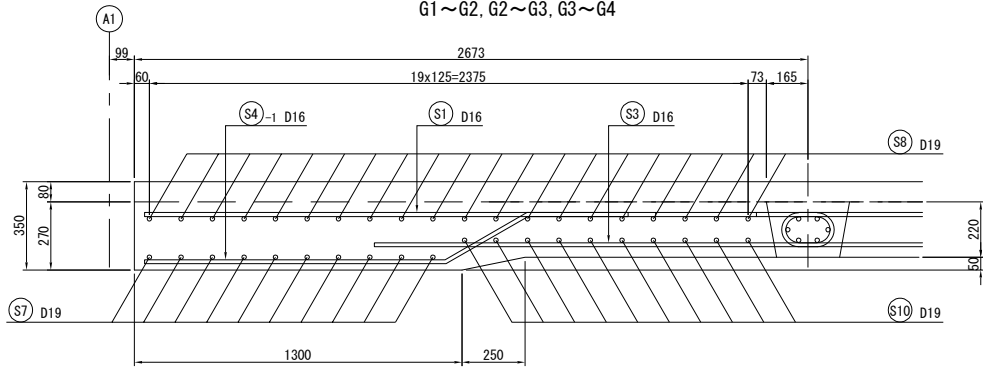
3 - 3 (張出部)



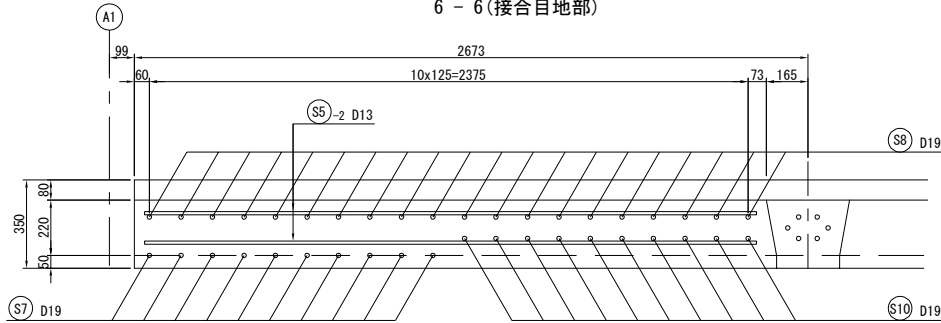
4 - 4 (支点部)



5 - 5  
G1～G2, G2～G3, G3～G4

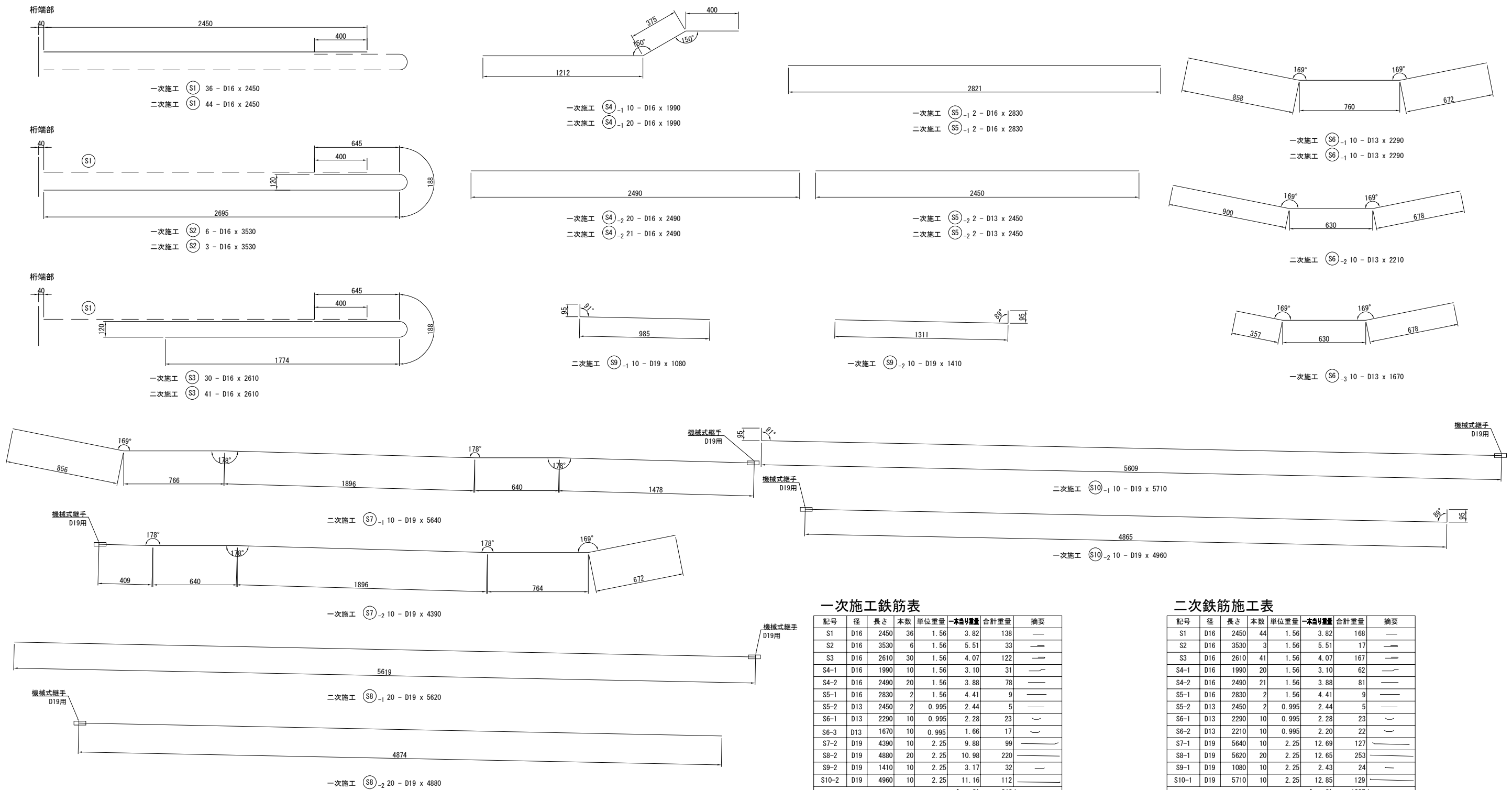


6 - 6 (接合目地部)

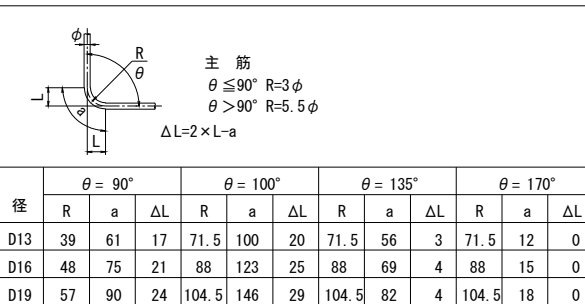


注記  
1. 鉄筋はエポキシ樹脂塗装とする。  
但し、機械式継手挿入部は無塗装とする。

常磐自動車道			
宮田川橋床版取替工事			
図面の種類	宮田川橋(下り線) A1～P2間場所打ちRC床版配筋図(その2)		
縮 尺	図 示	図面番号	32 / 165
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水 戸 管 理 事 務 所		



鉄筋曲げ加工表



### 一次施工鉄筋表

[illegible]

### 二次鉄筋施工表

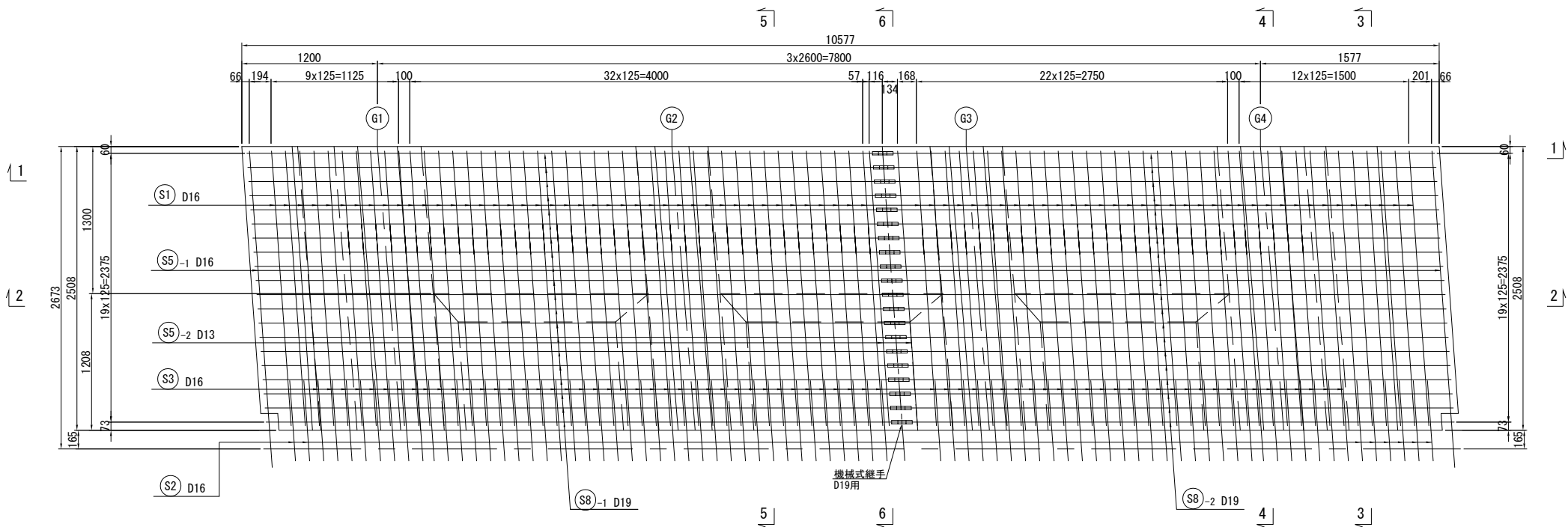
[illegible]

注記  
1. 鉄筋はエポキシ樹脂塗装とする。  
但し、機械式継手挿入部は無塗装とする。

常磐自動車道			
宮田川橋床版取替工事			
図面の種類	宮田川橋(下り線) A1～P2間場所打ちRC床版配筋図(その3)		
縮 尺	図 示	図面番号	33 / 165
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

宮田川橋(下り線) A1～P2間場所打ちRC床版配筋図(その4)

平面図【P2】 S=1:50  
上 面



下 面

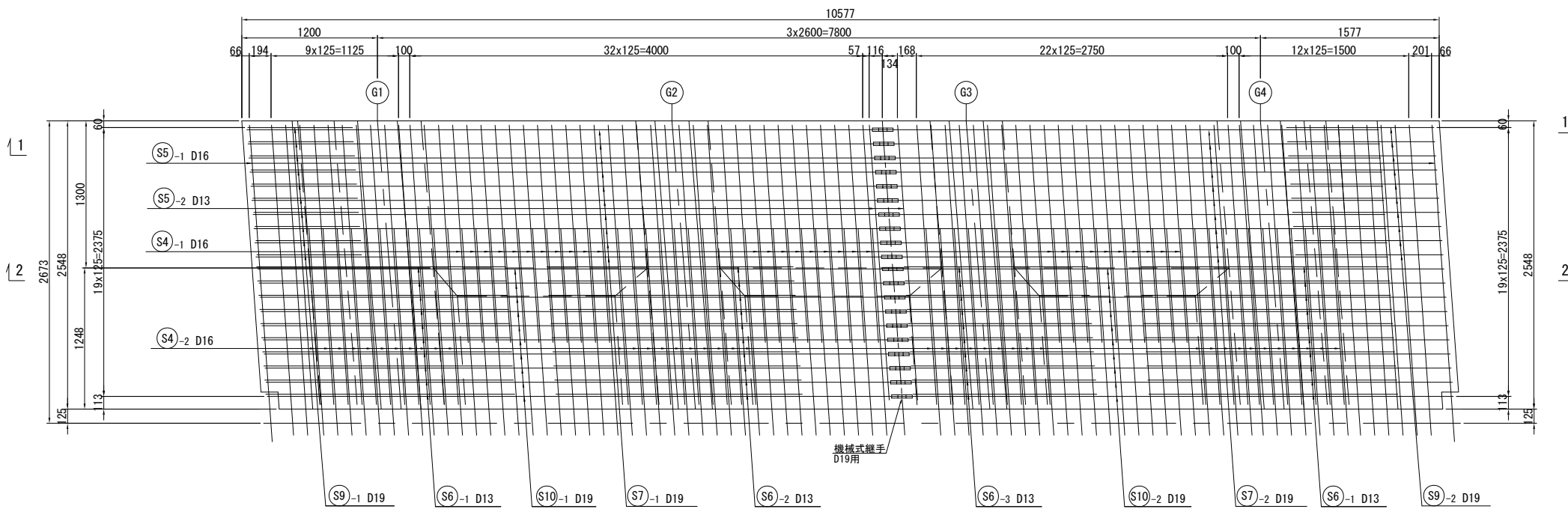
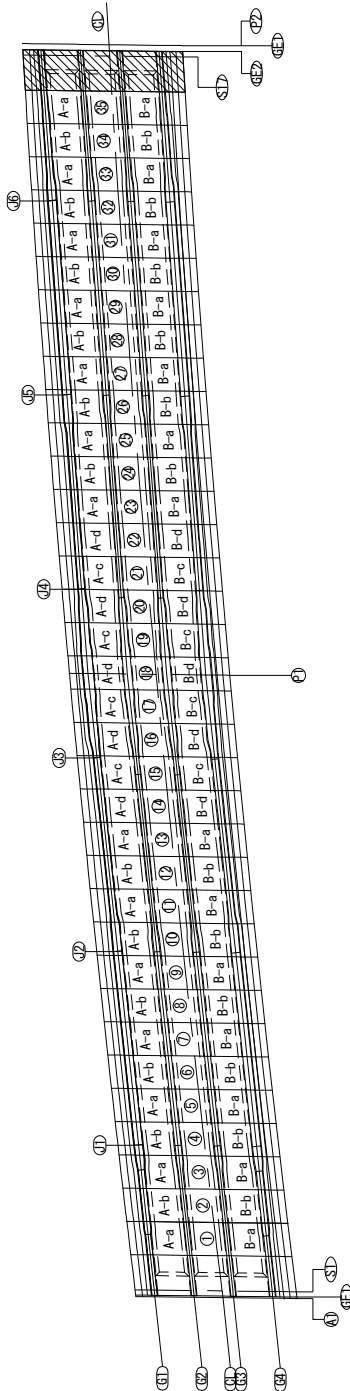


図 置 位



注記  
1. 鉄筋はエポキシ樹脂塗装とする。  
但し、機械式継手挿入部は無塗装とする。

常磐自動車道			
宮田川橋床版取替工事			
図面の種類	宮田川橋(下り線) A1～P2間場所打ちRC床版配筋図(その4)		
縮 尺	図 示	図面番号	34 / 165
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水 戸 管 理 事 務 所		

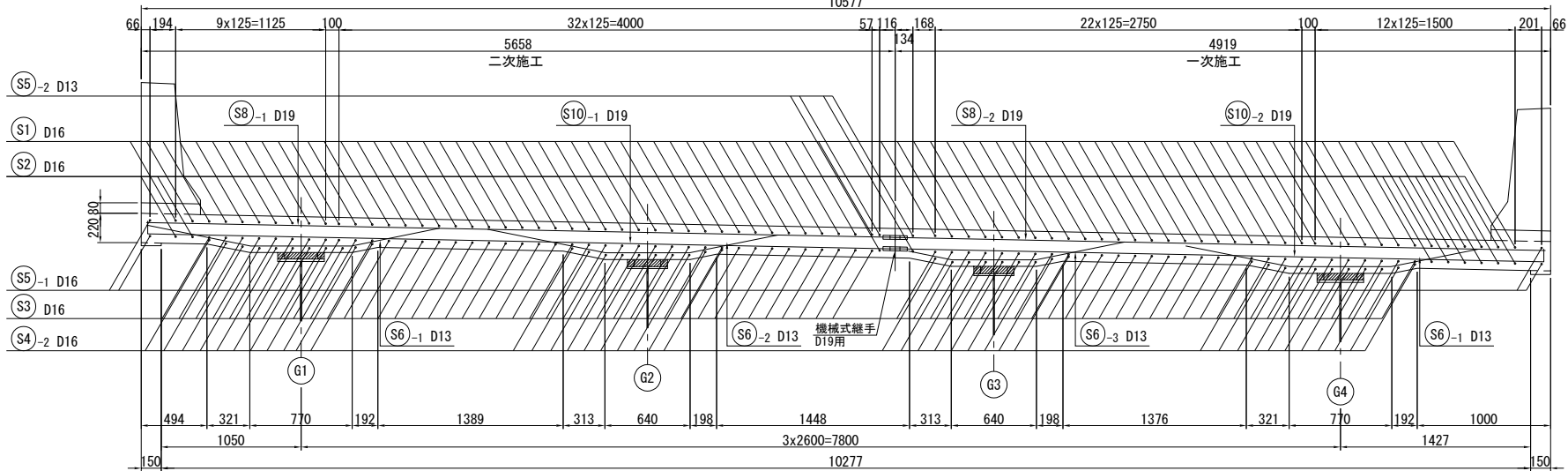
宮田川橋(下り線) A1～P2間場所打ちRC床版配筋図(その5)

35 / 165

断面図【P2】 S=1:50

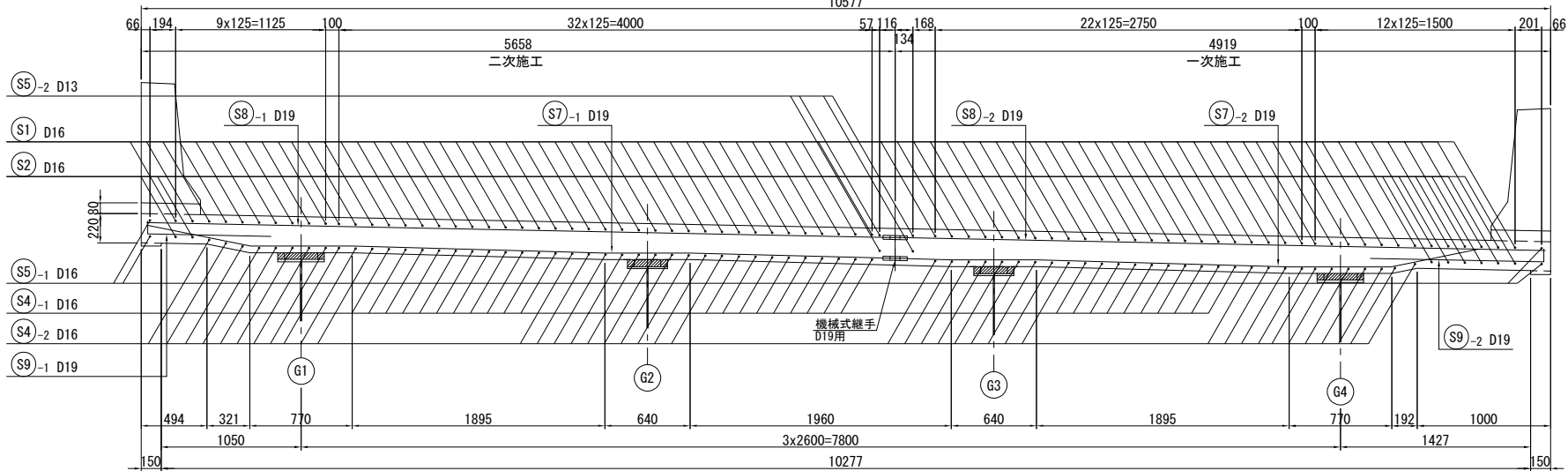
1 - 1 (橋台部)

10577

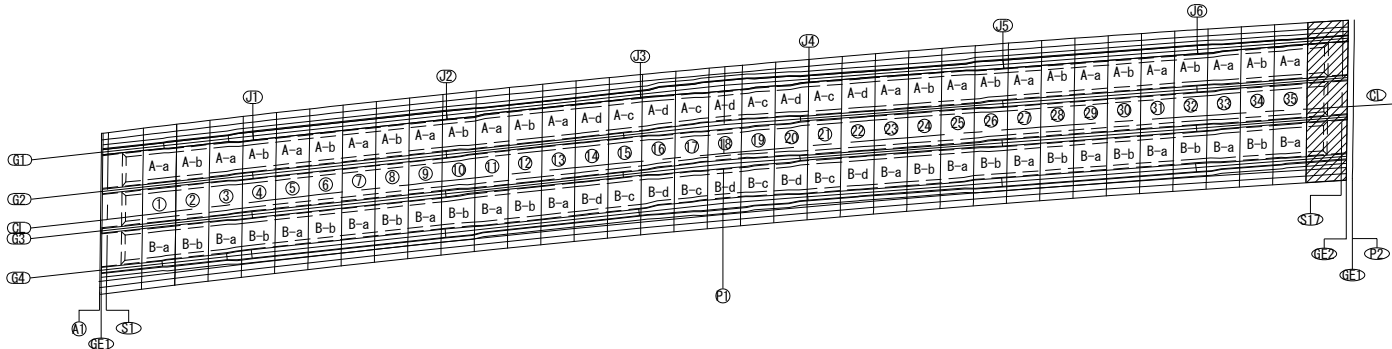


2 - 2 (桁端部)

10577

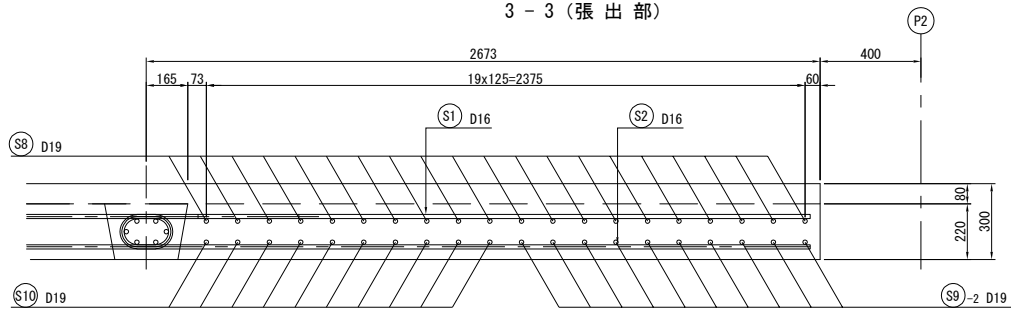


位置図

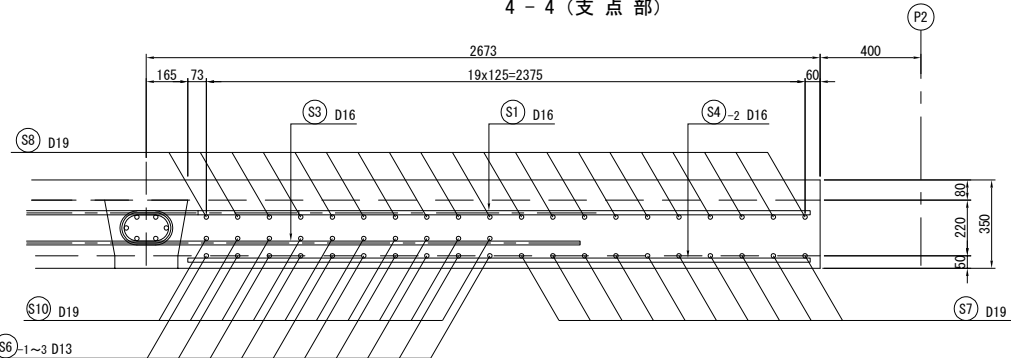


断面図 S=1:30

3 - 3 (張出部)

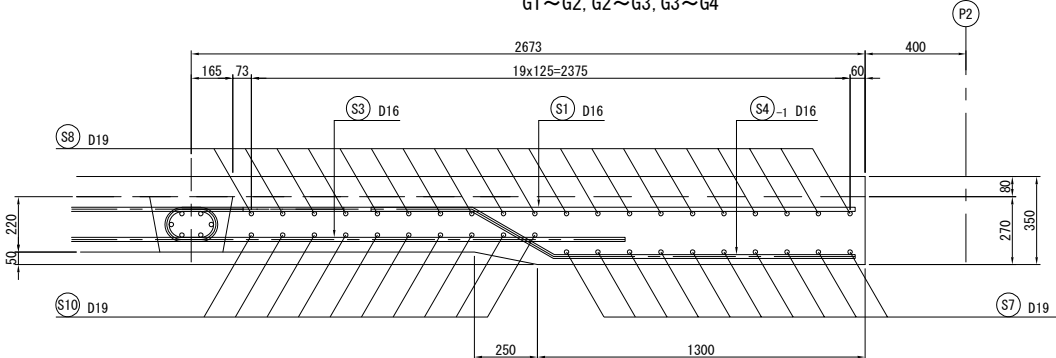


4 - 4 (支点部)

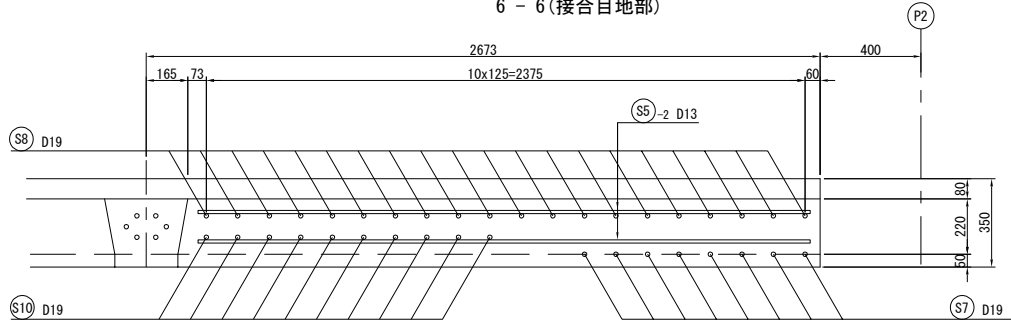


5 - 5

G1～G2, G2～G3, G3～G4



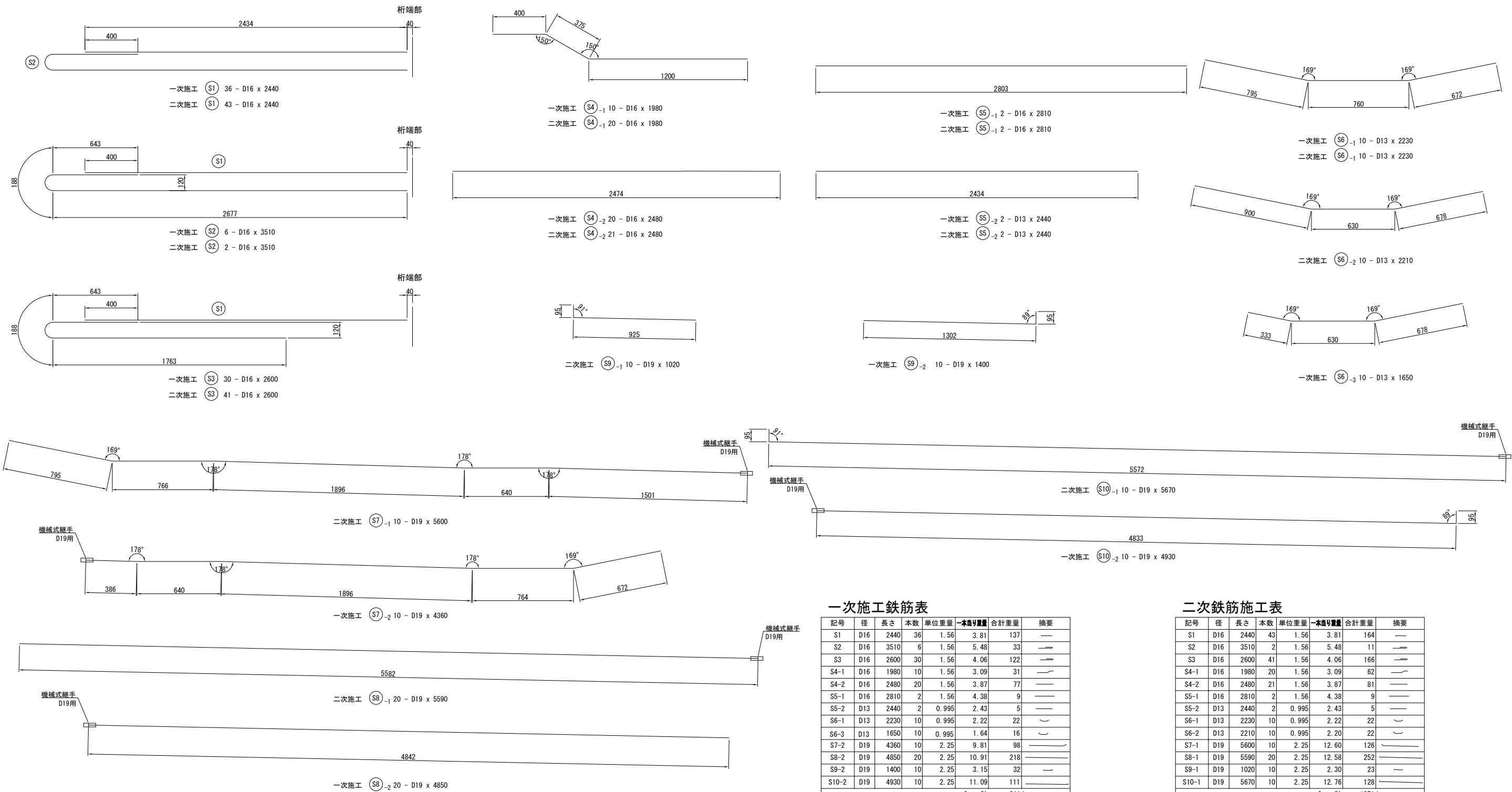
6 - 6 (接合目地部)



注記  
1. 鉄筋はエポキシ樹脂塗装とする。  
但し、機械式継手挿入部は無塗装とする。

常磐自動車道			
宮田川橋床版取替工事			
図面の種類	宮田川橋(下り線) A1～P2間場所打ちRC床版配筋図(その5)		
縮 尺	図 示	図面番号	35 / 165
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水 戸 管 理 事 務 所		





鉄筋曲げ加工表

<div><div><div><div><div><div><span>φ</span><div><div></div></div></div><span>φ</span><div><div><span>R</span></div><div><span>θ</span></div></div></div><div><div><span>ΔL</span></div><div><span>2 × L - a</span></div></div></div><div><div><span>主 筋</span></div><div><span>θ ≤ 90° R=3 φ</span></div><div><span>θ &gt; 90° R=5.5 φ</span></div></div></div></div></div>												
径	θ = 90°			θ = 100°			θ = 135°			θ = 170°		
	R	a	ΔL	R	a	ΔL	R	a	ΔL	R	a	ΔL
D13	39	61	17	71.5	100	20	71.5	56	3	71.5	12	0
D16	48	75	21	88	123	25	88	69	4	88	15	0
D19	57	90	24	104.5	146	29	104.5	82	4	104.5	18	0

一次施工鉄筋表

記号	径	長さ	本数	単位重量	一本当り重量	合計重量	摘要
S1	D16	2440	36	1.56	3.81	137	—
S2	D16	3510	6	1.56	5.48	33	—
S3	D16	2600	30	1.56	4.06	122	—
S4-1	D16	1980	10	1.56	3.09	31	—
S4-2	D16	2480	20	1.56	3.87	77	—
S5-1	D16	2810	2	1.56	4.38	9	—
S5-2	D13	2440	2	0.995	2.43	5	—
S6-1	D13	2230	10	0.995	2.22	22	—
S6-3	D13	1650	10	0.995	1.64	16	—
S7-2	D19	4360	10	2.25	9.81	98	—
S8-2	D19	4850	20	2.25	10.91	218	—
S9-2	D19	1400	10	2.25	3.15	32	—
S10-2	D19	4930	10	2.25	11.09	111	—
合 計						911 kg	
D13 (SD345)						43 kg	
D16 (SD345)						409 kg	
D19 (SD345)						459 kg	
機械式継手 D19用						40 組	

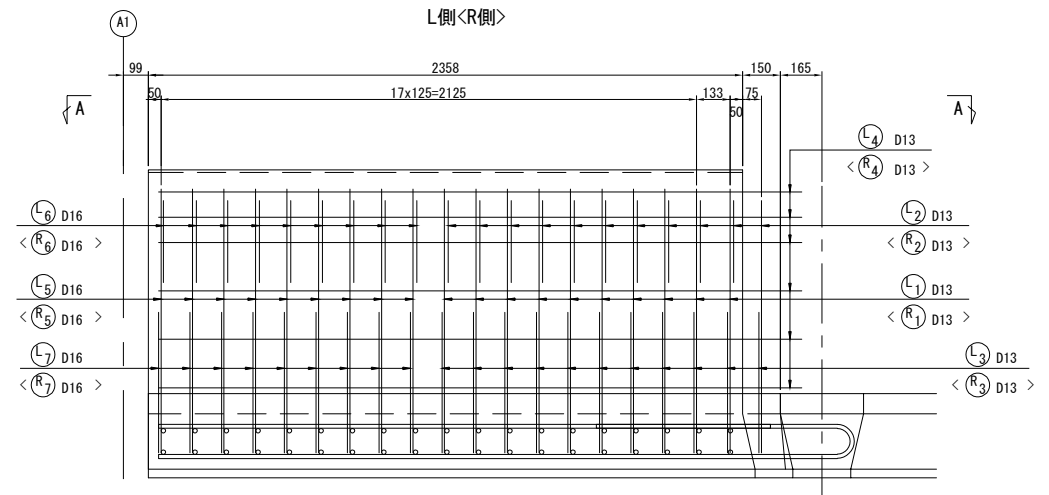
二次鉄筋施工表

記号	径	長さ	本数	単位重量	一本当り重量	合計重量	摘要
S1	D16	2440	43	1.56	3.81	164	—
S2	D16	3510	2	1.56	5.48	11	—
S3	D16	2600	41	1.56	4.06	166	—
S4-1	D16	1980	20	1.56	3.09	62	—
S4-2	D16	2480	21	1.56	3.87	81	—
S5-1	D16	2810	2	1.56	4.38	9	—
S5-2	D13	2440	2	0.995	2.43	5	—
S6-1	D13	2230	10	0.995	2.22	22	—
S6-2	D13	2210	10	0.995	2.20	22	—
S7-1	D19	5600	10	2.25	12.60	126	—
S8-1	D19	5590	20	2.25	12.58	252	—
S9-1	D19	1020	10	2.25	2.30	23	—
S10-1	D19	5670	10	2.25	12.76	128	—
合 計						1071 kg	
D13 (SD345)						49 kg	
D16 (SD345)						493 kg	
D19 (SD345)						529 kg	
機械式継手 D19用						40 組	

注記  
1. 鉄筋はエポキシ樹脂塗装とする。  
但し、機械式継手挿入部は無塗装とする。

常磐自動車道			
宮田川橋床版取替工事			
図面の種類	宮田川橋(下り線) A1～P2間場所打ちRC床版配筋図(その6)		
縮 尺	図 示	図面番号	36 / 165
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水 戸 管 理 事 務 所		

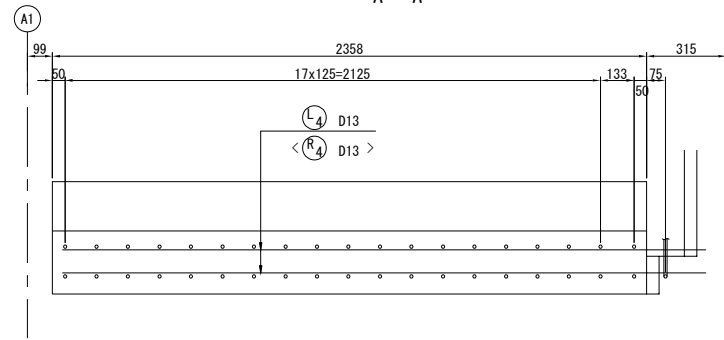
壁高欄側面図 S=1:30



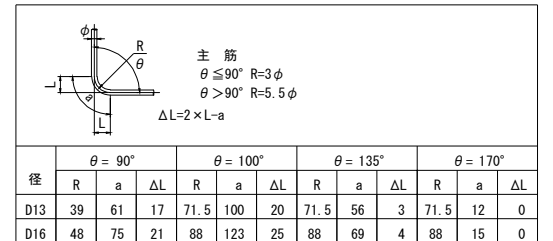
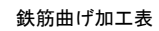
(一枚当り)

[illegible]

A - A



鉄筋加工図 S=1:40

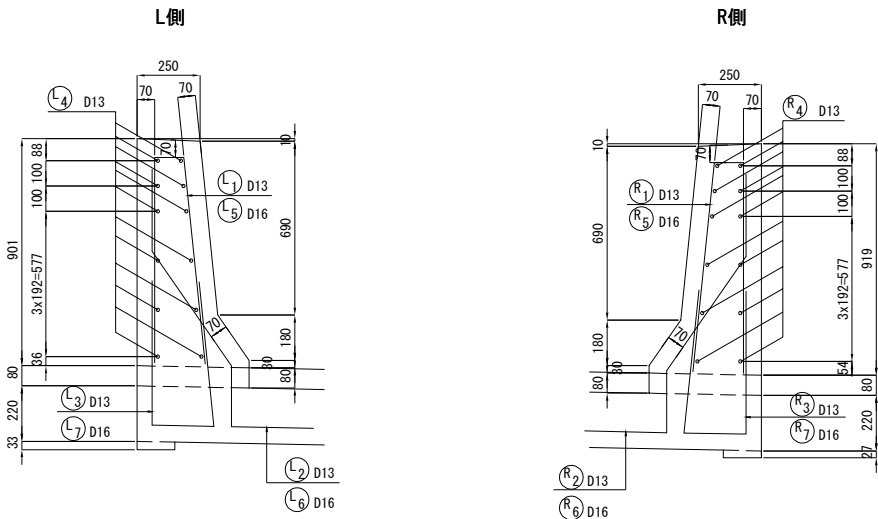


注記  
1. 鉄筋はエポキシ樹脂塗装とする。

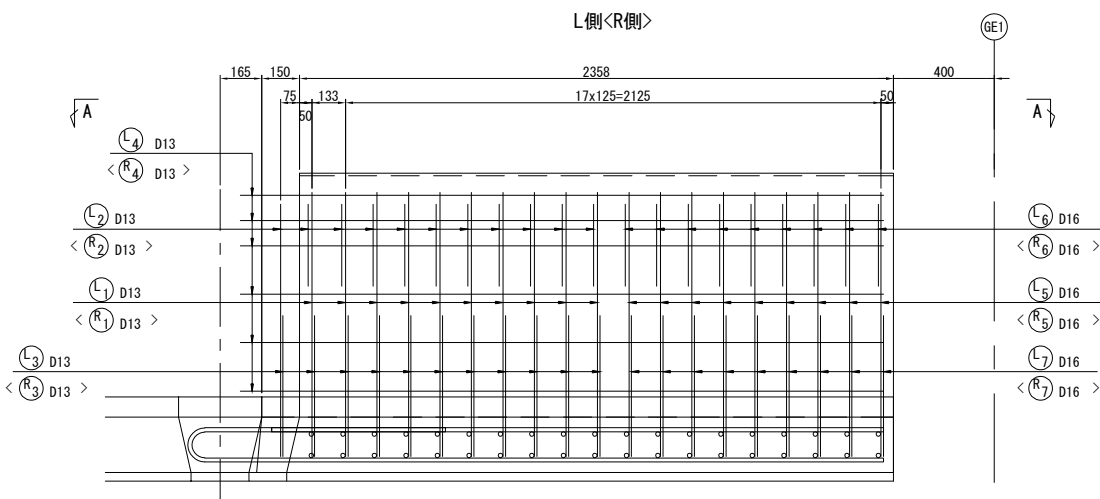
常磐自動車道			
宮田川橋床版取替工事			
図面の種類	宮田川橋(下り線)		
	A1～P2間場所打ち部壁高欄詳細図(その1)		
縮 尺	図 示	図面番号	37 / 165
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水 戸 管 理 事 務 所		

P2側

壁高欄断面図 S=1:30



壁高欄側面図 S=1:30



壁高欄二次施工鉄筋表

(一枚当り)

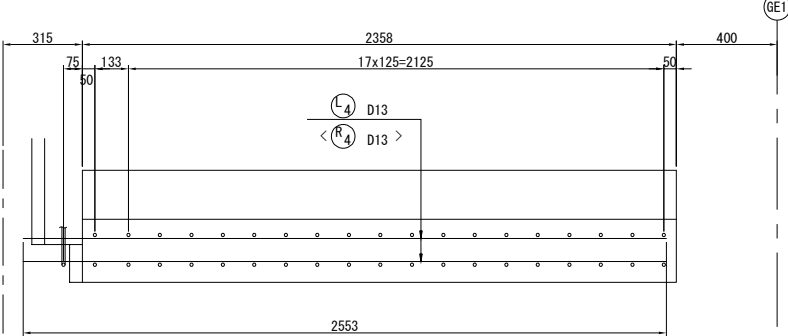
記号	径	長さ	本数	単位重量	一本当り重量	合計重量	摘要
L1	D13	1760	10	0.995	1.75	18	∥
L2	D13	1430	11	0.995	1.42	16	∖
L3	D13	1380	11	0.995	1.37	15	∪
L4	D13	2560	12	0.995	2.55	31	—
L5	D16	1760	9	1.56	2.75	25	∥
L6	D16	1580	9	1.56	2.46	22	∖
L7	D16	1530	9	1.56	2.39	22	∪
合 計						149 kg	
エポキシ樹脂鉄筋				D13 (SD345)		80 kg	
				D16 (SD345)		69 kg	

壁高欄一次施工鉄筋表

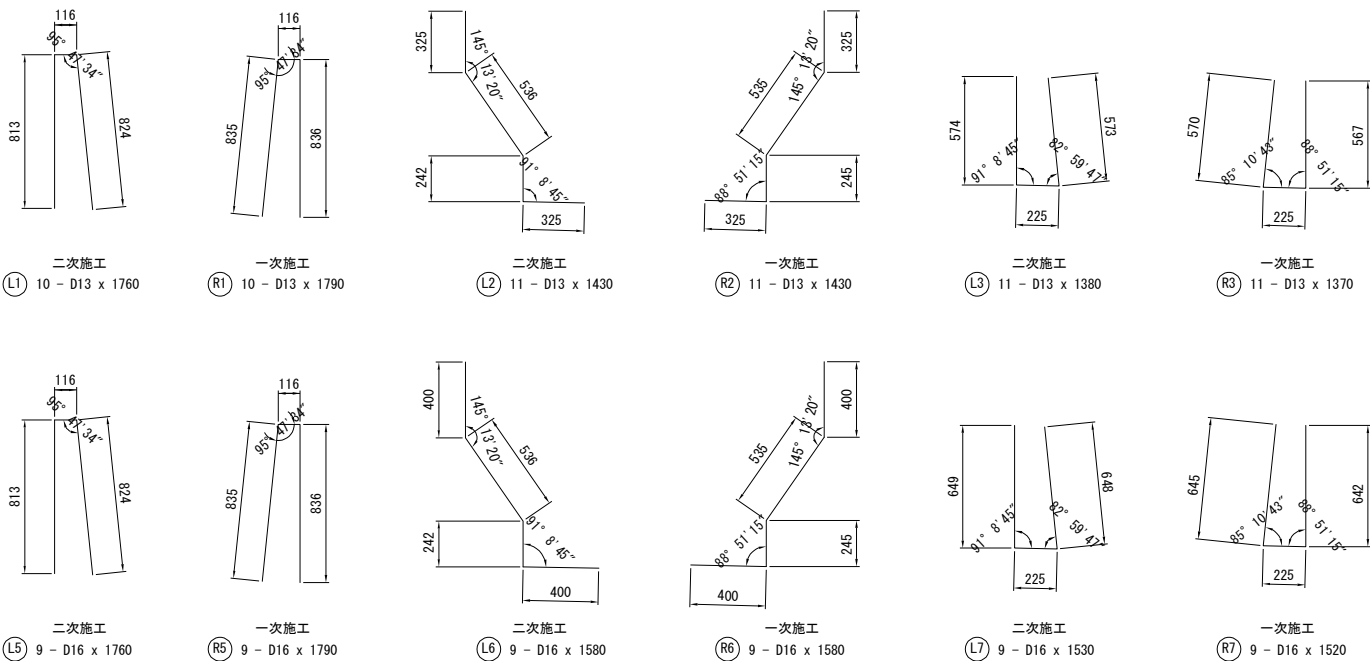
(一枚当り)

記号	径	長さ	本数	単位重量	一本当り重量	合計重量	摘要
R1	D13	1790	10	0.995	1.78	18	∥
R2	D13	1430	11	0.995	1.42	16	∖
R3	D13	1370	11	0.995	1.36	15	∪
R4	D13	2560	12	0.995	2.55	31	—
R5	D16	1790	9	1.56	2.79	25	∥
R6	D16	1580	9	1.56	2.46	22	∖
R7	D16	1520	9	1.56	2.37	21	∪
合 計						148 kg	
エポキシ樹脂鉄筋				D13 (SD345)		80 kg	
				D16 (SD345)		68 kg	

A - A



鉄筋加工図 S=1:40



鉄筋曲げ加工表

主筋

$\theta \leq 90^\circ$   $R=3\phi$

$\theta > 90^\circ$   $R=5.5\phi$

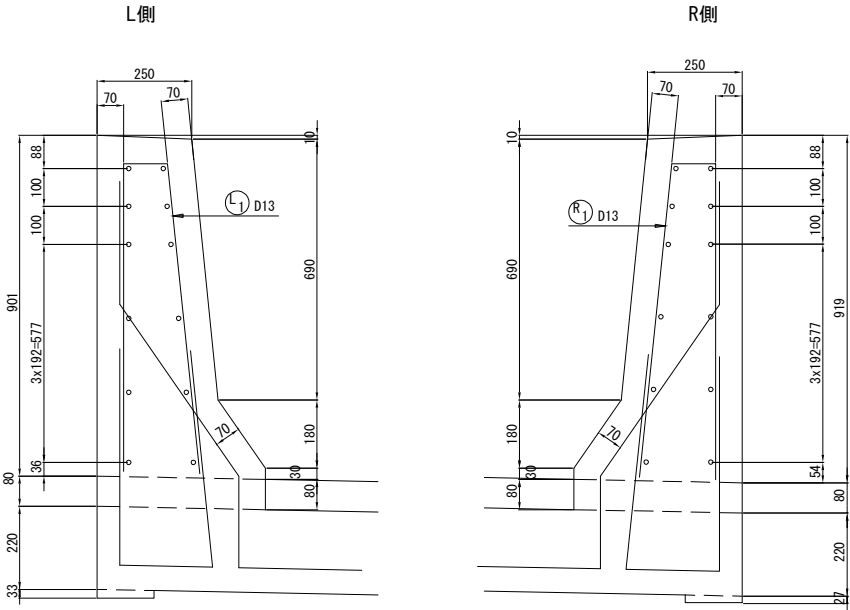
$\Delta L=2 \times L-a$

		$\theta = 90^\circ$			$\theta = 100^\circ$			$\theta = 135^\circ$			$\theta = 170^\circ$		
径		R	a	$\Delta L$	R	a	$\Delta L$	R	a	$\Delta L$	R	a	$\Delta L$
D13	39	61	17	71.5	100	20	71.5	56	3	71.5	12	0	
D16	48	75	21	88	123	25	88	69	4	88	15	0	

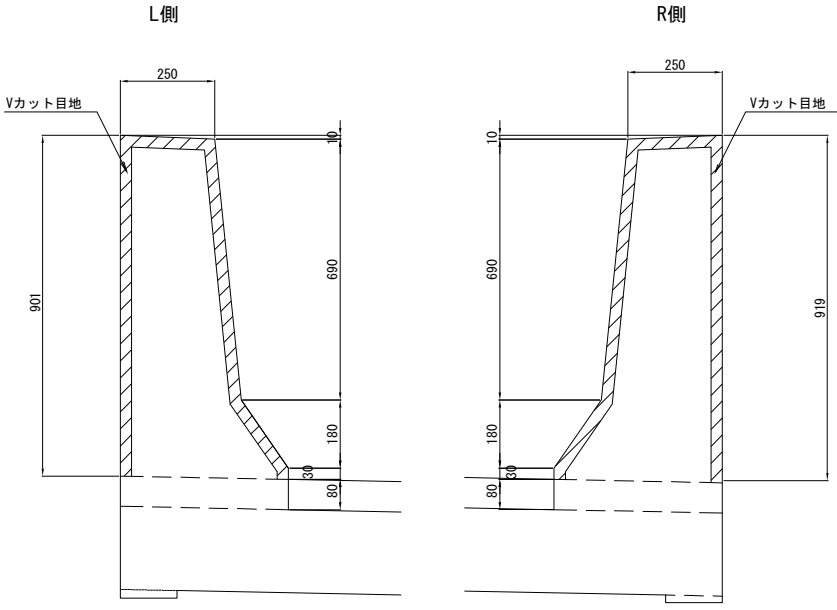
注記  
1. 鉄筋はエポキシ樹脂塗装とする。

常磐自動車道			
宮田川橋床版取替工事			
図面の種類	宮田川橋(下り線) A1～P2間場所打ち部壁高欄詳細図(その2)		
縮 尺	図 示	図面番号	38 / 165
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水 戸 管 理 事 務 所		

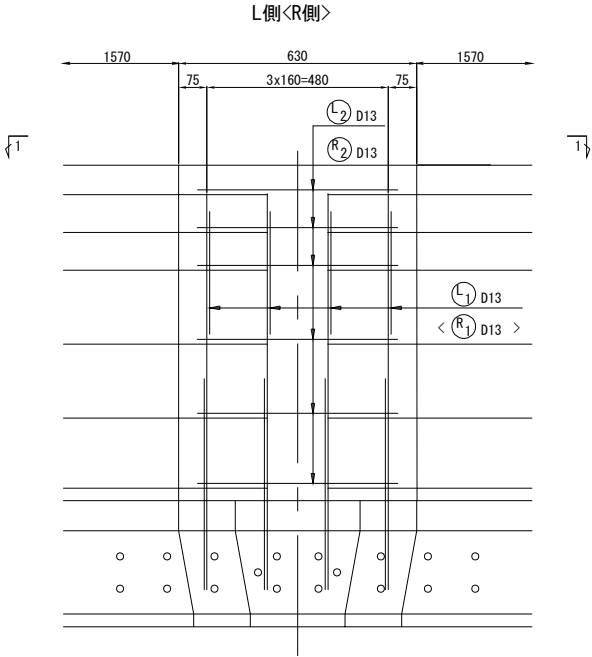
壁高欄間詰め部断面図 S=1:20



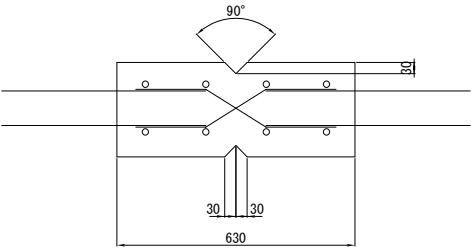
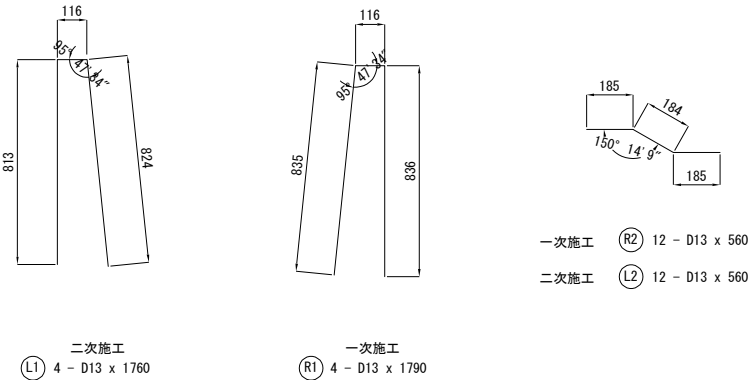
壁高欄間詰め部断面図 S=1:20



壁高欄間詰め部側面図 S=1:20



鉄筋加工図 S=1:30



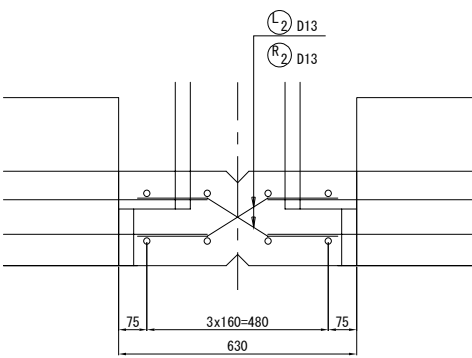
壁高欄二次施工鉄筋表 (一枚当り)

記号	径	長さ	本数	単位重量	一本当り重量	合計重量	摘要
R1	D13	1760	4	0.995	1.75	7	Ⅱ
R2	D13	560	12	0.995	0.557	7	～
合 計						14 kg	
エポキシ樹脂鉄筋							
1箇所当り				箇所数			
D13	14 kg	×	36	=	504 kg		
合 計	14 kg	×	36	=	504 kg		

壁高欄一次施工鉄筋表 (一枚当り)

記号	径	長さ	本数	単位重量	一本当り重量	合計重量	摘要
L1	D13	1790	4	0.995	1.78	7	Ⅱ
L2	D13	560	12	0.995	0.557	7	～
合 計						14 kg	
エポキシ樹脂鉄筋							
1箇所当り				箇所数			
D13	14 kg	×	36	=	504 kg		
合 計	14 kg	×	36	=	504 kg		

1 - 1



鉄筋曲げ加工表

主 筋  
 $\theta \leq 90^\circ$   $R=3\phi$   
 $\theta > 90^\circ$   $R=5.5\phi$   
 $\Delta L=2 \times L-a$

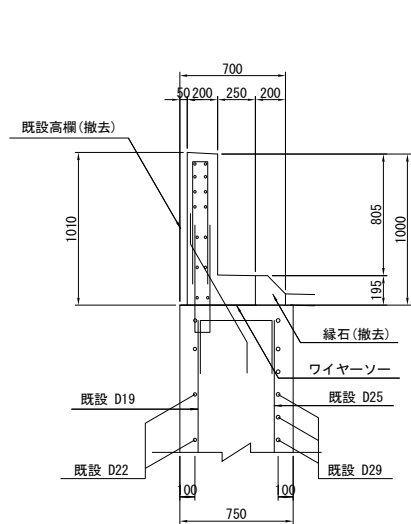
$\theta = 90^\circ$				$\theta = 100^\circ$				$\theta = 135^\circ$			$\theta = 170^\circ$		
径	R	a	$\Delta L$	R	a	$\Delta L$	R	a	$\Delta L$	R	a	$\Delta L$	
D13	39	61	17	71.5	100	20	71.5	56	3	71.5	12	0	

注記  
1. 鉄筋はエポキシ樹脂塗装とする。

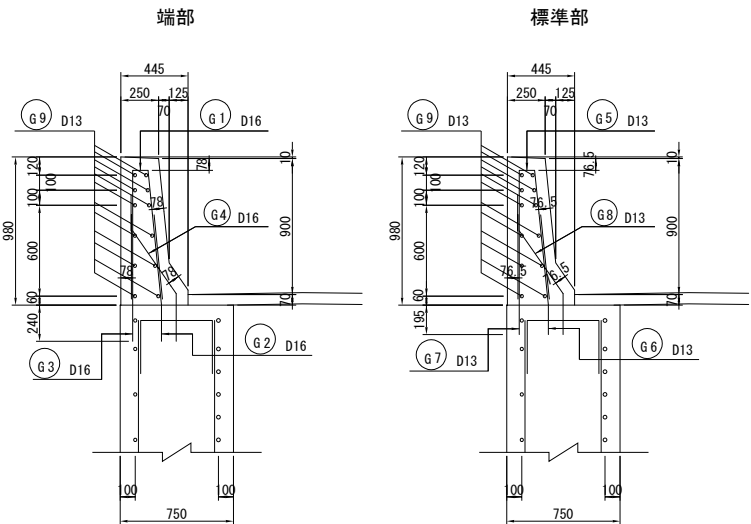
常磐自動車道			
宮田川橋床版取替工事			
図面の種類	宮田川橋(下り線) A1～P2間壁高欄間詰詳細図		
縮 尺	図 示	図面番号	39 / 165
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水 戸 管 理 事 務 所		

～ A1橋台左側壁高欄配筋図 ～

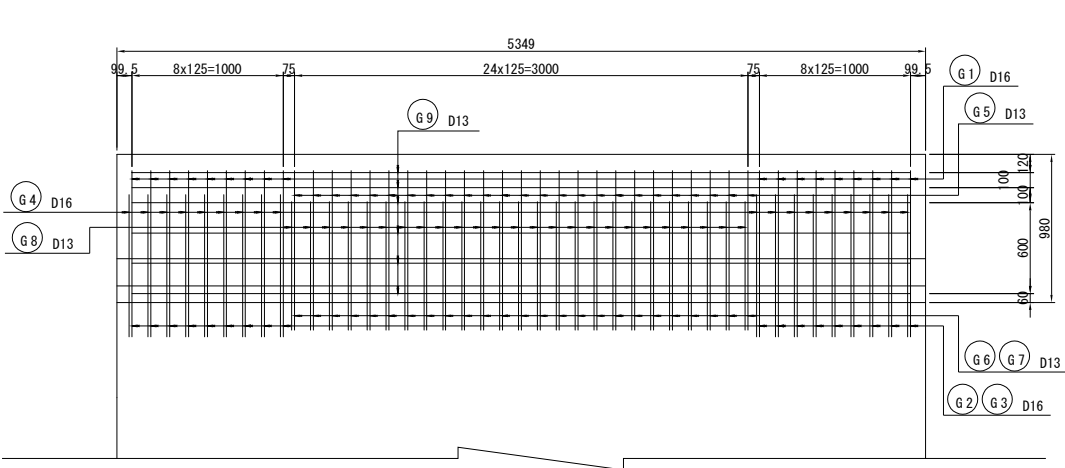
既設高欄詳細図 S=1:50



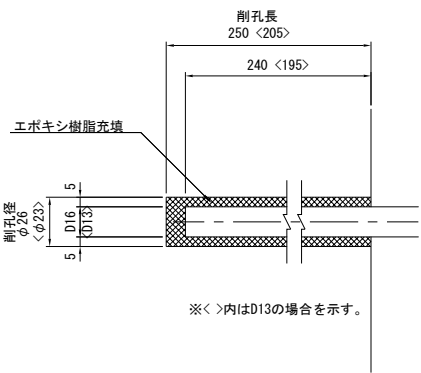
新設高欄詳細図 S=1:50



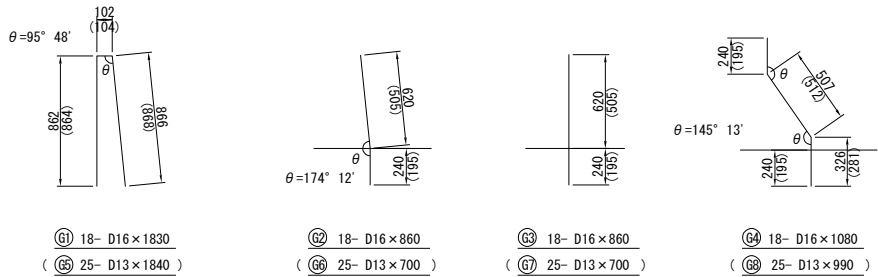
新設高欄配筋図 S=1:50



削孔詳細 S=1:4



鉄筋加工図 S=1:50

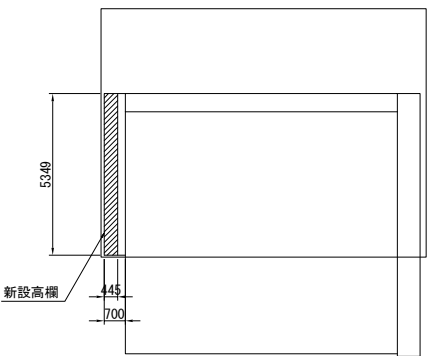


鉄筋表							
種 別	径	長 さ (mm)	本 数	単 位 質 量 (kg/m)	本 当 り 質 量 (kg/本)	質 量 (kg)	摘 要
G1	D16	1830	18	1.56	2.85	51	/
G2	"	860	18	"	1.34	24	/
G3	"	860	18	"	1.34	24	/
G4	"	1080	18	"	1.68	30	/
G5	D13	1840	25	0.995	1.83	46	/
G6	"	700	25	"	0.697	17	/
G7	"	700	25	"	0.697	17	/
G8	"	990	25	"	0.985	25	/
G9	"	5150	12	"	5.12	61	/
						295 kg	
						D16	129 kg
						D13	166 kg
						合計	295 kg (SD345)

あと施工アンカー定着工 数量表

削孔径	削孔長	本数	削孔方向	総削孔長
φ 26	L=250	54	下向き	0.25 × 54=13.50m
φ 23	L=205	75	下向き	0.205 × 75=15.375m

平面図 S=1:250



鉄筋曲げ加工表

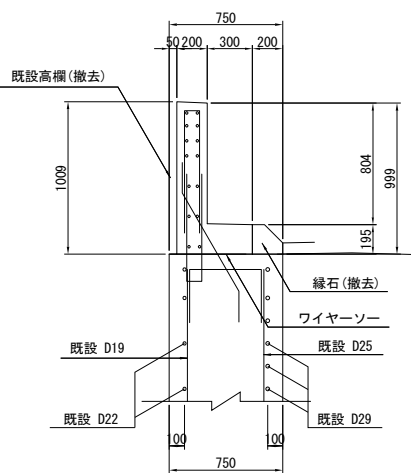
鉄筋曲げ加工表									
径	主 筋			スターラップ					
	θ = 90°	θ = 135°	θ = 90°	θ = 90°	θ = 135°	θ = 90°	θ = 90°	θ = 135°	θ = 90°
D13	39	61	17	71.5	56	3	32.5	51	14
D16	48	75	21	88	69	4	40	63	17

注記  
1. 鉄筋はエポキシ樹脂塗装とする。

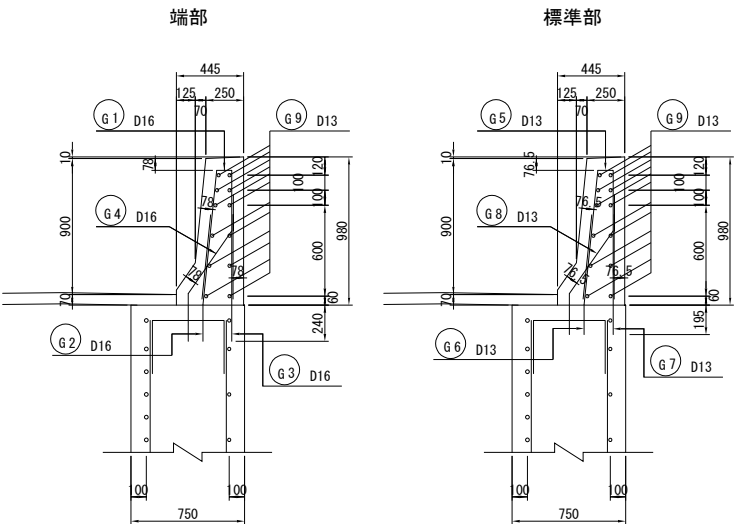
常磐自動車道			
宮田川橋床版取替工事			
図面の種類	宮田川橋(下り線) A1～P2間橋台上壁高欄詳細図(その1)		
縮 尺	図 示	図面番号	40 / 165
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水 戸 管 理 事 務 所		

～ A1橋台右側壁高欄配筋図 ～

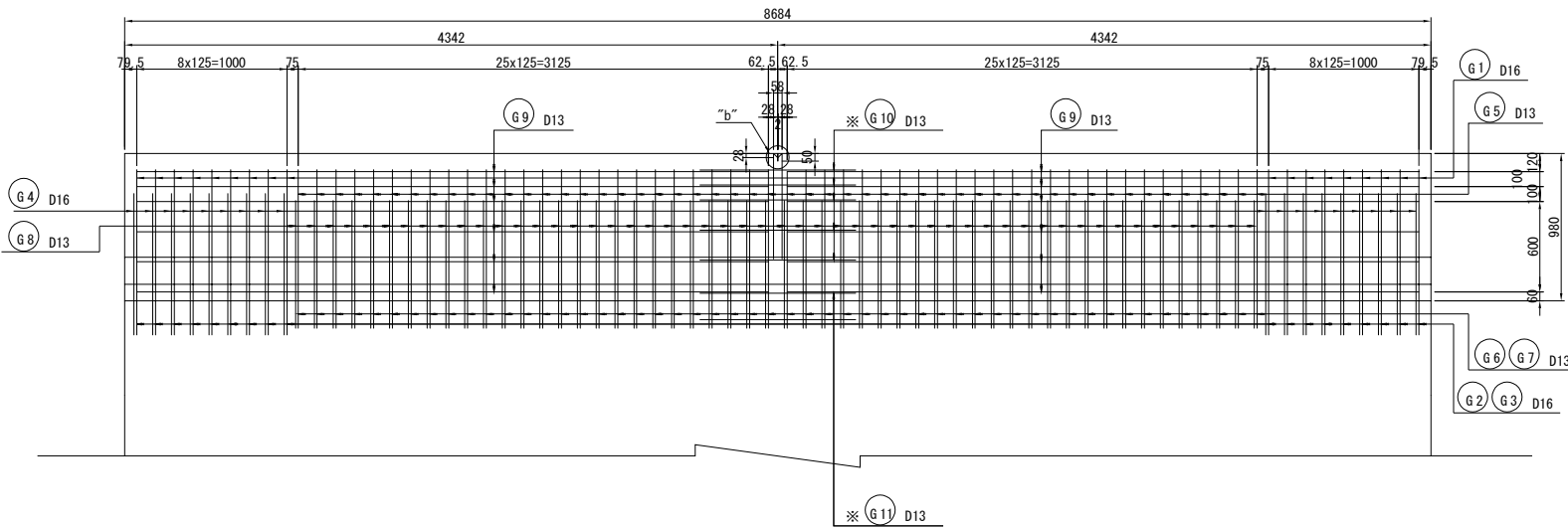
既設高欄詳細図 S=1:50



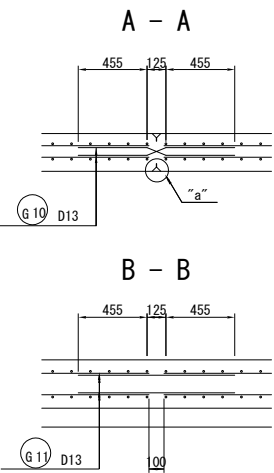
新設高欄詳細図 S=1:50



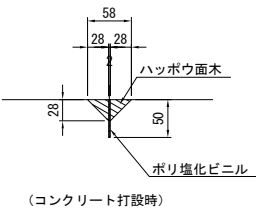
新設高欄配筋図 S=1:50



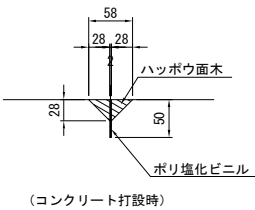
Vカット目地部 S=1:50



“a”部詳細図 (Vカット形状) S=1:10



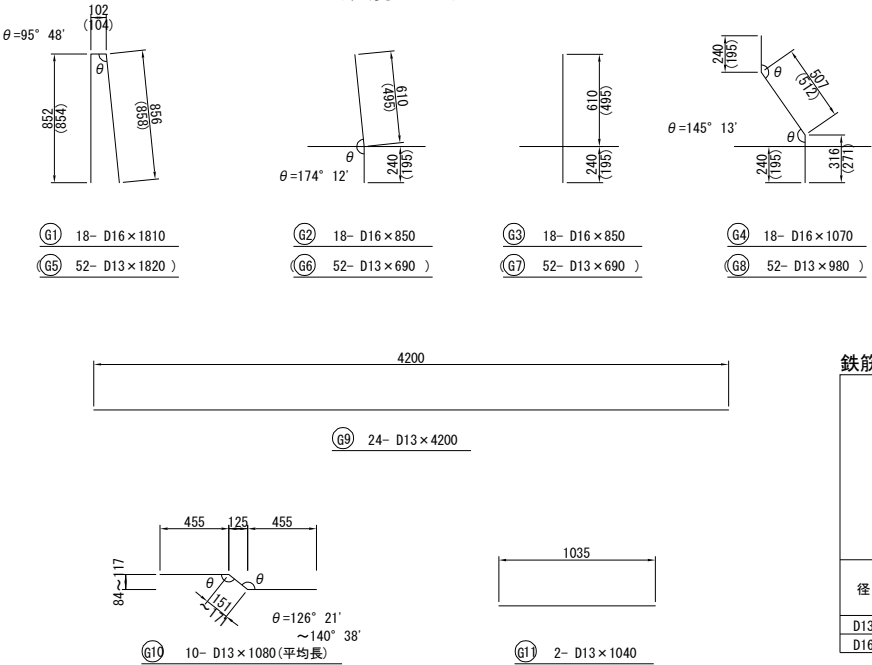
“b”部詳細図 (Vカット形状) S=1:10



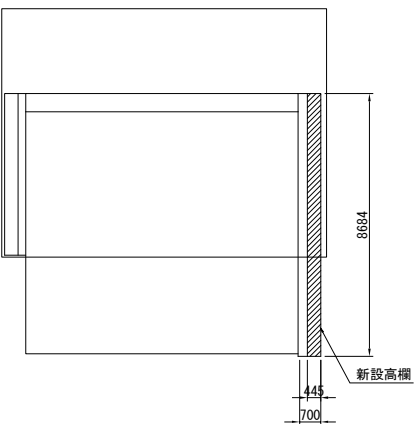
鉄筋表

種別	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)	摘要
G1	D16	1810	18	1.56	2.82	51	∟
G2	〃	850	18	〃	1.33	24	/
G3	〃	850	18	〃	1.33	24	/
G4	〃	1070	18	〃	1.67	30	/
G5	D13	1820	52	0.995	1.81	94	∟
G6	〃	690	52	〃	0.687	36	/
G7	〃	690	52	〃	0.687	36	/
G8	〃	980	52	〃	0.975	51	/
G9	〃	4200	24	〃	4.18	100	—
G10	〃	1080	10	〃	1.07	11	— (平均値)
G11	〃	1040	2	〃	1.03	2	—
						459 kg	
						D16 129 kg	
						D13 330 kg	
						合計 459 kg (SD345)	

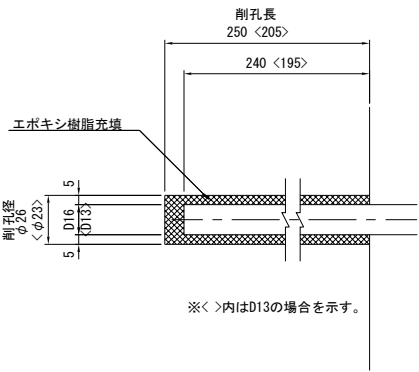
鉄筋加工図 S=1:50



平面図 S=1:250



削孔詳細 S=1:4



あと施工アンカー定着工 数量表

削孔径	削孔長	本数	削孔方向	総削孔長
φ 26	L=250	54	下向き	0.25 × 54=13.50m
φ 23	L=205	156	下向き	0.205 × 156=31.98m

鉄筋曲げ加工表

		主筋			スターラップ		
		θ ≤ 90°	R = 3φ		θ = 90°		
		θ > 90°	R = 5.5φ				
		スターラップ			R = 2.5φ		
		ΔL = 2 x L - a					
径	主筋			スターラップ			
	θ = 90°	θ = 135°	θ = 90°	θ = 90°			
	R	a	ΔL	R	a	ΔL	
D13	39	61	17	71.5	56	3	32.5
D16	48	75	21	88	69	4	40

注記

1. 鉄筋はエポキシ樹脂塗装とする。

常磐自動車道

宮田川橋床版取替工事

宮田川橋(下り線)

A1～P2間橋台上壁高欄詳細図(その2)

縮尺 図示 図面番号 41 / 165

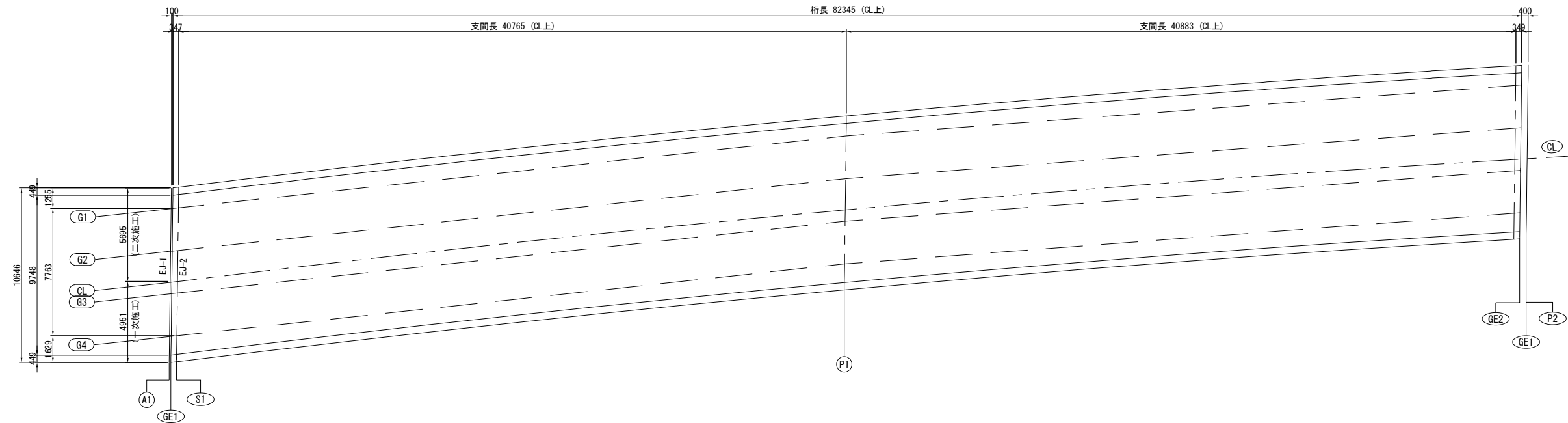
設計会社名 株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング

施工会社名

事務所名 東日本高速道路株式会社 関東支社

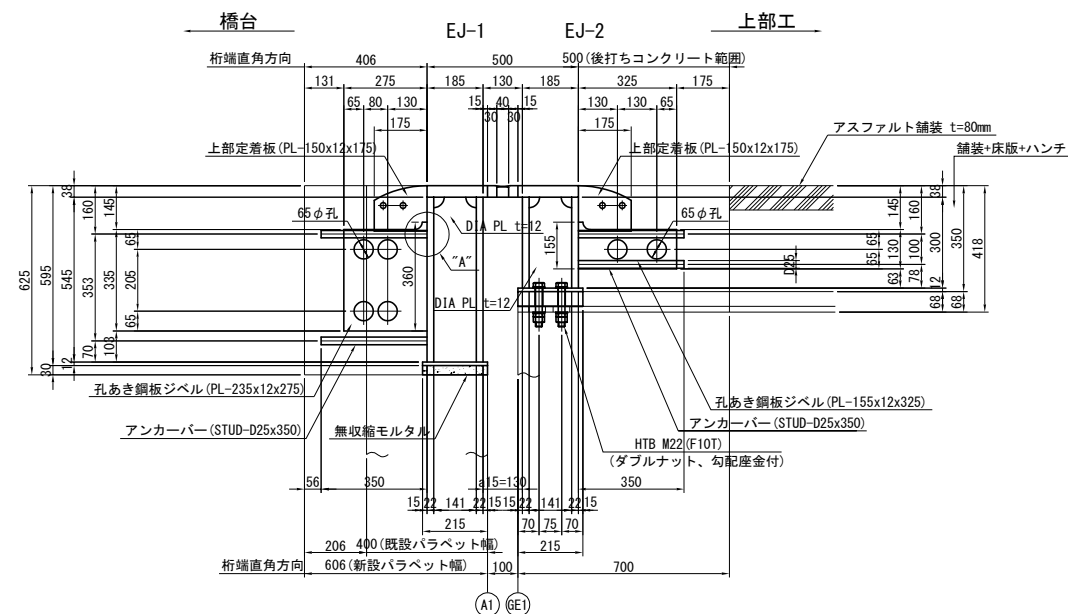
水戸管理事務所

平面图 S=1:300



新設伸縮装置主桁間部断面図 S=1:25

A1部



伸縮装置(A1)数量表

項目	種別	単位	数量	備考
新設	A	kg	7.164	EJ-1.2

注記

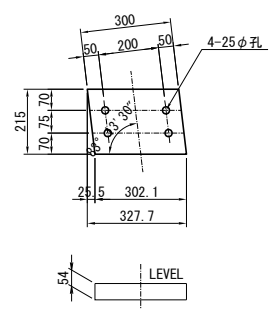
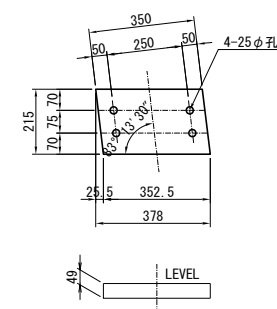
1. 特記なき材質はSM400Aを示す。
2. 表記の既設構造寸法は完成図をもとに復元しているため、現地計測を実施後に部材制作を行うこと。

常磐自動車道			
宮田川橋床版取替工事			
図面の種類	宮田川橋(下り線) A1～P2間伸縮装置詳細図(参考図)(その1)		
縮 尺	図 示	図面番号	42 / 165
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		



G1, G4

G2, G3



(1箇所当たり材料)

1-FILL PL 215x49x378 (SS400)

4-HTB M22x125(ダブルナット、勾配座金付)(F10T)

(1箇所当たり材料)

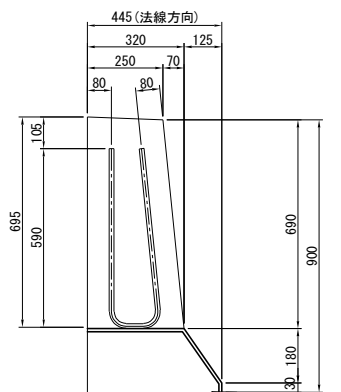
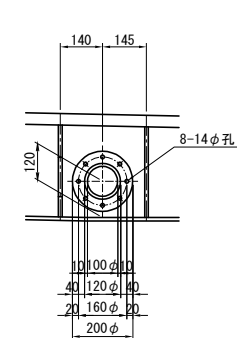
1-FILL PL 215x54x328 (SS400)

4-HTB M22x125(ダブルナット、勾配座金付)(F10T)

ハンドホール詳細図 S=1:25

(製作数=8)

壁高欄アンカー筋詳細図 S=1:25



1-DB D16x1330 (SD345)

[illegible]

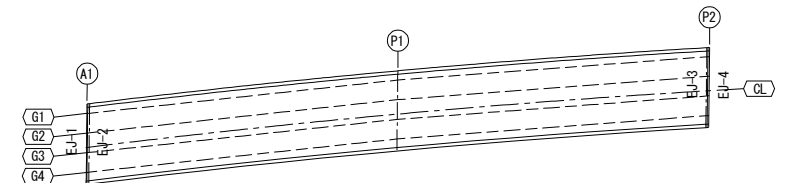
(1箇所当たり材料)

1-PL 200  $\phi$ x28

1-PL 200  $\phi$  x 9 (SS400)

8-BN M12x75 (SS400)

配置図



注記

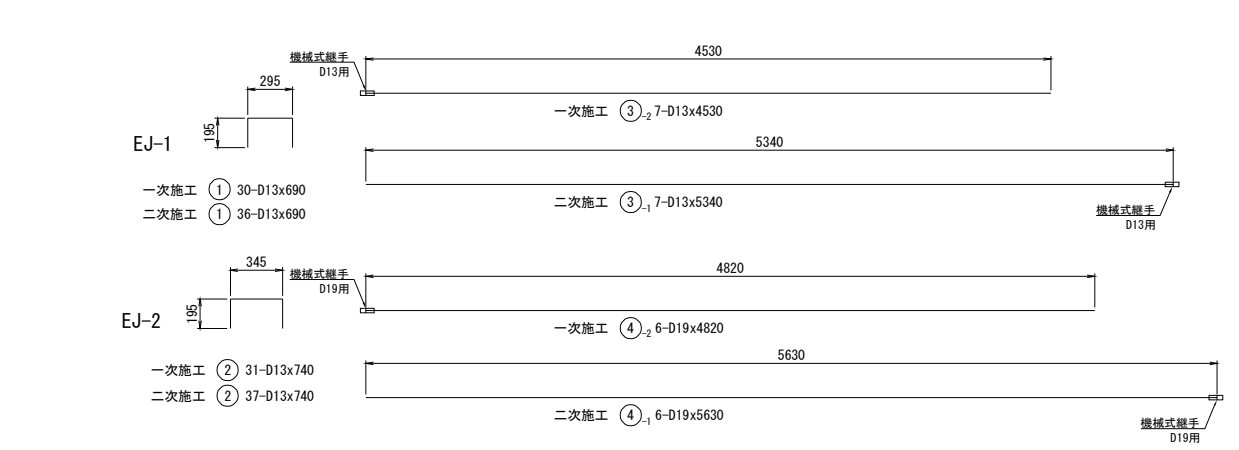
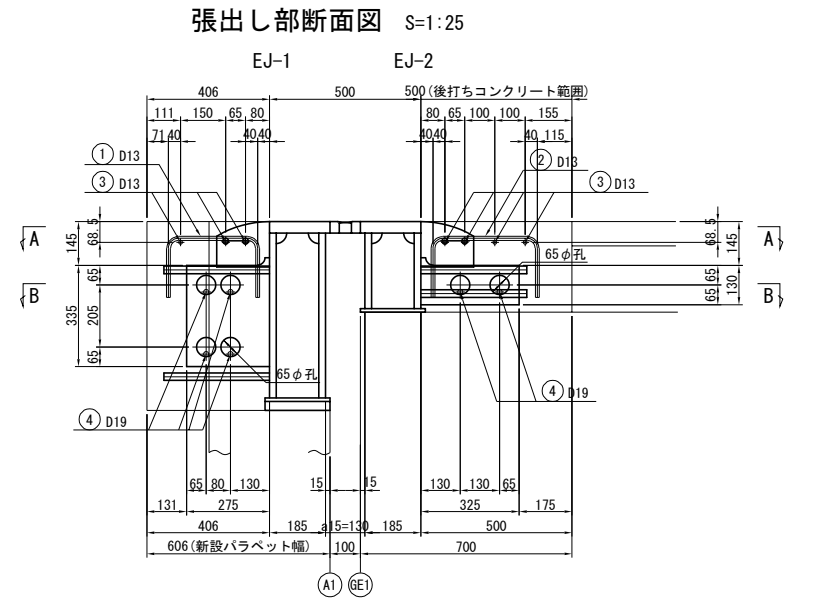
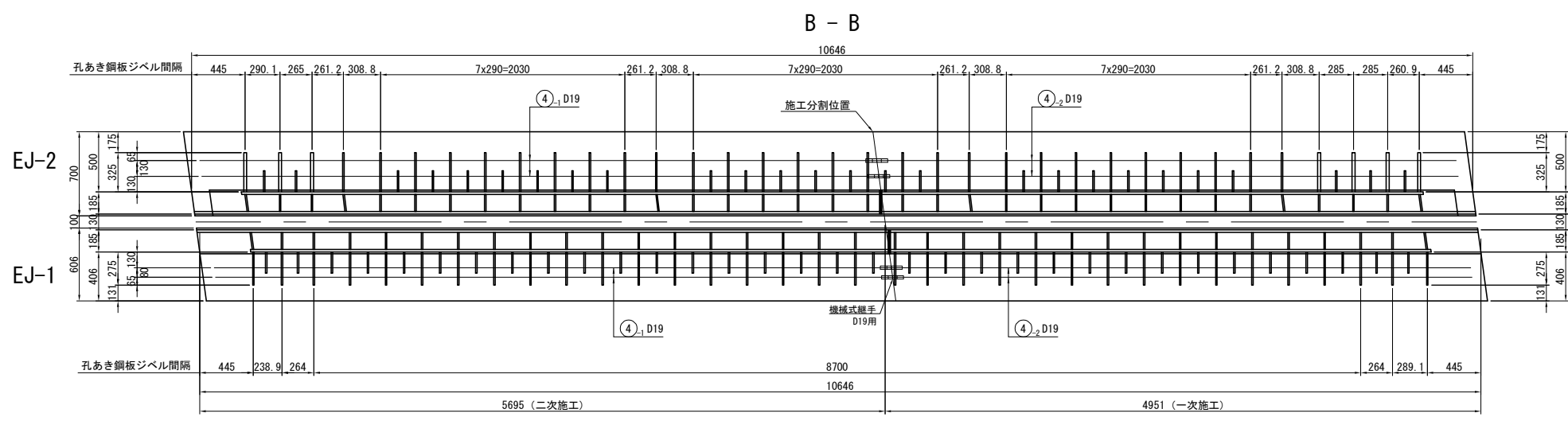
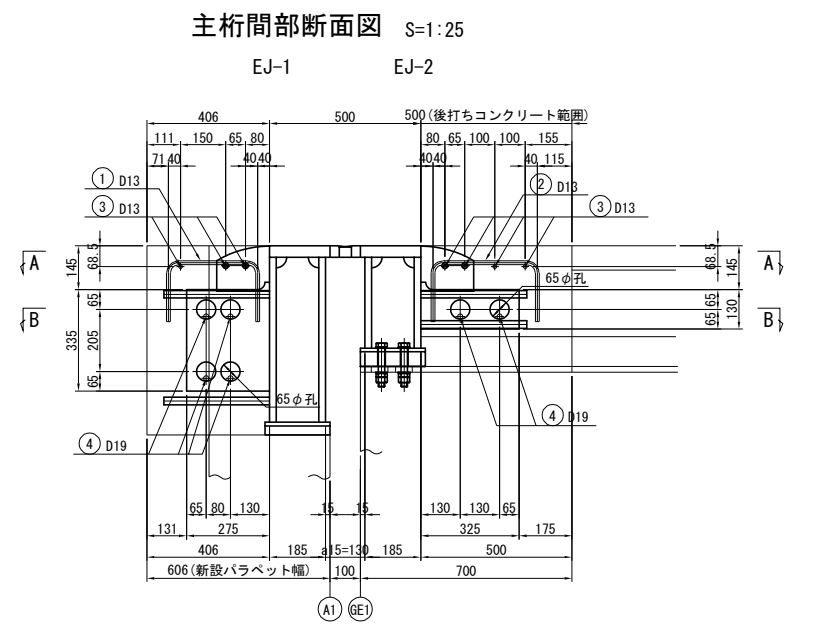
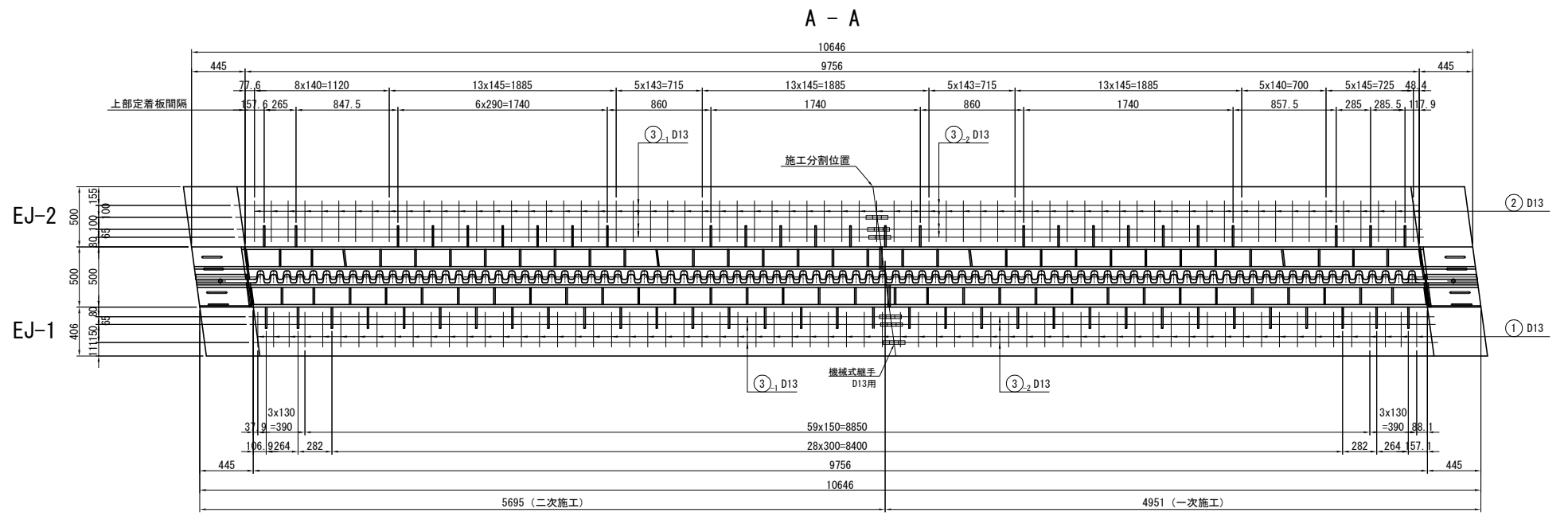
1. 特記なき材質はSM400Aを示す。

2. 表記の既設構造寸法は完成図をもとに復元しているため、現地計測を実施後に部材制作を行うこと。

<p>常磐自動車道 宮田川橋床版取替工事</p>			
図面の種類	宮田川橋（下り線） A1～P2間伸縮装置詳細図（参考図）（その2）		
縮 尺	図 示	図面番号	43 / 165
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水 戸 管 理 事 務 所		



A1部



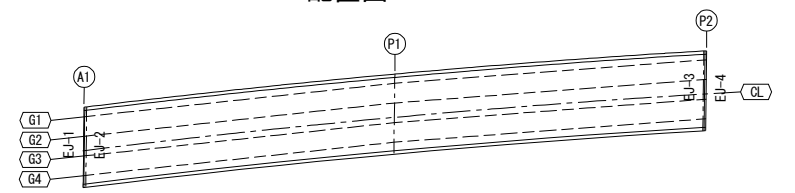
一次施工鉄筋表

種別	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	摘要
1	D13	690	30	0.995	0.69	21	□
2	D13	740	31	0.995	0.74	23	□
3-2	D13	4530	7	0.995	4.51	32	—
4-2	D19	4820	6	2.250	10.85	66	—
合計							142 Kg
鉄筋質量 D13 (SD345) :							76 Kg
D19 (SD345) :							66 Kg
機械式継手 D13用 :							7 組
D19用 :							6 組

二次施工鉄筋表

種別	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	摘要
1	D13	690	36	0.995	0.69	25	□
2	D13	740	37	0.995	0.74	28	□
3-1	D13	5340	7	0.995	5.31	38	—
4-1	D19	5630	6	2.250	12.67	77	—
合計							168 Kg
鉄筋質量 D13 (SD345) :							91 Kg
D19 (SD345) :							77 Kg
機械式継手 D13用 :							7 組
D19用 :							6 組

配置図

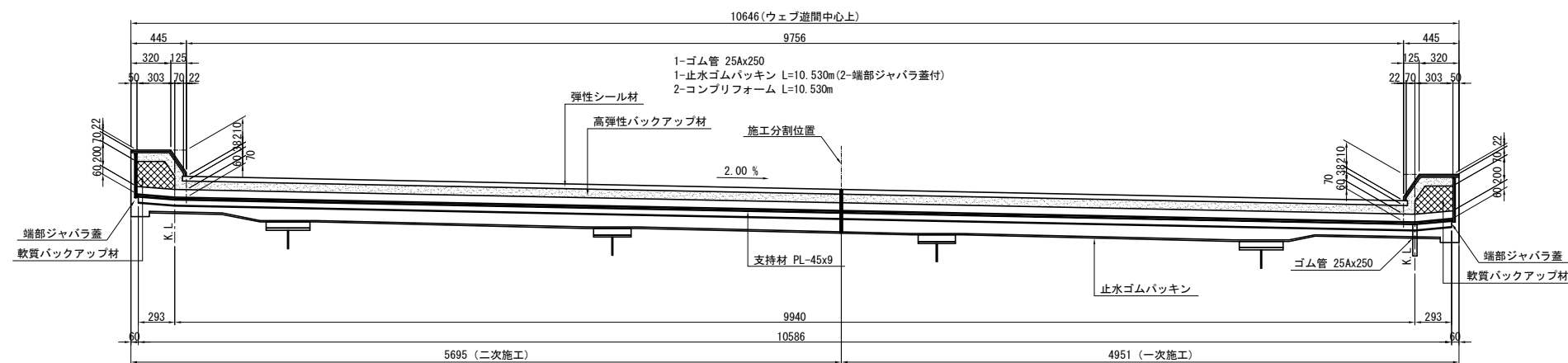


注記

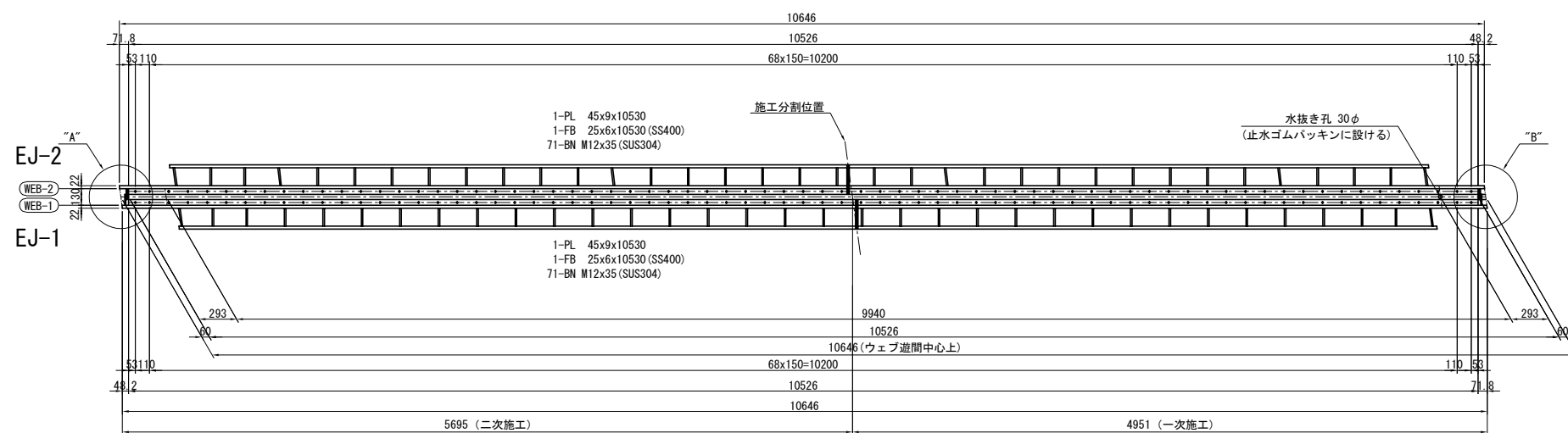
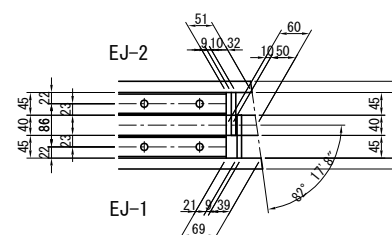
- 特記なき材質はSM400Aを示す。
- 既設構造寸法は現地計測の上決定する事。
- 鉄筋はエポキシ樹脂塗装とする。但し、機械式継手挿入部は無塗装とする。

常磐自動車道	
宮田川橋床版取替工事	
図面の種類	宮田川橋(下り線) A1～P2間伸縮装置詳細図(参考図)(その4)
縮尺	図示 図面番号 45 / 165
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所

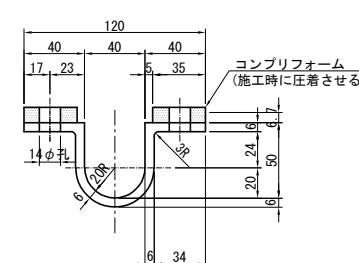
### 非排水装置詳細図



“B”部詳細図 S=1:15



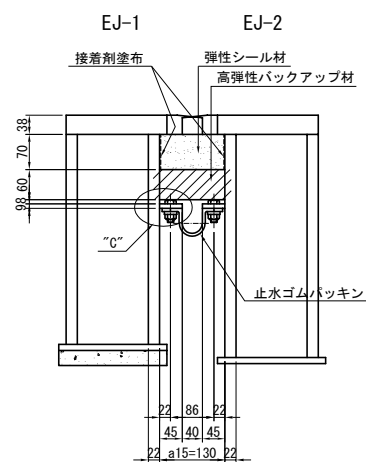
止水ゴムパッキン詳細図 S=1:5



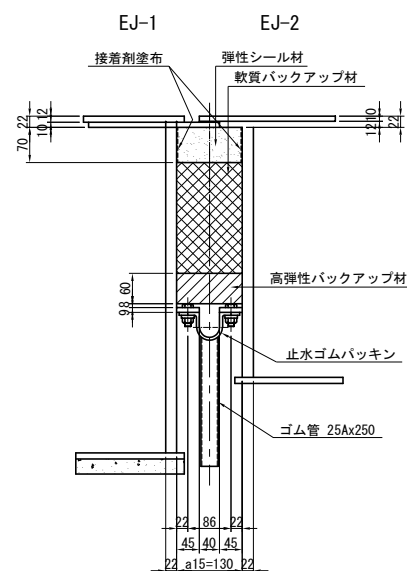
## 止水ゴムパッキン端部構造



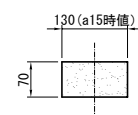
車道部



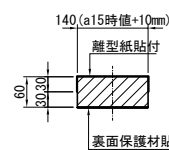
EJ-1



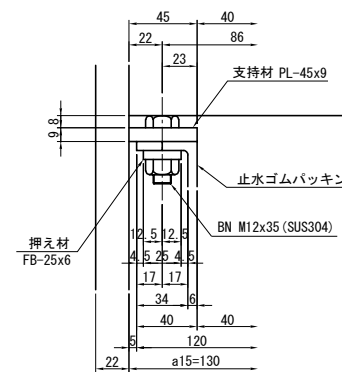
弾性シール材詳細図 S=1:15



高弾性バックアップ材詳細図 S=1:15



“C”部詳細図 S=1:5



注記  
1. 特記なき材質はSM400Aを示す。  
2. 既設構造寸法は現地計測の上決定する事。

常磐自動車道 宮田川橋床版取替工事			
図面の種類	宮田川橋（下り線） A1～P2間伸縮装置詳細図（参考図）（その5）		
縮 尺	図 示	図面番号	46 / 165
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水 戸 管 理 事 務 所		

A1橋台

撤去図

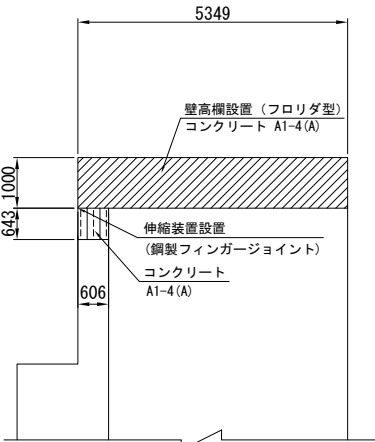
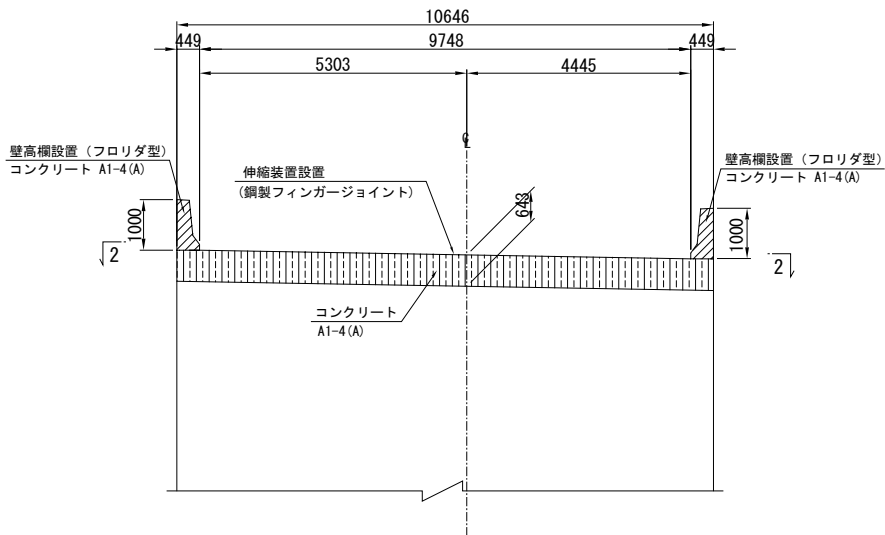
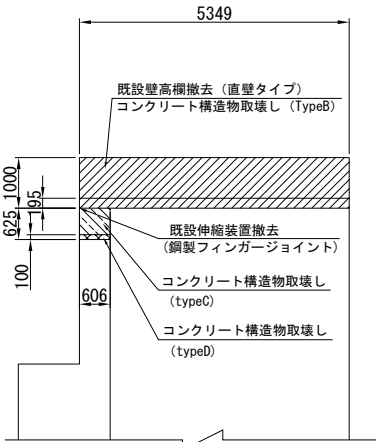
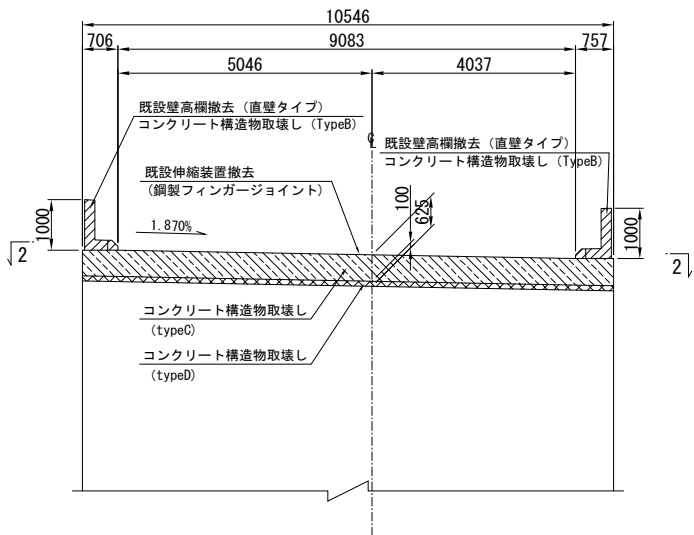
復旧図

断面図(1-1)

3-3

断面図(1-1)

3-3

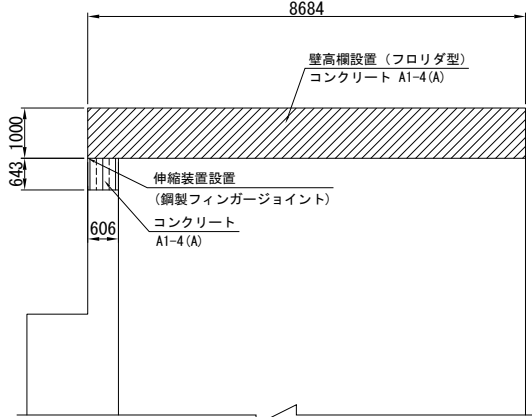
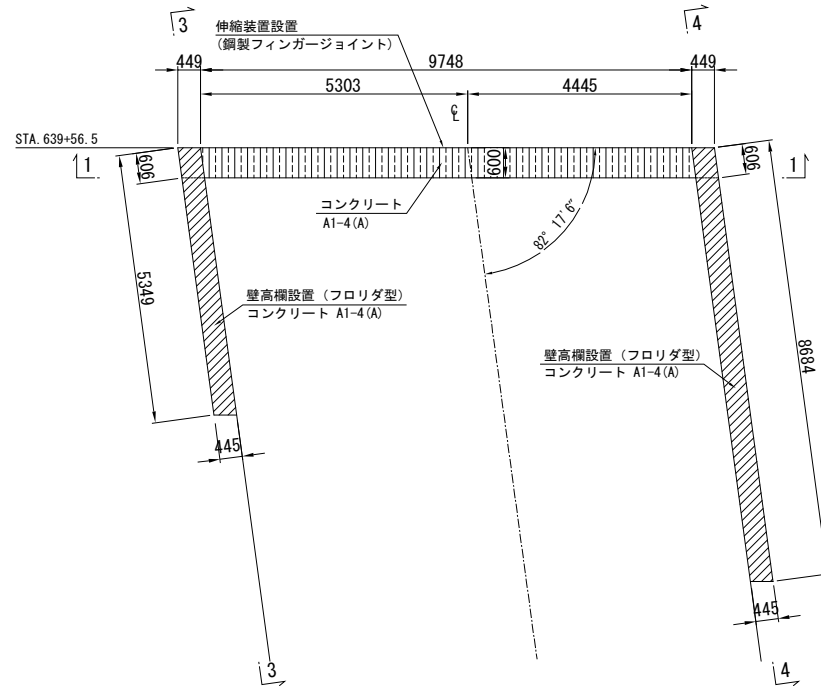
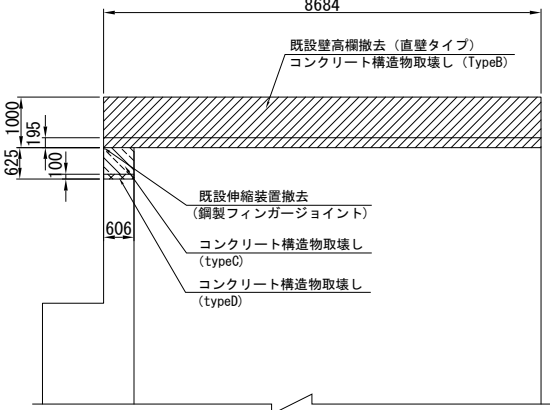
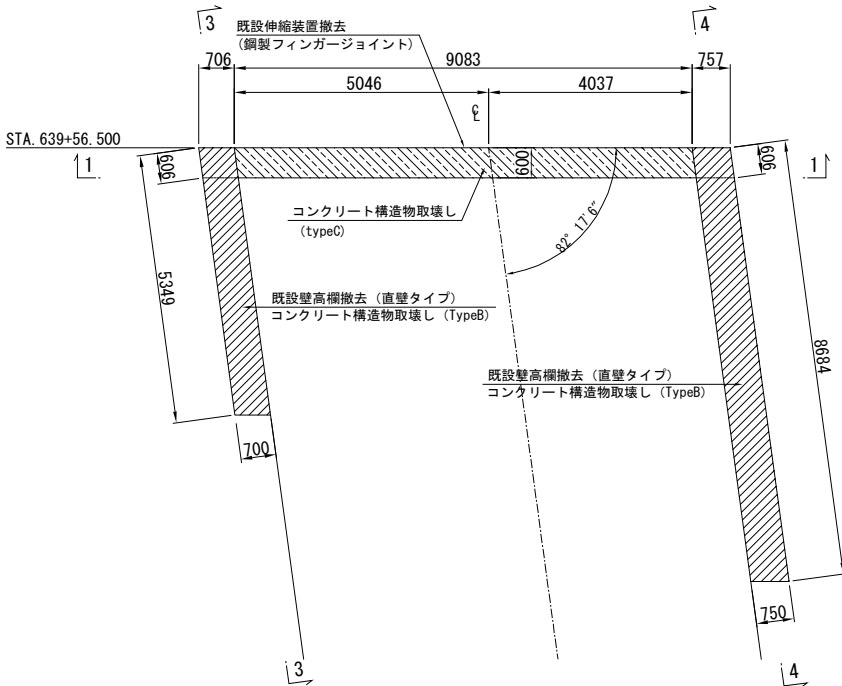


平面図(2-2)

4-4

平面図(2-2)

4-4



- 注記
1. 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認する事。
  2. 新旧コンクリート境界面のワイヤーソー施工箇所は、下地処理を行う事。
  3. 改築部のコンクリートの設計基準強度は30N/mm2とする。
  4. 使用鉄筋はSD345とする。
  5. コンクリートの打設時は、既設コンクリート面を湿潤状態にする事。
  6. アンカー削孔箇所は鉄筋探索を行い既設鉄筋を損傷させない事。

構造物取壊し工数量

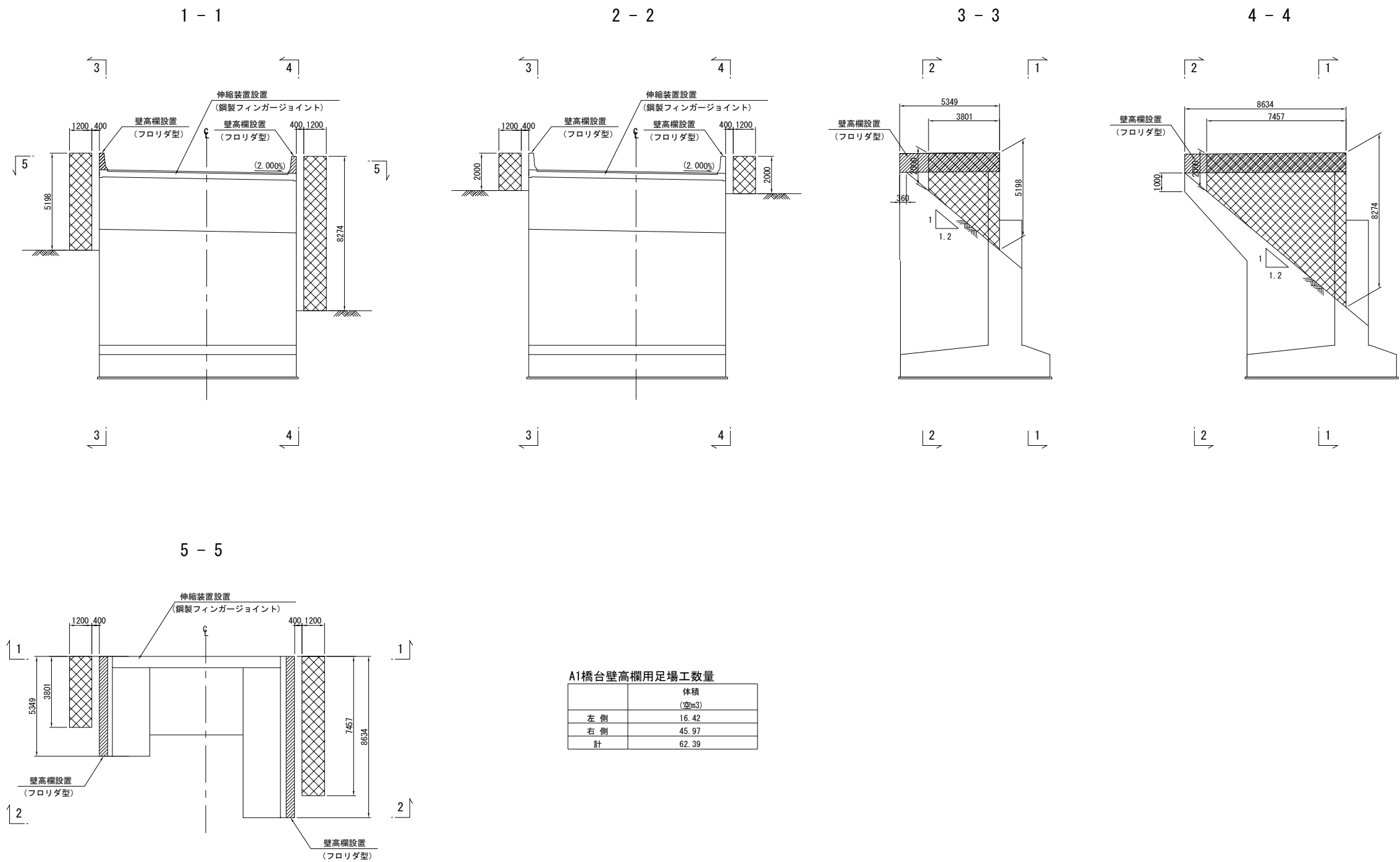
項 目	体 積 (m3)	備 考
コンクリート構造物取壊し (typeB)	4.1	壁高欄 (ワイヤーソー)
コンクリート構造物取壊し (typeC)	3.3	伸縮装置後打ちコンクリート (ブレーカー)
コンクリート構造物取壊し (typeD)	0.633	伸縮装置後打ちコンクリート (WJ)

コンクリート数量

項 目	体 積 (m3)	備 考
コンクリート A1-4 (A)	8.5	壁高欄、伸縮装置あと打ち

常磐自動車道 宮田川橋床版取替工事			
図面の種類	宮田川橋(下り線) A1~P2橋台改良図		
縮 尺	図 示	図面番号	47 / 165
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水 戸 管 理 事 務 所		

A1橋台



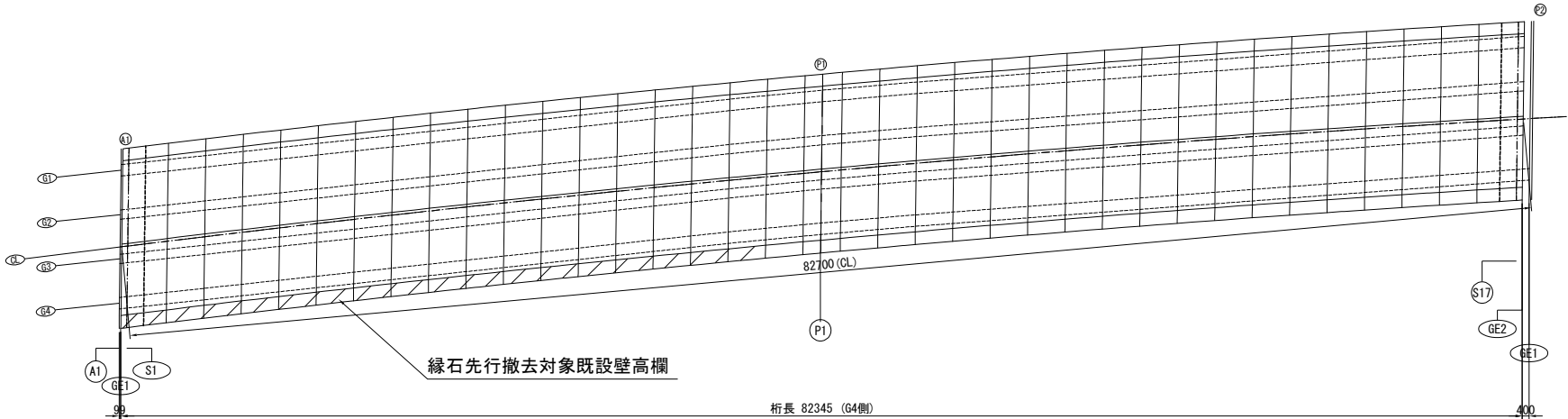
注記

1. 本図面は既設計図書を基に作成しているため、  
現地にて寸法を確認した上で、施工を行うこと。

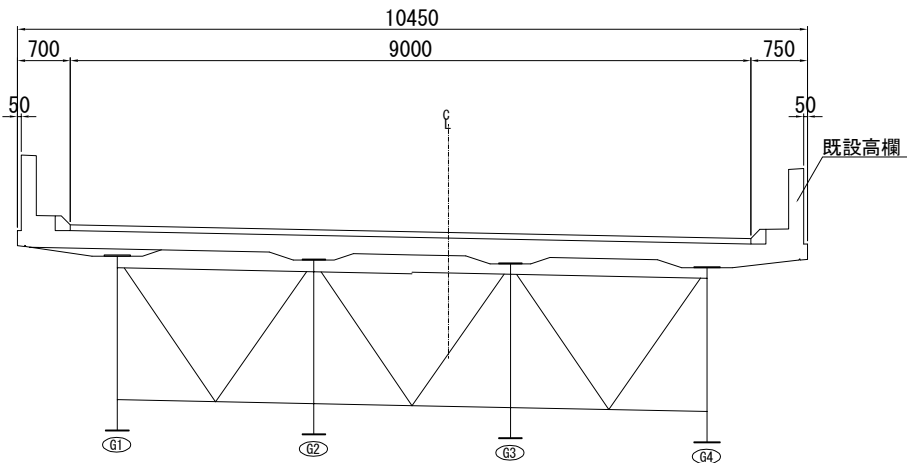
2. 現地盤高は現地計測値に基づくものとする。

常磐自動車道			
宮田川橋床版取替工事			
図面の種類	宮田川橋(下り線) A1～P2間橋台壁高欄用足場工設置図(参考図)		
縮 尺	図 示	図面番号	48 / 165
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管 理 事 務 所		

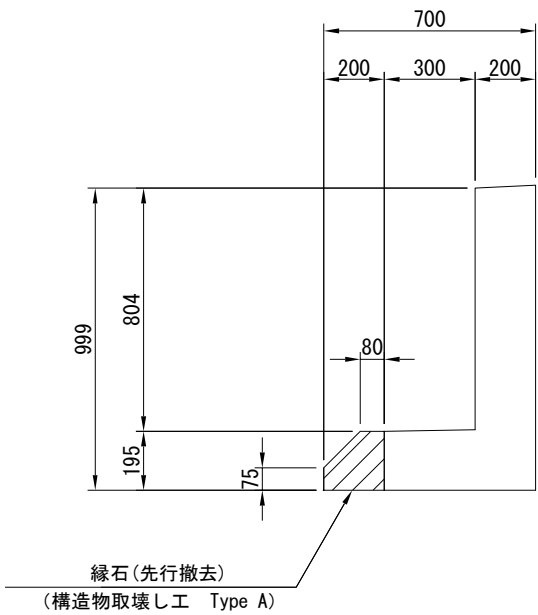
平面図 S=1:400  
(取替前)



横断面図 S=1:100



既設壁高欄詳細図 S=1:25



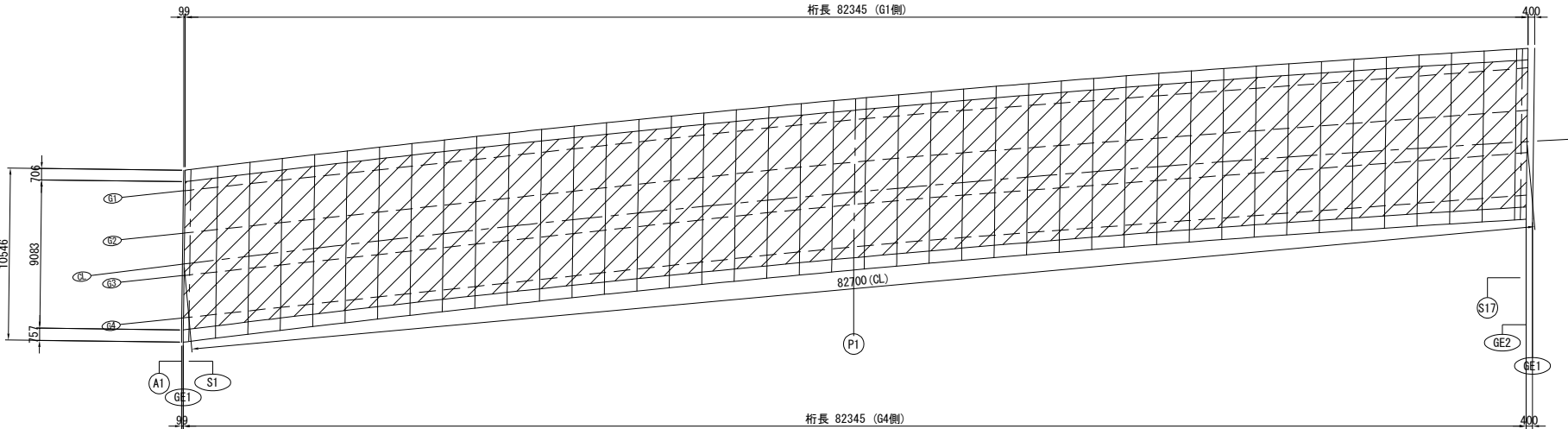
構造物取壊し工数量

	体積 (m3)	備考
コンクリート構造物取壊し (Type A)	1.3	鈑桁施工時に先行撤去

常磐自動車道 宮田川橋床版取替工事			
図面の種類	宮田川橋（下り線） A1～P2間 縁石撤去図		
縮 尺	図 示	図面番号	49 / 165
設計会社名	—		
施工会社名	—		
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水 戸 管 理 事 務 所		

宮田川橋(下り線) A1～P2間舗装工・床版防水工詳細図

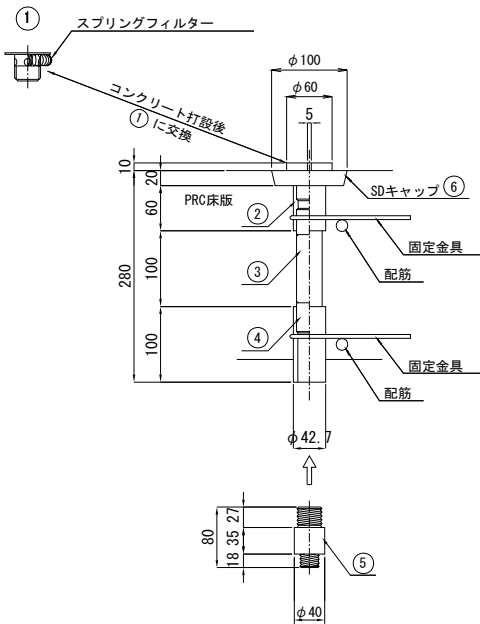
平面図 S=1:400  
(取替前)



平面図 S=1:400  
(取替後)

床版水抜きパイプ構成図 S=1:10

SD1 (製作数: 1)



固定金具 S=1:10



床版水抜きパイプ材料表

部 材 名	寸 法	備 考
①	φ 34. 0×35	銅管 (溶融亜鉛メッキ仕上げ) キャップ 付 (φ 60×2. 3t)
②	φ 42. 7×60	銅管 (溶融亜鉛メッキ仕上げ)
③	φ 34. 0×100	銅管 (溶融亜鉛メッキ仕上げ)
④	φ 42. 7×100	銅管 (溶融亜鉛メッキ仕上げ)
⑤	φ 40. 0×80	
SDキャップ ⑥	φ 100×45	樹脂性
導水管 ⑦	φ 40×1000	フレキシブル管
固定金具	φ 6x237	SR235
目詰り防止フィルター		スプリングフィルター (SUS304)

※ 導水管は排水管に接続すること。  
溶融亜鉛メッキ仕上げは、JIS H 8641 HDZT77とする。

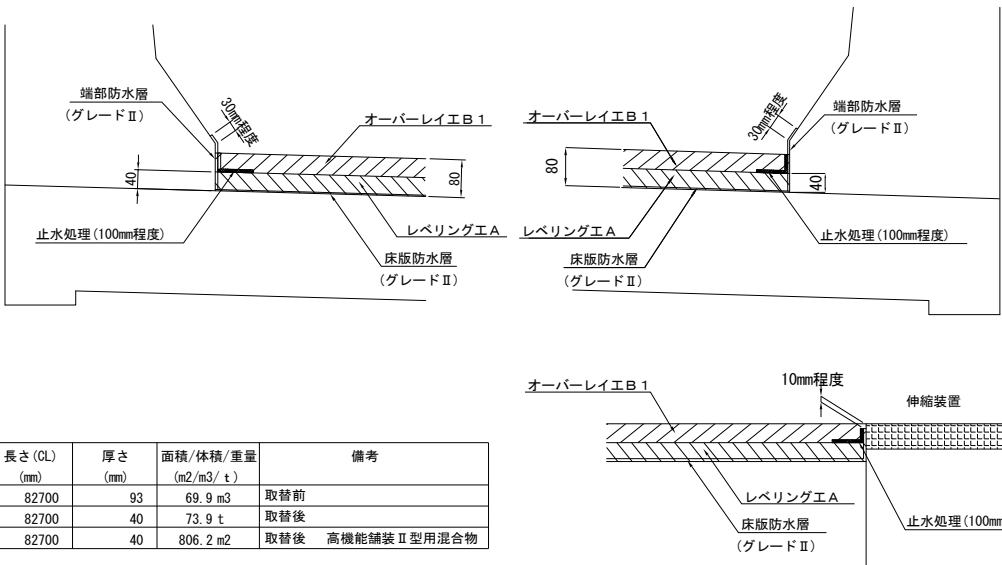
橋面防水工材料表

種別	仕様	単位	数量	備 考
端部防水層	グレードⅡ	m <sup>2</sup>	23. 2	
床版防水層	グレードⅡ	m <sup>2</sup>	800. 1	
止水処理		m	184. 8	L型止水テープ
床版水抜きパイプ	床版厚220mm用	個	1	

数量表

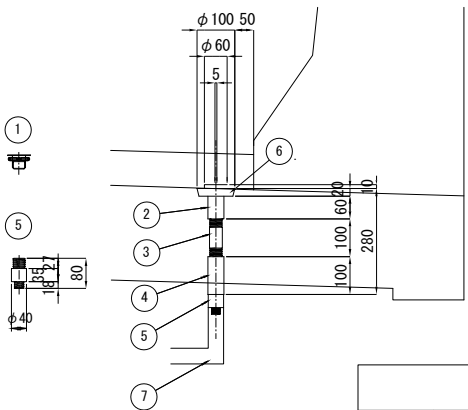
	幅 (mm)	長さ (CL) (mm)	厚さ (mm)	面積/体積/重量 (m2/m3/ t)	備考
路面切削工 A	9083	82700	93	69. 9 m3	取替前
レベリング工 A	9748	82700	40	73. 9 t	取替後
オーバーレイ工 B 1	9748	82700	40	806. 2 m2	取替後 高機能舗装Ⅱ型用混合物

橋面防水工詳細 S=1:20  
地覆部



床版水抜きパイプ詳細図 S=1:20

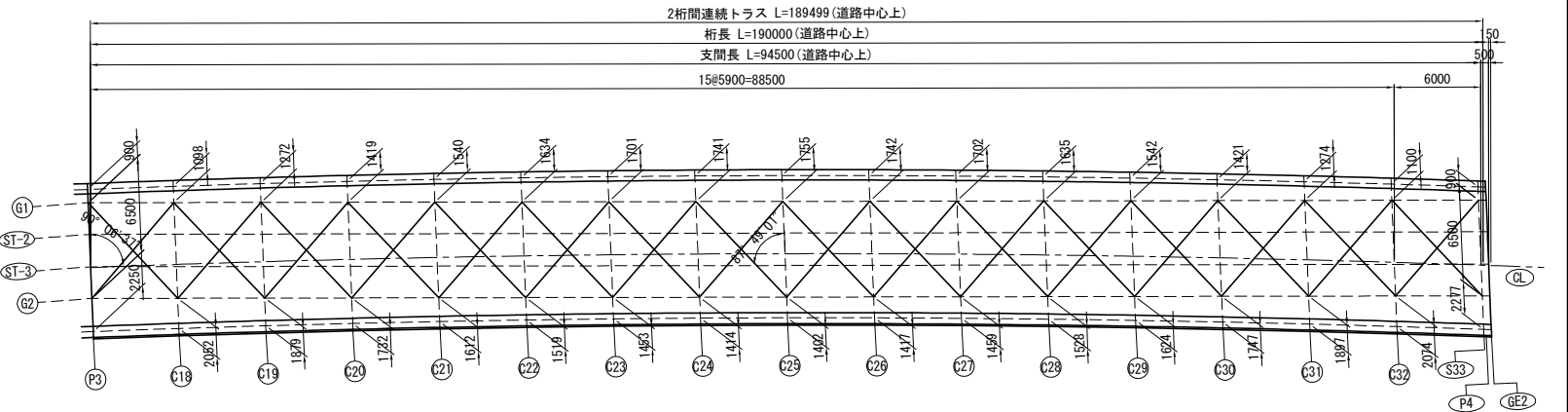
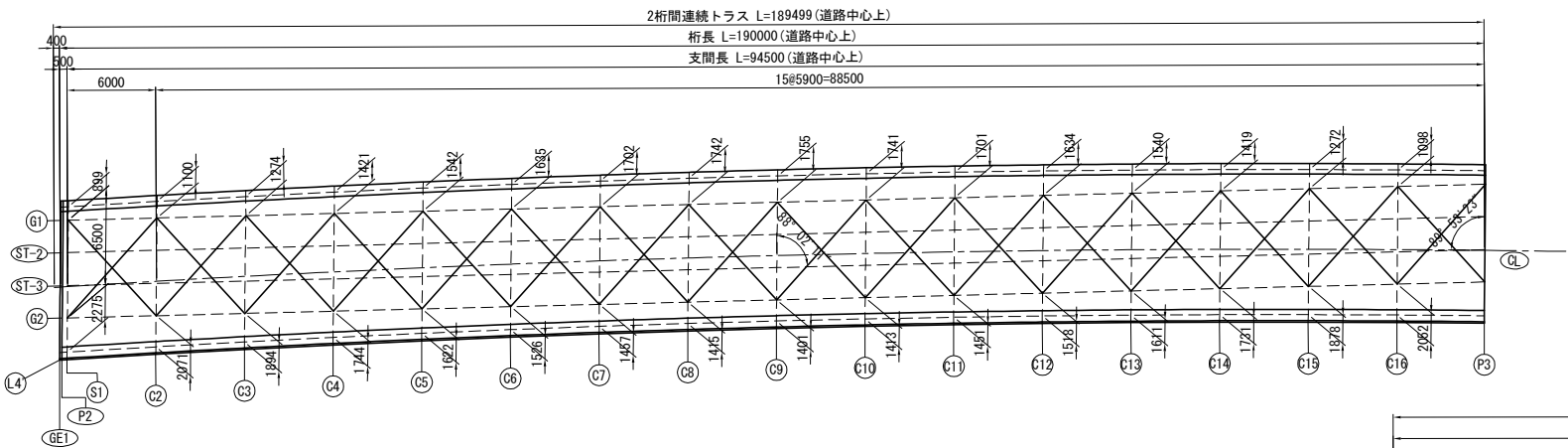
※コンクリート打設後①を設置。



※導水管は排水管に接続すること  
混合廃棄物については床版上1cmまでを見込んでいる。

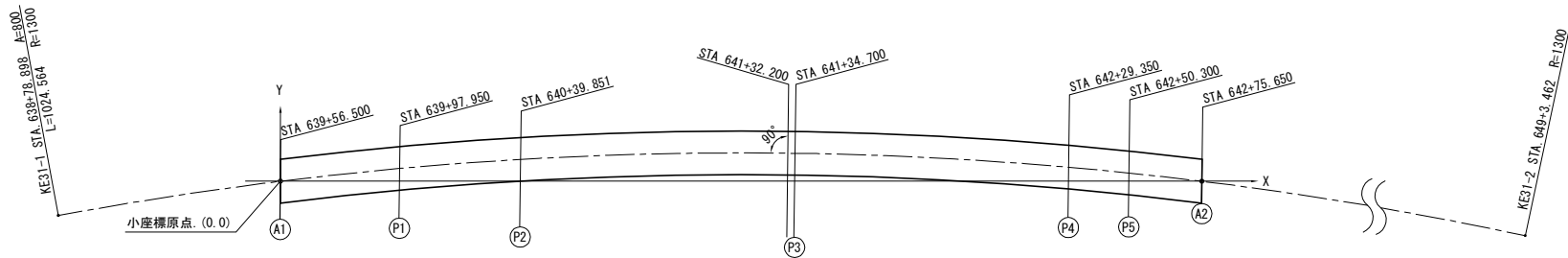
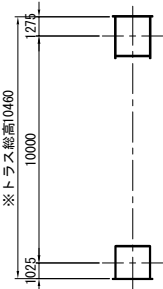
常磐自動車道 宮田川橋床版取替工事			
図面の種類	宮田川橋 (下り線) A1～P2間舗装工・床版防水工詳細図		
縮 尺	図 示	図面番号	50 / 165
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水 戸 管 理 事 務 所		





平面線形

トラス総高内訳



Ⓐ1 Ⓐ1 Ⓐ2 Ⓐ3 Ⓐ4 Ⓐ5 Ⓐ2 は全てSTA641+32.2 (PH-Line)に対して法線)に平行

縦断線形

大座標(PH-Line)

	STA	X	Y
KE31-1	638 + 78.898	+ 68,119.7068	+ 72,120.1459
A1	639 + 56.500	+ 68,196.3928	+ 72,131.9587
P1	638 + 97.950	+ 68,237.0261	+ 72,140.1375
P2	640 + 39.851	+ 68,277.8153	+ 72,149.7175
P3	641 + 34.700	+ 68,368.8638	+ 72,176.2228
P4	642 + 29.350	+ 68,457.5539	+ 72,209.2185
P5	642 + 50.300	+ 68,476.8448	+ 72,217.3889
A2	642 + 75.650	+ 68,500.0074	+ 72,227.6893
KE31-2	649 + 3.462	+ 68,987.4663	+ 72,613.6051

P2～P4 沓座高

名称	S-L		P3		S-R	
	G1	G2	G1	G2	G1	G2
路面計画高	141.389	141.263	140.635	140.505	139.882	139.749
舗装	75	75	75	75	75	75
床版	220	220	220	220	220	220
ハンチ	98	102	100	100	103	100
※トラス総高	10460	10460	10460	10460	10460	10460
下フランジ厚	19	19	28	28	19	19
ソールプレート	32	32	32	32	32	32
沓高	670	670	900	900	640	640
計	11574	11578	11815	11815	11549	11546
沓座高	129.815	129.685	128.820	128.690	128.333	128.203

Ⓐ2 ～ Ⓐ4 (2径間連続トラス)

1、主橋の配置について

Ⓐ1 の Ⓐ1 Ⓐ3 Ⓐ5 の各支承位置において床版張り出し

(Ⓐ3 に平行な方向)を1300mmにおさえて直線で結び Ⓐ2 は主橋間隔6.5m

(Ⓐ3 に平行な方向)で Ⓐ1 と平行とする。

2、ハンチの決め方

Ⓐ3 上でのハンチを Ⓐ1 で100mmにおさえて、トラスの縦断を

0.8% 横断(Ⓐ3 平行な方向)を2%一定としハンチを変化させた。

変更事項 (昭和56年2月)

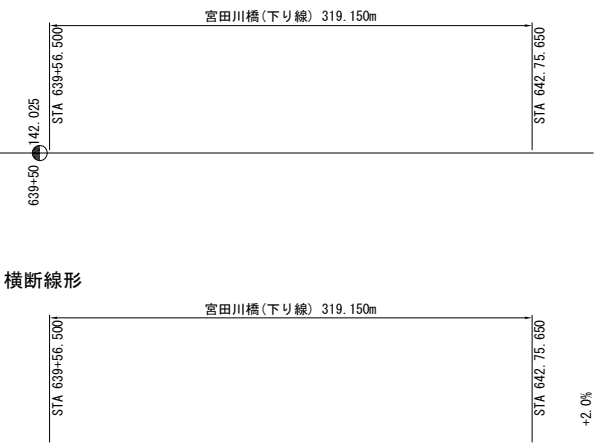
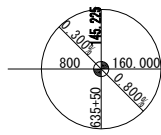
○ 支間P2～P4 (2 @ 92.0m)→(2 @ 94.5m)

○ P2 ～ P4 トラス

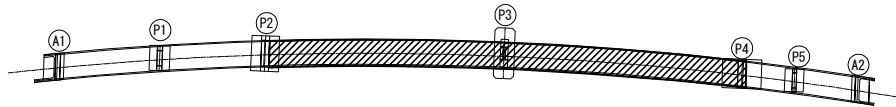
1. 中縦桁間隔 (3.250m + 3.250m)→(2.150m + 2.200m + 2.150m)

2. 床版厚 (240mm)→(220mm)

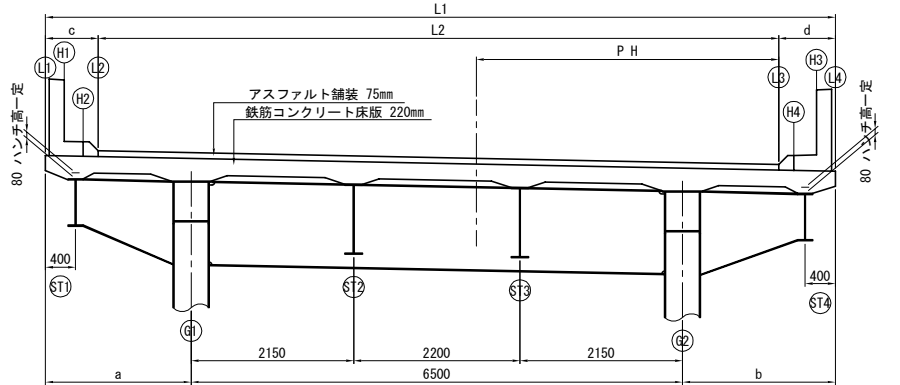
横断線形



配置図



トラス部断面

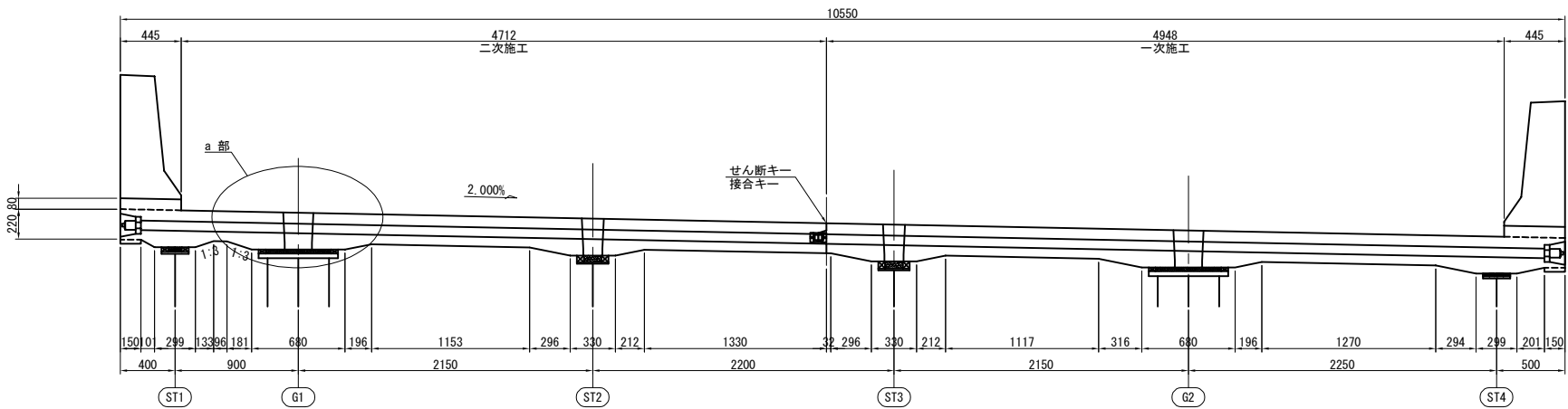


注記) 1. 本図は、既設橋梁の完成図を基にした図面である。  
2. 大座標(PH-Line)は日本測地系の座標である。

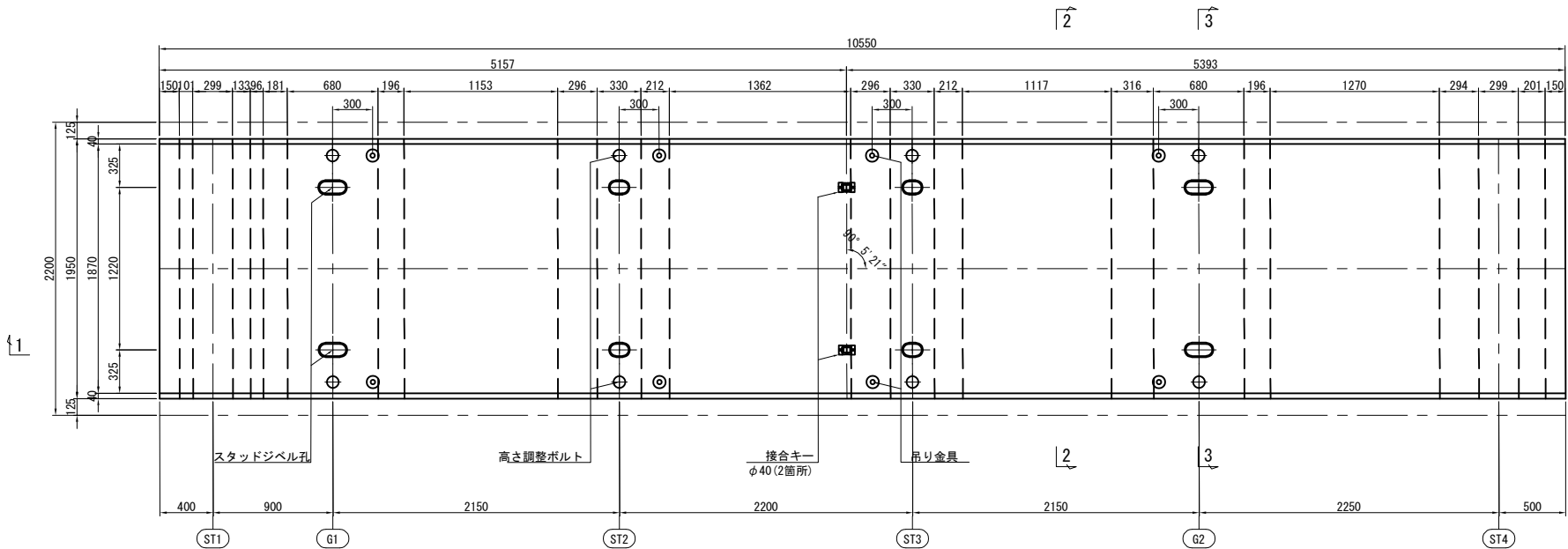
常磐自動車道	
宮田川橋床版取替工事	
図面の種類	宮田川橋(下り線) P2～P4間PC床版線形図(その1)
縮尺	1:500 図面番号 51 / 165
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所



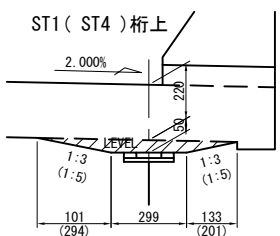
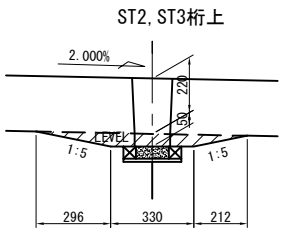
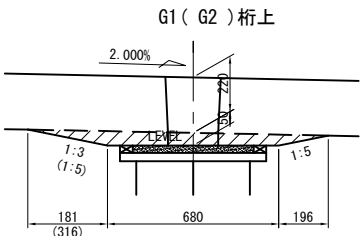
断面図 S=1:50  
1 - 1



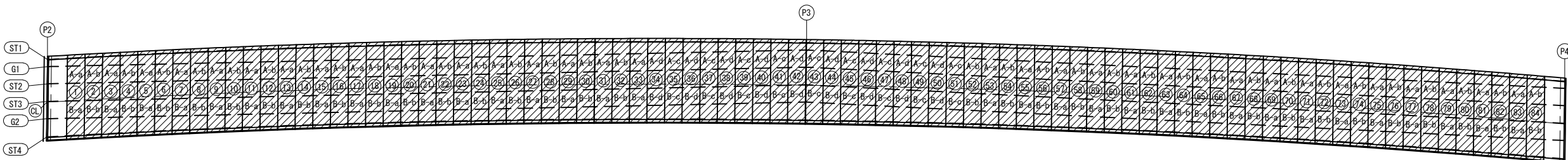
平面図 S=1:50



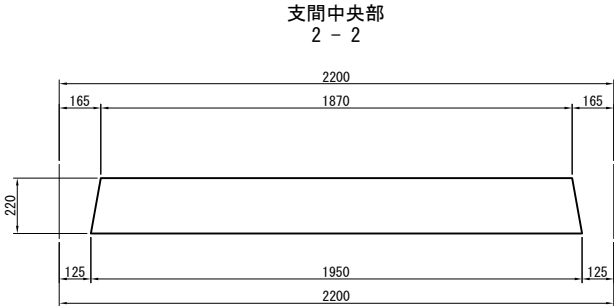
a部 詳細図 S=1:30



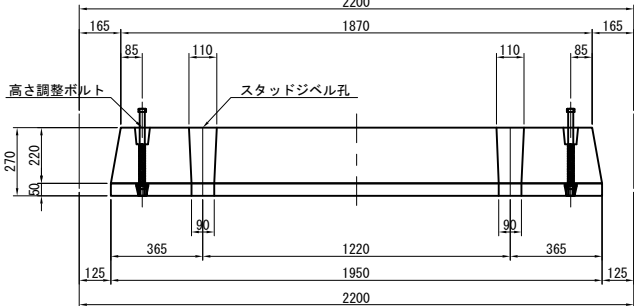
位置図 S=1:600



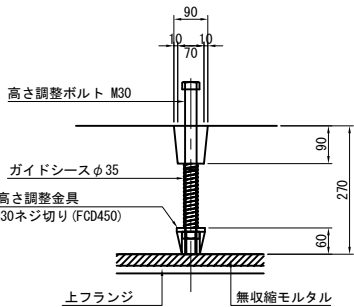
断面図 S=1:30  
2 - 2



支 点 部  
3 - 3

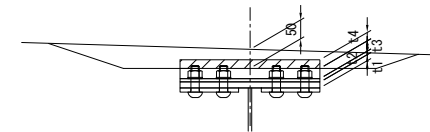


高さ調整ボルト詳細図 S=1:20



常磐自動車道 宮田川橋床版取替工事			
図面の種類	宮田川橋(下り線) P2~P4間プレキャストPC床版構造図(その1)		
縮 尺	図 示	図面番号	53 / 165
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水 戸 管 理 事 務 所		

添接版部の切欠き詳細 S=1:20

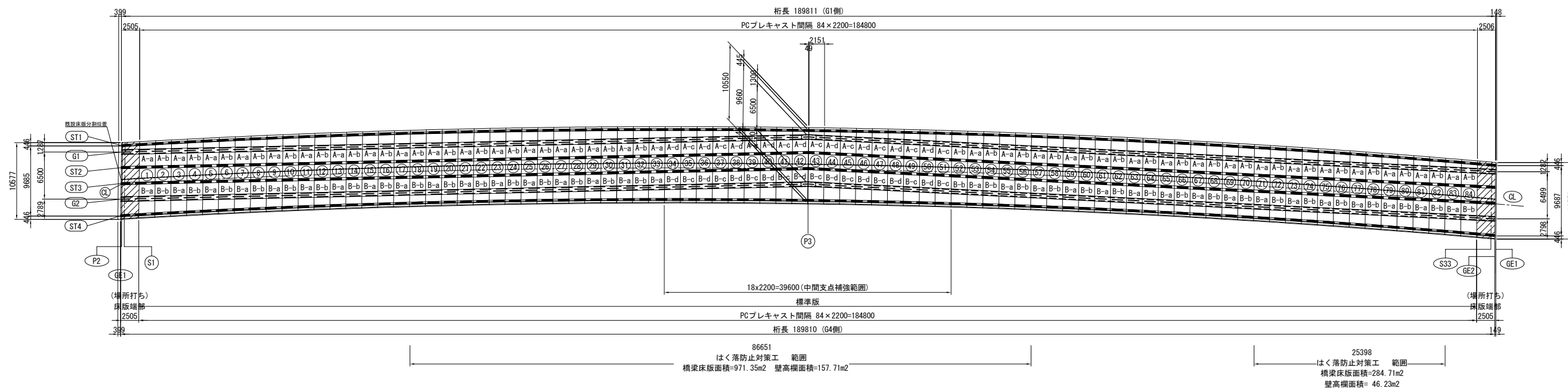


G1, G2



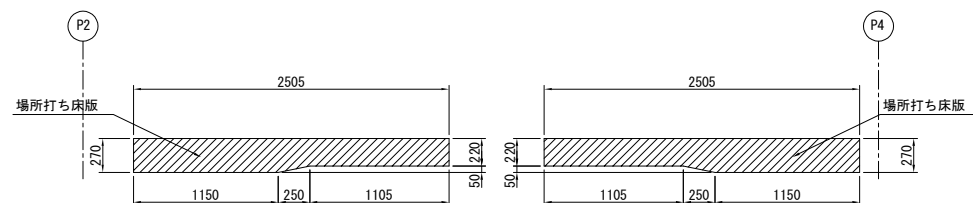
常磐自動車道			
宮田川橋版取替工事			
図面の種類	宮田川橋（下り線） P2～P4間トビレキャストPC版橋構造図（その2）		
縮 尺	図 示	図面番号	54 / 165
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

平面图 S=1:600

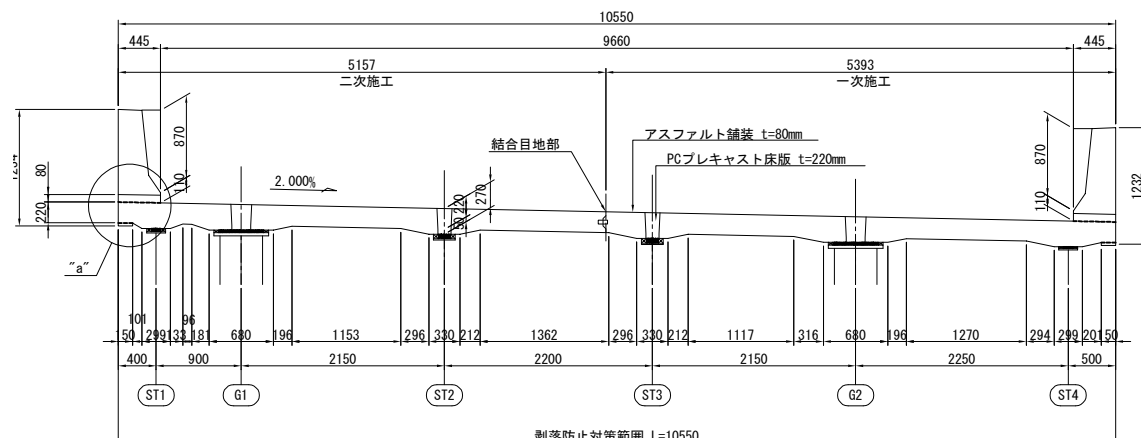


側面図 S=1:60

支間中央部



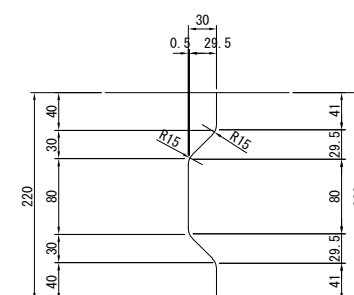
断面図 S=1:80



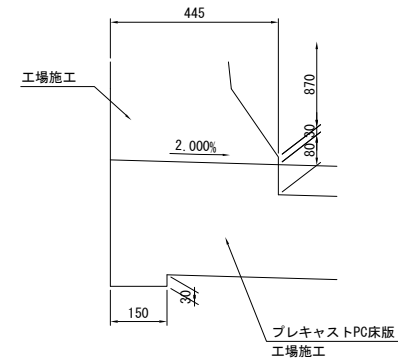
## PCプレキャスト床版タイプ表

タイプ	床 版 番 号	製作枚数
標準版 A-a	(1 3 5 7 9 11 13 15 17 19 21 23 25 27 29 31 33) (53 55 57 59 61 63 65 67 69 71 73 75 77 79 81 83)	33
標準版 B-a	(1 3 5 7 9 11 13 15 17 19 21 23 25 27 29 31 33) (53 55 57 59 61 63 65 67 69 71 73 75 77 79 81 83)	33
標準版 A-b	(2 4 6 8 10 12 14 16 18 20 22 24 26 28 30 32) (52 54 56 58 60 62 64 66 68 70 72 74 76 78 80 82 84)	33
標準版 B-b	(2 4 6 8 10 12 14 16 18 20 22 24 26 28 30 32) (52 54 56 58 60 62 64 66 68 70 72 74 76 78 80 82 84)	33
標準版 A-c (中間支点補強範囲)	(35 37 39 41 43 45 47 49 51)	9
標準版 B-c (中間支点補強範囲)	(35 37 39 41 43 45 47 49 51)	9
標準版 A-d (中間支点補強範囲)	(34 36 38 40 42 44 46 48 50)	9
標準版 B-d (中間支点補強範囲)	(34 36 38 40 42 44 46 48 50)	9

接合目地部詳細図 S=1:8



“a”部詳細図 S=1:20



はく落防止対策工A 数量表 (m2)

項目	数量	単位	備 考
はく落防止対策工 A	201.4	m2	間詰め部

はく落防止対策工数量(m2)

位置		はく落防止対策工、範囲		
		壁高欄	橋梁床版	計
P2～P4	間詰め部	58.48	142.93	201.41
	ﾌﾟﾚｰｽﾄ部	145.46	1,113.13	1,258.59
	計	203.94	1,256.06	1,460.00

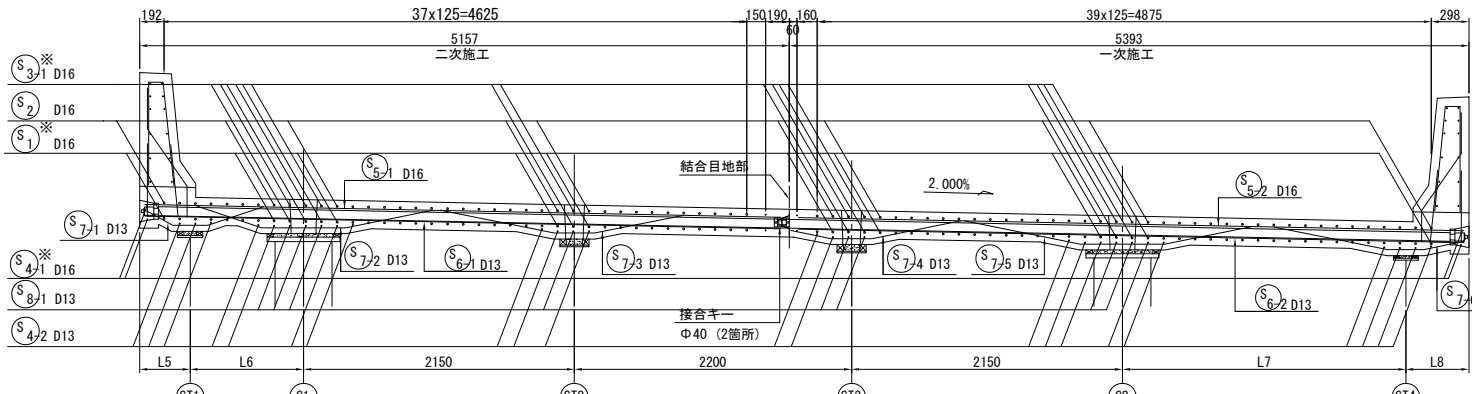
### プレキャスト床版材料表

はく落防止対策工の延長	$86.651 + 25.398 =$	$112.049 \text{ m}$	
床版延長		$2.2 \text{ m/枚}$	
はく落防止対策を行う床版の枚数	$112.049 / 2.2 =$	$51 \text{ 枚}$	特-(1)C、特-(1)D
はく落防止対策を行わない床版の枚数	$84 - 51 =$	$33 \text{ 枚}$	特-(1)A、特-(1)B

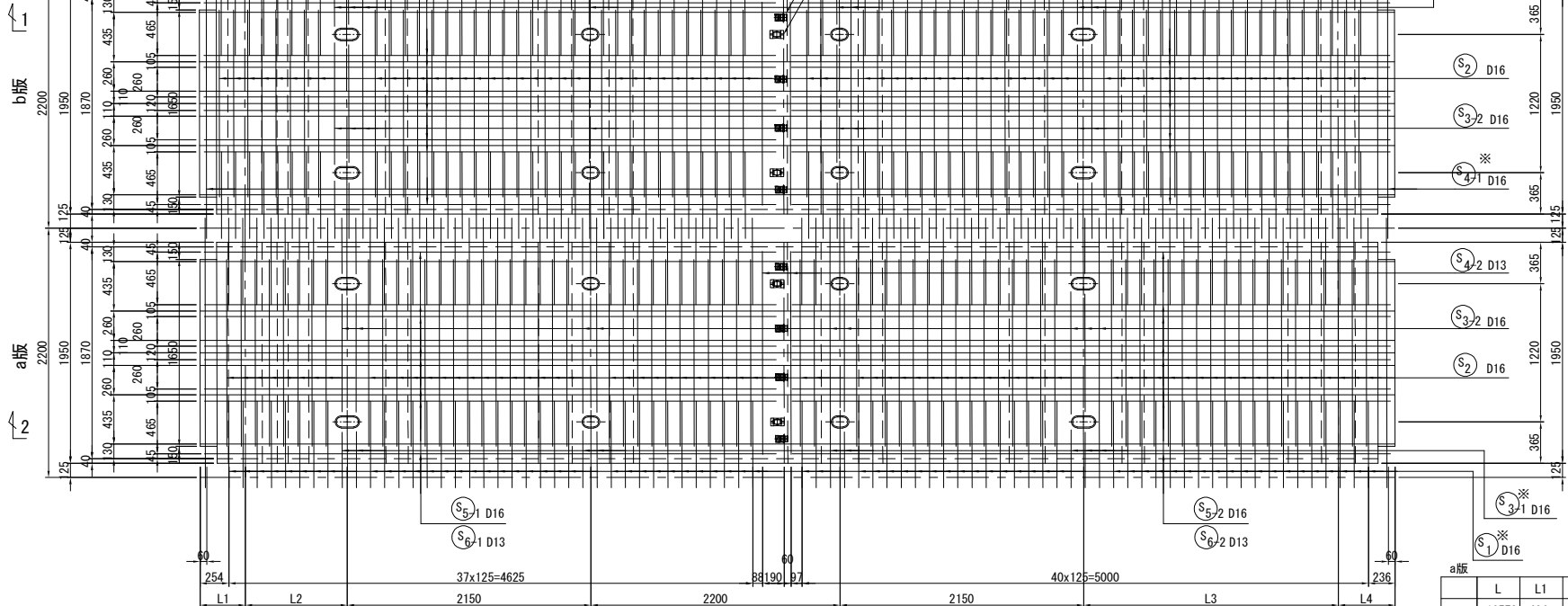
注記) はく落防止対策工の施工範囲は、現地確認等を行い決定すること。

常磐自動車道 宮田川橋床版取替工事			
図面の種類	宮田川橋（下り線） P2～P4間プレキャストPC床版割付図		
縮 尺	図 4	図面番号	55 / 165
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

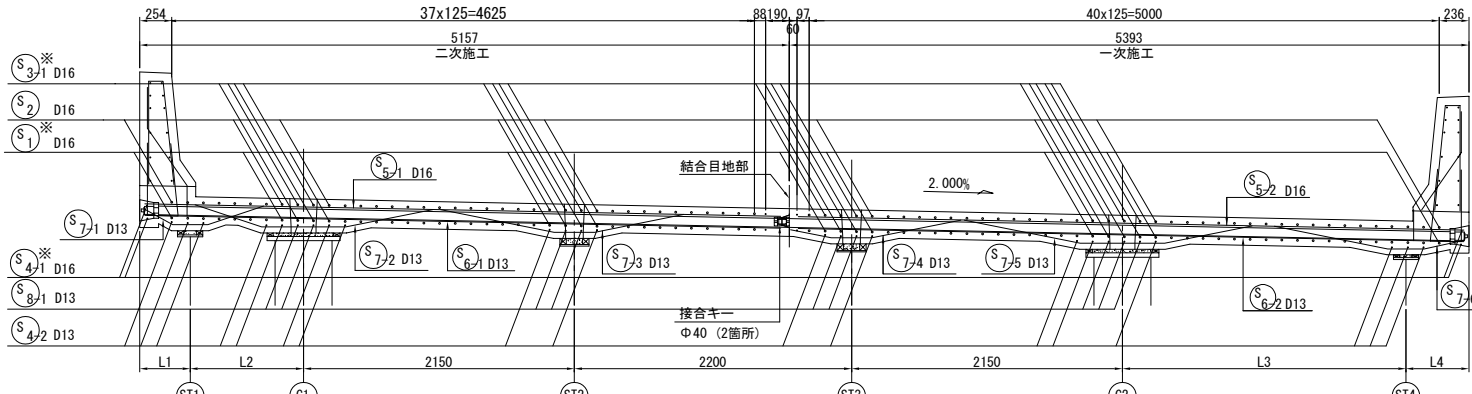
1 - 1



平面图



2 - 2

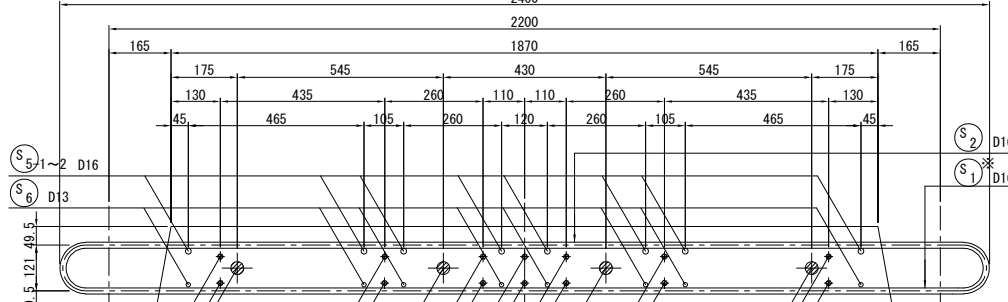


S=1 : 20

端部・支間中央部

起点側

終点側



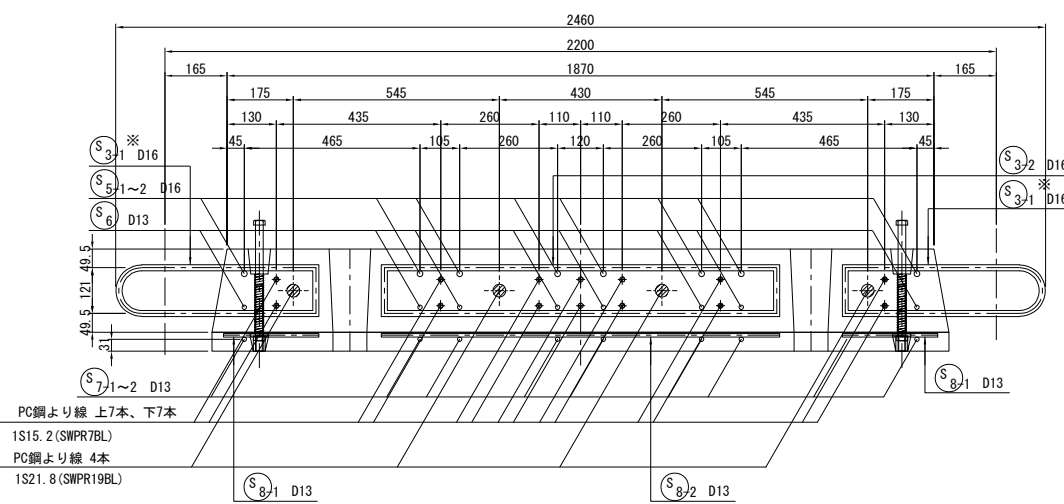
PC鋼より線 上7本、下7本

1S15. 2 (SWPR7BL)

PC銅より線 4本

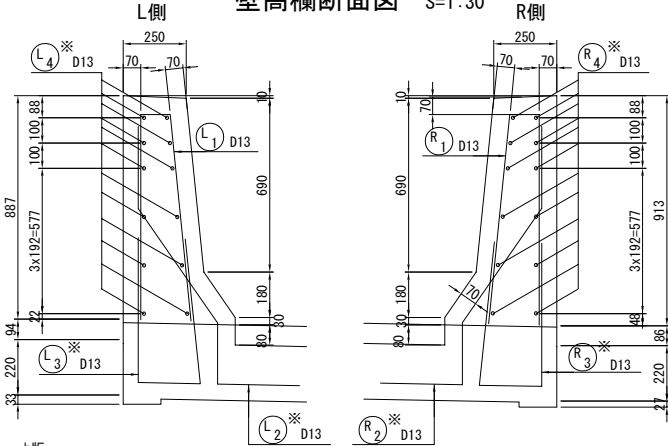
1S21. 8 (SWPR19BU

支点部



S=1 : 30

S=1 : 30



注記

- ※印はエポキシ樹脂塗装鉄筋を示す。
- 排水樹版の配筋については詳細設計において別途検討すること。

常盤自動車道			
宮田川橋床版取替工事			
図面の種類	宮田川橋（下り線） P2～P4間ブリキヤストPC床版取替図（の1）		
縮 尺	図 示	図面番号	56 / 165
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

表名	L	L1	L2	L3	L4
①	10578	404	967	2206	501
③	10574	402	1115	2056	501
⑤	10572	403	1245	1925	501
⑦	10572	404	1359	1808	501
⑨	10569	403	1460	1705	501
⑪	10565	401	1548	1616	501
⑬	10565	402	1617	1544	501
⑮	10564	404	1672	1488	501
⑰	10562	403	1714	1445	500
⑲	10558	401	1742	1415	500
㉑	10559	402	1752	1404	500
㉓	10559	404	1748	1407	500
㉕	10557	403	1730	1424	500
㉗	10554	400	1700	1453	500
㉙	10555	402	1650	1503	500
㉛	10555	403	1586	1566	500
㉝	10554	402	1509	1642	500
㉞	10554	403	1508	1644	500
㉟	10556	403	1585	1568	500
㊱	10556	402	1649	1504	500
㊳	10555	401	1699	1455	500
㊵	10558	403	1730	1425	500
㊷	10560	403	1748	1408	500
㊹	10560	402	1752	1405	500
㊻	10560	401	1743	1416	500
㊽	10564	403	1714	1446	501

a版	L	L1	L2	L3	L4
⑦	10566	404	1673	1489	501
⑦	10567	402	1618	1545	501
⑦	10567	401	1548	1617	501
⑦	10572	404	1460	1707	501
⑦	10574	404	1359	1810	501
⑧	10575	403	1245	1926	501
⑧	10577	402	1115	2059	501

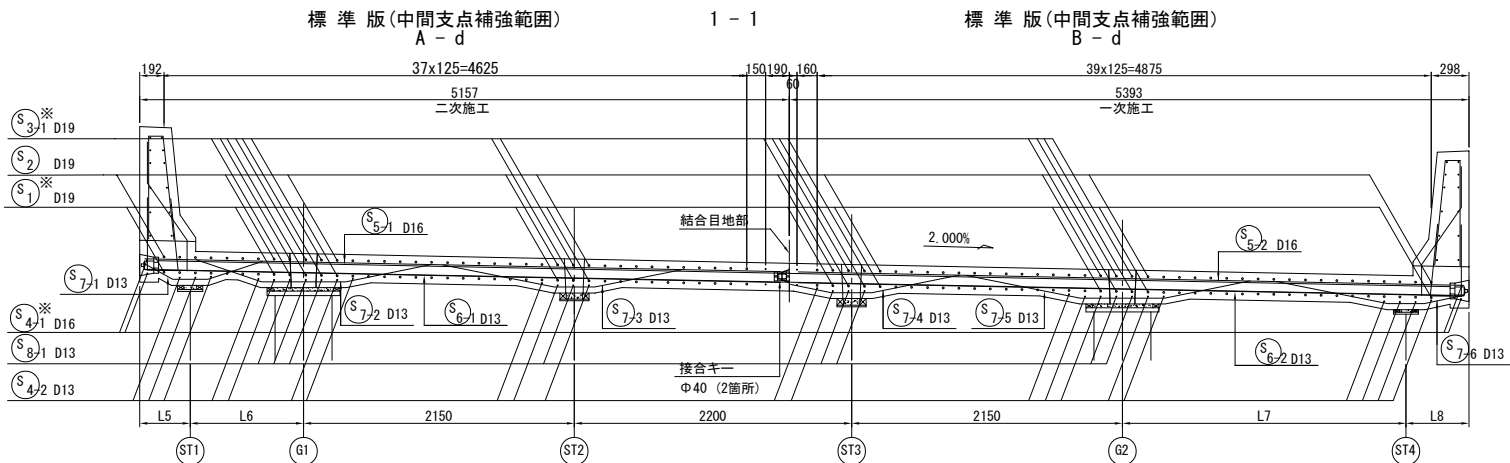
b版	L	L5	L6	L7	L8
②	10577	404	1042	2130	501
④	10575	404	1180	1990	501
⑥	10571	403	1304	1864	501
⑧	10568	401	1413	1753	501
⑩	10568	403	1504	1660	501
⑫	10567	404	1582	1580	501
⑭	10564	402	1647	1514	501
⑮	10561	401	1697	1462	500
⑰	10561	403	1729	1429	500
⑲	10560	403	1747	1409	500
⑳	10558	402	1753	1403	500
㉑	10556	401	1743	1412	500
㉒	10557	403	1715	1438	500
㉓	10556	403	1675	1478	500
㉔	10554	402	1621	1531	500
㉕	10553	401	1551	1600	500

887  
3x102-577  
94  
22  
270  
53  
180  
80  
50  
D13  
L<sub>3</sub>※  
L<sub>2</sub>

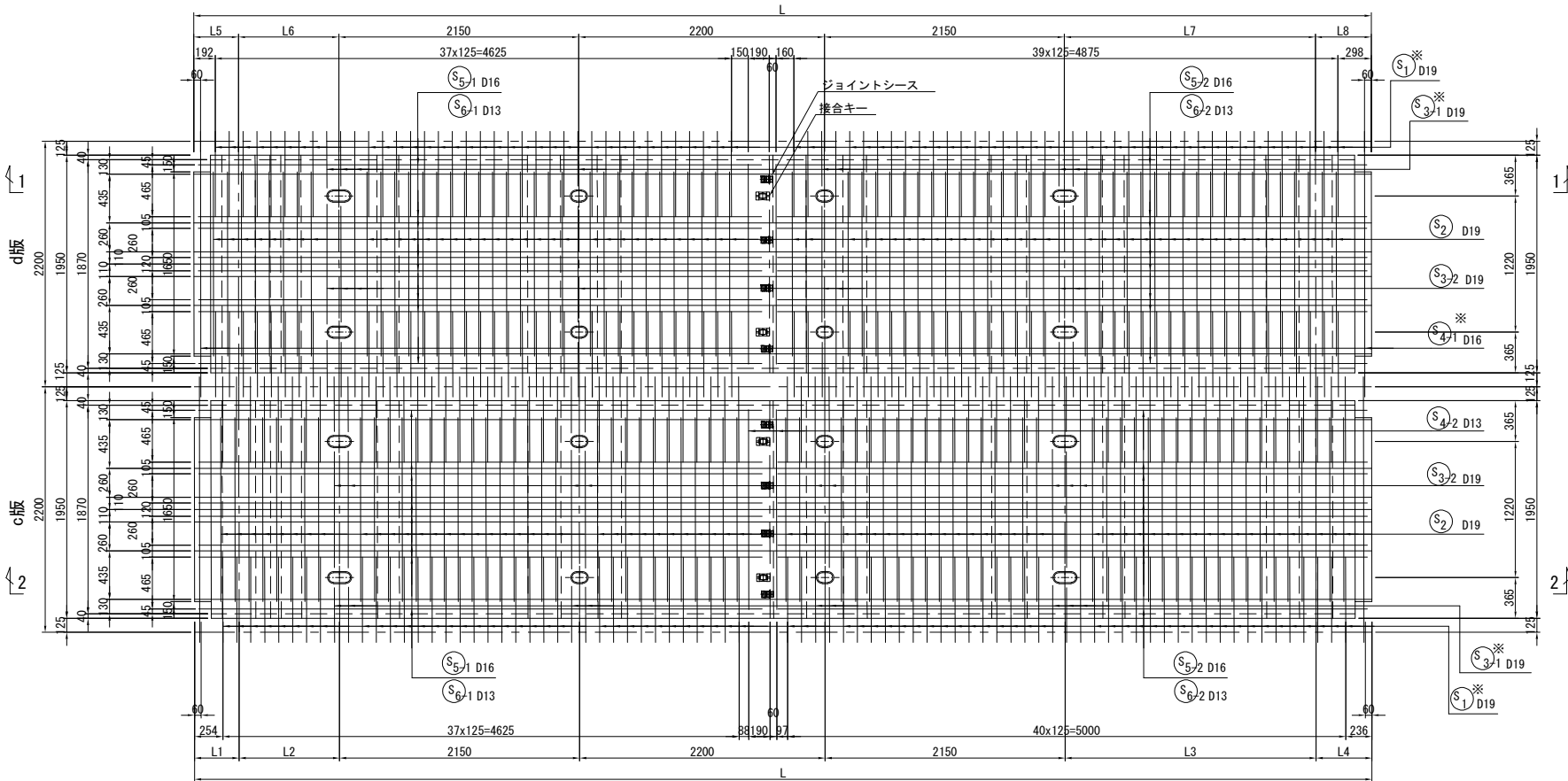
b版

㉔	10555	403	1463	1689	500
㉕	10553	401	1550	1602	500
㉖	10555	402	1620	1533	500
㉗	10557	403	1674	1480	500
㉘	10558	403	1715	1440	500
㉙	10557	401	1743	1413	500
㉚	10559	402	1753	1404	500
㉛	10562	404	1748	1410	500
㉜	10563	403	1729	1430	500
㉝	10563	401	1698	1463	501
㉞	10566	402	1648	1515	501
㉟	10569	404	1583	1581	501
㊱	10570	403	1505	1661	501
㊲	10570	401	1414	1754	501
㊳	10574	403	1304	1866	501
㊴	10578	404	1180	1992	501
㊵	10580	404	1042	2132	501

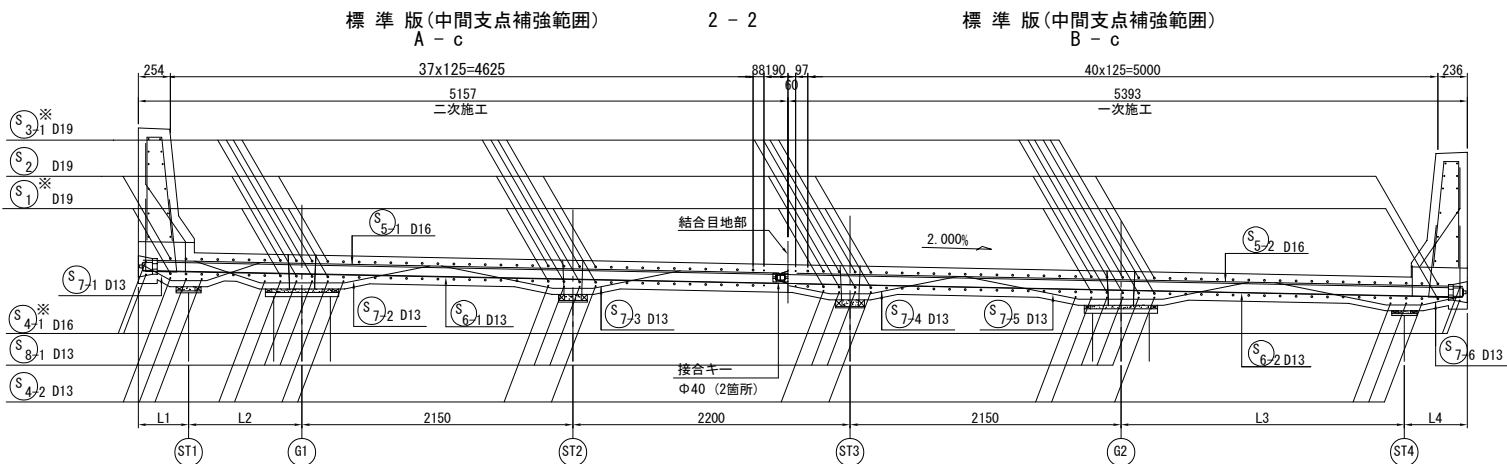
断面図



平面図



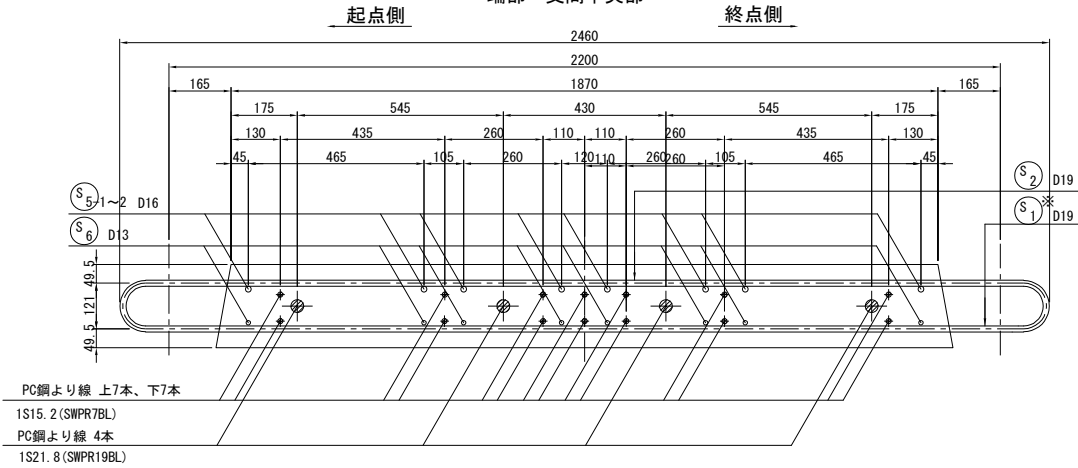
断面図



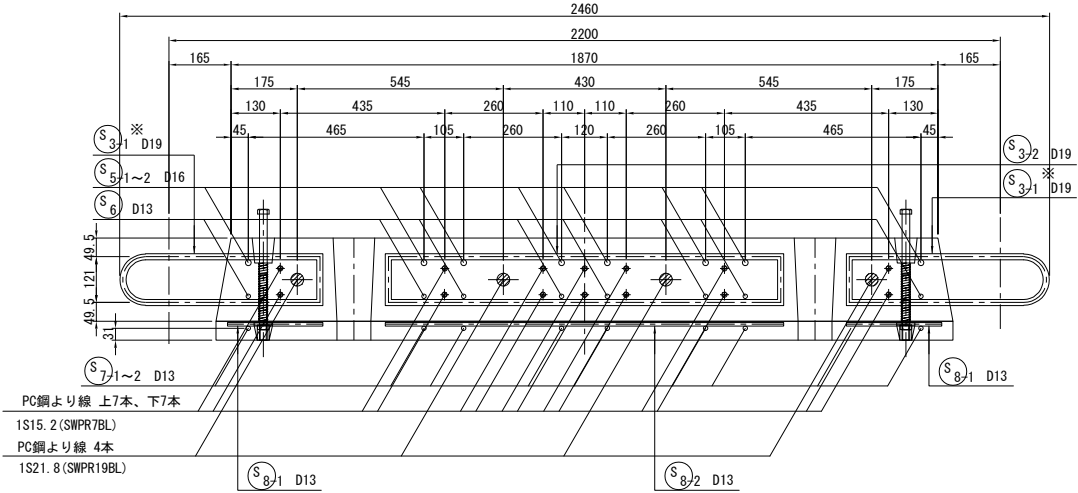
c版	L	L1	L2	L3	L4
㊦	10551	400	1420	1731	500
㊧	10555	402	1310	1841	503
㊨	10557	403	1187	1963	503
㊩	10552	402	1051	2099	500
㊪	10550	400	902	2248	500
㊫	10552	402	1048	2102	500
㊬	10556	403	1184	1966	502
㊭	10556	402	1307	1843	503
㊮	10551	400	1417	1734	500

d版	L	L5	L6	L7	L8
㊯	10554	403	1464	1686	500
㊰	10555	403	1365	1786	501
㊱	10557	401	1252	1898	506
㊲	10552	402	1122	2028	501
㊳	10553	403	976	2174	500
㊴	10553	403	973	2177	500
㊵	10552	401	1119	2031	501
㊶	10555	401	1249	1901	504
㊷	10556	403	1362	1789	502

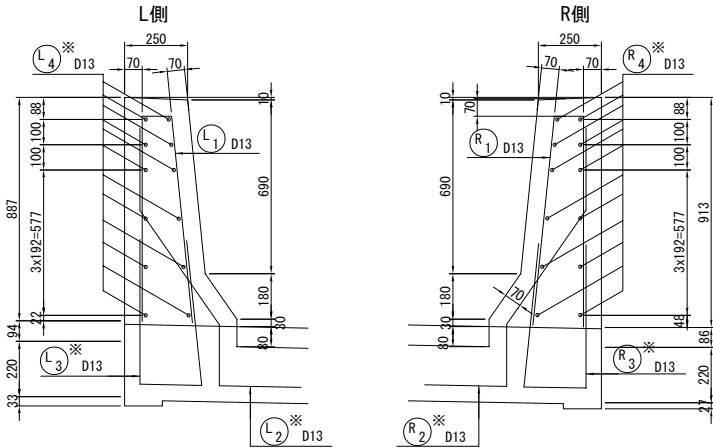
床版断面図 S=1:20  
端部・支間中央部



支点部



壁高欄断面図 S=1:30



鉄筋曲げ加工表

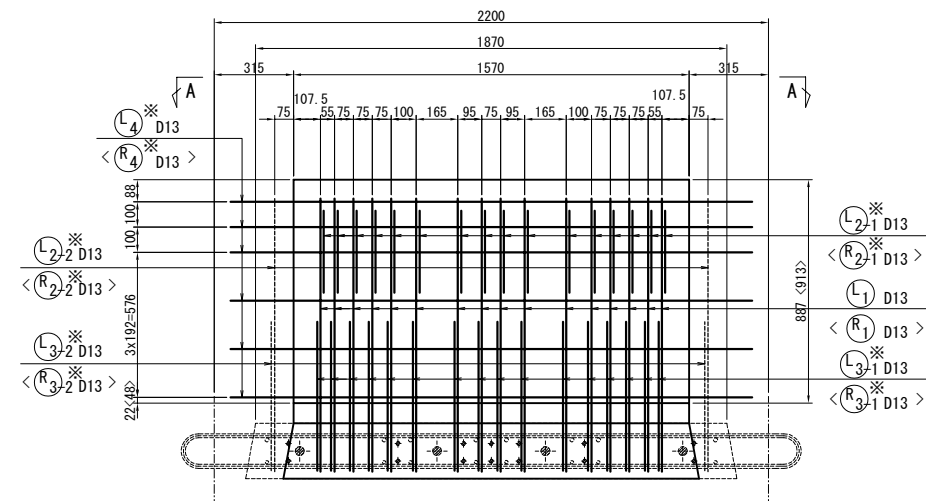
径		$\theta = 90^\circ$			$\theta = 100^\circ$			$\theta = 135^\circ$			$\theta = 170^\circ$		
		R	a	$\Delta L$	R	a	$\Delta L$	R	a	$\Delta L$	R	a	$\Delta L$
D13	39	61	17	71.5	100	20	71.5	56	3	71.5	12	0	
	D16	48	75	21	88	123	25	88	69	4	88	15	0

注記  
1. ※印はエポキシ樹脂塗装鉄筋を示す。  
2. 排水樹版の配筋については詳細設計において別途検討すること。

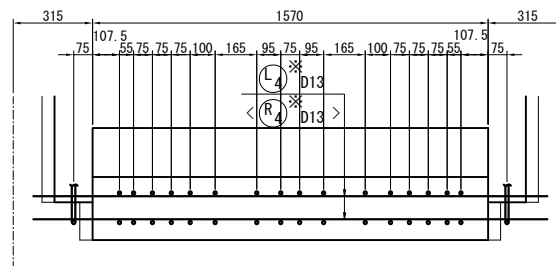
常磐自動車道	
宮田川橋床版取替工事	
図面の種類	宮田川橋(下り線) P2~P4間プレキャストPC床版配筋図(その2)
縮尺	図示 図面番号 57 / 165
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所

壁高欄側面図 S=1:30

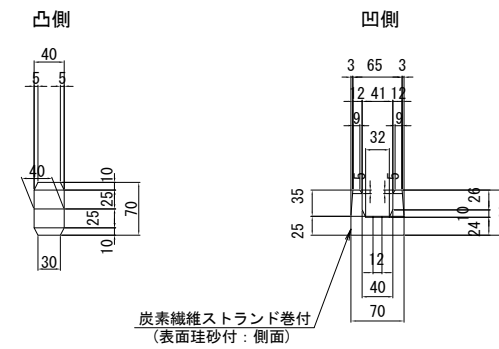
L側 <R側>



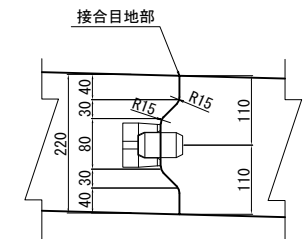
A - A



接合キ一詳細図 S=1:10



接合目地部詳細図 S=1:12



ジョイントシーす詳細図 S=1:10



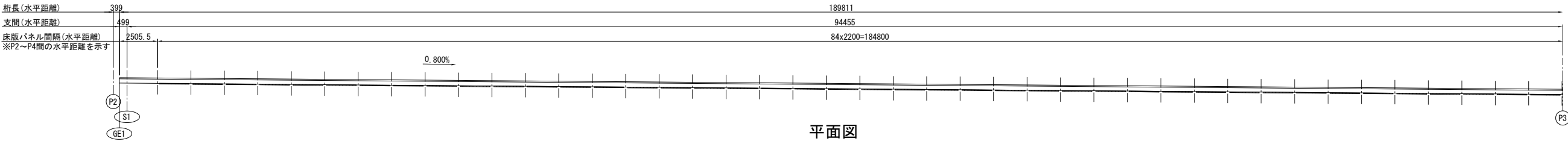
注記

- ※印はエポキシ樹脂塗装鉄筋を示す。
- 詳細設計により構造・配筋等を決定すること。

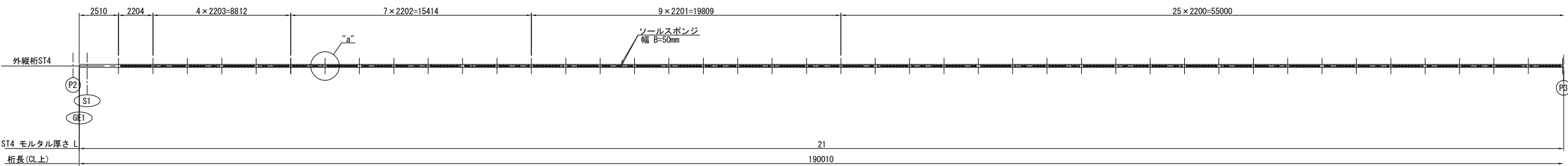
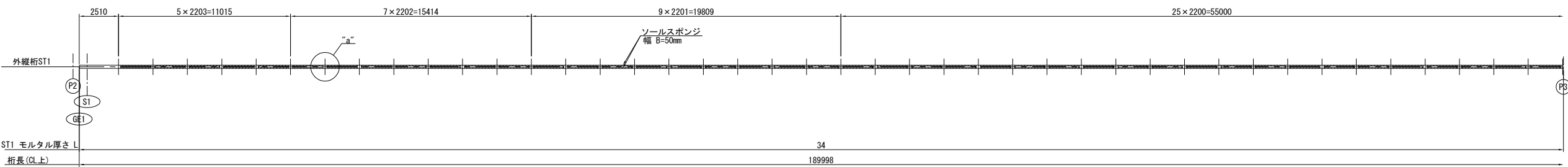
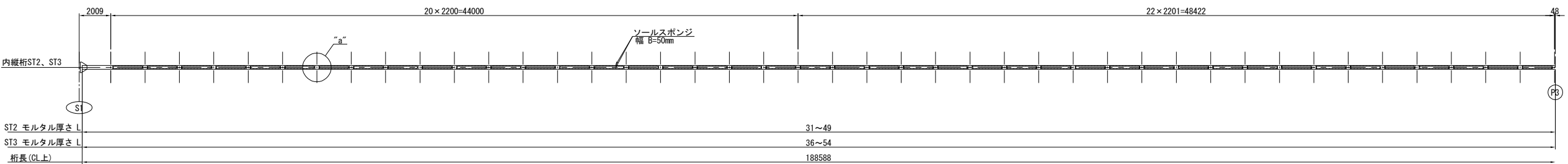
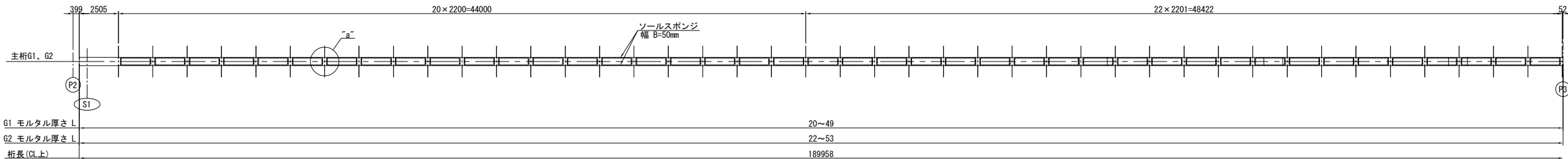
常盤自動車道 宮田川橋床版取替工事			
図面の種類	宮田川橋（下り線） P2～P4間プレキャストPC床版配筋図（その3）		
縮 尺	図 示	図面番号	58 / 165
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		



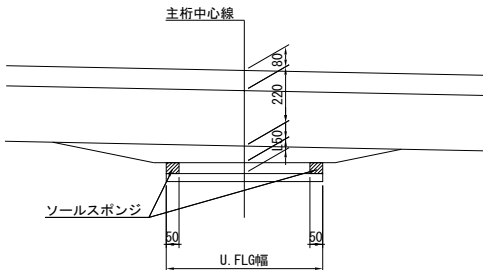
側面図



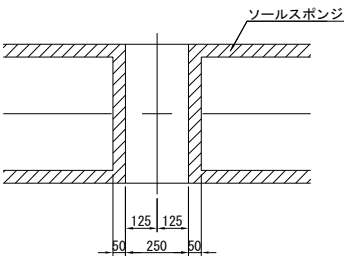
平面図



断面図 S= 1:30

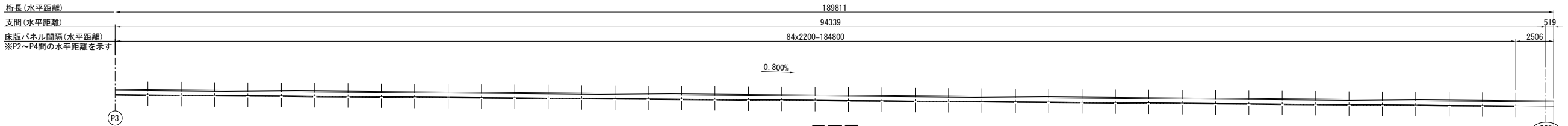


“a”部詳細 S= 1:30

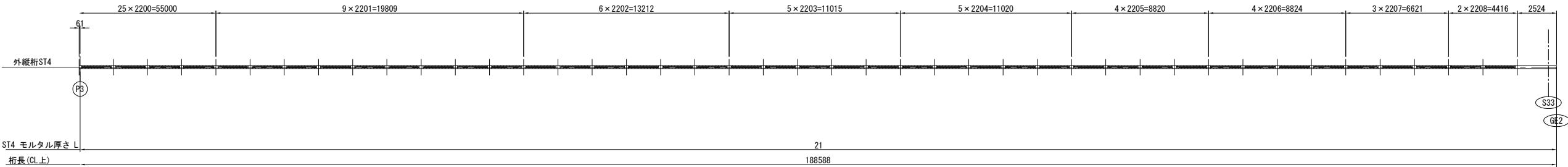
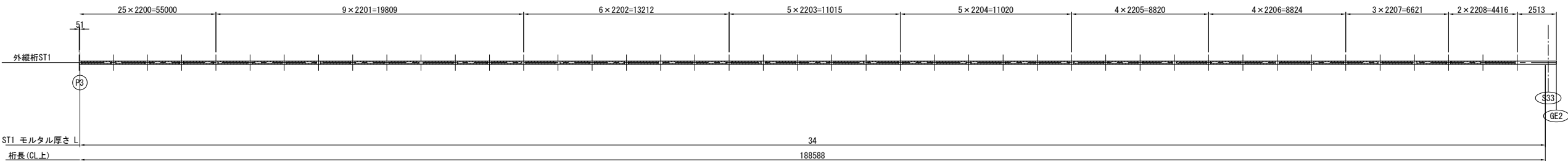
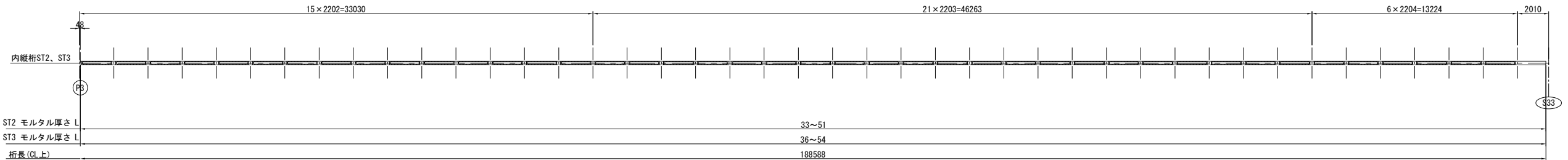
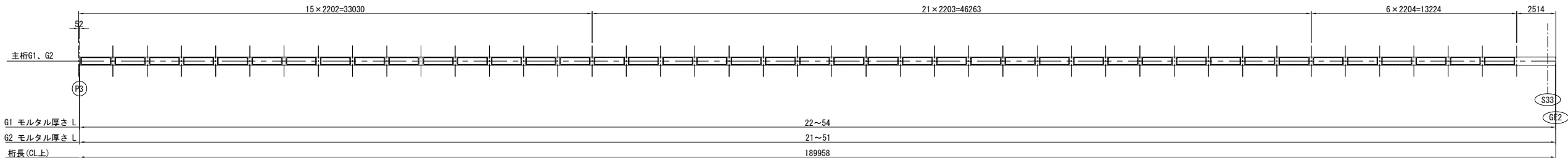


常磐自動車道				
宮田川橋床版取替工事				
図面の種類	宮田川橋（下り線） P2～P4間ソールスポンジ詳細図（その1）			
縮 尺	図 示	図面番号	59 / 165	
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水 戸 管 理 事 務 所			

側面図



平面図

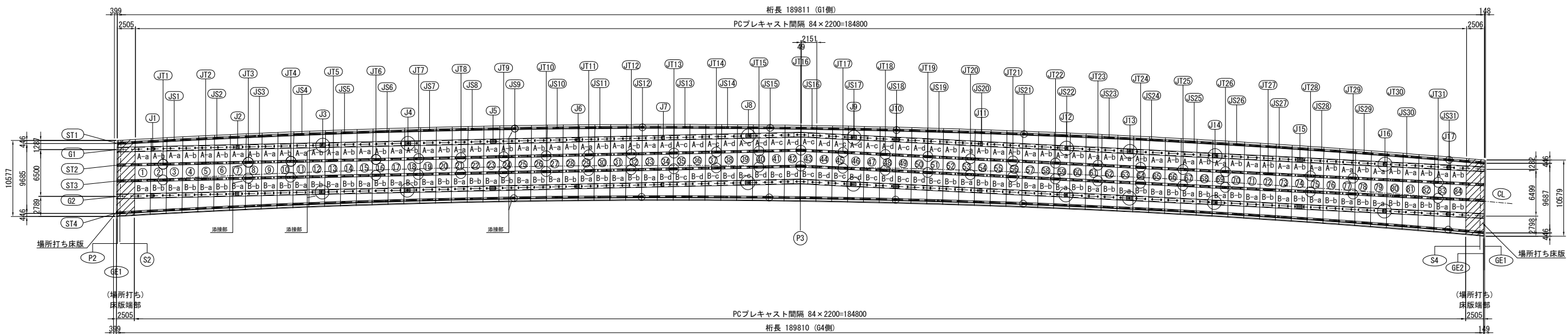


数量表

	G1	G2	ST1	ST2	ST3	ST4	合計
ソールスポンジ体積 (m3)	0.625	0.634	0.539	0.655	0.719	0.333	3.505

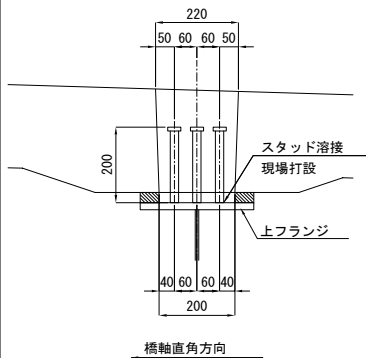
常磐自動車道 宮田川橋床版取替工事			
図面の種類	宮田川橋 (下り線)		
	P2～P4間ソールスポンジ詳細図(その2)		
縮 尺	図 示	図面番号	60 / 165
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水 戸 管 理 事 務 所		

平面図 S= 1:600



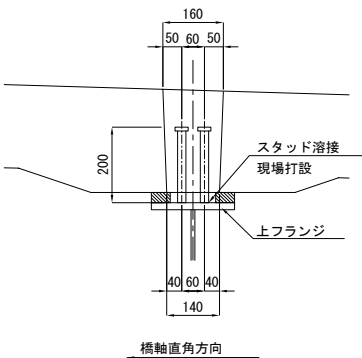
断面図 S= 1:20

中間・中間支点部 (G1, G2)



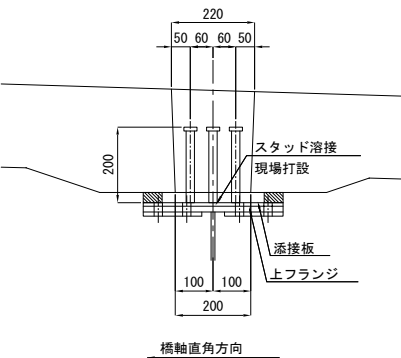
3-STUD BOLT M22x200 (SS400相当)

中間・中間支点部 (ST2, ST3)



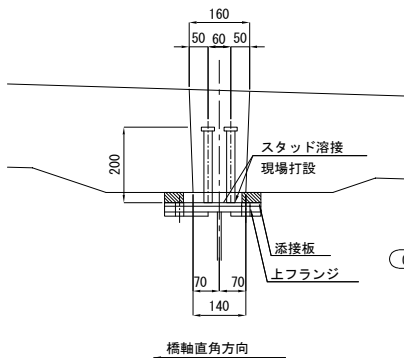
2-STUD BOLT M22x200 (SS400相当)

主桁添接部 (G1, G2)



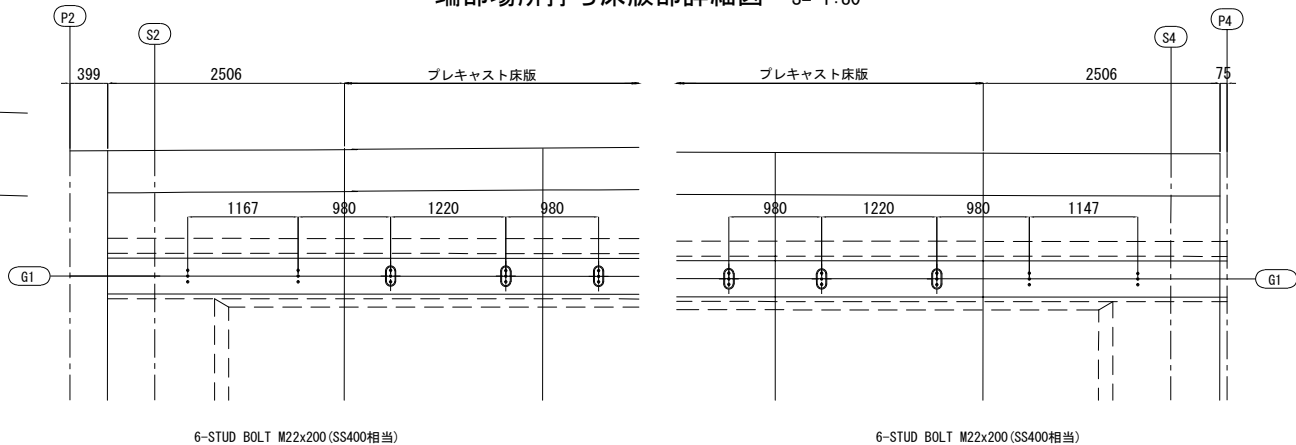
3-STUD BOLT M22x200 (SS400相当)

主桁添接部 (ST2, ST3)



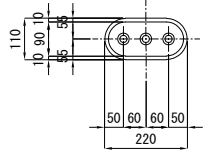
2-STUD BOLT M22x200 (SS400相当)

端部場所打ち床版部詳細図 S= 1:80

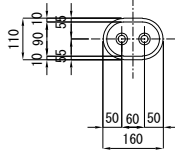


平面図 S= 1:20

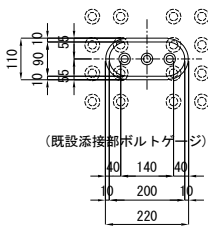
中間・中間支点部 (G1, G2)



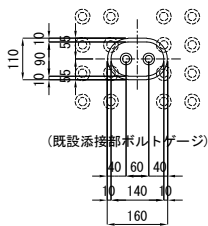
中間・中間支点部 (ST2, ST3)



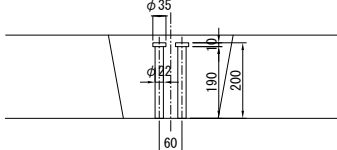
主桁添接部 (G1, G2)



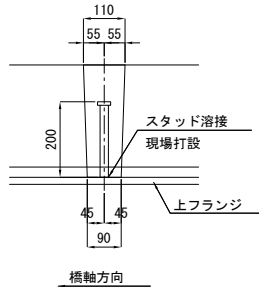
主桁添接部 (ST2, ST3)



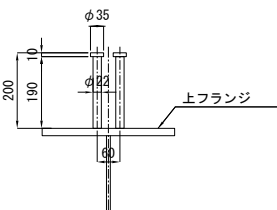
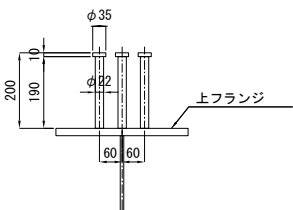
断面図 S= 1:20  
間詰部 (ST1, ST4)



側面図 S= 1:20



スタッド詳細図 S= 1:20



スタッド本数集計

	G1		G2		ST1		ST2		ST3		ST4		合計	
	箇所数	本数	箇所数	本数	箇所数	本数	箇所数	本数	箇所数	本数	箇所数	本数	箇所数	本数
現場打ち床版端部	-	-	12	-	12	-	8	-	8	-	8	-	-	56
間詰め部	-	-	-	-	-	79	158	-	-	-	79	158	-	316
プレキャスト床版部	中間・中間支点部	160	480	160	480	-	-	139	278	139	278	-	-	1516
	添接部	8	24	8	24	6	12	29	58	29	58	6	12	188
合計		516		516		170		344		344		170		2076

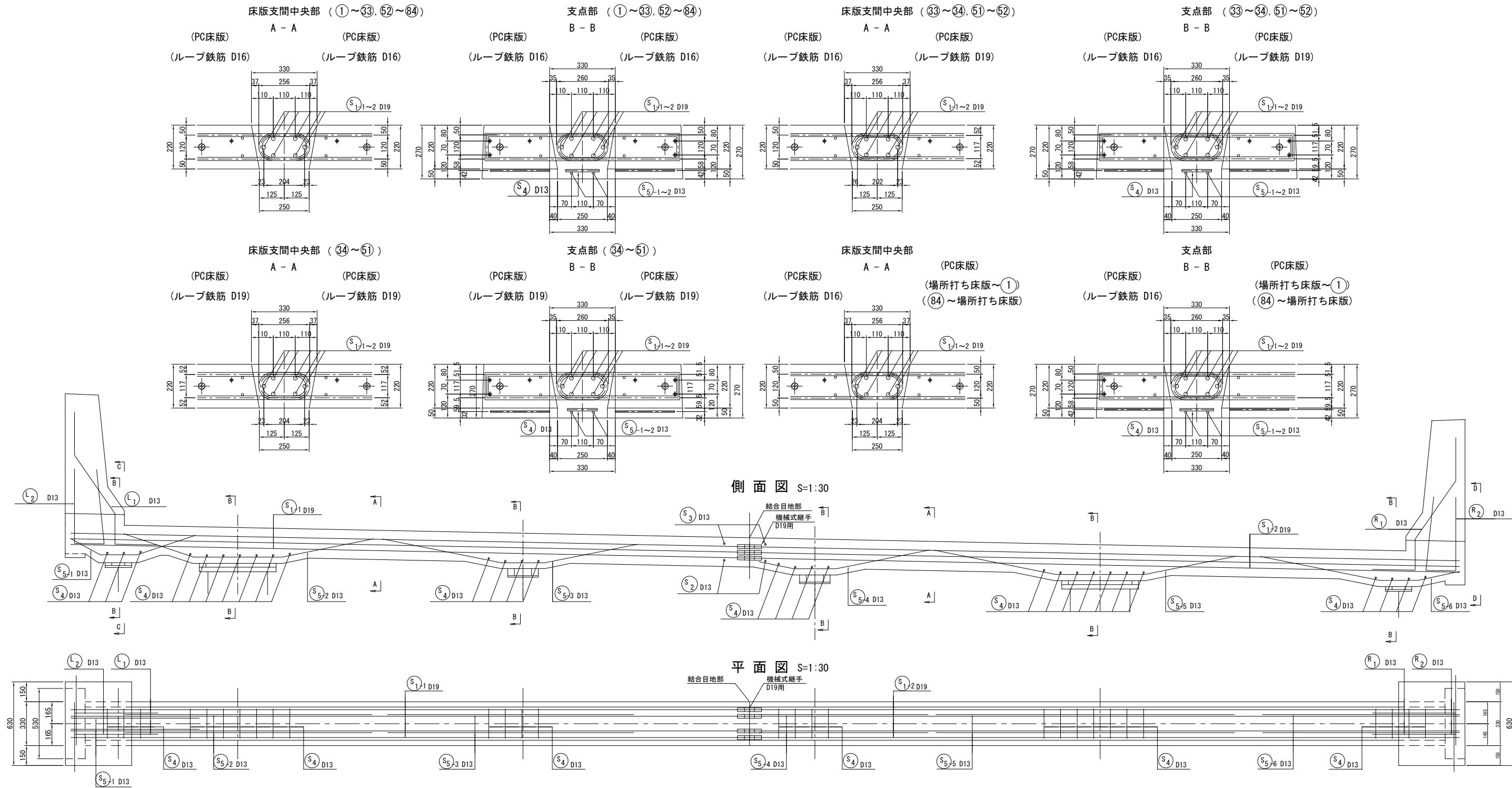
プレキャスト床版部スタッド本数(1箇所当り)

		本数	対象箇所
中間・中間支点部(床版 No.)	G1, G2	3本	1～84
	ST2, ST3	2本	1～84
間詰め部	ST1, ST4	2本	1～84
添接部	G1	3本	J3, J4, J8, J9, J12, J13, J14, J16
	G2	3本	J3, J4, J8, J9, J12, J13, J14, J16
	ST1	2本	JS9, JS12, JS15, JS18, JS21, JS31
	ST2	2本	JT1, JT3, JT4, JT6-JT26, JT28, JT29, JT31
	ST3	2本	JT1, JT3, JT4, JT6-JT26, JT28, JT29, JT31
	ST4	2本	JS9, JS12, JS15, JS18, JS21, JS31

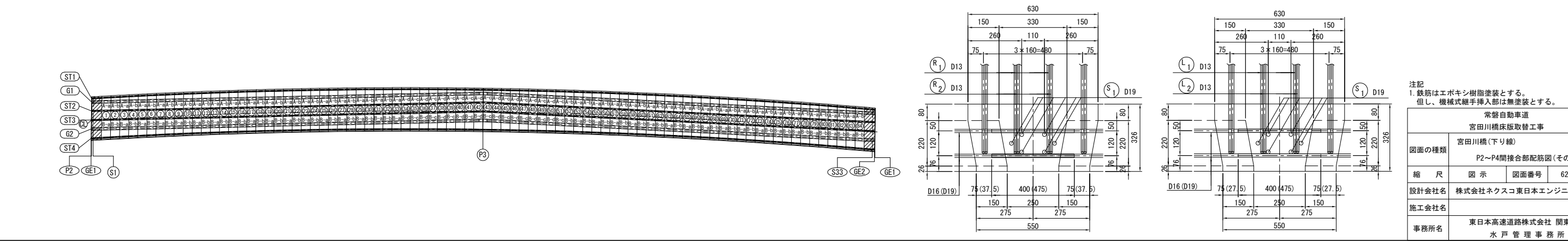
注記

1. ※主桁添接部のボルトとスタッドが干渉しないよう、調整すること。

図面の種類	常磐自動車道		
	宮田川橋(下り線)		
縮尺	図示		
	図面番号 61 / 165		
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	水戸管理事務所		



位置図



注記  
1. 鉄筋はエポキシ樹脂塗装とする。  
但し、機械式継手挿入部は無塗装とする。

常磐自動車道			
宮田川橋床版取替工事			
図面の種類	宮田川橋(下り線)	P2～P4間接合部配筋図(その1)	
縮尺	図示	図面番号	62 / 165
設計会社名	株式会社ネクソコ東日本エンジニアリング		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

一次施工



一次施工 (S<sub>1</sub>)<sub>2</sub> 6 - D19 x 5320



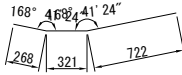
一次施工 (S<sub>2</sub>) 1 - D13 x 250



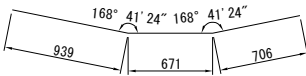
一次施工 (S<sub>3</sub>) 1 - D13 x 150



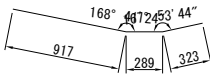
一次施工 (S<sub>4</sub>) 15 - D13 x 150



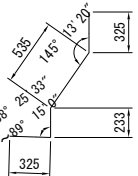
一次施工 (S<sub>5</sub>)<sub>4</sub> 2 - D13 x 1320



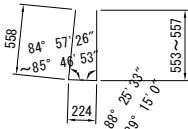
一次施工 (S<sub>5</sub>)<sub>5</sub> 2 - D13 x 2320



一次施工 (S<sub>5</sub>)<sub>6</sub> 2 - D13 x 1530



一次施工 (R<sub>1</sub>) 2 - D13 x 1420



一次施工 (R<sub>2</sub>) 2 - D13 x 1340 (平均長)

一 次 施 工 鉄 筋 表

記号	径	長さ	本数	単位重量	一本当り重量	合計重量	摘要
場所打ち床版-1Ba							
S1-2	D19	5320	6	2.25	12.0	72	
S2	D13	250	1	0.995	0.249	1	
S3	D13	150	1	0.995	0.149	1	
S4	D13	150	15	0.995	0.149	2	
S5-4	D13	1320	2	0.995	1.31	3	
S5-5	D13	2320	2	0.995	2.31	5	
S5-6	D13	1530	2	0.995	1.52	3	
R1	D13	1420	2	0.995	1.41	3	
R2	D13	1340	2	0.995	1.33	3	
合 計						93 kg	
D13 (SD345)						21 kg	
D19 (SD345)						72 kg	
機械式継手				D19用	6 組		
1Ba-2Bb							
S1-2	D19	5320	6	2.25	12.0	72	
S2	D13	250	1	0.995	0.249	1	
S3	D13	150	1	0.995	0.149	1	
S4	D13	150	15	0.995	0.149	2	
S5-4	D13	1320	2	0.995	1.31	3	
S5-5	D13	2320	2	0.995	2.31	5	
S5-6	D13	1530	2	0.995	1.52	3	
R1	D13	1420	2	0.995	1.41	3	
R2	D13	1340	2	0.995	1.33	3	
合 計						93 kg	
D13 (SD345)						21 kg	
D19 (SD345)						72 kg	
機械式継手				D19用	6 組		
2Bb-3Ba							
S1-2	D19	5320	6	2.25	12.0	72	
S2	D13	250	1	0.995	0.249	1	
S3	D13	150	1	0.995	0.149	1	
S4	D13	150	15	0.995	0.149	2	
S5-4	D13	1320	2	0.995	1.31	3	
S5-5	D13	2320	2	0.995	2.31	5	
S5-6	D13	1530	2	0.995	1.52	3	
R1	D13	1420	2	0.995	1.41	3	
R2	D13	1340	2	0.995	1.33	3	
合 計						93 kg	
D13 (SD345)						21 kg	
D19 (SD345)						72 kg	
機械式継手				D19用	6 組		
3Ba-4Bb							
S1-2	D19	5320	6	2.25	12.0	72	
S2	D13	250	1	0.995	0.249	1	
S3	D13	150	1	0.995	0.149	1	
S4	D13	150	15	0.995	0.149	2	
S5-4	D13	1320	2	0.995	1.31	3	
S5-5	D13	2320	2	0.995	2.31	5	
S5-6	D13	1530	2	0.995	1.52	3	
R1	D13	1420	2	0.995	1.41	3	
R2	D13	1340	2	0.995	1.33	3	
合 計						93 kg	
D13 (SD345)						21 kg	
D19 (SD345)						72 kg	
機械式継手				D19用	6 組		

一 次 施 工 鉄 筋 表

記号	径	長さ	本数	単位重量	一本当り重量	合計重量	摘要
4Bb-5Ba							
S1-2	D19	5320	6	2.25	12.0	72	
S2	D13	250	1	0.995	0.249	1	
S3	D13	150	1	0.995	0.149	1	
S4	D13	150	15	0.995	0.149	2	
S5-4	D13	1320	2	0.995	1.31	3	
S5-5	D13	2320	2	0.995	2.31	5	
S5-6	D13	1530	2	0.995	1.52	3	
R1	D13	1420	2	0.995	1.41	3	
R2	D13	1340	2	0.995	1.33	3	
合 計						93 kg	
D13 (SD345)						21 kg	
D19 (SD345)						72 kg	
機械式継手				D19用	6 組		
5Ba-6Bb							
S1-2	D19	5320	6	2.25	12.0	72	
S2	D13	250	1	0.995	0.249	1	
S3	D13	150	1	0.995	0.149	1	
S4	D13	150	15	0.995	0.149	2	
S5-4	D13	1320	2	0.995	1.31	3	
S5-5	D13	2320	2	0.995	2.31	5	
S5-6	D13	1530	2	0.995	1.52	3	
R1	D13	1420	2	0.995	1.41	3	
R2	D13	1340	2	0.995	1.33	3	
合 計						93 kg	
D13 (SD345)						21 kg	
D19 (SD345)						72 kg	
機械式継手				D19用	6 組		
6Bb-7Ba							
S1-2	D19	5320	6	2.25	12.0	72	
S2	D13	250	1	0.995	0.249	1	
S3	D13	150	1	0.995	0.149	1	
S4	D13	150	15	0.995	0.149	2	
S5-4	D13	1320	2	0.995	1.31	3	
S5-5	D13	2320	2	0.995	2.31	5	
S5-6	D13	1530	2	0.995	1.52	3	
R1	D13	1420	2	0.995	1.41	3	
R2	D13	1340	2	0.995	1.33	3	
合 計						93 kg	
D13 (SD345)						21 kg	
D19 (SD345)						72 kg	
機械式継手				D19用	6 組		
7Ba-8Bb							
S1-2	D19	5320	6	2.25	12.0	72	
S2	D13	250	1	0.995	0.249	1	
S3	D13	150	1	0.995	0.149	1	
S4	D13	150	15	0.995	0.149	2	
S5-4	D13	1320	2	0.995	1.31	3	
S5-5	D13	2320	2	0.995	2.31	5	
S5-6	D13	1530	2	0.995	1.52	3	
R1	D13	1420	2	0.995	1.41	3	
R2	D13	1340	2	0.995	1.33	3	
合 計						93 kg	
D13 (SD345)						21 kg	
D19 (SD345)						72 kg	
機械式継手				D19用	6 組		

一 次 施 工 鉄 筋 表

記号	径	長さ	本数	単位重量	一本当り重量	合計重量	摘要
8Bb-9Ba							
S1-2	D19	5320	6	2.25	12.0	72	
S2	D13	250	1	0.995	0.249	1	
S3	D13	150	1	0.995	0.149	1	
S4	D13	150	15	0.995	0.149	2	
S5-4	D13	1320	2	0.995	1.31	3	
S5-5	D13	2320	2	0.995	2.31	5	
S5-6	D13	1530	2	0.995	1.52	3	
R1	D13	1420	2	0.995	1.41	3	
R2	D13	1340	2	0.995	1.33	3	
合 計						93 kg	
D13 (SD345)						21 kg	
D19 (SD345)						72 kg	
機械式継手				D19用	6 組		
9Ba-10Bb							
S1-2	D19	5320	6	2.25	12.0	72	
S2	D13	250	1	0.995	0.249	1	
S3	D13	150	1	0.995	0.149	1	
S4	D13	150	15	0.995	0.149	2	
S5-4	D13	1320	2	0.995	1.31	3	
S5-5	D13	2320	2	0.995	2.31	5	
S5-6	D13	1530	2	0.995	1.52	3	
R1	D13	1420	2	0.995	1.41	3	
R2	D13	1340	2	0.995	1.33	3	
合 計						93 kg	
D13 (SD345)						21 kg	
D19 (SD345)						72 kg	
機械式継手				D19用	6 組		
10Bb-11Ba							
S1-2	D19	5320	6	2.25	12.0	72	
S2	D13	250	1	0.995	0.249	1	
S3	D13	150	1	0.995	0.149	1	
S4	D13	150	15	0.995	0.149	2	
S5-4	D13	1320	2	0.995	1.31	3	
S5-5	D13	2320	2	0.995	2.31	5	
S5-6	D13	1530	2	0.995	1.52	3	



### 一次施工鉄筋表

記号	径	長さ	本数	単位重量	一本当り重量	合計重量	摘要
32Bb-33Ba							
S1-2	D19	5320	6	2.25	12.0	72	
S2	D13	250	1	0.995	0.249	1	
S3	D13	150	1	0.995	0.149	1	
S4	D13	150	15	0.995	0.149	2	
S5-4	D13	1320	2	0.995	1.31	3	
S5-5	D13	2320	2	0.995	2.31	5	
S5-6	D13	1530	2	0.995	1.52	3	
R1	D13	1420	2	0.995	1.41	3	
R2	D13	1340	2	0.995	1.33	3	
合 計						93 kg	
D13 (SD345)						21 kg	
D19 (SD345)						72 kg	
機械式継手				D19用		6 組	
33Ba-34Bd							
S1-2	D19	5320	6	2.25	12.0	72	
S2	D13	250	1	0.995	0.249	1	
S3	D13	150	1	0.995	0.149	1	
S4	D13	150	15	0.995	0.149	2	
S5-4	D13	1320	2	0.995	1.31	3	
S5-5	D13	2320	2	0.995	2.31	5	
S5-6	D13	1530	2	0.995	1.52	3	
R1	D13	1420	2	0.995	1.41	3	
R2	D13	1340	2	0.995	1.33	3	
合 計						93 kg	
D13 (SD345)						21 kg	
D19 (SD345)						72 kg	
機械式継手				D19用		6 組	
34Bd-35Bc							
S1-2	D19	5320	6	2.25	12.0	72	
S2	D13	250	1	0.995	0.249	1	
S3	D13	150	1	0.995	0.149	1	
S4	D13	150	15	0.995	0.149	2	
S5-4	D13	1320	2	0.995	1.31	3	
S5-5	D13	2320	2	0.995	2.31	5	
S5-6	D13	1530	2	0.995	1.52	3	
R1	D13	1420	2	0.995	1.41	3	
R2	D13	1340	2	0.995	1.33	3	
合 計						93 kg	
D13 (SD345)						21 kg	
D19 (SD345)						72 kg	
機械式継手				D19用		6 組	
35Bc-36Bd							
S1-2	D19	5320	6	2.25	12.0	72	
S2	D13	250	1	0.995	0.249	1	
S3	D13	150	1	0.995	0.149	1	
S4	D13	150	15	0.995	0.149	2	
S5-4	D13	1320	2	0.995	1.31	3	
S5-5	D13	2320	2	0.995	2.31	5	
S5-6	D13	1530	2	0.995	1.52	3	
R1	D13	1420	2	0.995	1.41	3	
R2	D13	1340	2	0.995	1.33	3	
合 計						93 kg	
D13 (SD345)						21 kg	
D19 (SD345)						72 kg	
機械式継手				D19用		6 組	

### 一次施工鉄筋表

記号	径	長さ	本数	単位重量	一本当り重量	合計重量	摘要
36Bd-37Bc							
S1-2	D19	5320	6	2.25	12.0	72	
S2	D13	250	1	0.995	0.249	1	
S3	D13	150	1	0.995	0.149	1	
S4	D13	150	15	0.995	0.149	2	
S5-4	D13	1320	2	0.995	1.31	3	
S5-5	D13	2320	2	0.995	2.31	5	
S5-6	D13	1530	2	0.995	1.52	3	
R1	D13	1420	2	0.995	1.41	3	
R2	D13	1340	2	0.995	1.33	3	
合 計						93 kg	
D13 (SD345)						21 kg	
D19 (SD345)						72 kg	
機械式継手				D19用		6 組	
37Bc-38Bd							
S1-2	D19	5320	6	2.25	12.0	72	
S2	D13	250	1	0.995	0.249	1	
S3	D13	150	1	0.995	0.149	1	
S4	D13	150	15	0.995	0.149	2	
S5-4	D13	1320	2	0.995	1.31	3	
S5-5	D13	2320	2	0.995	2.31	5	
S5-6	D13	1530	2	0.995	1.52	3	
R1	D13	1420	2	0.995	1.41	3	
R2	D13	1340	2	0.995	1.33	3	
合 計						93 kg	
D13 (SD345)						21 kg	
D19 (SD345)						72 kg	
機械式継手				D19用		6 組	
38Bd-39Bc							
S1-2	D19	5320	6	2.25	12.0	72	
S2	D13	250	1	0.995	0.249	1	
S3	D13	150	1	0.995	0.149	1	
S4	D13	150	15	0.995	0.149	2	
S5-4	D13	1320	2	0.995	1.31	3	
S5-5	D13	2320	2	0.995	2.31	5	
S5-6	D13	1530	2	0.995	1.52	3	
R1	D13	1420	2	0.995	1.41	3	
R2	D13	1340	2	0.995	1.33	3	
合 計						93 kg	
D13 (SD345)						21 kg	
D19 (SD345)						72 kg	
機械式継手				D19用		6 組	
39Bc-40Bd							
S1-2	D19	5320	6	2.25	12.0	72	
S2	D13	250	1	0.995	0.249	1	
S3	D13	150	1	0.995	0.149	1	
S4	D13	150	15	0.995	0.149	2	
S5-4	D13	1320	2	0.995	1.31	3	
S5-5	D13	2320	2	0.995	2.31	5	
S5-6	D13	1530	2	0.995	1.52	3	
R1	D13	1420	2	0.995	1.41	3	
R2	D13	1340	2	0.995	1.33	3	
合 計						93 kg	
D13 (SD345)						21 kg	
D19 (SD345)						72 kg	
機械式継手				D19用		6 組	

### 一次施工鉄筋表

記号	径	長さ	本数	単位重量	一本当り重量	合計重量	摘要
40Bd-41Bc							
S1-2	D19	5320	6	2.25	12.0	72	
S2	D13	250	1	0.995	0.249	1	
S3	D13	150	1	0.995	0.149	1	
S4	D13	150	15	0.995	0.149	2	
S5-4	D13	1320	2	0.995	1.31	3	
S5-5	D13	2320	2	0.995	2.31	5	
S5-6	D13	1530	2	0.995	1.52	3	
R1	D13	1420	2	0.995	1.41	3	
R2	D13	1340	2	0.995	1.33	3	
合 計						93 kg	
D13 (SD345)						21 kg	
D19 (SD345)						72 kg	
機械式継手				D19用	6 組		
41Bc-42Bd							
S1-2	D19	5320	6	2.25	12.0	72	
S2	D13	250	1	0.995	0.249	1	
S3	D13	150	1	0.995	0.149	1	
S4	D13	150	15	0.995	0.149	2	
S5-4	D13	1320	2	0.995	1.31	3	
S5-5	D13	2320	2	0.995	2.31	5	
S5-6	D13	1530	2	0.995	1.52	3	
R1	D13	1420	2	0.995	1.41	3	
R2	D13	1340	2	0.995	1.33	3	
合 計						93 kg	
D13 (SD345)						21 kg	
D19 (SD345)						72 kg	
機械式継手				D19用	6 組		
42Bd-43Bc							
S1-2	D19	5320	6	2.25	12.0	72	
S2	D13	250	1	0.995	0.249	1	
S3	D13	150	1	0.995	0.149	1	
S4	D13	150	15	0.995	0.149	2	
S5-4	D13	1320	2	0.995	1.31	3	
S5-5	D13	2320	2	0.995	2.31	5	
S5-6	D13	1530	2	0.995	1.52	3	
R1	D13	1420	2	0.995	1.41	3	
R2	D13	1340	2	0.995	1.33	3	
合 計						93 kg	
D13 (SD345)						21 kg	
D19 (SD345)						72 kg	
機械式継手				D19用	6 組		
43Bc-44Bd							
S1-2	D19	5320	6	2.25	12.0	72	
S2	D13	250	1	0.995	0.249	1	
S3	D13	150	1	0.995	0.149	1	
S4	D13	150	15	0.995	0.149	2	
S5-4	D13	1320	2	0.995	1.31	3	
S5-5	D13	2320	2	0.995	2.31	5	
S5-6	D13	1530	2	0.995	1.52	3	
R1	D13	1420	2	0.995	1.41	3	
R2	D13	1340	2	0.995	1.33	3	
合 計						93 kg	
D13 (SD345)						21 kg	
D19 (SD345)						72 kg	
機械式継手				D19用	6 組		

### 一次施工鉄筋表

記号	径	長さ	本数	単位重量	一本当り重量	合計重量	摘要
44Bd-45Bc							
S1-2	D19	5320	6	2.25	12.0	72	
S2	D13	250	1	0.995	0.249	1	
S3	D13	150	1	0.995	0.149	1	
S4	D13	150	15	0.995	0.149	2	
S5-4	D13	1320	2	0.995	1.31	3	
S5-5	D13	2320	2	0.995	2.31	5	
S5-6	D13	1530	2	0.995	1.52	3	
R1	D13	1420	2	0.995	1.41	3	
R2	D13	1340	2	0.995	1.33	3	
合 計						93 kg	
D13 (SD345)						21 kg	
D19 (SD345)						72 kg	
機械式継手				D19用		6 組	
45Bc-46Bd							
S1-2	D19	5320	6	2.25	12.0	72	
S2	D13	250	1	0.995	0.249	1	
S3	D13	150	1	0.995	0.149	1	
S4	D13	150	15	0.995	0.149	2	
S5-4	D13	1320	2	0.995	1.31	3	
S5-5	D13	2320	2	0.995	2.31	5	
S5-6	D13	1530	2	0.995	1.52	3	
R1	D13	1420	2	0.995	1.41	3	
R2	D13	1340	2	0.995	1.33	3	
合 計						93 kg	
D13 (SD345)						21 kg	
D19 (SD345)						72 kg	
機械式継手				D19用		6 組	
46Bd-47Bc							
S1-2	D19	5320	6	2.25	12.0	72	
S2	D13	250	1	0.995	0.249	1	
S3	D13	150	1	0.995	0.149	1	
S4	D13	150	15	0.995	0.149	2	
S5-4	D13	1320	2	0.995	1.31	3	
S5-5	D13	2320	2	0.995	2.31	5	
S5-6	D13	1530	2	0.995	1.52	3	
R1	D13	1420	2	0.995	1.41	3	
R2	D13	1340	2	0.995	1.33	3	
合 計						93 kg	
D13 (SD345)						21 kg	
D19 (SD345)						72 kg	
機械式継手				D19用		6 組	
47Bc-48Bd							
S1-2	D19	5320	6	2.25	12.0	72	
S2	D13	250	1	0.995	0.249	1	
S3	D13	150	1	0.995	0.149	1	
S4	D13	150	15	0.995	0.149	2	
S5-4	D13	1320	2	0.995	1.31	3	
S5-5	D13	2320	2	0.995	2.31	5	
S5-6	D13	1530	2	0.995	1.52	3	
R1	D13	1420	2	0.995	1.41	3	
R2	D13	1340	2	0.995	1.33	3	
合 計						93 kg	
D13 (SD345)						21 kg	
D19 (SD345)						72 kg	
機械式継手				D19用		6 組	

注記  
1. 鉄筋はエポキシ樹脂塗装とする。  
但し、機械式継手挿入部は無塗装とする。

常磐自動車道			
宮田川橋床版取替工事			
図面の種類	宮田川橋(下り線) P2～P4間接合部配筋図(その4)		
縮 尺	—	図面番号	65 / 165
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

### 一次施工鉄筋表

記号	径	長さ	本数	単位重量	一本当り重量	合計重量	摘要
48Bd-49Bc							
S1-2	D19	5320	6	2.25	12.0	72	
S2	D13	250	1	0.995	0.249	1	
S3	D13	150	1	0.995	0.149	1	
S4	D13	150	15	0.995	0.149	2	
S5-4	D13	1320	2	0.995	1.31	3	
S5-5	D13	2320	2	0.995	2.31	5	
S5-6	D13	1530	2	0.995	1.52	3	
R1	D13	1420	2	0.995	1.41	3	
R2	D13	1340	2	0.995	1.33	3	
合 計						93 kg	
D13 (SD345)						21 kg	
D19 (SD345)						72 kg	
機械式継手				D19用		6 組	
49Bc-50Bd							
S1-2	D19	5320	6	2.25	12.0	72	
S2	D13	250	1	0.995	0.249	1	
S3	D13	150	1	0.995	0.149	1	
S4	D13	150	15	0.995	0.149	2	
S5-4	D13	1320	2	0.995	1.31	3	
S5-5	D13	2320	2	0.995	2.31	5	
S5-6	D13	1530	2	0.995	1.52	3	
R1	D13	1420	2	0.995	1.41	3	
R2	D13	1340	2	0.995	1.33	3	
合 計						93 kg	
D13 (SD345)						21 kg	
D19 (SD345)						72 kg	
機械式継手				D19用		6 組	
50Bd-51Bc							
S1-2	D19	5320	6	2.25	12.0	72	
S2	D13	250	1	0.995	0.249	1	
S3	D13	150	1	0.995	0.149	1	
S4	D13	150	15	0.995	0.149	2	
S5-4	D13	1320	2	0.995	1.31	3	
S5-5	D13	2320	2	0.995	2.31	5	
S5-6	D13	1530	2	0.995	1.52	3	
R1	D13	1420	2	0.995	1.41	3	
R2	D13	1340	2	0.995	1.33	3	
合 計						93 kg	
D13 (SD345)						21 kg	
D19 (SD345)						72 kg	
機械式継手				D19用		6 組	
51Bc-52Bb							
S1-2	D19	5320	6	2.25	12.0	72	
S2	D13	250	1	0.995	0.249	1	
S3	D13	150	1	0.995	0.149	1	
S4	D13	150	15	0.995	0.149	2	
S5-4	D13	1320	2	0.995	1.31	3	
S5-5	D13	2320	2	0.995	2.31	5	
S5-6	D13	1530	2	0.995	1.52	3	
R1	D13	1420	2	0.995	1.41	3	
R2	D13	1340	2	0.995	1.33	3	
合 計						93 kg	
D13 (SD345)						21 kg	
D19 (SD345)						72 kg	
機械式継手				D19用		6 組	

### 一次施工鉄筋表

記号	径	長さ	本数	単位重量	一本当り重量	合計重量	摘要
52Bb-53Ba							
S1-2	D19	5320	6	2.25	12.0	72	
S2	D13	250	1	0.995	0.249	1	
S3	D13	150	1	0.995	0.149	1	
S4	D13	150	15	0.995	0.149	2	
S5-4	D13	1320	2	0.995	1.31	3	
S5-5	D13	2320	2	0.995	2.31	5	
S5-6	D13	1530	2	0.995	1.52	3	
R1	D13	1420	2	0.995	1.41	3	
R2	D13	1340	2	0.995	1.33	3	
合 計						93 kg	
D13 (SD345)						21 kg	
D19 (SD345)						72 kg	
機械式継手 D19用						6 組	
53Ba-54Bb							
S1-2	D19	5320	6	2.25	12.0	72	
S2	D13	250	1	0.995	0.249	1	
S3	D13	150	1	0.995	0.149	1	
S4	D13	150	15	0.995	0.149	2	
S5-4	D13	1320	2	0.995	1.31	3	
S5-5	D13	2320	2	0.995	2.31	5	
S5-6	D13	1530	2	0.995	1.52	3	
R1	D13	1420	2	0.995	1.41	3	
R2	D13	1340	2	0.995	1.33	3	
合 計						93 kg	
D13 (SD345)						21 kg	
D19 (SD345)						72 kg	
機械式継手 D19用						6 組	
54Bb-55Ba							
S1-2	D19	5320	6	2.25	12.0	72	
S2	D13	250	1	0.995	0.249	1	
S3	D13	150	1	0.995	0.149	1	
S4	D13	150	15	0.995	0.149	2	
S5-4	D13	1320	2	0.995	1.31	3	
S5-5	D13	2320	2	0.995	2.31	5	
S5-6	D13	1530	2	0.995	1.52	3	
R1	D13	1420	2	0.995	1.41	3	
R2	D13	1340	2	0.995	1.33	3	
合 計						93 kg	
D13 (SD345)						21 kg	
D19 (SD345)						72 kg	
機械式継手 D19用						6 組	
55Ba-56Bb							
S1-2	D19	5320	6	2.25	12.0	72	
S2	D13	250	1	0.995	0.249	1	
S3	D13	150	1	0.995	0.149	1	
S4	D13	150	15	0.995	0.149	2	
S5-4	D13	1320	2	0.995	1.31	3	
S5-5	D13	2320	2	0.995	2.31	5	
S5-6	D13	1530	2	0.995	1.52	3	
R1	D13	1420	2	0.995	1.41	3	
R2	D13	1340	2	0.995	1.33	3	
合 計						93 kg	
D13 (SD345)						21 kg	
D19 (SD345)						72 kg	
機械式継手 D19用						6 組	

### 一次施工鉄筋表

記号	径	長さ	本数	単位重量	一本当り重量	合計重量	摘要
568b-57Ba							
S1-2	D19	5320	6	2.25	12.0	72	
S2	D13	250	1	0.995	0.249	1	
S3	D13	150	1	0.995	0.149	1	
S4	D13	150	15	0.995	0.149	2	
S5-4	D13	1320	2	0.995	1.31	3	
S5-5	D13	2320	2	0.995	2.31	5	
S5-6	D13	1530	2	0.995	1.52	3	
R1	D13	1420	2	0.995	1.41	3	
R2	D13	1340	2	0.995	1.33	3	
合 計						93 kg	
D13 (SD345)						21 kg	
D19 (SD345)						72 kg	
機械式継手						D19用	6 組
57Ba-58Bb							
S1-2	D19	5320	6	2.25	12.0	72	
S2	D13	250	1	0.995	0.249	1	
S3	D13	150	1	0.995	0.149	1	
S4	D13	150	15	0.995	0.149	2	
S5-4	D13	1320	2	0.995	1.31	3	
S5-5	D13	2320	2	0.995	2.31	5	
S5-6	D13	1530	2	0.995	1.52	3	
R1	D13	1420	2	0.995	1.41	3	
R2	D13	1340	2	0.995	1.33	3	
合 計						93 kg	
D13 (SD345)						21 kg	
D19 (SD345)						72 kg	
機械式継手						D19用	6 組
58Bb-59Ba							
S1-2	D19	5320	6	2.25	12.0	72	
S2	D13	250	1	0.995	0.249	1	
S3	D13	150	1	0.995	0.149	1	
S4	D13	150	15	0.995	0.149	2	
S5-4	D13	1320	2	0.995	1.31	3	
S5-5	D13	2320	2	0.995	2.31	5	
S5-6	D13	1530	2	0.995	1.52	3	
R1	D13	1420	2	0.995	1.41	3	
R2	D13	1340	2	0.995	1.33	3	
合 計						93 kg	
D13 (SD345)						21 kg	
D19 (SD345)						72 kg	
機械式継手						D19用	6 組
59Ba-60Bb							
S1-2	D19	5320	6	2.25	12.0	72	
S2	D13	250	1	0.995	0.249	1	
S3	D13	150	1	0.995	0.149	1	
S4	D13	150	15	0.995	0.149	2	
S5-4	D13	1320	2	0.995	1.31	3	
S5-5	D13	2320	2	0.995	2.31	5	
S5-6	D13	1530	2	0.995	1.52	3	
R1	D13	1420	2	0.995	1.41	3	
R2	D13	1340	2	0.995	1.33	3	
合 計						93 kg	
D13 (SD345)						21 kg	
D19 (SD345)						72 kg	
機械式継手						D19用	6 組

### 一次施工鉄筋表

記号	径	長さ	本数	単位重量	一本当り重量	合計重量	摘要
60Bb-61Ba							
S1-2	D19	5320	6	2.25	12.0	72	
S2	D13	250	1	0.995	0.249	1	
S3	D13	150	1	0.995	0.149	1	
S4	D13	150	15	0.995	0.149	2	
S5-4	D13	1320	2	0.995	1.31	3	
S5-5	D13	2320	2	0.995	2.31	5	
S5-6	D13	1530	2	0.995	1.52	3	
R1	D13	1420	2	0.995	1.41	3	
R2	D13	1340	2	0.995	1.33	3	
合 計						93 kg	
D13 (SD345)						21 kg	
D19 (SD345)						72 kg	
機械式継手				D19用	6 組		
61Ba-62Bb							
S1-2	D19	5320	6	2.25	12.0	72	
S2	D13	250	1	0.995	0.249	1	
S3	D13	150	1	0.995	0.149	1	
S4	D13	150	15	0.995	0.149	2	
S5-4	D13	1320	2	0.995	1.31	3	
S5-5	D13	2320	2	0.995	2.31	5	
S5-6	D13	1530	2	0.995	1.52	3	
R1	D13	1420	2	0.995	1.41	3	
R2	D13	1340	2	0.995	1.33	3	
合 計						93 kg	
D13 (SD345)						21 kg	
D19 (SD345)						72 kg	
機械式継手				D19用	6 組		
62Bb-63Ba							
S1-2	D19	5320	6	2.25	12.0	72	
S2	D13	250	1	0.995	0.249	1	
S3	D13	150	1	0.995	0.149	1	
S4	D13	150	15	0.995	0.149	2	
S5-4	D13	1320	2	0.995	1.31	3	
S5-5	D13	2320	2	0.995	2.31	5	
S5-6	D13	1530	2	0.995	1.52	3	
R1	D13	1420	2	0.995	1.41	3	
R2	D13	1340	2	0.995	1.33	3	
合 計						93 kg	
D13 (SD345)						21 kg	
D19 (SD345)						72 kg	
機械式継手				D19用	6 組		
63Ba-64Bb							
S1-2	D19	5320	6	2.25	12.0	72	
S2	D13	250	1	0.995	0.249	1	
S3	D13	150	1	0.995	0.149	1	
S4	D13	150	15	0.995	0.149	2	
S5-4	D13	1320	2	0.995	1.31	3	
S5-5	D13	2320	2	0.995	2.31	5	
S5-6	D13	1530	2	0.995	1.52	3	
R1	D13	1420	2	0.995	1.41	3	
R2	D13	1340	2	0.995	1.33	3	
合 計						93 kg	
D13 (SD345)						21 kg	
D19 (SD345)						72 kg	
機械式継手				D19用	6 組		

注記  
1. 鉄筋はエポキシ樹脂塗装とする。  
但し、機械式継手挿入部は無塗装とする。

常磐自動車道			
宮田川橋床版取替工事			
図面の種類	宮田川橋(下り線) P2～P4間接合部配筋図(図S5)		
縮 尺	—	図面番号	66 / 165
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		





一 次 施 工 鉄 筋 表

記号	径	長さ	本数	単位重量	一本当り重量	合計重量	摘要
80Bb-81Ba							
S1-2	D19	5320	6	2.25	12.0	72	
S2	D13	250	1	0.995	0.249	1	
S3	D13	150	1	0.995	0.149	1	
S4	D13	150	15	0.995	0.149	2	
S5-4	D13	1320	2	0.995	1.31	3	
S5-5	D13	2320	2	0.995	2.31	5	
S5-6	D13	1530	2	0.995	1.52	3	
R1	D13	1420	2	0.995	1.41	3	
R2	D13	1340	2	0.995	1.33	3	
合 計						93 kg	
D13 (SD345)						21 kg	
D19 (SD345)						72 kg	
機械式継手				D19用		6 組	
81Ba-82Bb							
S1-2	D19	5320	6	2.25	12.0	72	
S2	D13	250	1	0.995	0.249	1	
S3	D13	150	1	0.995	0.149	1	
S4	D13	150	15	0.995	0.149	2	
S5-4	D13	1320	2	0.995	1.31	3	
S5-5	D13	2320	2	0.995	2.31	5	
S5-6	D13	1530	2	0.995	1.52	3	
R1	D13	1420	2	0.995	1.41	3	
R2	D13	1340	2	0.995	1.33	3	
合 計						93 kg	
D13 (SD345)						21 kg	
D19 (SD345)						72 kg	
機械式継手				D19用		6 組	
82Bb-83Ba							
S1-2	D19	5320	6	2.25	12.0	72	
S2	D13	250	1	0.995	0.249	1	
S3	D13	150	1	0.995	0.149	1	
S4	D13	150	15	0.995	0.149	2	
S5-4	D13	1320	2	0.995	1.31	3	
S5-5	D13	2320	2	0.995	2.31	5	
S5-6	D13	1530	2	0.995	1.52	3	
R1	D13	1420	2	0.995	1.41	3	
R2	D13	1340	2	0.995	1.33	3	
合 計						93 kg	
D13 (SD345)						21 kg	
D19 (SD345)						72 kg	
機械式継手				D19用		6 組	
83Ba-84Bb							
S1-2	D19	5320	6	2.25	12.0	72	
S2	D13	250	1	0.995	0.249	1	
S3	D13	150	1	0.995	0.149	1	
S4	D13	150	15	0.995	0.149	2	
S5-4	D13	1320	2	0.995	1.31	3	
S5-5	D13	2320	2	0.995	2.31	5	
S5-6	D13	1530	2	0.995	1.52	3	
R1	D13	1420	2	0.995	1.41	3	
R2	D13	1340	2	0.995	1.33	3	
合 計						93 kg	
D13 (SD345)						21 kg	
D19 (SD345)						72 kg	
機械式継手				D19用		6 組	

一 次 施 工 鉄 筋 表

記号	径	長さ	本数	単位重量	一本当り重量	合計重量	摘要
84Bb～場所打ち床版							
S1-2	D19	5320	6	2.25	12.0	72	
S2	D13	250	1	0.995	0.249	1	
S3	D13	150	1	0.995	0.149	1	
S4	D13	150	15	0.995	0.149	2	
S5-4	D13	1320	2	0.995	1.31	3	
S5-5	D13	2320	2	0.995	2.31	5	
S5-6	D13	1530	2	0.995	1.52	3	
R1	D13	1420	2	0.995	1.41	3	
R2	D13	1340	2	0.995	1.33	3	
合 計						93 kg	
D13 (SD345)						21 kg	
D19 (SD345)						72 kg	
機械式継手				D19用		6 組	
一次施工合計							
D13 (SD345)						1785 kg	
D19 (SD345)						6120 kg	
機械式継手				D19用		510 組	

注記  
1. 鉄筋はエポキシ樹脂塗装とする。  
但し、機械式継手挿入部は無塗装とする。

常磐自動車道			
宮田川橋床版取替工事			
図面の種類	宮田川橋(下り線)		
	P2～P4間接合部配筋図(その7)		
縮 尺	—	図面番号	68 / 165
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
	水 戸 管 理 事 務 所		











二 次 施 工 鉄 筋 表

記号	径	長さ	本数	単位重量	一本当たり重量	合計重量	摘要
80Ab-81Aa							
S1-1	D19	5090	6	2.25	11.5	69	
S2	D13	250	1	0.995	0.249	1	
S3	D13	150	1	0.995	0.149	1	
S4	D13	150	14	0.995	0.149	2	
S5-1	D13	1000	2	0.995	0.995	2	
S5-2	D13	1940	2	0.995	1.93	4	
S5-3	D13	1970	2	0.995	1.96	4	
L1	D13	1420	2	0.995	1.41	3	
L2	D13	1350	2	0.995	1.34	3	
合 計						89 kg	
D13 (SD345)						20 kg	
D19 (SD345)						69 kg	
機械式継手				D19用		6 組	
81Aa-82Ab							
S1-1	D19	5090	6	2.25	11.5	69	
S2	D13	250	1	0.995	0.249	1	
S3	D13	150	1	0.995	0.149	1	
S4	D13	150	14	0.995	0.149	2	
S5-1	D13	1000	2	0.995	0.995	2	
S5-2	D13	1940	2	0.995	1.93	4	
S5-3	D13	1970	2	0.995	1.96	4	
L1	D13	1420	2	0.995	1.41	3	
L2	D13	1350	2	0.995	1.34	3	
合 計						89 kg	
D13 (SD345)						20 kg	
D19 (SD345)						69 kg	
機械式継手				D19用		6 組	
82Ab-83Aa							
S1-1	D19	5090	6	2.25	11.5	69	
S2	D13	250	1	0.995	0.249	1	
S3	D13	150	1	0.995	0.149	1	
S4	D13	150	14	0.995	0.149	2	
S5-1	D13	1000	2	0.995	0.995	2	
S5-2	D13	1940	2	0.995	1.93	4	
S5-3	D13	1970	2	0.995	1.96	4	
L1	D13	1420	2	0.995	1.41	3	
L2	D13	1350	2	0.995	1.34	3	
合 計						89 kg	
D13 (SD345)						20 kg	
D19 (SD345)						69 kg	
機械式継手				D19用		6 組	
83Aa-84Ab							
S1-1	D19	5090	6	2.25	11.5	69	
S2	D13	250	1	0.995	0.249	1	
S3	D13	150	1	0.995	0.149	1	
S4	D13	150	14	0.995	0.149	2	
S5-1	D13	1000	2	0.995	0.995	2	
S5-2	D13	1940	2	0.995	1.93	4	
S5-3	D13	1970	2	0.995	1.96	4	
L1	D13	1420	2	0.995	1.41	3	
L2	D13	1350	2	0.995	1.34	3	
合 計						89 kg	
D13 (SD345)						20 kg	
D19 (SD345)						69 kg	
機械式継手				D19用		6 組	

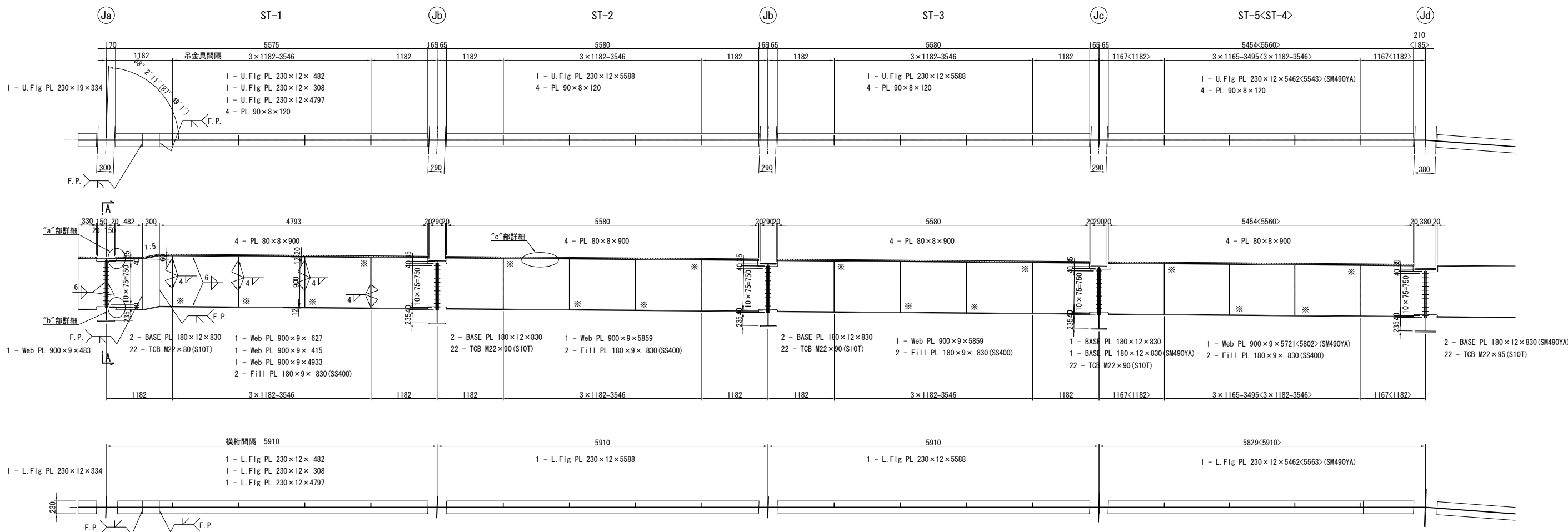
二 次 施 工 鉄 筋 表

記号	径	長さ	本数	単位重量	一本当り重量	合計重量	摘要
84Ab～場所打ち床版							
S1-1	D19	5090	6	2.25	11.5	69	
S2	D13	250	1	0.995	0.249	1	
S3	D13	150	1	0.995	0.149	1	
S4	D13	150	14	0.995	0.149	2	
S5-1	D13	1000	2	0.995	0.995	2	
S5-2	D13	1940	2	0.995	1.93	4	
S5-3	D13	1970	2	0.995	1.96	4	
L1	D13	1420	2	0.995	1.41	3	
L2	D13	1350	2	0.995	1.34	3	
合 計						89 kg	
D13 (SD345)						20 kg	
D19 (SD345)						69 kg	
機械式継手				D19用		6 組	
二次施工合計							
D13 (SD345)						1700 kg	
D19 (SD345)						5865 kg	
機械式継手				D19用		510 組	

注記  
1. 鉄筋はエポキシ樹脂塗装とする。  
但し、機械式継手挿入部は無塗装とする。

常磐自動車道			
宮田川橋床版取替工事			
図面の種類	宮田川橋(下り線)		
	P2～P4間接合部配筋図(その13)		
縮 尺	—	図面番号	74 / 165
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
	水 戸 管 理 事 務 所		

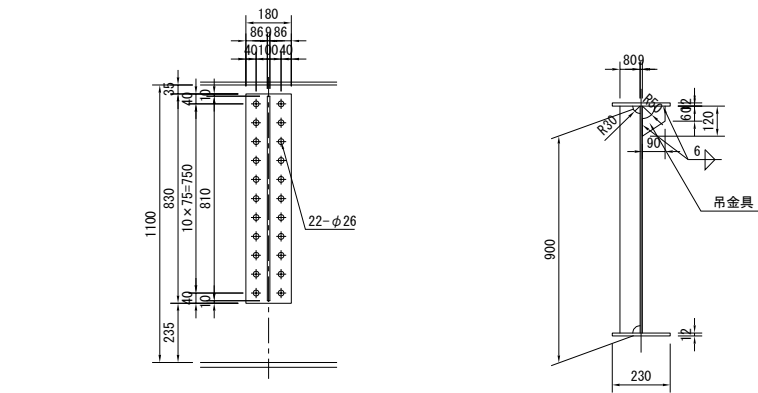




配置図 S=1:800

A - A S=1:30

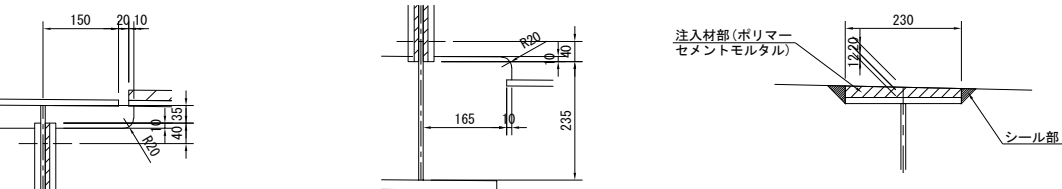
縦桁断面図 S=1:30



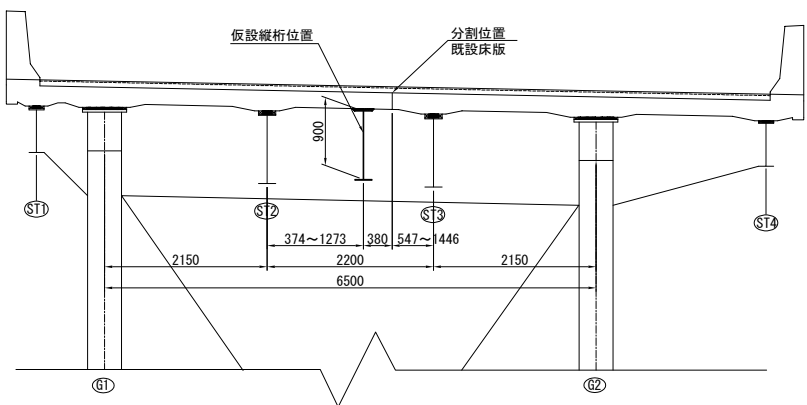
“a”部詳細 S=1:15

“b”部詳細 S=1:15

“c”部詳細 S=1:15



仮設縦桁位置断面図 S=1:100



鋼桁孔明工材料表						
部材名	位置	板厚(mm)	箇所数(箇所)	削孔方向	鋼桁の材質	備考
中間ブラケット	P2～P4	t≤30mm	726	水平・下向き	SM490	

高力ボルト塞ぎ穴材料表						
名 称	ボルト長	数量 (本)	部材	ボルト総数 (本)	単位質量 (g/セット)	総質量 (kg)
ST-1	M22×50	22	2	44	463	20
	M22×50	11	2	22	463	10
ST-2	M22×50	22	24	528	463	244
ST-3	M22×50	22	2	44	463	20
ST-4	M22×50	11	2	22	463	10
	M22×55	11	2	22	478	11
ST-5	M22×50	11	2	22	463	10
	M22×55	11	2	22	478	11
合 計				726		336

注入材部（ポリマーセメントモルタル）材料表							
名 称	奥行	幅	深さ	体積(m3)	部材	総体積(m3)	備 考
ST-1	5575	230	20	0.026	2	0.052	
ST-2	5580	230	20	0.026	24	0.624	
ST-3	5580	230	20	0.026	2	0.052	
ST-4	5560	230	20	0.026	2	0.052	
ST-5	5454	230	20	0.025	2	0.050	
合 計				0.129		0.830	

塗装数量表							
	単位	ST-1	ST-2	ST-3	ST-4	ST-5	備 考
素地調整	m2	36.0	398.9	33.2	32.5	33.0	
一般外面	m2	33.6	368.0	30.7	30.0	30.4	無機ジンクリッチ
高力ボルト接合部（外面）	m2	1.6	30.8	2.6	2.5	2.6	無機ジンクリッチ
高力ボルト頭部	m2	0.3	2.6	0.2	0.2	0.2	有機ジンクリッチ
塗装数量表（仮設縦桁撤去後）							
	単位	ST-1	ST-2	ST-3	ST-4	ST-5	備 考
現場塗装（既設桁部）	m2	0.6	9.8	0.8	0.8	0.4	g-3.4種

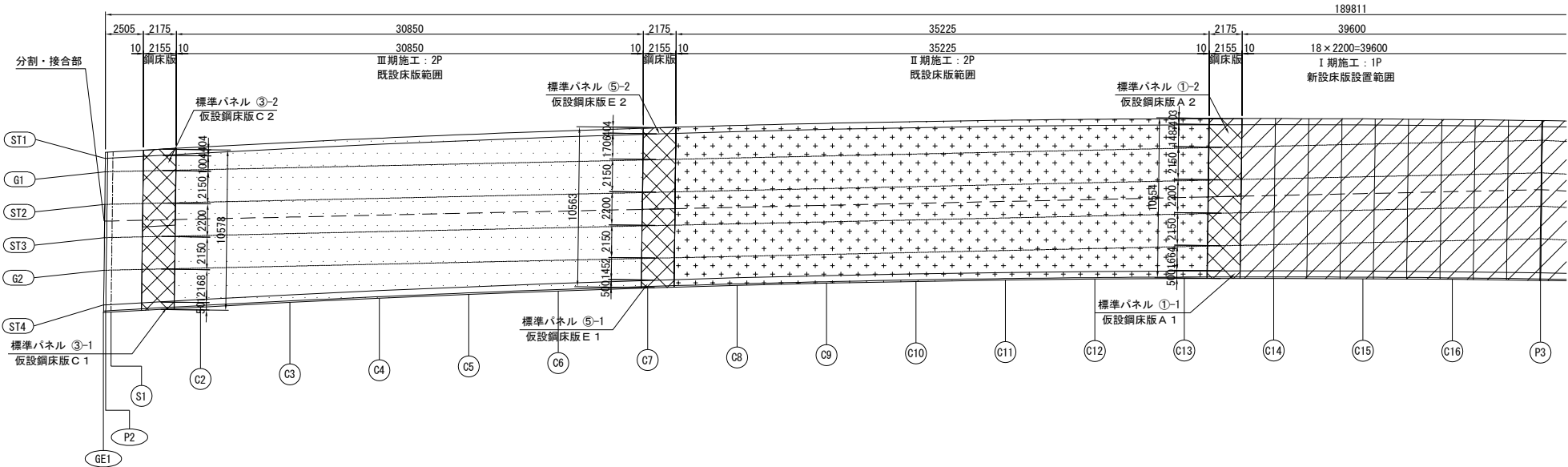
※塗装色は日本塗料工業会標準色07-40X7.5R4/14 (R=赤色)とする。

- 注記
- 特記なき材質はすべてSM400Aとする。
  - ※印は高力ボルト M22 (S10T) を示す。
  - ※印箇所は溶接しない。
  - スカラップは30Rとする
  - 内表示はP3～P4間を示す。

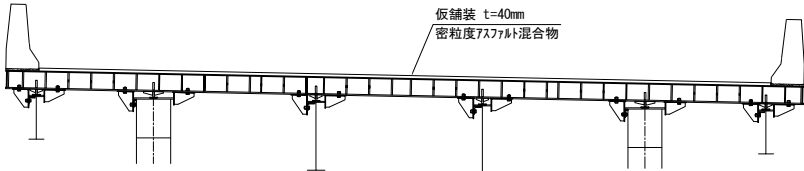
常磐自動車道				
宮田川橋床版取替工事				
図面の種類	宮田川橋（下り線） P2～P4間仮設縦桁詳細図			
縮 尺	図 示	図面番号	75 / 165	
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水 戸 管 理 事 務 所			

<< P2～P3間 >>

平面図 S=1:400



標準断面図 S=1:100

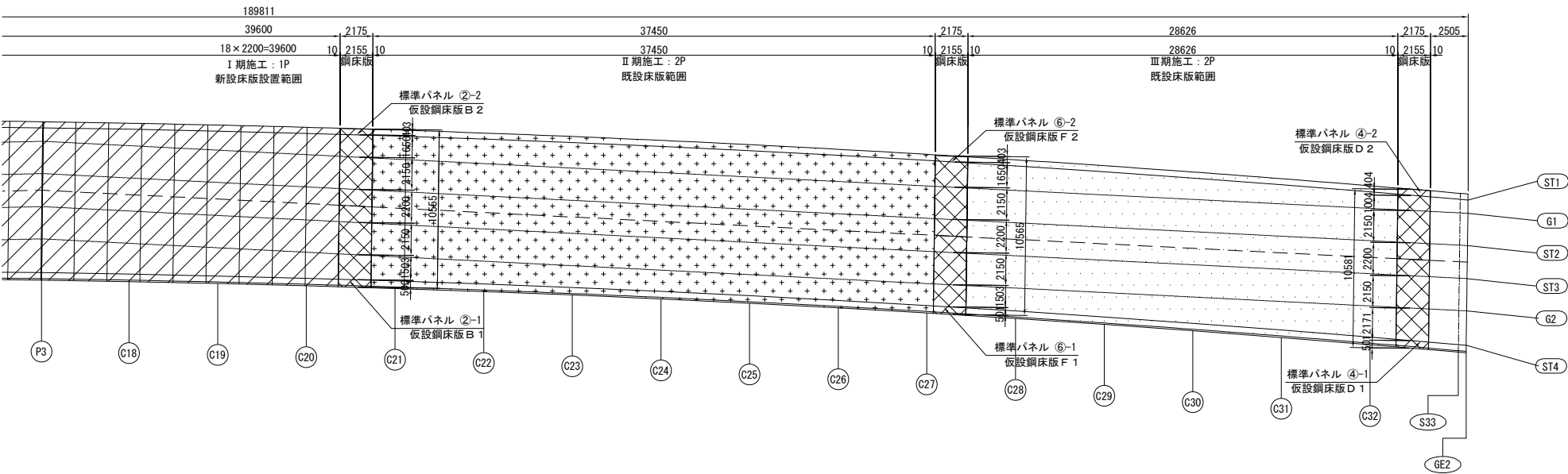


仮設 壁高欄

種 別	仕 様	数 量	単 位	備 考
仮設耐性防護欄	SC種	26.1	m	

<< P3～P4間 >>

平面図 S=1:400



仮設鋼床版数量表

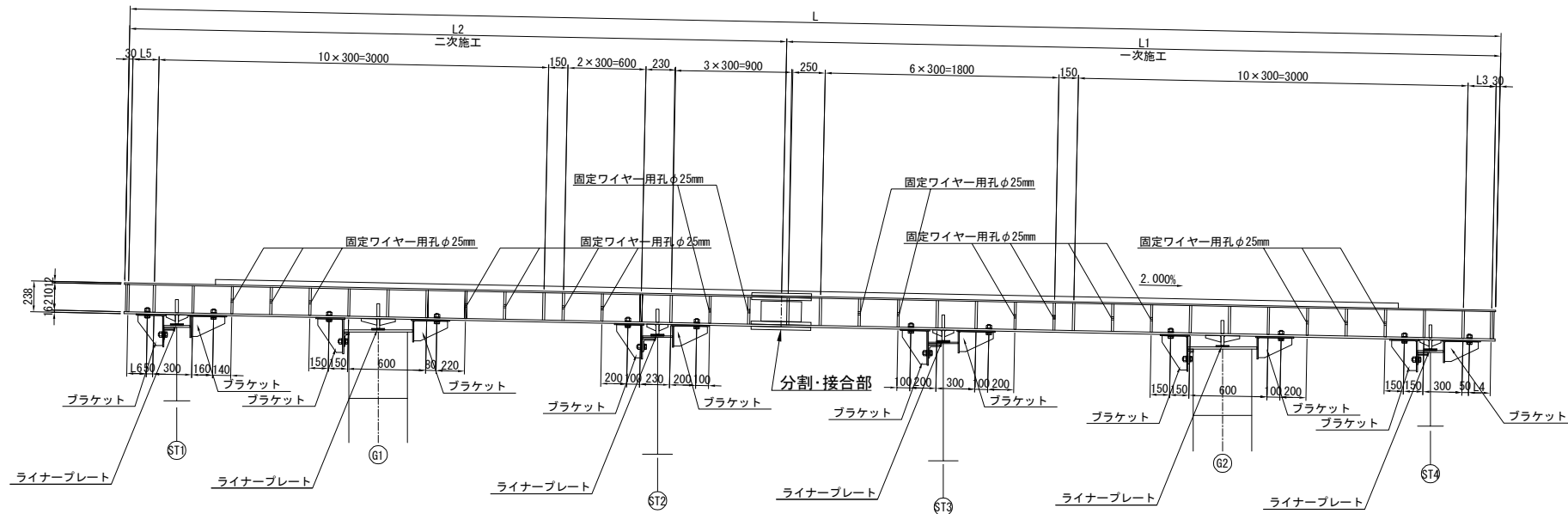
名 称	パネル番号	種 別	備 考
仮設鋼床版 A 1	標準パネル ①-1	TypeA	製作1基
仮設鋼床版 A 2	標準パネル ①-2		
仮設鋼床版 B 1	標準パネル ②-1	TypeB	製作1基
仮設鋼床版 B 2	標準パネル ②-2		
仮設鋼床版 C 1	標準パネル ③-1	TypeC	製作1基
仮設鋼床版 C 2	標準パネル ③-2		
仮設鋼床版 D 1	標準パネル ④-1	TypeD	製作1基
仮設鋼床版 D 2	標準パネル ④-2		
仮設鋼床版 E 1	標準パネル ⑤-1	TypeE	製作1基
仮設鋼床版 E 2	標準パネル ⑤-2		
仮設鋼床版 F 1	標準パネル ⑥-1	TypeF	製作1基
仮設鋼床版 F 2	標準パネル ⑥-2		

常磐自動車道 宮田川橋床版取替工事			
図面の種類	宮田川橋(下り線) P2～P4間仮設鋼床版配置図		
縮 尺	図 示	図面番号	76 / 165
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水 戸 管 理 事 務 所		

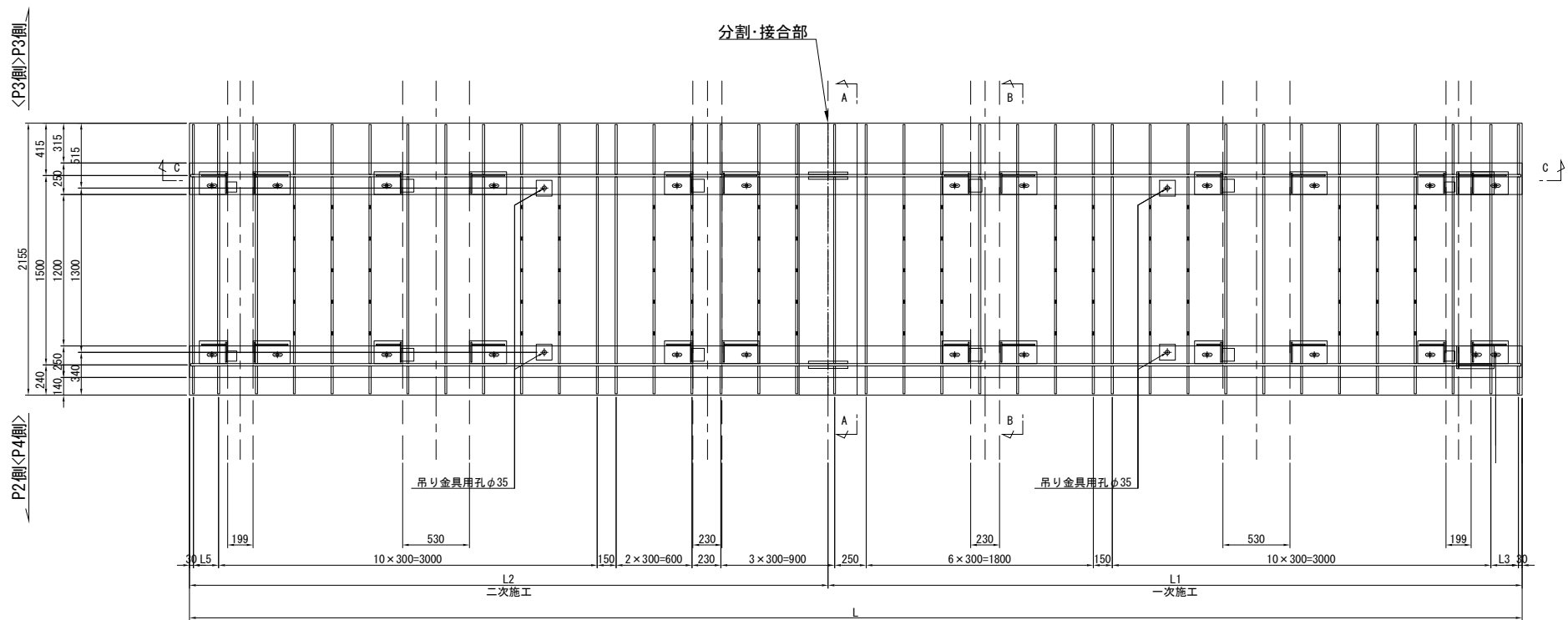
TypeA, TypeB, TypeC, TypeD, TypeE, TypeF

側 面 図

C - C

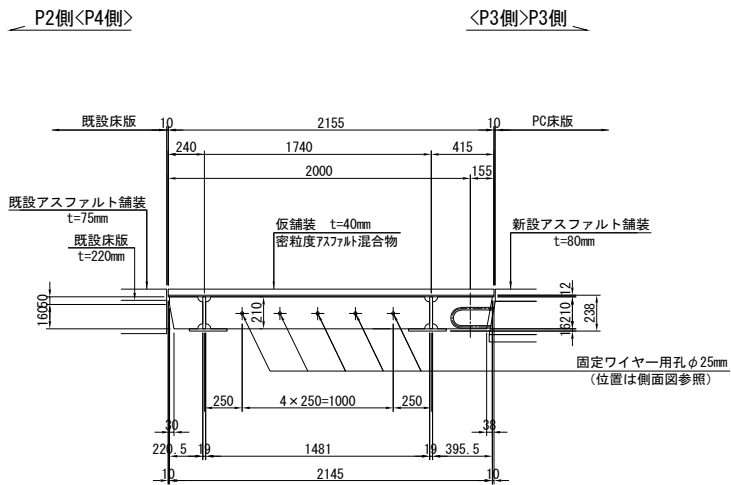


平 面 図

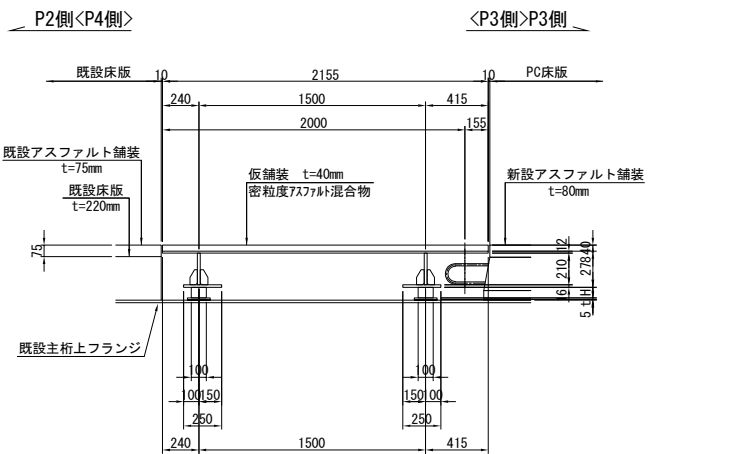


断 面 図

A - A



B - B



	TypeA	TypeB	TypeC	TypeD	TypeE	TypeF
L	10554	10556	10578	10581	10563	10565
L1	5057	5058	5070	5071	5061	5063
L2	5497	5497	5508	5510	5502	5502
L3	216	216	239	241	221	222
L4	166	166	189	191	171	171
L5	199	200	210	212	203	205
L6	149	150	160	162	153	155

	TypeA		TypeB		TypeC		TypeD		TypeE		TypeF	
	H	t	H	t	H	t	H	t	H	t	H	t
ST1	70	7	70	7	70	7	70	7	70	7	70	7
G1	75	6	75	7	85	6	90	6	75	6	75	7
ST2	75	8	75	9	85	8	90	6	75	8	75	9
ST3	80	8	80	8	90	9	90	9	80	8	80	8
G2	75	7	75	6	90	5	85	8	75	7	75	6
ST4	70	7	70	7	70	7	70	7	70	7	70	7

塗装数量表		TypeA	TypeB	TypeC	TypeD	TypeE	TypeF	備 考
素地調整	m2	104.3	104.3	104.5	104.5	104.4	104.4	
一般外面	m2	81.4	81.4	81.5	81.5	81.5	81.5	無機ジンクリッチ塗装
高力ボルト接合部 (外面)	m2	22.9	22.9	23.0	23.0	23.0	23.0	無機ジンクリッチ塗装
高力ボルト頭部	m2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	有機ジンクリッチ塗装

TypeA、TypeB鋼床版材料 ( 各 1 箇所)  
1 - Deck PL 2155 x 12 x 10554<10555>  
2 - Web PL 210 x 19 x 10534<10535>  
2 - Flg PL 250 x 16 x 10554<10555>  
38 - Rib PL 210 x 16 x 221  
4 - Support PL 70 x 22 x 100  
6 - Support PL 75 x 22 x 100  
2 - Support PL 80 x 22 x 100  
24 - Support PL 50 x 22 x 100  
38 - Rib PL 210 x 16 x 1481  
38 - Rib PL 210 x 16 x 396  
16 - Rib PL 50 x 12 x 70  
8 - Rib PL 50 x 12 x 120

TypeA鋼床版材料 ( 1 箇所)  
2 - Liner PL 100 x 6 x 150 (SS400)  
6 - Liner PL 100 x 7 x 150 (SS400)  
4 - Liner PL 100 x 8 x 150 (SS400)  
12 - ゴム PL 100 x 5 x 150 (ｸﾏﾀﾞﾚﾝｺﾞﾑ)  
  
TypeB鋼床版材料 ( 1 箇所)  
2 - Liner PL 100 x 6 x 150 (SS400)  
6 - Liner PL 100 x 7 x 150 (SS400)  
2 - Liner PL 100 x 8 x 150 (SS400)  
2 - Liner PL 100 x 9 x 150 (SS400)  
12 - ゴム PL 100 x 5 x 150 (ｸﾏﾀﾞﾚﾝｺﾞﾑ)

TypeC、TypeD鋼床版材料 ( 各 1 箇所)  
1 - Deck PL 2155 x 12 x 10578<10581>  
2 - Web PL 210 x 19 x 10558<10561>  
2 - Flg PL 250 x 16 x 10578<10581>  
38 - Rib PL 210 x 16 x 221  
4 - Support PL 70 x 22 x 100  
6 - Support PL 75 x 22 x 100  
2 - Support PL 80 x 22 x 100  
24 - Support PL 50 x 22 x 100  
38 - Rib PL 210 x 16 x 1481  
38 - Rib PL 210 x 16 x 396  
16 - Rib PL 50 x 12 x 70  
8 - Rib PL 50 x 12 x 120

◇内数値はTypeDを示す。

TypeC鋼床版材料 ( 1 箇所)  
2 - Liner PL 100 x 5 x 150 (SS400)  
2 - Liner PL 100 x 6 x 150 (SS400)  
4 - Liner PL 100 x 7 x 150 (SS400)  
2 - Liner PL 100 x 8 x 150 (SS400)  
12 - ゴム PL 100 x 5 x 150 (ｸﾏﾀﾞﾚﾝｺﾞﾑ)  
  
TypeD鋼床版材料 ( 1 箇所)  
4 - Liner PL 100 x 6 x 150 (SS400)  
4 - Liner PL 100 x 7 x 150 (SS400)  
2 - Liner PL 100 x 8 x 150 (SS400)  
2 - Liner PL 100 x 9 x 150 (SS400)  
12 - ゴム PL 100 x 5 x 150 (ｸﾏﾀﾞﾚﾝｺﾞﾑ)

TypeE、TypeF鋼床版材料 ( 各 1 箇所)  
1 - Deck PL 2155 x 12 x 10563<10565>  
2 - Web PL 210 x 19 x 10543<10545>  
2 - Flg PL 250 x 16 x 10563<10565>  
38 - Rib PL 210 x 16 x 221  
4 - Support PL 70 x 22 x 100  
6 - Support PL 75 x 22 x 100  
2 - Support PL 80 x 22 x 100  
24 - Support PL 50 x 22 x 100  
38 - Rib PL 210 x 16 x 1481  
38 - Rib PL 210 x 16 x 396  
16 - Rib PL 50 x 12 x 70  
8 - Rib PL 50 x 12 x 120

◇内数値はTypeFを示す。

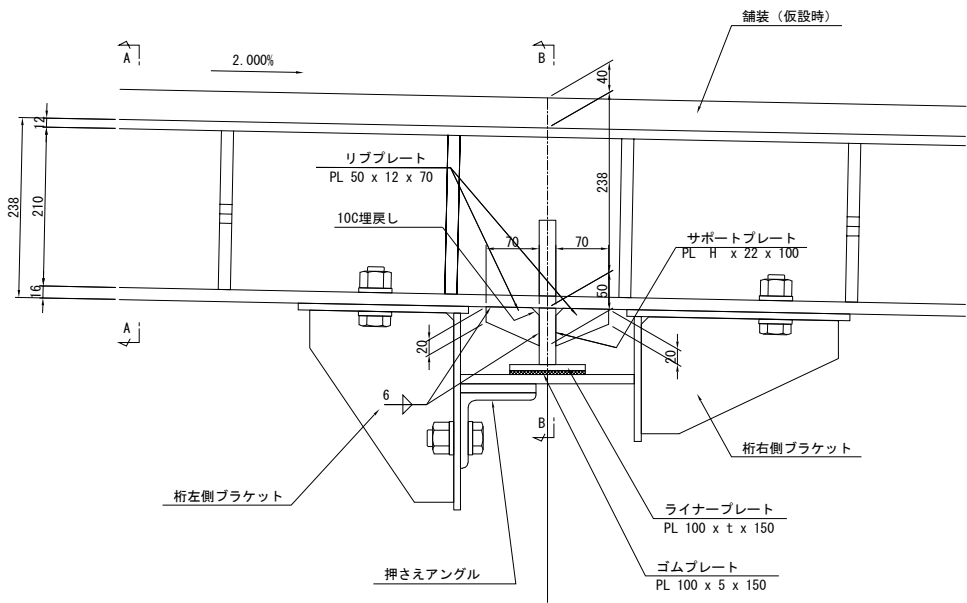
TypeE鋼床版材料 ( 1 箇所)  
2 - Liner PL 100 x 6 x 150 (SS400)  
6 - Liner PL 100 x 7 x 150 (SS400)  
4 - Liner PL 100 x 8 x 150 (SS400)  
12 - ゴム PL 100 x 5 x 150 (ｸﾏﾀﾞﾚﾝｺﾞﾑ)  
  
TypeF鋼床版材料 ( 1 箇所)  
2 - Liner PL 100 x 6 x 150 (SS400)  
6 - Liner PL 100 x 7 x 150 (SS400)  
2 - Liner PL 100 x 8 x 150 (SS400)  
2 - Liner PL 100 x 9 x 150 (SS400)  
12 - ゴム PL 100 x 5 x 150 (ｸﾏﾀﾞﾚﾝｺﾞﾑ)

- 注記) 1.  $\phi$ は六角高力ボルトM22(F10T)を示す。  
2. 高力ボルトの孔径は $\phi$ 24.5とする。  
3. 特記なき材質は全てSM400Aとする。  
4. 全ての材料は仮設材とする。  
5. 一次施工と二次施工の範囲に合わせた分割及び接合等について適切な検討を行うこと。

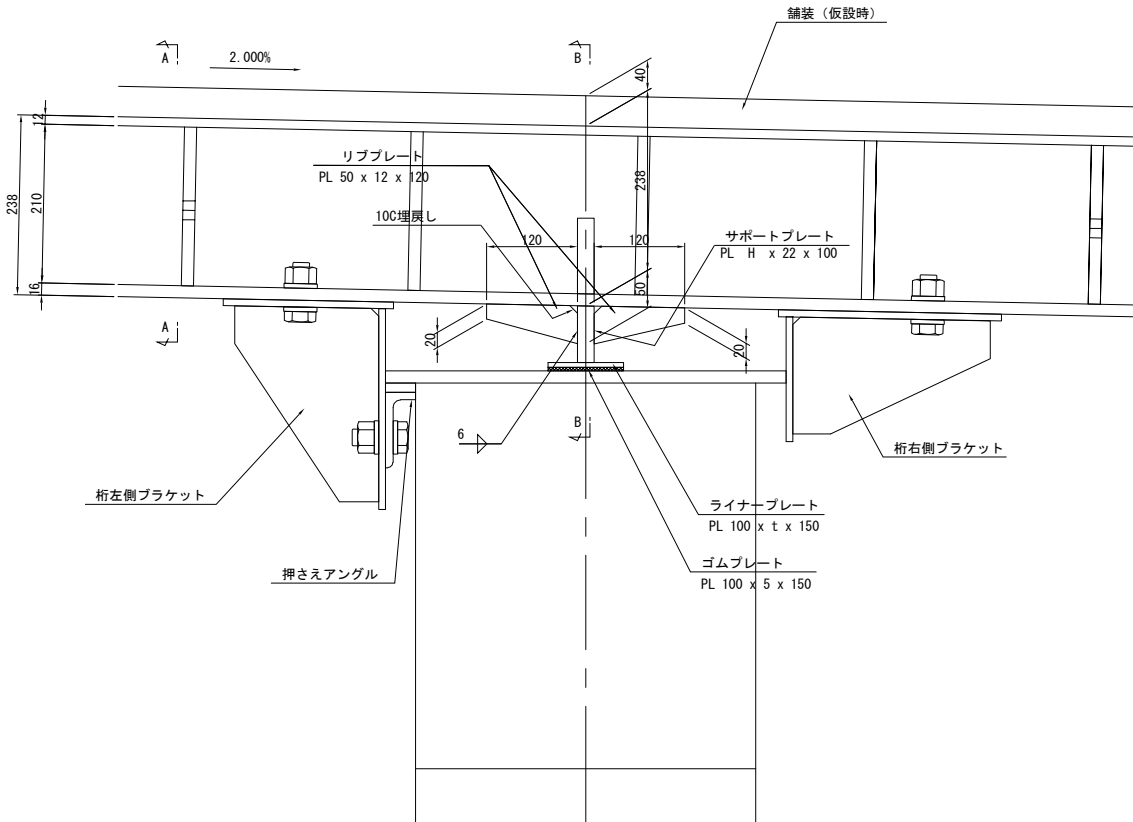
常磐自動車道 宮田川橋床版取替工事			
図面の種類	宮田川橋(下り線) P2～P4間仮設鋼床版詳細図(その1)		
縮 尺	図 示	図面番号	77 / 165
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水 戸 管 理 事 務 所		

既設桁取合部詳細

縦桁部

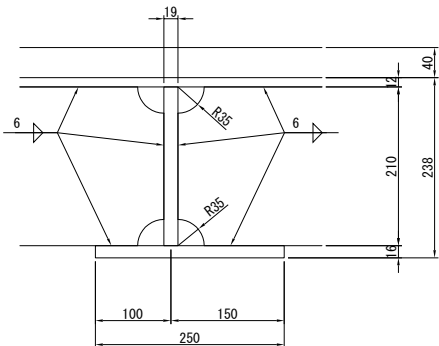


主桁部

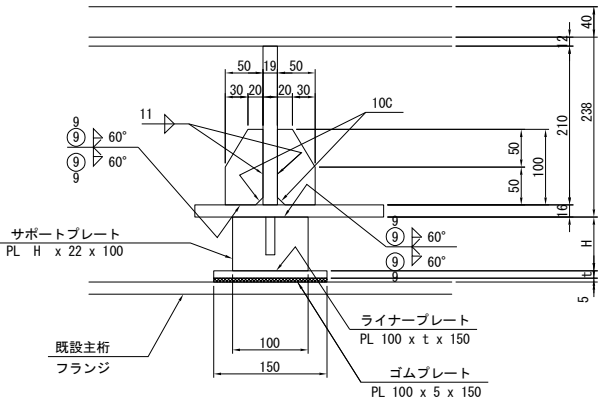


t : ライナープレート厚 (各パネル詳細図を参照のこと。)  
H : サポートプレート高 (各パネル詳細図を参照のこと。)

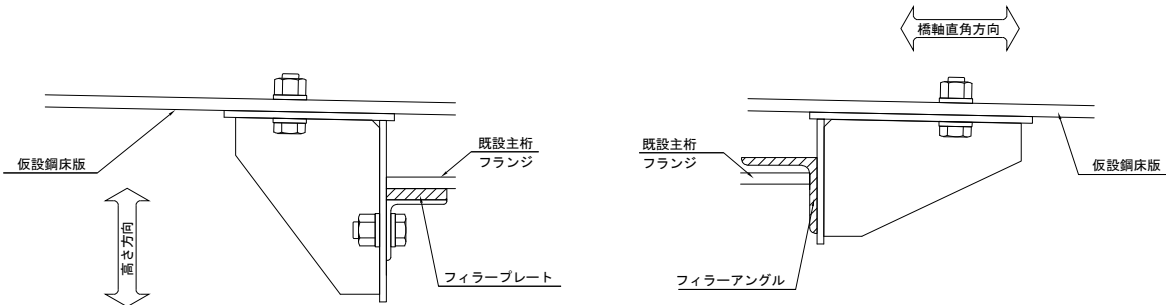
A - A



B - B

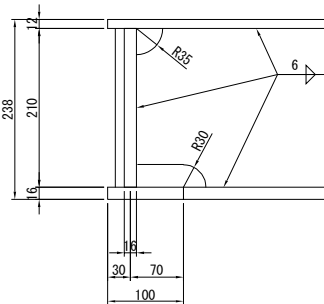


現場寸法との調整要領



現場計測値との調整は適宜フィラープレート等を使用すること。

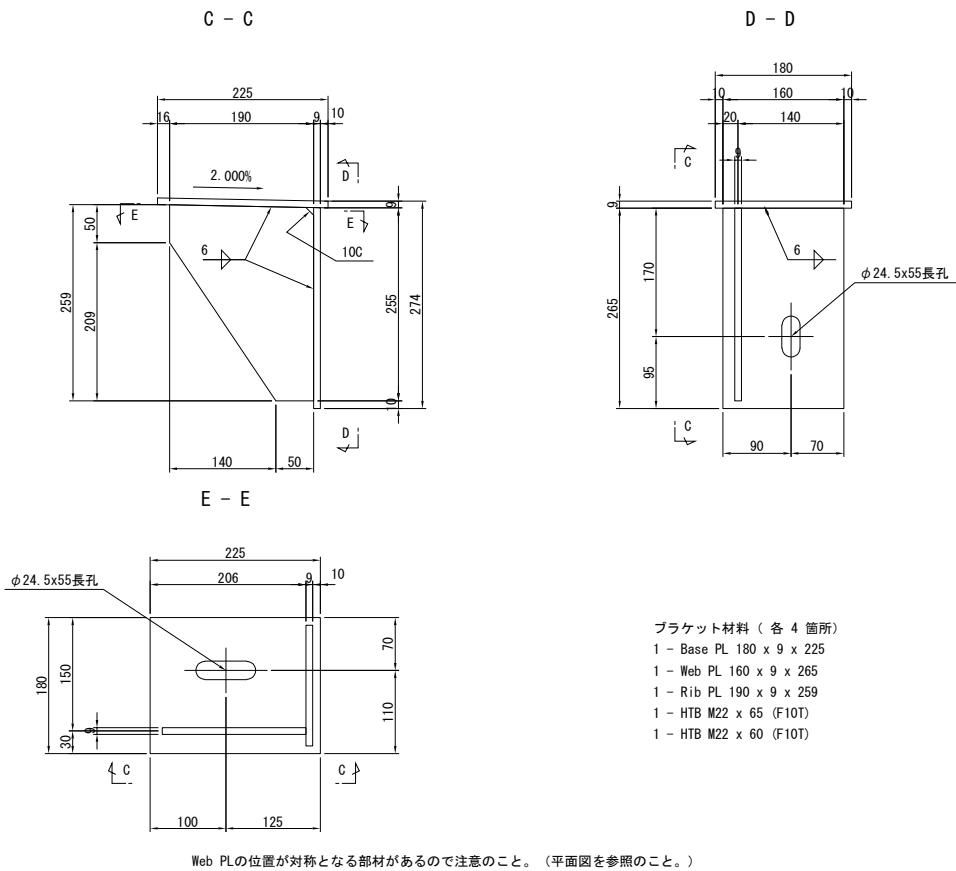
端部詳細



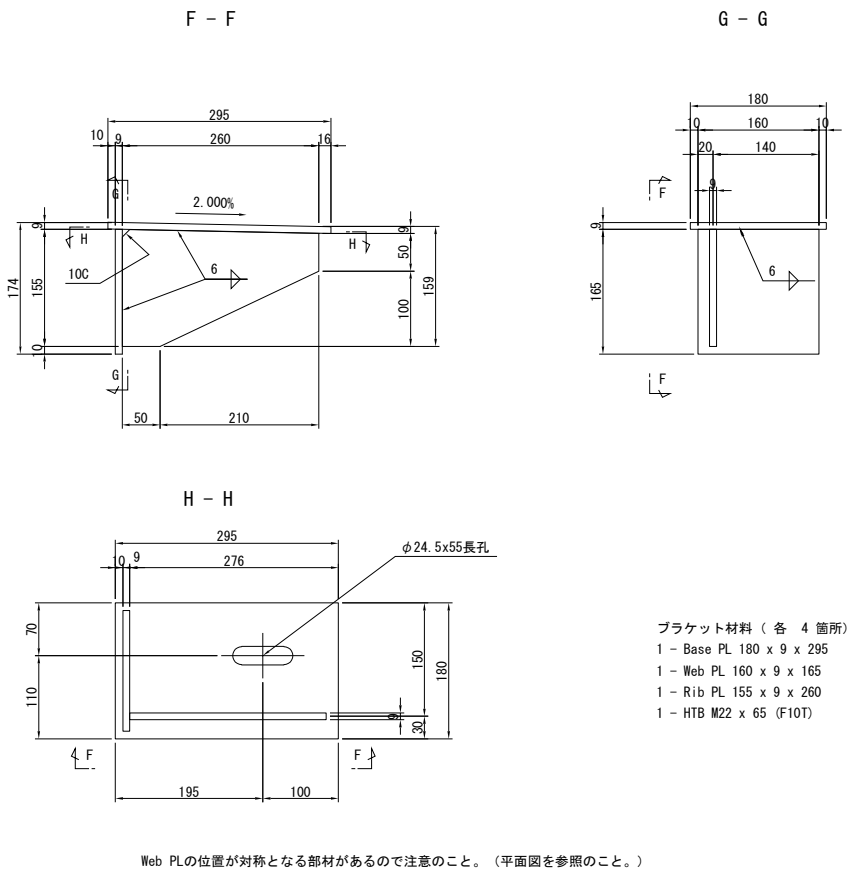
- 注記
1. 製作前に現地で計測等の確認を行い、詳細設計を行うこと。
  2. 詳細設計においては床版横断勾配等を考慮し、部材寸法等を決定すること。
  3. 中 は六角高力ボルトM22 (F10T) を示す。
  4. 高力ボルトの孔径はφ24.5とする。
  5. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
  6. 全ての材料は仮設材とする。
  7. ブラケットは本図と対称に製作する部材もあるので注意すること。

常磐自動車道 宮田川橋床版取替工事			
図面の種類	宮田川橋(下り線) P2～P4間仮設鋼床版詳細図(その2)		
縮 尺	図 示	図面番号	78 / 165
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水 戸 管 理 事 務 所		

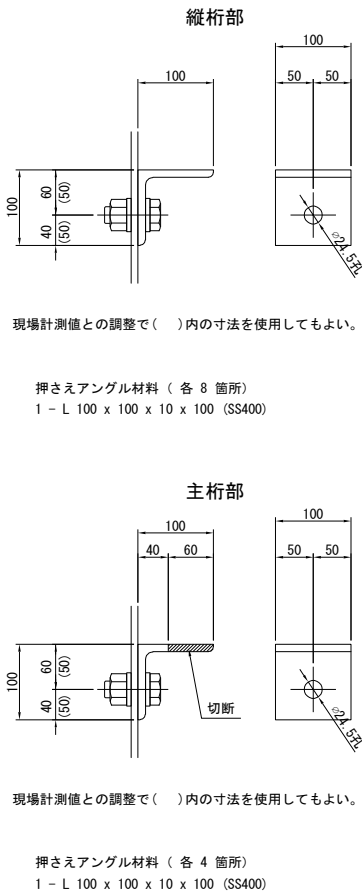
主桁左側ブラケット詳細



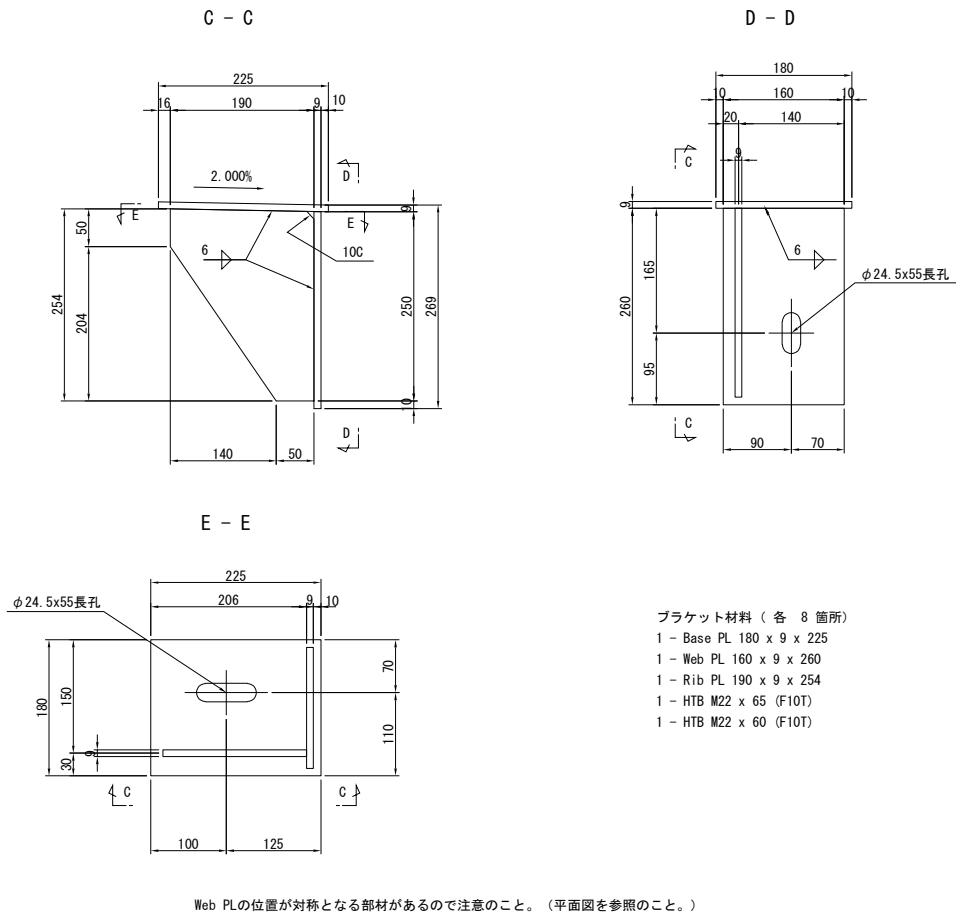
主桁右側ブラケット詳細



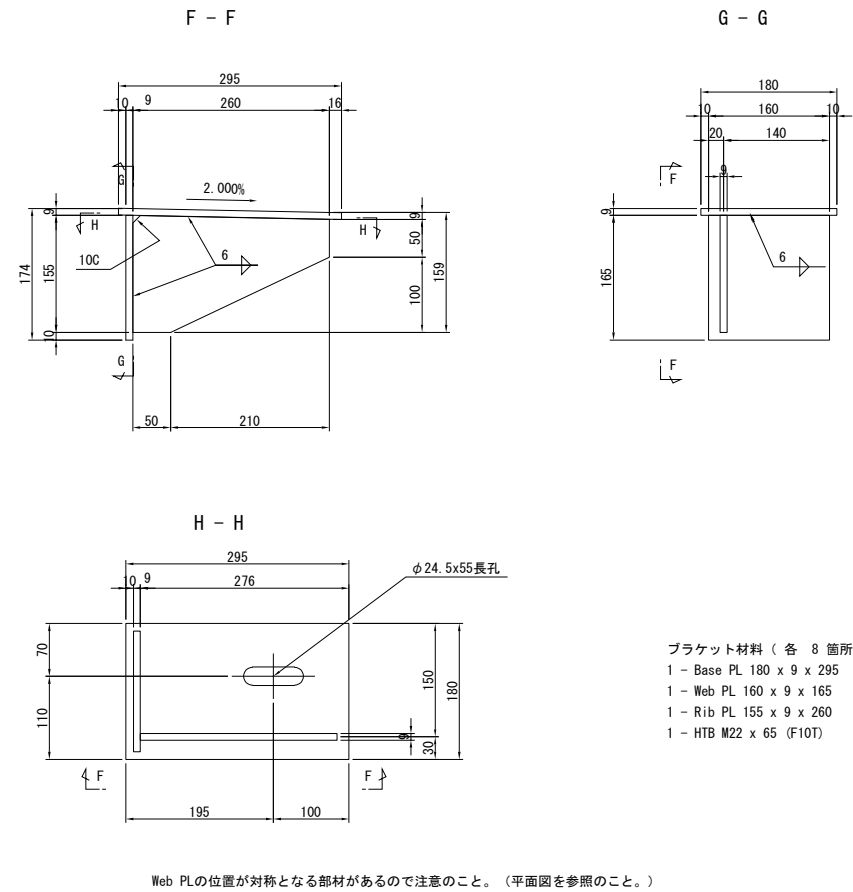
押さえアングル詳細



縦桁左側ブラケット詳細



縦桁右側ブラケット詳細

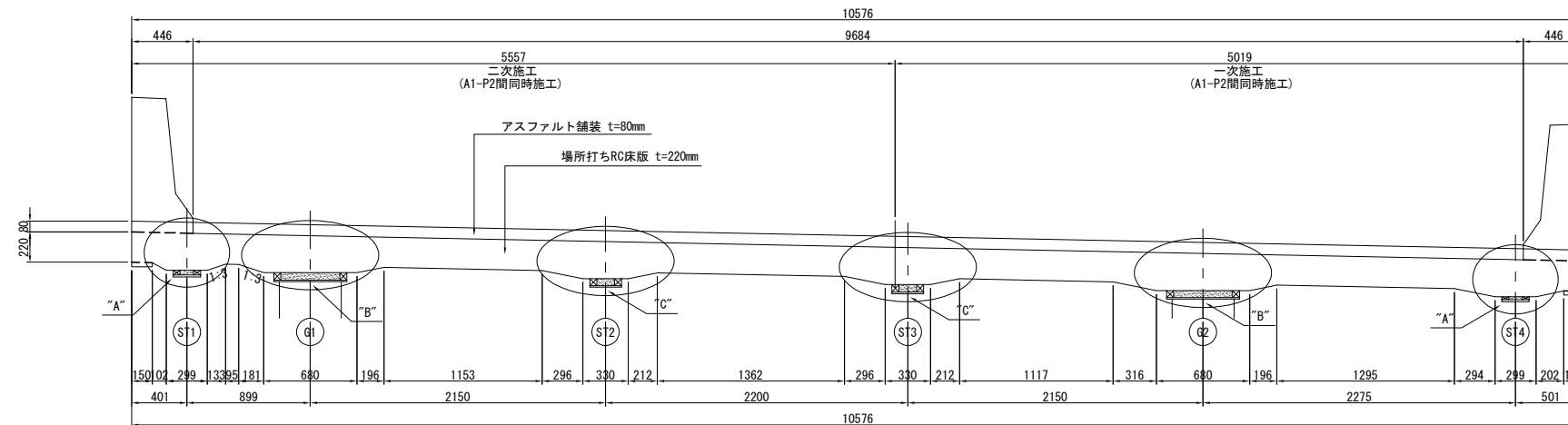


- 注記
1. 製作前に現地で計測等の確認を行い、詳細設計を行うこと。
  2. 詳細設計においては床版横断勾配等を考慮し、部材寸法等を決定すること。
  3. 中 は六角高力ボルトM22 (F10T) を示す。
  4. 高力ボルトの孔径はφ24.5とする。
  5. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
  6. 全ての材料は仮設材とする。
  7. ブラケットは本図と対称に製作する部材もあるので注意すること。

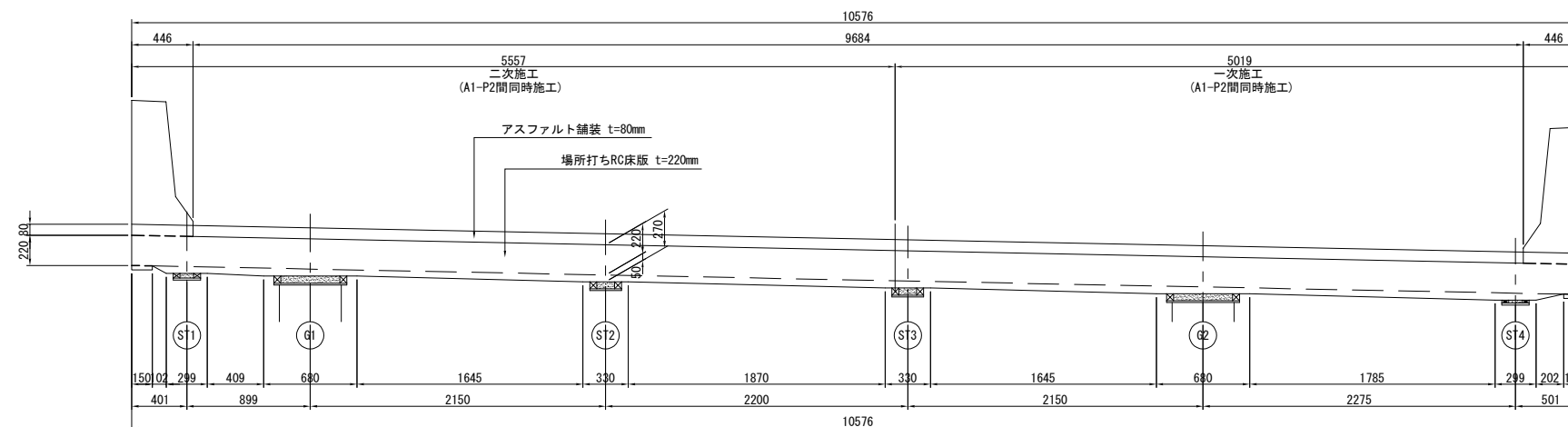
常磐自動車道 宮田川橋床版取替工事			
図面の種類	宮田川橋(下り線) P2～P4間仮設鋼床版詳細図(その3)		
縮 尺	図 示	図面番号	79 / 165
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水 戸 管 理 事 務 所		

断面図【P2】 S=1:50

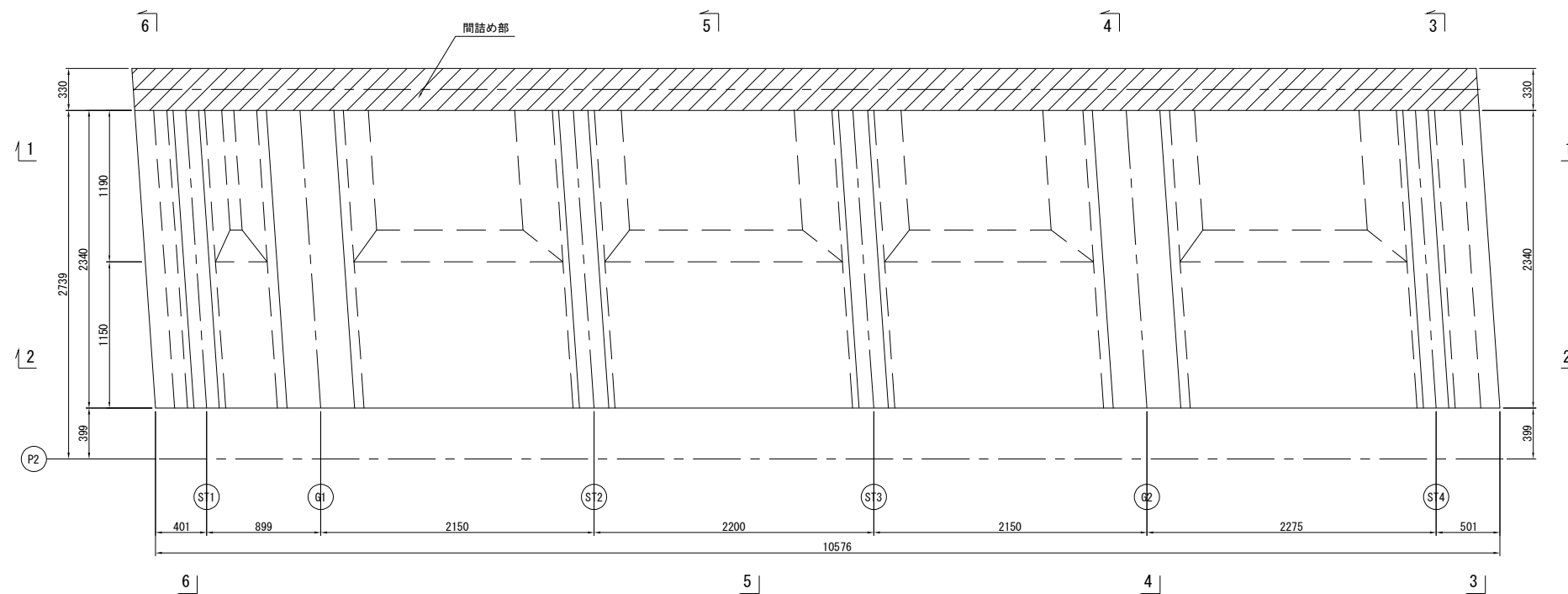
1 - 1



2 - 2

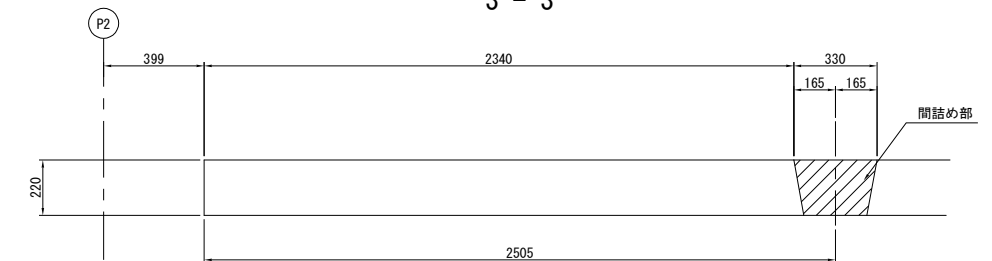


平面図【P2】 S=1:50

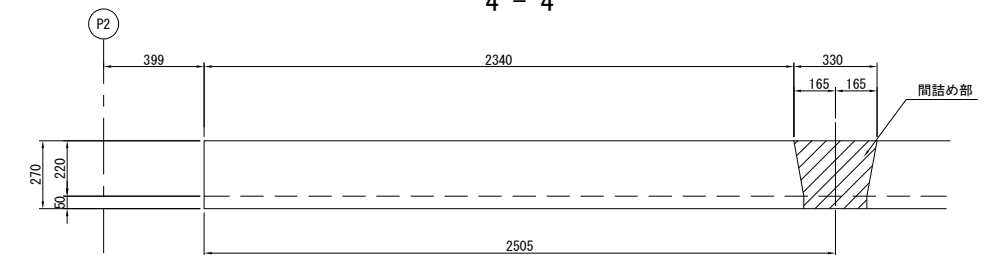


断面図 S=1:30

3 - 3

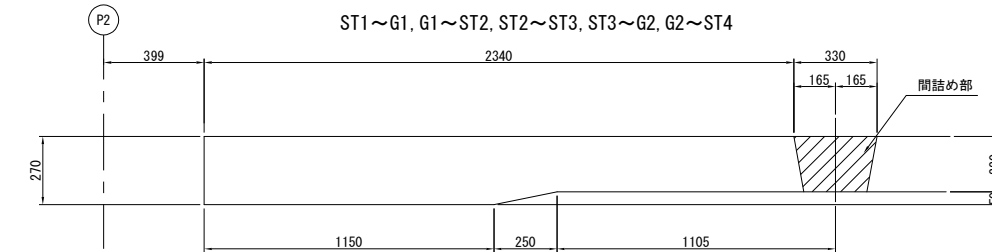


4 - 4

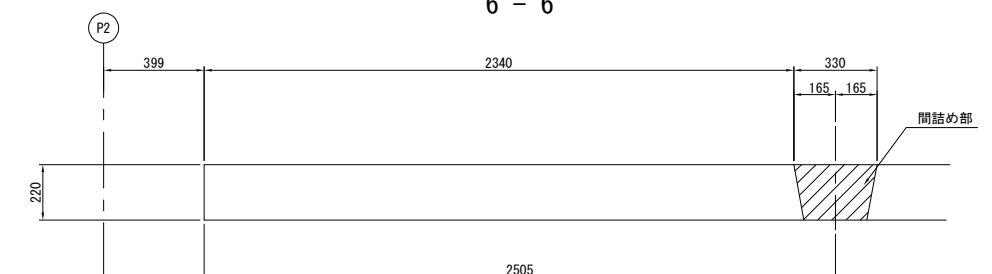


5 - 5

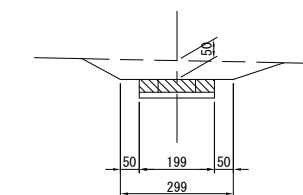
ST1~G1, G1~ST2, ST2~ST3, ST3~G2, G2~ST4



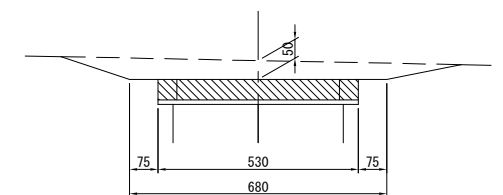
6 - 6



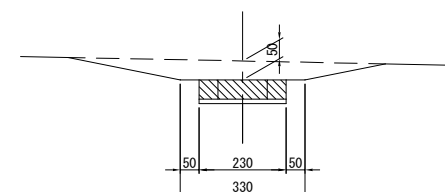
“A” 部 詳 細 図 S=1:20



“B”部詳細図 S=1:20



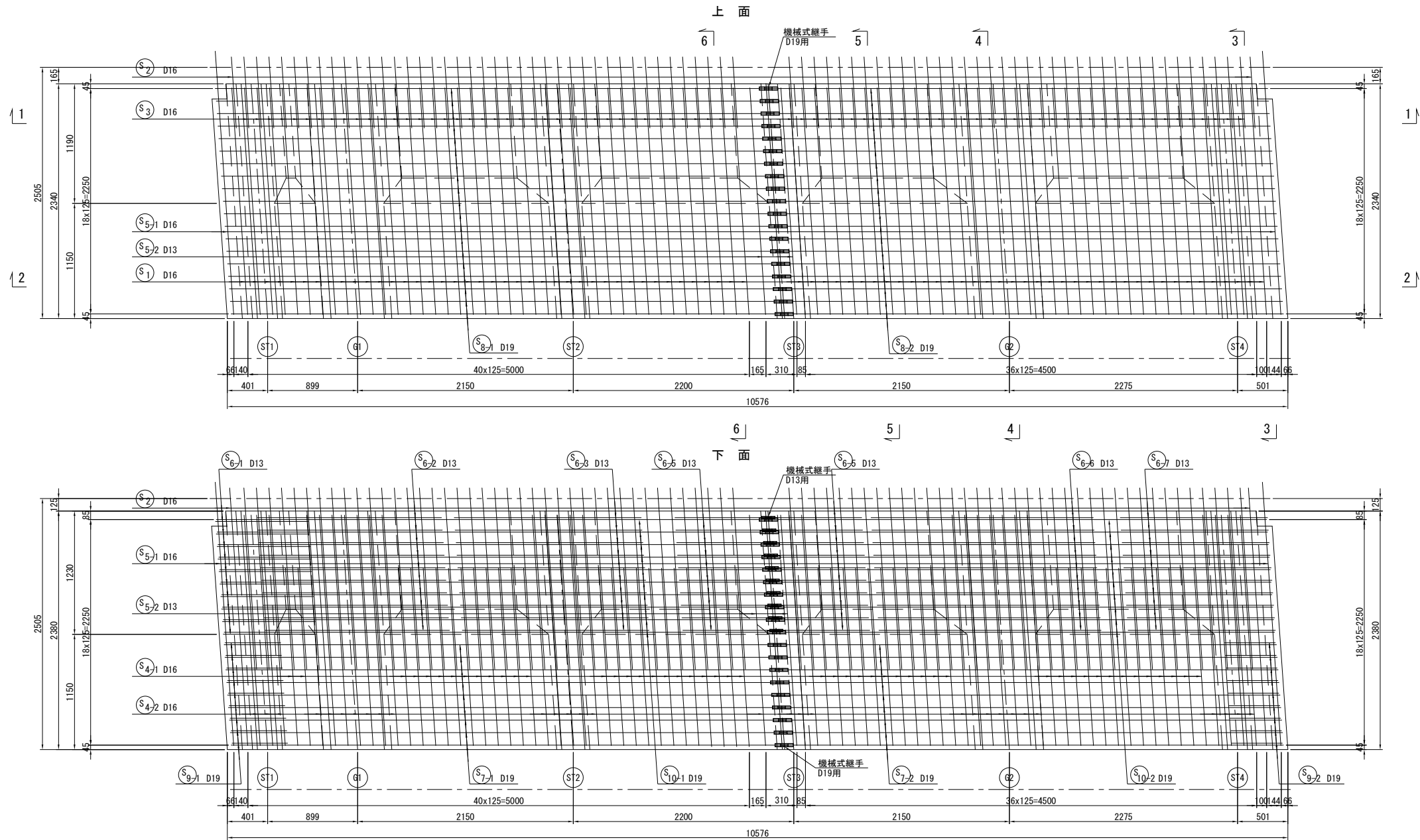
“C”部詳細図 S=1:20



常磐自動車道 宮田川橋床版取替工事			
図面の種類	宮田川橋（下り線）		
	P2～P4間橋面打込RC床版構造図（その1）		
縮 尺	図 示	図面番号	80 / 165
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

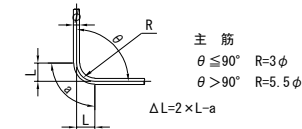


平面図【P2】 S=1:50

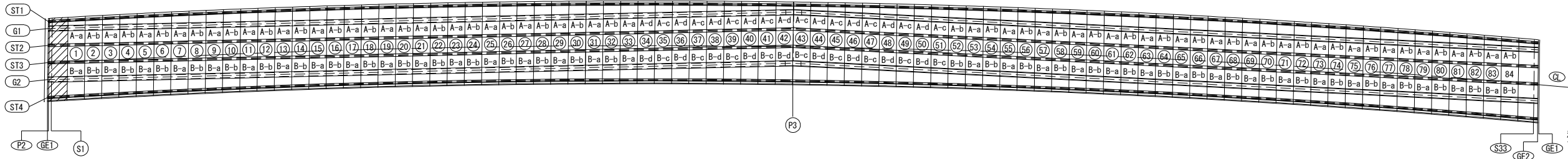


位置図

鉄筋曲げ加工表



径	θ = 90°			θ = 100°			θ = 135°			θ = 170°		
	R	a	ΔL	R	a	ΔL	R	a	ΔL	R	a	ΔL
D13	39	61	17	71.5	100	20	71.5	56	3	71.5	12	0
D16	48	75	21	88	123	25	88	69	4	88	15	0



注記  
1. 鉄筋はエポキシ樹脂塗装とする。  
但し、機械式継手挿入部は無塗装とする。

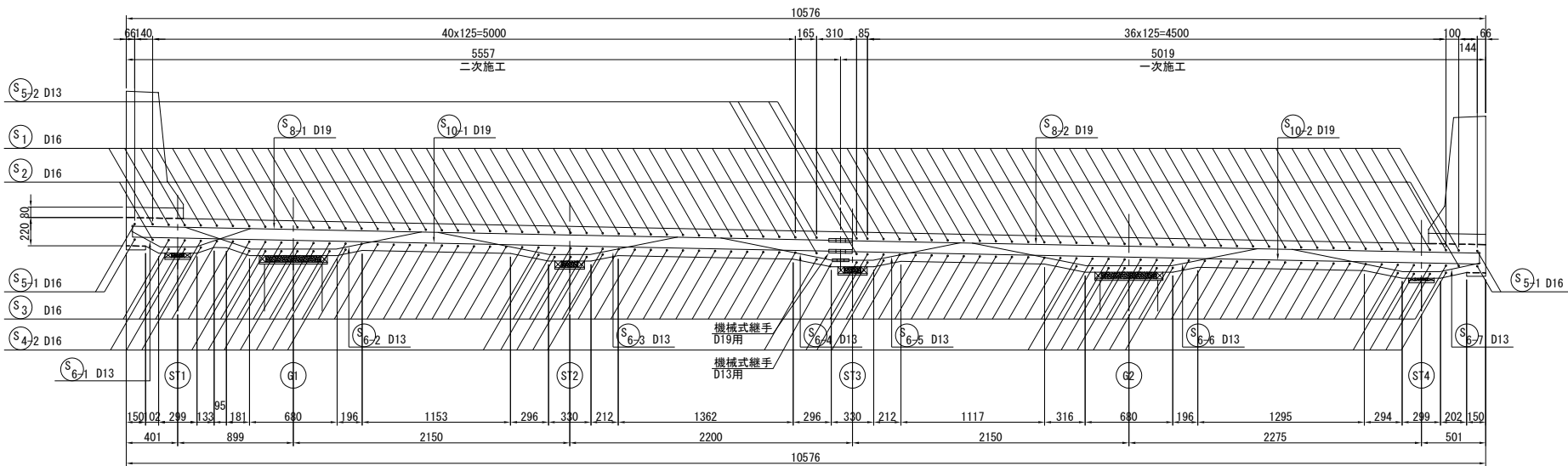
常磐自動車道 宮田川橋床版取替工事			
図面の種類	宮田川橋(下り線) P2～P4間場所打ちRC床版配筋図(その1)		
縮 尺	図 示	図面番号	82 / 165
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水 戸 管 理 事 務 所		



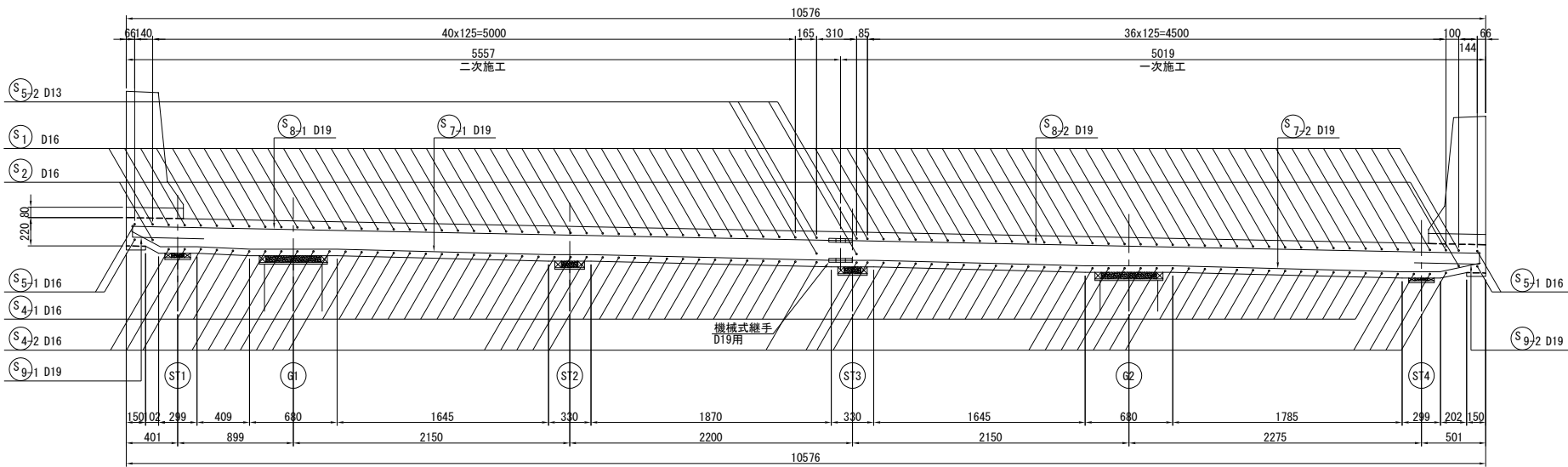
宮田川橋(下り線) P2～P4間場所打ちRC床版配筋図(その2)

断面図【P2】 S=1:50

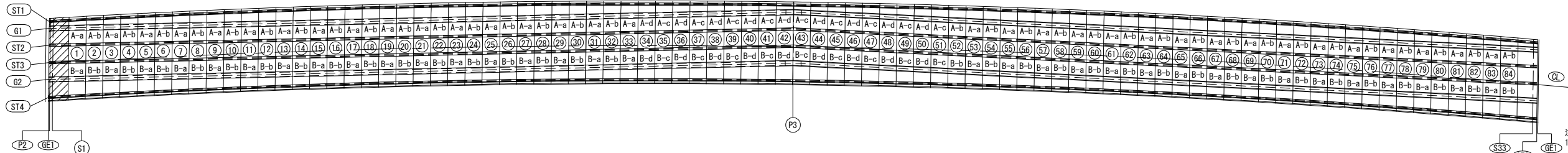
1 - 1



2 - 2 (桁端部)

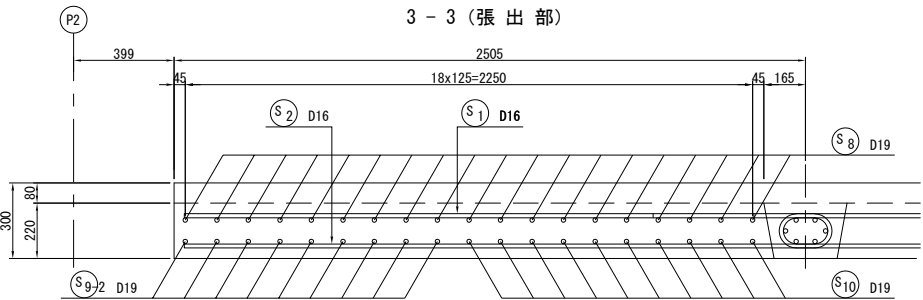


位置図

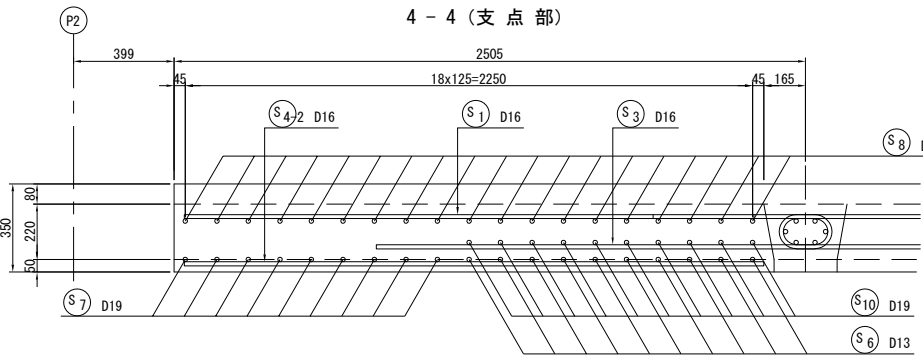


断面図 S=1:30

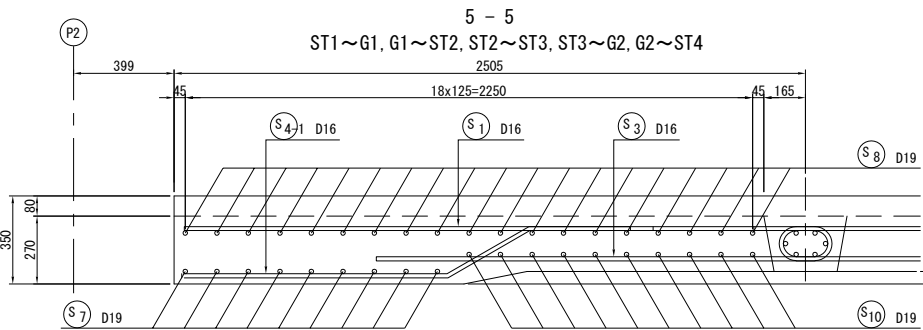
3 - 3 (張出部)



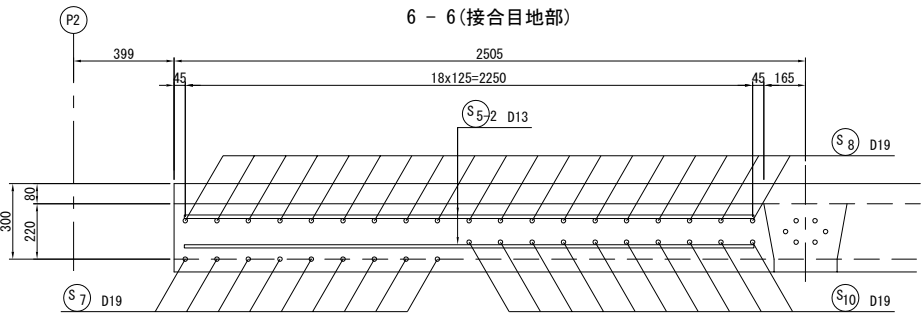
4 - 4 (支点部)



5 - 5  
ST1～G1, G1～ST2, ST2～ST3, ST3～G2, G2～ST4

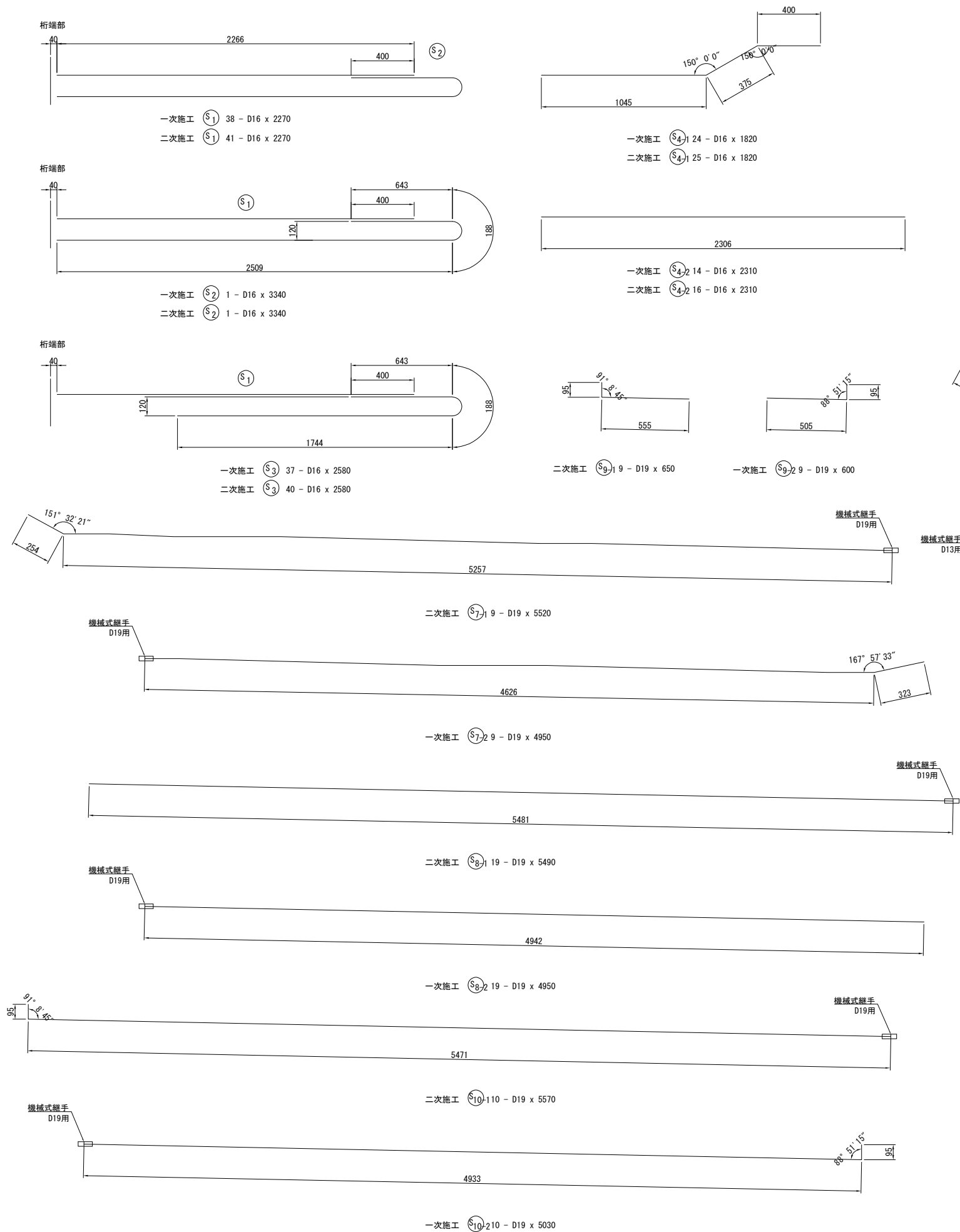


6 - 6 (接合目地部)



注記  
1. 鉄筋はエポキシ樹脂塗装とする。  
但し、機械式継手挿入部は無塗装とする。

常磐自動車道			
宮田川橋床版取替工事			
図面の種類	宮田川橋(下り線) P2～P4間場所打ちRC床版配筋図(その2)		
縮尺	図示	図面番号	83 / 165
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		



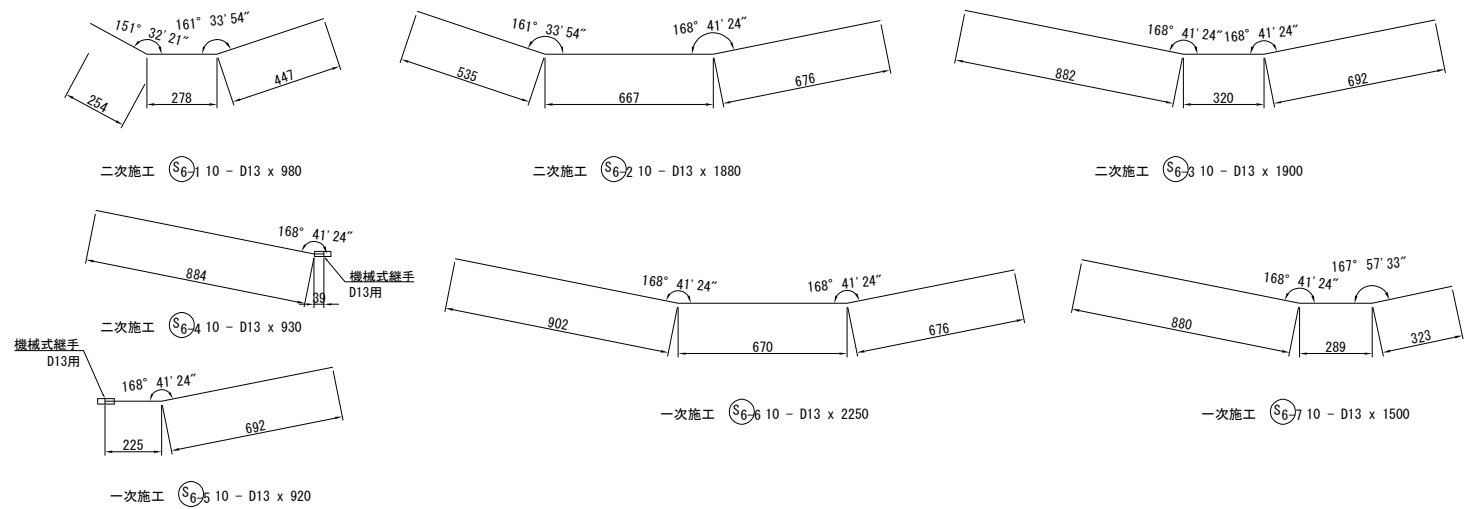
鉄筋曲げ加工表

The diagram shows a reinforcement bar bent at an angle  $\theta$ . The radius of the bend is  $R$ . The straight segments of the bar have length  $L$ . The distance from the center of the bend to the end of the straight segment is  $a$ . The total length of the bent bar is  $\Delta L$ .

主 筋  
 $\theta \leq 90^\circ$   $R=3\phi$   
 $\theta > 90^\circ$   $R=5.5\phi$

$$\Delta L=2 \times L-a$$

径	$\theta = 90^\circ$			$\theta = 100^\circ$			$\theta = 135^\circ$			$\theta = 170^\circ$		
	R	a	$\Delta L$	R	a	$\Delta L$	R	a	$\Delta L$	R	a	$\Delta L$
D13	39	61	17	71.5	100	20	71.5	56	3	71.5	12	0
D16	48	75	21	88	123	25	88	69	4	88	15	0



一次施工鉄筋表

記号	径	長さ	本数	単位重量	一本当り重量	重量	摘要
S1	D16	2270	38	1.56	3.54	135	—
S2	D16	3340	1	1.56	5.21	5	—
S3	D16	2580	37	1.56	4.02	149	—
S4-1	D16	1820	24	1.56	2.84	68	—
S4-2	D16	2310	14	1.56	3.60	50	—
S5-1	D16	2640	2	1.56	4.12	8	—
S5-2	D13	2270	2	0.995	2.26	5	—
S6-5	D13	920	10	0.995	0.915	9	—
S6-6	D13	2250	10	0.995	2.24	22	—
S6-7	D13	1500	10	0.995	1.49	15	—
S7-2	D19	4950	9	2.25	11.14	100	—
S8-2	D19	4950	19	2.25	11.14	212	—
S9-2	D19	600	9	2.25	1.35	12	—
S10-2	D19	5030	10	2.25	11.32	113	—
						903 kg	
						D19 (SD345)	437 kg
						D16 (SD345)	415 kg
						D13 (SD345)	51 kg
				機械式継手	D19用	38 組	
				機械式継手	D13用	10 組	

二次施工鉄筋表

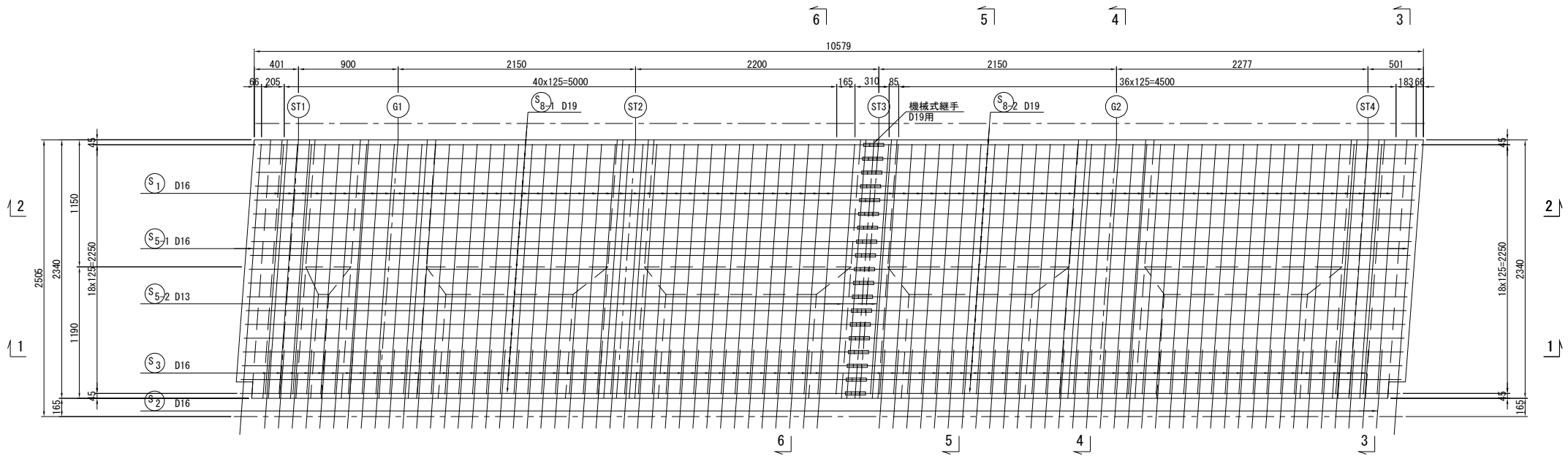
記号	径	長さ	本数	単位重量	一本当り重量	重量	摘要
S1	D16	2270	41	1.56	3.54	145	—
S2	D16	3340	1	1.56	5.21	5	—
S3	D16	2580	40	1.56	4.02	161	—
S4-1	D16	1820	25	1.56	2.84	71	—
S4-2	D16	2310	16	1.56	3.60	58	—
S5-1	D16	2640	2	1.56	4.12	8	—
S5-2	D13	2270	2	0.995	2.26	5	—
S6-1	D13	980	10	0.995	0.975	10	—
S6-2	D13	1880	10	0.995	1.87	19	—
S6-3	D13	1900	10	0.995	1.89	19	—
S6-4	D13	930	10	0.995	0.925	9	—
S7-1	D19	5520	9	2.25	12.42	112	—
S8-1	D19	5490	19	2.25	12.35	235	—
S9-1	D19	650	9	2.25	1.46	13	—
S10-1	D19	5570	10	2.25	12.53	125	—
						995 kg	
						D19 (SD345)	485 kg
						D16 (SD345)	448 kg
						D13 (SD345)	62 kg
				機械式継手	D19用	38 組	
				機械式継手	D13用	10 組	

注記  
1. 鉄筋はエポキシ樹脂塗装とする。  
但し、機械式継手挿入部は無塗装とする。

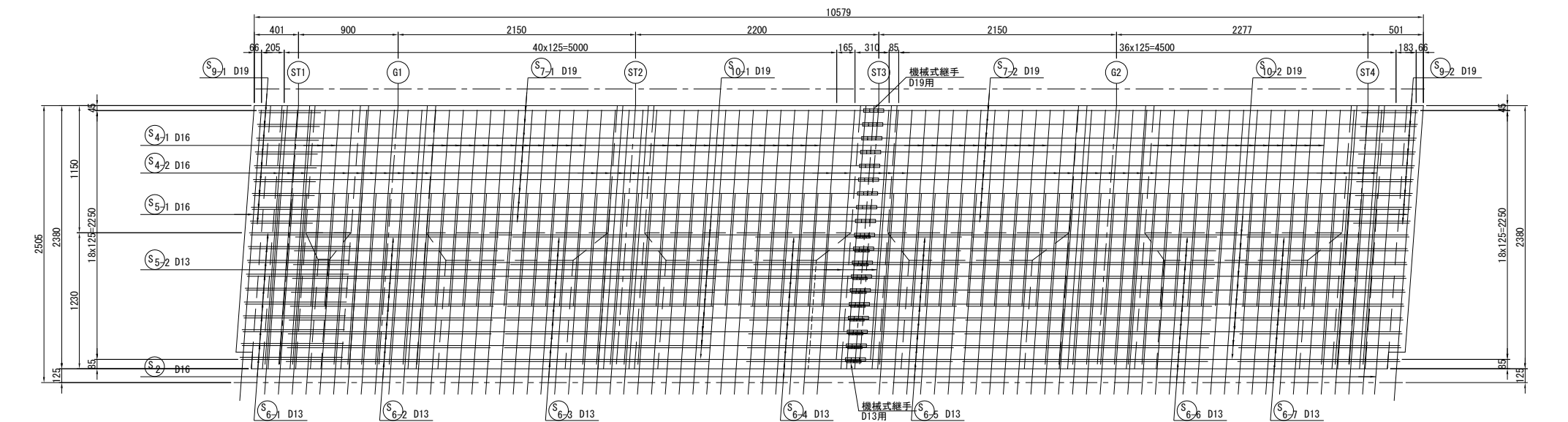
常磐自動車道 宮田川橋床版取替工事			
図面の種類	宮田川橋(下り線) P2～P4間場所打ちRC床版配筋図(その3)		
縮 尺	1:30	図面番号	84 / 165
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水 戸 管 理 事 務 所		

平面図【P4】 S=1:50

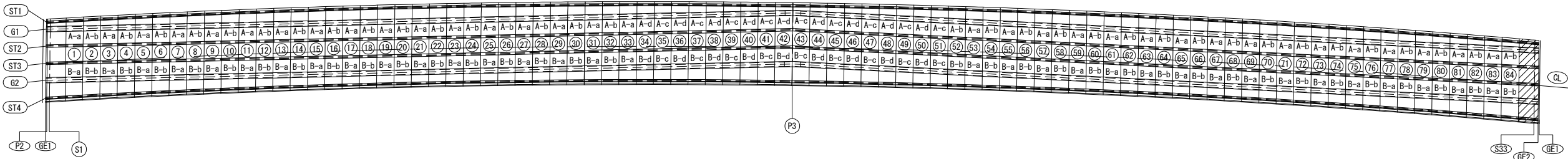
上 面



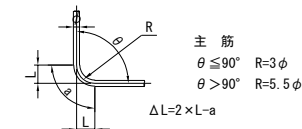
下 面



位置図



鉄筋曲げ加工表



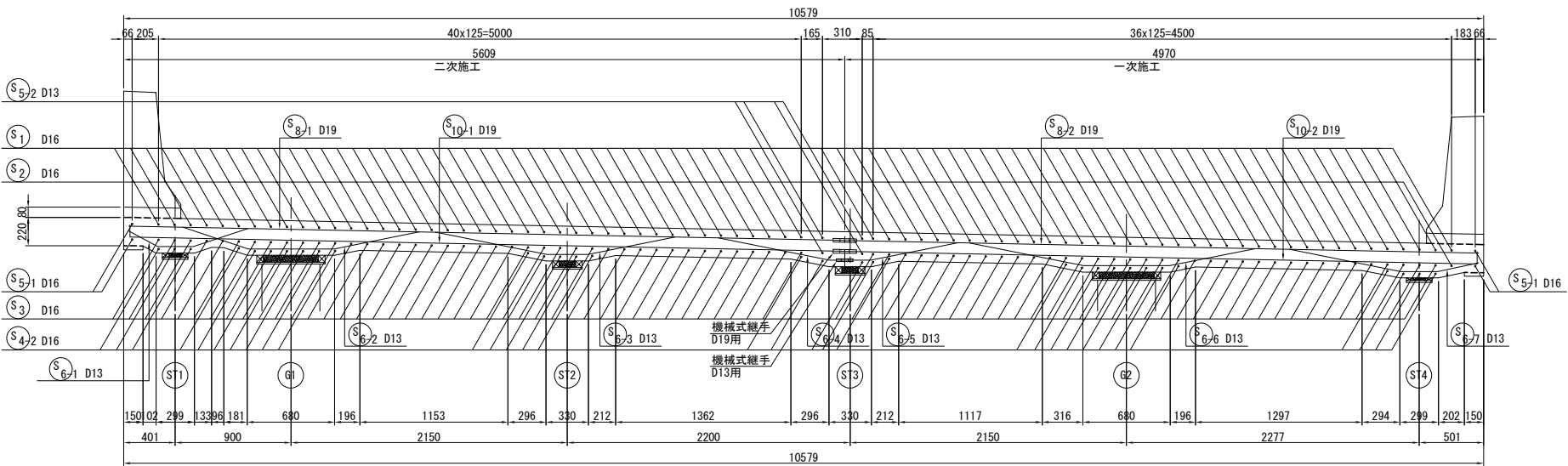
径	θ = 90°			θ = 100°			θ = 135°			θ = 170°		
	R	a	ΔL	R	a	ΔL	R	a	ΔL	R	a	ΔL
D13	39	61	17	71.5	100	20	71.5	56	3	71.5	12	0
D16	48	75	21	88	123	25	88	69	4	88	15	0

注記  
1. 鉄筋はエポキシ樹脂塗装とする。  
但し、機械式継手挿入部は無塗装とする。

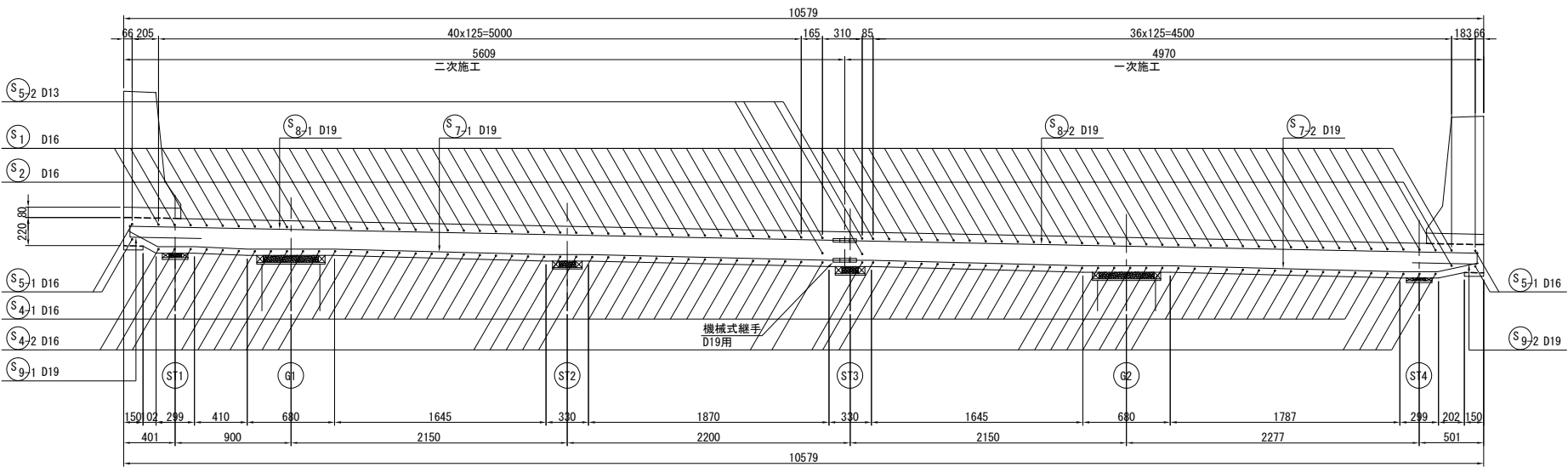
常磐自動車道 宮田川橋床版取替工事			
図面の種類	宮田川橋（下り線） P2～P4間場所打ちRC床版配筋図(その4)		
縮 尺	図 示	図面番号	85 / 165
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水 戸 管 理 事 務 所		

宮田川橋(下り線) P2～P4間場所打ちRC床版配筋図(その5)

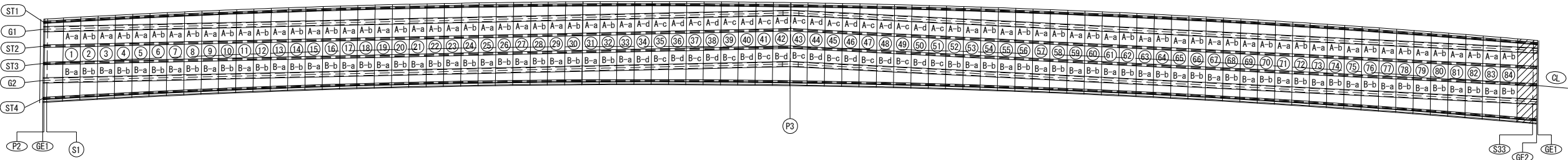
断面図【P4】 S=1:50  
1 - 1 (接合部)



2 - 2 (桁端部)

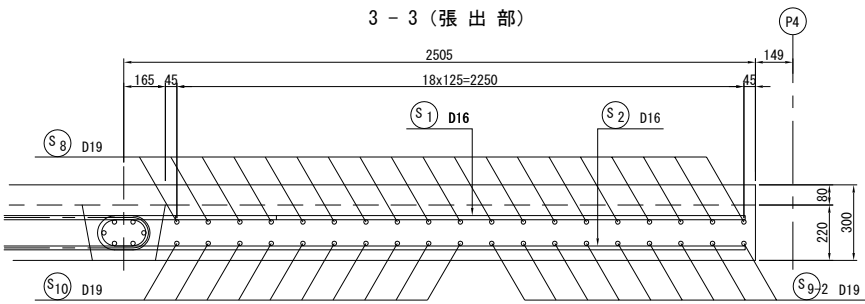


位置図

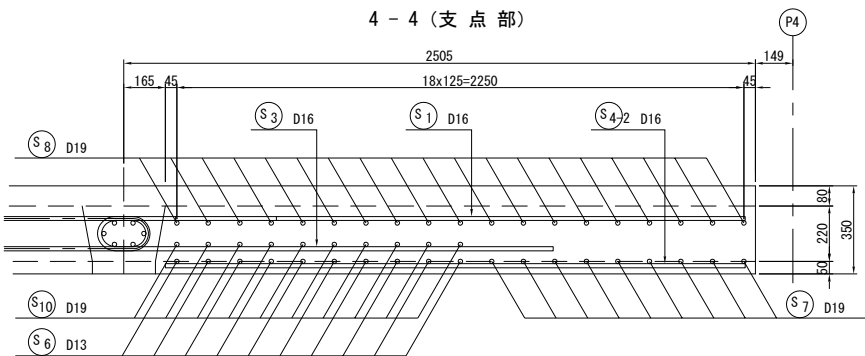


断面図 S=1:30

3 - 3 (張出部)

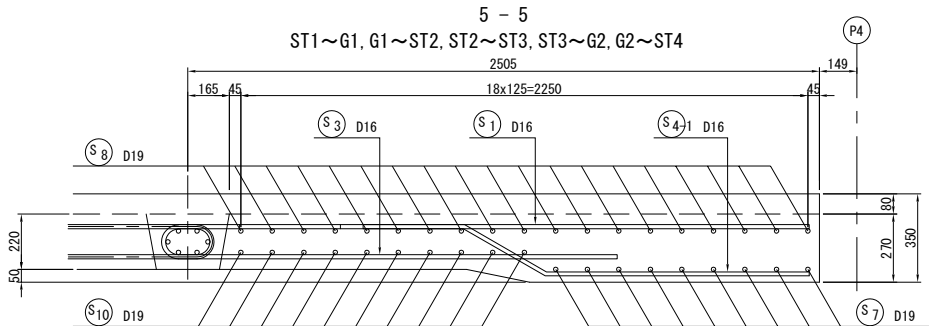


4 - 4 (支点部)

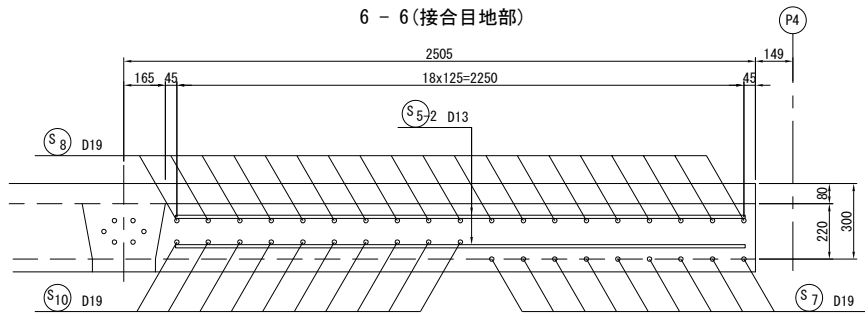


5 - 5

ST1～G1, G1～ST2, ST2～ST3, ST3～G2, G2～ST4

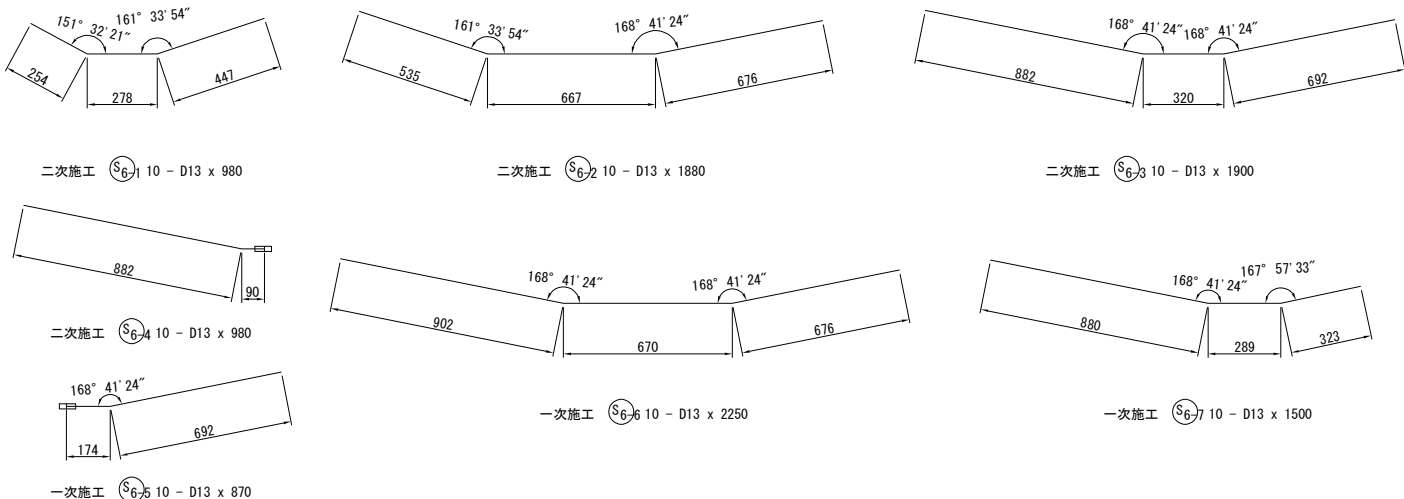
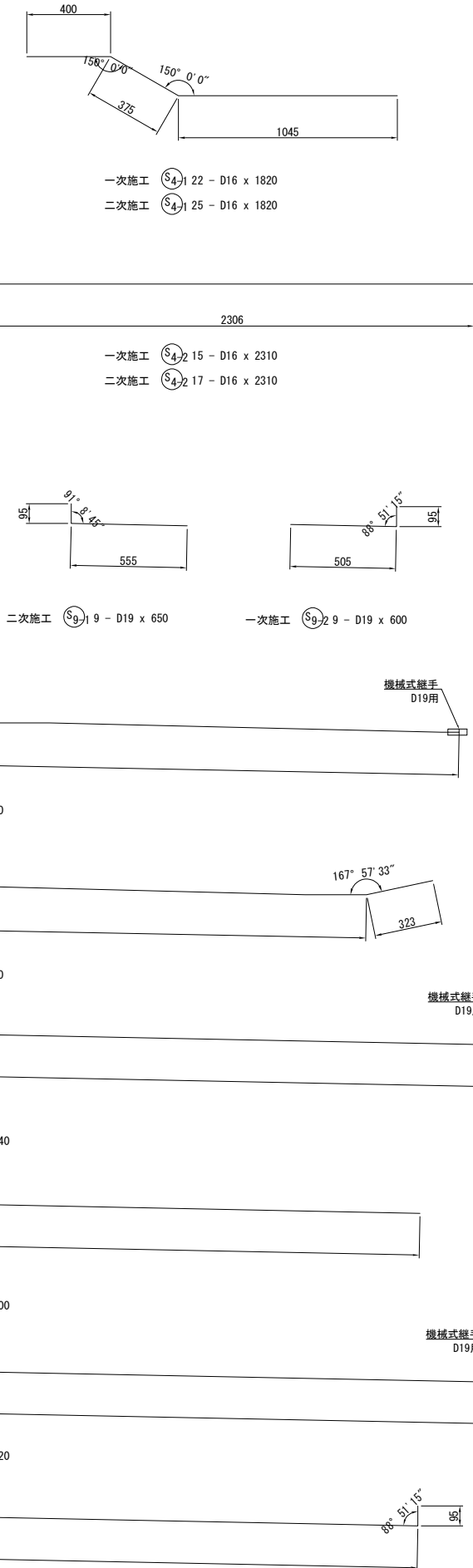



6 - 6 (接合目地部)



注記  
1. 鉄筋はエポキシ樹脂塗装とする。  
但し、機械式継手挿入部は無塗装とする。

常磐自動車道 宮田川橋床版取替工事			
図面の種類	宮田川橋(下り線) P2～P4間場所打ちRC床版配筋図(その5)		
縮 尺	図 示	図面番号	86 / 165
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水 戸 管 理 事 務 所		




 主筋  
 $\theta \leq 90^\circ$   $R=3\phi$   
 $\theta > 90^\circ$   $R=5.5$   
 $\Delta L=2 \times L-a$

徑	$\theta = 90^\circ$			$\theta = 100^\circ$			$\theta = 135^\circ$			$\theta = 170^\circ$		
	R	a	$\Delta L$	R	a	$\Delta L$	R	a	$\Delta L$	R	a	$\Delta L$
D13	39	61	17	71.5	100	20	71.5	56	3	71.5	12	0
D16	48	75	21	88	123	25	88	69	4	88	15	0

### 一次施工鉄筋表

記号	径	長さ	本数	単位重量	一本当り重量	重量	摘要
S1	D16	2270	37	1.56	3.54	131	—
S2	D16	3340	1	1.56	5.21	5	—
S3	D16	2580	36	1.56	4.02	145	—
S4-1	D16	1820	22	1.56	2.84	62	—
S4-2	D16	2310	15	1.56	3.60	54	—
S5-1	D16	2640	2	1.56	4.12	8	—
S5-2	D13	2270	2	0.995	2.26	5	—
S6-5	D13	870	10	0.995	0.866	9	—
S6-6	D13	2250	10	0.995	2.24	22	—
S6-7	D13	1500	10	0.995	1.49	15	—
S7-2	D19	4900	9	2.25	11.03	99	—
S8-2	D19	4900	19	2.25	11.03	210	—
S9-2	D19	600	9	2.25	1.35	12	—
S10-2	D19	4980	10	2.25	11.21	112	—
						889	kg
					D19 (SD345)	433	kg
					D16 (SD345)	405	kg
					D13 (SD345)	51	kg
機械式継手					D19用	38	組
機械式継手					D13用	10	組

二次施工鉄筋表

記号	径	長さ	本数	単位重量	一本当り重量	重量	摘要
S1	D16	2270	41	1.56	3.54	145	—
S3	D16	2580	41	1.56	4.02	165	—
S4-1	D16	1820	25	1.56	2.84	71	—
S4-2	D16	2310	17	1.56	3.60	61	—
S5-1	D16	2640	2	1.56	4.12	8	—
S5-2	D13	2270	2	0.995	2.26	5	—
S6-1	D13	980	10	0.995	0.975	10	—
S6-2	D13	1880	10	0.995	1.87	19	—
S6-3	D13	1900	10	0.995	1.89	19	—
S6-4	D13	980	10	0.995	0.975	10	—
S7-1	D19	5570	9	2.25	12.53	113	—
S8-1	D19	5540	19	2.25	12.47	237	—
S9-1	D19	650	9	2.25	1.46	13	—
S10-1	D19	5620	10	2.25	12.65	127	—
						1003	kg
					D19 (SD345)	490	kg
					D16 (SD345)	450	kg
					D13 (SD345)	63	kg
機械式継手					D19用	38	組
機械式継手					D13用	10	組

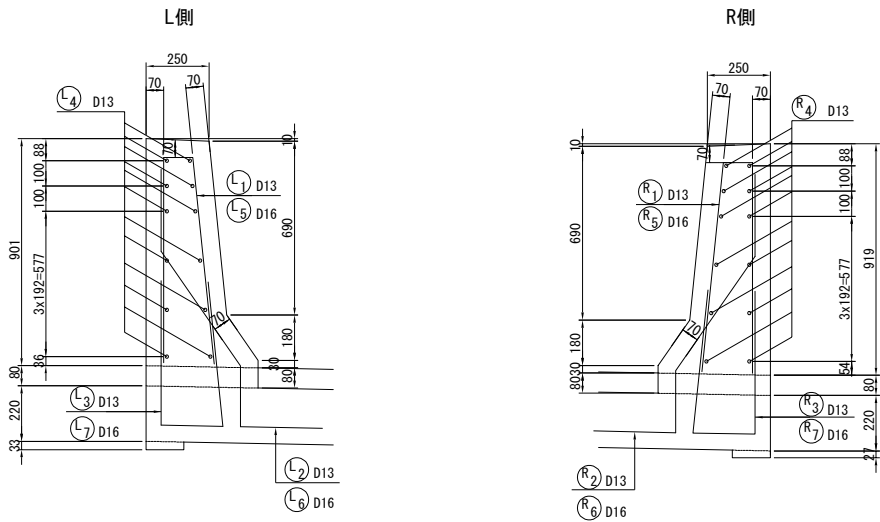
注記  
1. 鉄筋はエポキシ樹脂塗装とする。  
但し、機械式継手挿入部は無塗装とする。

常磐自動車道			
宮田川橋床版取替工事			
図面の種類	宮田川橋（下り線） P2～P4開場所打付RC床版配筋図（その6）		
縮 尺	1:30	図面番号	87 / 165
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

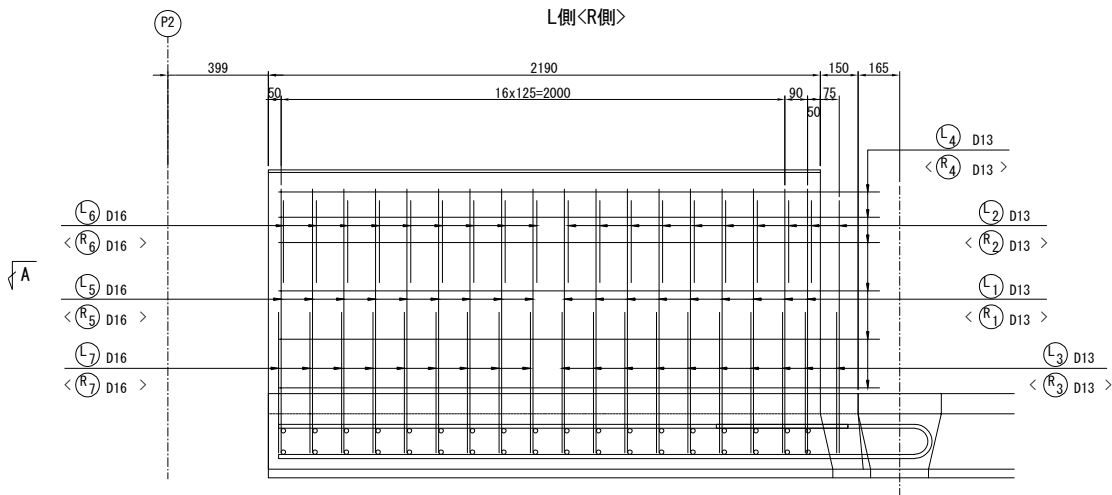
宮田川橋(下り線) P2～P4間場所打ち部壁高欄詳細図(その1)

P2側

壁高欄断面図 S=1:30



壁高欄側面図 S=1:30



壁高欄二次施工鉄筋表

(一枚当り)

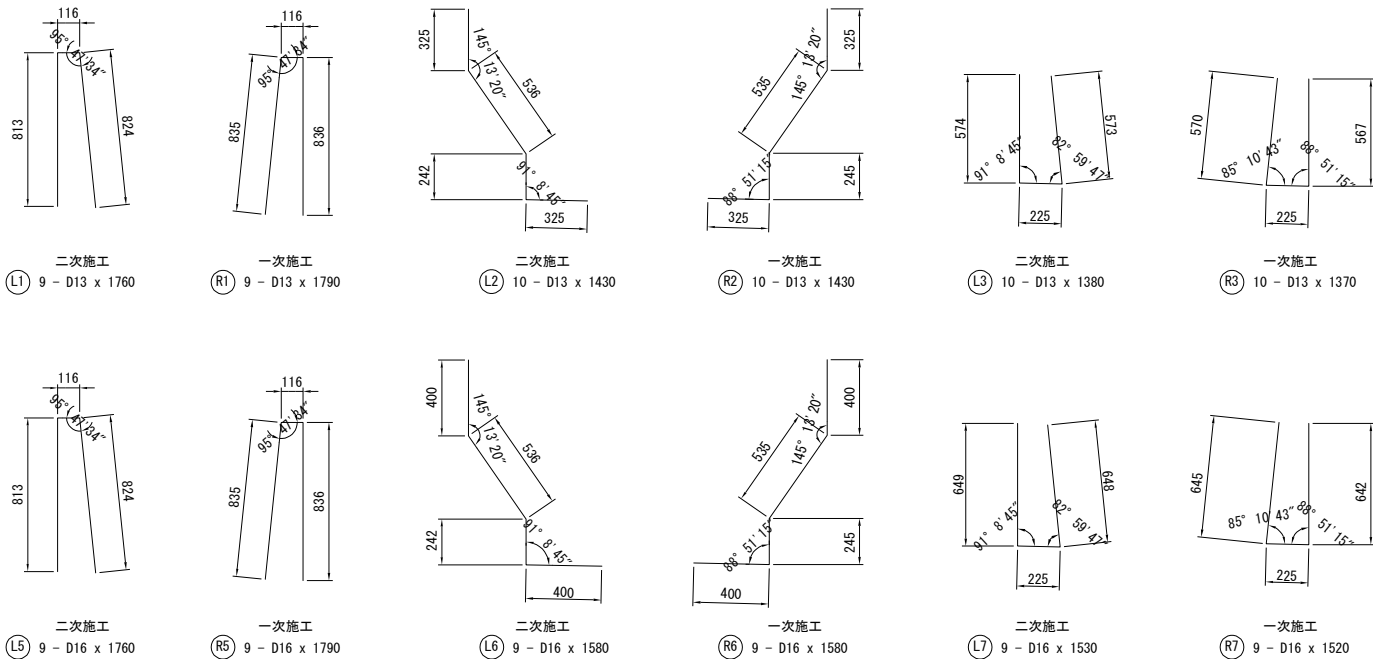
記号	径	長さ	本数	単位重量	一本当り重量	合計重量	摘要
L1	D13	1760	9	0.995	1.75	16	∥
L2	D13	1430	10	0.995	1.42	14	∖
L3	D13	1380	10	0.995	1.37	14	∪
L4	D13	2390	12	0.995	2.38	29	—
L5	D16	1760	9	1.56	2.75	25	∥
L6	D16	1580	9	1.56	2.46	22	∖
L7	D16	1530	9	1.56	2.39	22	∪
合 計					142	kg	
					D16 (SD345)	69	kg
					D13 (SD345)	73	kg

壁高欄一次施工鉄筋表

(一枚当り)

記号	径	長さ	本数	単位重量	一本当り重量	合計重量	摘要
R1	D13	1790	9	0.995	1.78	16	∥
R2	D13	1430	10	0.995	1.42	14	∖
R3	D13	1370	10	0.995	1.36	14	∪
R4	D13	2390	12	0.995	2.38	29	—
R5	D16	1790	9	1.56	2.79	25	∥
R6	D16	1580	9	1.56	2.46	22	∖
R7	D16	1520	9	1.56	2.37	21	∪
合 計					141	kg	
					D16 (SD345)	68	kg
					D13 (SD345)	73	kg

鉄筋加工図 S=1:40



鉄筋曲げ加工表

主 筋

$\theta \leq 90^\circ$   $R=3\phi$

$\theta > 90^\circ$   $R=5.5\phi$

$\Delta L = 2 \times L - a$

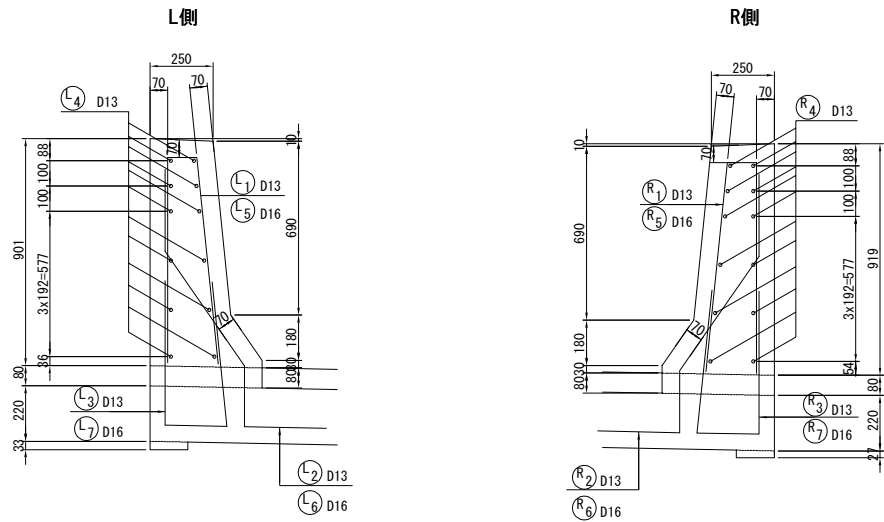
径	$\theta = 90^\circ$			$\theta = 100^\circ$			$\theta = 135^\circ$			$\theta = 170^\circ$		
	R	a	$\Delta L$	R	a	$\Delta L$	R	a	$\Delta L$	R	a	$\Delta L$
013	39	61	17	71.5	100	20	71.5	56	3	71.5	12	0
016	48	75	21	88	123	25	88	69	4	88	15	0

注記  
1. 鉄筋はエポキシ樹脂塗装とする。

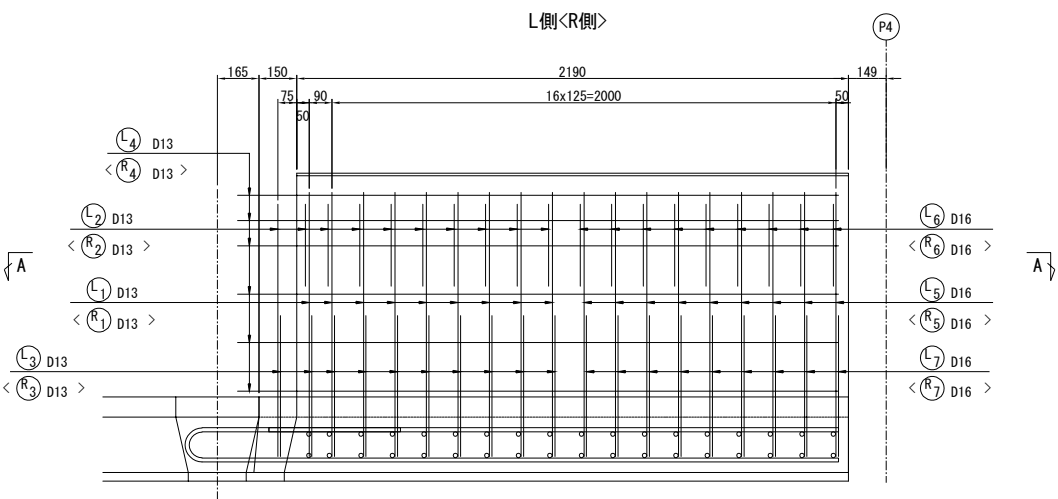
常磐自動車道			
宮田川橋床版取替工事			
図面の種類	宮田川橋(下り線) P2～P4間場所打ち部壁高欄詳細図(その1)		
縮 尺	図 示	図面番号	88 / 165
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水 戸 管 理 事 務 所		

P4側

壁高欄断面図 S=1:30



壁高欄側面図 S=1:30



壁高欄二次施工鉄筋表

(一枚当り)

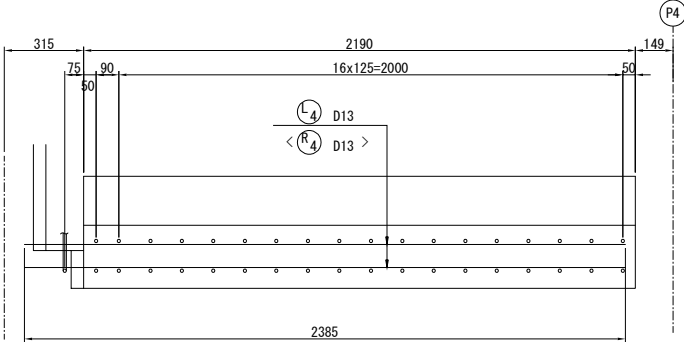
記号	径	長さ	本数	単位重量	一本当り重量	合計重量	摘要
L1	D13	1760	9	0.995	1.75	16	∥
L2	D13	1430	10	0.995	1.42	14	∖
L3	D13	1380	10	0.995	1.37	14	∪
L4	D13	2390	12	0.995	2.38	29	—
L5	D16	1760	9	1.56	2.75	25	∥
L6	D16	1580	9	1.56	2.46	22	∖
L7	D16	1530	9	1.56	2.39	22	∪
合 計					142	kg	
					D16 (SD345)	69	kg
					D13 (SD345)	73	kg

壁高欄一次施工鉄筋表

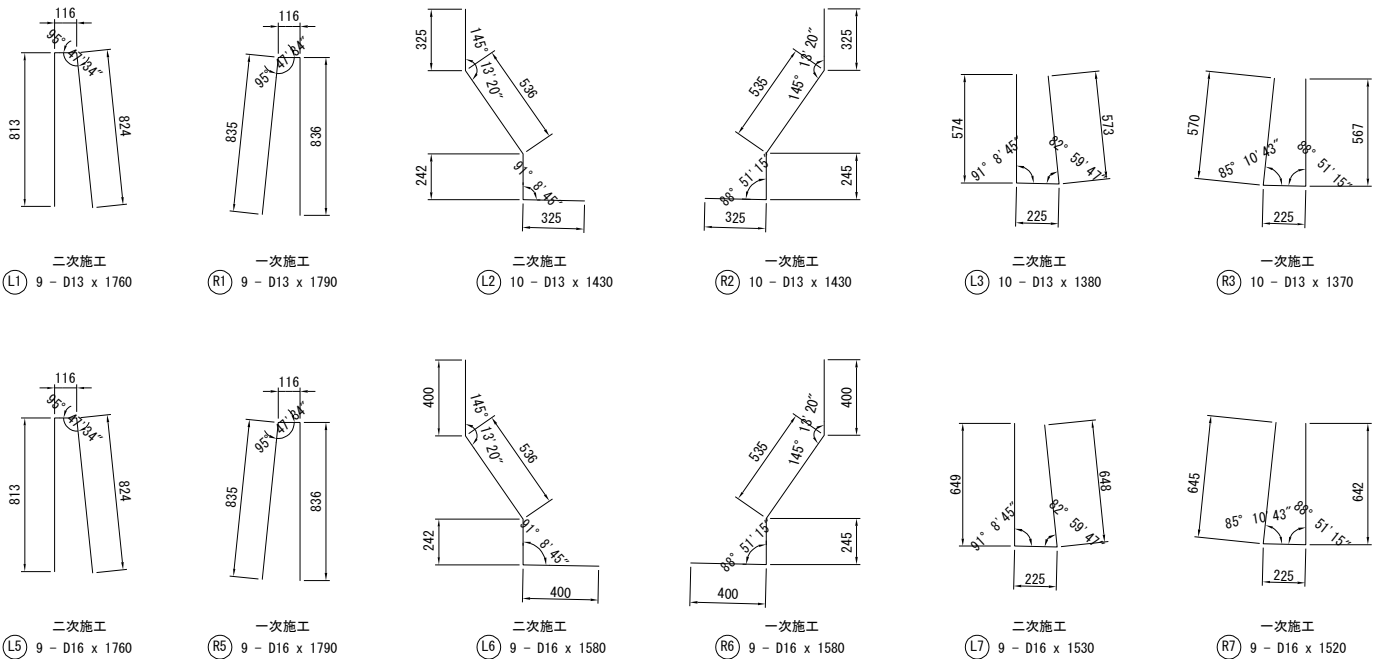
(一枚当り)

記号	径	長さ	本数	単位重量	一本当り重量	合計重量	摘要
R1	D13	1790	9	0.995	1.78	16	∥
R2	D13	1430	10	0.995	1.42	14	∖
R3	D13	1370	10	0.995	1.36	14	∪
R4	D13	2390	12	0.995	2.38	29	—
R5	D16	1790	9	1.56	2.79	25	∥
R6	D16	1580	9	1.56	2.46	22	∖
R7	D16	1520	9	1.56	2.37	21	∪
合 計					141	kg	
					D16 (SD345)	68	kg
					D13 (SD345)	73	kg

A - A



鉄筋加工図 S=1:40



鉄筋曲げ加工表

主 筋

$\theta \leq 90^\circ$   $R=3\phi$

$\theta > 90^\circ$   $R=5.5\phi$

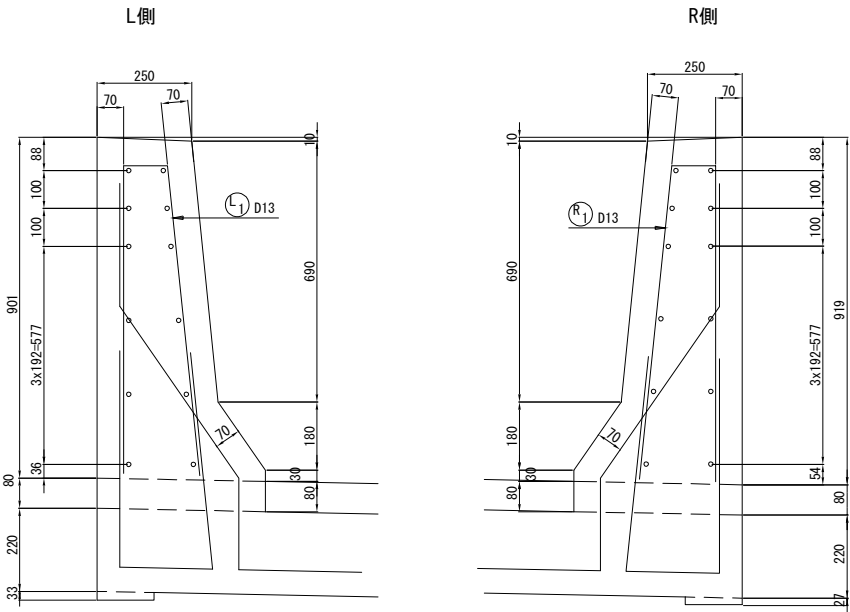
$\Delta L=2 \times L-a$

径		$\theta = 90^\circ$			$\theta = 100^\circ$			$\theta = 135^\circ$			$\theta = 170^\circ$		
		R	a	$\Delta L$	R	a	$\Delta L$	R	a	$\Delta L$	R	a	$\Delta L$
13		39	61	17	71.5	100	20	71.5	56	3	71.5	12	0
16		48	75	21	88	123	25	88	69	4	88	15	0

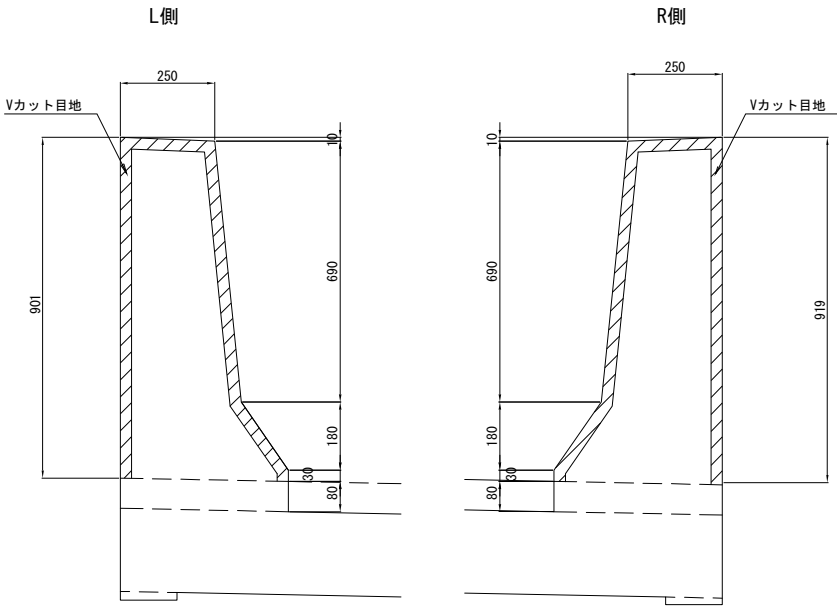
注記  
1. 鉄筋はエポキシ樹脂塗装とする。

常磐自動車道			
宮田川橋床版取替工事			
図面の種類	宮田川橋(下り線) P2～P4間場所打ち部壁高欄詳細図(その2)		
縮 尺	図 示	図面番号	89 / 165
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水 戸 管 理 事 務 所		

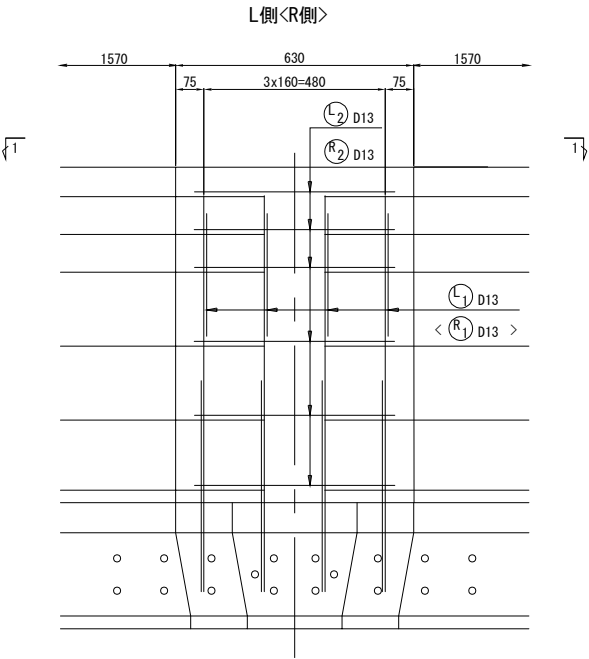
壁高欄間詰め部断面図 S=1:20



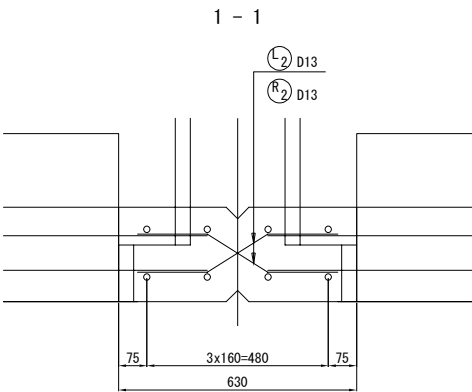
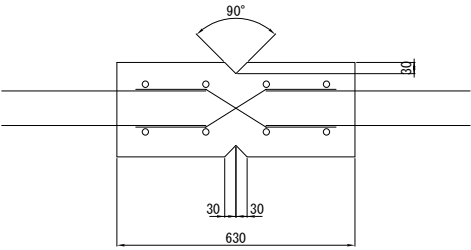
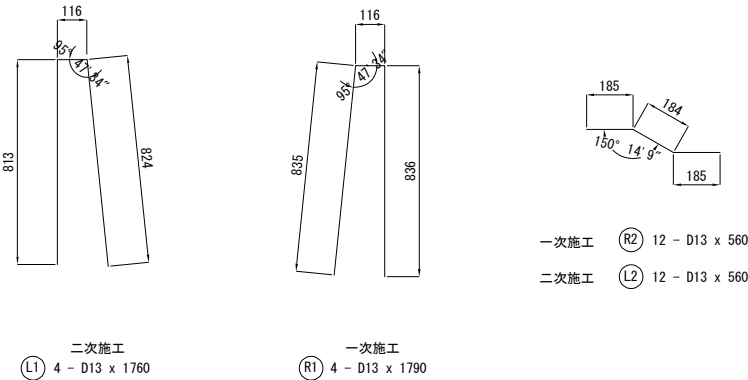
壁高欄間詰め部断面図 S=1:20



壁高欄間詰め部側面図 S=1:20



鉄筋加工図 S=1:30



壁高欄二次施工鉄筋表

(一枚当り)

記号	径	長さ	本数	単位重量	一本当り重量	合計重量	摘要
R1	D13	1760	4	0.995	1.75	7	⌚
R2	D13	560	12	0.995	0.557	7	～
合 計						14 kg	
1箇所当り 箇所数							
D13		14 kg ×	85	=		1190 kg	
合 計		14 kg ×	85	=		1190 kg	

壁高欄一次施工鉄筋表

(一枚当り)

記号	径	長さ	本数	単位重量	一本当り重量	合計重量	摘要
L1	D13	1790	4	0.995	1.78	7	⌚
L2	D13	560	12	0.995	0.557	7	～
合 計						14 kg	
1箇所当り 箇所数							
D13		14 kg ×	85	=		1190 kg	
合 計		14 kg ×	85	=		1190 kg	

鉄筋曲げ加工表

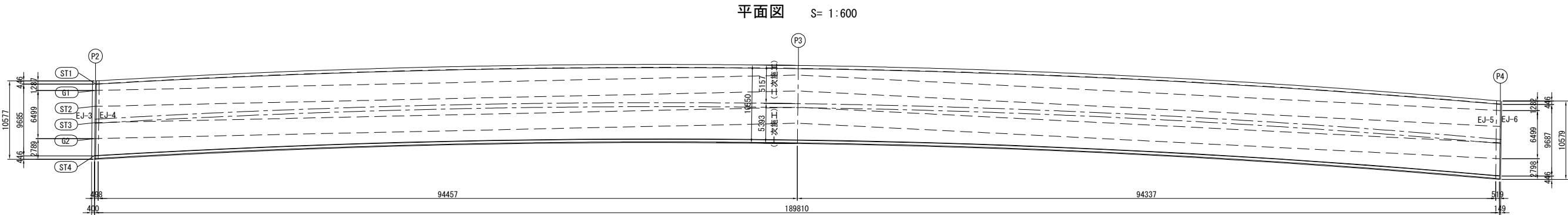
主 筋  
 $\theta \leq 90^\circ$   $R=3\phi$   
 $\theta > 90^\circ$   $R=5.5\phi$   
 $\Delta L=2 \times L-a$

径	$\theta = 90^\circ$			$\theta = 100^\circ$			$\theta = 135^\circ$			$\theta = 170^\circ$		
	R	a	$\Delta L$	R	a	$\Delta L$	R	a	$\Delta L$	R	a	$\Delta L$
D13	39	61	17	71.5	100	20	71.5	56	3	71.5	12	0

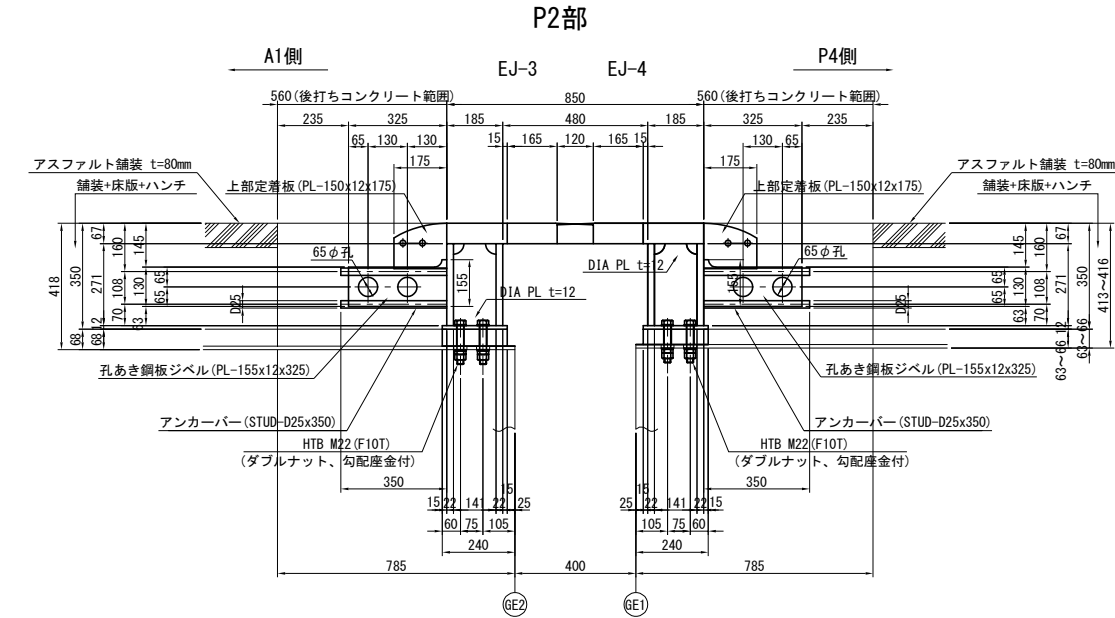
注記  
1. 鉄筋はエポキシ樹脂塗装とする。

常磐自動車道 宮田川橋床版取替工事			
図面の種類	宮田川橋(下り線) P2～P4間壁高欄間詰詳細図		
縮 尺	図 示	図面番号	90 / 165
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水 戸 管 理 事 務 所		

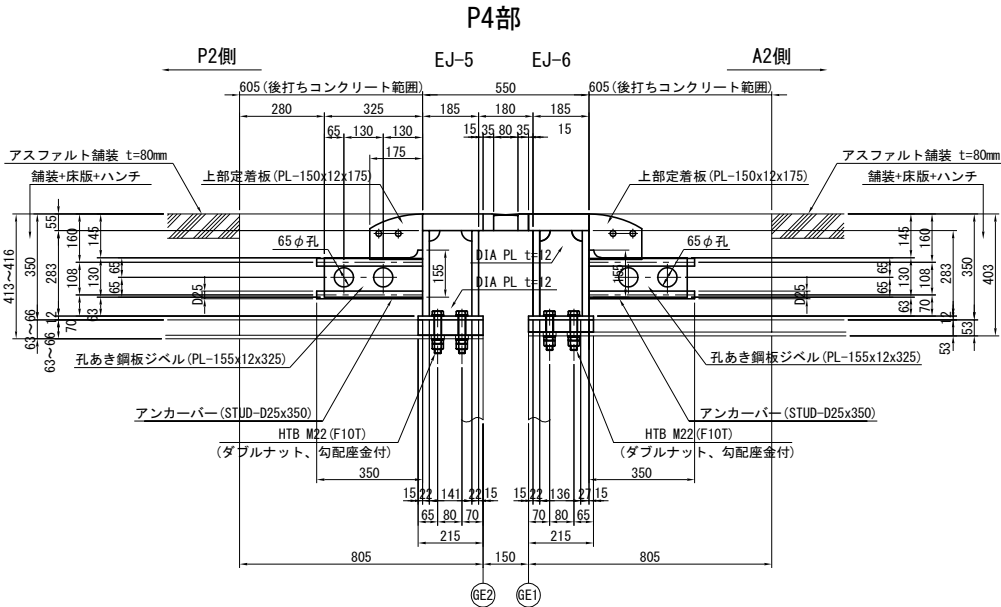




新設伸縮装置主桁間部断面図 S=1:25



新設伸縮装置主桁間部断面図 S=1:25



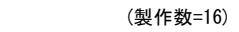
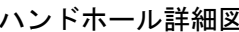
伸縮装置 (P2, P4) 数量表

項目	種別	単位	数量	備考
新設	A	kg	14,236	EJ-3, 4, 5, 6

注記  
1. 特記なき材質はSM400Aを示す。  
2. 表記の既設構造寸法は完成図をもとに復元しているため、現地計測を実施後に部材制作を行うこと。

常磐自動車道			
宮田川橋床版取替工事			
図面の種類	宮田川橋(下り線) P2～P4間伸縮装置詳細図(参考図)(その1)		
縮 尺	図 示	図面番号	91 / 165
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水 戸 管 理 事 務 所		

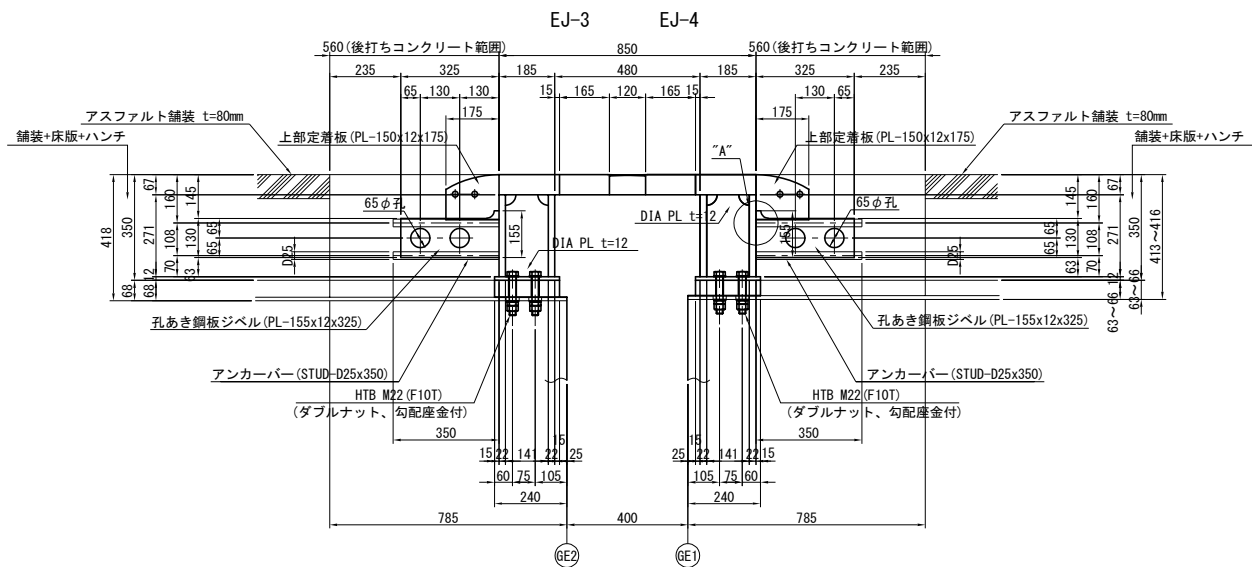
S=1 : 25



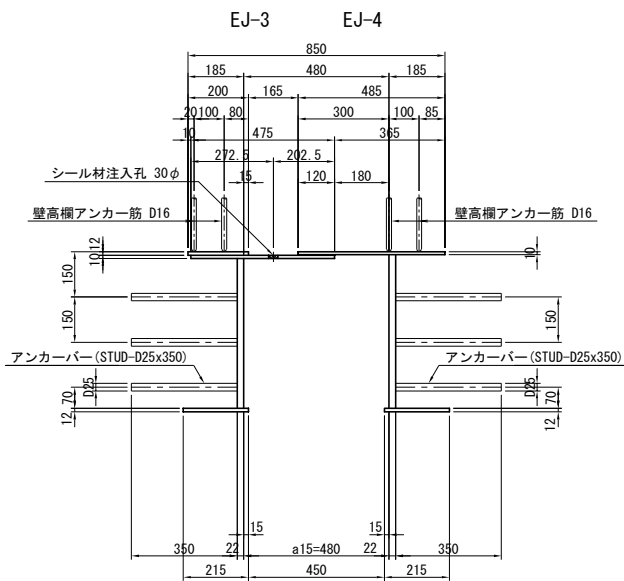
常磐自動車道			
宮田川橋床版取替工事			
図面の種類	宮田川橋（下り線） P2～P4間伸縮装置詳細図（参考図）（その		
縮 尺	図 示	図面番号	92 / 10
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

P2部

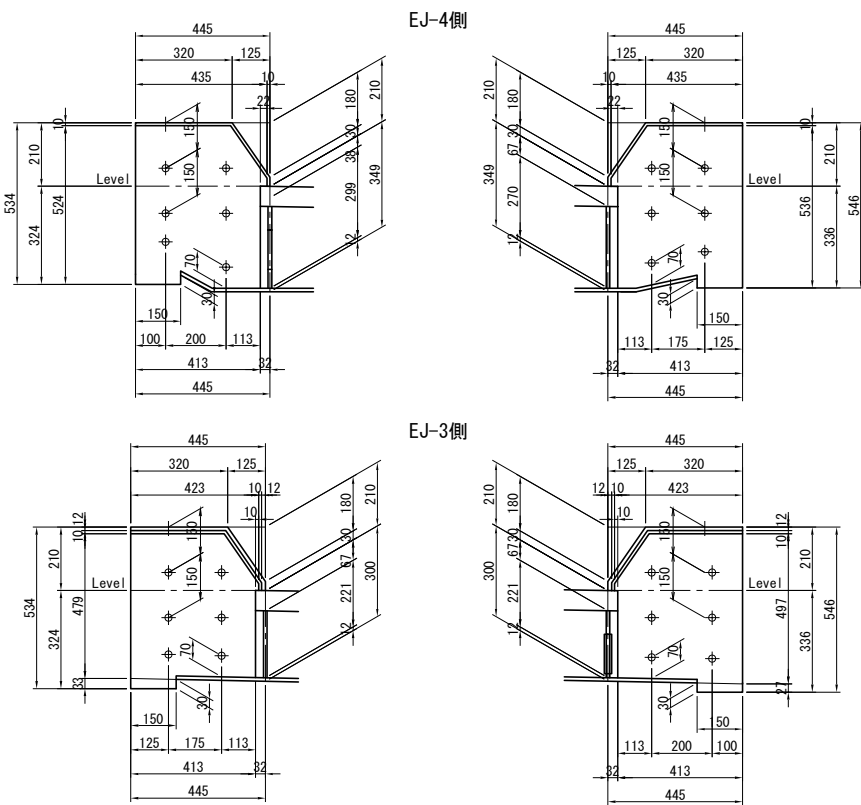
主桁間部断面図



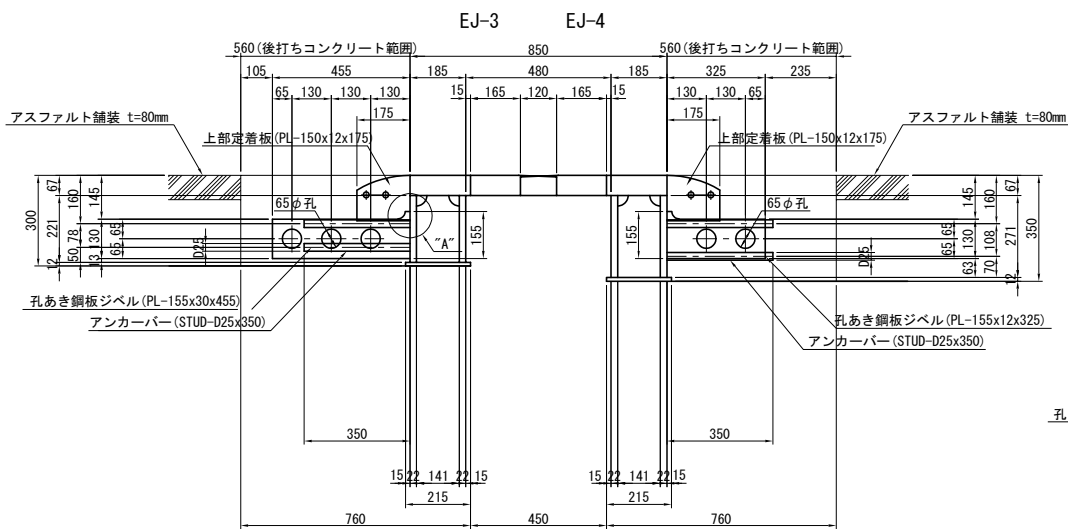
地覆部断面図



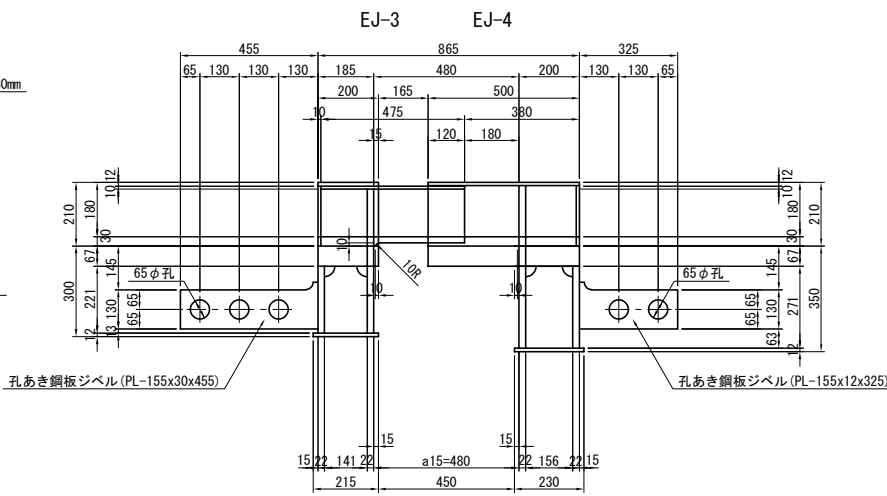
地覆部詳細図



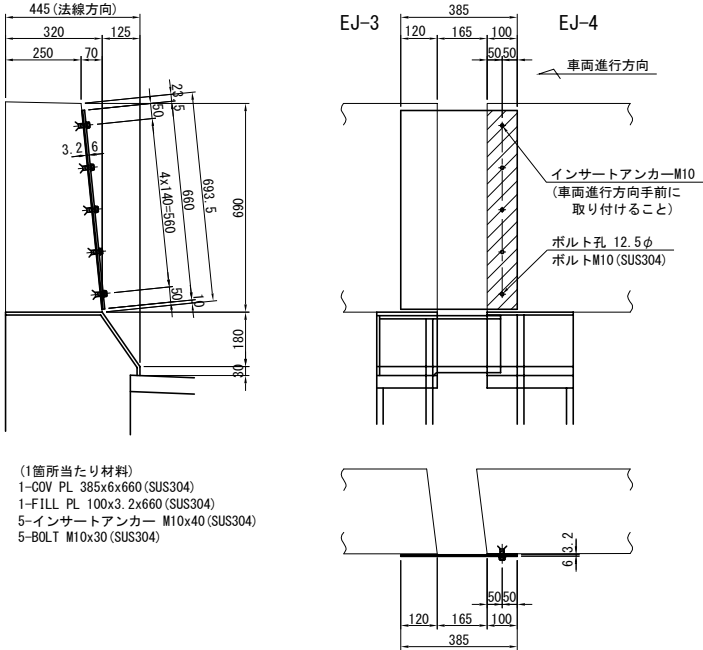
張出し部断面図



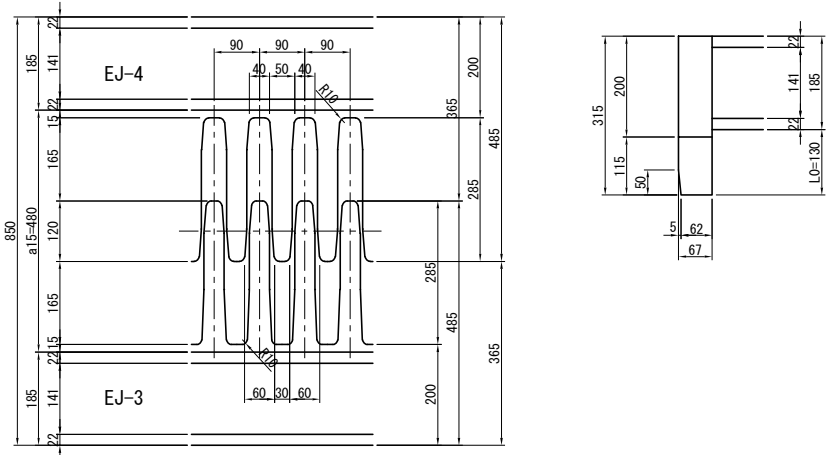
地覆立上り部断面図



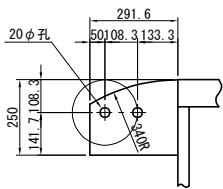
壁高欄塞ぎ板詳細図  
(製作数=2)



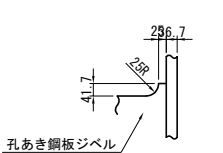
フィンガー詳細図 S=1:15



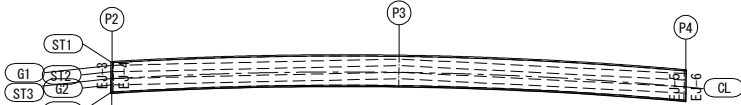
上部定着板詳細図 S=1:15



“A”部詳細図 S=1:15



配置図

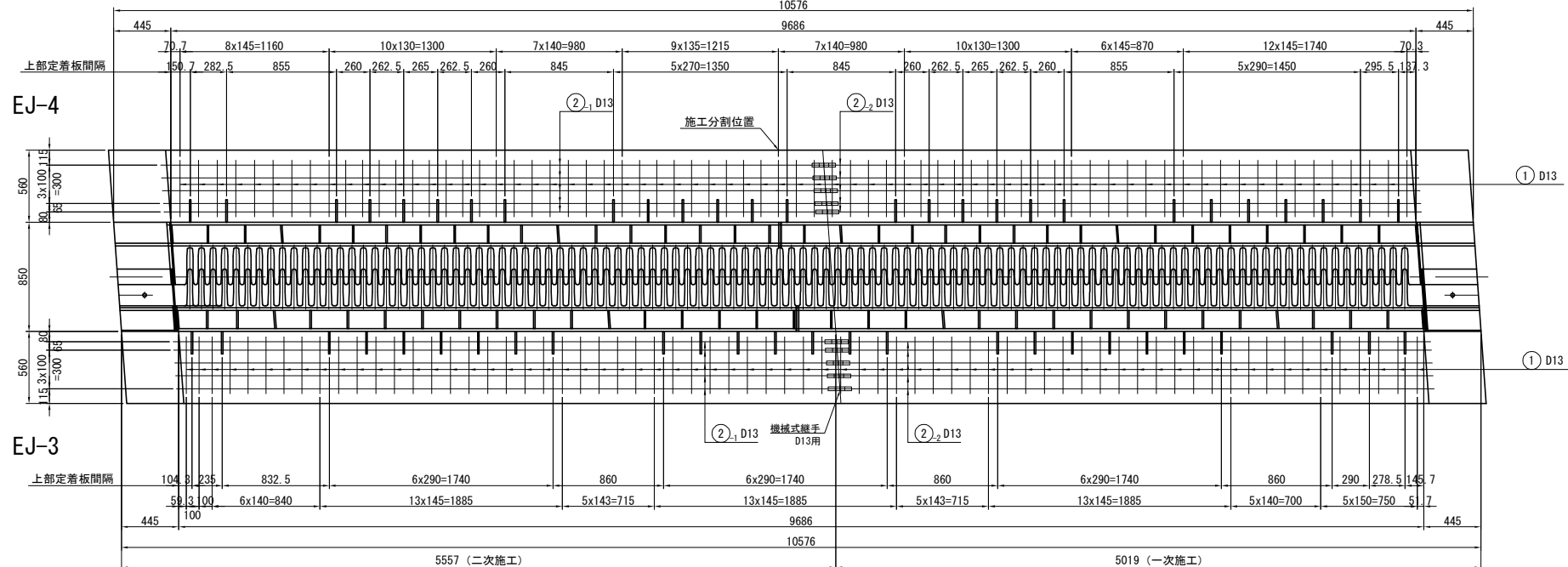


注記  
1. 特記なき材質はSM400Aを示す。  
2. 特記なきスカラーラップは、全て35Rとする。  
3. 既設構造物寸法は現地計測の上決定する事。

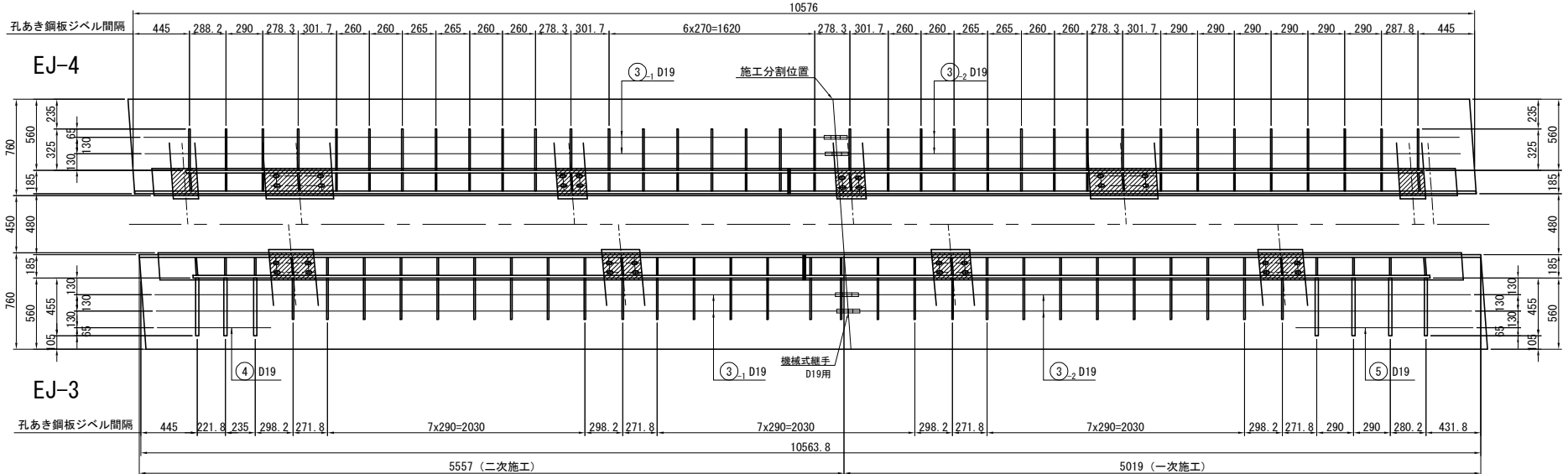
常磐自動車道 宮田川橋床版取替工事	
図面の種類	宮田川橋(下り線) P2~P4間伸縮装置詳細図(参考図)(その3)
縮尺	図示 図面番号 93 / 165
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社
事務所名	水戸管理事務所

P2部

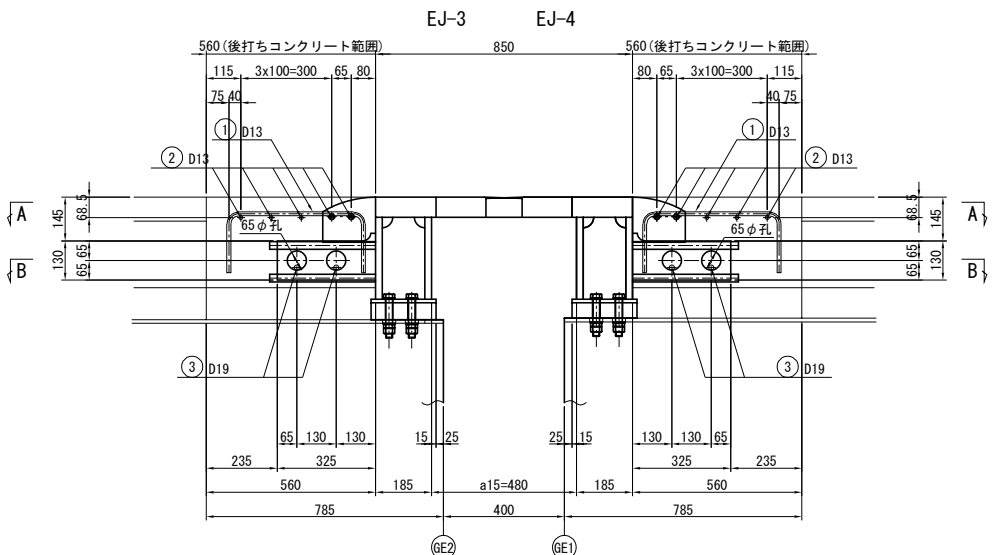
A - A



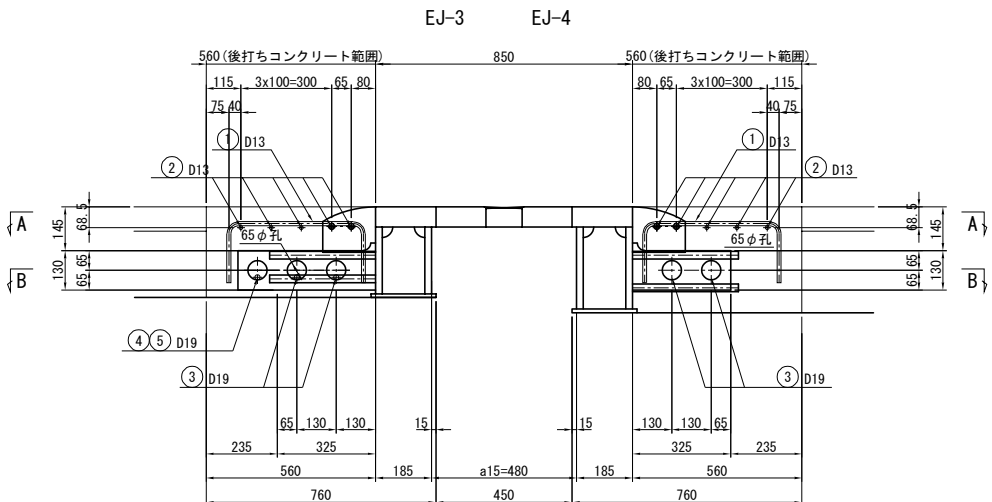
B - B



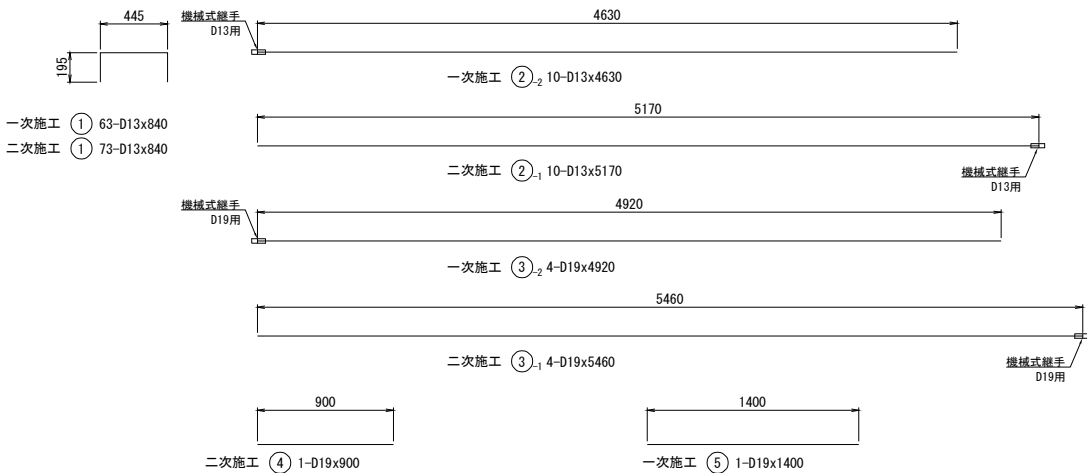
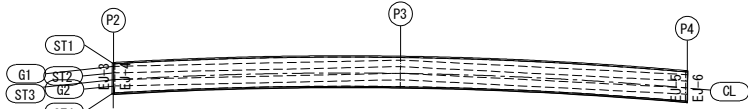
主桁間部断面図



張出し部断面図



配置図



一次施工鉄筋表

種別	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	摘要
1	D13	840	63	0.995	0.84	53	□
2-2	D13	4630	10	0.995	4.61	47	—
3-2	D19	4920	4	2.250	11.07	45	—
5	D19	1400	1	2.250	3.15	3	—
合計							148 Kg
鉄筋質量 D13 (SD345) : 100 Kg							
D19 (SD345) : 48 Kg							
機械式継手 D13用 : 10 組							
D19用 : 4 組							

二次施工鉄筋表

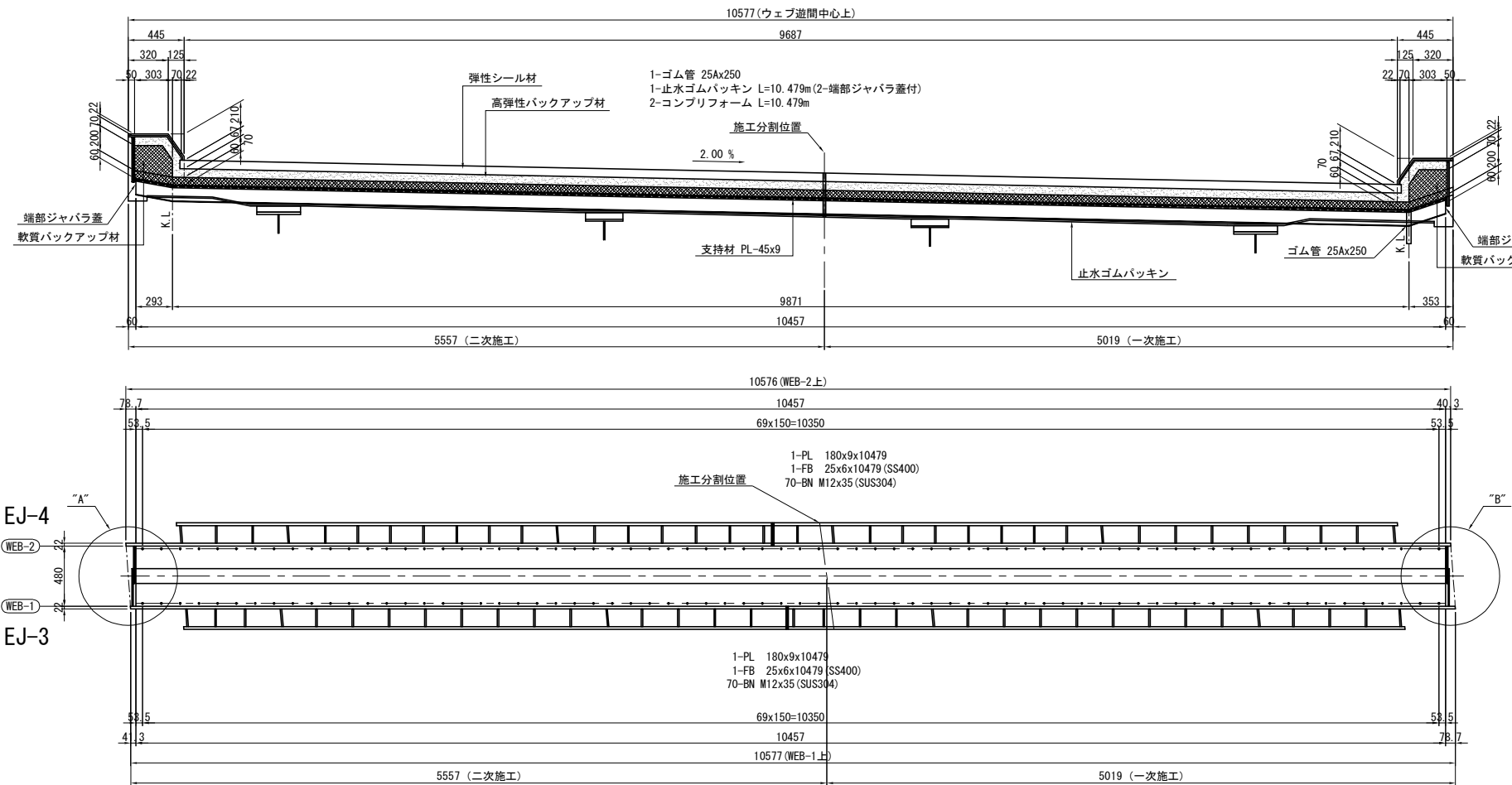
種別	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	摘要
1	D13	840	73	0.995	0.84	62	□
2-1	D13	5170	10	0.995	5.14	52	—
3-1	D19	5460	4	2.250	12.29	50	—
4	D19	900	1	2.250	2.03	2	—
合計							166 Kg
鉄筋質量 D13 (SD345) : 114 Kg							
D19 (SD345) : 52 Kg							
機械式継手 D13用 : 10 組							
D19用 : 4 組							

注記  
1. 特記なき材質はSM400Aを示す。  
2. 既設構造寸法は現地計測の上決定する事。  
3. 鉄筋はエポキシ樹脂塗装とする。  
但し、機械式継手挿入部は無塗装とする。

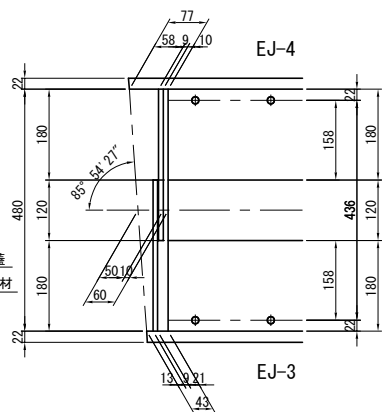
常磐自動車道	
宮田川橋床版取替工事	
図面の種類	宮田川橋(下り線) P2～P4間伸縮装置詳細図(参考図)(その4)
縮尺	図示 図面番号 94 / 165
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所

P2部

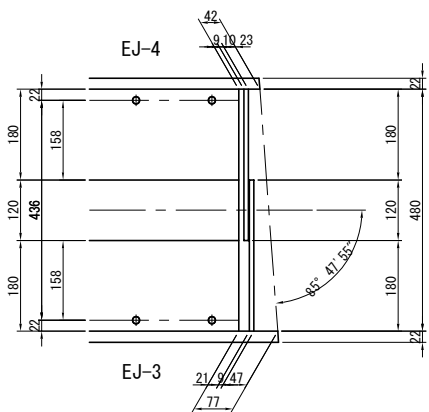
非排水装置詳細図



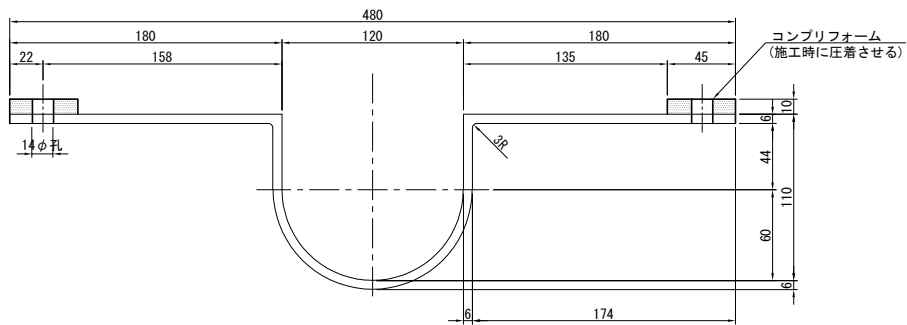
“A”部詳細図 S=1:15



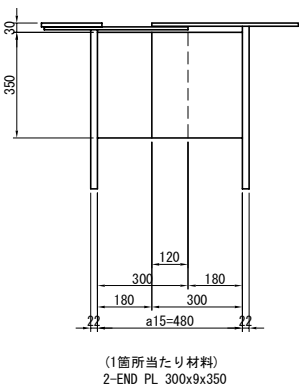
“B”部詳細図 S=1:15



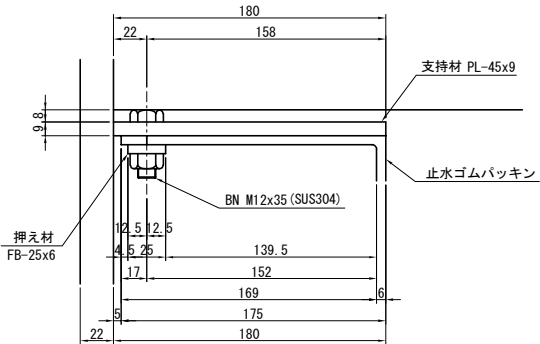
止水ゴムパッキン詳細図 S=1:5



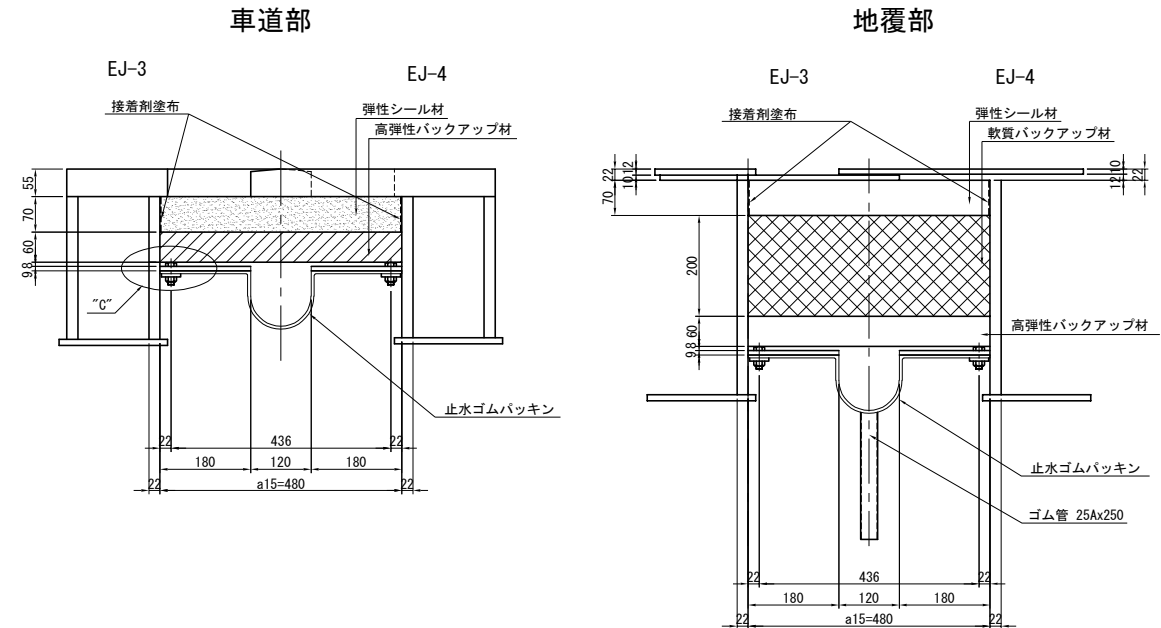
エンドプレート詳細図 S=1:25



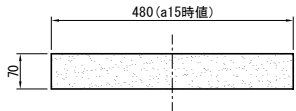
“C”部詳細図 S=1:5



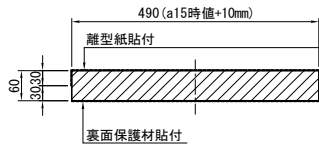
非排水装置断面図 S=1:15



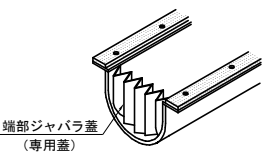
弾性シール材詳細図 S=1:15



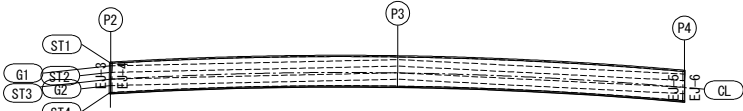
高弾性バックアップ材詳細図 S=1:15



止水ゴムパッキン端部構造



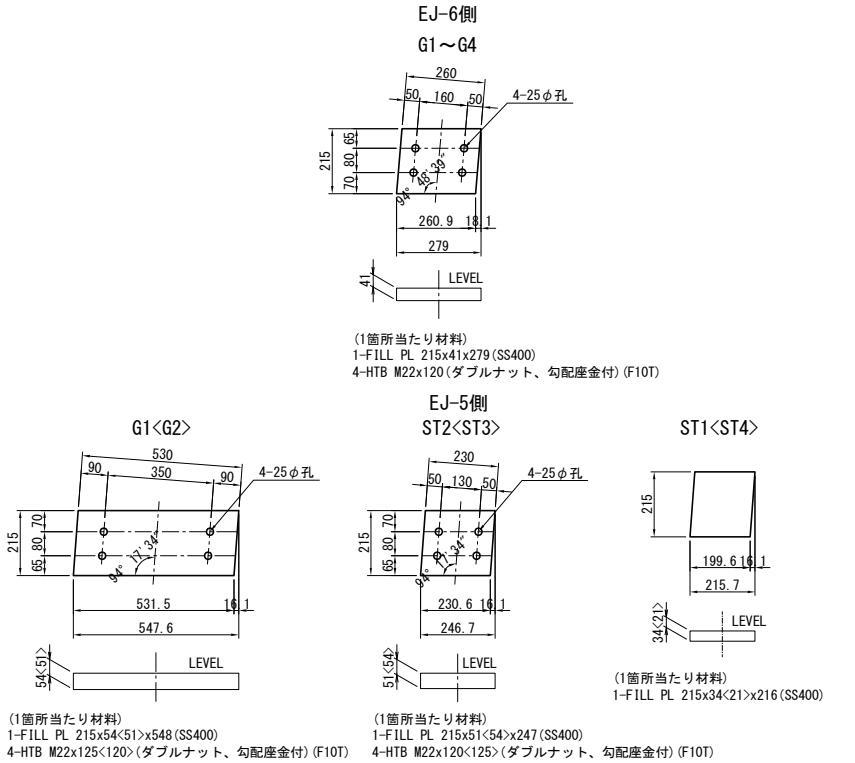
配置図



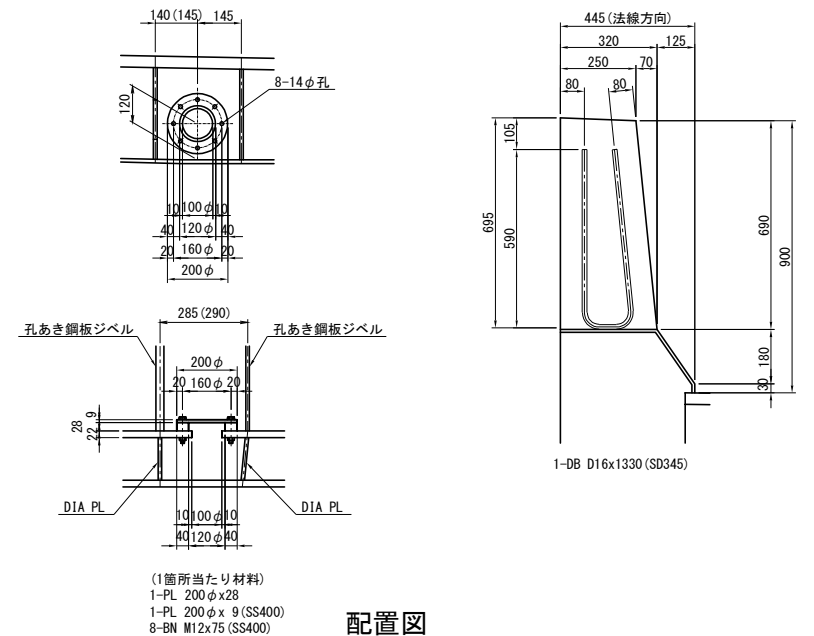
注記  
1. 特記なき材質はSM400Aを示す。  
2. 既設構造寸法は現地計測の上決定する事。

常磐自動車道 宮田川橋床版取替工事			
図面の種類	宮田川橋(下り線) P2~P4間伸縮装置詳細図(参考図)(その5)	図面番号	95 / 165
縮尺	図示	図面番号	95 / 165
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング	施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

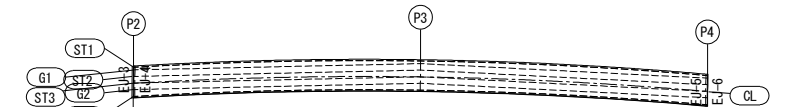
フィラープレート詳細図 S=1:25



(製作数=16)



## 配置図

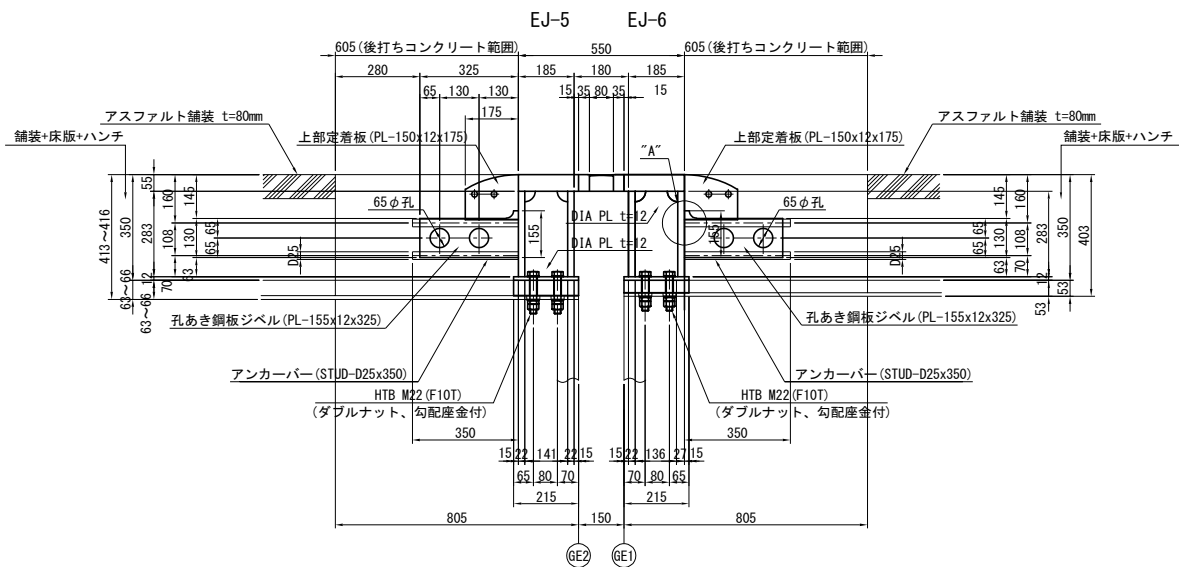


注記  
1. 特記なき材質はSM400Aを示す。  
2. 既設構造寸法は現地計測の上決定する事。

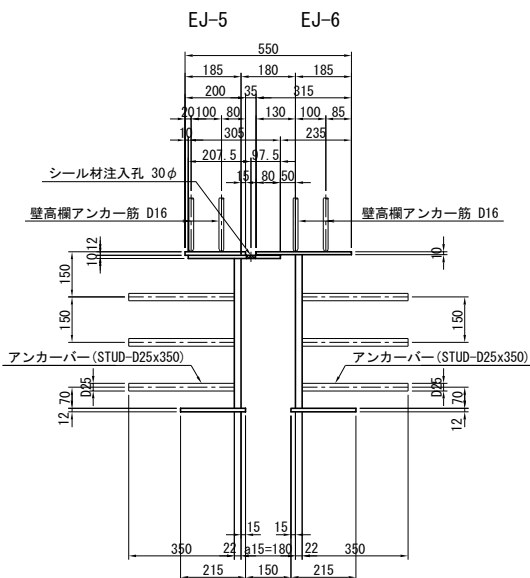
常盤自動車道			
宮田川橋床版取替工事			
図面の種類	宮田川橋（下り線） P2～P4間縮小竣工詳細図（参考図）（その6）		
縮 尺	図 示	図面番号	96 / 165
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

P4部

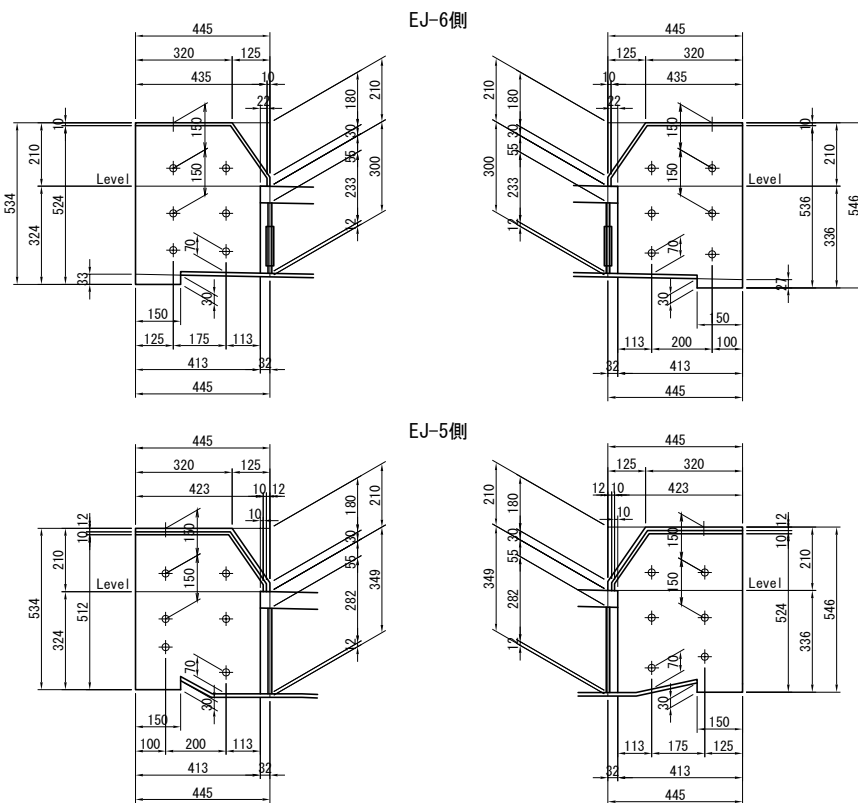
主桁間部断面図



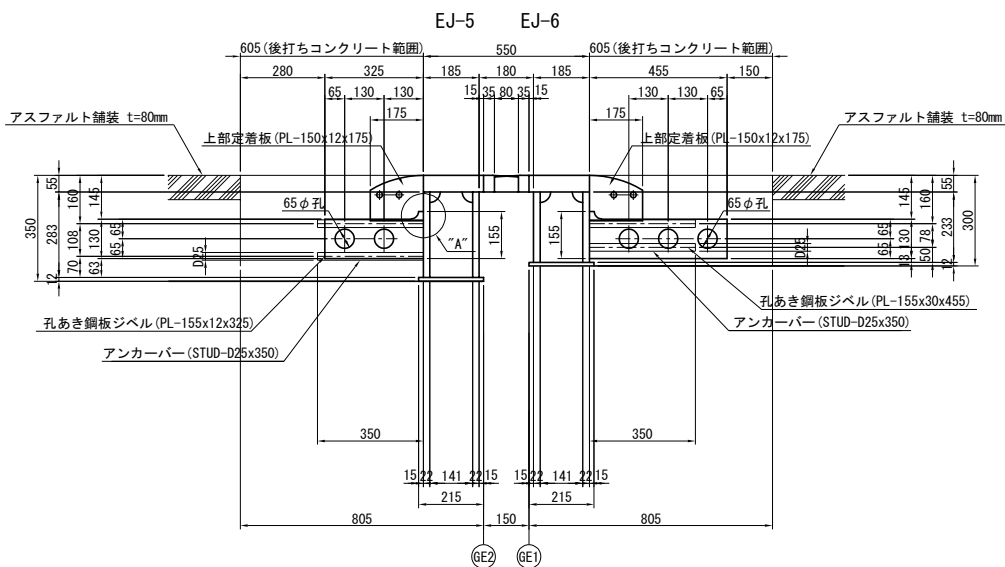
地覆部断面図



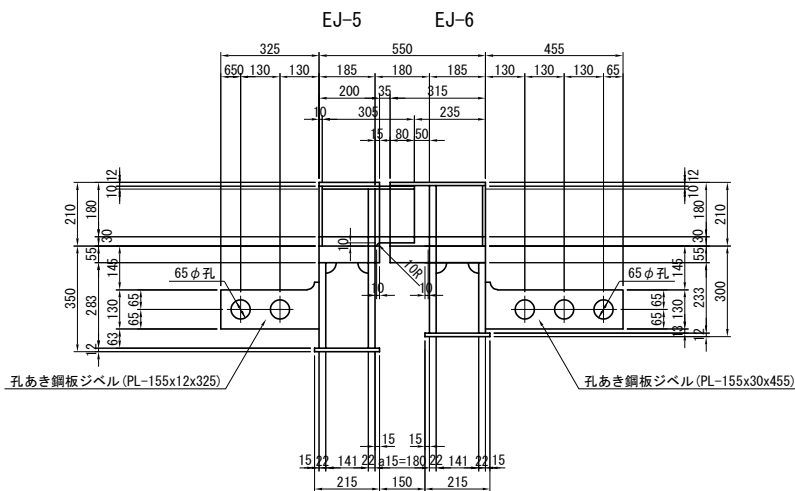
地覆部詳細図



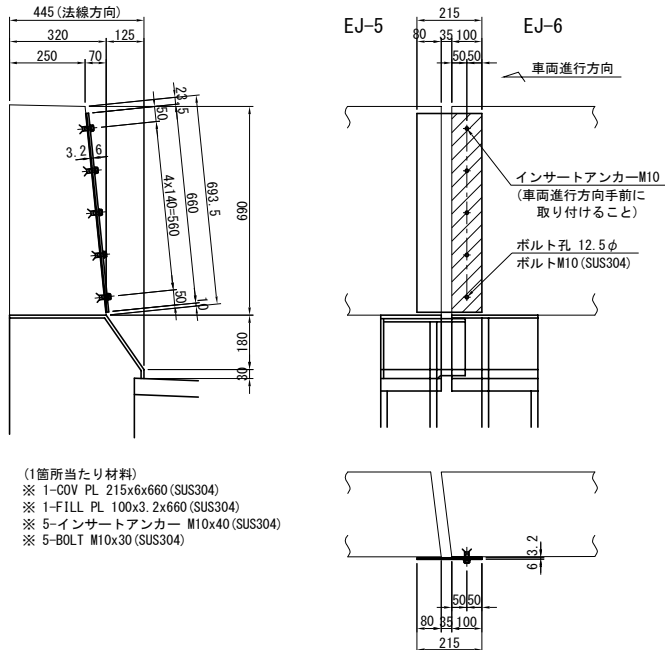
張出し部断面図



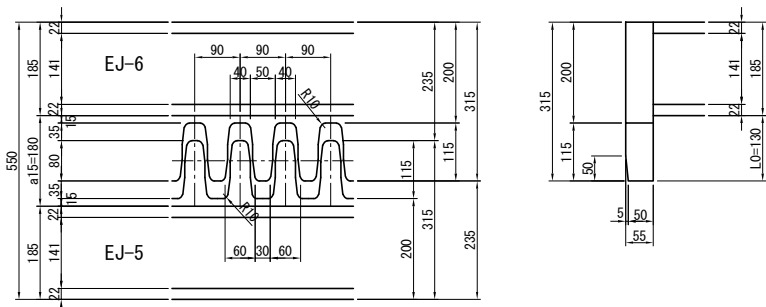
地覆立上り部断面図



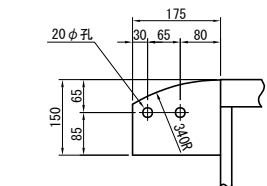
壁高欄塞ぎ板詳細図  
(製作数=2)



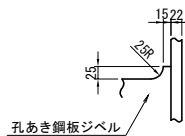
フィンガー詳細図 S=1:15



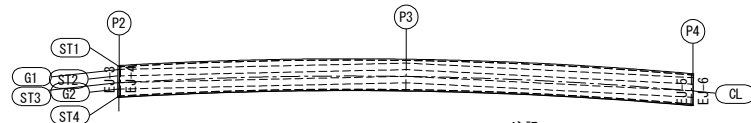
上部定着板詳細図 S=1:15



“A”部詳細図 S=1:15

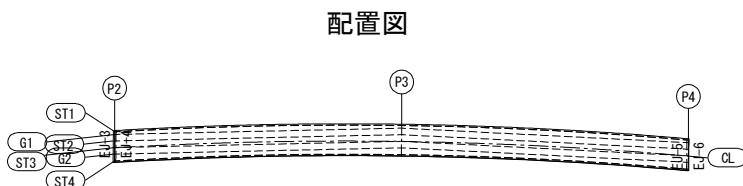
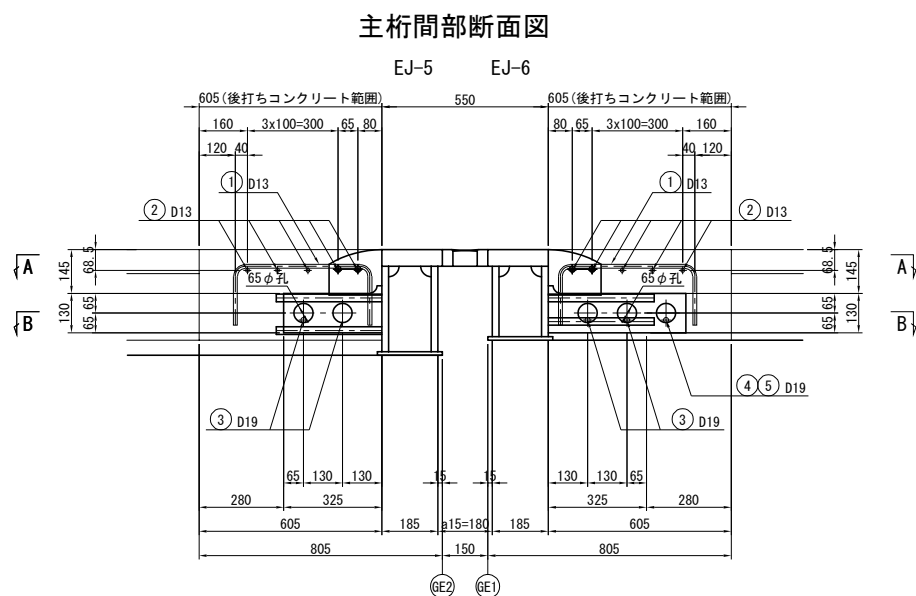
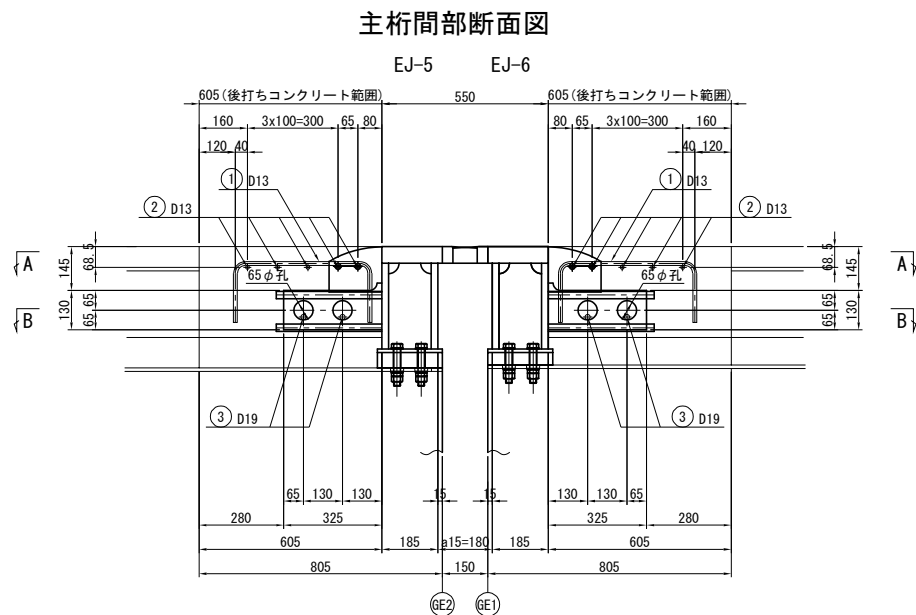
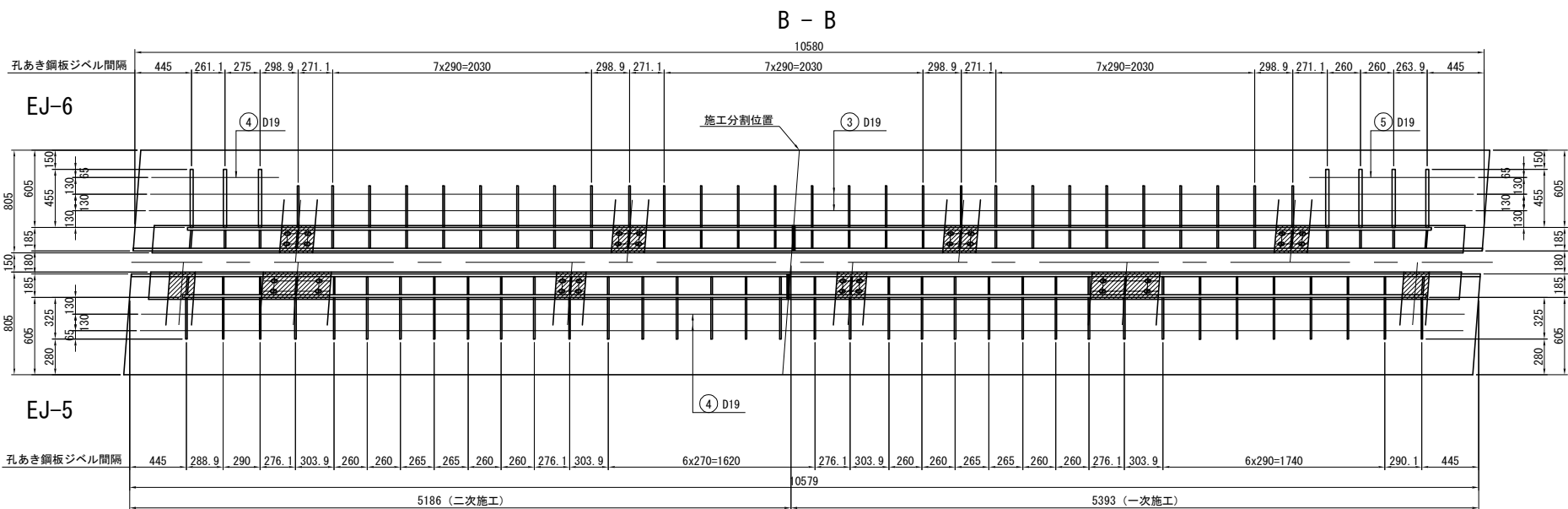
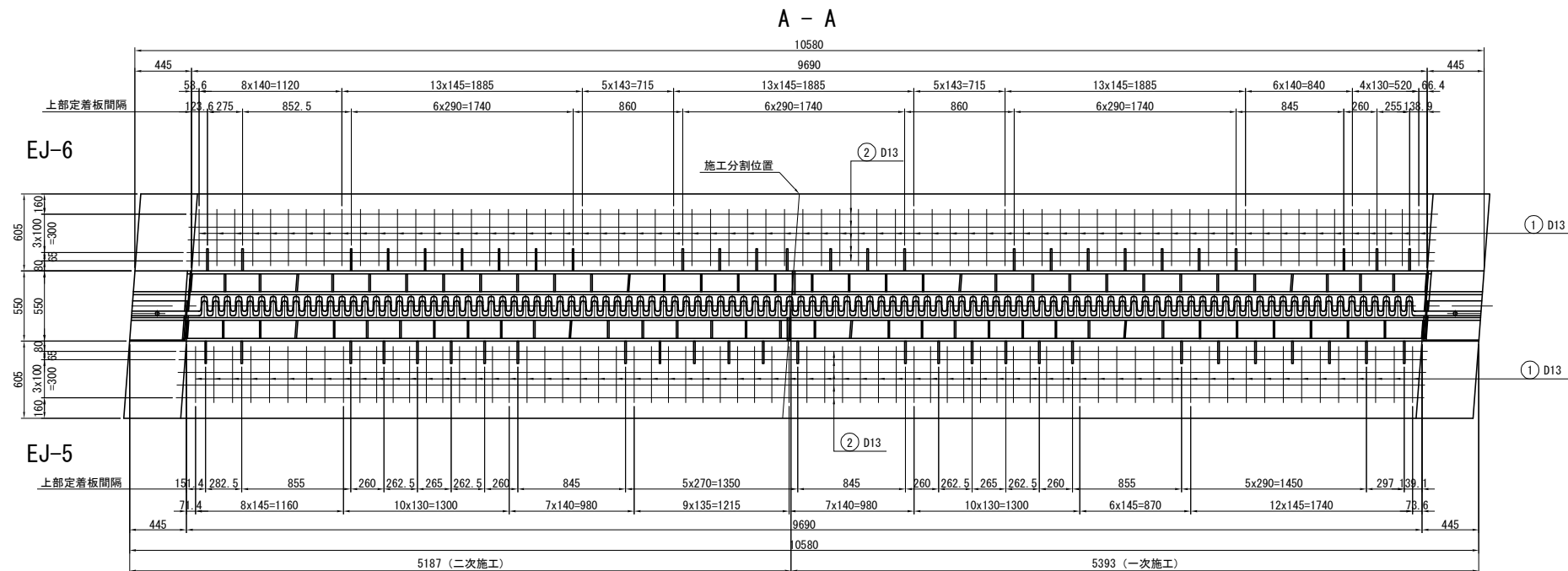


配置図



注記  
1. 特記なき材質はSM400Aを示す。  
2. 特記なきスカーラップは、全て35Rとする。  
3. ※印は溶融亜鉛メッキとする。  
亜鉛の膜厚はJIS H8641 HDZT77とする。  
但し、ボルト・ナットおよび板厚3.2mm未満の  
部材はHDZT40とする。  
4. 既設構造寸法は現地計測の上決定する事。

常磐自動車道 宮田川橋床版取替工事			
図面の種類	宮田川橋(下り線) P2~P4間伸縮装置詳細図(参考図)(その7)		
縮尺	図示	図面番号	97 / 165
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	水戸管理事務所		



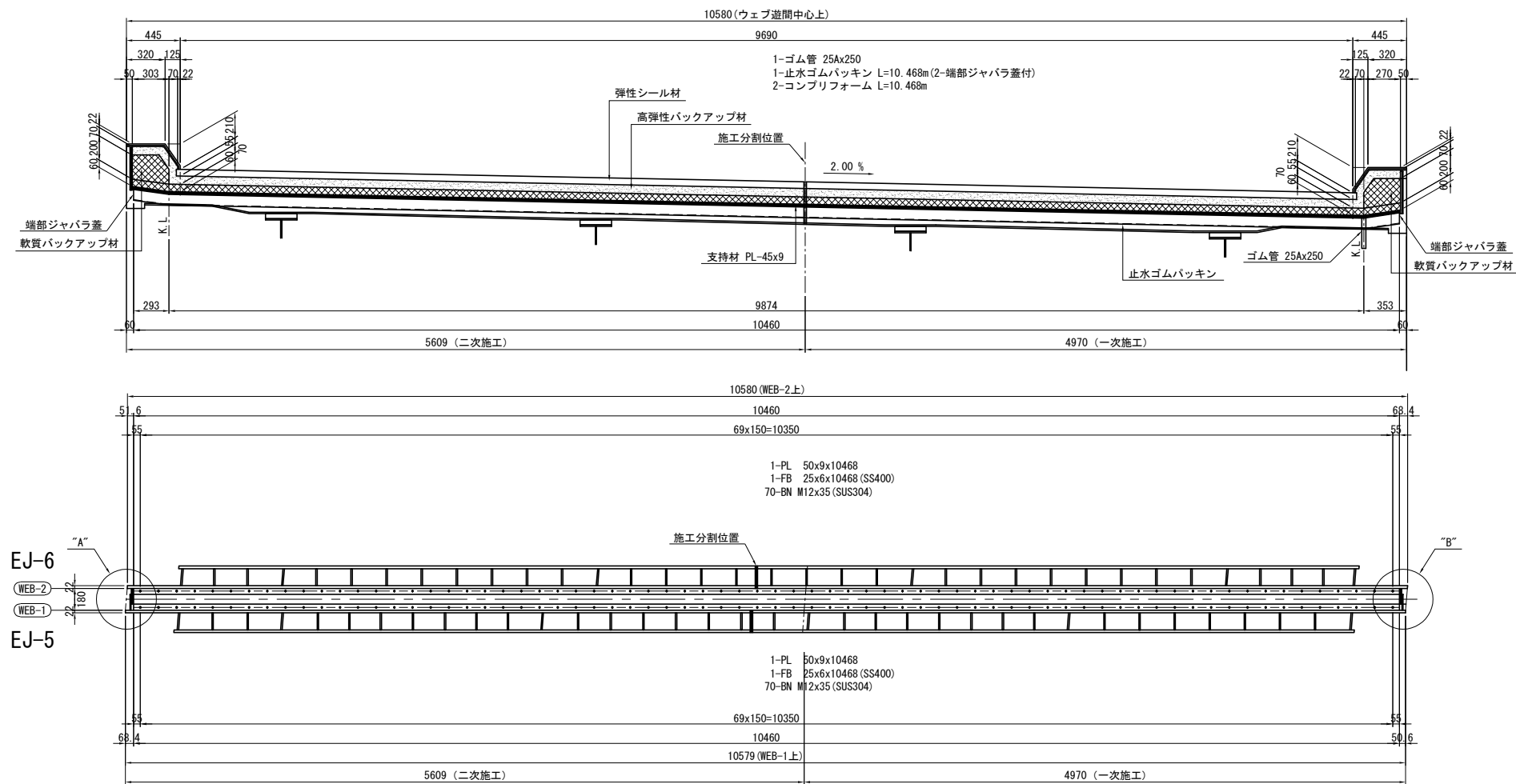
注記  
1. 特記なき材質はSM400Aを示す。  
2. 既設構造寸法は現地計測の上決定する事。  
3. 鉄筋はエポキシ樹脂塗装とする。  
但し、機械式継手挿入部は無塗装とする。

常磐自動車道 宮田川橋床版取替工事			
図面の種類	宮田川橋（下り線） P2～P4間伸縮装置詳細図（参考図）（その8）		
縮 尺	図 示	図面番号	98 / 165
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水 戸 管 理 事 務 所		

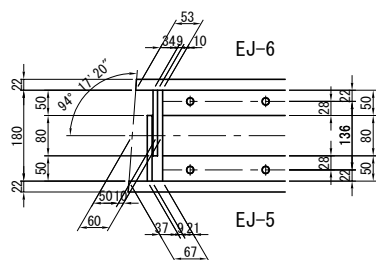


P4部

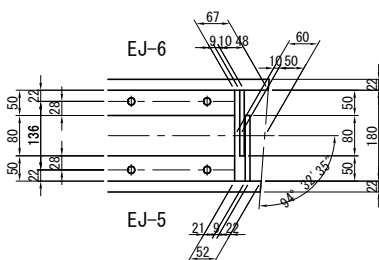
非排水装置詳細図



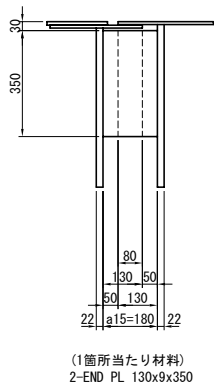
“A”部詳細図 S=1:15



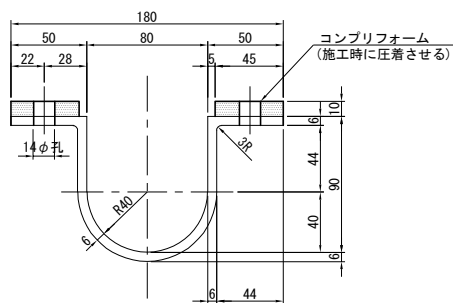
“B”部詳細図 S=1:15



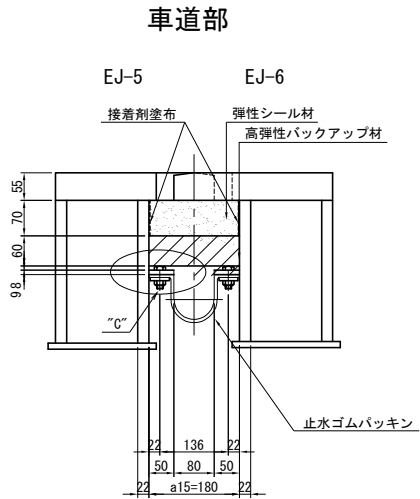
エンドプレート詳細図 S=1:25



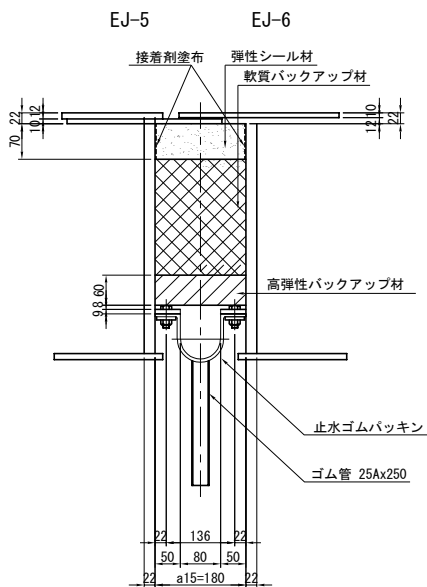
止水ゴムパッキン詳細図 S=1:5



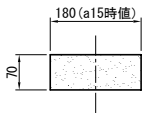
非排水装置断面図 S=1:15



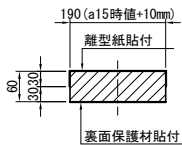
地覆部



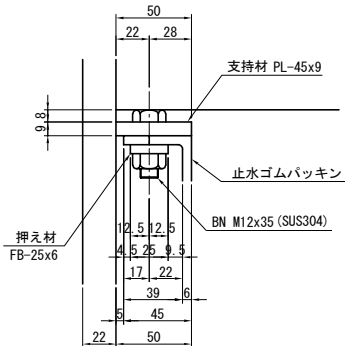
弾性シール材詳細図 S=1:15



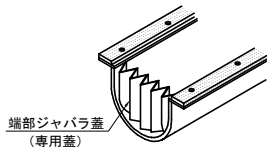
高弾性バックアップ材詳細図 S=1:15



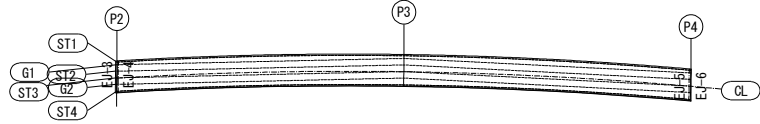
“C”部詳細図 S=1:5



止水ゴムパッキン端部構造



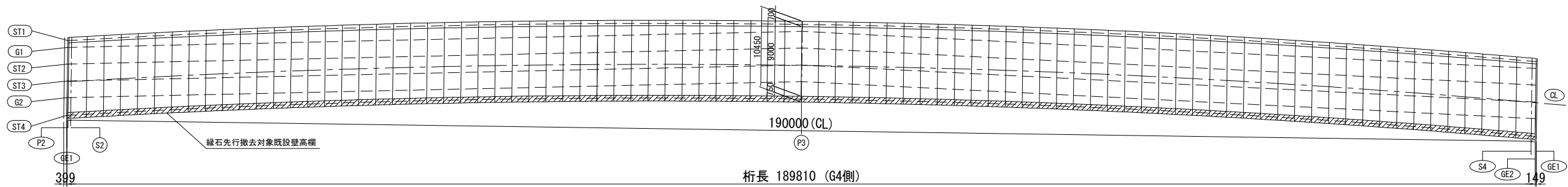
配置図



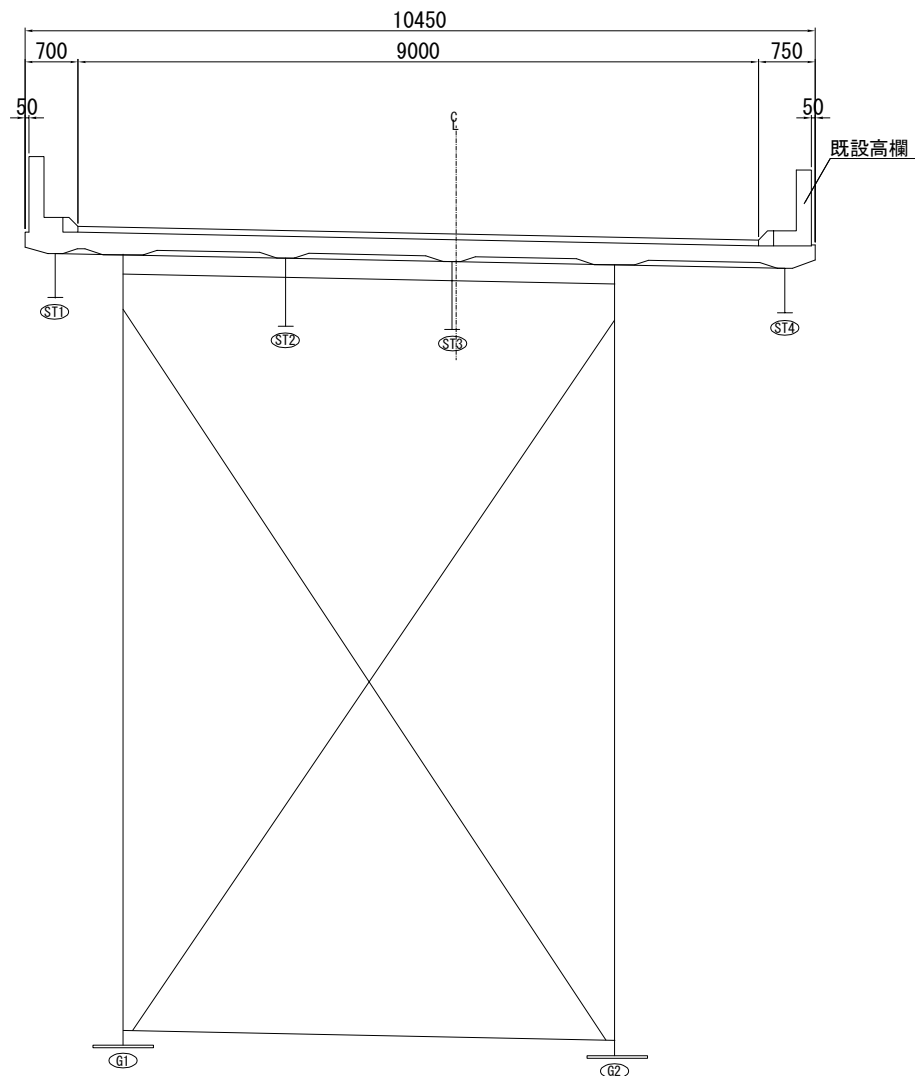
注記  
1. 特記なき材質はSM400Aを示す。  
2. 既設構造寸法は現地計測の上決定する事。

常磐自動車道	
宮田川橋床版取替工事	
図面の種類	宮田川橋(下り線) P2~P4間伸縮装置詳細図(参考図)(その9)
縮尺	図示 図面番号 99 / 165
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所

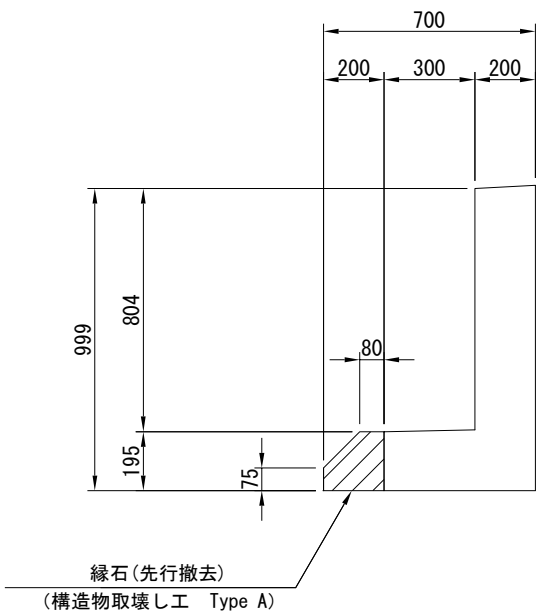
平面図 S=1:600  
(取替前)



横断面図 S=1:100



既設壁高欄詳細図 S=1:25

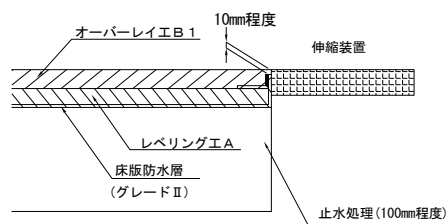
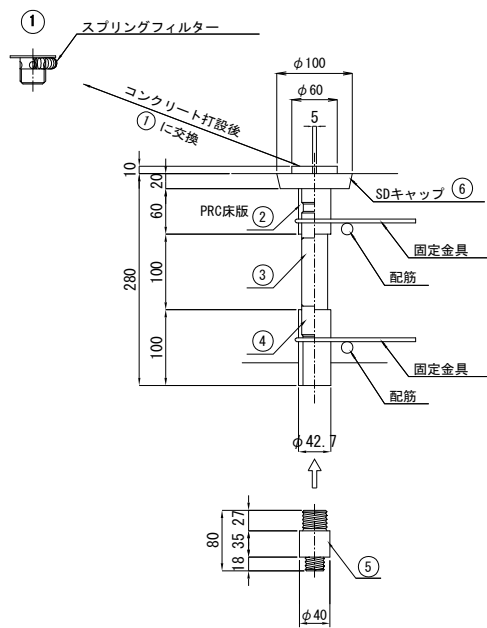


構造物取壊し工数量

	体積 (m3)	備考
コンクリート構造物取壊し (Type A)	6.1	鉋桁施工時に先行撤去

常磐自動車道 宮田川橋床版取替工事			
図面の種類	宮田川橋(下り線) P2～P4間 縁石撤去図		
縮 尺	図 示	図面番号	100 / 165
設計会社名	-		
施工会社名	-		
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水 戸 管 理 事 務 所		

①SD1 (製作数: 1)

[illegible]

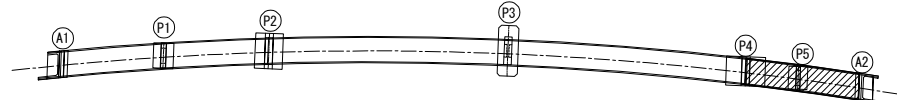
	幅 (mm)	長さ(L) (mm)	厚さ (mm)	面積/体積/重量 (m <sup>2</sup> /m <sup>3</sup> /t)	備考
路面切削工 A	9000	190000	93	159.0 m <sup>3</sup>	取替前
レベリング工 A	9660	190000	40	168.4 t	取替後
オーバーレイ工 B 1	9660	190000	40	1835.4 m <sup>2</sup>	取替後 高機能舗装Ⅱ型用混合物

部 材 名	寸 法	備 考
①	φ34.0×35	鋼管（溶融亜鉛メッキ仕上げ）キャップ付（φ60×2.3t）
②	φ42.7×60	鋼管（溶融亜鉛メッキ仕上げ）
③	φ34.0×100	鋼管（溶融亜鉛メッキ仕上げ）
④	φ42.7×100	鋼管（溶融亜鉛メッキ仕上げ）
⑤	φ40.0×80	
SDキャップ ⑥	φ100×45	樹脂性
導水管 ⑦	φ40×1000	フレキシブル管
固定金具	φ6×237	SR235
目詰り防止フィルター		スプリングフィルター（SUS304）

種別	仕様	単位	数量	備 考
端部防水層	グレードⅡ	m <sup>2</sup>	53.2	
床版防水層	グレードⅡ	m <sup>2</sup>	1838.3	
止水処理		m	399.4	I型止水テープ
床版水抜きパイプ	床版厚220mm用	個	1	

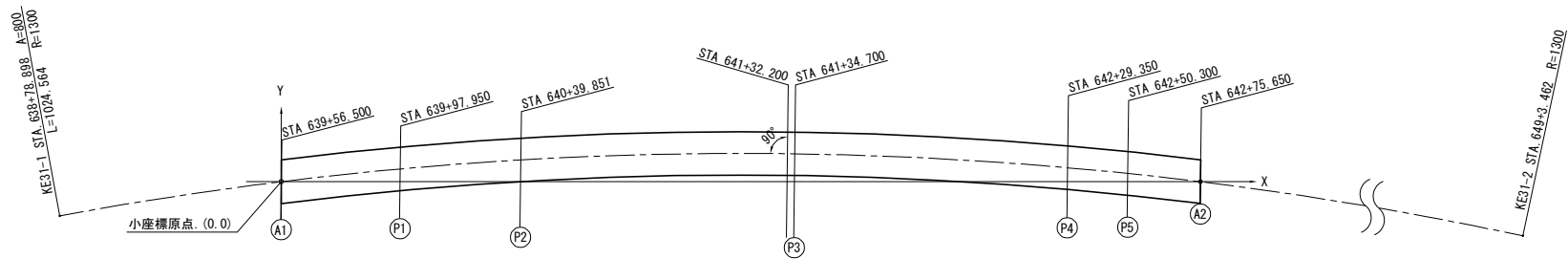
常磐自動車道 宮田川橋床版取替工事			
図面の種類	宮田川橋（下り線） P2～P4間舗装工・床版防水工詳細図		
縮 尺	図 示	図面番号	101 / 165
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング		
施工会社名			
※導水管は排水管に接続すること 混合廃棄物については床版上1cmまでを見込んでいます。		東日本高速道路株式会社 関東支社 水 戸 管 理 事 務 所	

※導水管は排水管に接続すること  
混合廃棄物については床版上1cmまでを見込んでいる。



常磐自動車道			
宮田川橋床版取替工事			
図面の種類	宮田川橋(下り線) P4～A2間PC床版線形図(その1)		
縮 尺	1:500	図面番号	102 / 165
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

平面線形

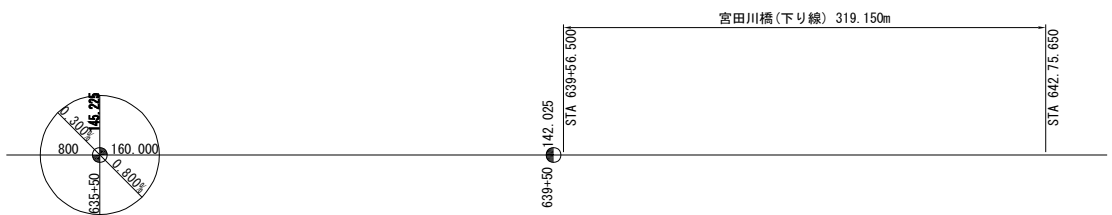


Ⓐ1 Ⓐ1 Ⓐ2 Ⓐ3 Ⓐ4 Ⓐ5 Ⓐ2 は全てSTA641+32.2 (PH-Lineに対して法線)に平行

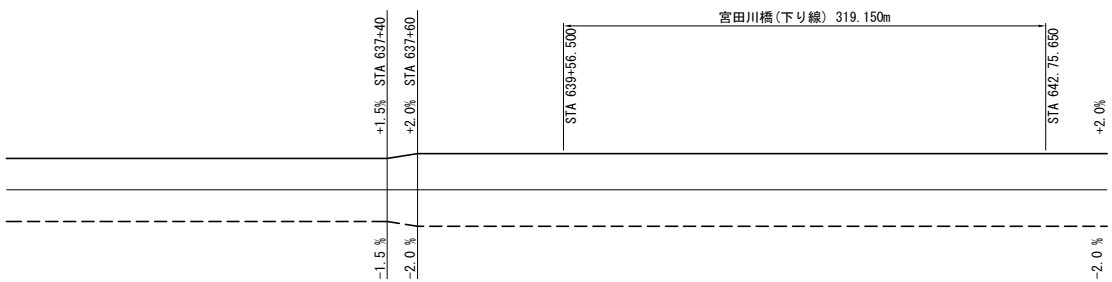
大 座 標 (PH - Line)

	STA	X	Y
KE31-1	638 + 78.898	+ 68,119.7068	+ 72,120.1459
A1	639 + 56.500	+ 68,196.3928	+ 72,131.9587
P1	638 + 97.950	+ 68,237.0261	+ 72,140.1375
P2	640 + 39.851	+ 68,277.8153	+ 72,149.7175
P3	641 + 34.700	+ 68,368.8638	+ 72,176.2228
P4	642 + 29.350	+ 68,457.5539	+ 72,209.2185
P5	642 + 50.300	+ 68,476.8448	+ 72,217.3889
A2	642 + 75.650	+ 68,500.0074	+ 72,227.6893
KE31-2	649 + 3.462	+ 68,987.4663	+ 72,613.6051

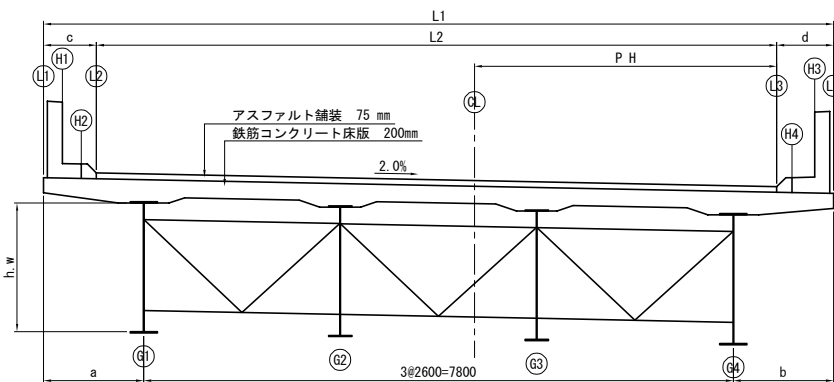
縦断線形



横断線形



鋳 析 部 断 面



P4～A2 沓 座 高

名称	S-L				P5				S-R			
	G1	G2	G3	G4	G1	G2	G3	G4	G1	G2	G3	G4
路面計画高	139.874	139.820	139.767	139.714	139.714	139.661	139.607	139.553	139.515	139.461	139.407	139.353
舗 装	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75	75
床 版	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200
ハ ン チ	100	99	100	101	100	100	100	100	100	100	100	100
腹 板 高	1700	1700	1700	1700	1700	1700	1700	1700	1700	1700	1700	1700
下フランジ厚	19	14	14	19	25	22	22	25	19	14	14	19
ソールプレート	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32
沓 高	150	150	150	150	190	190	190	190	165	165	165	165
計	2276	2270	2271	2277	2322	2319	2319	2322	2291	2286	2286	2291
沓 座 高	137.598	137.550	137.496	137.437	137.392	137.342	137.288	137.231	137.224	137.175	137.121	137.062

Ⓐ4 ～ Ⓐ2 (2径間連続鋳析)

1、主桁の配置について

Ⓐ1 の各支承位置において床版張出し長 (Ⓐ3 に平行な方向) で Ⓐ1 を1280mm、Ⓐ2 を1290mm、Ⓐ3 を1300mmにおさえて直線で結ひ Ⓐ2、Ⓐ3、Ⓐ4 は主桁間隔3@2.6m (Ⓐ3 に平行な方向) で Ⓐ1 に平行とする。

2、ハンチの決め方

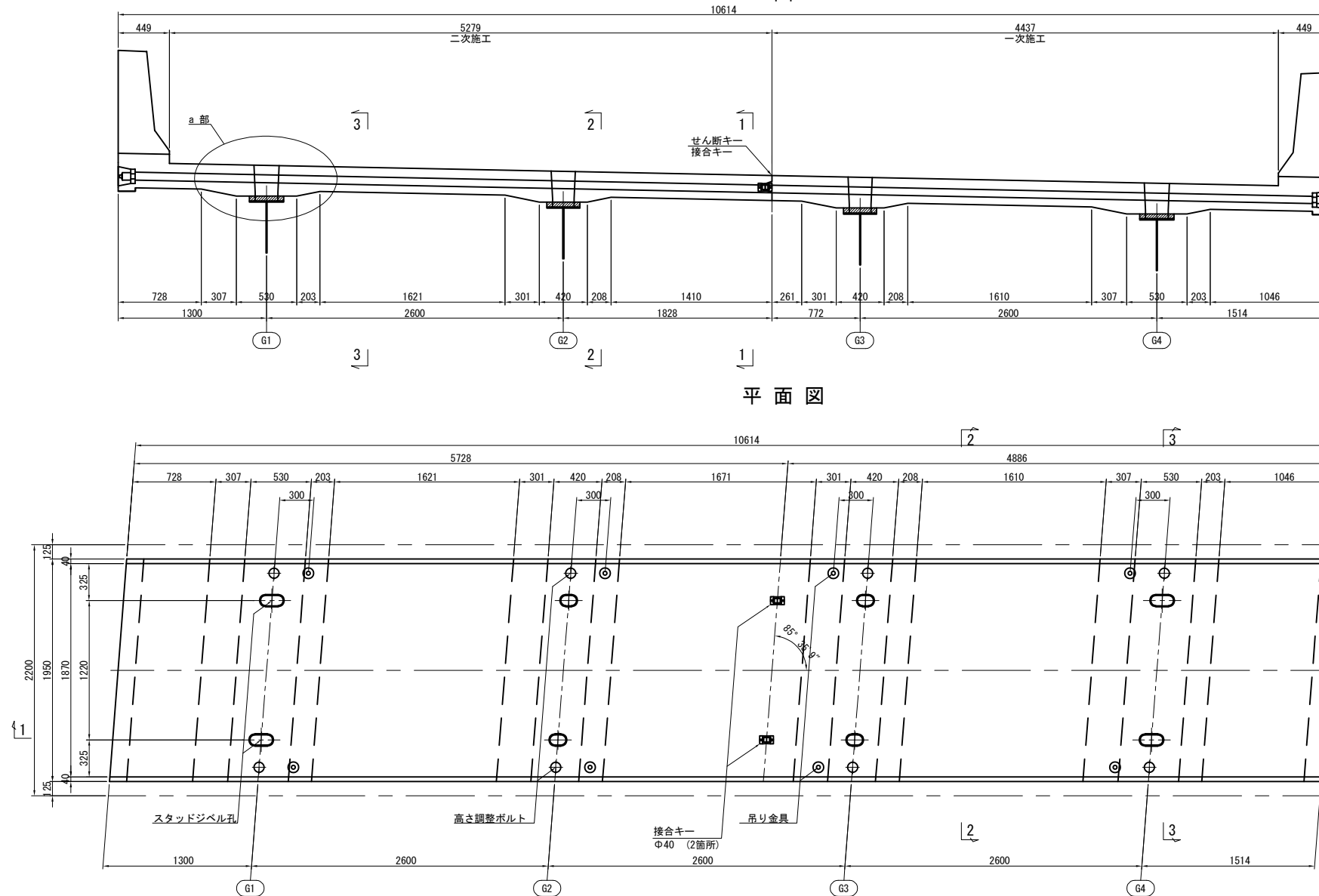
Ⓐ1 上でのハンチを Ⓐ1 で125mmにおさえて、主桁の縦断を0.8%、横断 (Ⓐ3 平行な方向) を1.9%一定としハンチを変化させた。Ⓐ2 ～ Ⓐ4 (2径間連続トラス)

変 更 事 項 (昭和56年2月)  
P4 ～ P5 (2 @ 25.0m) → (20.0m + 25.0m)

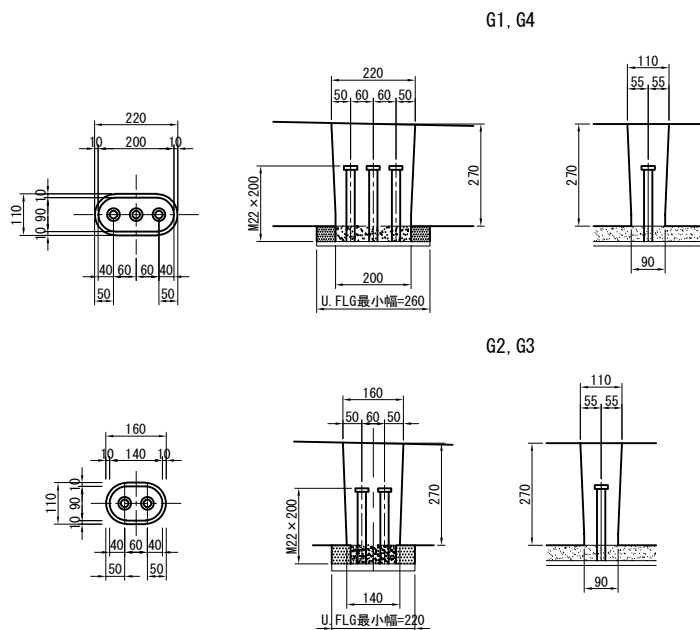
注記) 1. 本図は、既設橋梁の完成図を基にした図面である。  
2. 大座標 (PH-Line) は日本測地系の座標である。

常磐自動車道			
宮田川橋床版取替工事			
図面の種類	宮田川橋 (下り線) P4～A2間PC床版線形図 (その2)		
縮 尺	1:500	図面番号	103 / 165
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水 戸 管 理 事 務 所		

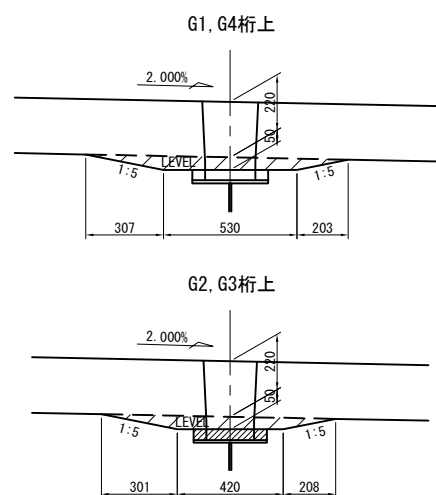
断面図  
1-1



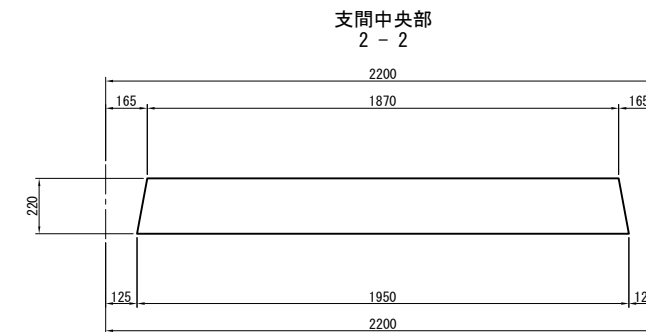
スタッド孔詳細図 S=1:20



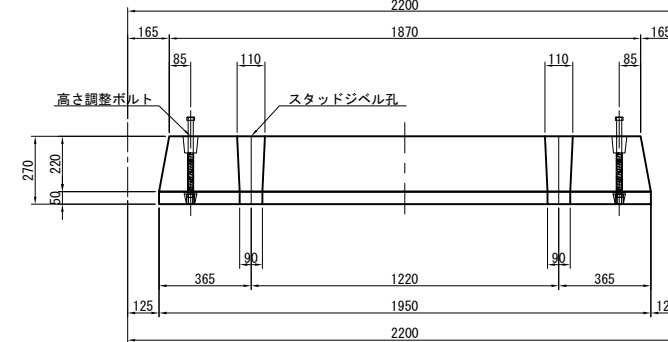
a部 詳細図 S=1:30



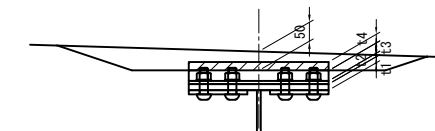
断面図 S=1:30



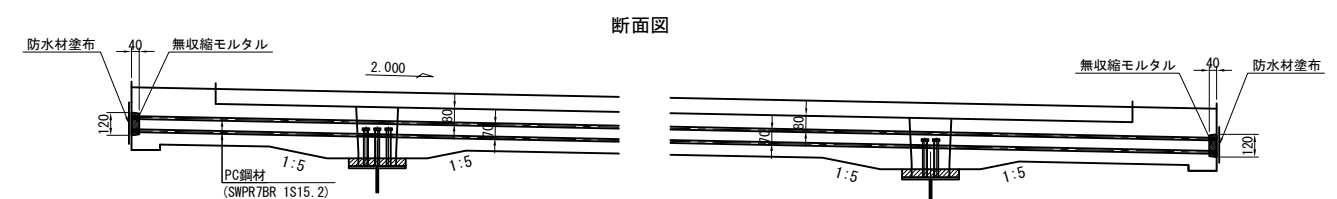
支 点 部  
3 - 3  
2200



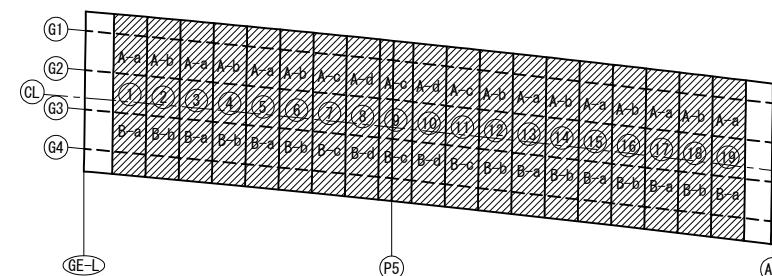
添接版部の切欠き詳細 S=1:20



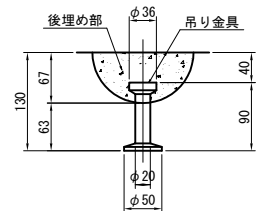
PC床版端部PC鋼材部処理詳細図 S=1:40



## 位置図

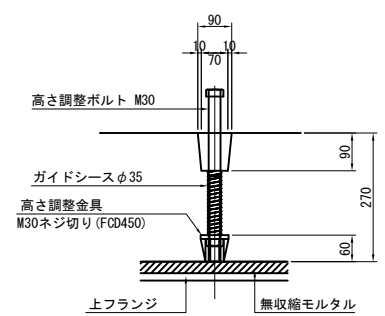


吊り金具詳細図 S=1:10  
(1床版当り8本使用する)



※ 取付金具は、亜鉛メッキ仕様(HDZT77)とする。  
かぶりは40mmとする。  
架設後は、無収縮モルタルで後埋め処理を行う。

高さ調整ボルト詳細図 S=1:20



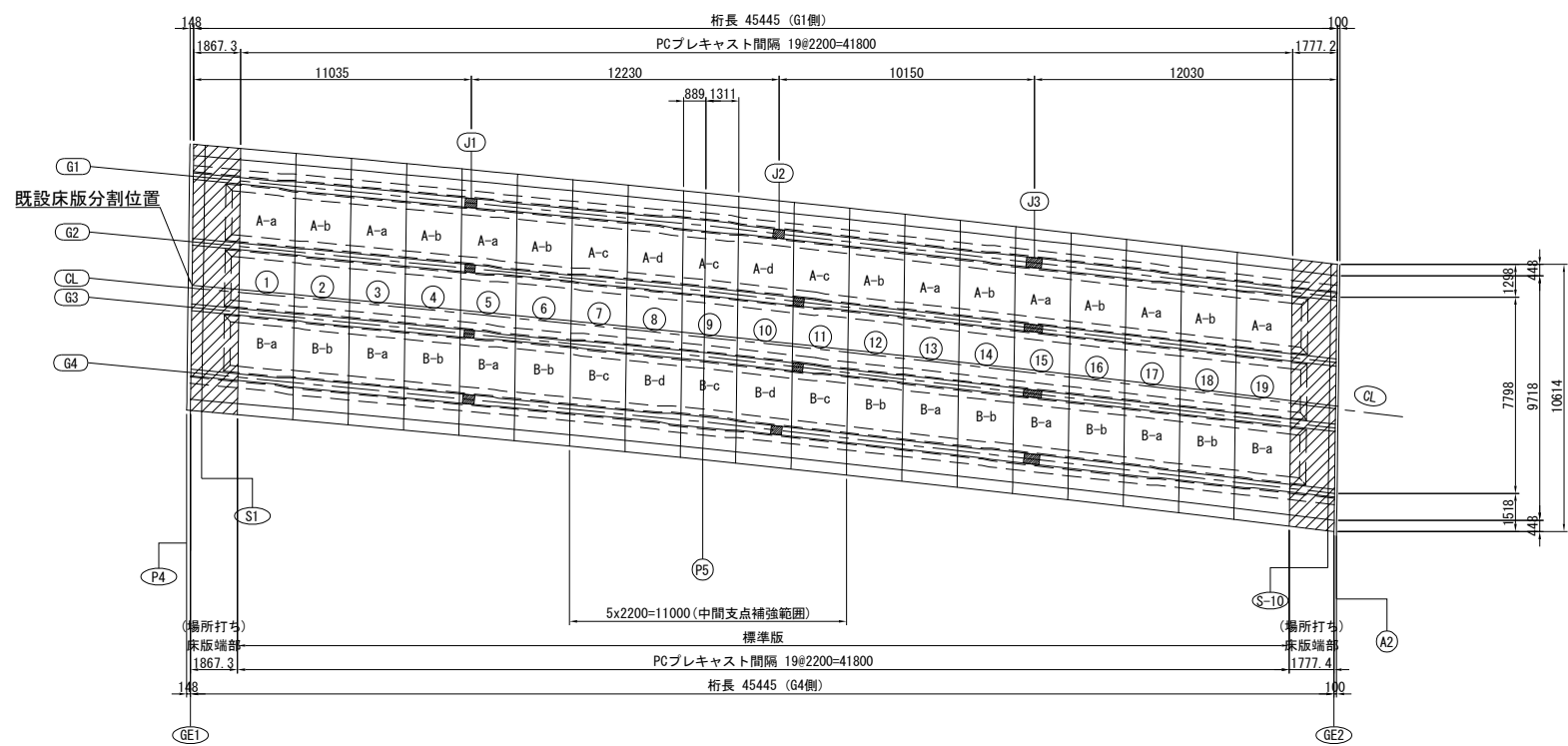
P4-A2

G1, G4	t1	t2	t3	t4
J1	19	9	25	20
J2	16	9	28	20
J3	19	11	23	30

G2, G3	t1	t2	t3	t4
J1	14	9	30	20
J2	16	9	28	20
J3	16	9	28	20

常磐自動車道 宮田川橋床版取替工事			
図面の種類	宮田川橋(下り線) P4～A2間プレキャストPC床版構築図		
縮 尺	図 示	図面番号	104 / 165
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水 戸 管 理 事 務 所		

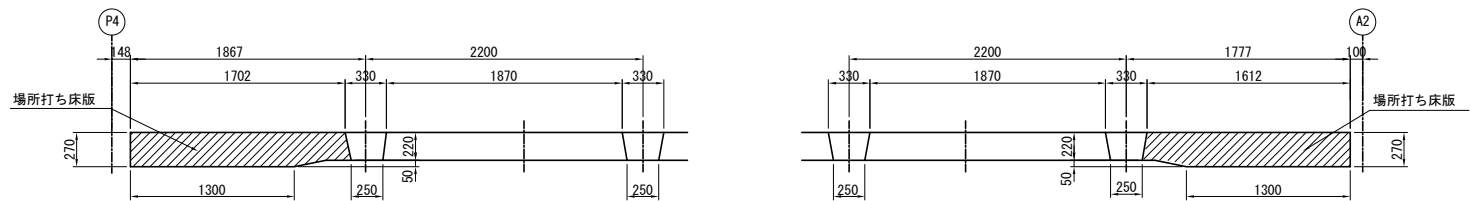
平面図



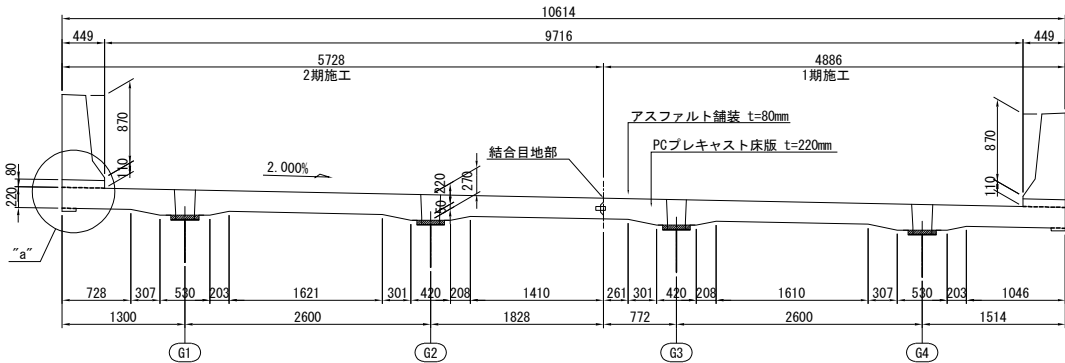
PCプレキャスト床版タイプ表		
タイプ	床 版 番 号	製作枚数
標準版 A-a	① ③ ⑤ ⑬ ⑮ ⑰ ⑲	7
標準版 B-a	① ③ ⑤ ⑬ ⑮ ⑰ ⑲	7
標準版 A-b	② ④ ⑥ ⑫ ⑭ ⑯ ⑱	7
標準版 B-b	② ④ ⑥ ⑫ ⑭ ⑯ ⑱	7
標準版 A-c (中間支点補強範囲)	⑦ ⑨ ⑪	3
標準版 B-c (中間支点補強範囲)	⑦ ⑨ ⑪	3
標準版 A-d (中間支点補強範囲)	⑧ ⑩	2
標準版 B-d (中間支点補強範囲)	⑧ ⑩	2

側 面 図 S=1:60

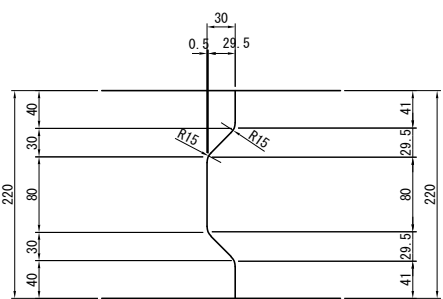
支間中央部



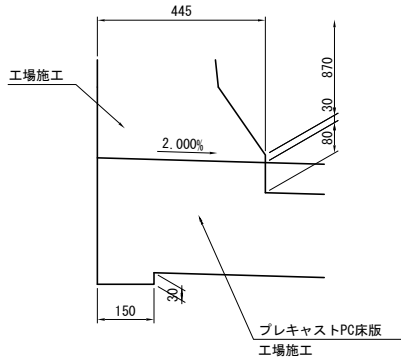
断 面 図 S=1:80



接合目地部詳細図 S=1:8

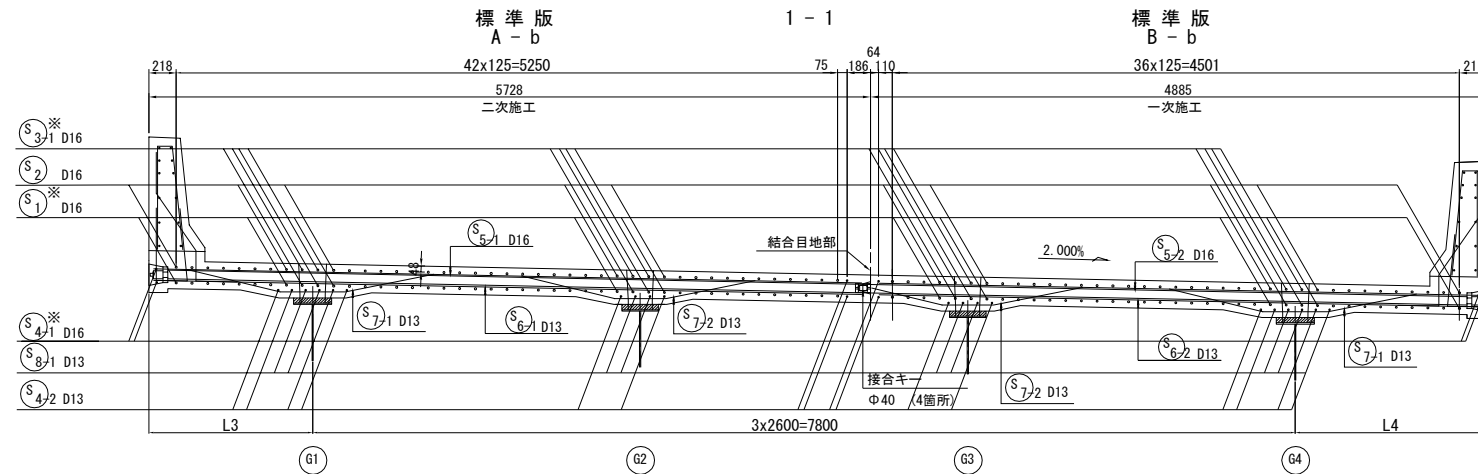


“a”部詳細図 S=1:20

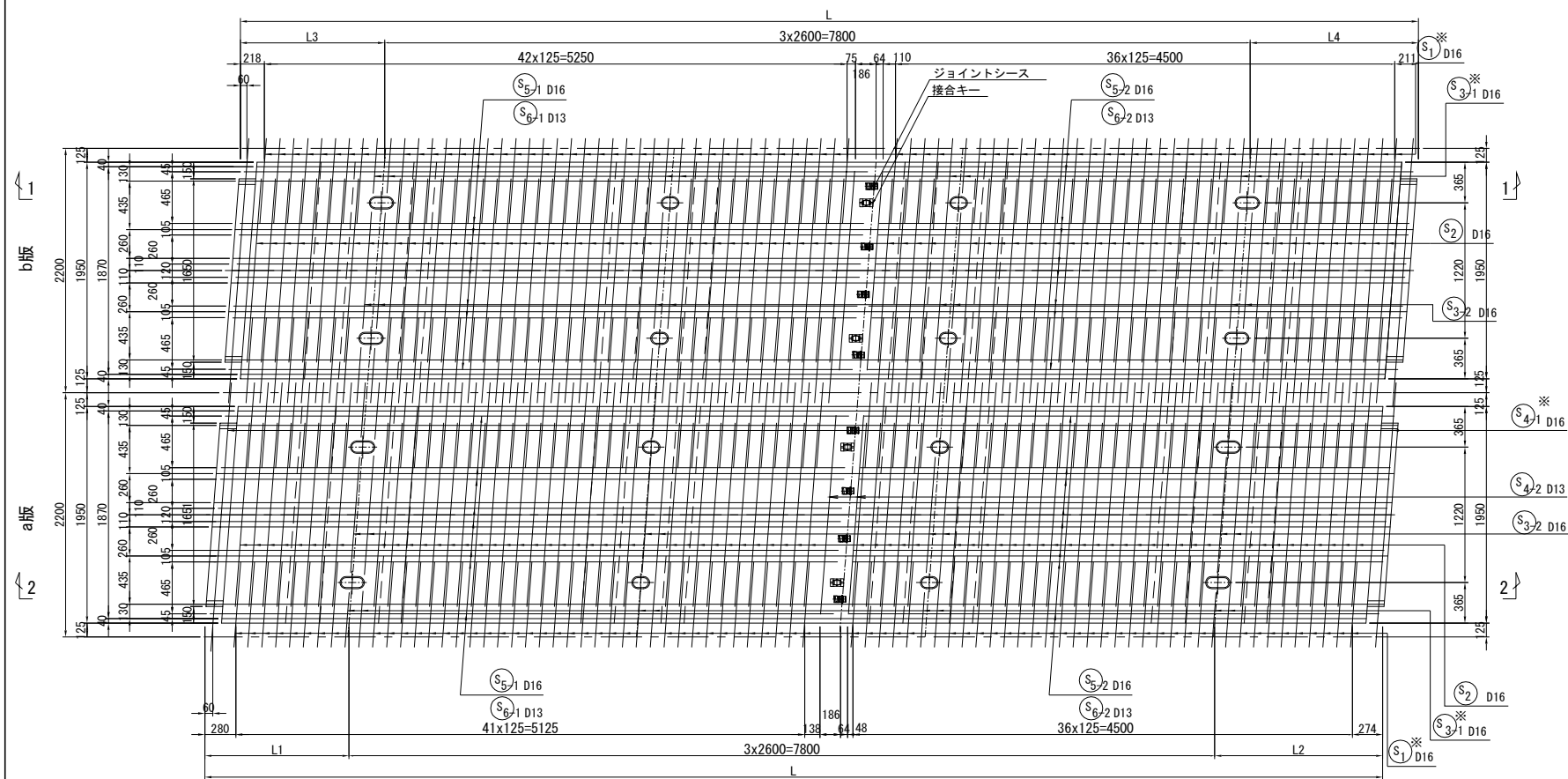


常磐自動車道 宮田川橋床版取替工事			
図面の種類	宮田川橋(下り線) P4～A2間プレキャストPC床版割付図		
縮 尺	図 示	図面番号	105 / 165
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水 戸 管 理 事 務 所		

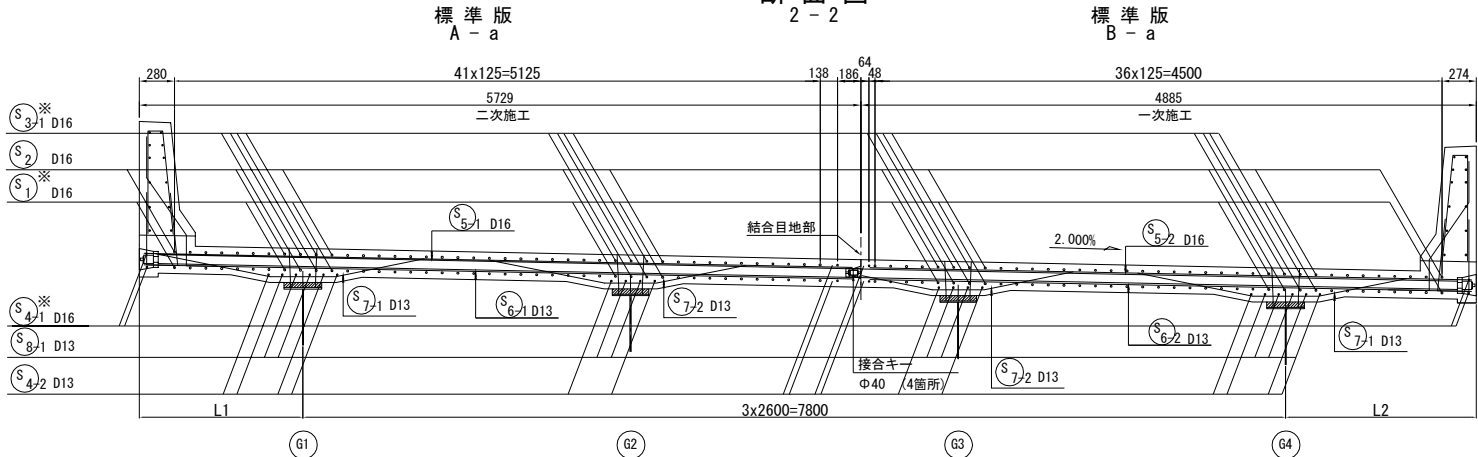
1 - 1



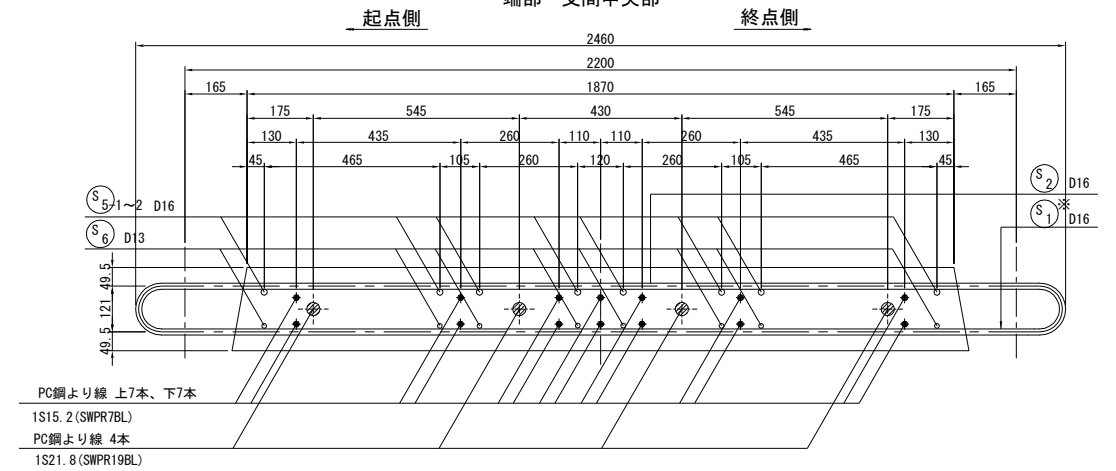
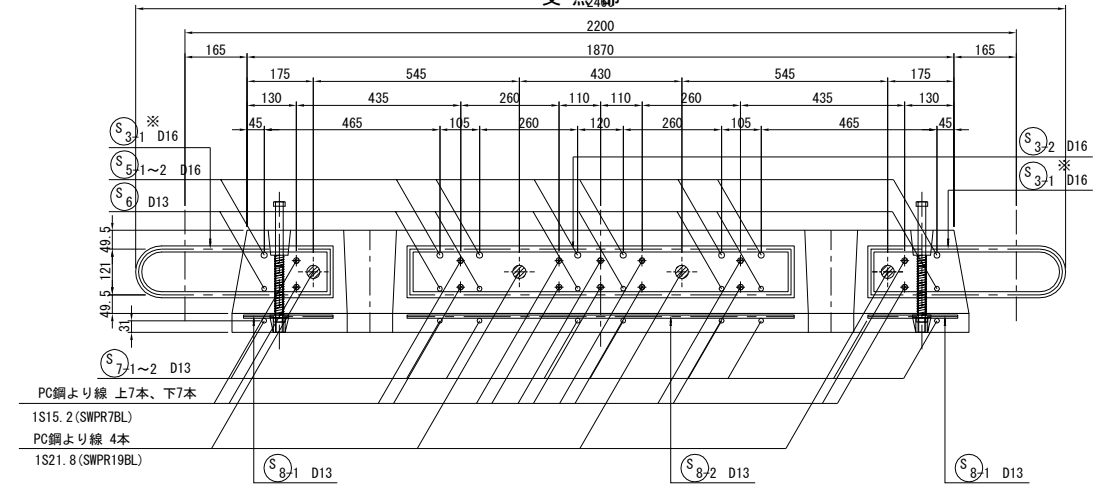
平面图



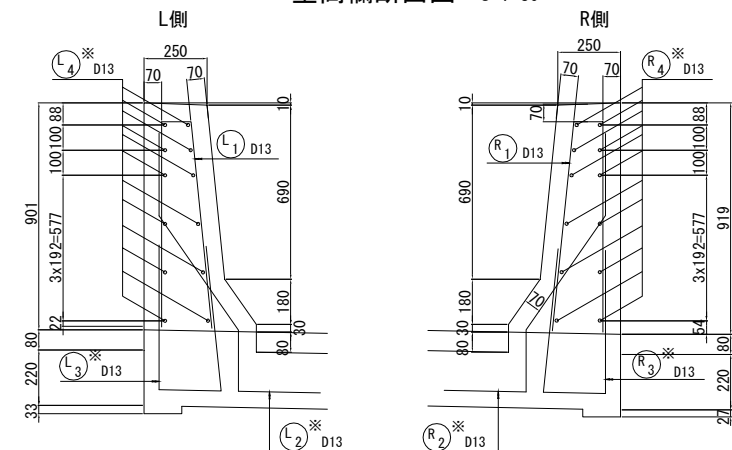
2 - 2



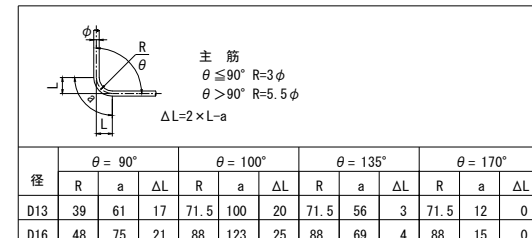
床版断面図 S=1:20

支 点<sub>246</sub>部

壁高欄断面図 S=1:30



鉄筋曲げ加工表



- 注記
- ※印はエポキシ樹脂塗装鉄筋を示す。
  - 排水樹版の配筋については詳細設計において別途検討すること。

	L	L1	L2
①	10583	1269	1492
③	10585	1314	1470
⑤	10587	1323	1464
⑬	10602	1345	1457
⑮	10606	1355	1451
⑰	10609	1350	1460
⑲	10613	1330	1483

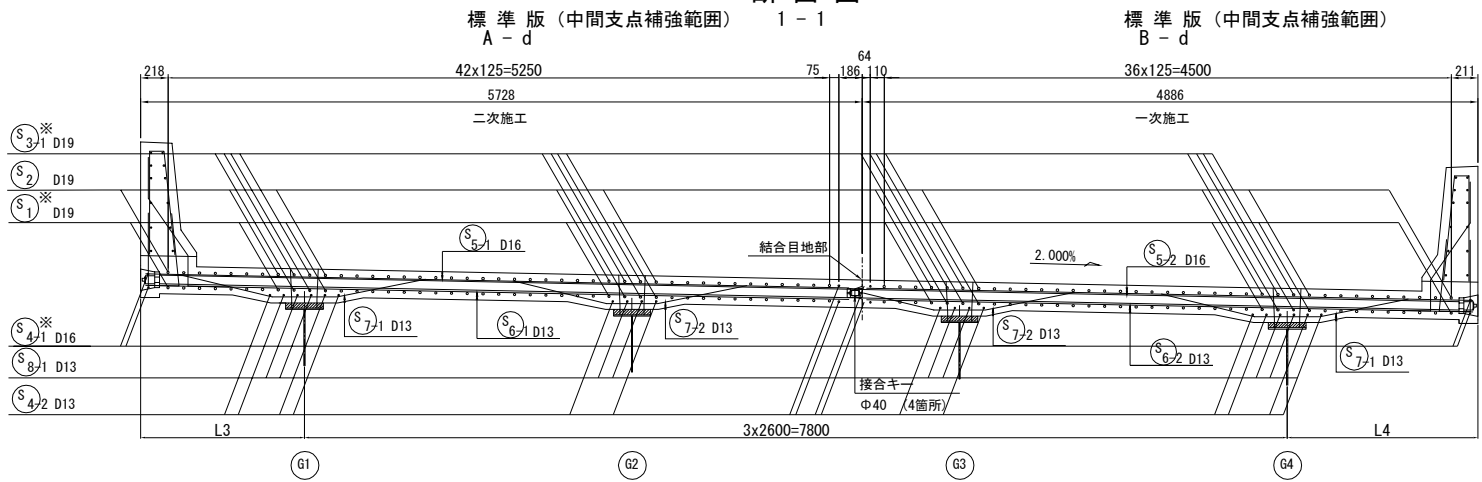
	L	L3	L4
②	10585	1314	1470
④	10587	1323	1464
⑥	10590	1317	1473
⑫	10599	1334	1464
⑭	10606	1355	1451
⑮	10609	1350	1460
⑱	10613	1330	1483

徑	$\theta = 90^\circ$			$\theta = 100^\circ$			$\theta = 135^\circ$			$\theta = 170^\circ$		
	R	a	$\Delta L$	R	a	$\Delta L$	R	a	$\Delta L$	R	a	$\Delta L$
D13	39	61	17	71.5	100	20	71.5	56	3	71.5	12	0
D16	48	75	21	88	123	25	88	69	4	88	15	0

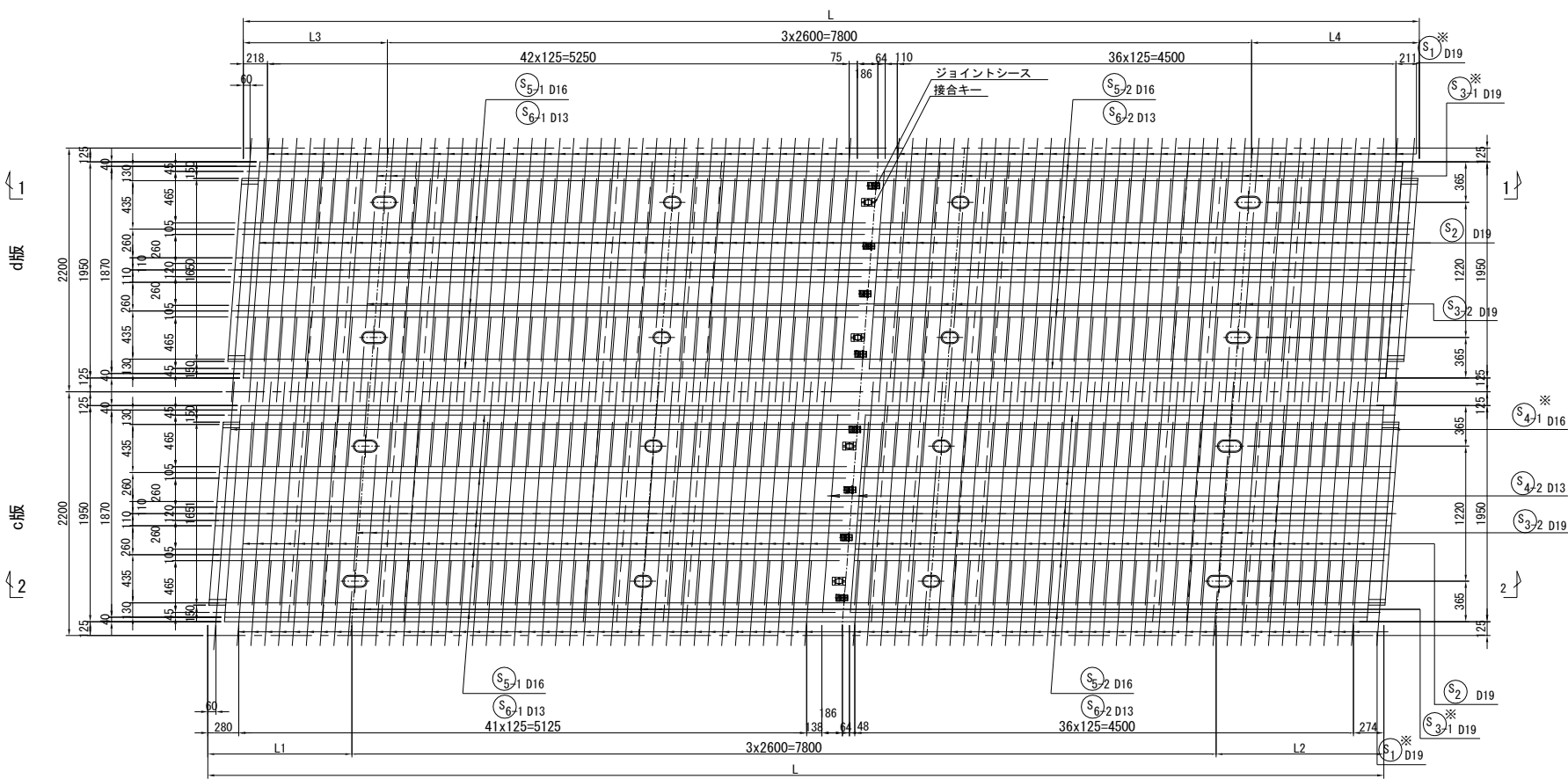
常磐自動車道			
宮田川橋床版取替工事			
図面の種類	宮田川橋(下り線) P4～A2間プレキャストPC床版配筋図(その1)		
縮 尺	図 示	図面番号	106 / 165
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水 戸 管 理 事 務 所		



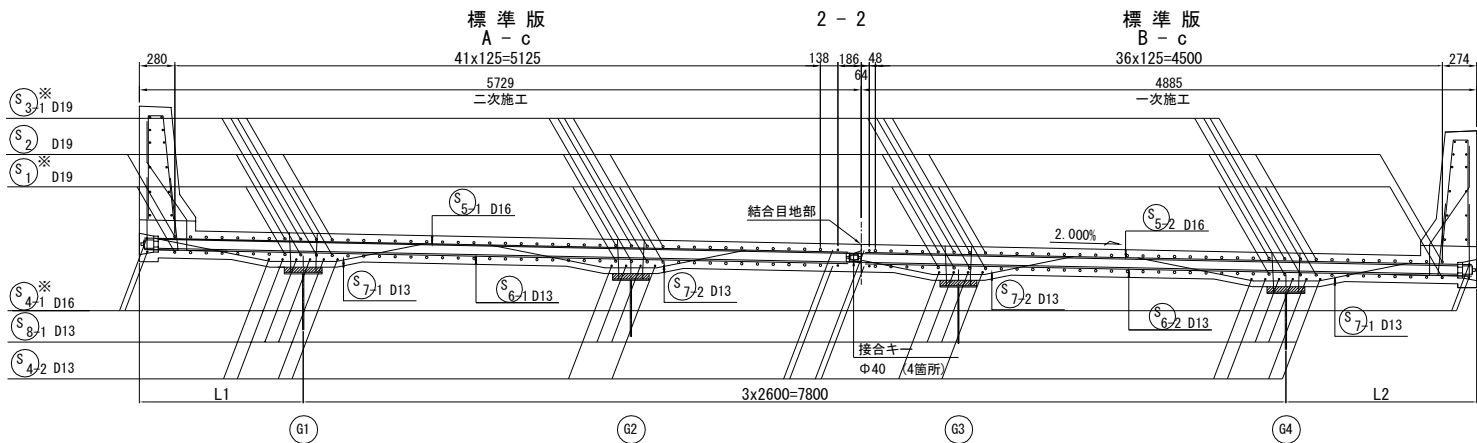
断面図



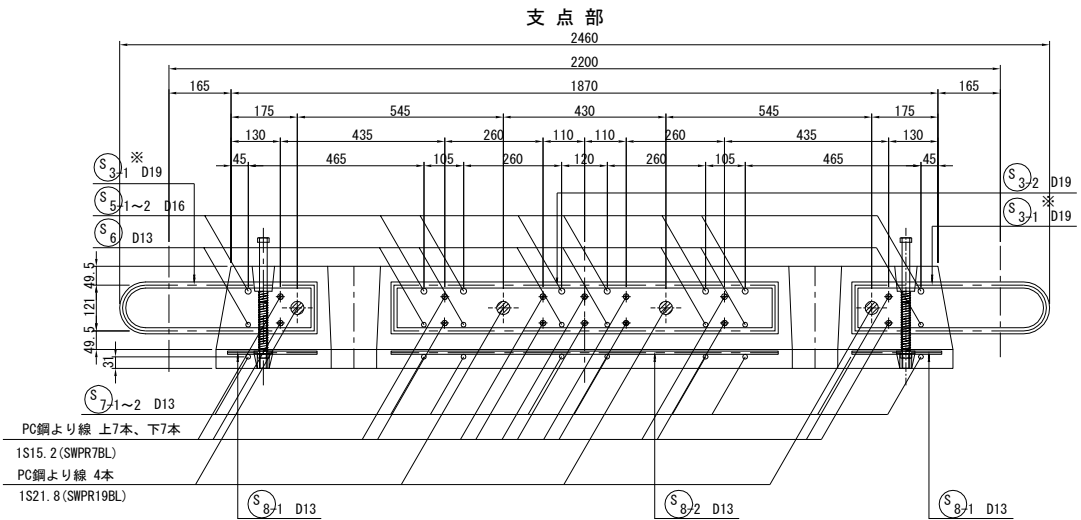
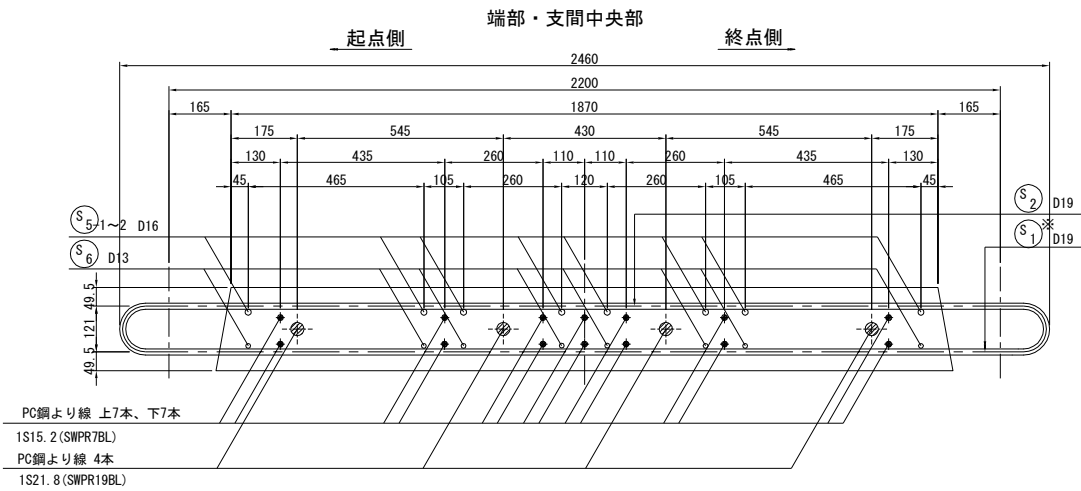
平面図



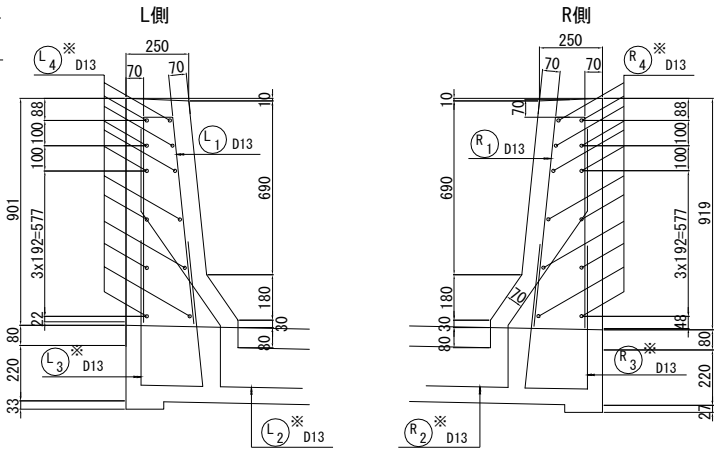
断面図



床版断面図 S=1:20



壁高欄断面図 S=1:30



c版	L	L1	L2
⑦	10590	1317	1473
⑨	10594	1296	1498
⑪	10598	1320	1478

d版	L	L3	L4
⑧	10594	1296	1498
⑩	10598	1320	1478

鉄筋曲げ加工表

主筋  
 $\theta \leq 90^\circ$   $R=3\phi$   
 $\theta > 90^\circ$   $R=5.5\phi$   
 $\Delta L = 2 \times L - a$

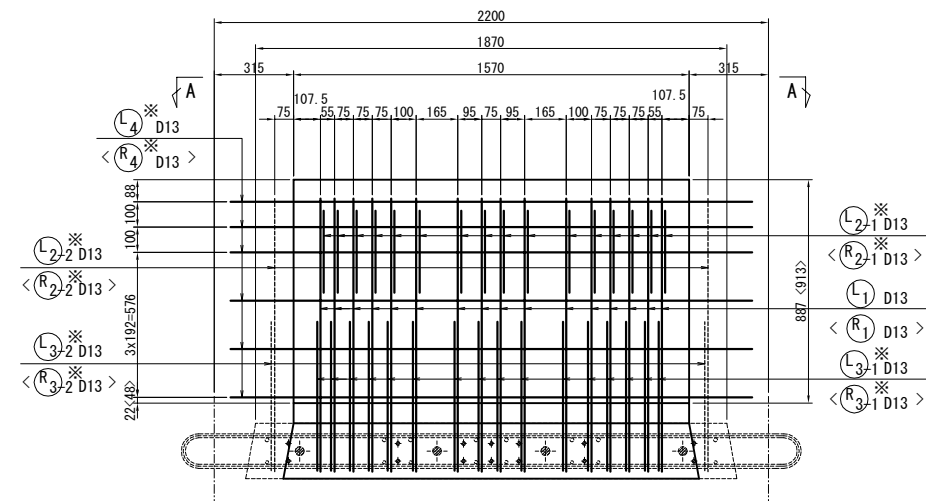
径	$\theta = 90^\circ$			$\theta = 100^\circ$			$\theta = 135^\circ$			$\theta = 170^\circ$		
	R	a	$\Delta L$	R	a	$\Delta L$	R	a	$\Delta L$	R	a	$\Delta L$
D13	39	61	17	71.5	100	20	71.5	56	3	71.5	12	0
D16	48	75	21	88	123	25	88	69	4	88	15	0

- 注記
- ※印はエポキシ樹脂塗装鉄筋を示す。
  - 排水樹版の配筋については詳細設計において別途検討すること。

常磐自動車道			
宮田川橋床版取替工事			
図面の種類	宮田川橋(下り線) P4～A2間プレキャストPC床版配筋図(その2)		
縮尺	図示	図面番号	107 / 165
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

壁高欄側面図 S=1:30

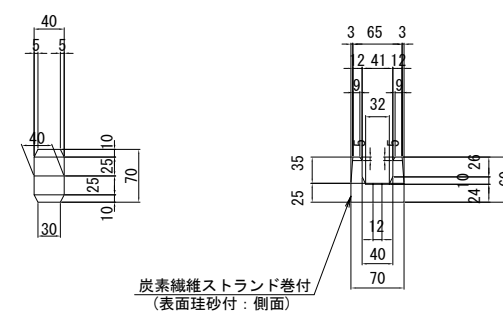
L側 <R側>



接合キ一詳細図 S=1:10

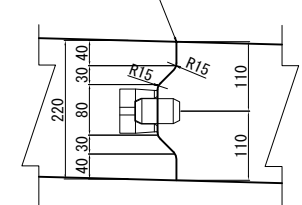
凸側

凹側



接合目地部詳細図 S=1:12

接合目地部



ジョイントシーす詳細図 S=1:10

凸側

凹側



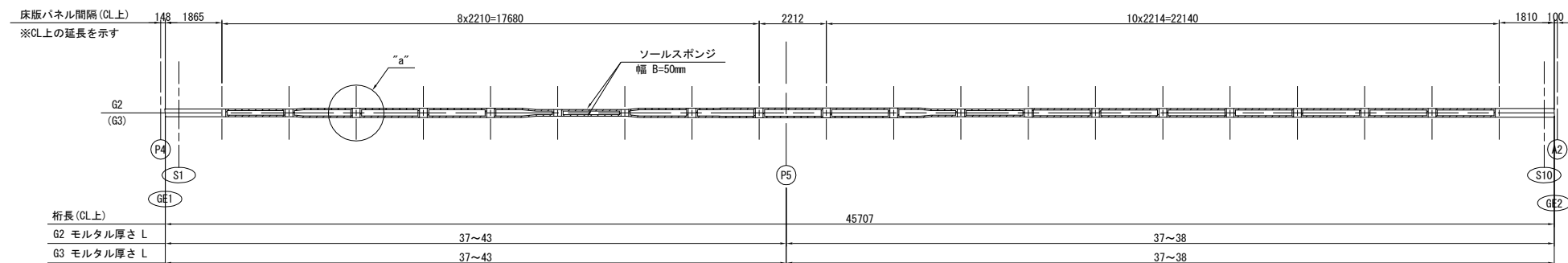
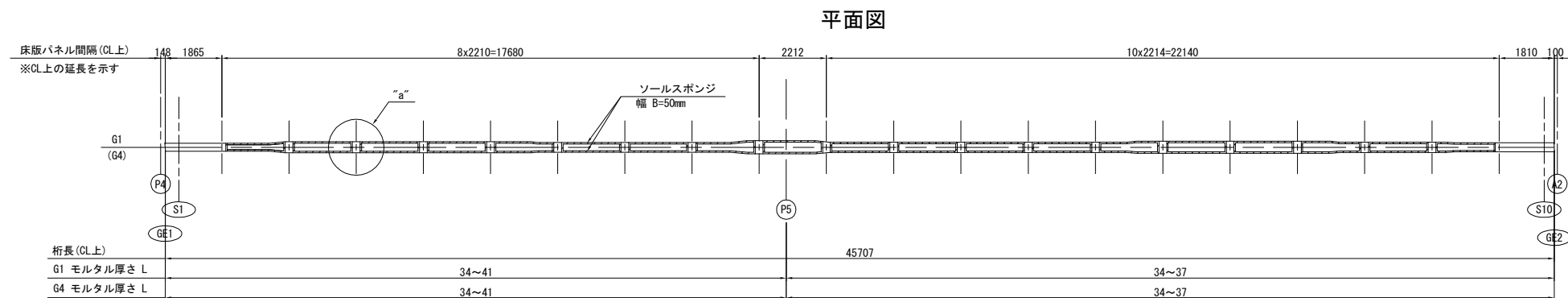
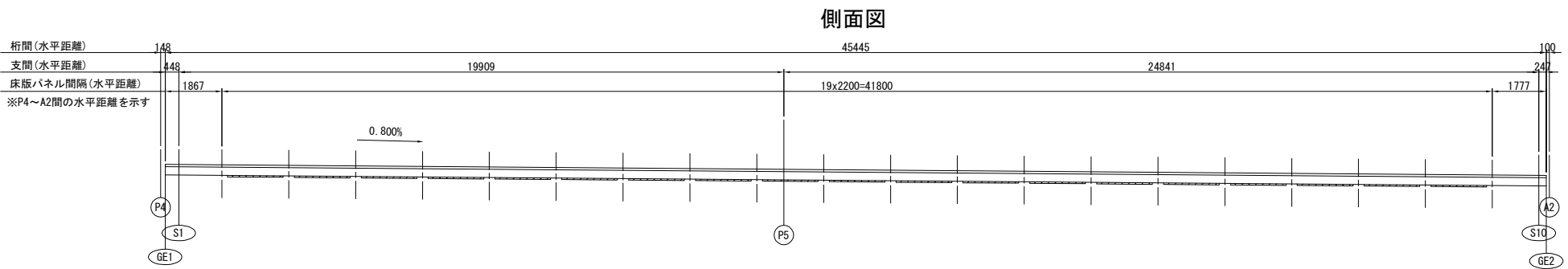
止水ゴム

注記

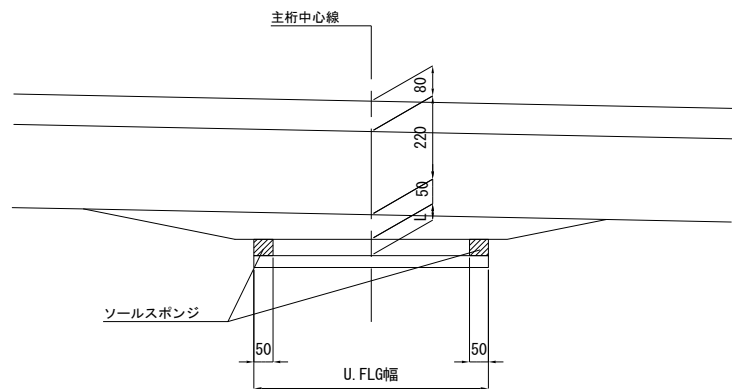
1. ※印はエポキシ樹脂塗装鉄筋を示す。

2. 詳細設計により構造・配筋等を決定すること。

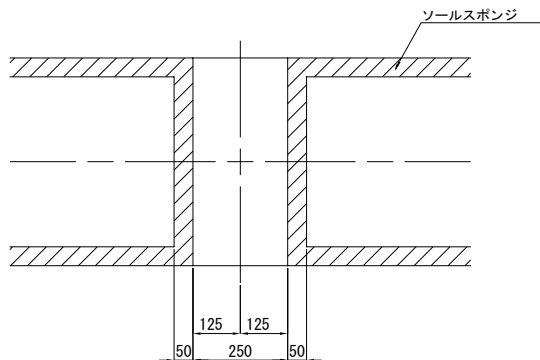
常盤自動車道			
宮田川橋床版取替工事			
図面の種類	宮田川橋（下り線） P4～A2間プレキャストPC床版配筋図（その3）		
縮 尺	図 示	図面番号	108 / 165
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		



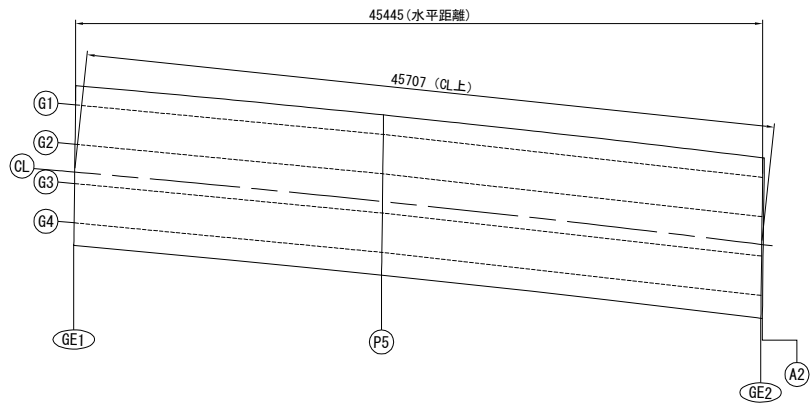
断面図 S=1:20



“a”部詳細 S=1:20



配置図



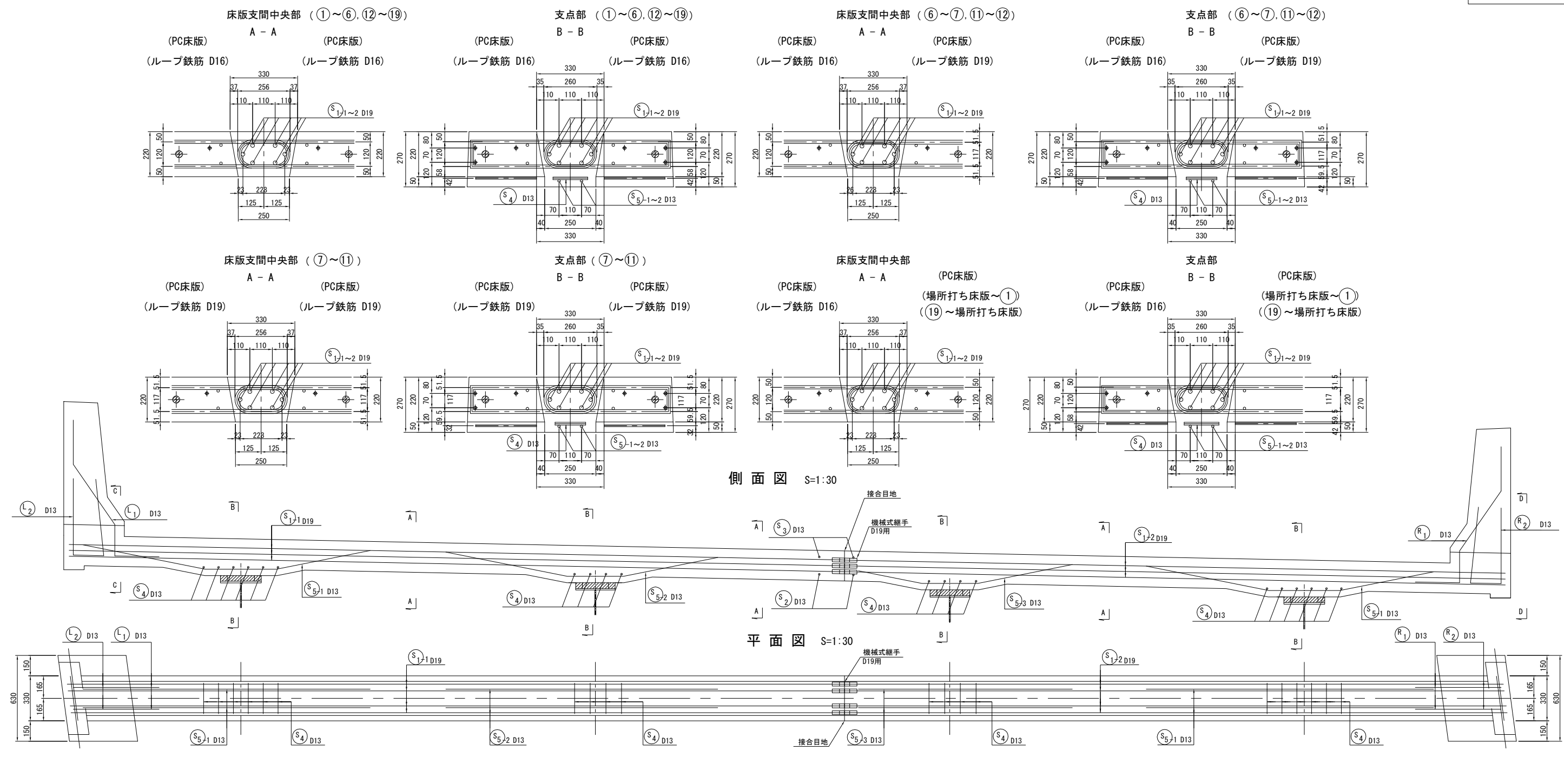
数量表

	G1	G2	G3	G4	合計
ソールスポンジ体積 (m3)	0.152	0.156	0.156	0.152	0.616

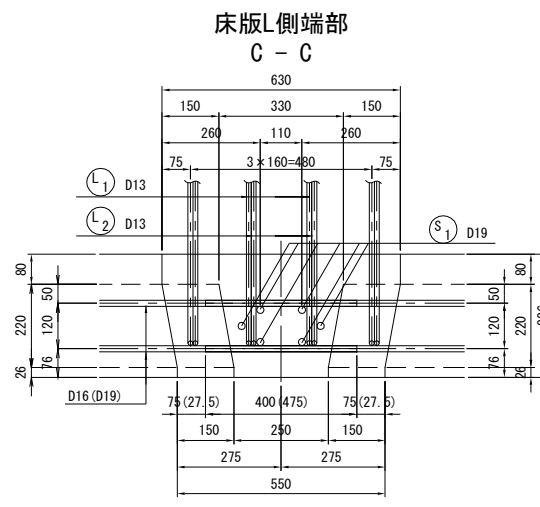
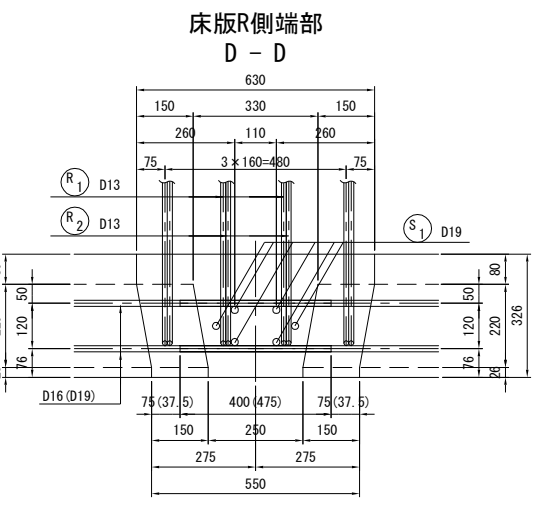
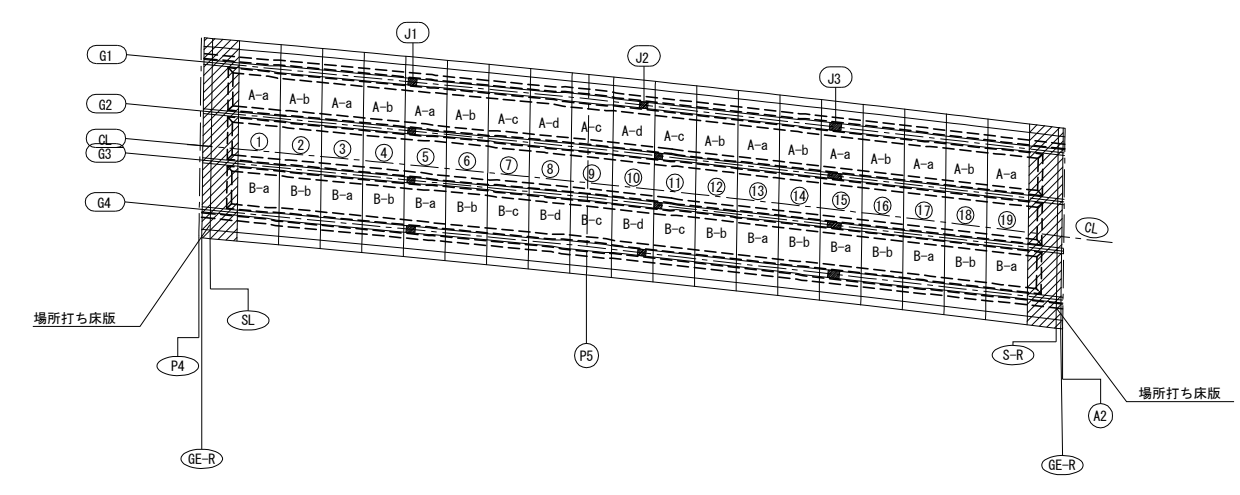
常磐自動車道 宮田川橋床版取替工事			
図面の種類	宮田川橋(下り線) P4～A2間ソールスポンジ詳細図		
縮尺	図示	図面番号	109 / 165
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		



宮田川橋(下り線) P4～A2間接合部配筋図(その1) S=1:20



位置図



注記  
1. 鉄筋はエポキシ樹脂塗装とする。  
但し、機械式継手挿入部は無塗装とする。

常磐自動車道 宮田川橋床版取替工事			
図面の種類	宮田川橋(下り線)	P4～A2間接合部配筋図(その1)	
縮 尺	図 示	図面番号	111 / 165
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水 戸 管 理 事 務 所		

一次施工 (G3, G4)



一次施工 (S<sub>1</sub>)<sub>2</sub> 6 - D19 x 4810



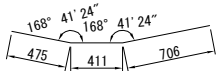
一次施工 (S<sub>2</sub>)<sub>2</sub> 1 - D13 x 250



一次施工 (S<sub>3</sub>)<sub>3</sub> 1 - D13 x 150



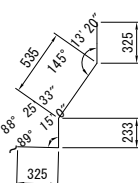
一次施工 (S<sub>4</sub>)<sub>4</sub> 10 - D13 x 150



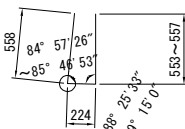
一次施工 (S<sub>5</sub>)<sub>3</sub> 2 - D13 x 1600



一次施工 (S<sub>5</sub>)<sub>1</sub> 2 - D13 x 2140



一次施工 (R<sub>1</sub>)<sub>1</sub> 2 - D13 x 1420



一次施工 (R<sub>2</sub>)<sub>2</sub> 2 - D13 x 1340 (平均長)

一 次 施 工 鉄 筋 表

記号	径	長さ	本数	単位重量	一本当り重量	合計重量	摘要
場所打ち床版-1Ba							
S1-2	D19	4810	6	2.25	10.8	65	
S2	D13	250	1	0.995	0.249	1	
S3	D13	150	1	0.995	0.149	1	
S4	D13	150	10	0.995	0.149	1	
S5-1	D13	2140	2	0.995	2.13	4	
S5-3	D13	1600	2	0.995	1.59	3	
R1	D13	1420	2	0.995	1.41	3	
R2	D13	1340	2	0.995	1.33	3	
合 計						81 kg	
D13 (SD345)						16 kg	
D19 (SD345)						65 kg	
機械式継手				D19用		6 組	
1Ba-2Bb							
S1-2	D19	4810	6	2.25	10.8	65	
S2	D13	250	1	0.995	0.249	1	
S3	D13	150	1	0.995	0.149	1	
S4	D13	150	10	0.995	0.149	1	
S5-1	D13	2140	2	0.995	2.13	4	
S5-3	D13	1600	2	0.995	1.59	3	
R1	D13	1420	2	0.995	1.41	3	
R2	D13	1340	2	0.995	1.33	3	
合 計						81 kg	
D13 (SD345)						16 kg	
D19 (SD345)						65 kg	
機械式継手				D19用		6 組	
2Bb-3Ba							
S1-2	D19	4810	6	2.25	10.8	65	
S2	D13	250	1	0.995	0.249	1	
S3	D13	150	1	0.995	0.149	1	
S4	D13	150	10	0.995	0.149	1	
S5-1	D13	2140	2	0.995	2.13	4	
S5-3	D13	1600	2	0.995	1.59	3	
R1	D13	1420	2	0.995	1.41	3	
R2	D13	1340	2	0.995	1.33	3	
合 計						81 kg	
D13 (SD345)						16 kg	
D19 (SD345)						65 kg	
機械式継手				D19用		6 組	
3Ba-4Bb							
S1-2	D19	4810	6	2.25	10.8	65	
S2	D13	250	1	0.995	0.249	1	
S3	D13	150	1	0.995	0.149	1	
S4	D13	150	10	0.995	0.149	1	
S5-1	D13	2140	2	0.995	2.13	4	
S5-3	D13	1600	2	0.995	1.59	3	
R1	D13	1420	2	0.995	1.41	3	
R2	D13	1340	2	0.995	1.33	3	
合 計						81 kg	
D13 (SD345)						16 kg	
D19 (SD345)						65 kg	
機械式継手				D19用		6 組	
4Bb-5Ba							
S1-2	D19	4810	6	2.25	10.8	65	
S2	D13	250	1	0.995	0.249	1	
S3	D13	150	1	0.995	0.149	1	
S4	D13	150	10	0.995	0.149	1	
S5-1	D13	2140	2	0.995	2.13	4	
S5-3	D13	1600	2	0.995	1.59	3	
R1	D13	1420	2	0.995	1.41	3	
R2	D13	1340	2	0.995	1.33	3	
合 計						81 kg	
D13 (SD345)						16 kg	
D19 (SD345)						65 kg	
機械式継手				D19用		6 組	

一 次 施 工 鉄 筋 表

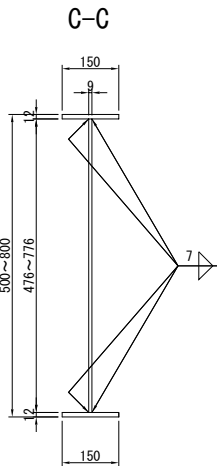
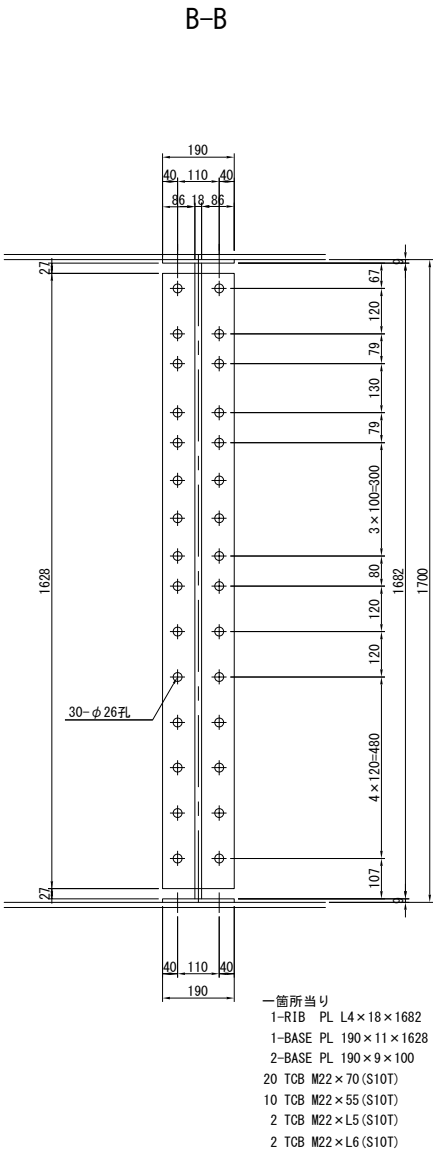
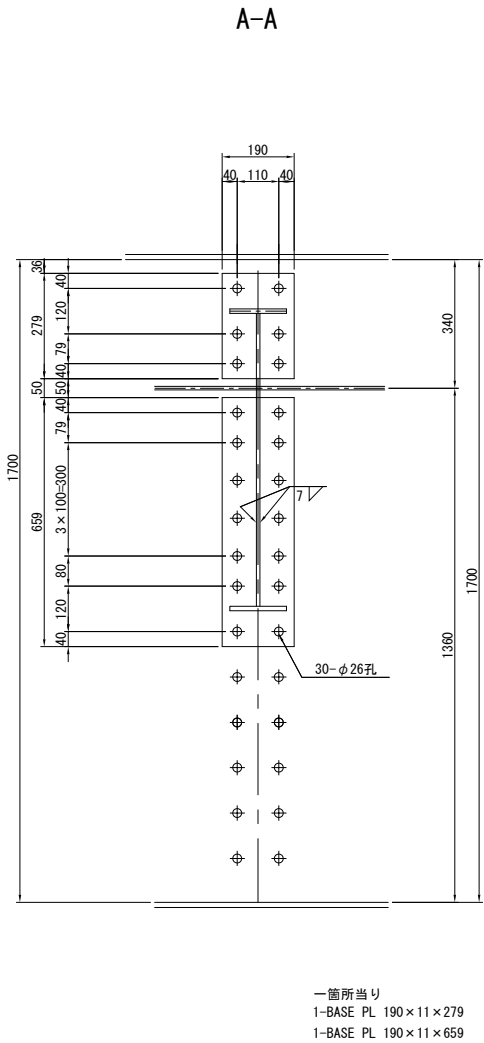
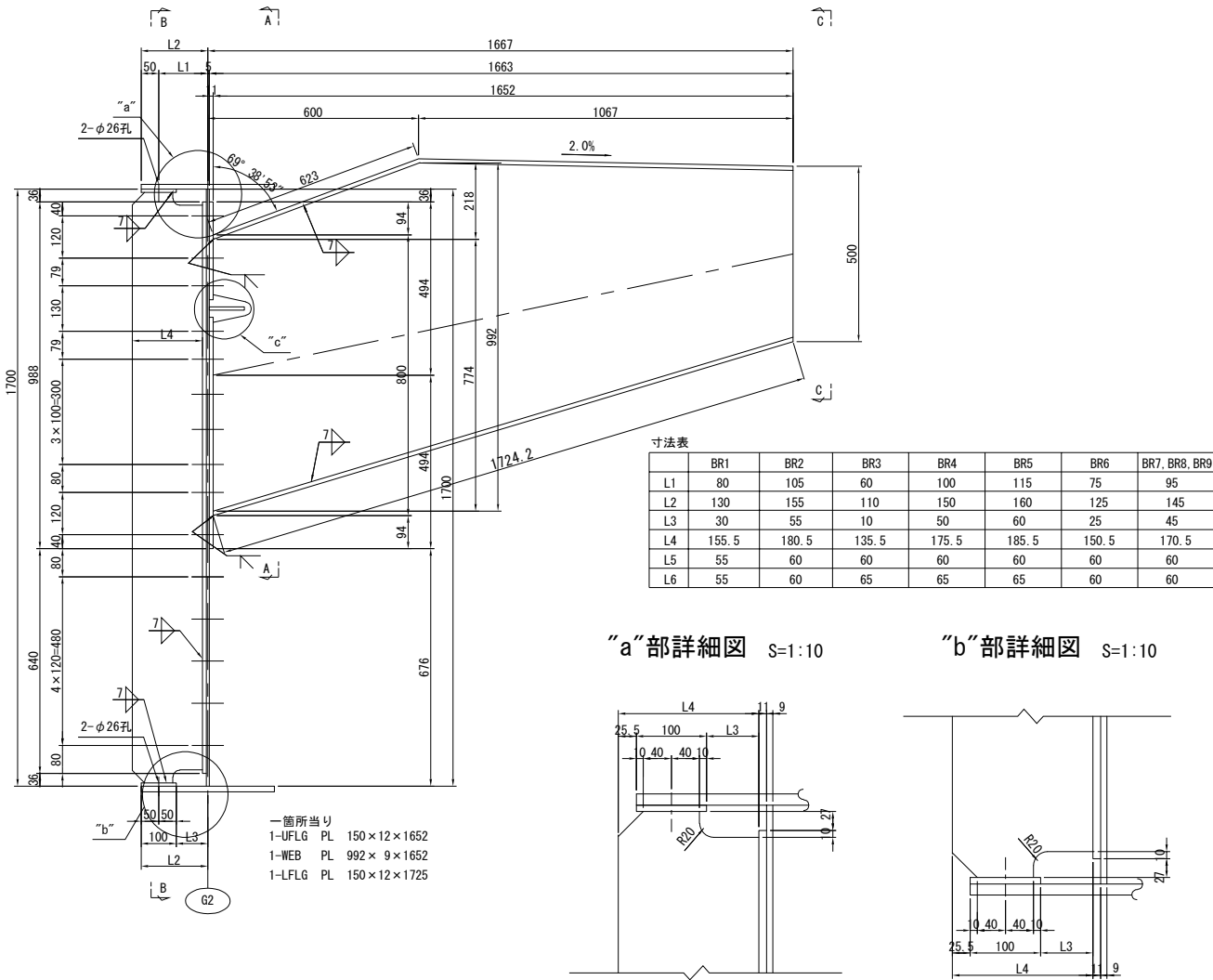
記号	径	長さ	本数	単位重量	一本当り重量	合計重量	摘要
5Ba-6Bb							
S1-2	D19	4810	6	2.25	10.8	65	
S2	D13	250	1	0.995	0.249	1	
S3	D13	150	1	0.995	0.149	1	
S4	D13	150	10	0.995	0.149	1	
S5-1	D13	2140	2	0.995	2.13	4	
S5-3	D13	1600	2	0.995	1.59	3	
R1	D13	1420	2	0.995	1.41	3	
R2	D13	1340	2	0.995	1.33	3	
合 計						81 kg	
D13 (SD345)						16 kg	
D19 (SD345)						65 kg	
機械式継手				D19用		6 組	
6Bb-7Bc							
S1-2	D19	4810	6	2.25	10.8	65	
S2	D13	250	1	0.995	0.249	1	
S3	D13	150	1	0.995	0.149	1	
S4	D13	150	10	0.995	0.149	1	
S5-1	D13	2140	2	0.995	2.13	4	
S5-3	D13	1600	2	0.995	1.59	3	
R1	D13	1420	2	0.995	1.41	3	
R2	D13	1340	2	0.995	1.33	3	
合 計						81 kg	
D13 (SD345)						16 kg	
D19 (SD345)						65 kg	
機械式継手				D19用		6 組	
7Bc-8Bd							
S1-2	D19	4810	6	2.25	10.8	65	
S2	D13	250	1	0.995	0.249	1	
S3	D13	150	1	0.995	0.149	1	
S4	D13	150	10	0.995	0.149	1	
S5-1	D13	2140	2	0.995	2.13	4	
S5-3	D13	1600	2	0.995	1.59	3	
R1	D13	1420	2	0.995	1.41	3	
R2	D13	1340	2	0.995	1.33	3	
合 計						81 kg	
D13 (SD345)						16 kg	
D19 (SD345)						65 kg	
機械式継手				D19用		6 組	
8Bd-9Bc							
S1-2	D19	4810	6	2.25	10.8	65	
S2	D13	250	1	0.995	0.249	1	
S3	D13	150	1	0.995	0.149	1	
S4	D13	150	10	0.995	0.149	1	
S5-1	D13	2140	2	0.995	2.13	4	
S5-3	D13	1600	2	0.995	1.59	3	
R1	D13	1420	2	0.995	1.41	3	
R2	D13	1340	2	0.995	1.33	3	
合 計						81 kg	
D13 (SD345)						16 kg	
D19 (SD345)						65 kg	
機械式継手				D19用		6 組	
9Bc-10Bd							
S1-2	D19	4810	6	2.25	10.8	65	
S2	D13	250	1	0.995	0.249	1	
S3	D13	150	1	0.995	0.149	1	
S4	D13	150	10	0.995	0.149	1	
S5-1	D13	2140	2	0.995	2.13	4	
S5-3	D13	1600	2	0.995	1.59	3	
R1	D13	1420	2	0.995	1.41	3	
R2	D13	1340	2	0.995	1.33	3	
合 計						81 kg	
D13 (SD345)						16 kg	
D19 (SD345)						65 kg	
機械式継手				D19用		6 組	

一 次 施 工 鉄 筋 表

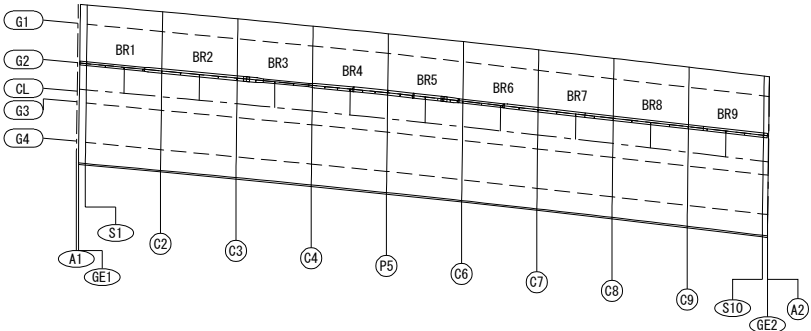
記号	径	長さ	本数	単位重量	一本当り重量	合計重量	摘要
10Bd-11Bc							
S1-2	D19	4810	6	2.25	10.8	65	
S2	D13	250	1	0.995	0.249	1	
S3	D13	150	1	0.995	0.149	1	
S4	D13	150	10	0.995	0.149	1	
S5-1	D13	2140	2	0.995	2.13	4	
S5-3	D13	1600	2	0.995	1.59	3	
R1	D13	1420	2	0.995	1.41	3	
R2	D13	1340	2	0.995	1.33	3	
合 計						81 kg	
D13 (SD345)						16 kg	
D19 (SD345)						65 kg	
機械式継手				D19用		6 組	
11Bc-12Bb							
S1-2	D19	4810	6	2.25	10.8	65	
S2	D13	250	1	0.995	0.249	1	
S3	D13	150	1	0.995	0.149	1	
S4	D13	150	10	0.995	0.149	1	
S5-1	D13	2140	2	0.995	2.13	4	
S5-3	D13	1600	2	0.995	1.59	3	
R1	D13	1420	2	0.995	1.41	3	
R2	D13	1340	2	0.995	1.33	3	
合 計						81 kg	
D13 (SD345)						16 kg	
D19 (SD345)						65 kg	
機械式継手				D19用		6 組	
12Bb-13Ba							
S1-2	D19	4810	6	2.25	10.8	65	
S2	D13	250	1	0.995	0.249	1	
S3	D13	150	1	0.995	0.149	1	
S4	D13	150	10	0.995	0.149	1	
S5-1	D13	2140	2	0.995	2.13	4	
S5-3	D13	1600	2	0.995	1.59	3	
R1	D13	1420	2	0.995	1.41	3	
R2	D13	1340	2	0.995	1.33	3	
合 計						81 kg	
D13 (SD345)						16 kg	
D19 (SD345)						65 kg	
機械式継手				D19用		6 組	
13Ba-14Bb							
S1-2	D19	4810	6	2.25	10.8	65	
S2	D13	250	1	0.995	0.249	1	
S3	D13	150	1	0.995	0.149	1	
S4	D13	150	10	0.995	0.149	1	
S5-1	D13	2140	2	0.995	2.13	4	
S5-3	D13	1600	2	0.995	1.59	3	
R1	D13	1420	2	0.995	1.41	3	
R2	D13	1340	2	0.995	1.33	3	
合 計						81 kg	
D13 (SD345)						16 kg	
D19 (SD345)						65 kg	
機械式継手				D19用		6 組	
14Bb-15Ba							
S1-2	D19	4810	6	2.25	10.8	65	
S2	D13	250	1	0.995	0.249	1	
S3	D13	150	1	0.995	0.149	1	
S4	D13	150	10	0.995	0.149	1	
S5-1	D13	2140	2	0.995	2.13	4	
S5-3	D13	1600	2	0.995	1.59	3	
R1	D13	1420	2	0.995	1.41	3	
R2	D13	1340	2	0.995	1.33	3	
合 計						81 kg	
D13 (SD345)						16 kg	
D19 (SD345)						65 kg	
機械式継手				D19用		6 組	



二次施工



位置図



鋼桁孔明工材料表							
部材名	位置	板厚(mm)	箇所数(箇所)	削孔方向	鋼桁の材質	備考	
中間ブラケット	P4～A2	t≦30mm	306	水平・下向き	SM490		

高力ボルト塞ぎ穴材料表							
名称	ボルト長	数量(本)	組数	ボルト総数(本)	単位質量(g/セット)	総質量(kg)	備考
BR1	M22×70	20	1	20	523	10	
	M22×55	14	1	14	478	7	
	M22×70	20	1	20	523	10	
BR2	M22×60	4	1	4	493	2	
	M22×55	10	1	10	478	5	
	M22×70	20	3	60	523	30	
BR3～BR5	M22×65	2	3	6	508	3	
	M22×60	2	3	6	493	3	
	M22×55	10	3	30	478	15	
	M22×70	20	1	20	523	10	
BR6	M22×60	4	1	4	493	2	
	M22×55	10	1	10	478	5	
	M22×70	20	3	60	538	30	
BR7～BR9	M22×60	4	3	12	523	6	
	M22×55	10	3	30	493	15	
合計				306		153	

塗装数量表			
	単位	数量	備考
素地調整	m2	43.5	
一般外面	m2	38.8	無機ジンクリッチ
高力ボルト接合部(外面)	m2	4.8	無機ジンクリッチ
高力ボルト頭部	m2	1.5	有機ジンクリッチ

塗装数量表(仮設床版ブラケット撤去後)			
	単位	数量	備考
現場塗装(既設桁部)	m2	6.3	g-3,4種

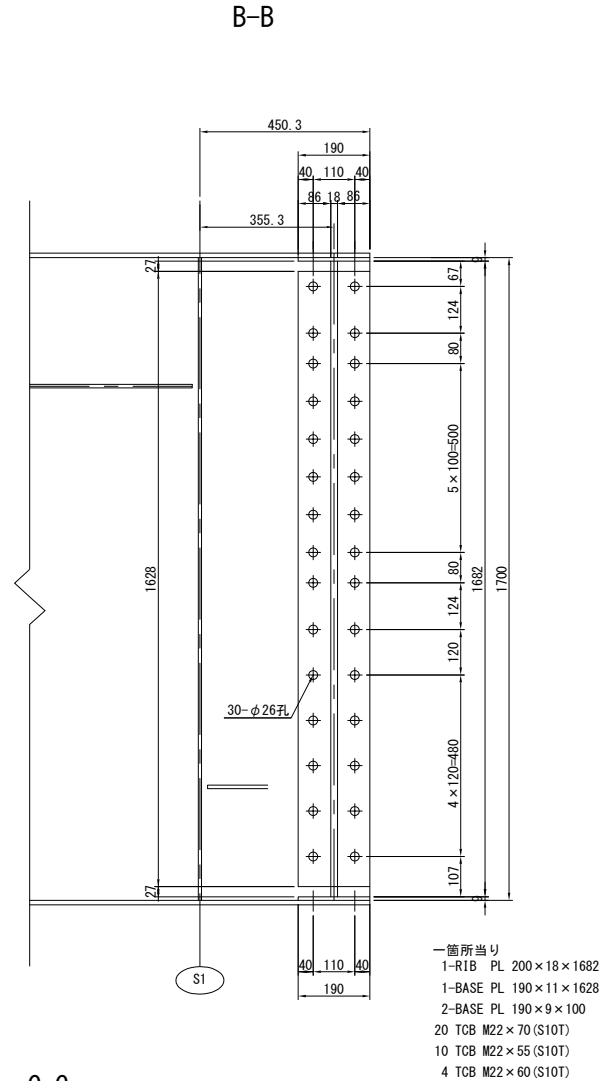
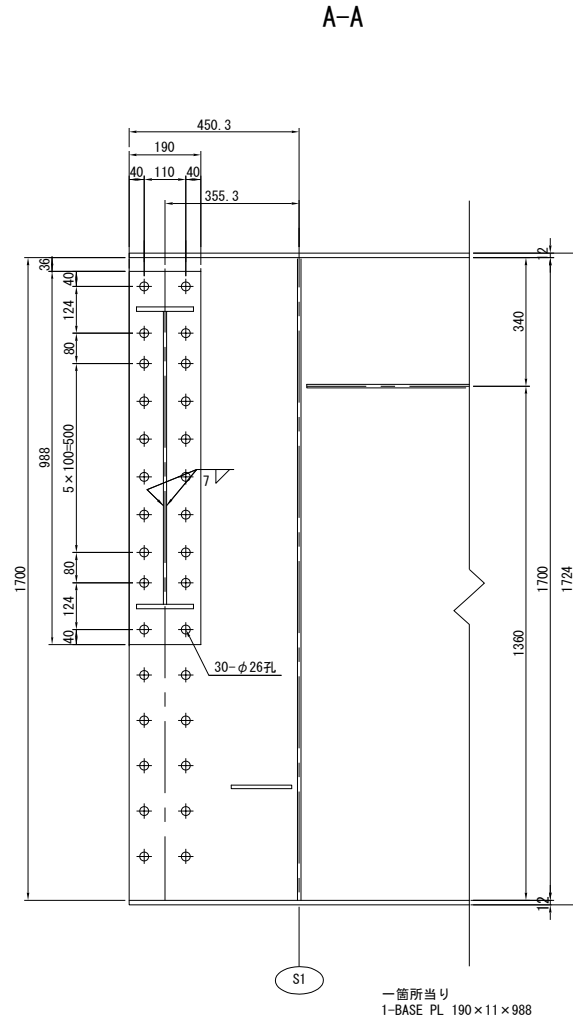
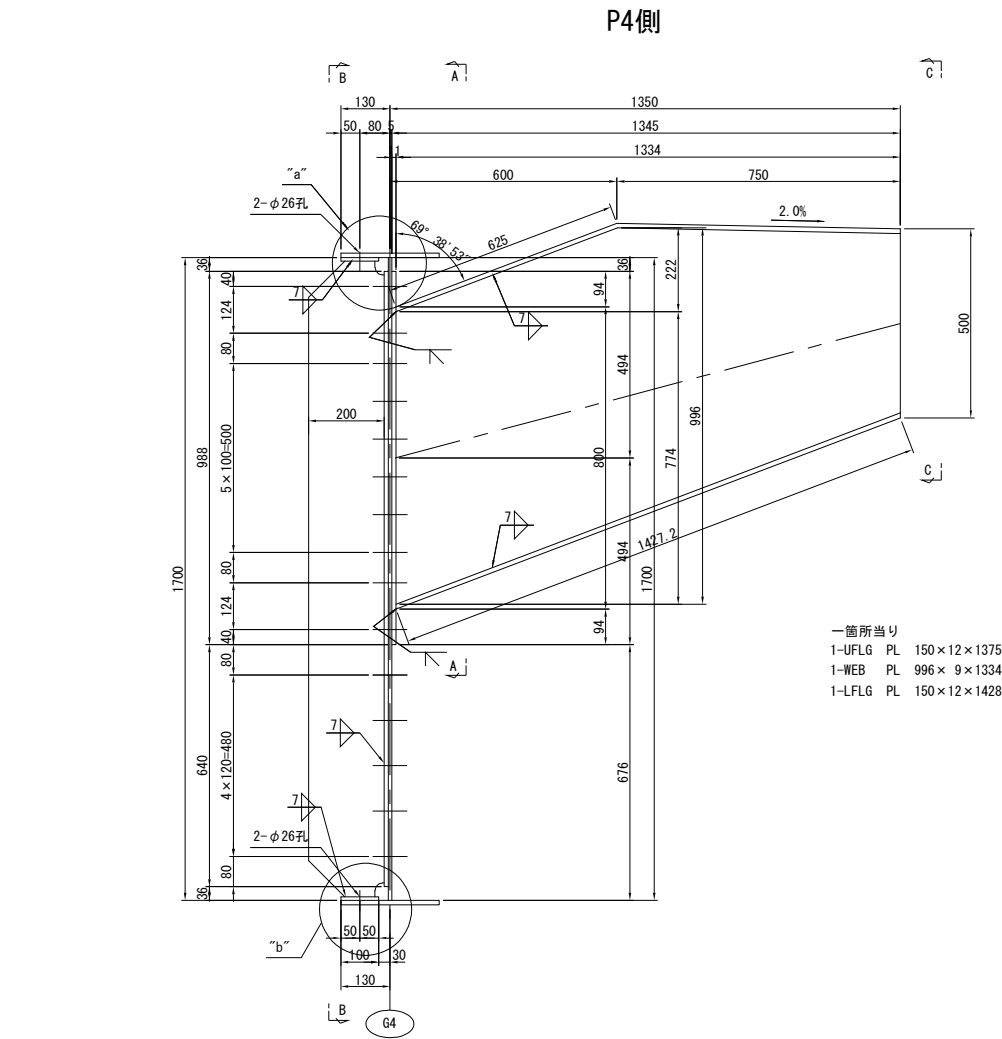
※塗装色は日本塗料工業会標準色07-40X7. 5R4/14(R-赤色)とする。

- 注記
- 特記なき材質はSM400Aとする。
  - 特記なきはスカーラップR35とする。
  - ☆印はトルシア形高力ボルトM22(S10T)を示す。

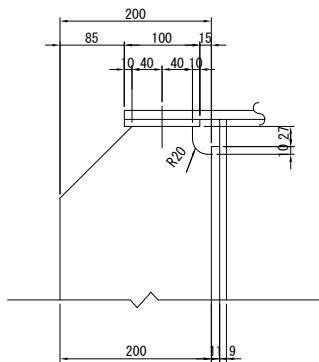
常磐自動車道 宮田川橋床版取替工事			
図面の種類	宮田川橋(下り線) P4～A2間仮設床版ブラケット工詳細図(その1)		
縮尺	図示	図面番号	114 / 165
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		



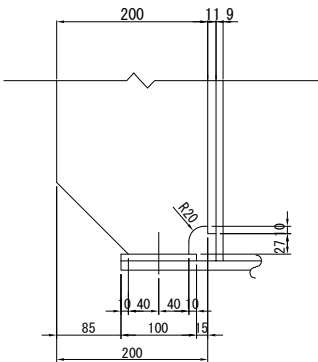
一次施工



“a”部詳細図 S=1:10



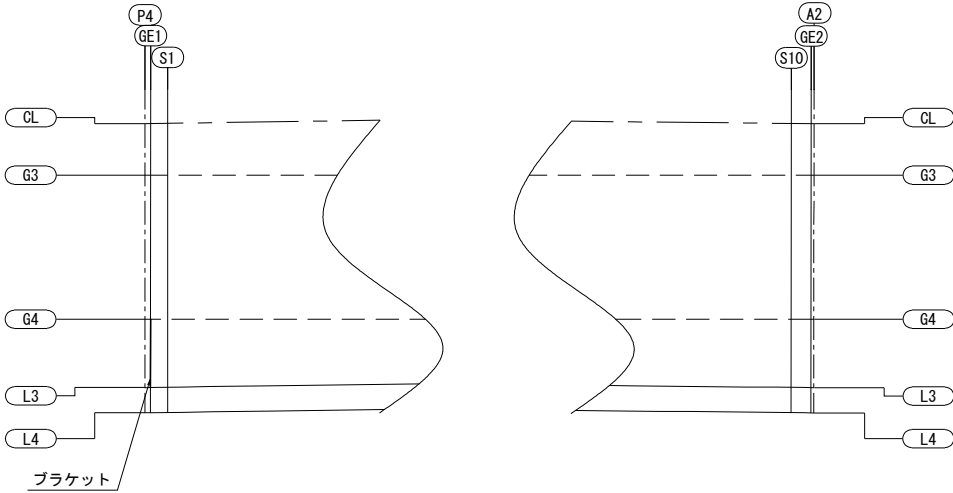
“b”部詳細図 S=1:10



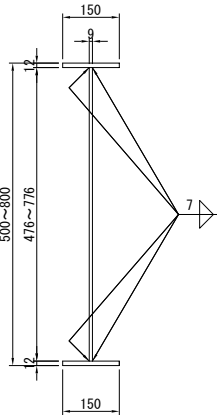
鋼桁孔明工材料表

部材名	位置	板厚 (mm)	箇所数 (箇所)	削孔方向	鋼桁の材質	備 考
端部ブラケット	P4～A2	t≤30mm	34	水平・下向き	SM490	

位置図



C-C



塗装数量表

	単位	数量	備 考
素地調整	m2	4.4	
一般外面	m2	3.9	無機ジンクリッチ
高力ボルト接合部 (外面)	m2	0.5	無機ジンクリッチ
高力ボルト頭部	m2	0.2	有機ジンクリッチ

塗装数量表 (仮設床版ブラケット撤去後)

	単位	数量	備 考
現場塗装 (既設桁部)	m2	0.7	g-3.4種

※塗装色は日本塗料工業会標準色07-40X7.5R4/14 (R-赤色) とする。

高力ボルト塞ぎ穴材料表

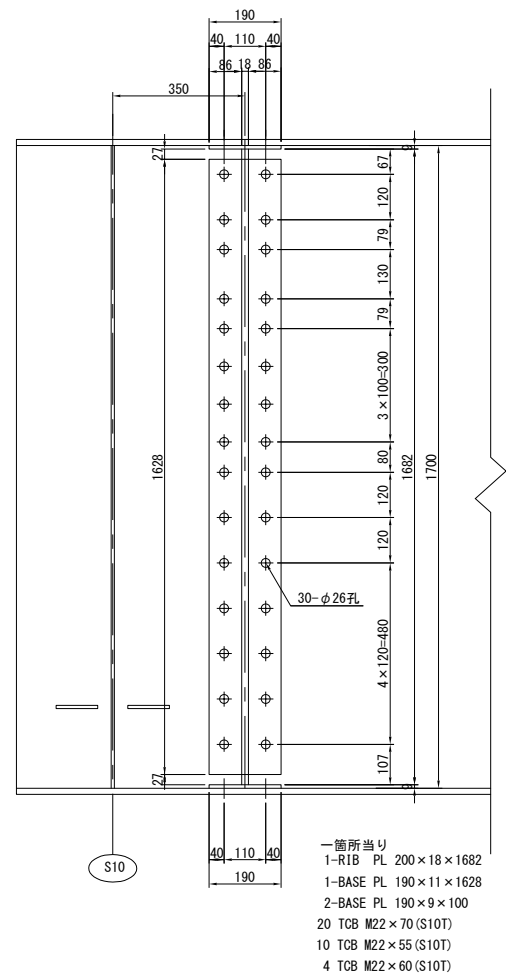
名 称	ボルト長 (本)	数量 (g/セット)	単位質量 (kg)	総質量 (kg)	備 考
BEP4	M22×70	20	523	10	
	M22×60	4	493	2	
	M22×55	10	478	5	
合 計				17	

注記

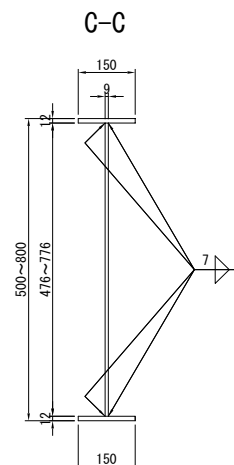
- 特記なき材質はSM400Aとする。
- 特記なきはスカーラップR35とする。
- φ印はトルシア形高力ボルトM22 (S10T) を示す。

常磐自動車道 宮田川橋床版取替工事				
図面の種類	宮田川橋 (下り線) P4～A2間仮設床版ブラケット工詳細図 (その2)			
	縮 尺	図 示	図面番号	115 / 165
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水 戸 管 理 事 務 所			

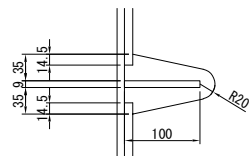
## B-B



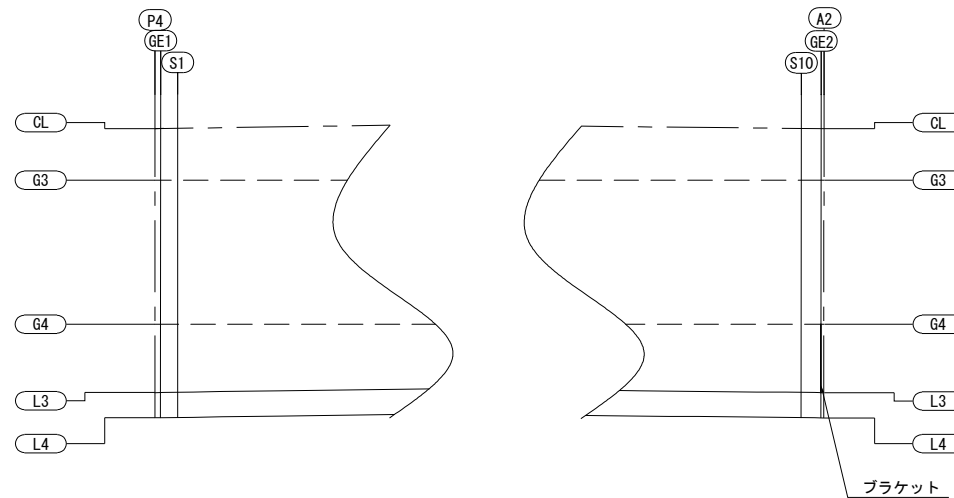
"b"部詳細図 S=1:10



"C"部詳細図 S=1:10



### 位置図




	単位	数量	備 考
現場塗装（既設桁部）	m2	0.7	g-3, 4種

※塗装色は日本塗料工業会標準色07-40X7. 5R/14 (R=赤色) とする。

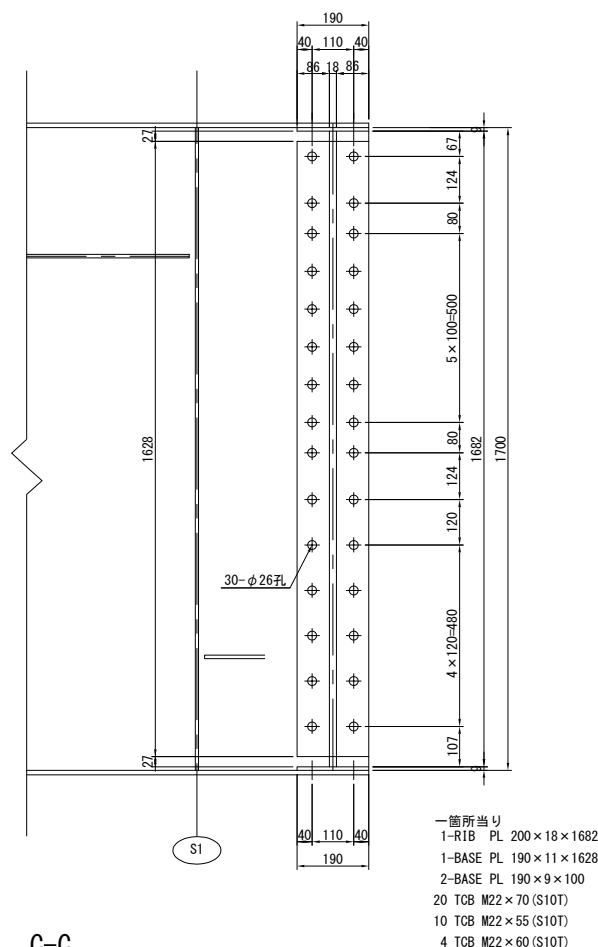
名 称	ボルト長	数量 (本)	単位質量 (g/セット)	総質量 (kg)	備 考
BEA2	M22×70	20	523	10	
	M22×60	4	493	2	
	M22×55	10	478	5	
合 計				17	

常磐自動車道			
宮田川橋床版取替工事			
図面の種類	宮田川橋(下り線) P4～A2間仮設床版プレート工詳細図(その3)		
縮 尺	図 示	図面番号	116 / 165
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

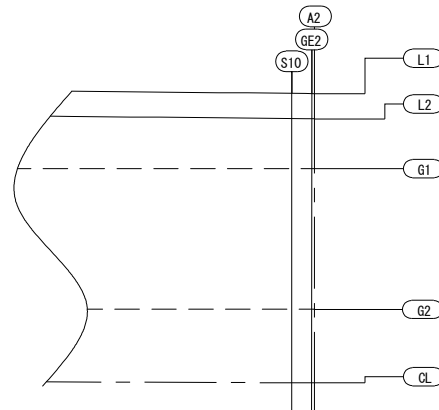
注記

1. 特記なき材質はSM400Aとする。
2. 特記なきはスカーラップR35とする。
3. 印はトルシア形高力ボルトM22 (S10T)を示す。

## B-B



“b”部詳細図 S=1:10



## 位置図

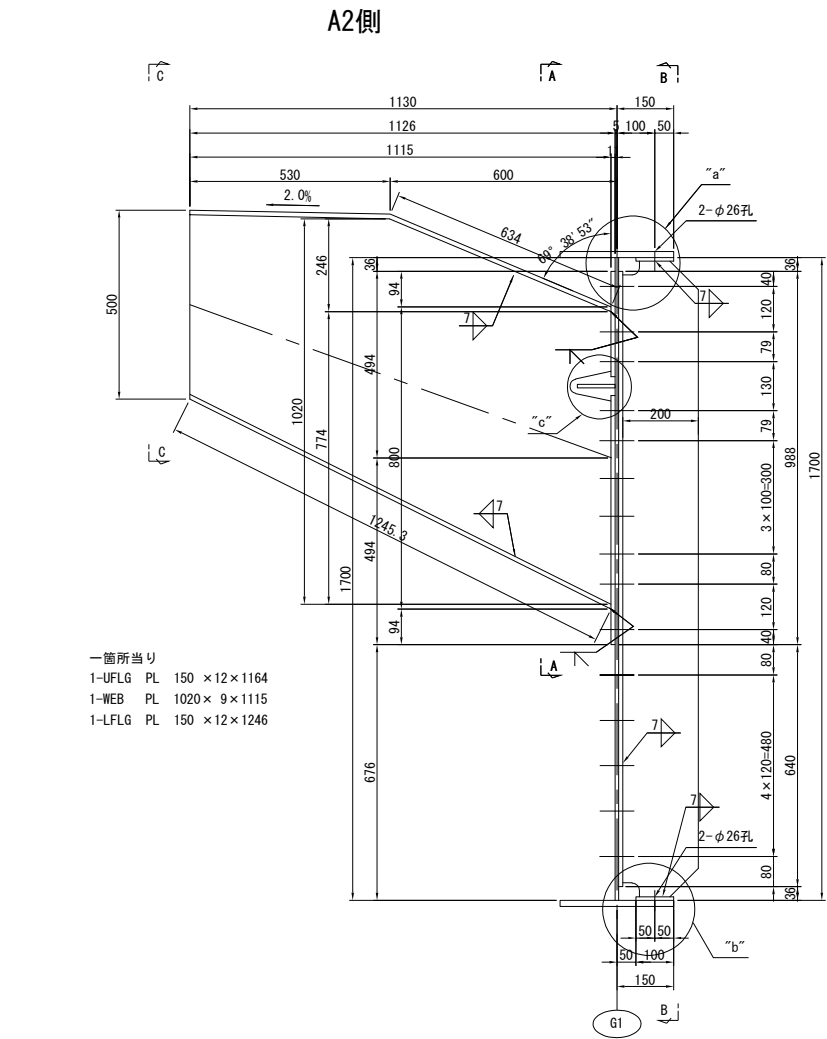
名 称	ボルト長	数 量	単位質量	総質量	備 考
		(本)	(g/セット)	(kg)	
BEP4	M22×70	20	523	10	
	M22×60	4	493	2	
	M22×55	10	478	5	
合 計				17	

常磐自動車道			
宮田川橋床版取替工事			
図面の種類	宮田川橋(下り線) P4～A2間仮設床版プレート工詳細図(その4)		
縮 尺	図 示	図面番号	117 / 165
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

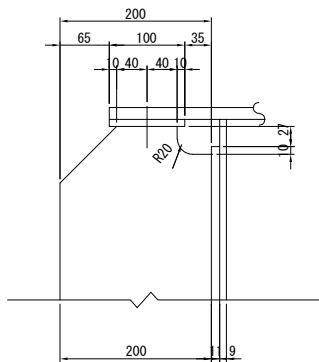
注記

1. 特記なき材質はSM400Aとする。
2. 特記なきはスカーラップR35とする。
3.  $\phi$ 印はトルシア形高力ボルトM22(S10T)を示す。

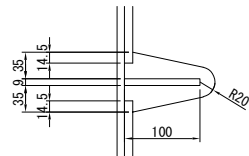
二次施工



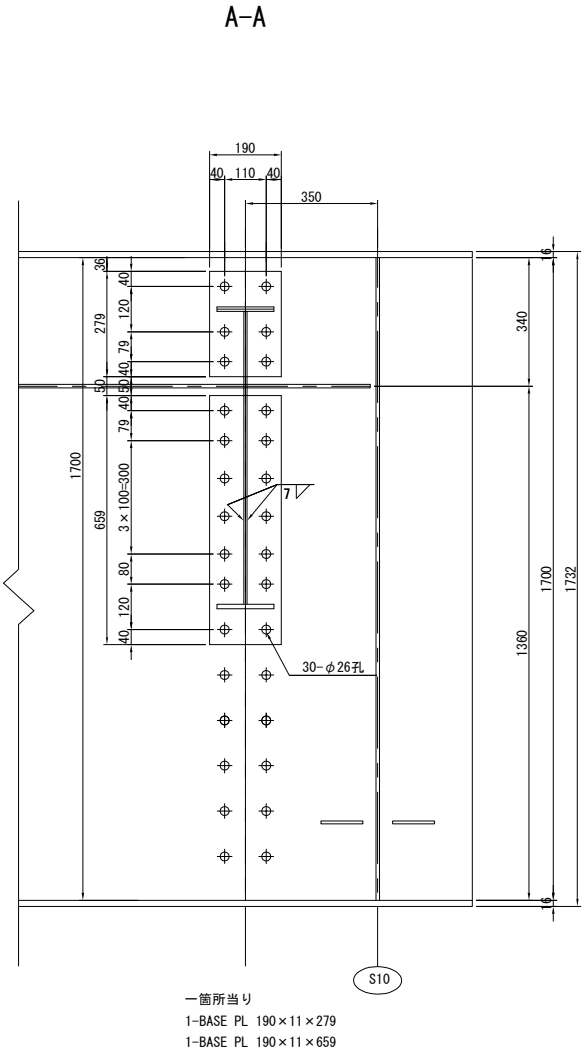
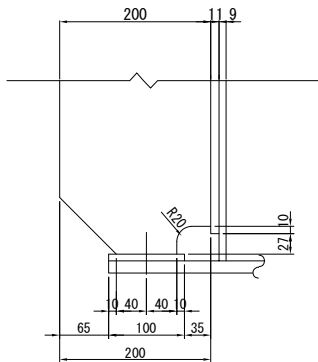
“a”部詳細図 S=1:10



“c”部詳細図 S=1:10

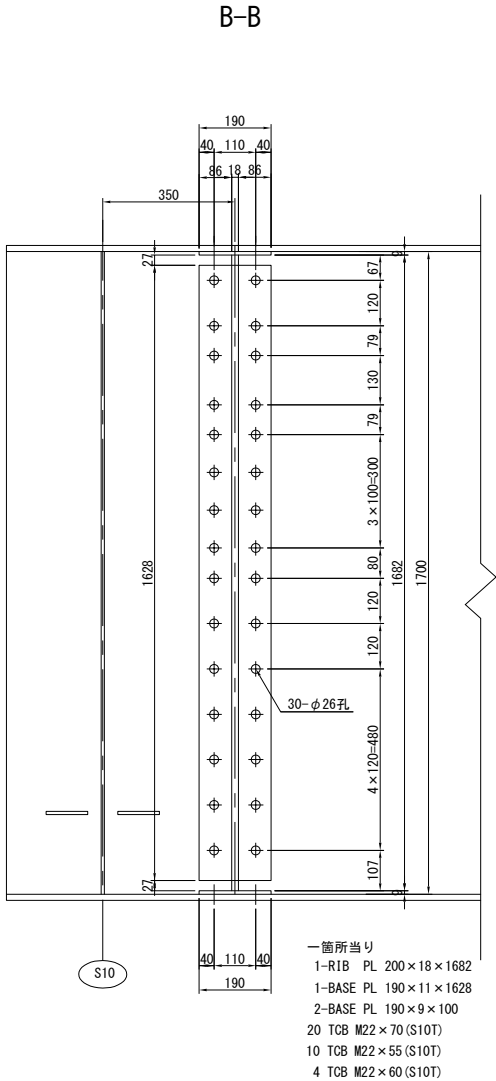
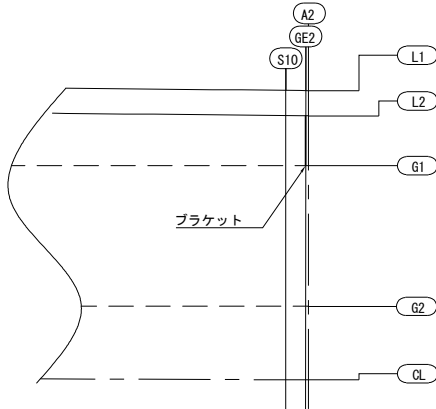
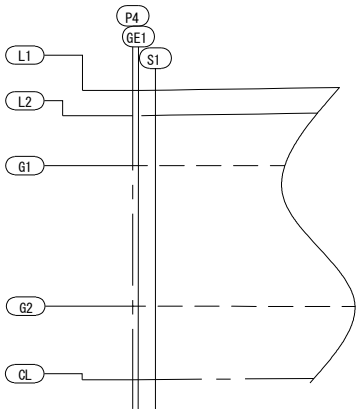


“b”部詳細図 S=1:10

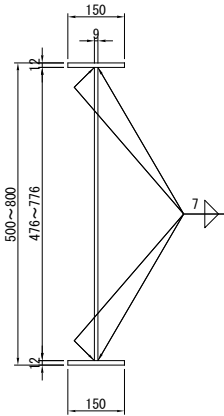


鋼析孔明工材料表						
部材名	位置	板厚 (mm)	箇所数 (箇所)	削孔方向	鋼析の材質	備 考
端部ブラケット	P4～A2	t ≤ 30mm	34	水平・下向き	SM490	

位置図



C-C



塗装数量表			
	単位	数量	備 考
素地調整	m2	4.0	
一般外面	m2	3.4	無機ジンクリッチ
高力ボルト接合部 (外面)	m2	0.5	無機ジンクリッチ
高力ボルト頭部	m2	0.2	有機ジンクリッチ

塗装数量表 (仮設床版ブラケット撤去後)			
	単位	数量	備 考
現場塗装 (既設桁部)	m2	0.7	g-3.4種

※塗装色は日本塗料工業会標準色07-40X7.5R4/14 (R=赤色) とする。

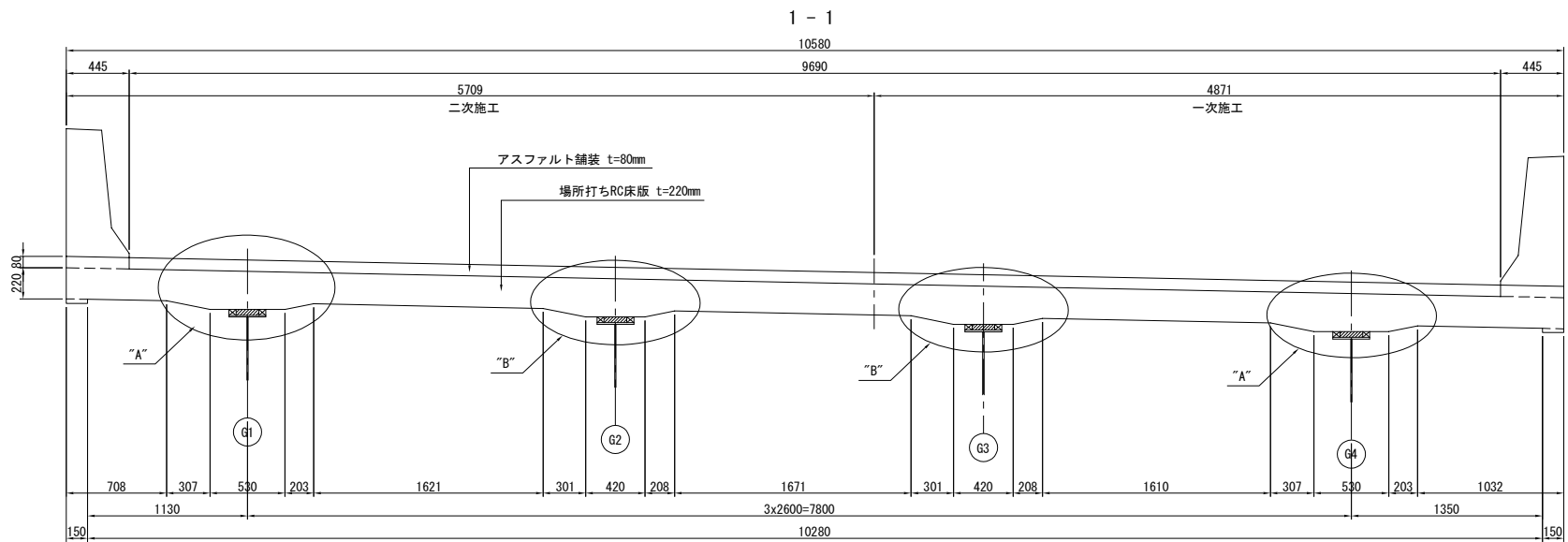
高力ボルト塞ぎ穴材料表				
名 称	ボルト長 (本)	数量	単位質量 (g/セット)	総質量 (kg)
BEA2	M22 × 70	20	523	10
	M22 × 60	4	493	2
	M22 × 55	10	478	5
合 計				17

- 注記  
1. 特記なき材質はSM400Aとする。  
2. 特記なきはスカーラップR35とする。  
3. 中印はトルシア形高力ボルトM22 (S10T) を示す。

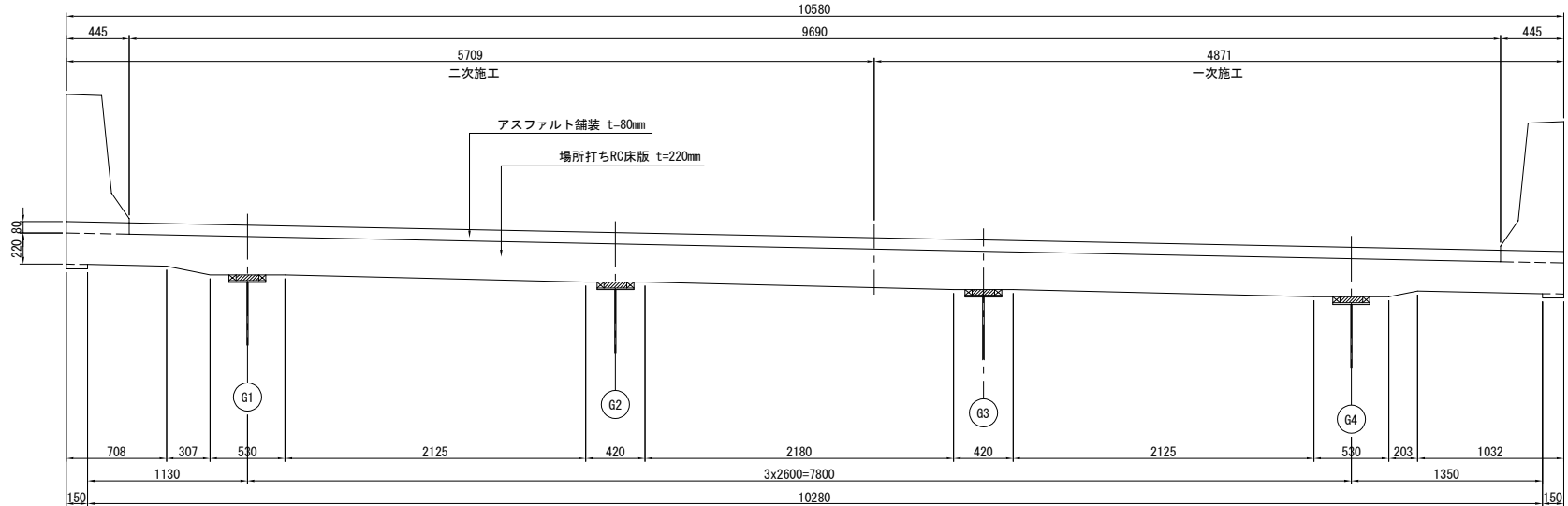
常磐自動車道 宮田川橋床版取替工事			
図面の種類	宮田川橋 (下り線) P4～A2間仮設床版ブラケット工詳細図 (その5)		
縮 尺	図 示	図面番号	118 / 165
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	水 戸 管 理 事 務 所		

宮田川橋(下り線) P4～A2間場所打ちRC床版構造図(その1) S=1:50

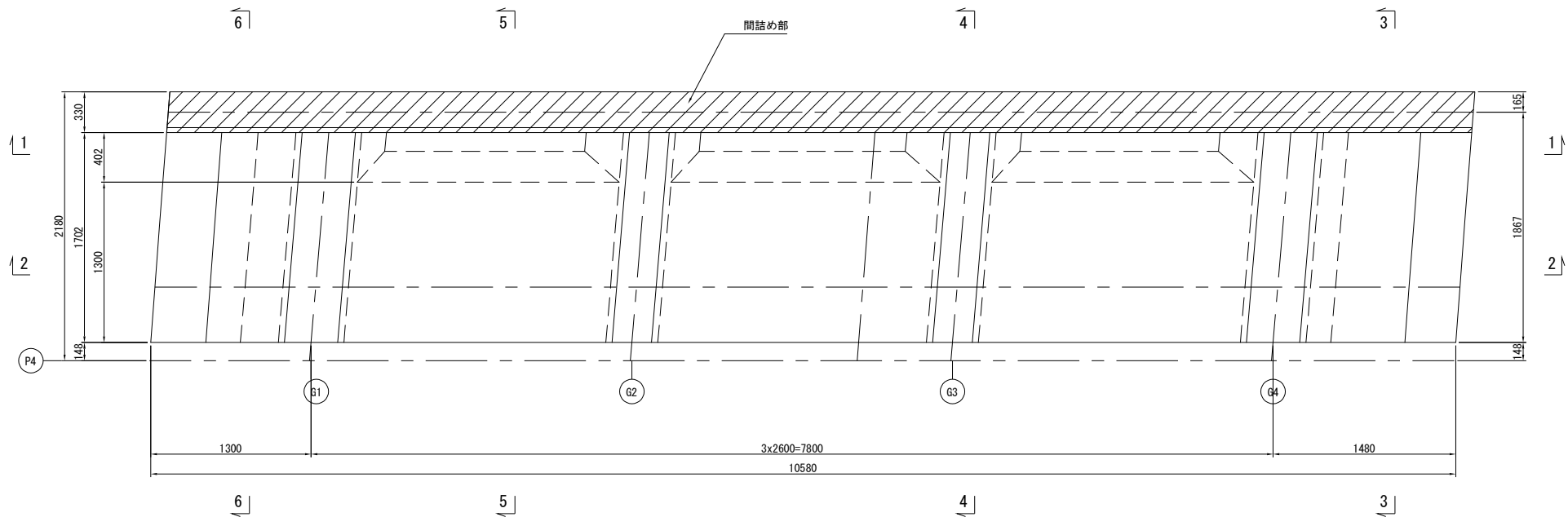
断面図【P4】 S=1:50



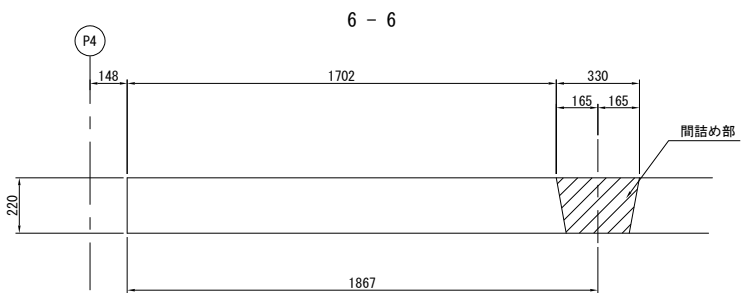
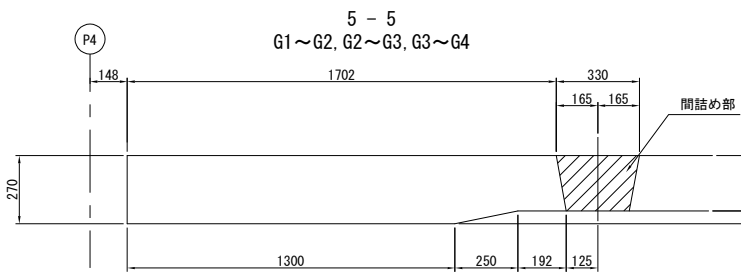
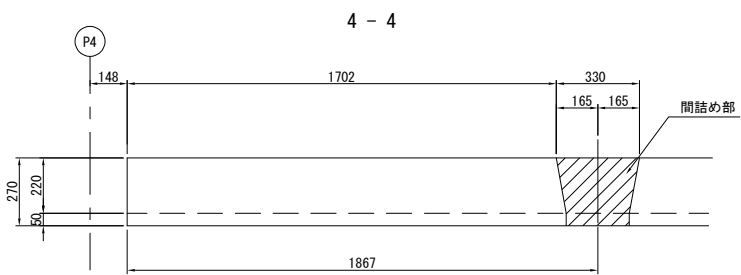
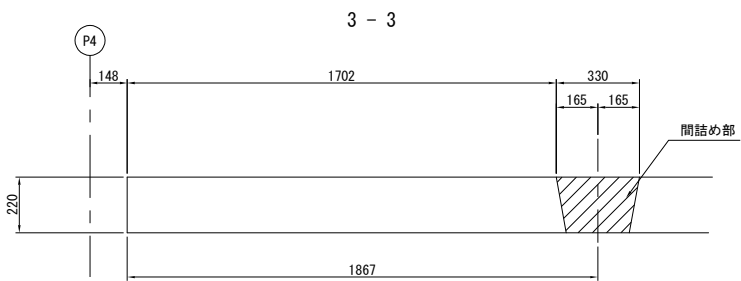
2 - 2



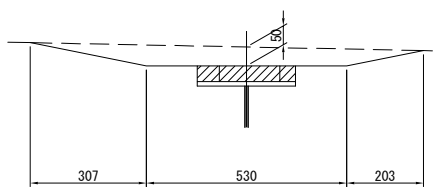
平面図【P4】 S=1:50



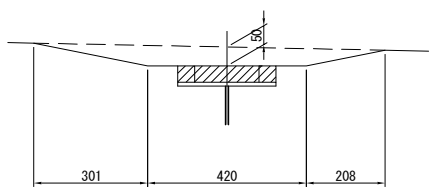
断面図 S=1:30



“A”部詳細図 S=1:20



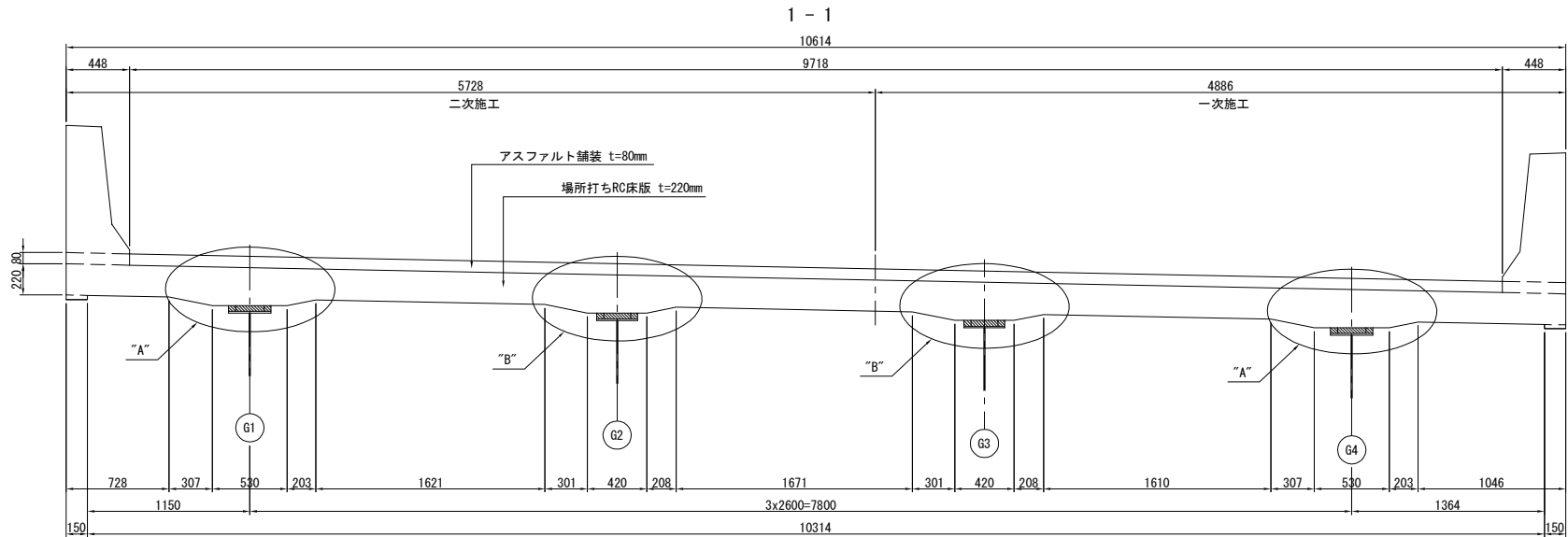
“B”部詳細図 S=1:20



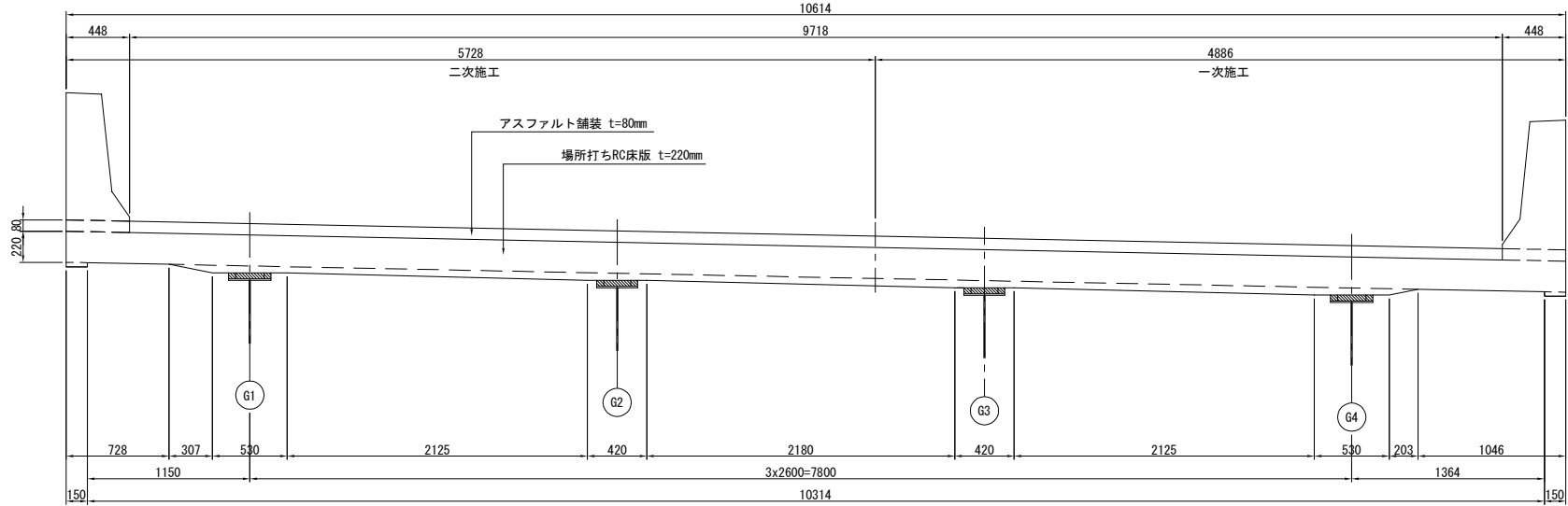
常磐自動車道 宮田川橋床版取替工事			
図面の種類	宮田川橋(下り線) P4～A2間場所打ちRC床版構造図(その1)		
縮尺	図示	図面番号	119 / 165
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

宮田川橋(下り線) P4～A2間場所打ちRC床版構造図(その2) S=1:50

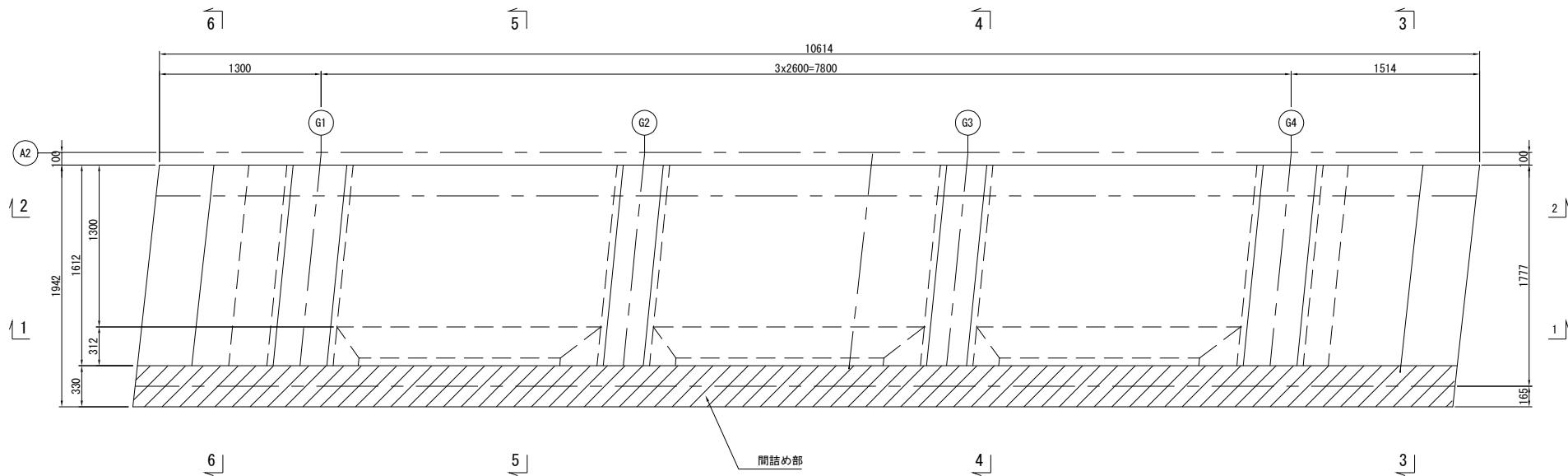
断面図【A2】 S=1:50



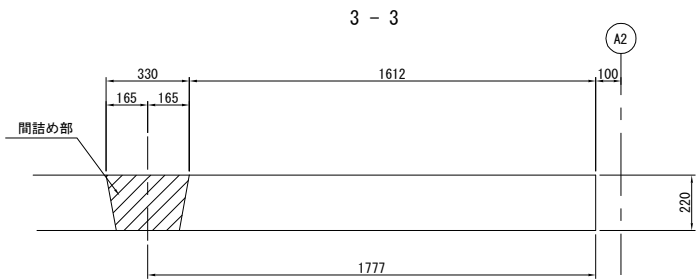
2 - 2



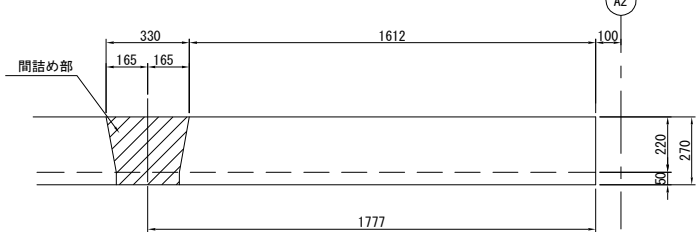
平面図【A2】 S=1:50



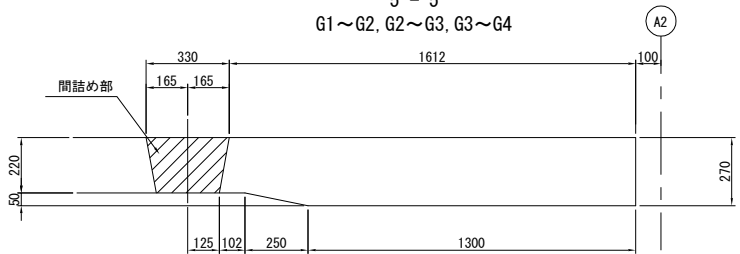
断面図 S=1:30



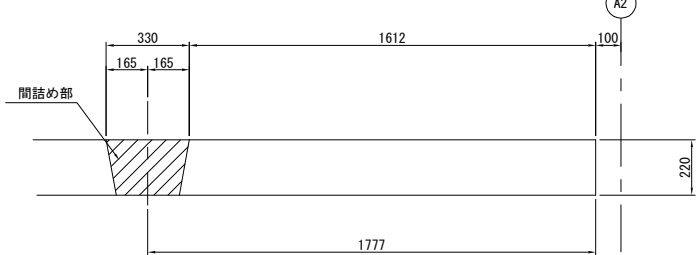
4 - 4



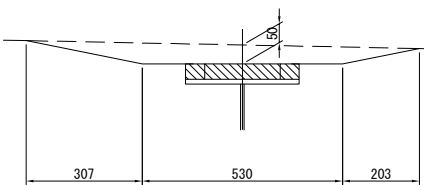
5 - 5  
G1～G2, G2～G3, G3～G4



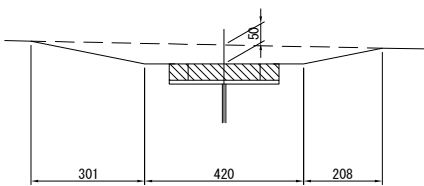
6 - 6



“A”部詳細図 S=1:20

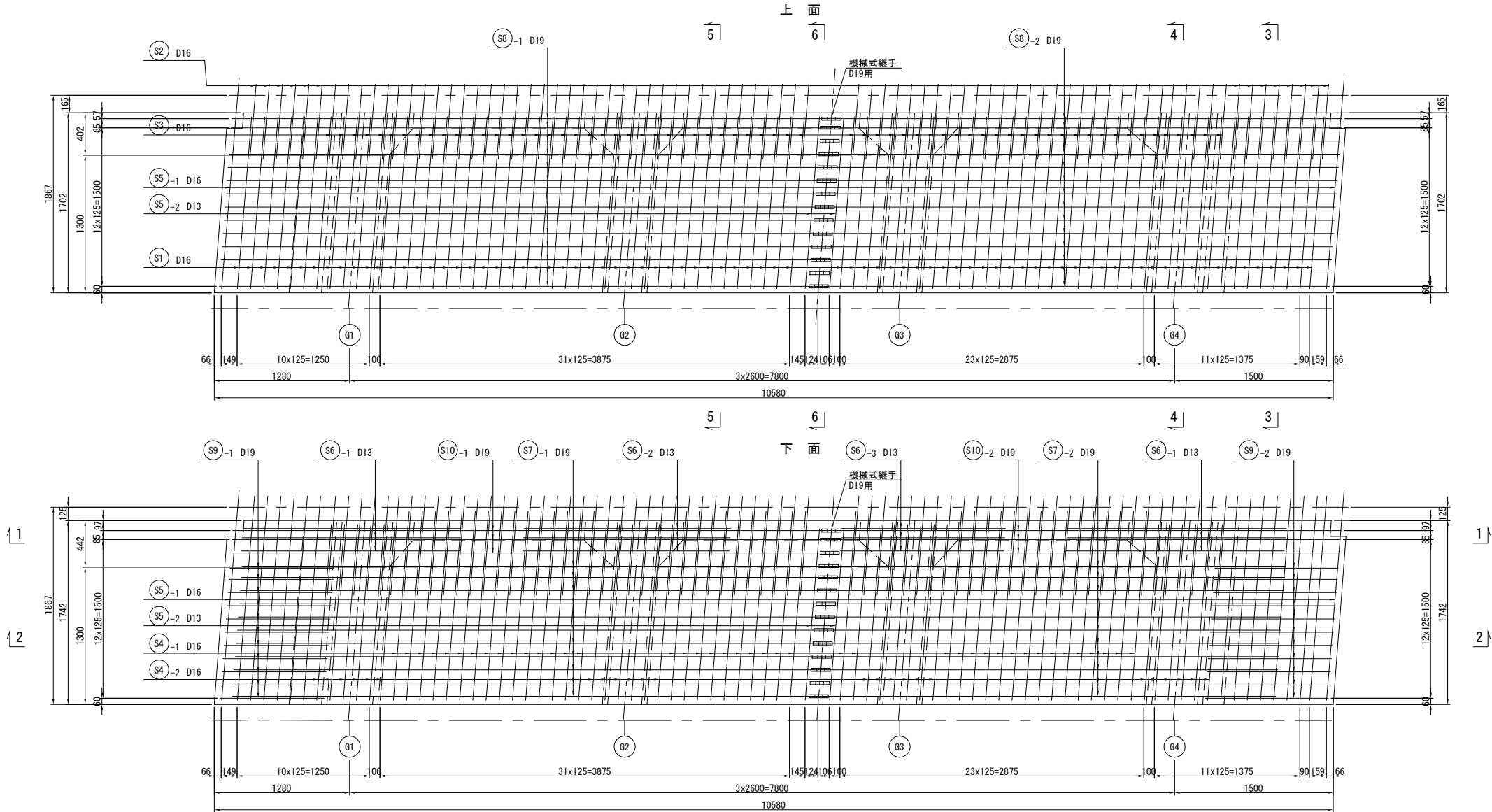


“B”部詳細図 S=1:20

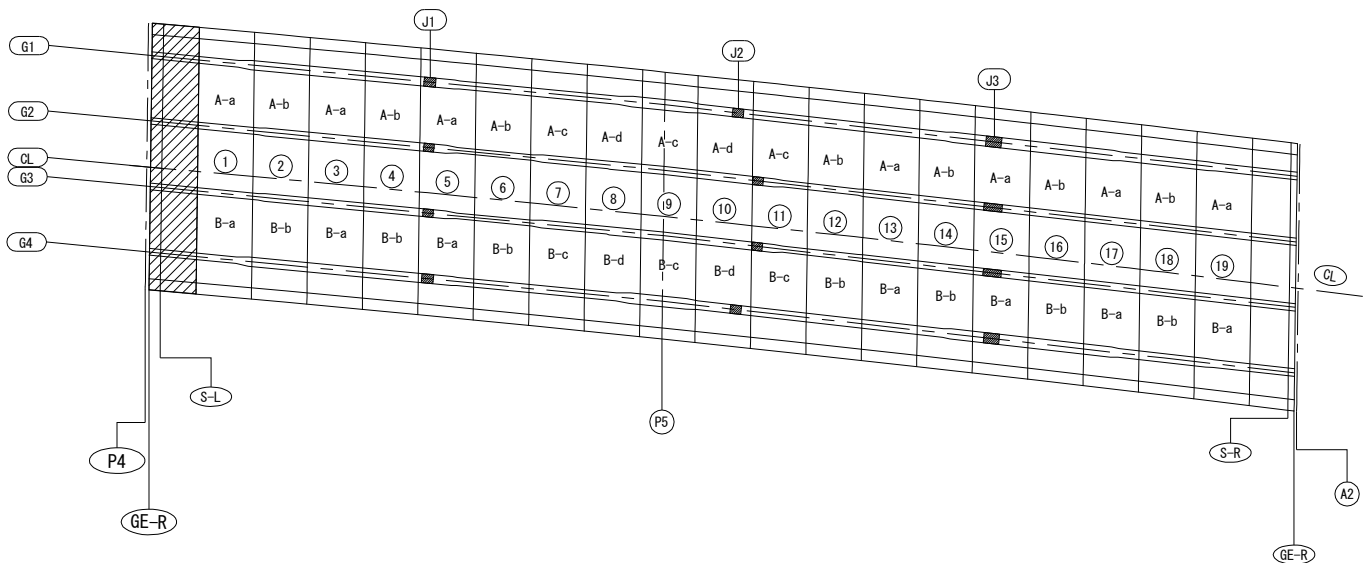


常磐自動車道 宮田川橋床版取替工事			
図面の種類	宮田川橋(下り線) P4～A2間場所打ちRC床版構造図(その2)		
縮 尺	図 示	図面番号	120 / 165
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水 戸 管 理 事 務 所		

平面図【P4】 S=1:50



位 置 図



鉄筋曲げ加工表

主 筋

$\theta \leq 90^\circ$  R=3φ

$\theta > 90^\circ$  R=5.5φ

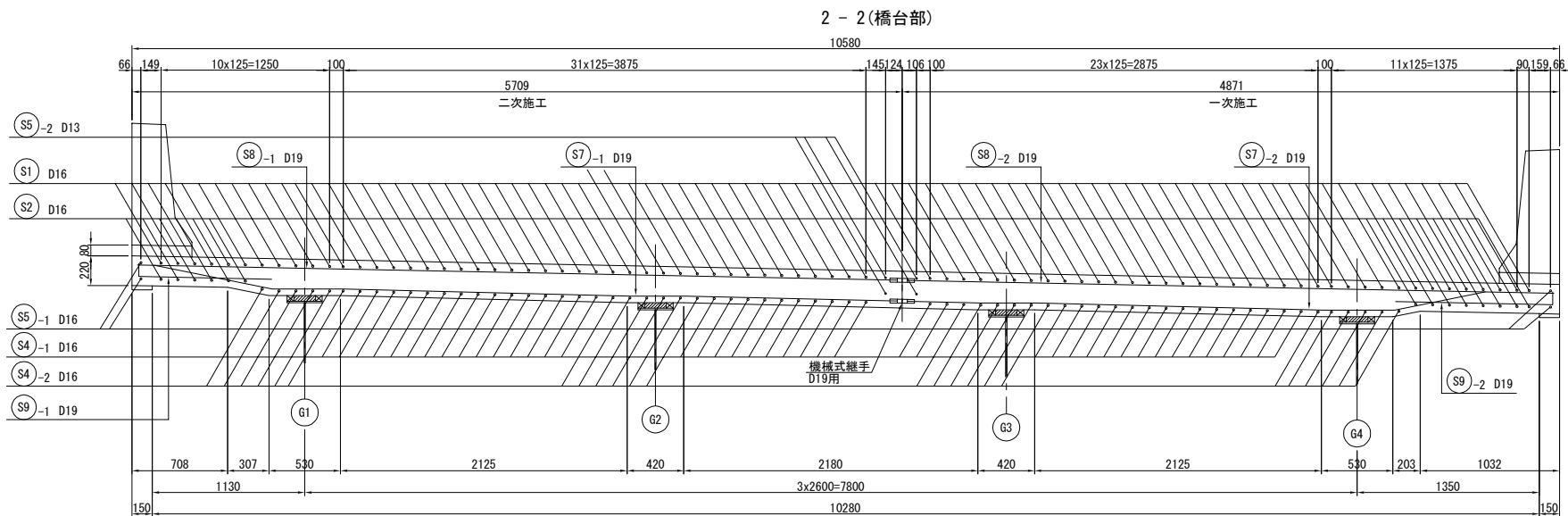
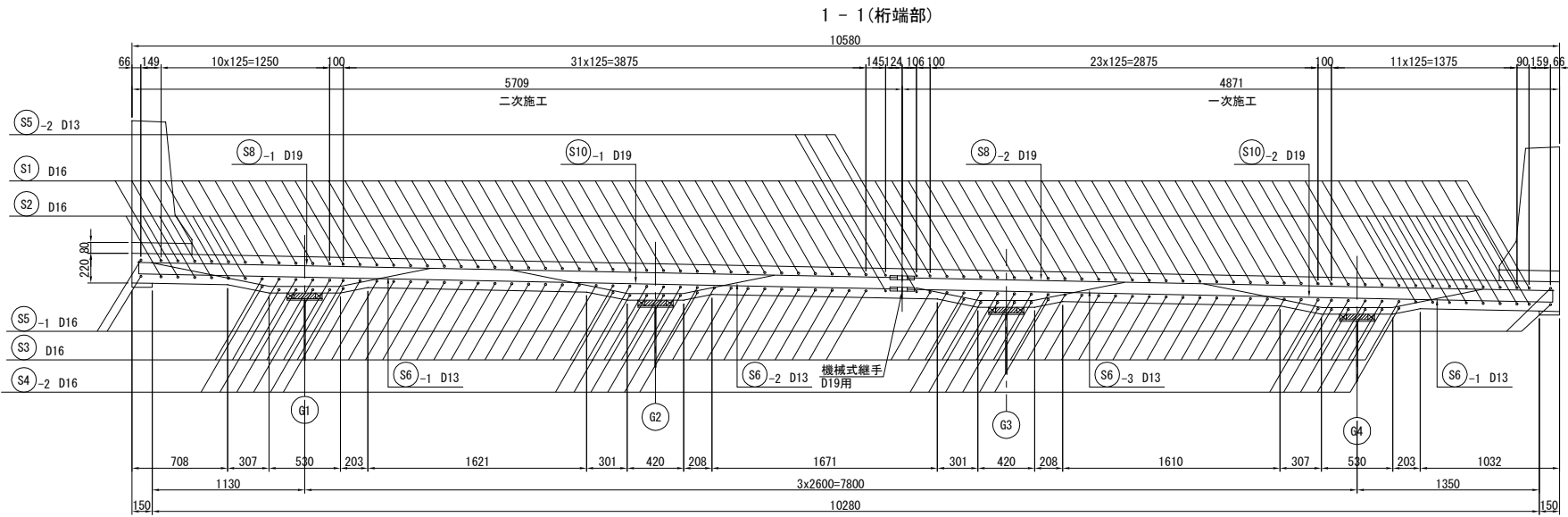
$\Delta L = 2 \times L - a$

径	$\theta = 90^\circ$			$\theta = 100^\circ$			$\theta = 135^\circ$			$\theta = 170^\circ$		
	R	a	ΔL	R	a	ΔL	R	a	ΔL	R	a	ΔL
D13	39	61	17	71.5	100	20	71.5	56	3	71.5	12	0
D16	48	75	21	88	123	25	88	69	4	88	15	0
D19	57	90	24	104.5	146	29	104.5	82	4	104.5	18	0

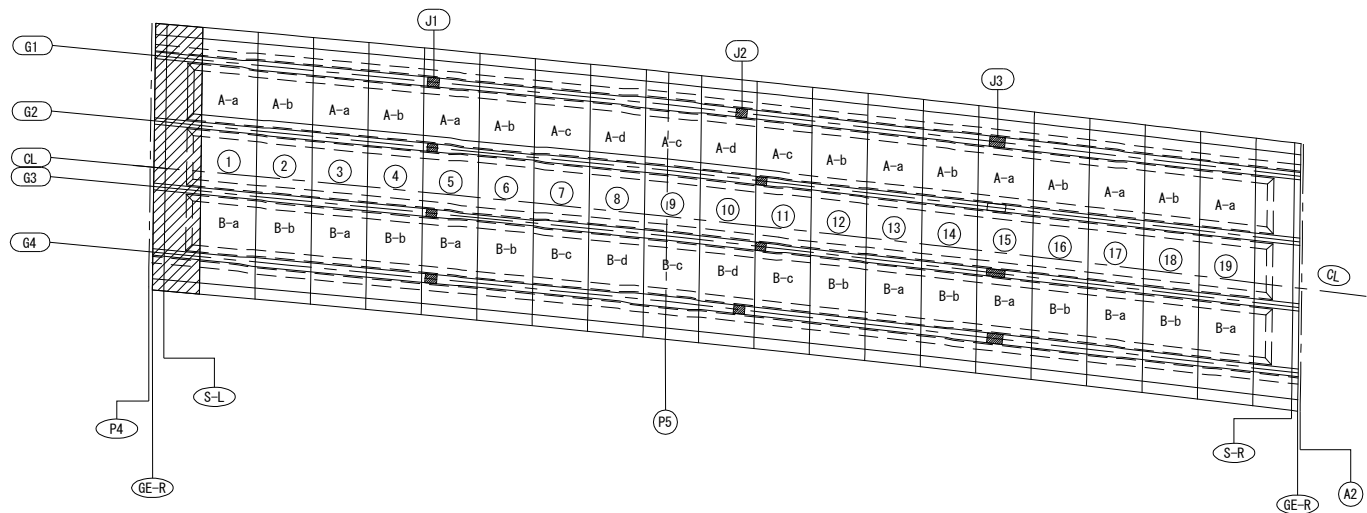
注記  
1. 鉄筋はエポキシ樹脂塗装とする。  
但し、機械式継手挿入部は無塗装とする。

常磐自動車道			
宮田川橋床版取替工事			
図面の種類	宮田川橋(下り線) P4～A2間場所打ちRC床版配筋図(その1)		
縮 尺	図 示	図面番号	121 / 165
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水 戸 管 理 事 務 所		

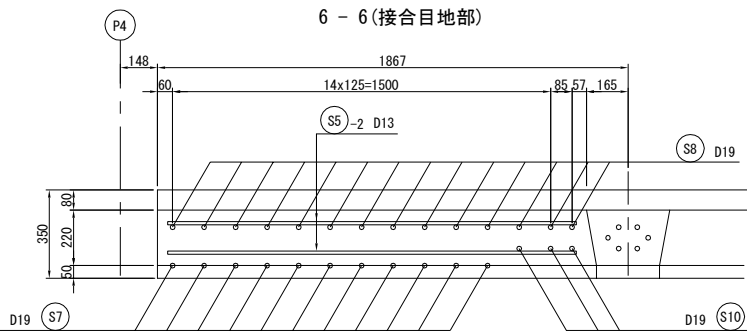
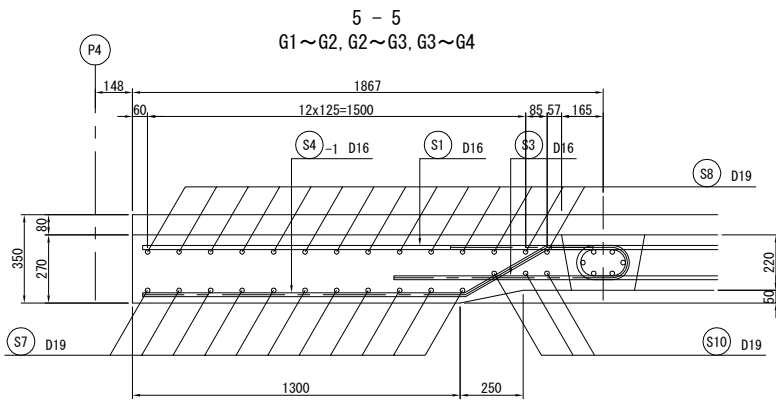
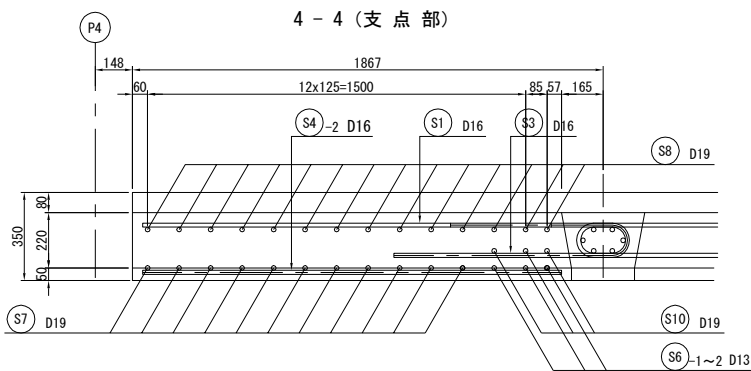
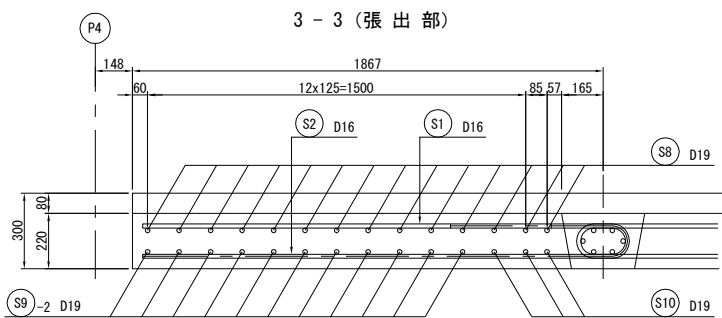
断面図【P4】 S= 1:50



位置図



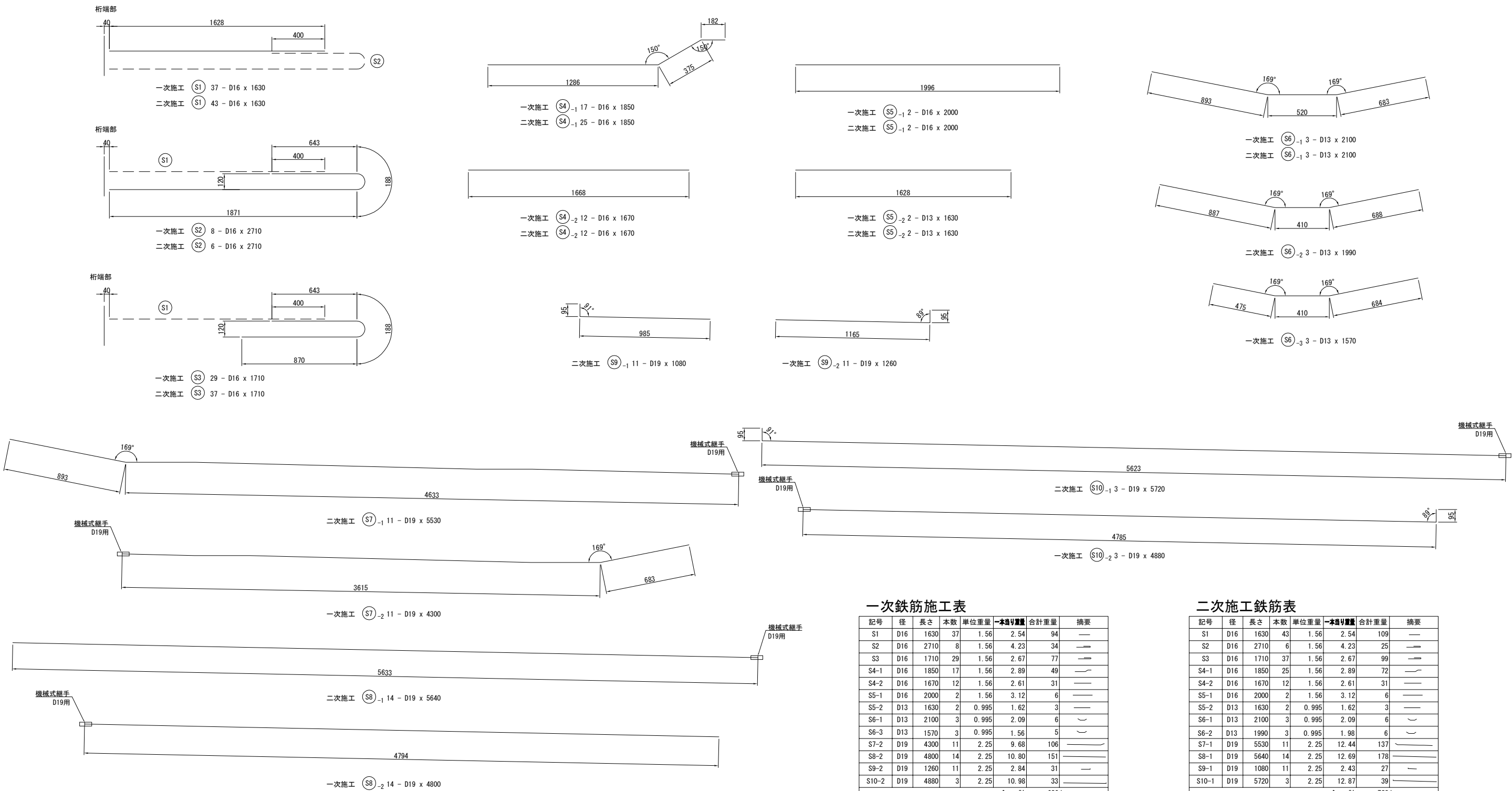
断面図 S=1:30



注記  
1. 鉄筋はエポキシ樹脂塗装とする。  
但し、機械式継手挿入部は無塗装とする。

常磐自動車道			
宮田川橋床版取替工事			
図面の種類	宮田川橋(下り線) P4～A2間場所打ちRC床版配筋図(その2)		
縮 尺	図 示	図面番号	122 / 165
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水 戸 管 理 事 務 所		





鉄筋曲げ加工表

The diagram illustrates a bent reinforcement bar with a 90-degree bend. The bar has a diameter φ. The bend is defined by a radius R. The distance from the end of the bar to the start of the bend is 'a'. The total length of the bar is ΔL. The angle of the bend is θ.

主筋

$\theta \leq 90^\circ$  R=3φ

$\theta > 90^\circ$  R=5.5φ

$\Delta L = 2 \times L - a$

径	$\theta = 90^\circ$			$\theta = 100^\circ$			$\theta = 135^\circ$			$\theta = 170^\circ$		
	R	a	ΔL	R	a	ΔL	R	a	ΔL	R	a	ΔL
D13	39	61	17	71.5	100	20	71.5	56	3	71.5	12	0
D16	48	75	21	88	123	25	88	69	4	88	15	0
D19	57	90	24	104.5	146	29	104.5	82	4	104.5	18	0

一次鉄筋施工表

記号	径	長さ	本数	単位重量	一本当り重量	合計重量	摘要
S1	D16	1630	37	1.56	2.54	94	—
S2	D16	2710	8	1.56	4.23	34	—
S3	D16	1710	29	1.56	2.67	77	—
S4-1	D16	1850	17	1.56	2.89	49	—
S4-2	D16	1670	12	1.56	2.61	31	—
S5-1	D16	2000	2	1.56	3.12	6	—
S5-2	D13	1630	2	0.995	1.62	3	—
S6-1	D13	2100	3	0.995	2.09	6	—
S6-3	D13	1570	3	0.995	1.56	5	—
S7-2	D19	4300	11	2.25	9.68	106	—
S8-2	D19	4800	14	2.25	10.80	151	—
S9-2	D19	1260	11	2.25	2.84	31	—
S10-2	D19	4880	3	2.25	10.98	33	—
合 計						626 kg	
						D13 (SD345)	14 kg
						D16 (SD345)	291 kg
						D19 (SD345)	321 kg
						機械式継手 D19用	28 組

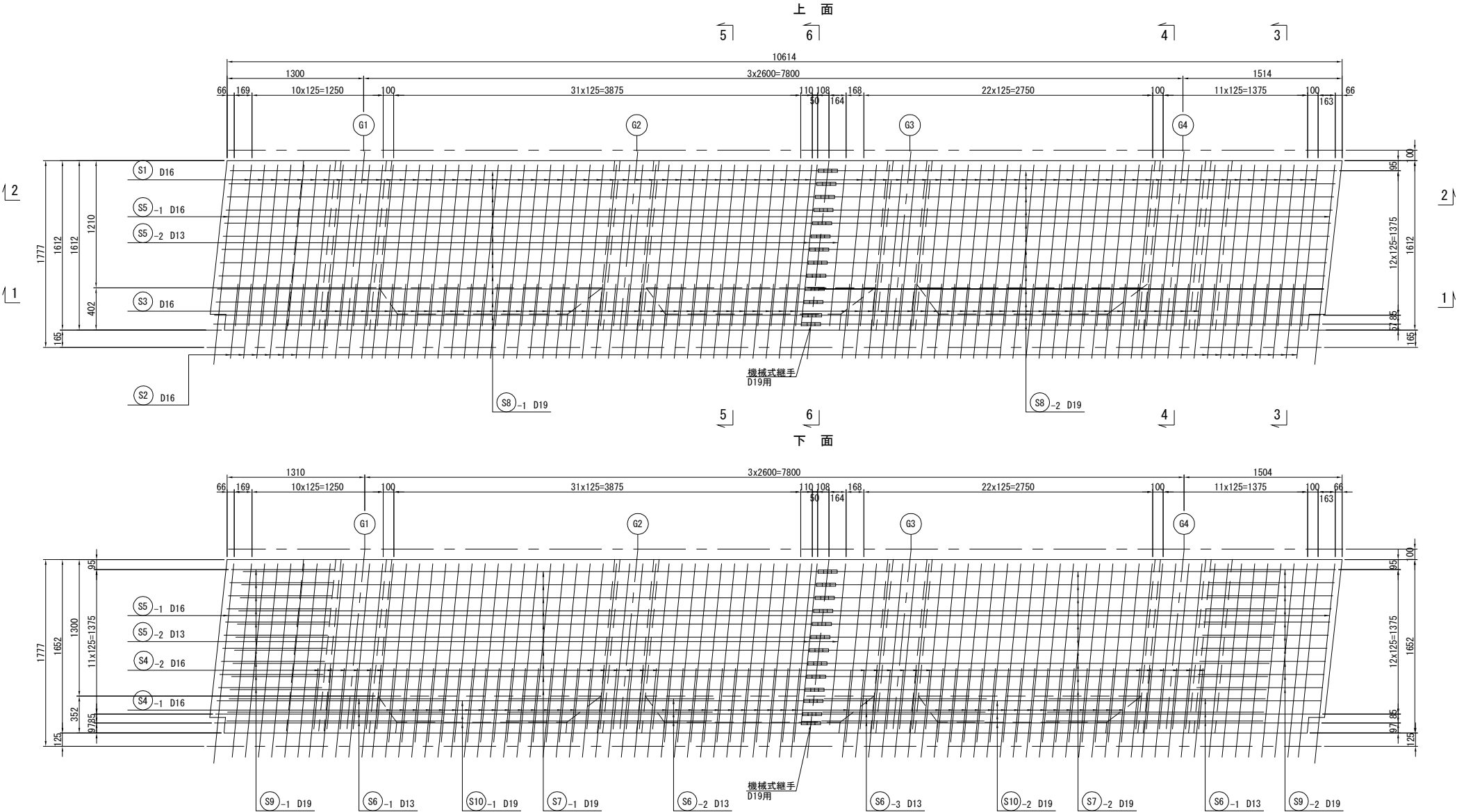
二次施工鉄筋表

記号	径	長さ	本数	単位重量	一本当り重量	合計重量	摘要
S1	D16	1630	43	1.56	2.54	109	—
S2	D16	2710	6	1.56	4.23	25	—
S3	D16	1710	37	1.56	2.67	99	—
S4-1	D16	1850	25	1.56	2.89	72	—
S4-2	D16	1670	12	1.56	2.61	31	—
S5-1	D16	2000	2	1.56	3.12	6	—
S5-2	D13	1630	2	0.995	1.62	3	—
S6-1	D13	2100	3	0.995	2.09	6	—
S6-2	D13	1990	3	0.995	1.98	6	—
S7-1	D19	5530	11	2.25	12.44	137	—
S8-1	D19	5640	14	2.25	12.69	178	—
S9-1	D19	1080	11	2.25	2.43	27	—
S10-1	D19	5720	3	2.25	12.87	39	—
合 計						738 kg	
						D13 (SD345)	15 kg
						D16 (SD345)	342 kg
						D19 (SD345)	381 kg
						機械式継手 D19用	28 組

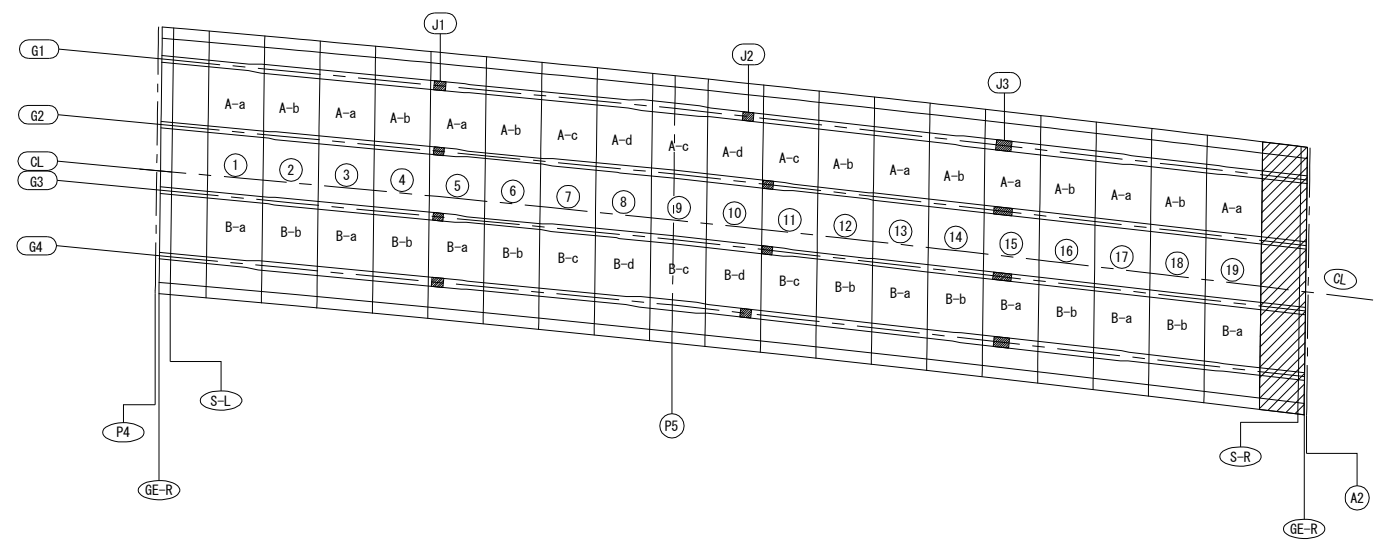
注記  
1. 鉄筋はエポキシ樹脂塗装とする。  
但し、機械式継手挿入部は無塗装とする。

常磐自動車道			
宮田川橋床版取替工事			
図面の種類	宮田川橋(下り線) P4～A2間場所打ちRC床版配筋図(その3)		
縮 尺	図 示	図面番号	123 / 165
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水 戸 管 理 事 務 所		

平面図【A2】 S=1:50



位置図



鉄筋曲げ加工表

主筋

$\theta \leq 90^\circ$   $R=3\phi$

$\theta > 90^\circ$   $R=5.5\phi$

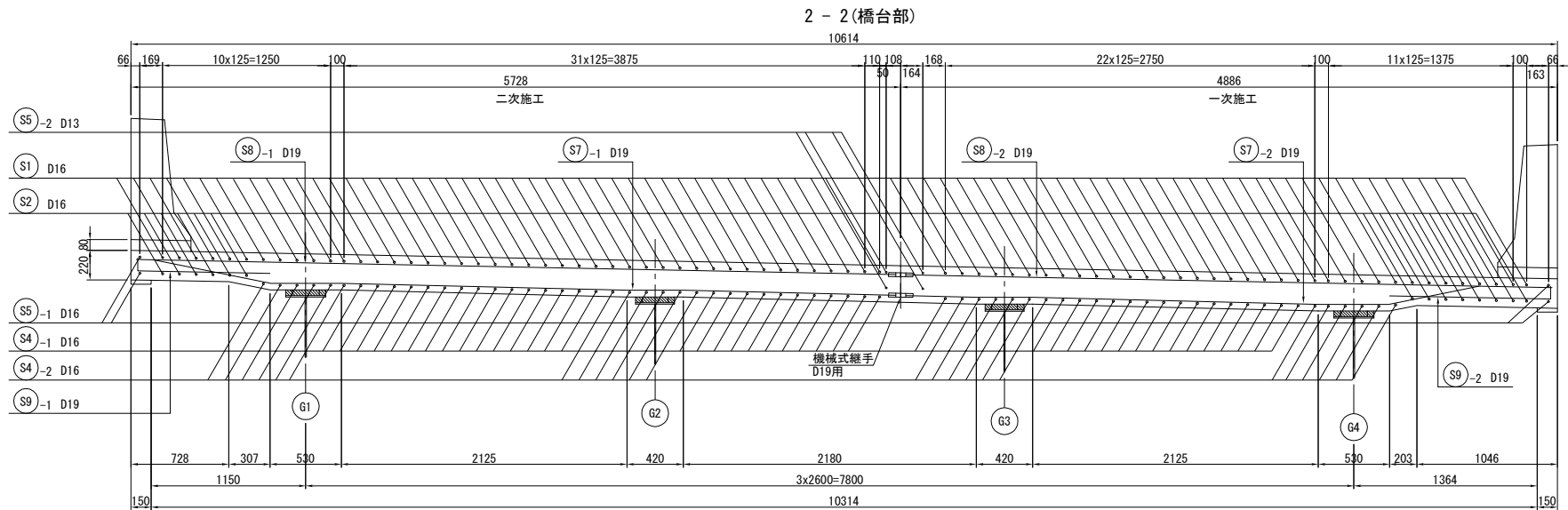
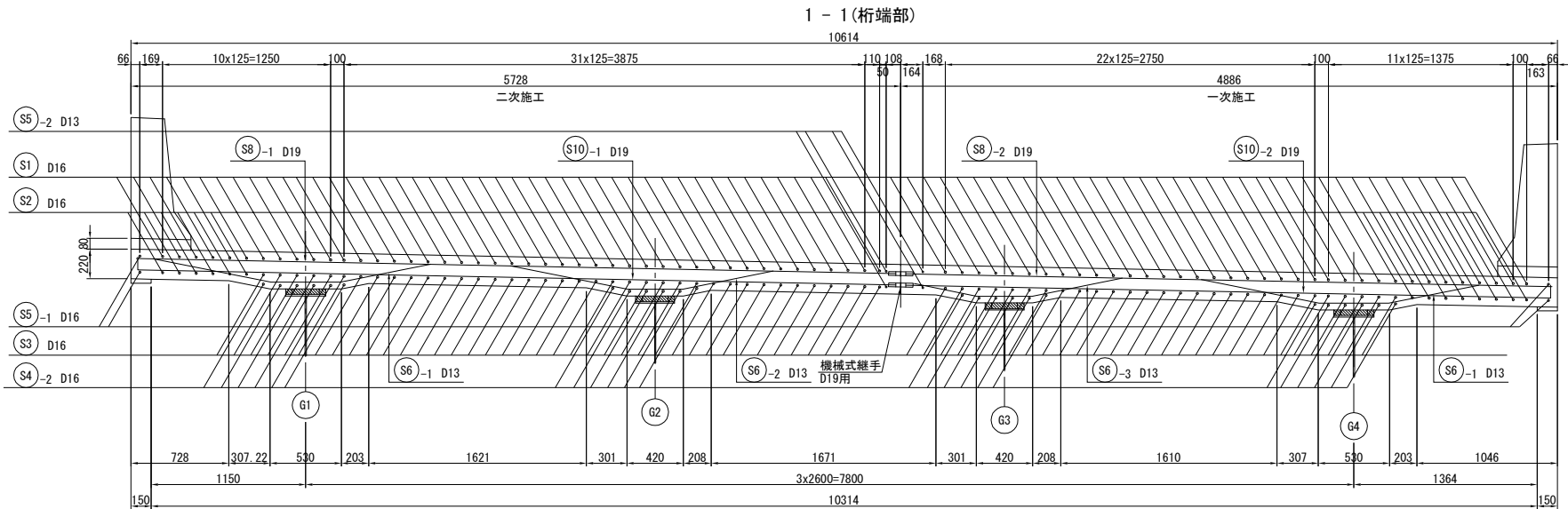
$\Delta L=2 \times L-a$

	$\theta = 90^\circ$			$\theta = 100^\circ$			$\theta = 135^\circ$			$\theta = 170^\circ$		
径	R	a	$\Delta L$	R	a	$\Delta L$	R	a	$\Delta L$	R	a	$\Delta L$
D13	39	61	17	71.5	100	20	71.5	56	3	71.5	12	0
D16	48	75	21	88	123	25	88	69	4	88	15	0
D19	57	90	24	104.5	146	29	104.5	82	4	104.5	18	0

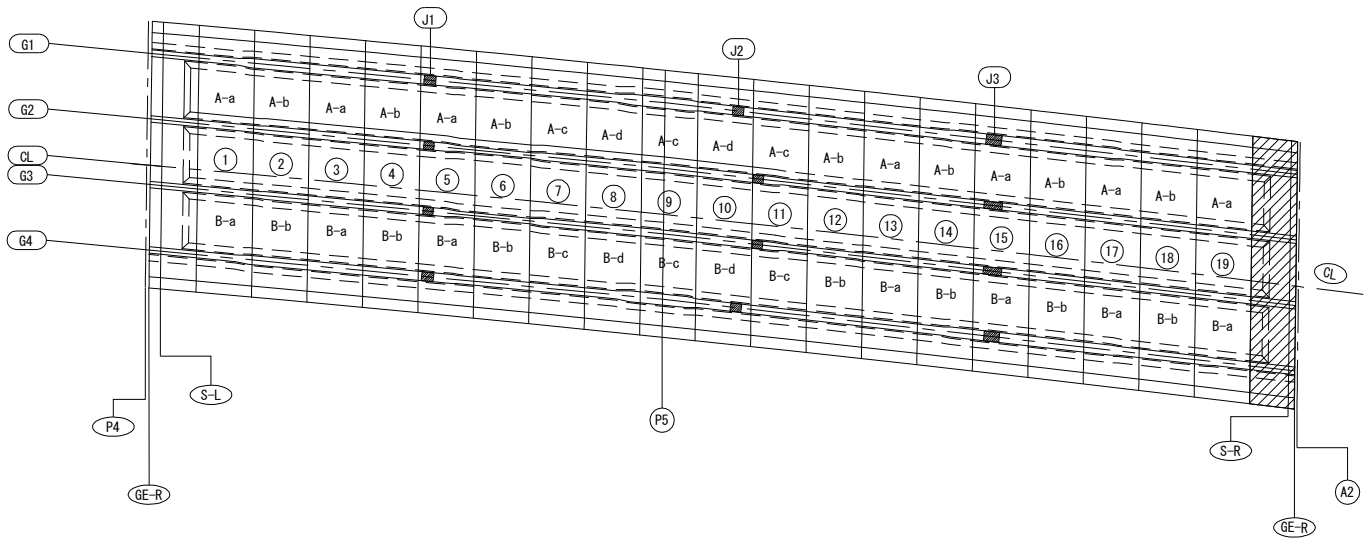
注記  
1. 鉄筋はエポキシ樹脂塗装とする。  
但し、機械式継手挿入部は無塗装とする。

常磐自動車道	
宮田川橋床版取替工事	
図面の種類	宮田川橋(下り線) P4～A2間場所打ちRC床版配筋図(その4)
縮尺	図示 図面番号 124 / 165
設計会社名	株式会社ネクソコ東日本エンジニアリング
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所

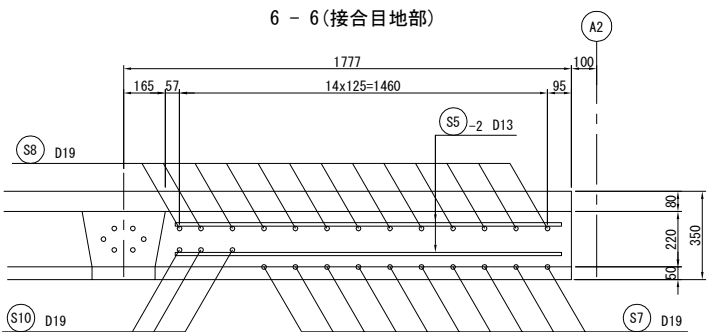
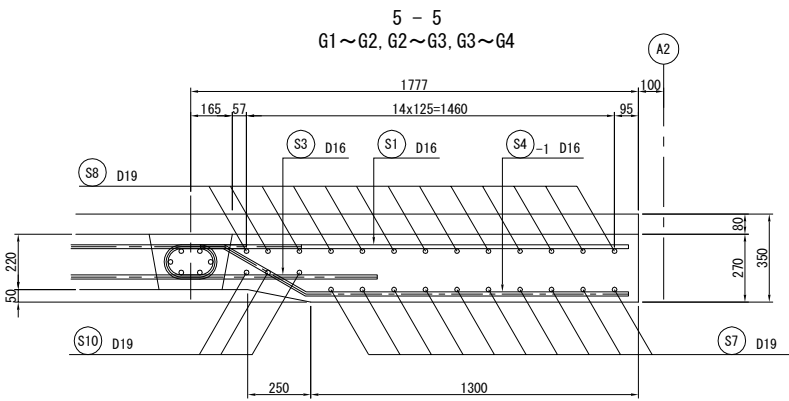
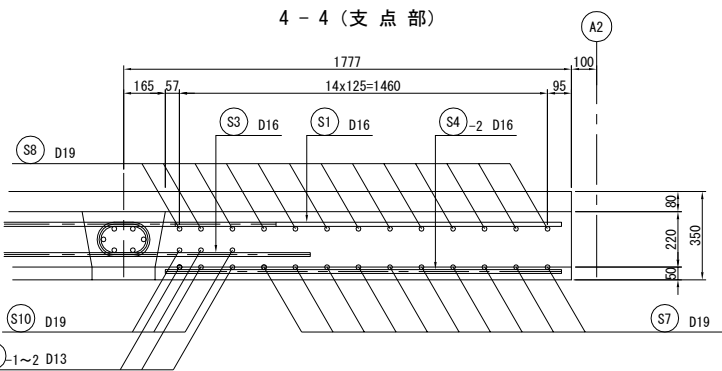
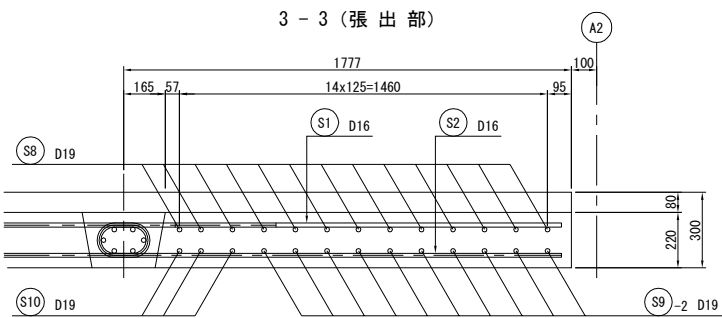
断面図【A2】 S=1:50



位置図

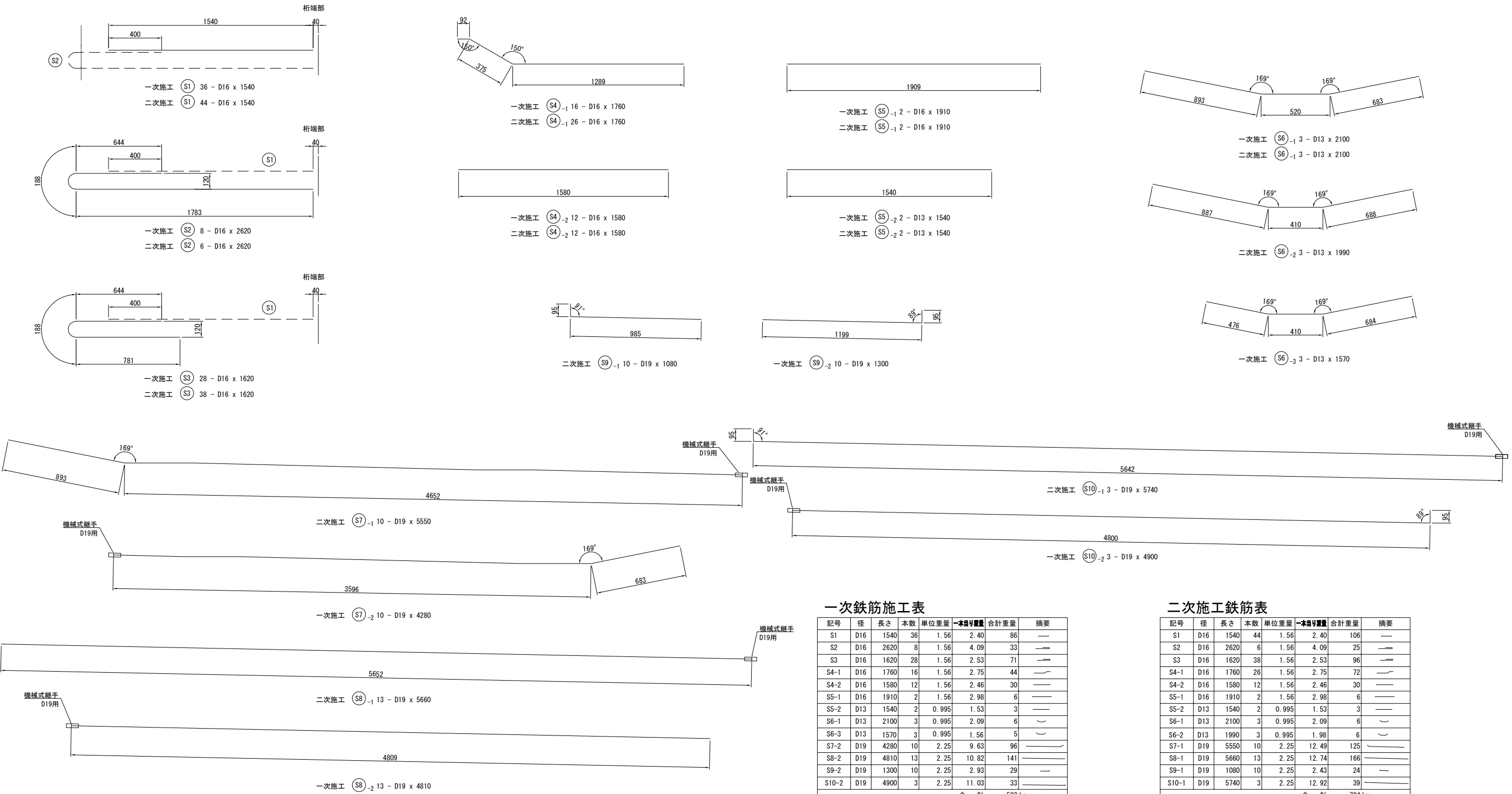


断面図 S= 1:30



注記  
1. 鉄筋はエポキシ樹脂塗装とする。  
但し、機械式継手挿入部は無塗装とする。

常磐自動車道			
宮田川橋床版取替工事			
図面の種類	宮田川橋(下り線) P4～A2間場所打ちRC床版配筋図(その5)		
縮 尺	図 示	図面番号	125 / 165
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水 戸 管 理 事 務 所		



鉄筋曲げ加工表

主筋

$\theta \leq 90^\circ$   $R=3\phi$

$\theta > 90^\circ$   $R=5.5\phi$

$\Delta L = 2 \times L - a$

径	$\theta = 90^\circ$			$\theta = 100^\circ$			$\theta = 135^\circ$			$\theta = 170^\circ$		
	R	a	$\Delta L$	R	a	$\Delta L$	R	a	$\Delta L$	R	a	$\Delta L$
D13	39	61	17	71.5	100	20	71.5	56	3	71.5	12	0
D16	48	75	21	88	123	25	88	69	4	88	15	0
D19	57	90	24	104.5	146	29	104.5	82	4	104.5	18	0

一次鉄筋施工表

記号	径	長さ	本数	単位重量	一本当り重量	合計重量	摘要
S1	D16	1540	36	1.56	2.40	86	—
S2	D16	2620	8	1.56	4.09	33	—
S3	D16	1620	28	1.56	2.53	71	—
S4-1	D16	1760	16	1.56	2.75	44	—
S4-2	D16	1580	12	1.56	2.46	30	—
S5-1	D16	1910	2	1.56	2.98	6	—
S5-2	D13	1540	2	0.995	1.53	3	—
S6-1	D13	2100	3	0.995	2.09	6	—
S6-3	D13	1570	3	0.995	1.56	5	—
S7-2	D19	4280	10	2.25	9.63	96	—
S8-2	D19	4810	13	2.25	10.82	141	—
S9-2	D19	1300	10	2.25	2.93	29	—
S10-2	D19	4900	3	2.25	11.03	33	—
合 計						583 kg	
D13 (SD345)						14 kg	
D16 (SD345)						270 kg	
D19 (SD345)						299 kg	
機械式継手 D19用						26 組	

二次施工鉄筋表

記号	径	長さ	本数	単位重量	一本当り重量	合計重量	摘要
S1	D16	1540	44	1.56	2.40	106	—
S2	D16	2620	6	1.56	4.09	25	—
S3	D16	1620	38	1.56	2.53	96	—
S4-1	D16	1760	26	1.56	2.75	72	—
S4-2	D16	1580	12	1.56	2.46	30	—
S5-1	D16	1910	2	1.56	2.98	6	—
S5-2	D13	1540	2	0.995	1.53	3	—
S6-1	D13	2100	3	0.995	2.09	6	—
S6-2	D13	1990	3	0.995	1.98	6	—
S7-1	D19	5550	10	2.25	12.49	125	—
S8-1	D19	5660	13	2.25	12.74	166	—
S9-1	D19	1080	10	2.25	2.43	24	—
S10-1	D19	5740	3	2.25	12.92	39	—
合 計						704 kg	
D13 (SD345)						15 kg	
D16 (SD345)						335 kg	
D19 (SD345)						354 kg	
機械式継手 D19用						26 組	

常磐自動車道			
宮田川橋床版取替工事			
図面の種類	宮田川橋(下り線) P4～A2間場所打ちRC床版配筋図(その6)		
縮 尺	図 示	図面番号	126 / 165
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水 戸 管 理 事 務 所		

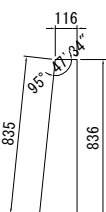
[illegible][illegible]

Technical drawing of a building section (L側) showing a grid of columns and beams. The drawing includes dimensions: 148, 1552, 1747, 150, 165, 102, 75, 50, 100, and 10x125=1250. It also shows various labels like P4, A, L6 D16, R6 D16, L5 D16, R5 D16, L7 D16, R7 D16, L4 D13, R4 D13, L2 D13, R2 D13, L1 D13, R1 D13, L3 D13, and R3 D13. The drawing is oriented with 'L側' (Left Side) and 'R側' (Right Side) labels.

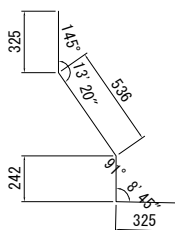
Technical drawing of a bridge deck cross-section A-A. The drawing shows a rectangular cross-section with a total width of 14.8m and a total height of 15.52m. The deck is divided into three main sections: a left side section (1.00m wide), a central section (10x125=1250m wide), and a right side section (1.02m wide). The central section is further divided into three sub-sections: a left sub-section (4.0m wide), a middle sub-section (4.0m wide), and a right sub-section (5.0m wide). The drawing includes a section line A-A and a section cut symbol (L4, R4) indicating the location of the section cut. The drawing is labeled 'P4' in the top left corner.

[illegible][illegible]

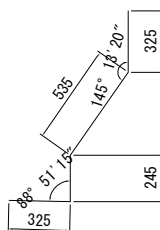
二次施工  
(L1) 2 - D13 x 1760



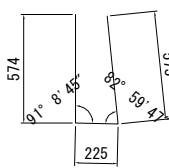
一次施工  
(R1) 2 - D13 x 1790



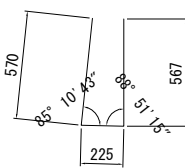
二次施工  
(L2) 3 - D13 x 1430



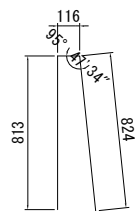
一次施工  
(R2) 3 - D13 x 1430



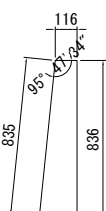
二次施工  
(L3) 3 - D13 x 1380



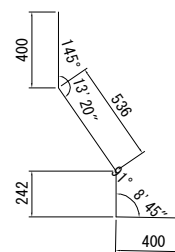
一次施工  
(R3) 3 - D13 x 1370



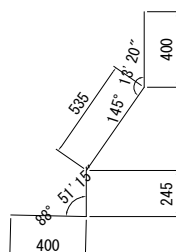
二次施工  
(L5) 11 - D16 x 1760



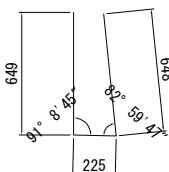
一次施工  
(R5) 11 - D16 x 1790



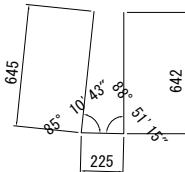
二次施工  
(L6) 11 - D16 x 1580



一次施工  
(R6) 11 - D16 x 1580



二次施工  
(L7) 11 - D16 x 1530



一次施工  
(R7) 11 - D16 x 1520

主筋

$\theta \leq 90^\circ$   $R = 3\phi$   
 $\theta > 90^\circ$   $R = 5\phi$

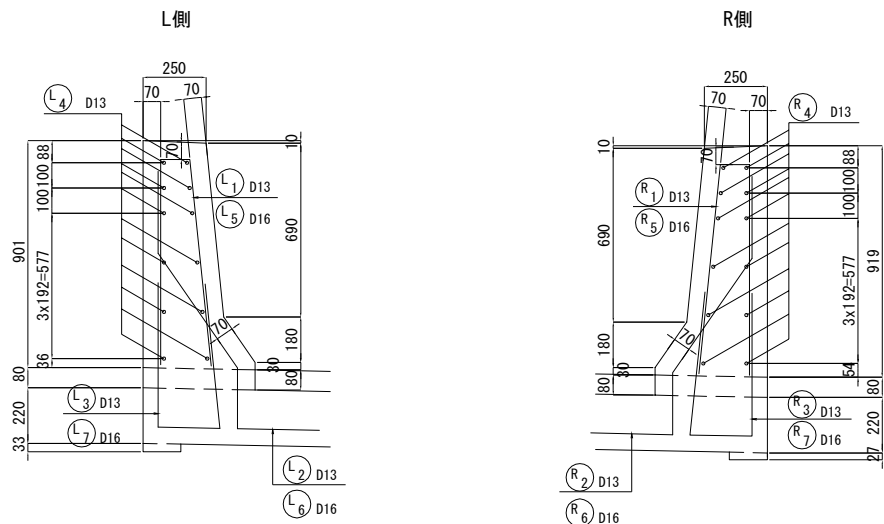
$\Delta L = 2 \times L - a$

徑	$\theta = 90^\circ$			$\theta = 100^\circ$			$\theta = 135^\circ$			$\theta = 170^\circ$		
	R	a	$\Delta L$	R	a	$\Delta L$	R	a	$\Delta L$	R	a	$\Delta L$
D13	39	61	17	71.5	100	20	71.5	56	3	71.5	12	0
D16	48	75	21	88	123	25	88	69	4	88	15	0

注記  
1. 鉄筋はエポキシ樹脂塗装とする。

常磐自動車道			
宮田川橋床版取替工事			
図面の種類	宮田川橋(下り線) P4～A2間場所打ち部壁高欄詳細図(その01)		
縮 尺	図 示	図面番号	127 / 165
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

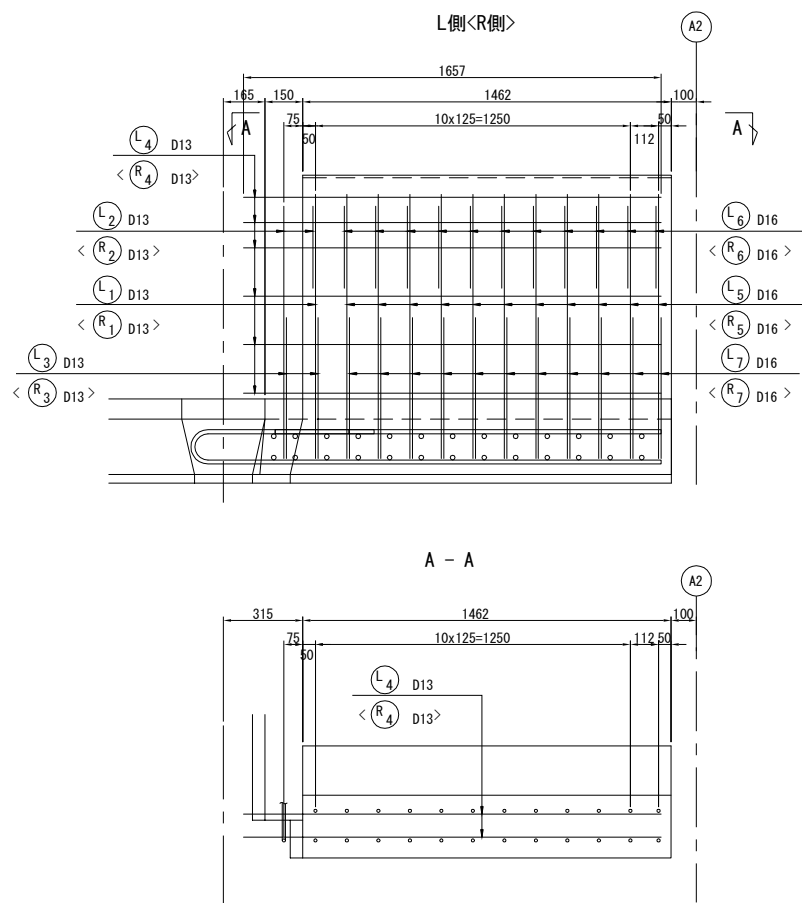
壁高欄側面図 S=1:30



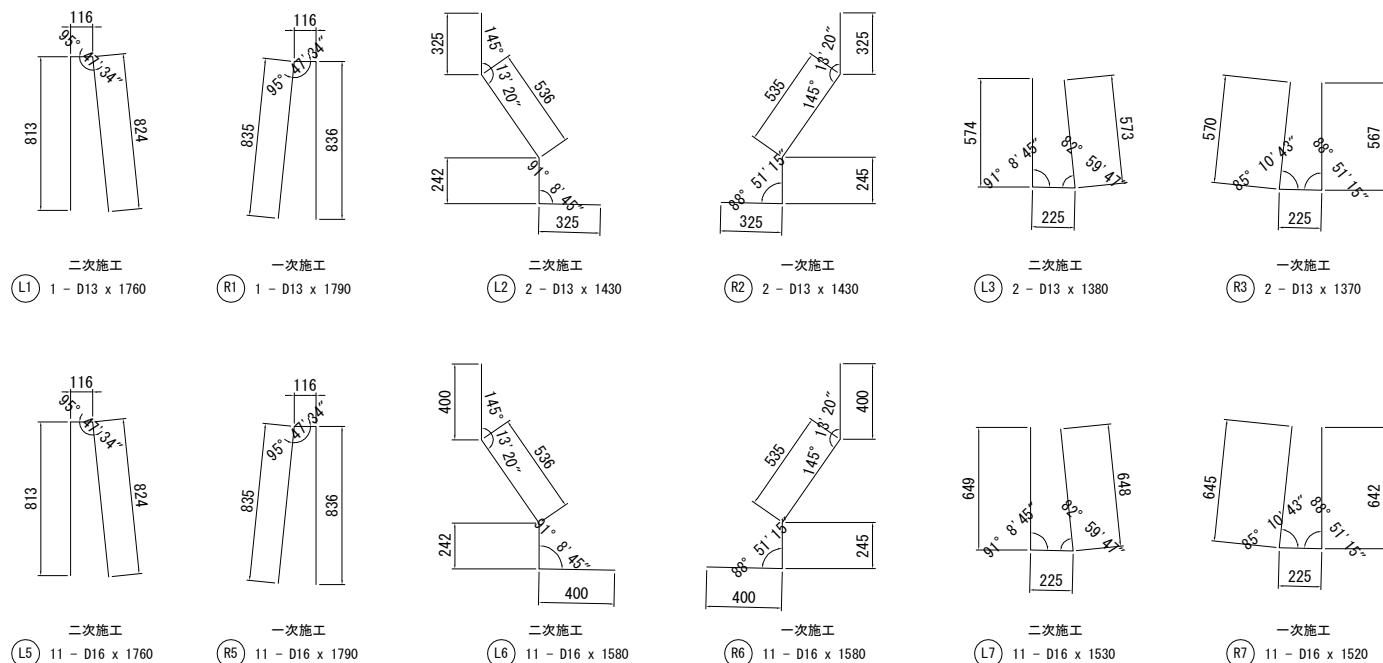
(一枚当り)

[illegible]

(一枚当り)

[illegible]

S=1:40



主筋

$\theta \leq 90^\circ \quad R=3\phi$

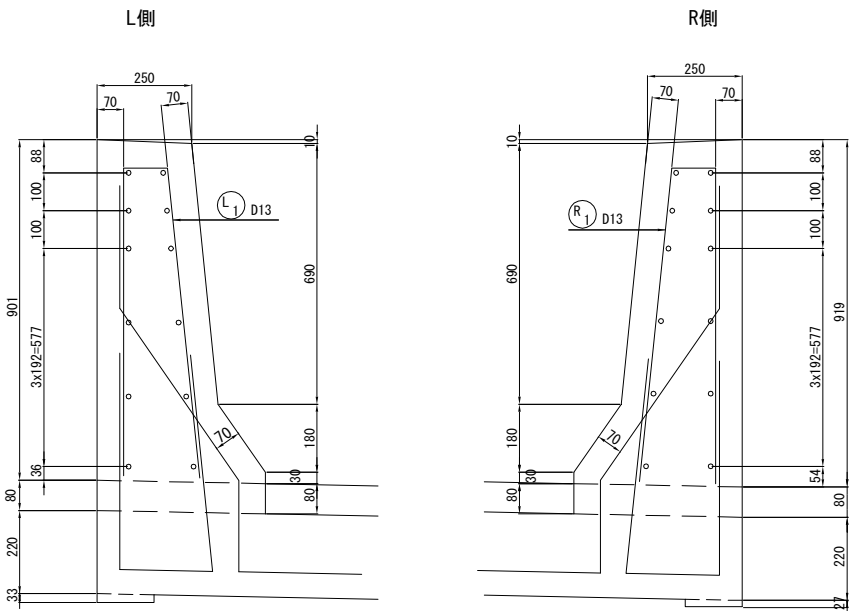
$\theta > 90^\circ \quad R=5.5\phi$

$\Delta L = 2 \times L - a$

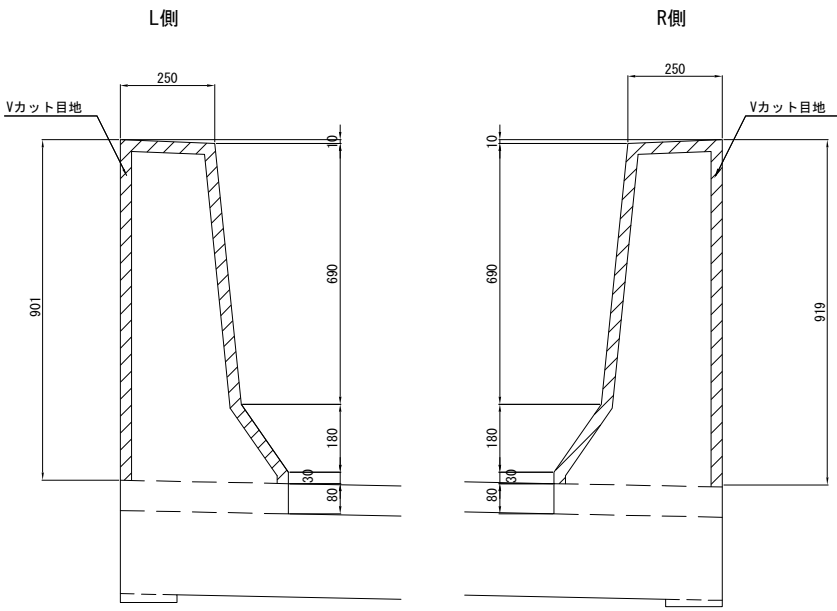
注記  
1. 鉄筋はエポキシ樹脂塗装とする。

常磐自動車道			
宮田川橋床版取替工事			
図面の種類	宮田川橋(下り橋) P4～A2間場所打ち部壁断面詳細図(その2)		
縮 尺	図 示	図面番号	128 / 165
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

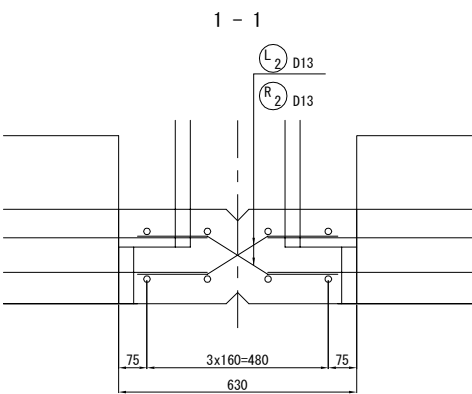
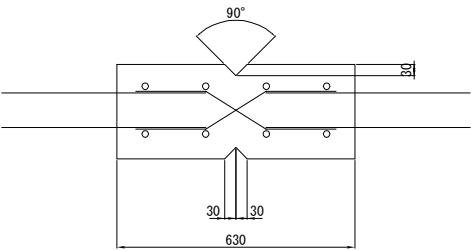
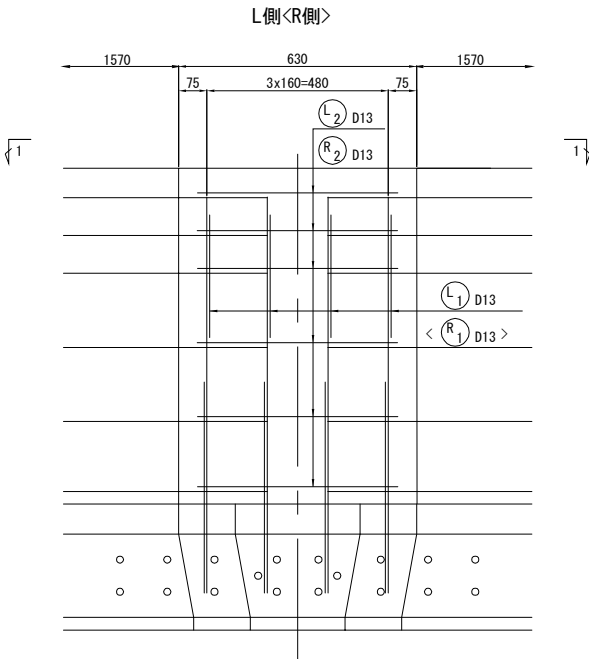
壁高欄間詰め部断面図 S=1:20



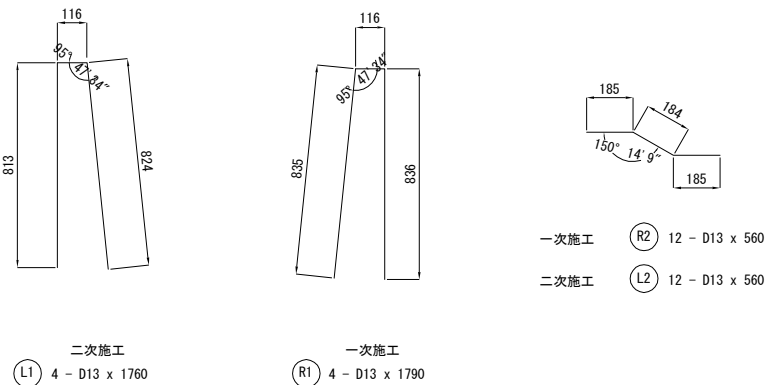
壁高欄間詰め部断面図 S=1:20



壁高欄間詰め部側面図 S=1:20



鉄筋加工図 S=1:30



壁高欄二次施工鉄筋表 (一枚当り)						
記号	径	長さ	本数	単位重量	一本当り重量	合計重量
R1	D13	1760	4	0.995	1.75	7
R2	D13	560	12	0.995	0.557	7
					合 計	14 kg
1箇所当り 箇所数						
D13		14 kg ×	20	=	280 kg	
合 計		14 kg ×	20	=	280 kg	

壁高欄一次施工鉄筋表 (一枚当り)						
記号	径	長さ	本数	単位重量	一本当り重量	合計重量
L1	D13	1790	4	0.995	1.78	7
L2	D13	560	12	0.995	0.557	7
					合 計	14 kg
1箇所当り 箇所数						
D13		14 kg ×	20	=	280 kg	
合 計		14 kg ×	20	=	280 kg	

鉄筋曲げ加工表

主筋

$\theta \leq 90^\circ$   $R=3\phi$

$\theta > 90^\circ$   $R=5.5\phi$

$\Delta L = 2 \times L - a$

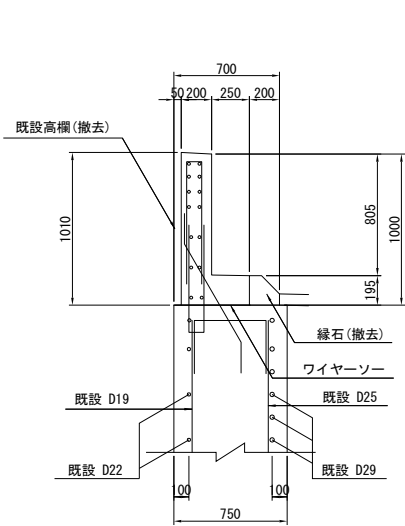
径	$\theta = 90^\circ$			$\theta = 100^\circ$			$\theta = 135^\circ$			$\theta = 170^\circ$		
	R	a	$\Delta L$	R	a	$\Delta L$	R	a	$\Delta L$	R	a	$\Delta L$
D13	39	61	17	71.5	100	20	71.5	56	3	71.5	12	0

注記  
1. 鉄筋はエポキシ樹脂塗装とする。

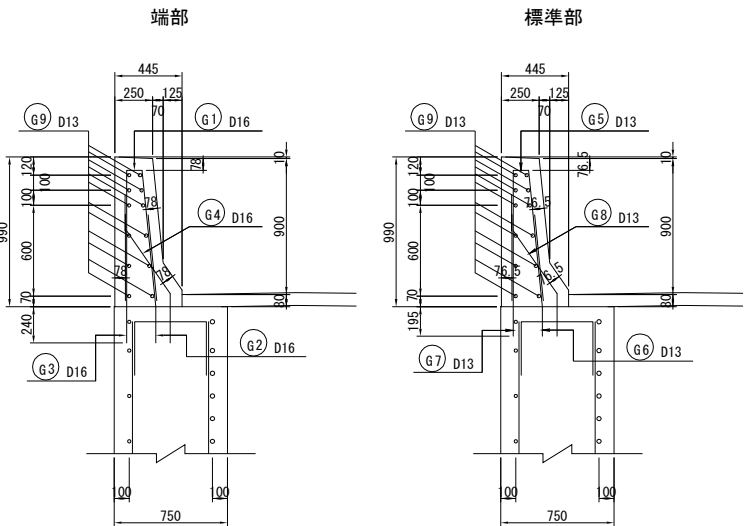
常磐自動車道 宮田川橋床版取替工事			
図面の種類	宮田川橋(下り線) P4～A2間壁高欄間詰詳細図		
	縮 尺	図 示	図面番号 129 / 165
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

～ A2橋台左側壁高欄配筋図 ～

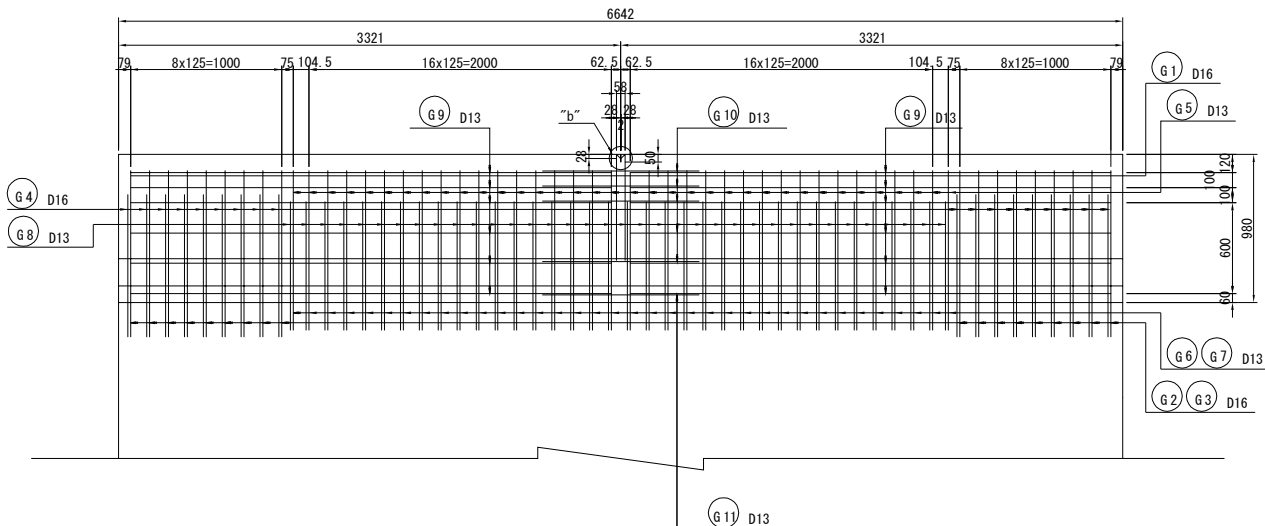
既設高欄詳細図 S=1:50



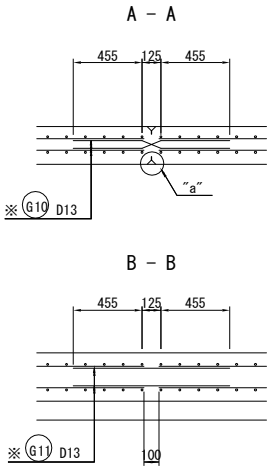
新設高欄詳細図 S=1:50



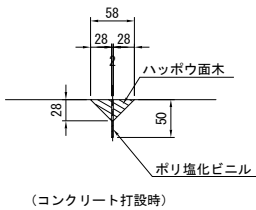
新設高欄配筋図 S=1:50



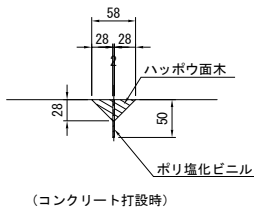
Vカット目地部 S=1:50



“a”部詳細図 (Vカット形状) S=1:10



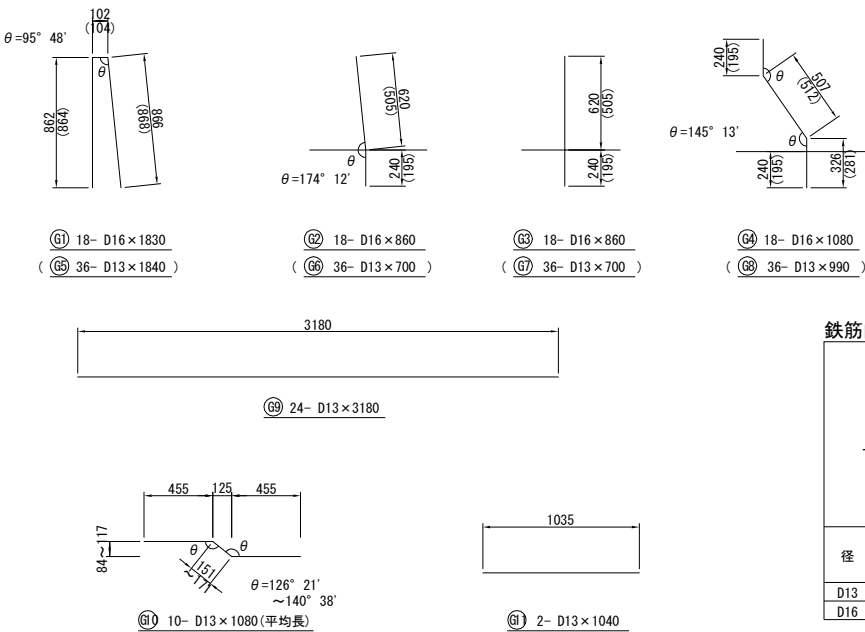
“b”部詳細図 (Vカット形状) S=1:10



鉄筋表

種別	径	長さ	本数	単位質量	本当り質量	質量	摘要
		(mm)		(kg/m)	(kg/本)	(kg)	
G1	D16	1830	18	1.56	2.85	51	ノ
G2	〃	860	18	〃	1.34	24	ノ
G3	〃	860	18	〃	1.34	24	ノ
G4	〃	1080	18	〃	1.68	30	ノ
G5	D13	1840	36	0.995	1.83	66	ノ
G6	〃	700	36	〃	0.697	25	ノ
G7	〃	700	36	〃	0.697	25	ノ
G8	〃	990	36	〃	0.985	35	ノ
G9	〃	3180	24	〃	3.16	76	ノ
G10	〃	1080	10	〃	1.07	11	(平均長)
G11	〃	1040	2	〃	1.03	2	ノ
						369 kg	
						D16	129 kg
						D13	240 kg
合計						369 kg	(SD345)

鉄筋加工図 S=1:50



鉄筋曲げ加工表

$\Delta L = 2 \times L - a$

主 筋

$\theta \leq 90^\circ$   $R = 3\phi$

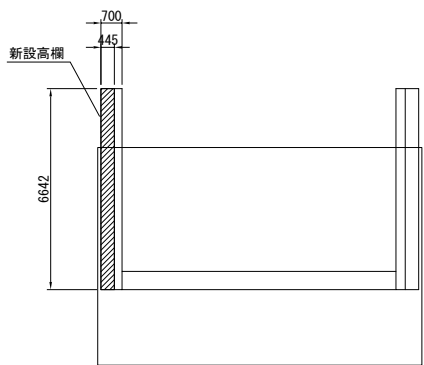
$\theta > 90^\circ$   $R = 5.5\phi$

スターラップ

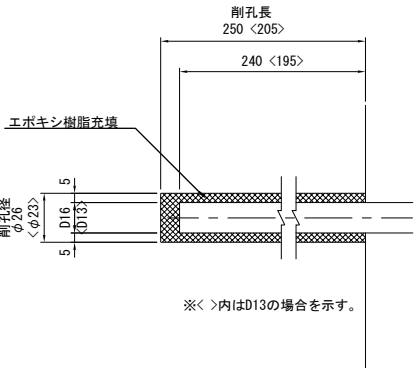
$R = 2.5\phi$

径		主 筋						スターラップ			
		$\theta = 90^\circ$			$\theta = 135^\circ$			$\theta = 90^\circ$			
		R	a	$\Delta L$	R	a	$\Delta L$	R	a	$\Delta L$	R
D13	39	61	17		71.5	56	3	32.5	51	14	
D16	48	75	21		88	69	4	40	63	17	

平面図 S=1:250



削孔詳細 S=1:4



あと施工アンカー一定着工 数量表

削孔径	削孔長	本数	削孔方向	総削孔長
φ26	L=250	54	下向き	0.25 × 54=13.50m
φ23	L=205	108	下向き	0.205 × 108=22.14m

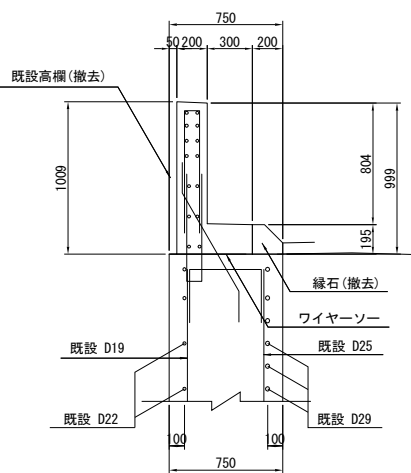
注記  
1. 鉄筋はエポキシ樹脂塗装とする。

常磐自動車道			
宮田川橋床版取替工事			
図面の種類	宮田川橋(下り線) P4～A2間橋台上壁高欄詳細図(その1)		
縮尺	図示	図面番号	130 / 165
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

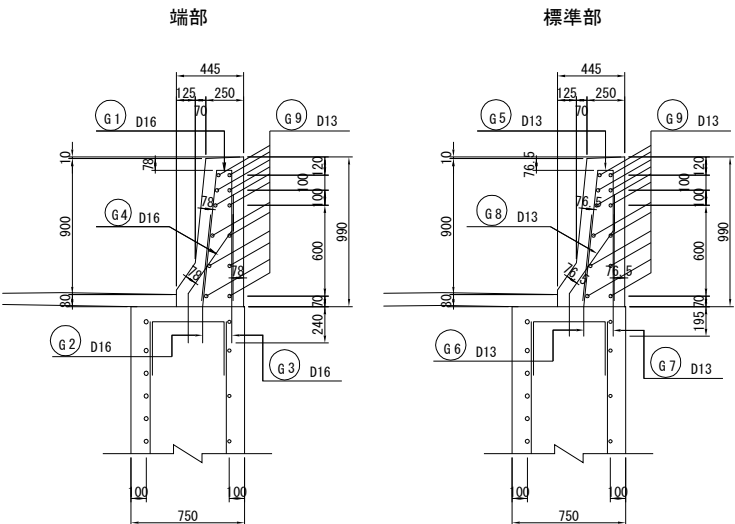


～ A2橋台右側壁高欄配筋図 ～

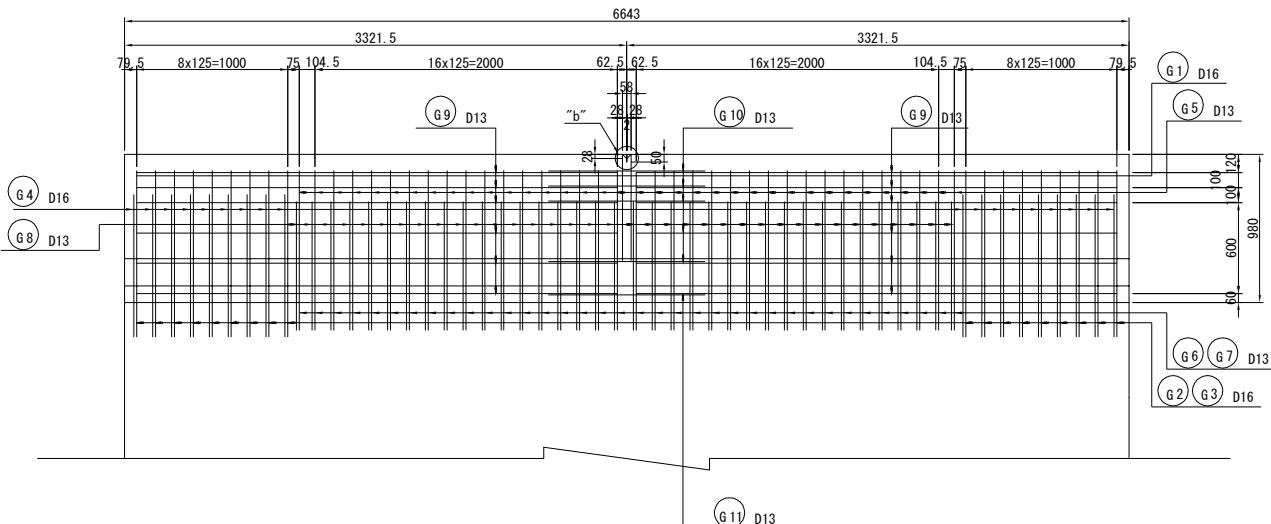
既設高欄詳細図 S=1:50



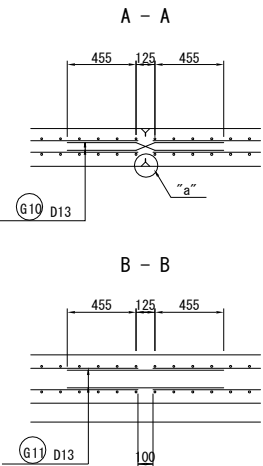
新設高欄詳細図 S=1:50



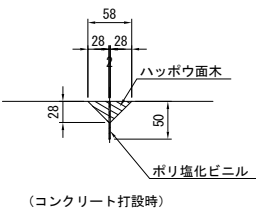
新設高欄配筋図 S=1:50



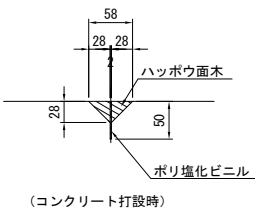
Vカット目地部 S=1:50



“a”部詳細図 (Vカット形状) S=1:10



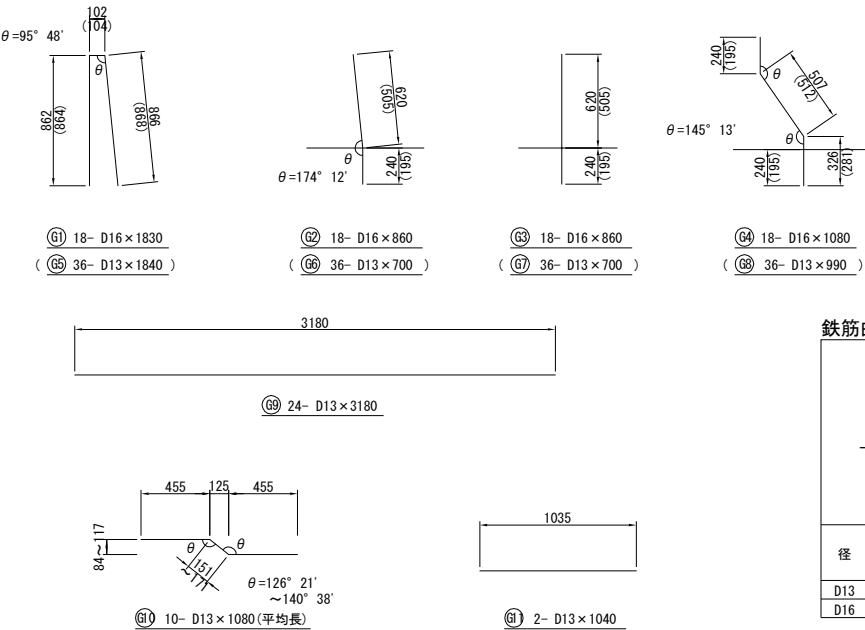
“b”部詳細図 (Vカット形状) S=1:10



鉄筋表

種別	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)	摘要
G1	D16	1830	18	1.56	2.85	51	∟
G2	〃	860	18	〃	1.34	24	/
G3	〃	860	18	〃	1.34	24	/
G4	〃	1080	18	〃	1.68	30	/
G5	D13	1840	36	0.995	1.83	66	∟
G6	〃	700	36	〃	0.697	25	/
G7	〃	700	36	〃	0.697	25	/
G8	〃	990	36	〃	0.985	35	/
G9	〃	3180	24	〃	3.16	76	—
G10	〃	1080	10	〃	1.07	11	— (平均長)
G11	〃	1040	2	〃	1.03	2	—
						369 kg	
						D16	129 kg
						D13	240 kg
						合計	369 kg (SD345)

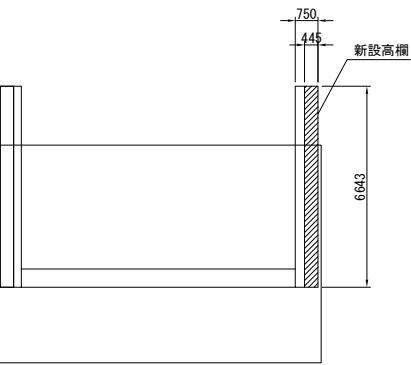
鉄筋加工図 S=1:50



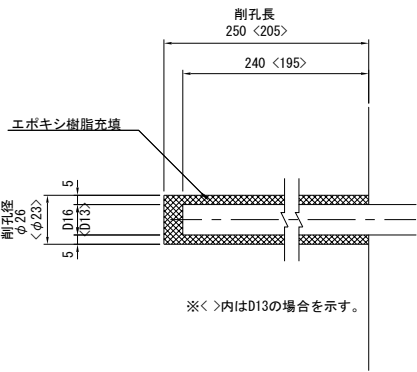
鉄筋曲げ加工表

主筋 $\theta \leq 90^\circ$ R = 3φ $\theta > 90^\circ$ R = 5.5φ スターラップ R = 2.5φ								
径	主筋			スターラップ				
	$\theta = 90^\circ$	$\theta = 135^\circ$		$\theta = 90^\circ$				
D13	39	61	17	71.5	56	3	32.5	51
D16	48	75	21	88	69	4	40	63

平面図 S=1:250



削孔詳細 S=1:4

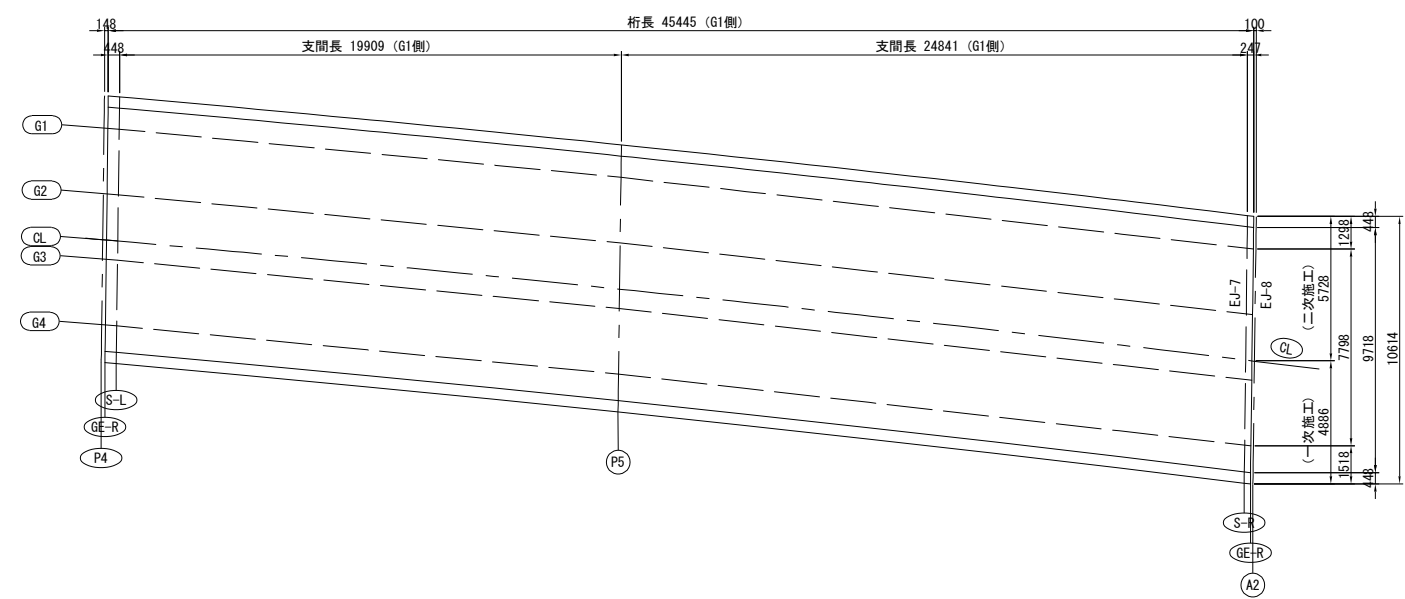


あと施工アンカー定着工 数量表

削孔径	削孔長	本数	削孔方向	総削孔長
φ26	L=250	54	下向き	0.25 × 54=13.50m
φ23	L=205	108	下向き	0.205 × 108=22.14m

注記 1. 鉄筋はエポキシ樹脂塗装とする。			
常磐自動車道 宮田川橋床版取替工事			
図面の種類	宮田川橋(下り線) P4～A2間橋台上壁高欄詳細図(その2)	図面番号	131 / 165
縮尺	図示	図面番号	131 / 165
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング	施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

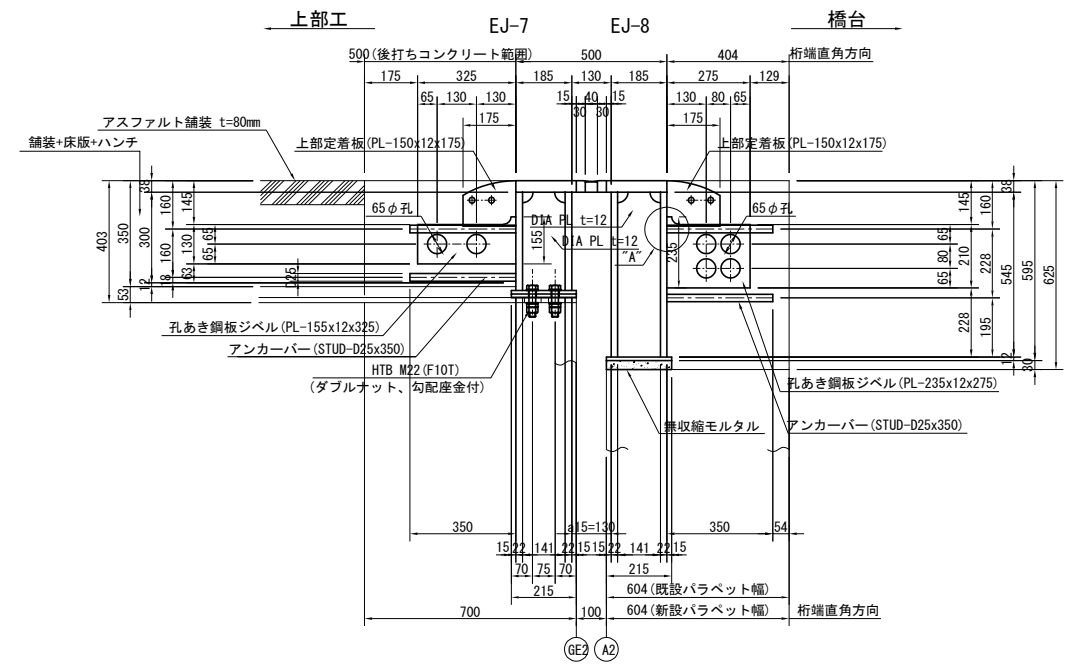
平面図 S=1:300



新設伸縮装置主桁間部断面図 S=1:25

A2部

主桁間部断面図



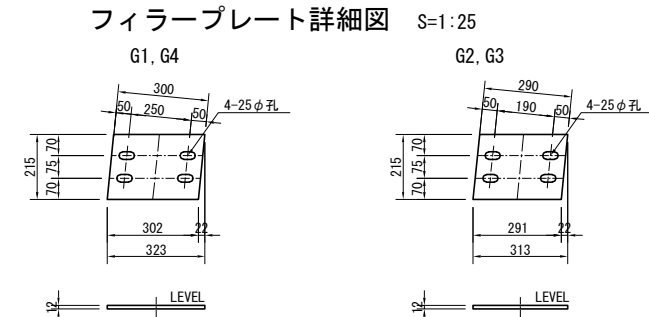
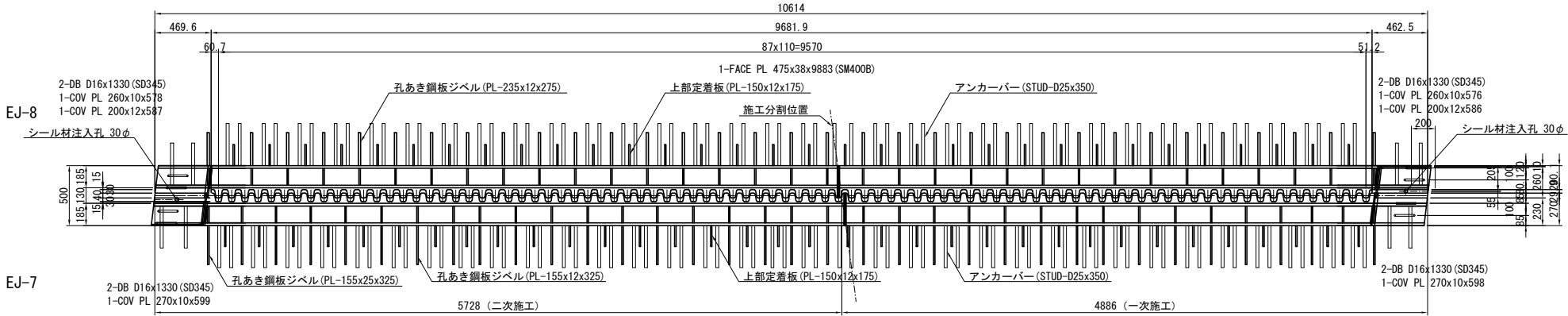
伸縮装置(A2)数量表

項目	種別	単位	数量	備考
新設	A	kg	7,142	EJ-7, 8

常磐自動車道			
宮田川橋床版取替工事			
図面の種類	宮田川橋(下り線)		
	P4～A2間伸縮装置詳細図(参考図)(その1)		
縮 尺	図 示	図面番号	132 / 165
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
	水 戸 管 理 事 務 所		

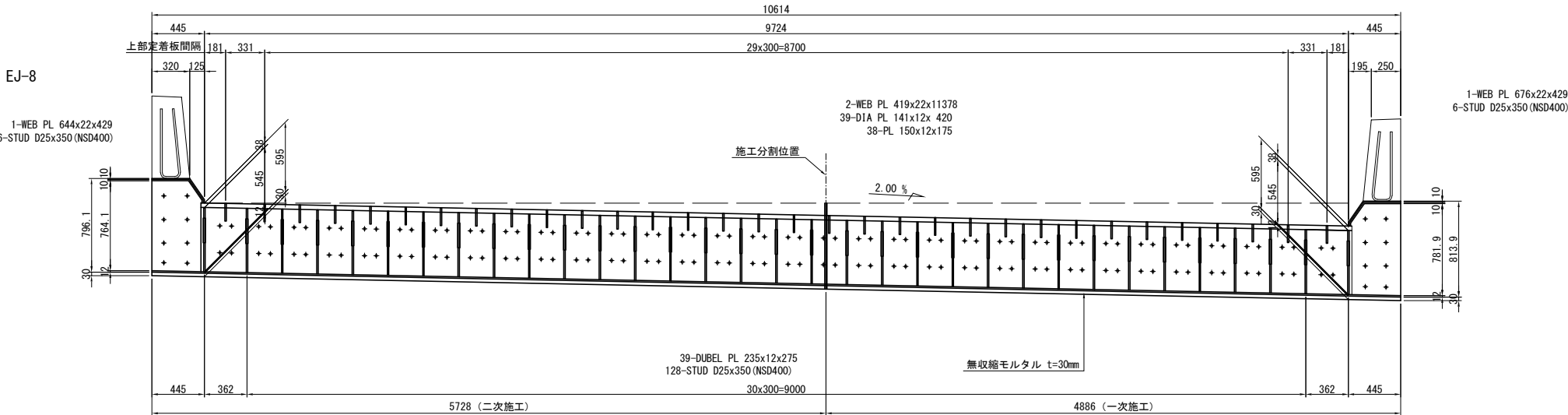
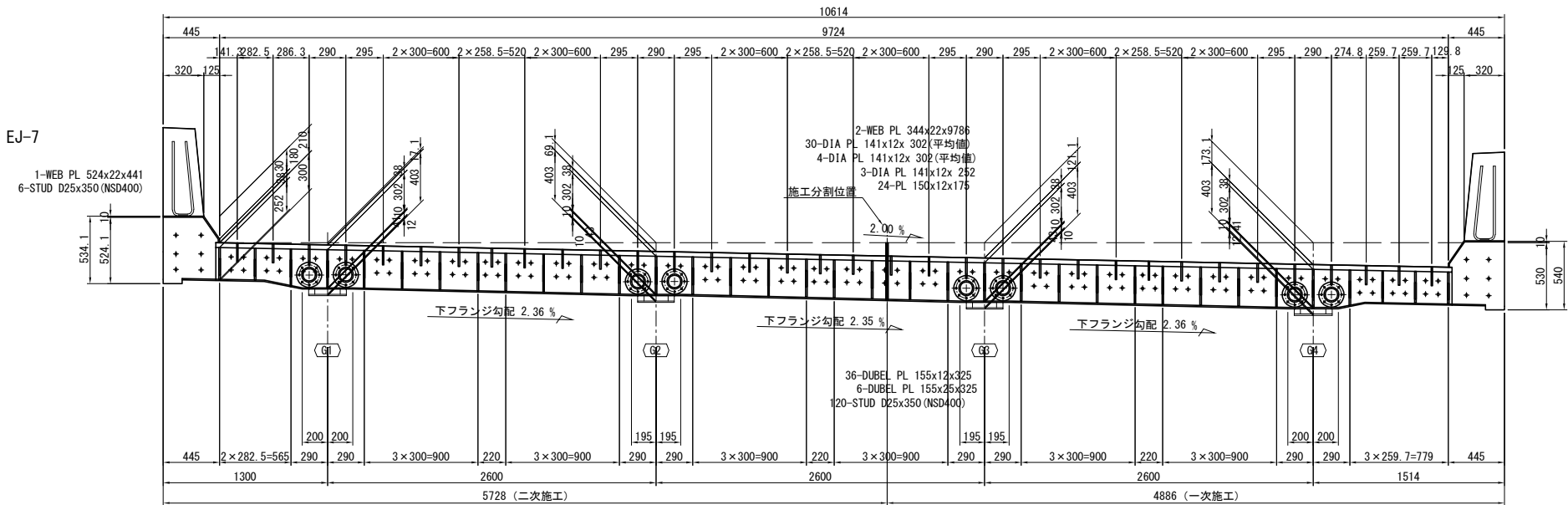
宮田川橋(下り線) P4~A2間伸縮装置詳細図(参考図)(その2) S=1:50

A2部

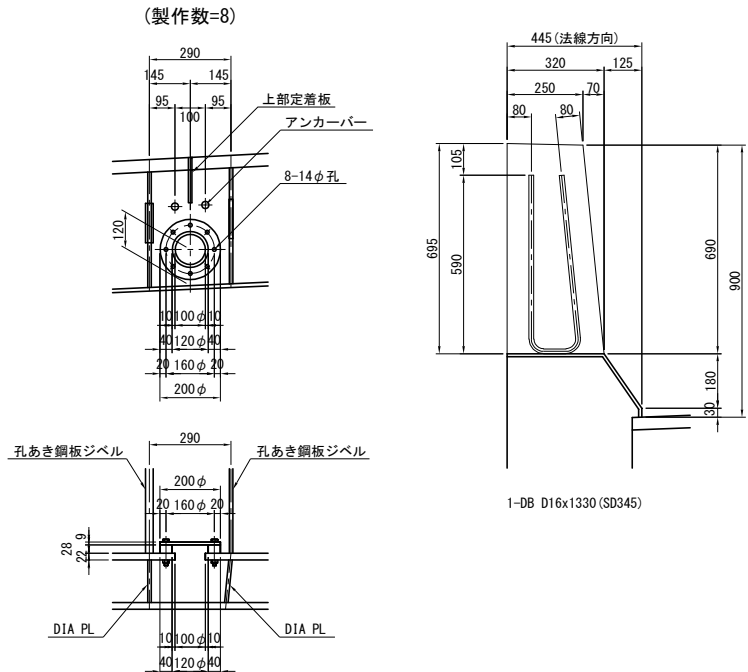


(1箇所当たり材料)  
1-FILL PL 215x12x323 (SS400)  
4-HTB M22x 85 (ダブルナット、勾配座金付) (F10T)

(1箇所当たり材料)  
1-FILL PL 215x12x313 (SS400)  
4-HTB M22x 85 (ダブルナット、勾配座金付) (F10T)

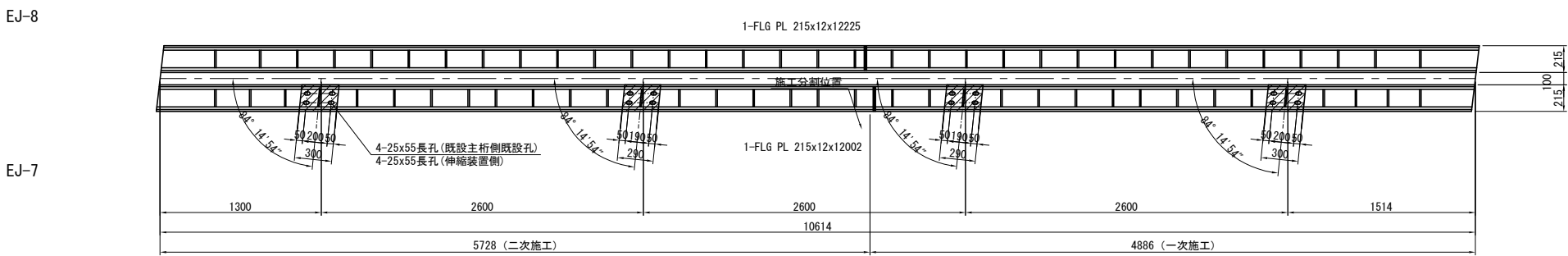
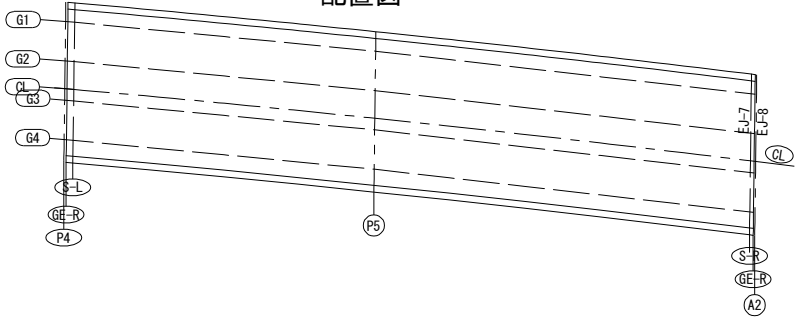


ハンドホール詳細図 S=1:25 壁高欄アンカー筋詳細図 S=1:25



(1箇所当たり材料)  
1-PL 200φx28  
1-PL 200φx 9 (SS400)  
8-BN M12x75 (SS400)

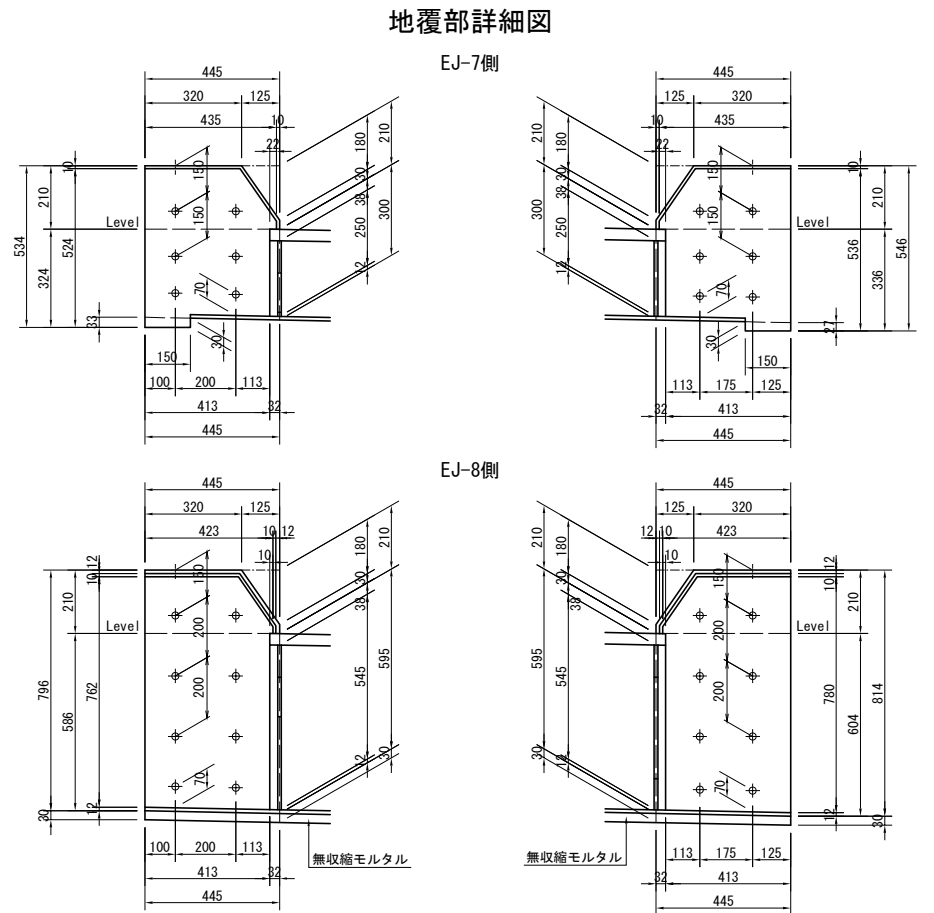
配置図



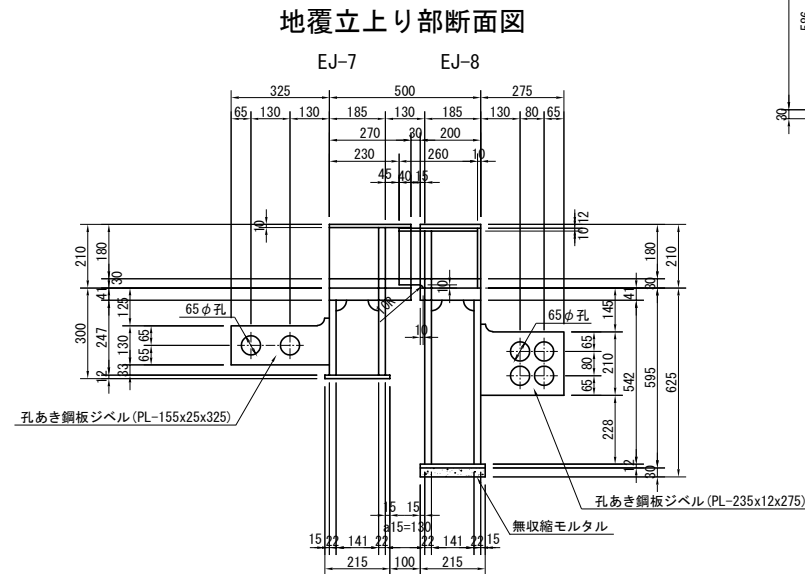
注記  
1. 特記なき材質はSM400Aを示す。  
2. 表記の既設構造寸法は完成図をもとに復元しているため、現地計測を実施後に部材制作を行うこと。

常磐自動車道 宮田川橋床版取替工事			
図面の種類	宮田川橋(下り線) P4~A2間伸縮装置詳細図(参考図)(その2)		
縮 尺	図 示	図面番号	133 / 165
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水 戸 管 理 事 務 所		

## E



EJ-7



EJ-7 EJ-8

445 (法線方向)  
320  
125  
250  
70  
694  
660  
4x140=560  
50  
6  
3.2  
180  
98

EJ-8

170  
40  
80  
100  
50  
50  
6  
3.2  
170  
98

EJ-7

車面進行方向

インサートアンカーM10  
(車両進行方向手前に  
取り付けること)

ボルト孔 12.5φ  
ボルトM10 (SUS304)

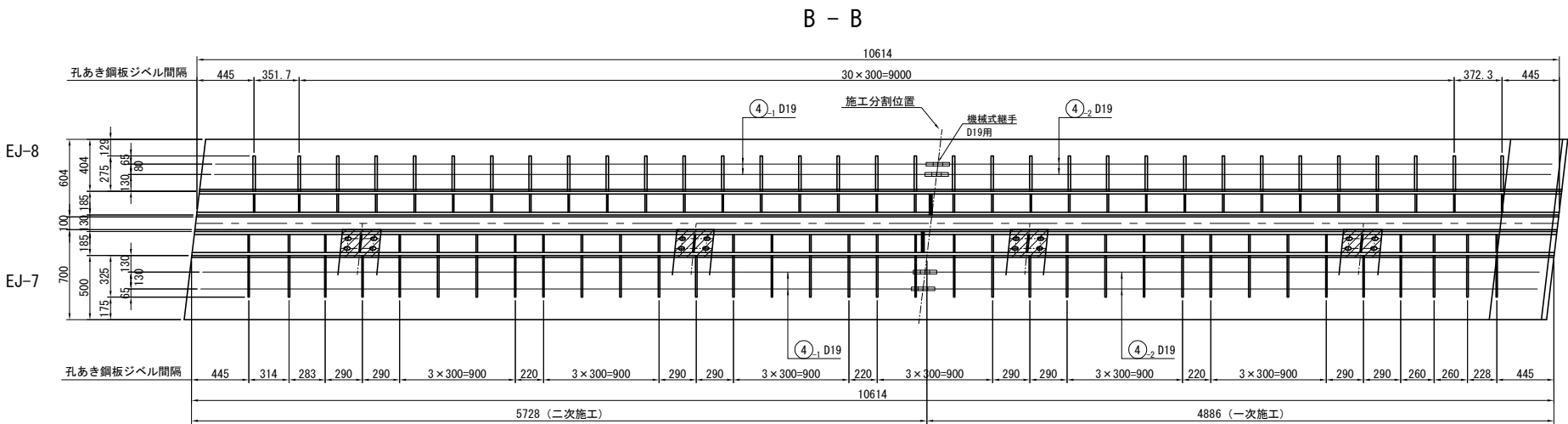
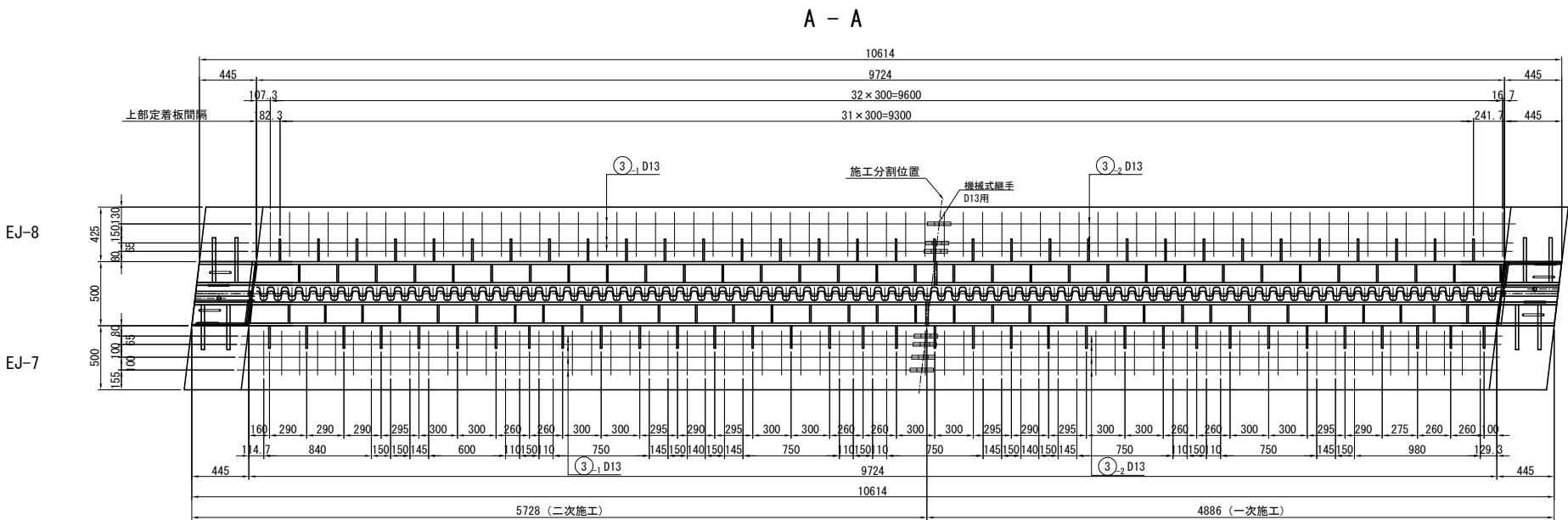
(1箇所当たり材料)  
1-COV PL 170x6x660 (SUS304)  
1-FILL PL 100x3.2x660 (SUS304)  
5-インサートアンカー M10x40 (SUS304)  
5-BOLT M10x30 (SUS304)

孔あき鋳板ジベル

注記  
1. 特記なき材質はSM400Aを示す。  
2. 特記なきスカーラップは、全て35Rとする。  
3. 既設構造寸法は現地計測の上決定する事。

常磐自動車道			
宮田川橋床版取替工事			
図面の種類	宮田川橋(下り線) P4～A2間伸縮装置詳細図(参考図)(その3)		
縮 尺	図 示	図面番号	134 / 165
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

A2部



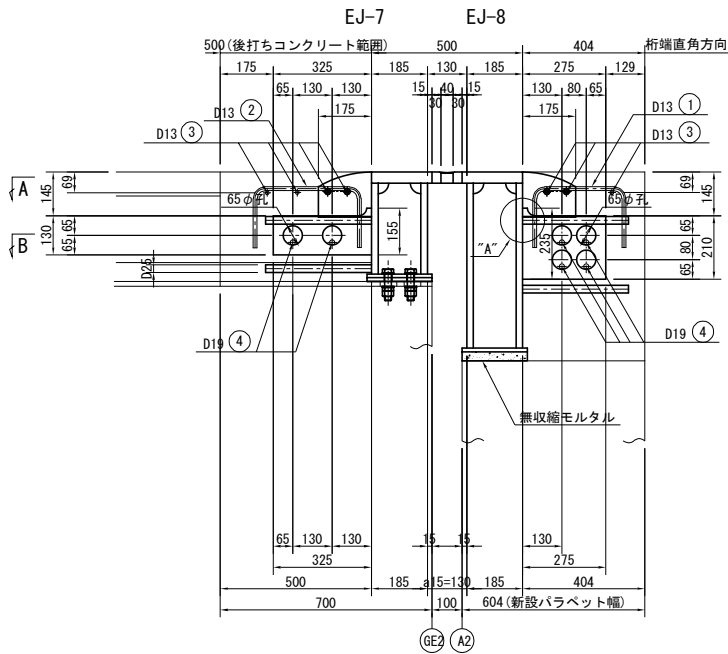
一次施工鉄筋表

種別	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	摘要
1	D13	690	32	0.995	0.69	23	□
2	D13	740	30	0.995	0.74	23	□
3-2	D13	4500	7	0.995	4.48	32	—
4-2	D19	4790	6	2.250	10.78	65	—
合計							143 Kg
鉄筋質量							D13(SD345) : 78 Kg D19(SD345) : 65 Kg
機械式継手							D13用 : 7 組 D19用 : 6 組

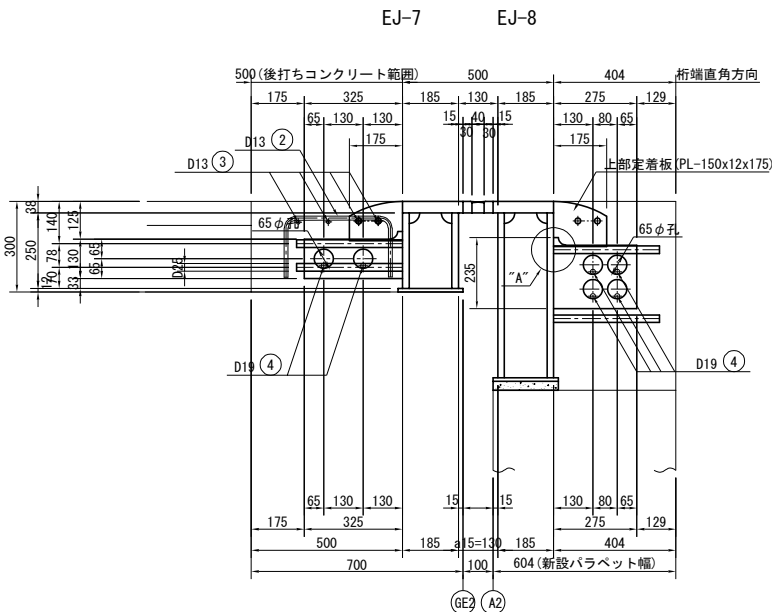
二次施工鉄筋表

種別	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	摘要
1	D13	690	35	0.995	0.69	25	□
2	D13	740	37	0.995	0.74	28	□
3-1	D13	5340	7	0.995	5.31	32	—
4-1	D19	5630	6	2.250	12.67	77	—
合計							162 Kg
鉄筋質量							D13(SD345) : 85 Kg D19(SD345) : 77 Kg
機械式継手							D13用 : 7 組 D19用 : 6 組

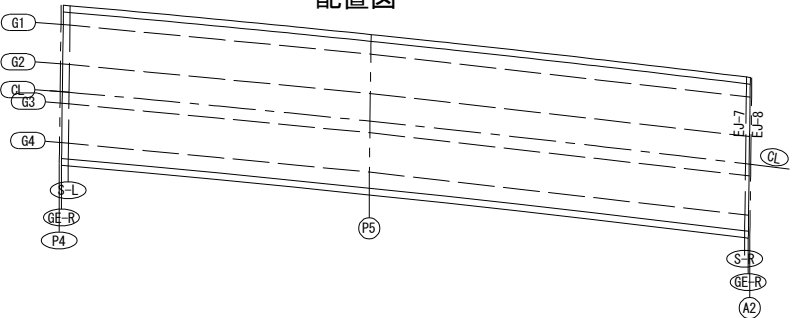
主桁間部断面図 S=1:25



張出し部断面図 S=1:25



配置図



注記  
1 特記なき材質はSM400Aを示す。  
2 既設構造寸法は現地計測の上決定する事。  
3 鉄筋はエポキシ樹脂塗装とする。  
但し、機械式継手挿入部は無塗装とする。

常磐自動車道 宮田川橋床版取替工事			
図面の種類	宮田川橋(下り線) P4～A2間伸縮装置詳細図(参考図)(その4)		
縮尺	図示	図面番号	135 / 165
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	水戸管理事務所		

常設自動車道			
宮田川橋床版取替工事			
図面の種類	宮田川橋（下り線） P4～A2間伸縮装置詳細図（参考図）（その5）		
縮 尺	図 示	図面番号	136 / 165
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

A2橋台

撤去図

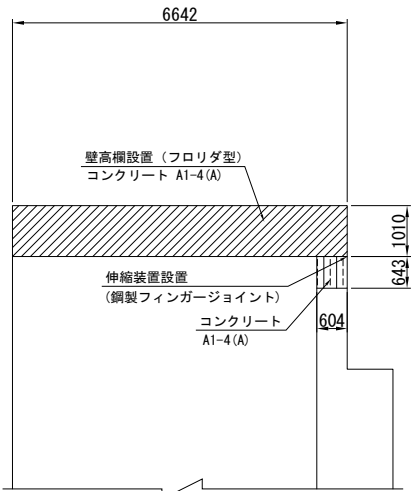
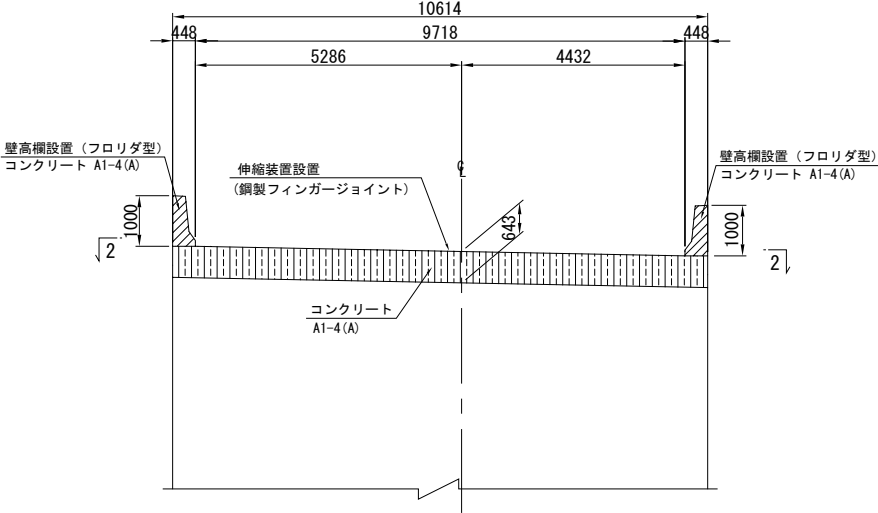
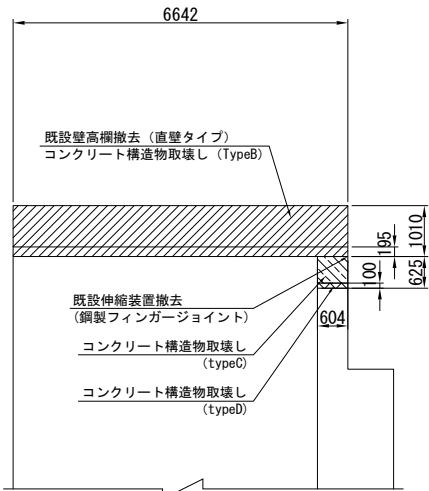
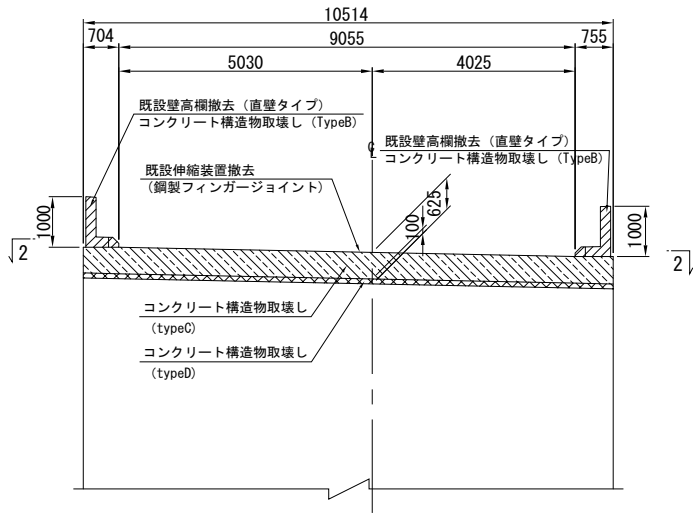
復旧図

断面図（1－1）

3－3

断面図（1－1）

3－3

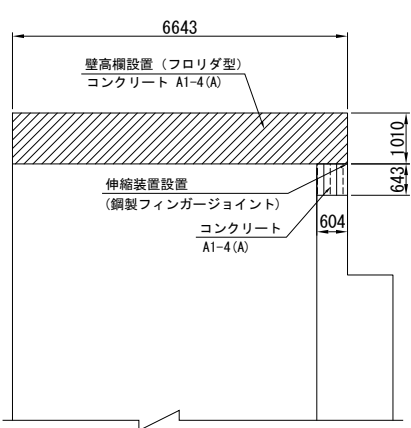
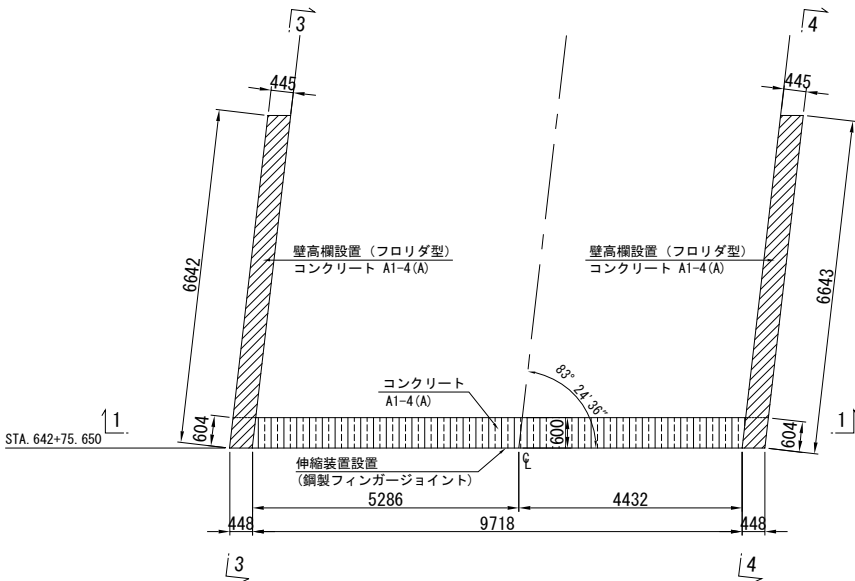
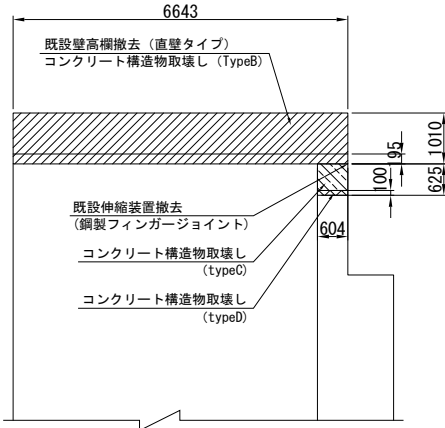
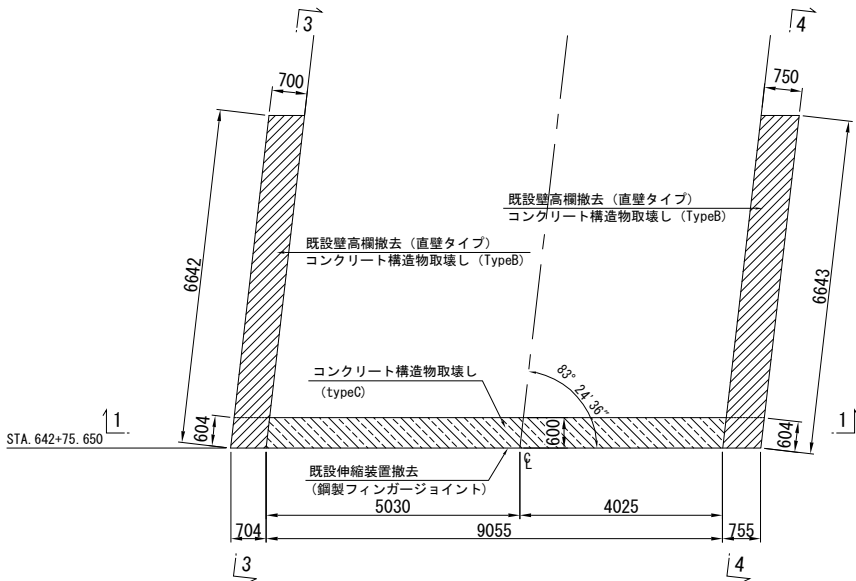


平面図（2－2）

4－4

平面図（2－2）

4－4



構造物取壊し工数量

項 目	体 積 (m3)	備 考
コンクリート構造物取壊し (typeB)	3.8	壁高欄 (ワイヤーソー)
コンクリート構造物取壊し (typeC)	3.3	伸縮装置後打ちコンクリート (ブレーカー)
コンクリート構造物取壊し (typeD)	0.631	伸縮装置後打ちコンクリート (WJ)

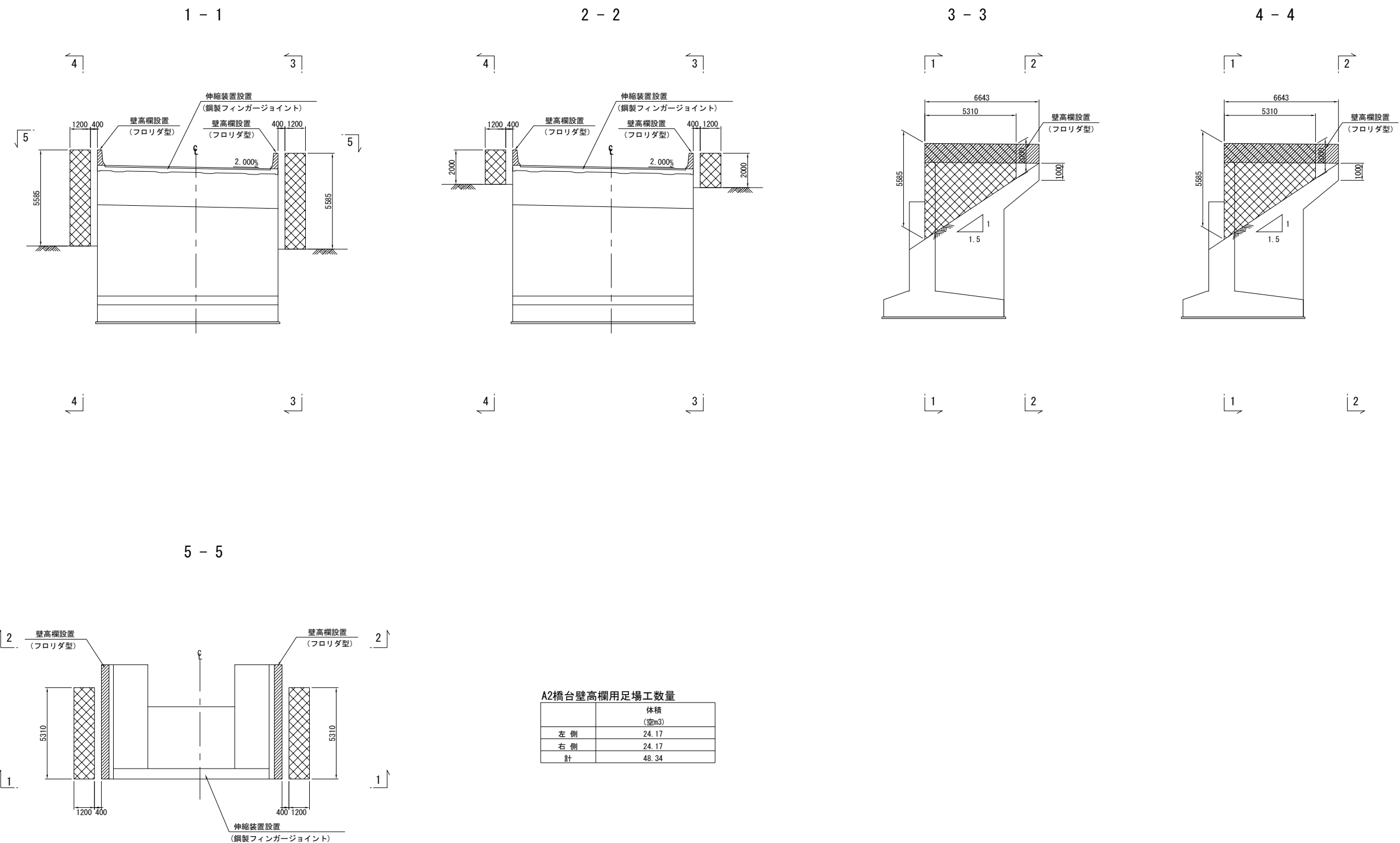
コンクリート数量

項 目	体 積 (m3)	備 考
コンクリート A1-4 (A)	8.3	壁高欄、伸縮装置あと打ち

- 注記
1. 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認する事。
  2. 新旧コンクリート境界面のワイヤーソー施工箇所は、下地処理を行う事。
  3. 改築部のコンクリートの設計基準強度は30N/mm2とする。
  4. 使用鉄筋はSD345とする。
  5. コンクリートの打設時は、既設コンクリート面を湿潤状態にする事。
  6. アンカー削孔箇所は鉄筋探査を行い既設鉄筋を損傷させない事。

常磐自動車道 宮田川橋床版取替工事			
図面の種類	宮田川橋（下り線） P4～A2間橋台改良図		
縮 尺	図 示	図面番号	137 / 165
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水 戸 管 理 事 務 所		

A2橋台

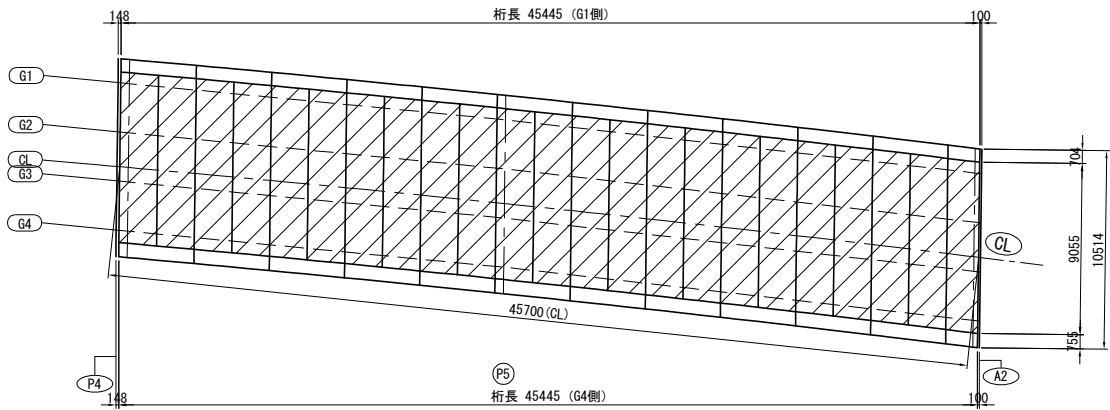


注記  
1. 本図面は既設設計図書を基に作成しているため、  
現地にて寸法を確認した上で、施工を行うこと。  
2. 現地盤高は現地計測値に基づくものとする。

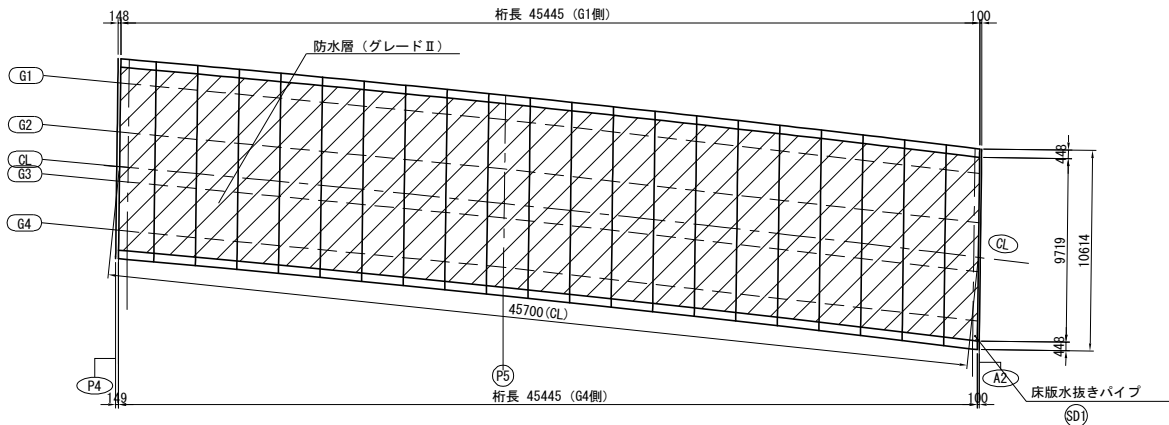
常磐自動車道 宮田川橋床版取替工事			
図面の種類	宮田川橋(下り線)		
	P4～A2間橋台壁高欄用足場工設置図(参考図)		
縮 尺	図 示	図面番号	138 / 165
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
	水 戸 管 理 事 務 所		



平面図 S=1:400  
(取替前)

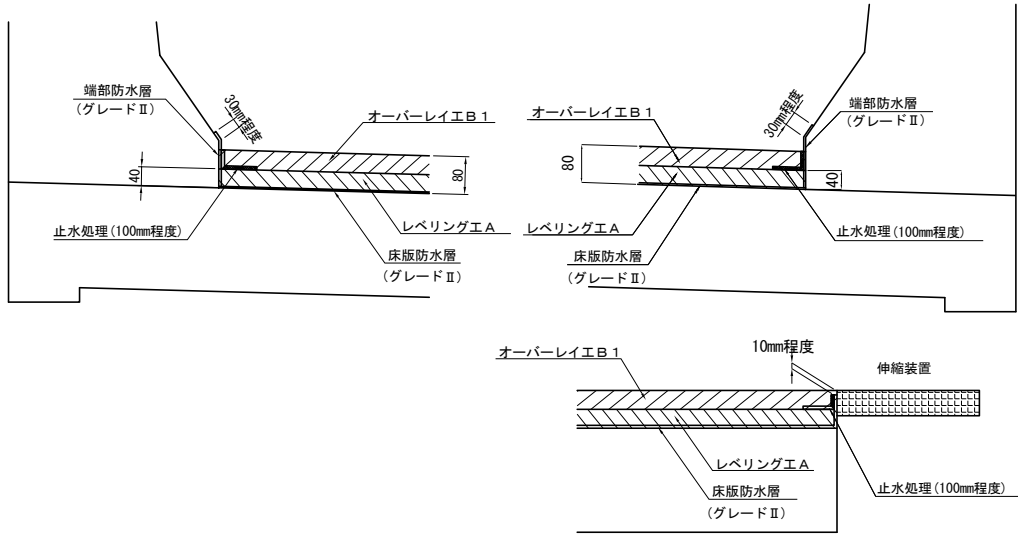


平面図 S=1:400  
(取替後)



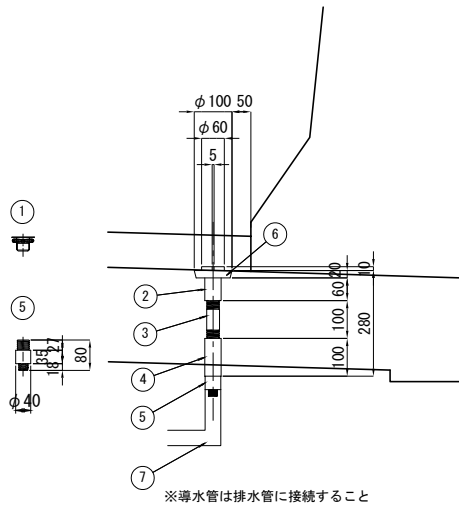
橋面防水工詳細 S=1:20

地覆部



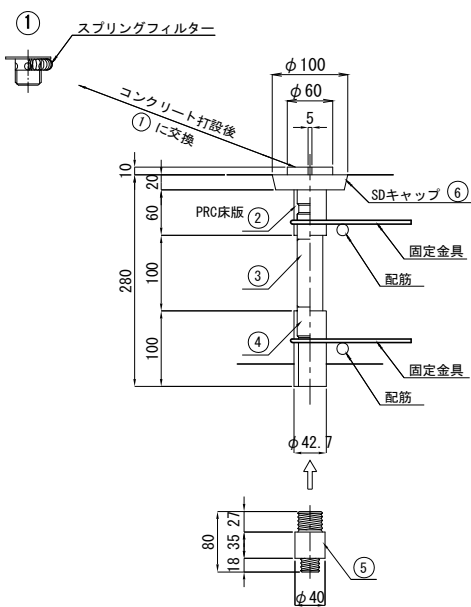
床版水抜きパイプ詳細図 S=1:20

※コンクリート打設後①を設置。

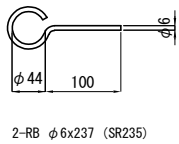


床版水抜きパイプ構成図 S=1:10

SD1 (製作数: 1)



固定金具 S=1:10



床版水抜きパイプ材料表

部 材 名	寸 法	備 考
①	φ34.0×35	鋼管 (溶融亜鉛メッキ仕上げ) キャップ付 (φ60×2.3t)
②	φ42.7×60	鋼管 (溶融亜鉛メッキ仕上げ)
③	φ34.0×100	鋼管 (溶融亜鉛メッキ仕上げ)
④	φ42.7×100	鋼管 (溶融亜鉛メッキ仕上げ)
⑤	φ40.0×80	
SDキャップ ⑥	φ100×45	樹脂性
導水管 ⑦	φ40×1000	フレキシブル管
固定金具	φ6x237	SR235
目詰り防止フィルター		スプリングフィルター (SUS304)

※ 導水管は排水管に接続すること。  
溶融亜鉛メッキ仕上げは、JIS H 8641 HDZT77とする。

橋面工数量表

種別	仕様	単位	数量	備 考
端部防水層	グレード II	m <sup>2</sup>	12.8	
床版防水層	グレード II	m <sup>2</sup>	440.9	
止水処理		m	110.8	L型止水テープ
床版水抜きパイプ	床版厚220mm用	個	1	

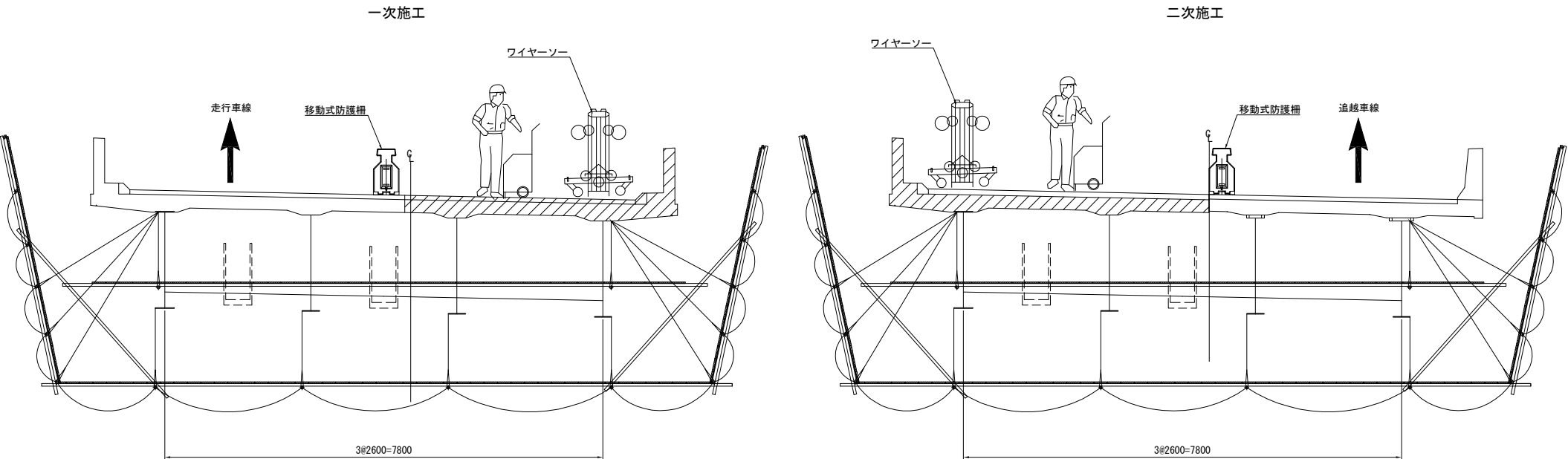
数量表

	幅 (mm)	長さ (mm)	厚さ (mm)	面積/体積/重量 (m <sup>2</sup> /m <sup>3</sup> /t)	備考
路面切削工 A	9055	45700	93	38.5 m <sup>3</sup>	取替前
レベリングエ A	9719	45700	40	40.8 t	取替後
オーバーレイエ B 1	9719	45700	40	444.2 m <sup>2</sup>	取替後 高機能舗装 II 型用混合物

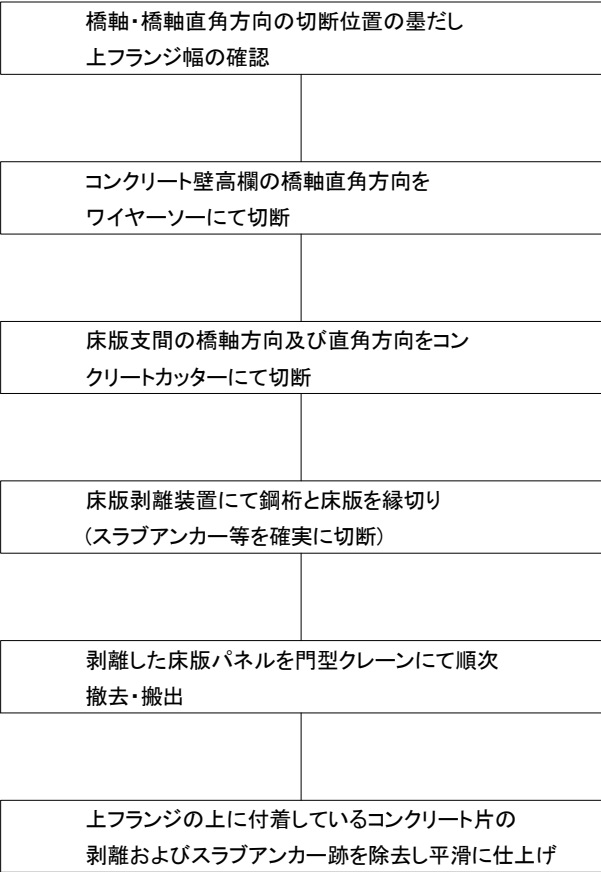
※導水管は排水管に接続すること  
混合物については床版上1cmまでを見込んでいる。

常磐自動車道 宮田川橋床版取替工事				
図面の種類	宮田川橋(下り線) P4～A2間舗装工・床版防水工詳細図			
縮 尺	図 示	図面番号	139 / 165	
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水 戸 管 理 事 務 所			

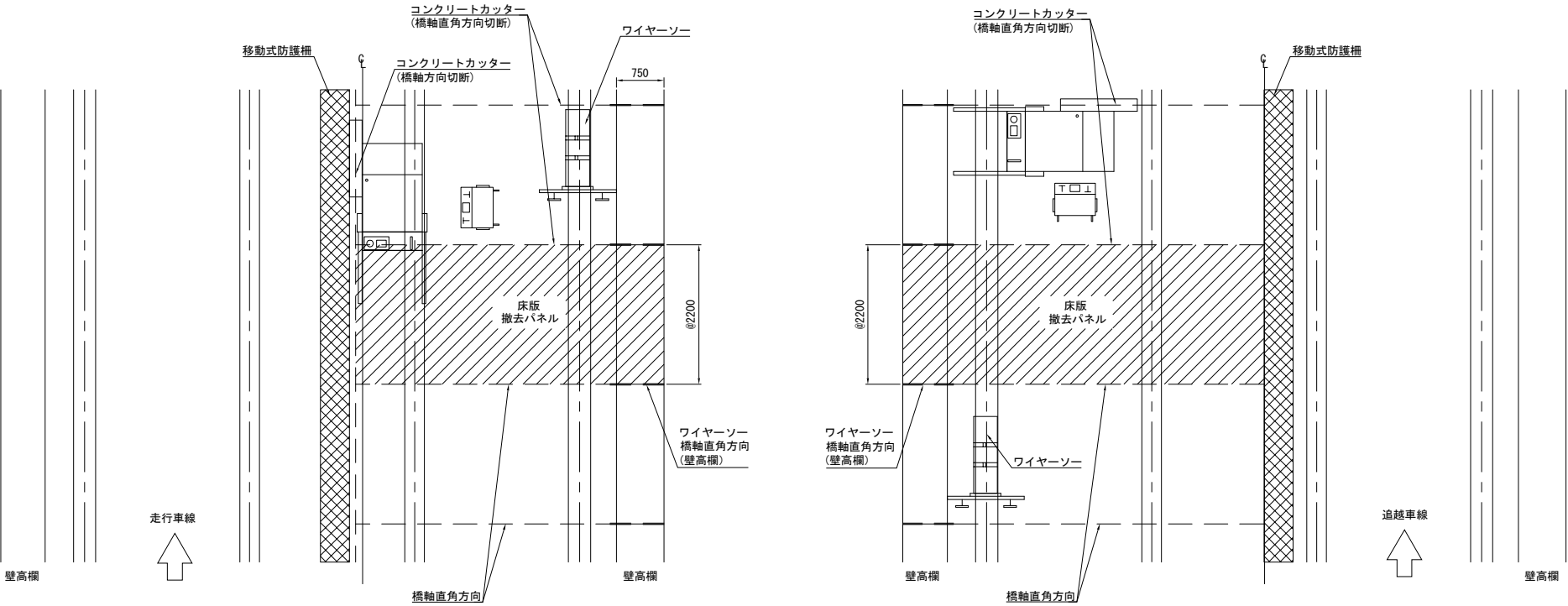
断面図



既設床版撤去フロー



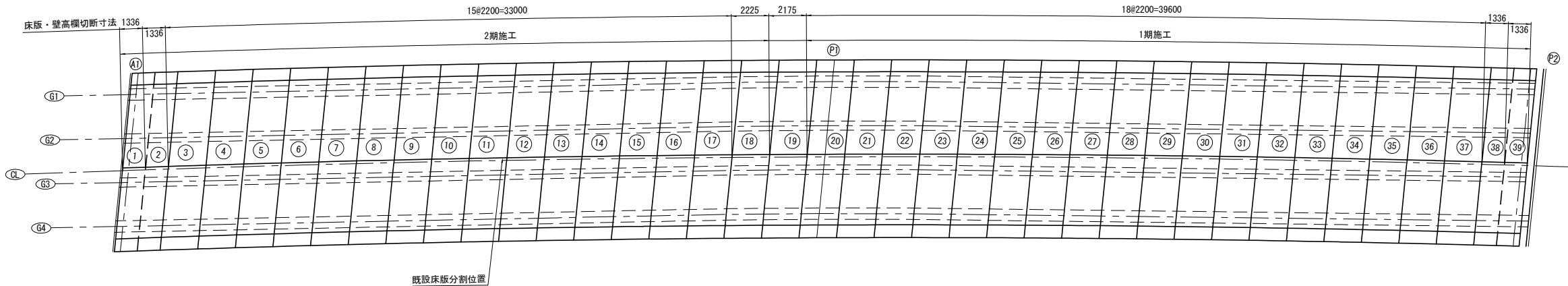
平面図



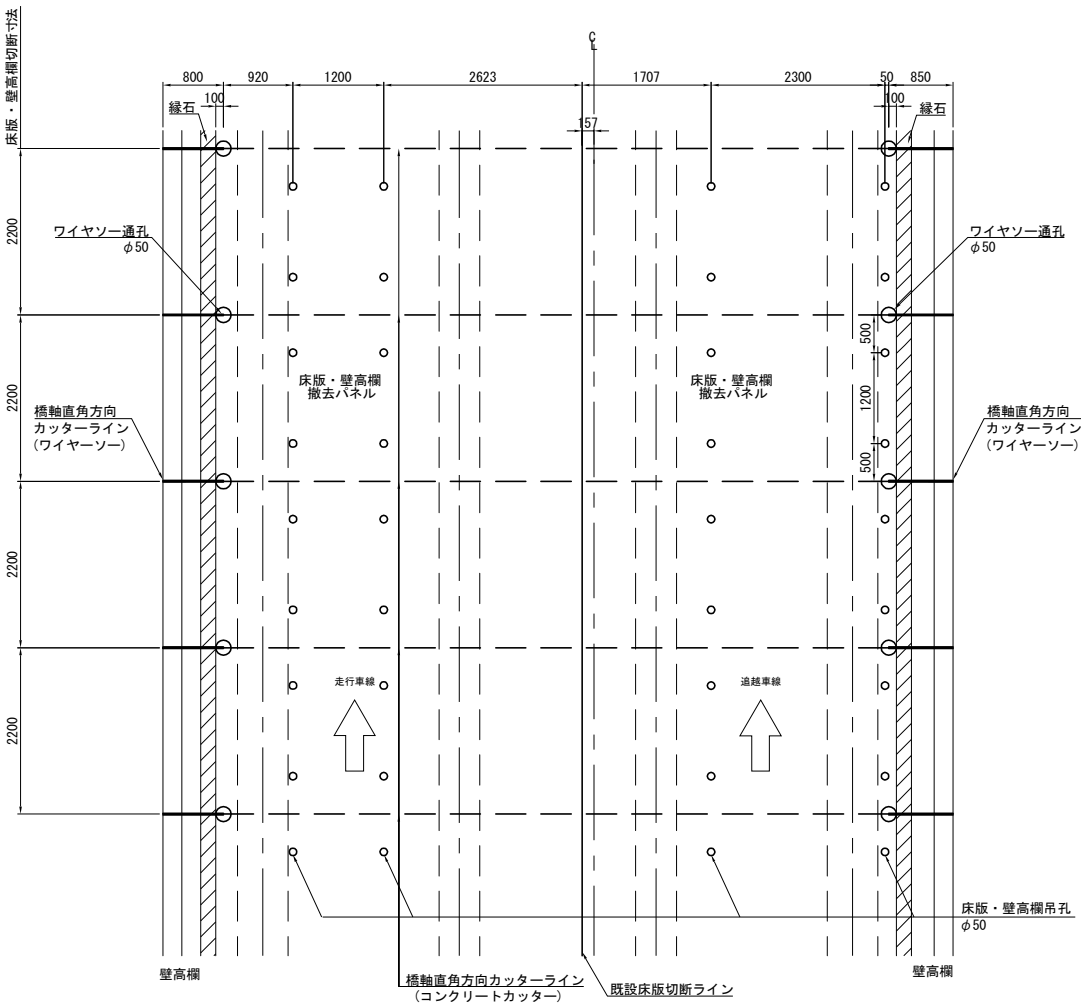
常磐自動車道 宮田川橋床版取替工事			
図面の種類	宮田川橋(下り線)		
	既設床版撤去施工要領図(参考図)		
縮尺	1:100	図面番号	140 / 165
設計会社名	株式会社ネクソ東日本エンジニアリング		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

宮田川橋(下り線) 既設床版撤去時切断位置図(参考図)(その1)  
A1~P2

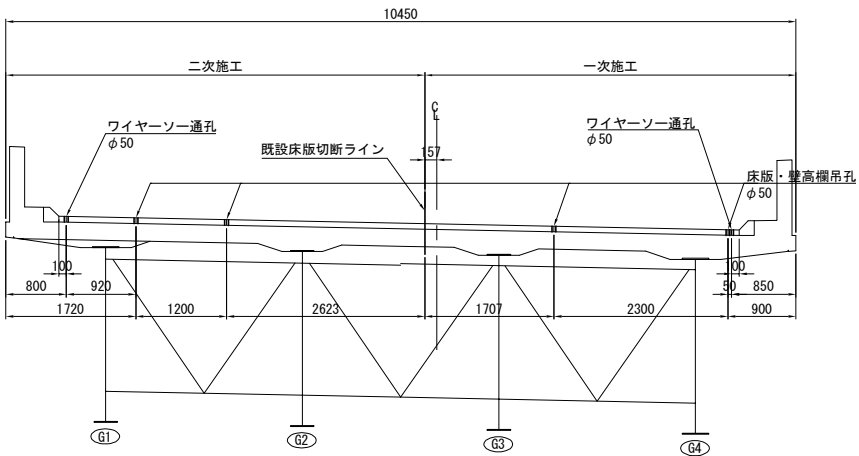
平面図 S=1:300



平面詳細図 S=1:100



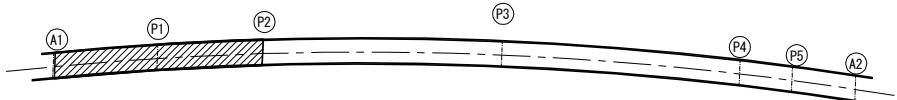
断面図 S=1:100



数量表

		一次施工	二次施工
コンクリートカッター	橋軸方向	82.7 m	0 m
	橋軸直角方向	158.2 m	185.0 m
	合計	240.9 m	185.0 m
ワイヤーソー	橋軸直角方向	18.8 m <sup>2</sup>	18.3 m <sup>2</sup>
ワイヤーソー通孔		38箇所	38箇所
吊孔		156箇所	156箇所

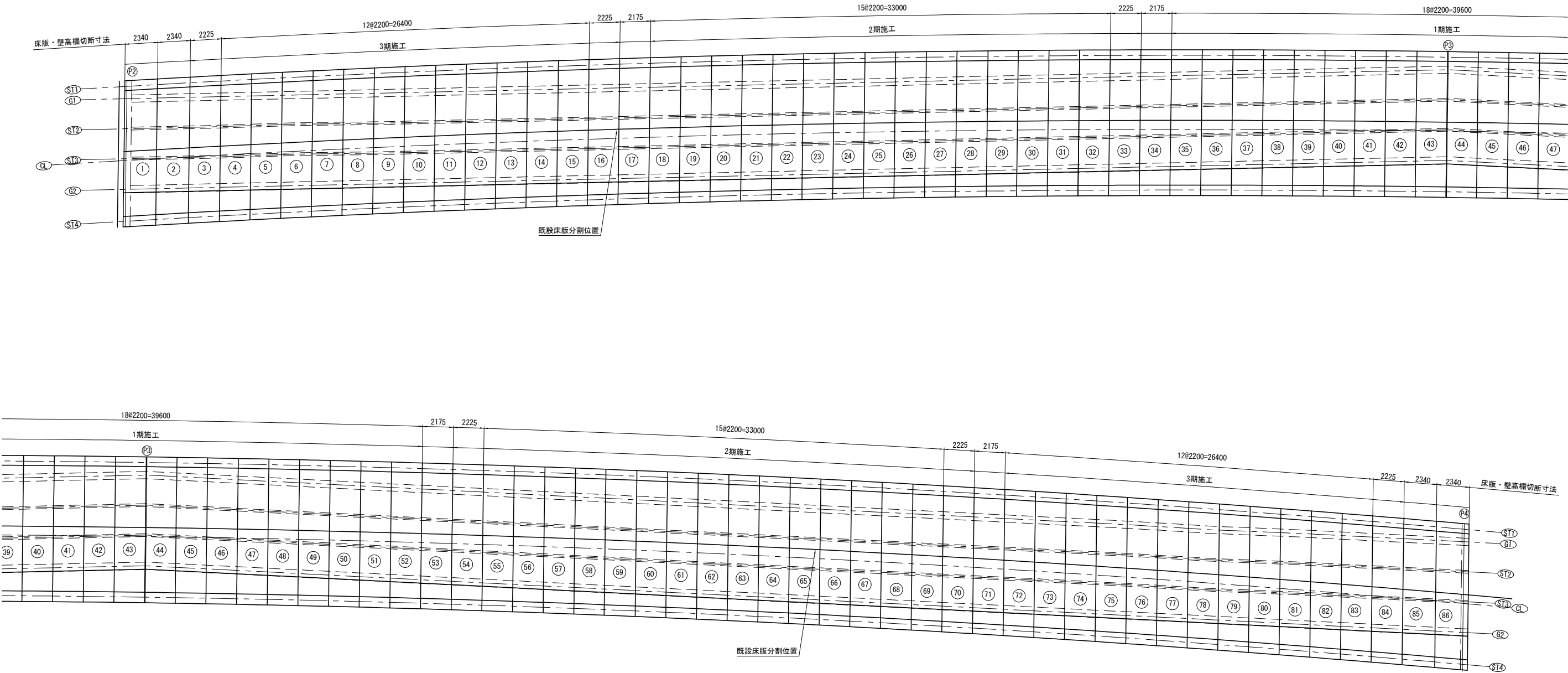
配置図



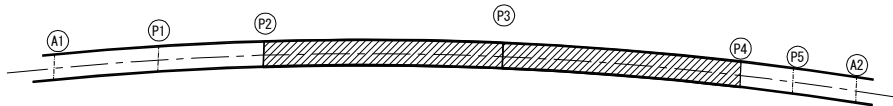
常磐自動車道 宮田川橋床版撤去工事			
図面の種類	宮田川橋(下り線) 既設床版撤去時切断位置図(参考図)(その1)		
縮尺	図示	図面番号	141 / 165
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

宮田川橋(下り線) 既設床版撤去時切断位置図(参考図)(その2)  
P2~P4

平面図 S=1:300



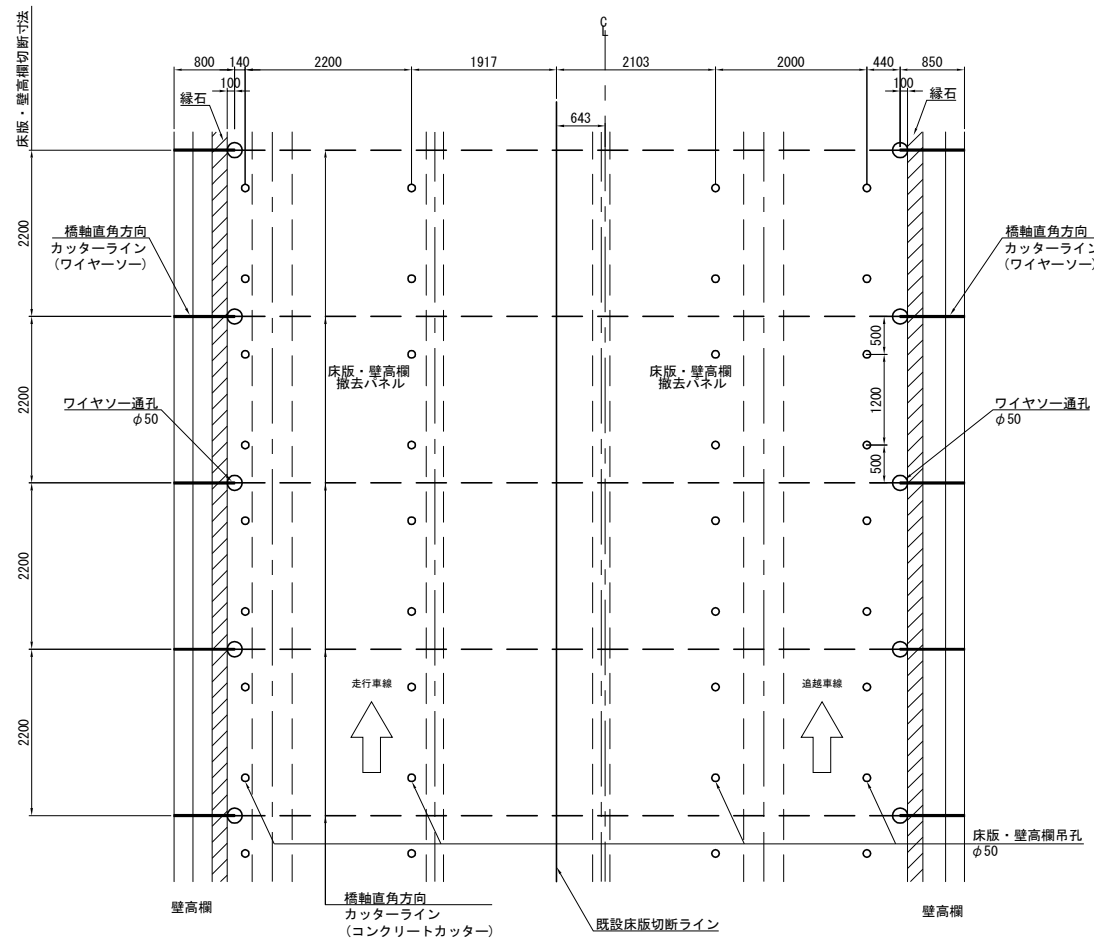
配置図



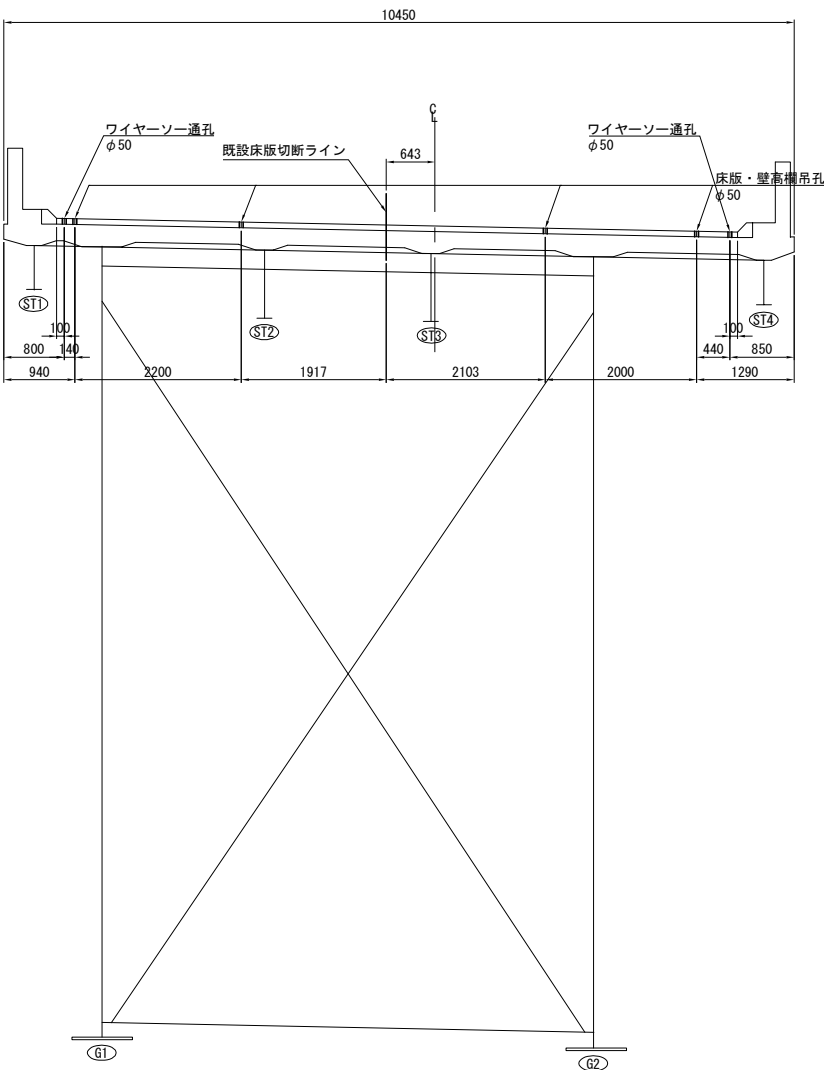
数量表		一次施工	二次施工
コンクリートカッター	橋軸方向	190.0 m	0 m
	橋軸直角方向	390.7 m	366.1 m
	合計	580.7 m	366.1 m
ワイヤーソー	橋軸直角方向	41.0 m <sup>2</sup>	42.0 m <sup>2</sup>
ワイヤーソー通孔		85箇所	85箇所
吊孔		344箇所	344箇所

常磐自動車道 宮田川橋床版取替工事			
図面の種類	宮田川橋(下り線) 既設床版撤去時切断位置図(参考図)(その2)		
縮尺	1:300	図面番号	142 / 165
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

平面詳細図 S=1:100



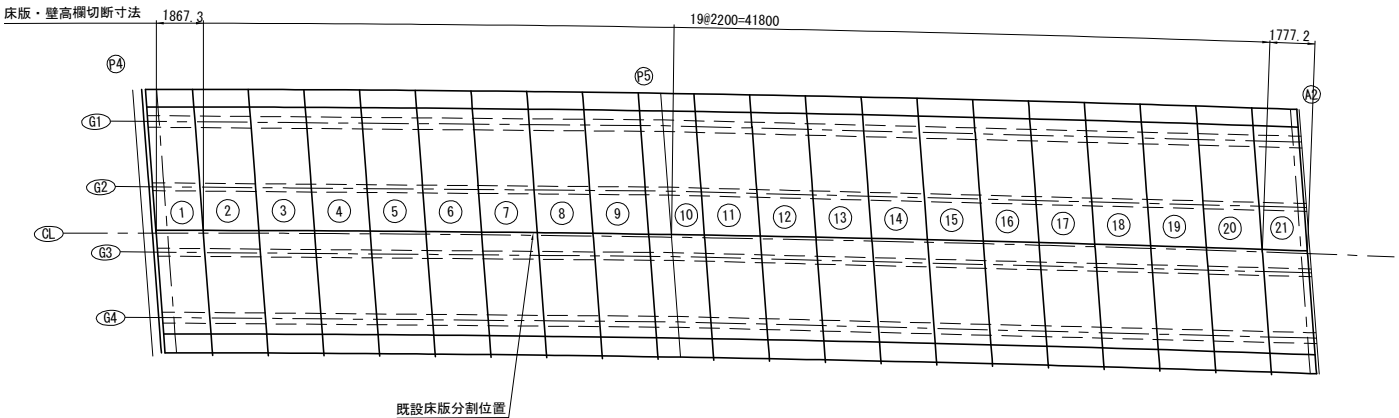
断面図 S=1:100



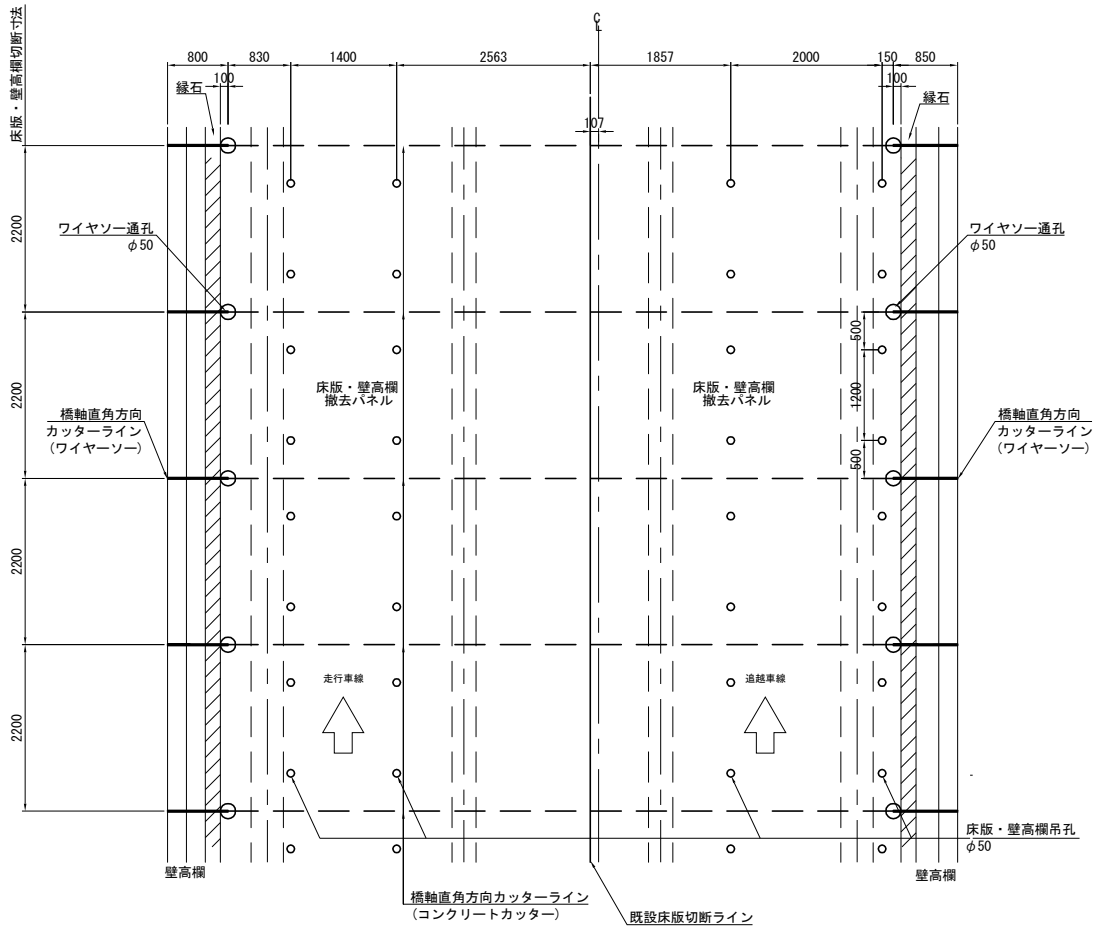
常磐自動車道 宮田川橋床版取替工事			
図面の種類	宮田川橋(下り線)		
	既設床版撤去時切断位置図(参考図)(その3)		
縮 尺	1:100	図面番号	143 / 165
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

宮田川橋(下り線) 既設床版撤去時切断位置図(参考図)(その4)  
P4~A2

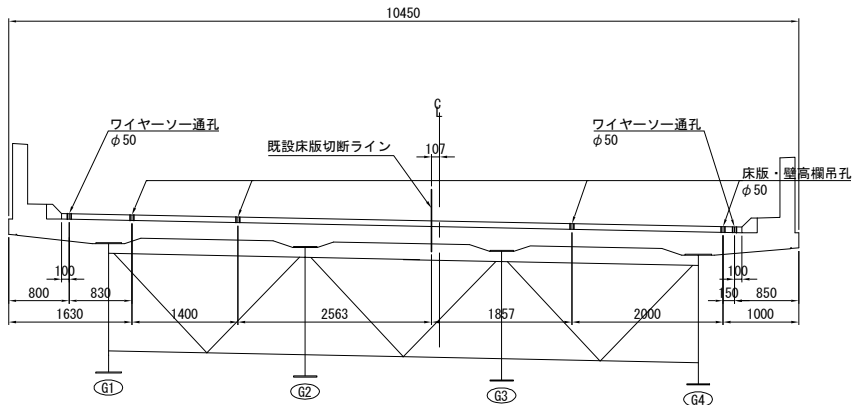
平面図 S=1:300



平面詳細図 S=1:100



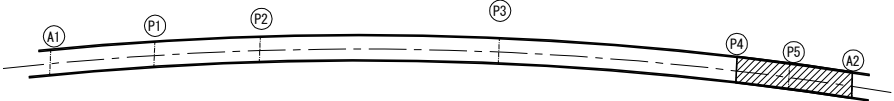
断面図 S=1:100



数量表

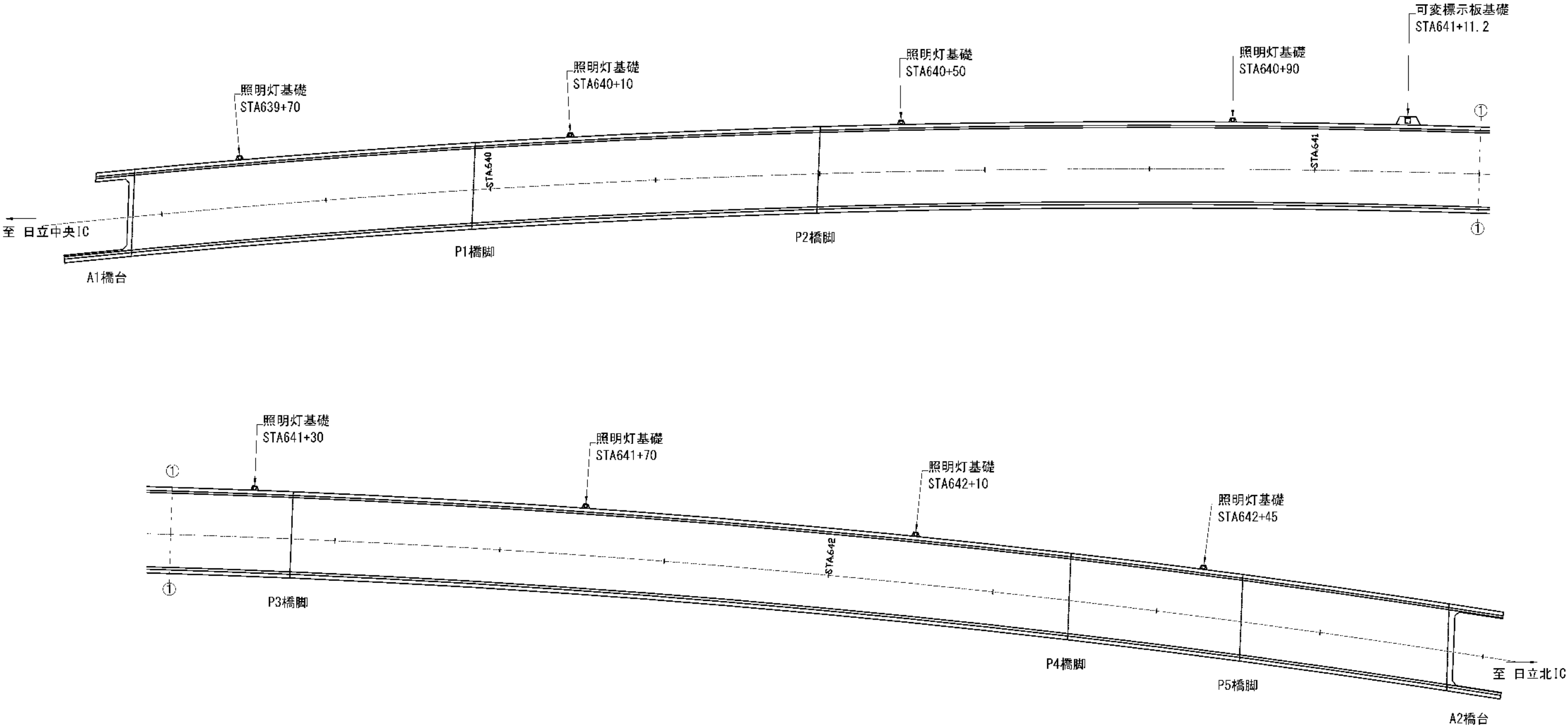
		一次施工	二次施工
コンクリートカッター	橋軸方向	45.7 m	0 m
	橋軸直角方向	88.2 m	105.4 m
	合計	133.9 m	105.4 m
ワイヤーソー	橋軸直角方向	10.8 m <sup>2</sup>	10.5 m <sup>2</sup>
ワイヤーソー通孔		20箇所	20箇所
吊孔		84箇所	84箇所

配置図



常磐自動車道 宮田川橋床版撤去工事			
図面の種類	宮田川橋(下り線) 既設床版撤去時切断位置図(参考図)(その4)		
縮尺	図示	図面番号	144 / 165
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

宮田川橋（下り線）照明灯・可変標示板基礎 取壊し・新設図(参考図)(その1)



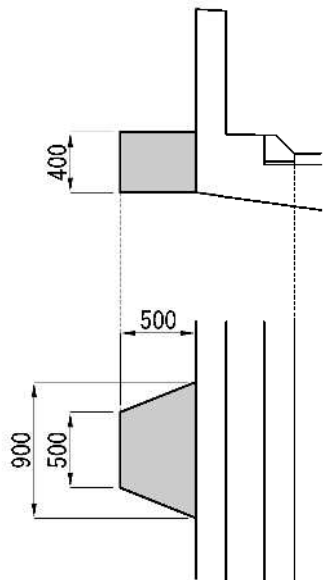
照明灯・可変標示板基礎材料表				
名称	単位	取壊し	新設	
照明灯基礎	箇所	8	8	
可変標示板基礎	箇所	1	1	

注記) 1. 本図は橋梁建設時の完成図を基に作成したものである。  
2. 新設は、既設物の寸法・位置を基準とし、床版との接合方法や必要な附属物・設備など、適切に検討・計画すること。

常磐自動車道				
宮田川橋床版取替工事				
図面の種類	宮田川橋(下り線) 照明灯・可変標示板基礎 取壊し・新設図(参考図)(その1)			
縮 尺	図 示	図面番号	145 / 165	
設計会社名				
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所			

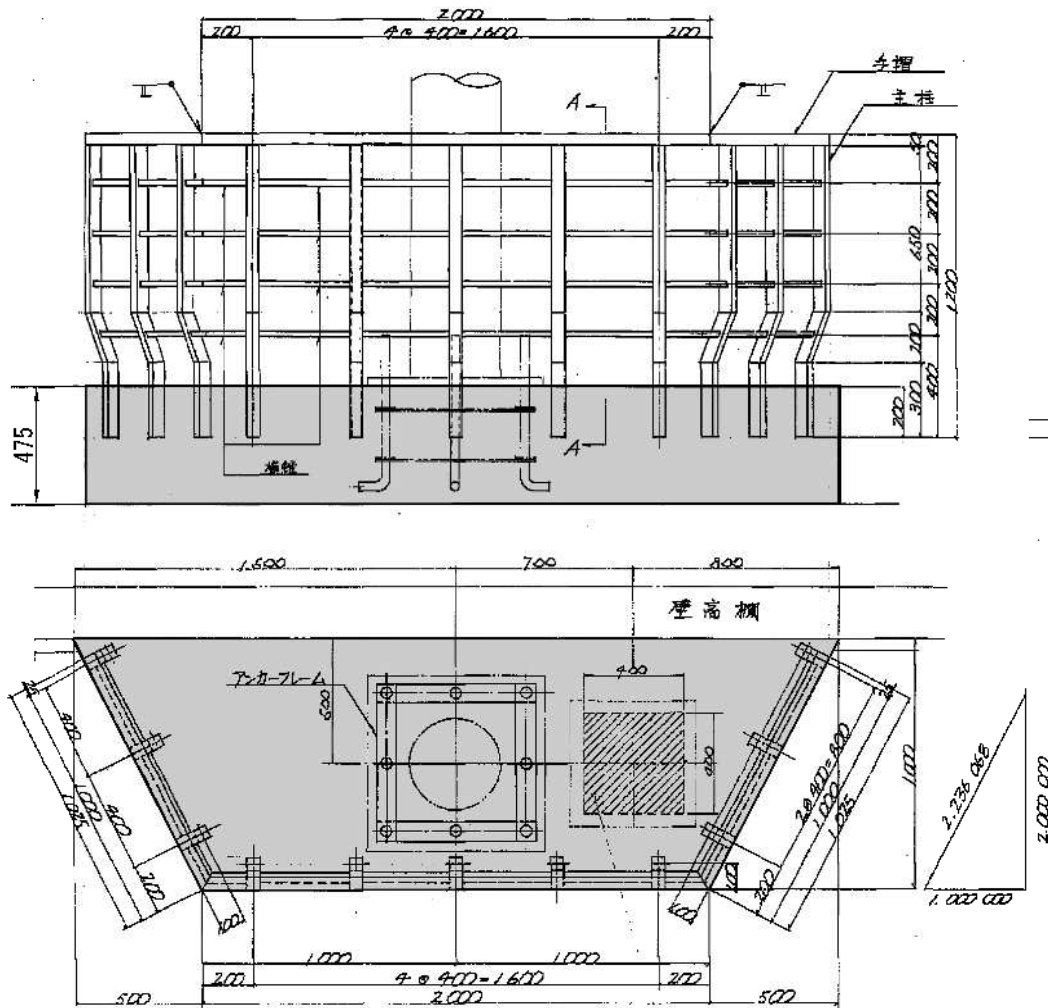
宮田川橋（下り線）照明灯・可変標示板基礎 取壊し・新設図（参考図）（その2）

既設照明灯基礎



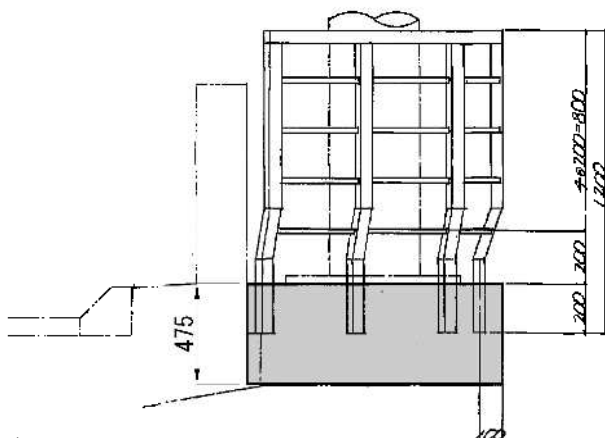
基礎部  
体積：(0.5+0.9)/2×0.5×0.4=0.14m<sup>3</sup>/箇所

既設可変標示板基礎



ハンドホールボックス  
※ A・BラインとB・Cラインで位置が異なるので注意。

基礎部  
体積：(2.0+3.0)/2×1.0×0.475=1.1875≒1.19m<sup>3</sup>/箇所



主筋	1/1-D	50×50×2 <sup>#</sup>	650	(STKR41)
	1/1-D		300	( )
	1/1-D		285	( )
寸法	1/1-D		2,000	( )
	2-D		1,000	( )
補筋	3/2-E	90×20×2 <sup>#</sup>	950	(SSC41)
	12-E		175	( )
	4-C		172	( )
寸法	2-D	50×3 <sup>#</sup>	50	(SS41)

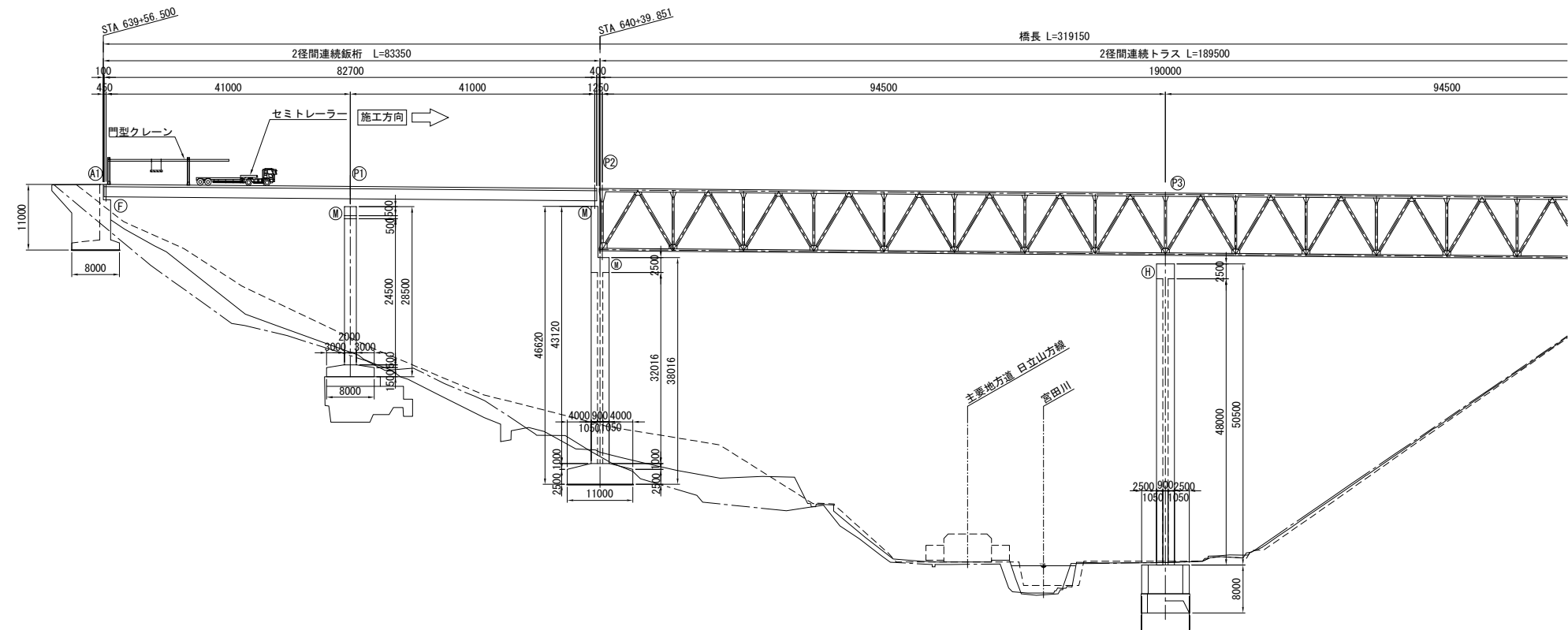
注記) 1. 本図は橋梁建設時の完成図を基に作成したものである。  
2. 新設は、既設物の寸法・位置を基準とし、床版との接合方法や必要な附属物・設備など、適切に検討・計画すること。

常設自動車道 宮田川橋床版取替工事			
図面の種類	宮田川橋(下り線) 照明灯・可変標示板基礎 取壊し・新設図(参考図)(その2)		
縮尺	図示	図面番号	146 / 165
設計会社名			
監工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

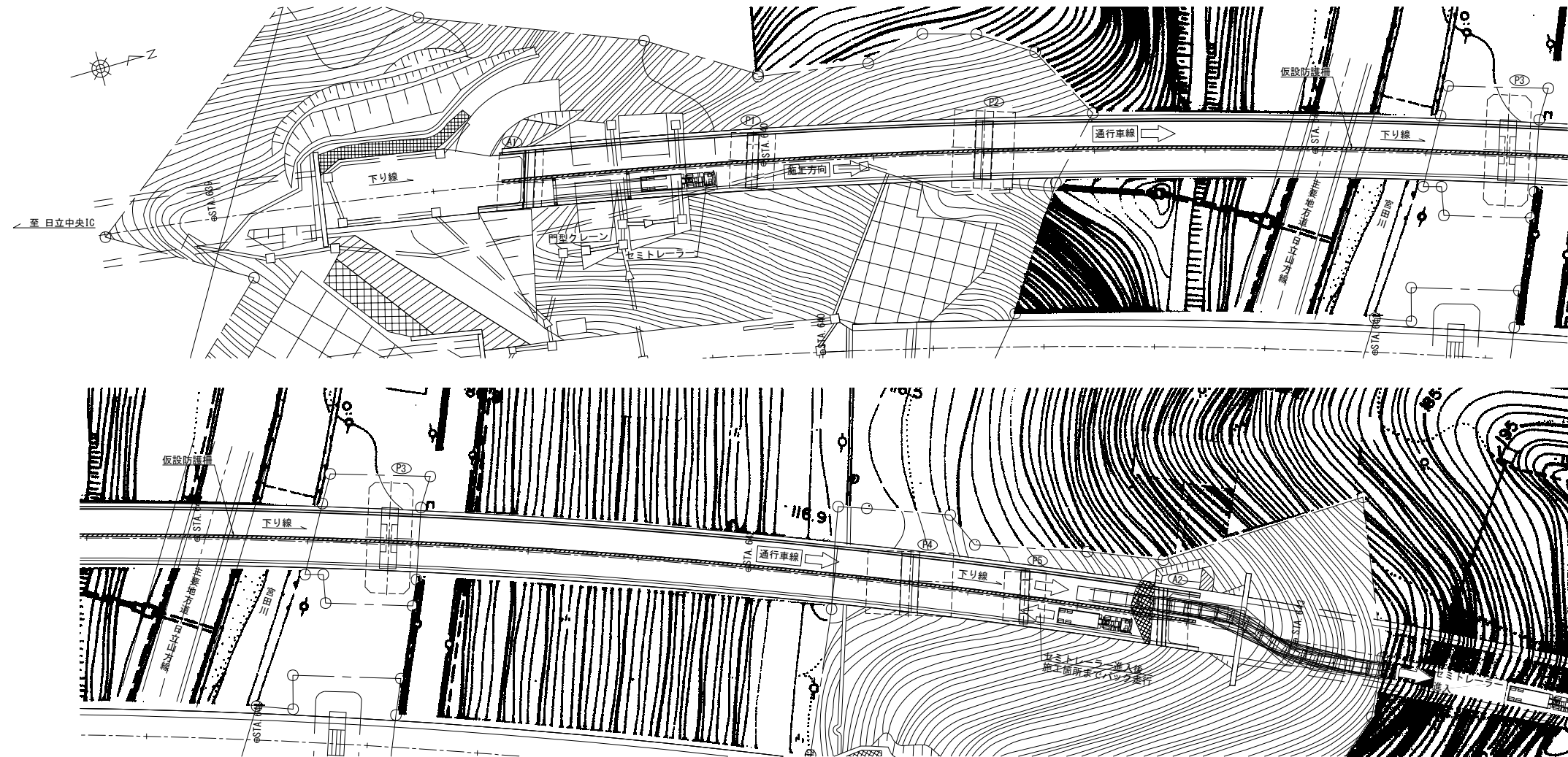


宮田川橋(下り線) 施工計画図(参考図)(その1)  
A1~P2間

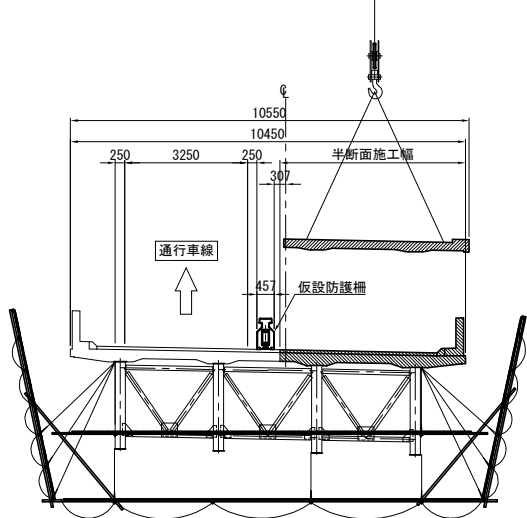
側面図 S=1:1000



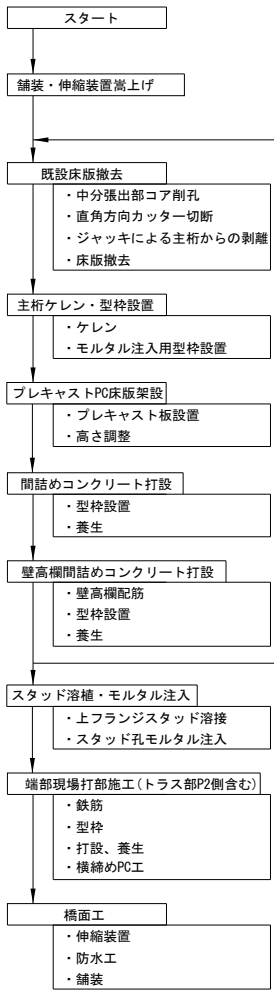
平面図 S=1:1000



断面図 S=1:200



施工フロー

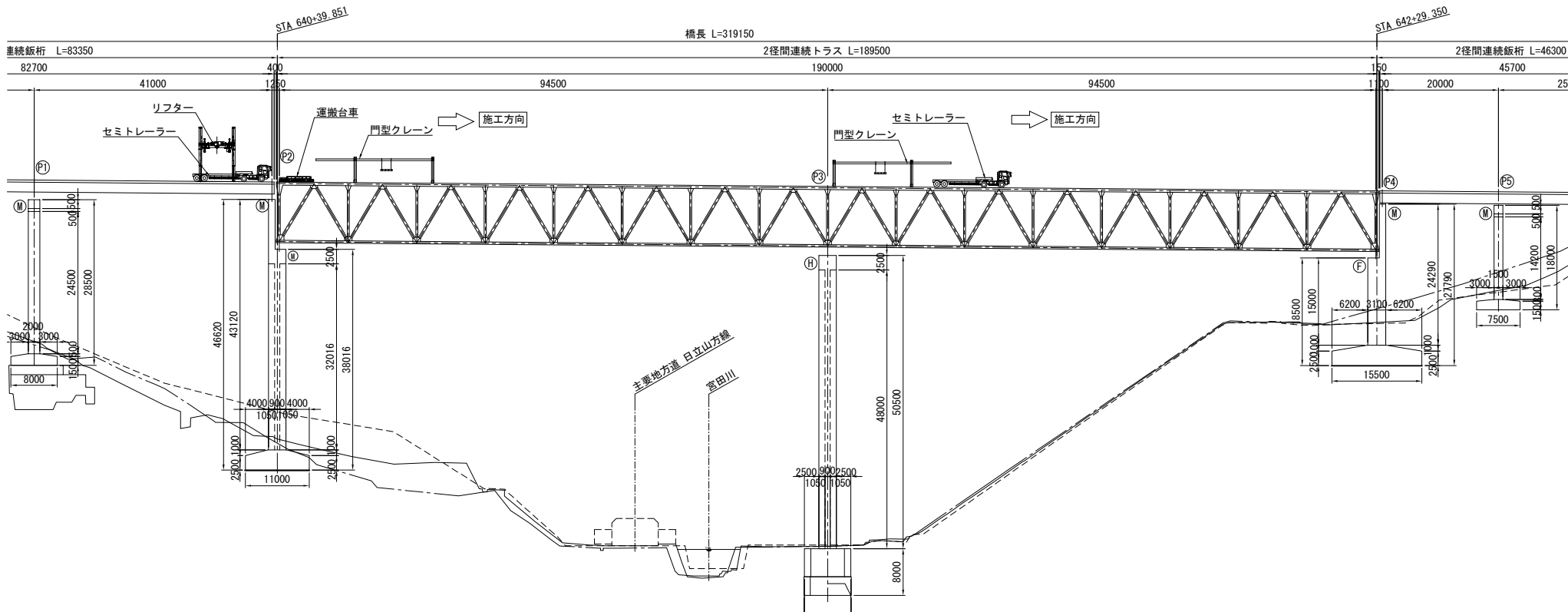


門型クレン  
(定格荷重10.0t)

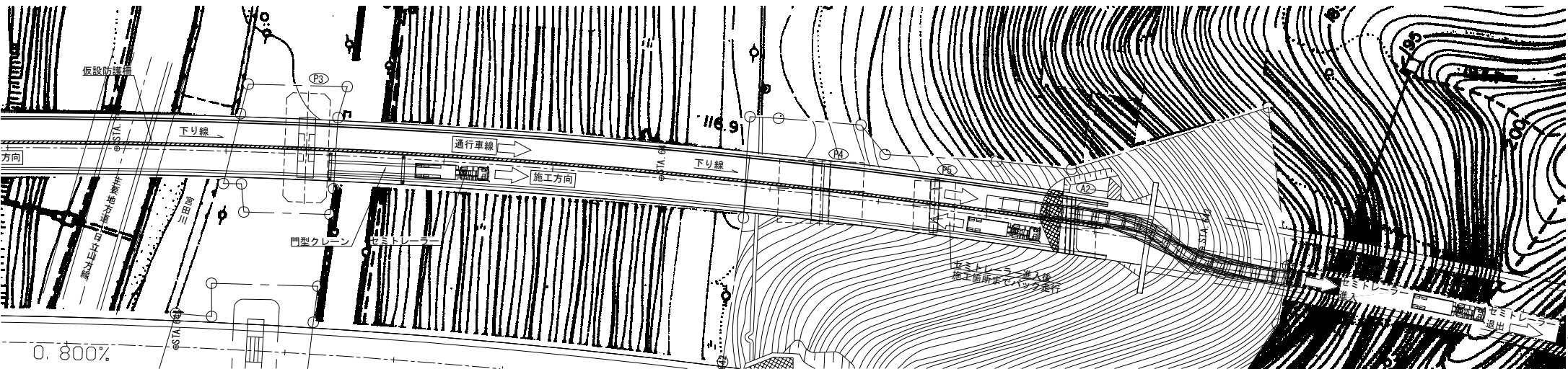
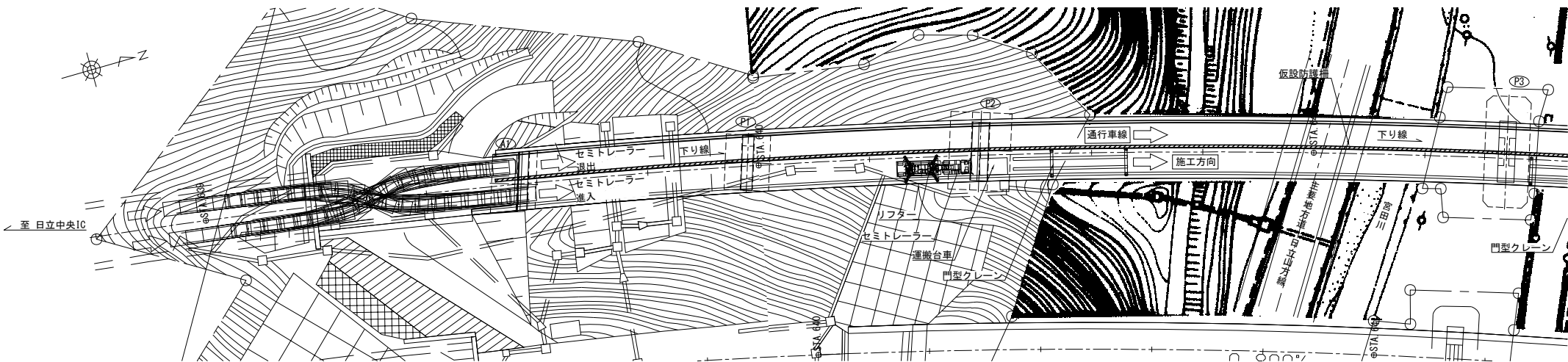
常磐自動車道 宮田川橋床版取替工事			
図面の種類	宮田川橋(下り線) 施工計画図(参考図)(その1)		
縮尺	図示	図面番号	147 / 165
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

宮田川橋(下り線) 施工計画図(参考図)(その2)  
P2~P4間

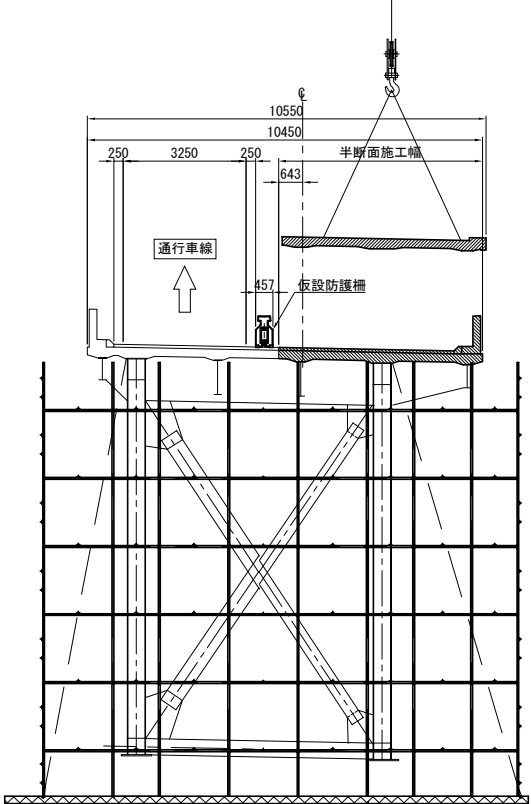
側面図 S=1:1000



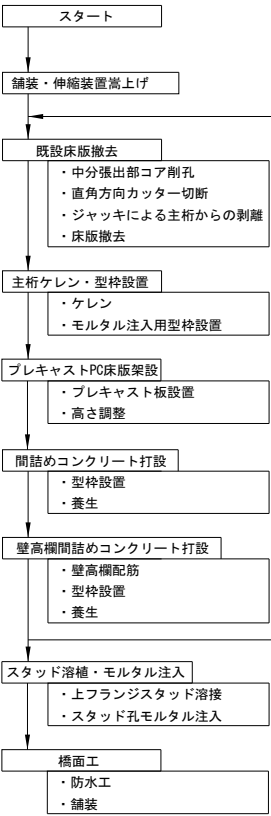
平面図 S=1:1000



断面図 S=1:200



施工フロー



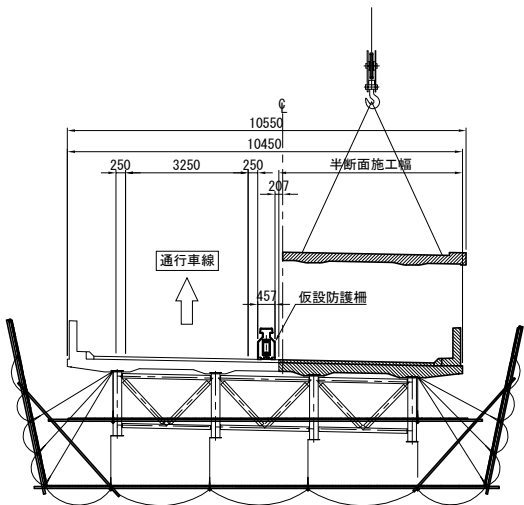
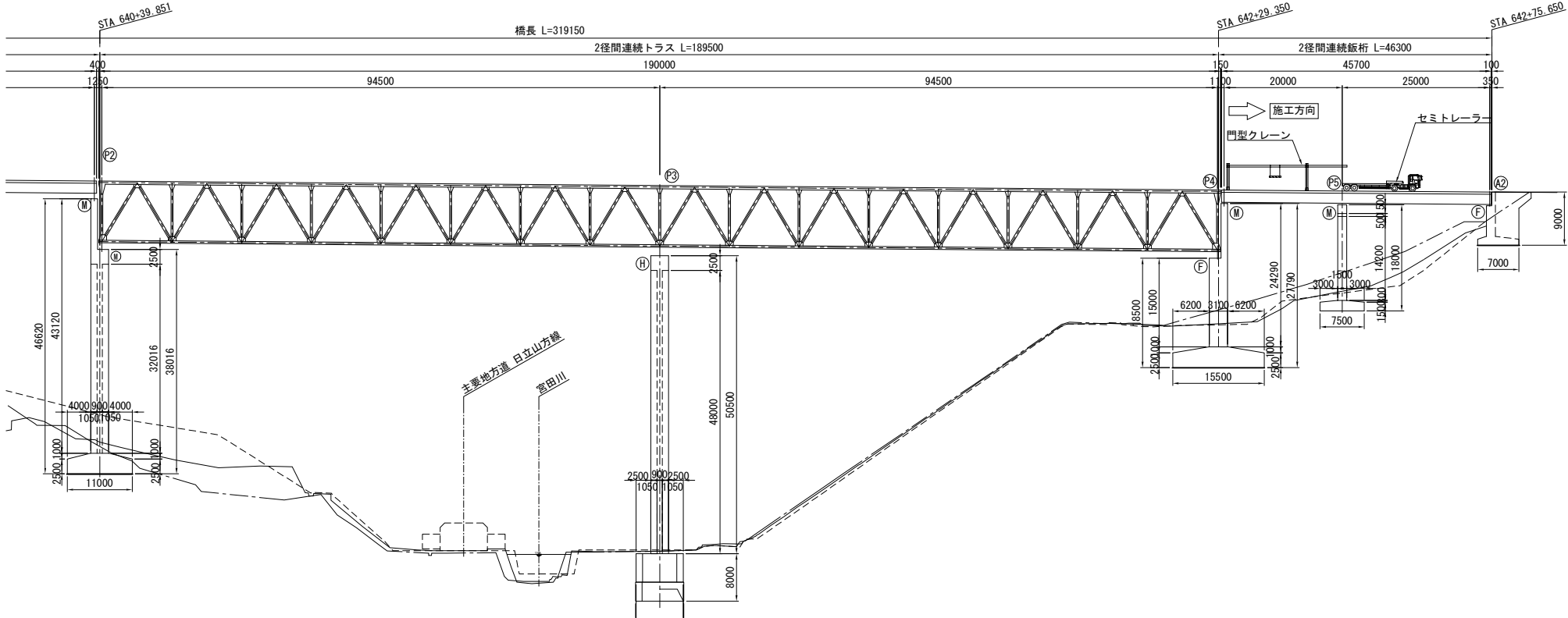
門型クレーン  
(定格荷重10.0t)

常磐自動車道 宮田川橋床版取替工事			
図面の種類	宮田川橋(下り線) 施工計画図(参考図)(その2)		
縮尺	図示	図面番号	148 / 165
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	水戸管理事務所		

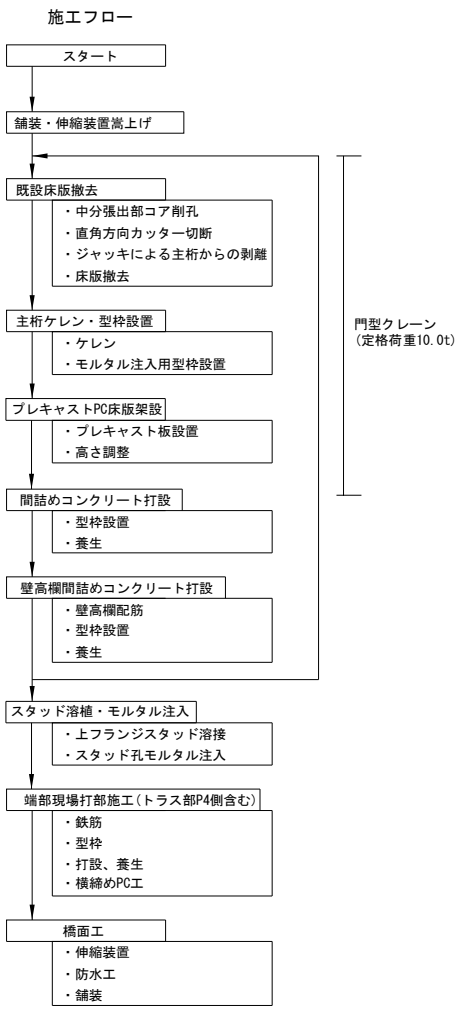
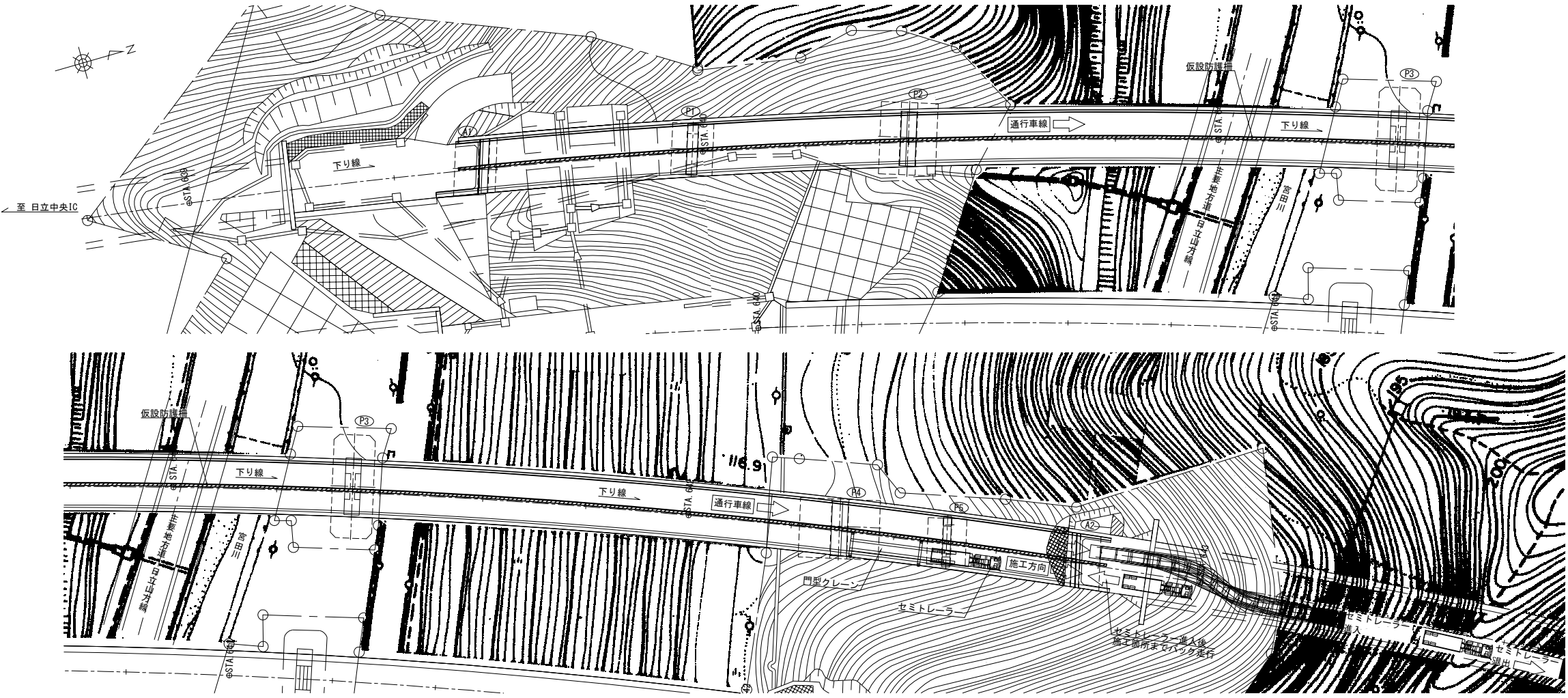
宮田川橋(下り線) 施工計画図(参考図)(その3)  
P4~A2間

側面図 S=1:1000

断面図 S=1:200

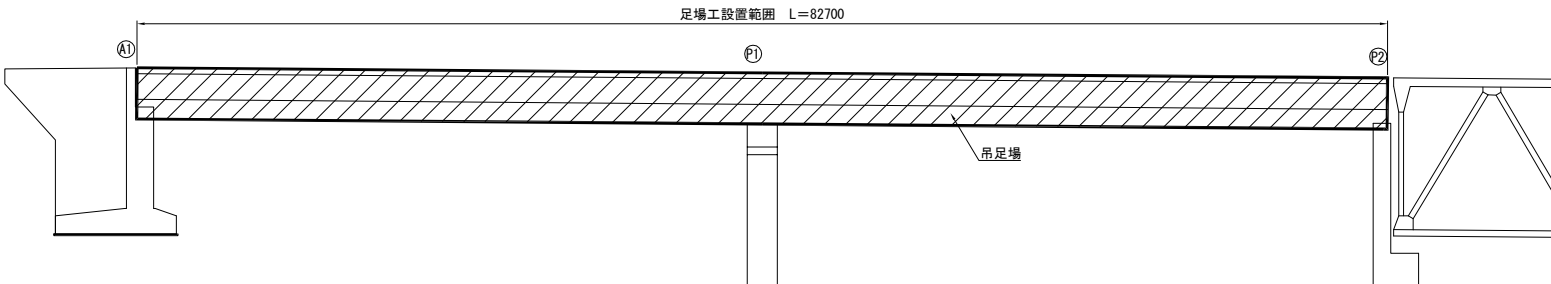


平面図 S=1:1000

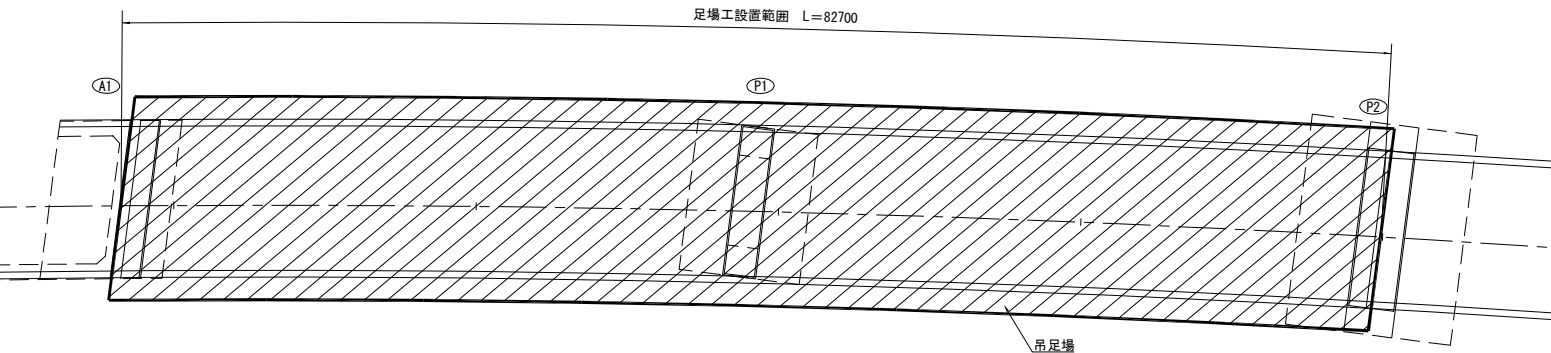


常磐自動車道 宮田川橋床版取替工事			
図面の種類	宮田川橋(下り線) 施工計画図(参考図)(その3)		
縮尺	図示	図面番号	149 / 165
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	水戸管理事務所		

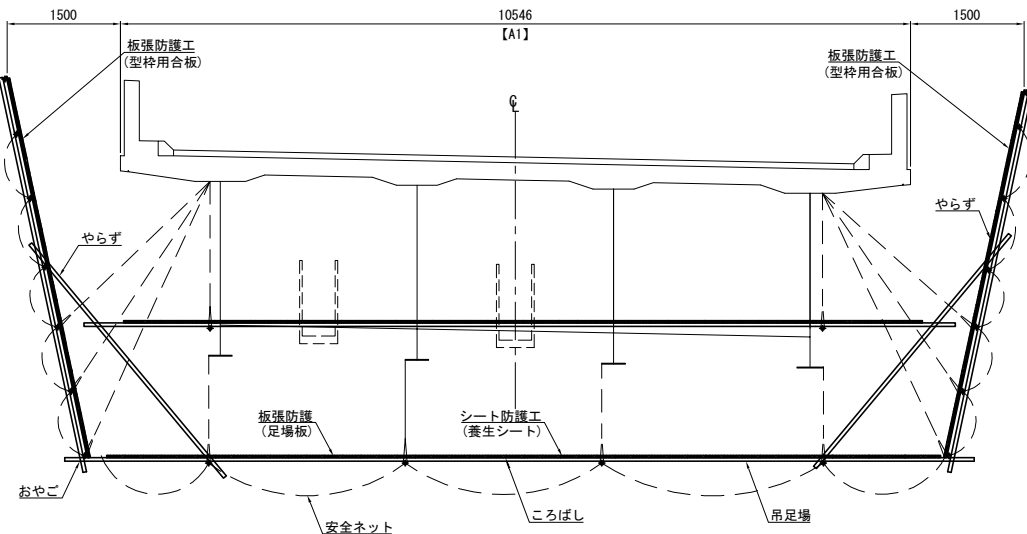
A1～P2間  
側面図 S=1:500



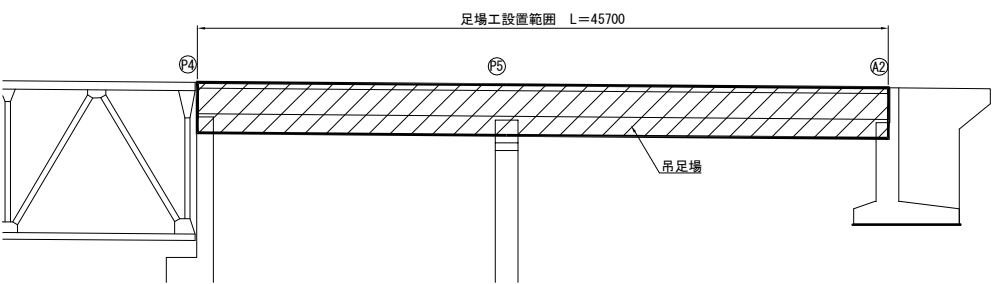
平面図 S=1:500



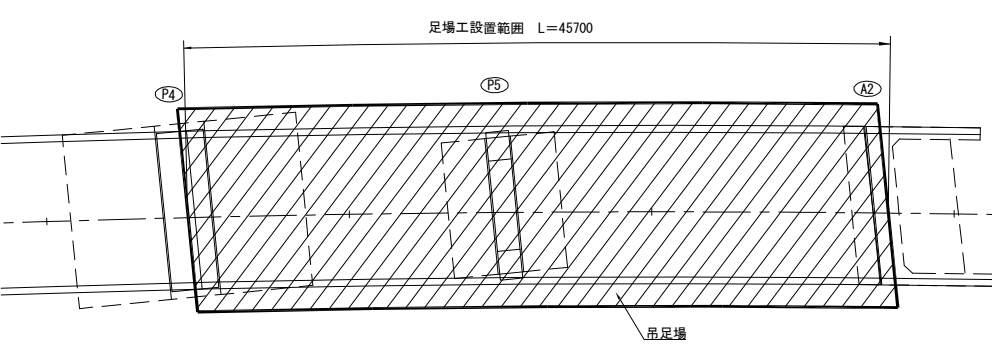
断面図 S=1:100



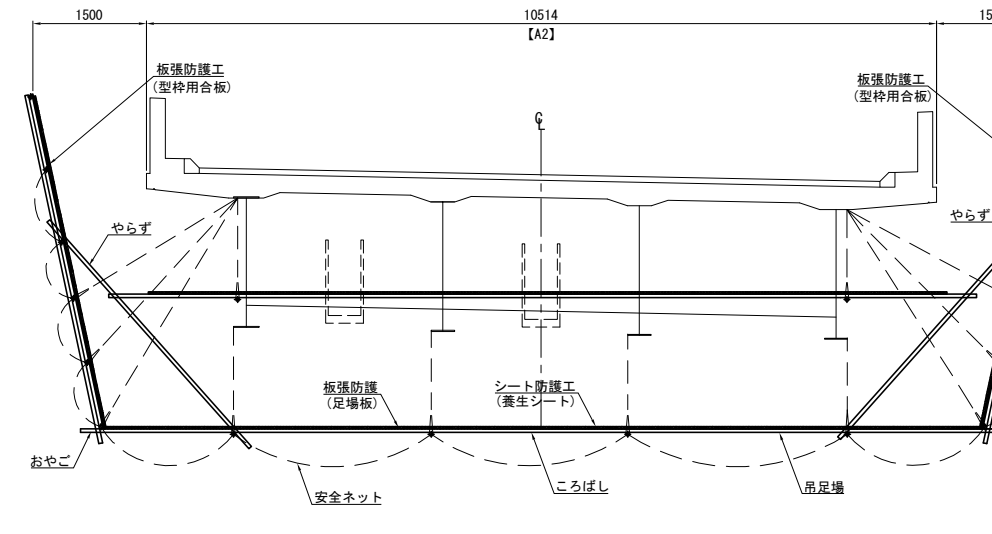
P4～A2間  
側面図 S=1:500



平面図 S=1:500



断面図 S=1:100

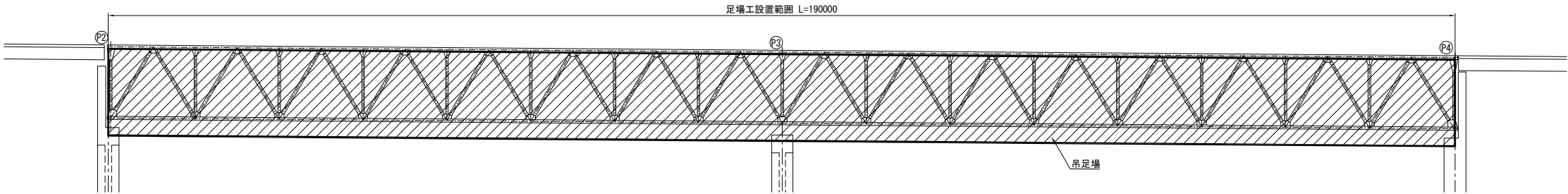


数量表				
項 目	区 間	数 量	単 位	備 考
橋梁補修用足場工	A1-P2	872.2	m2	標準型
	P4-A2	480.5	m2	標準型

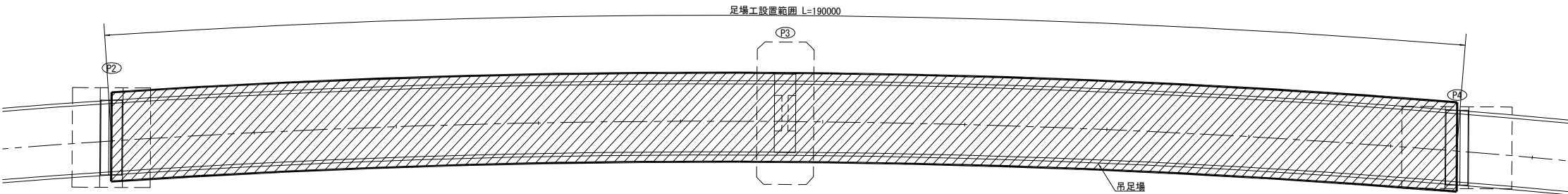
常磐自動車道 宮田川橋床版取替工事			
図面の種類	宮田川橋(下り線)		
	足場工詳細図(参考図)(その1)		
縮 尺	図 示	図面番号	150 / 165
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水 戸 管 理 事 務 所		

宮田川橋(下り線) 足場工詳細図(参考図)(その2)  
P2~P4間

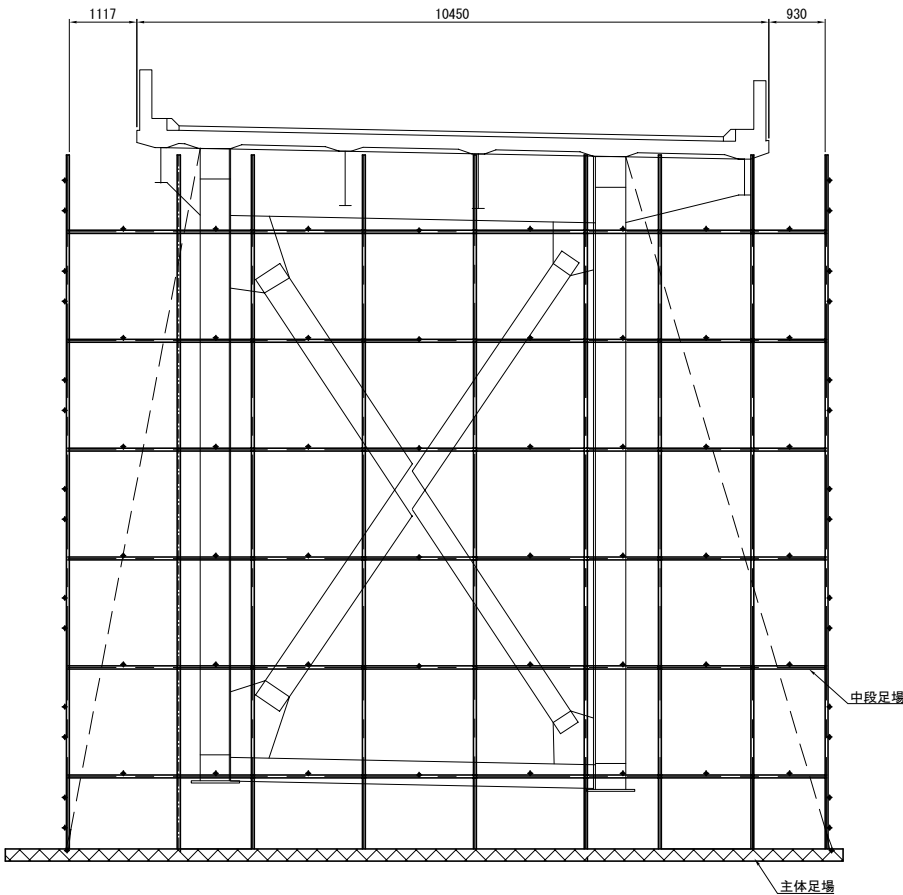
側面図 S=1:750



平面図 S=1:750



断面図 S=1:125

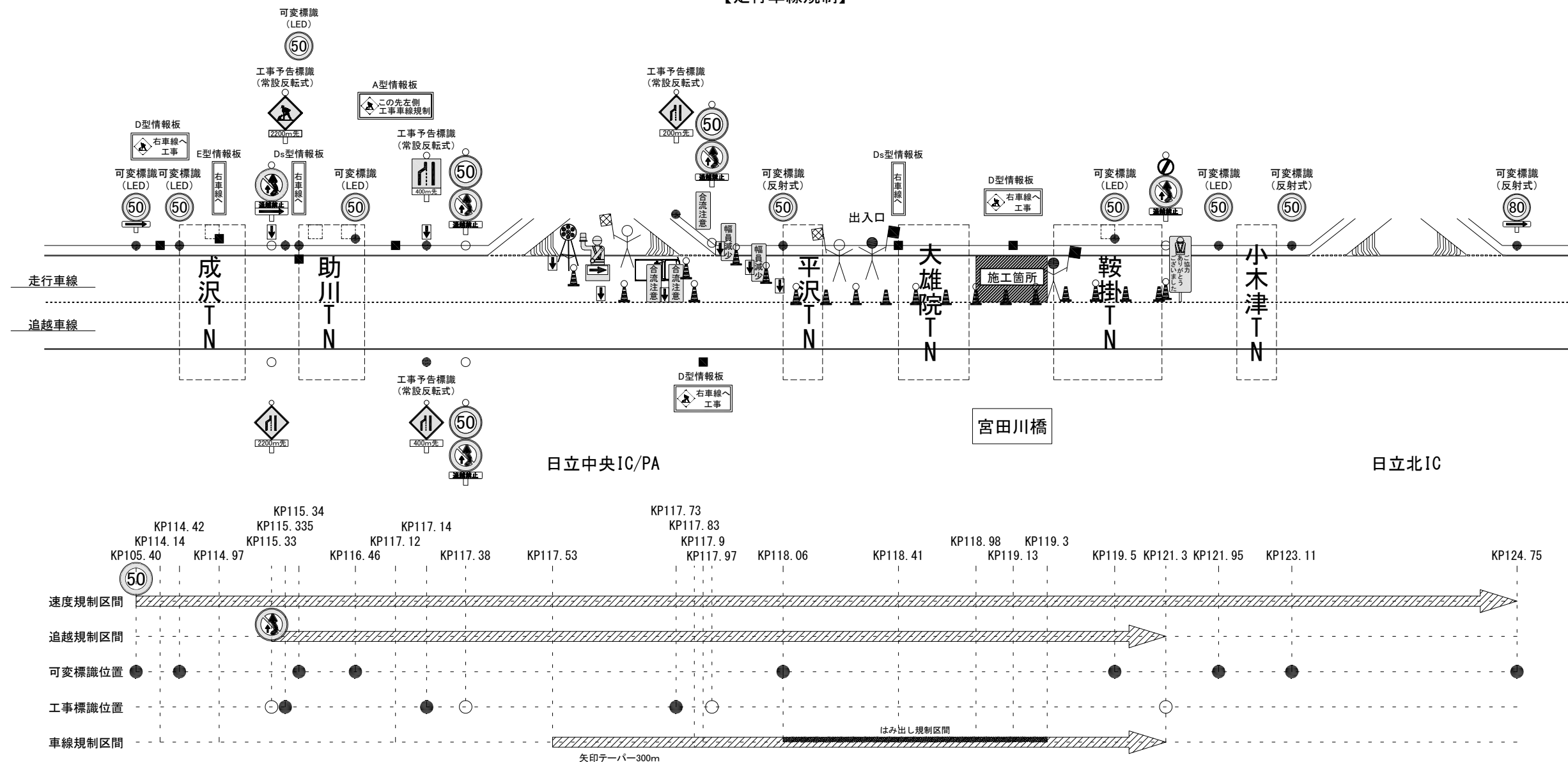


数量表				
項目	区間	数量	単位	備考
橋梁補修用足場工	P2-P4	1985.5	m2	防護型

注記) P2~P4間における吊足場の設置・撤去時に安全ネットを設置すること。

常磐自動車道 宮田川橋床版取替工事			
図面の種類	宮田川橋(下り線)		
	足場工詳細図(参考図)(その2)		
縮尺	図示	図面番号	151 / 165
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

【走行車線規制】



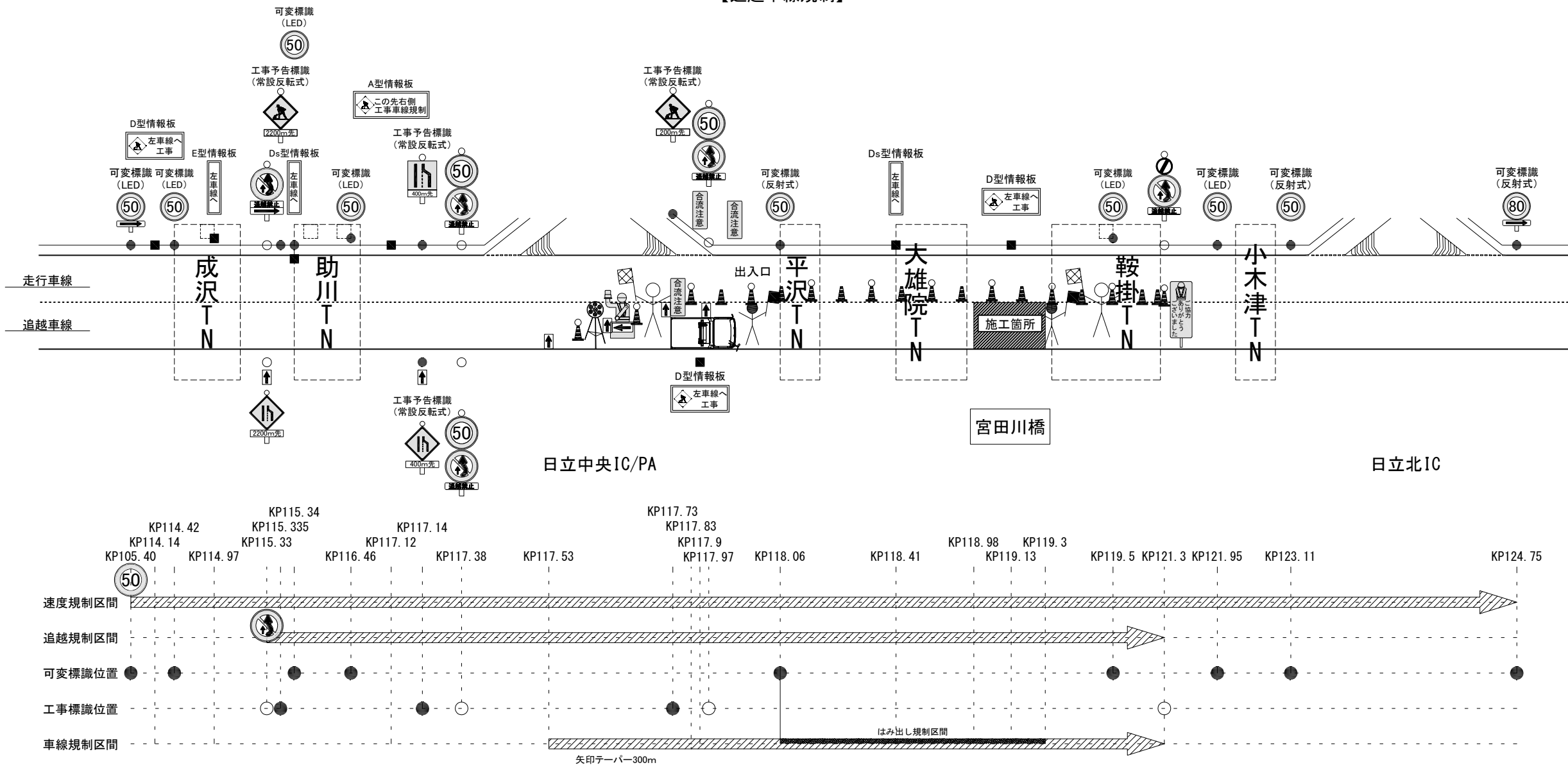
凡例

交通監視員A (施工箇所) (出入口)	交通監視員 (常時、規制費 に含む)	矢印板 (高輝度反射 タイプ)	回転警告灯	安全太郎	ラバーコーン (反射シート、 自発光デリ)	ラバーコーン (反射シート)	標識車	工事標識 (速度規制、 追越禁止、 自発光デリ)	工事標識 (追越禁止 ここまで、 自発光デリ)	工事標識 (〇〇m先 車線減少、 自発光デリ)	工事標識 (〇〇m先 工事予告、 自発光デリ)

注記) 1. 工事箇所が500nを超える時は、を500m毎路肩側に設置する。  
2. 矢印板が設置可能な場合は、車線減少標識箇所に矢印板を設置する。  
3. テーバー部及び平行部共にラバーコーンは20m間隔で設置する。  
4. 交通監視員Aの配置は特記仕様書によるものとする。  
5. 夜間対応  
工事標識：自発光デリを設置する。  
テーバー部：矢印板は高輝度反射タイプを使用する。矢印板の間に自発光デリ付のラバーコーンを設置する。  
平行部：ラバーコーンは反射シート付を設置する。100m間隔で自発光デリをラバーコーンに設置する。

常磐自動車道 宮田川橋床版取替工事			
図面の種類	宮田川橋(下り線) 交通規制計画図(その1)		
縮 尺	—	図面番号	152 / 165
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

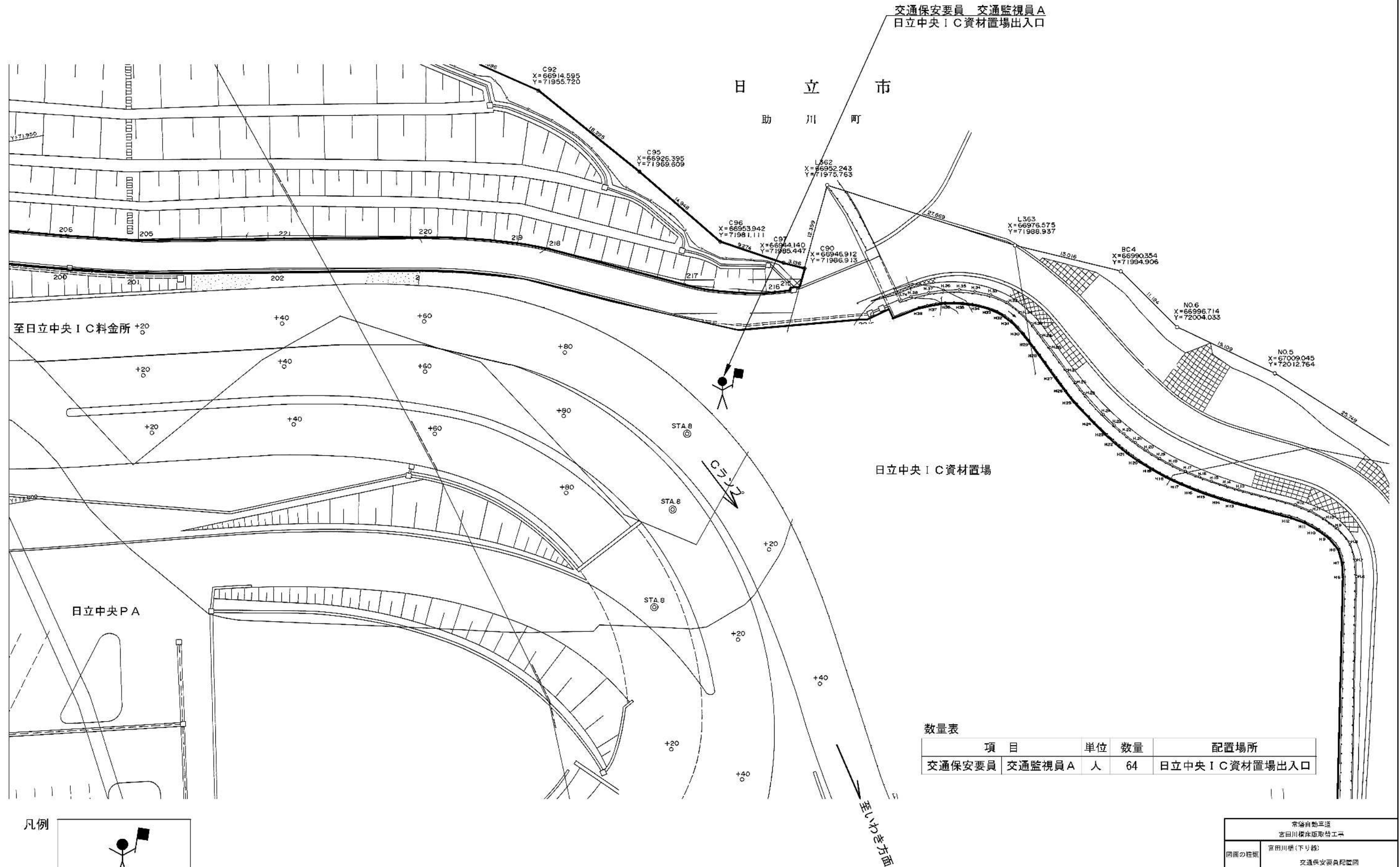
【追越車線規制】



凡例											
交通監視員A (施工箇所 (出入口))	交通監視員 (常時、規制費 に含む)	矢印板 (高輝度反射 タイプ)	回転警告灯	安全太郎	ラバーコーン (反射シート、 自発光デリ)	ラバーコーン (反射シート)	標識車	工事標識 (速度規制、 追越禁止、 自発光デリ)	工事標識 (追越禁止 ここまで、 自発光デリ)	工事標識 (〇〇m先 車線減少、 自発光デリ)	工事標識 (〇〇m先 工事予告、 自発光デリ)

注記) 1. 工事箇所が500nを超える時は、 を500m毎路肩側に設置する。  
2. 矢印板が設置可能な場合は、車線減少標識箇所に矢印板を設置する。  
3. テーバー部及び平行部共にラバーコーンは20m間隔で設置する。  
4. 交通監視員Aの配置は特記仕様書によるものとする。  
5. 夜間対応  
工事標識：自発光デリを設置する。  
テーバー部：矢印板は高輝度反射タイプを使用する。矢印板の間に自発光デリ付のラバーコーンを設置する。  
平行部：ラバーコーンは反射シート付を設置する。100m間隔で自発光デリをラバーコーンに設置する。





数量表

項目	単位	数量	配置場所
交通保安要員	交通監視員A	人 64	日立中央 I C 資材置場出入口

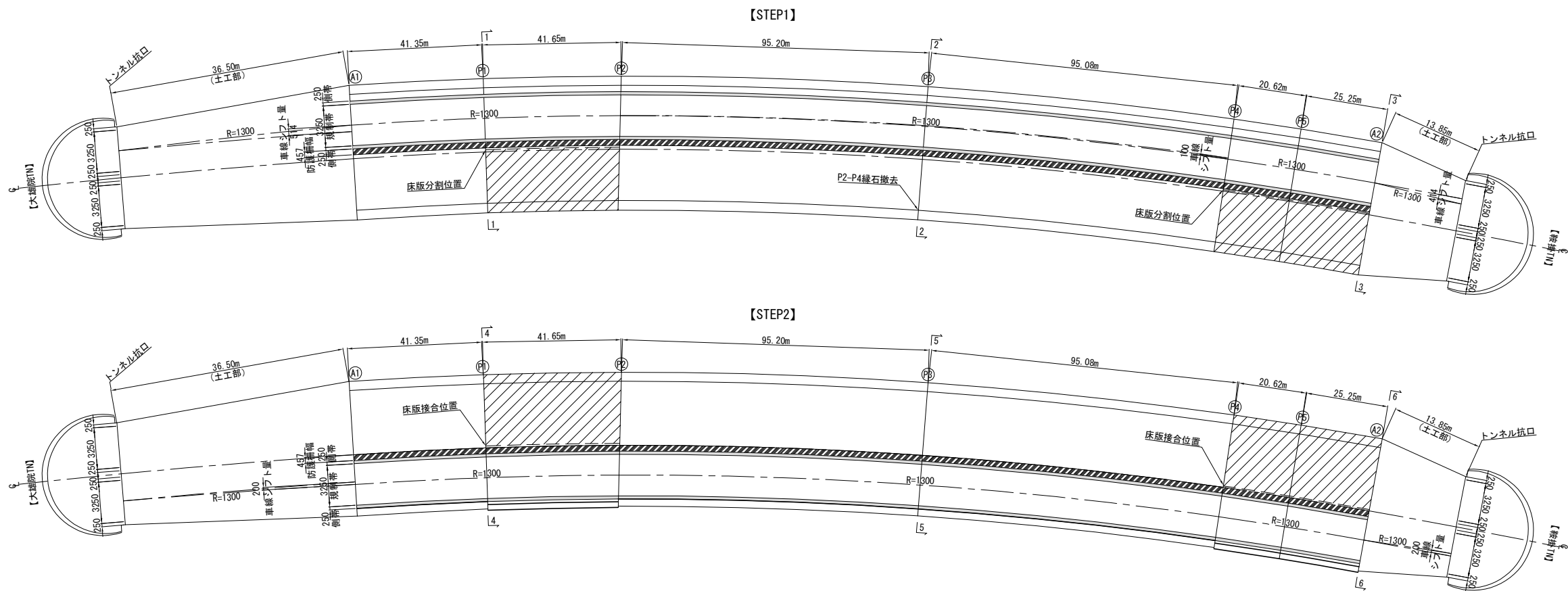
凡例



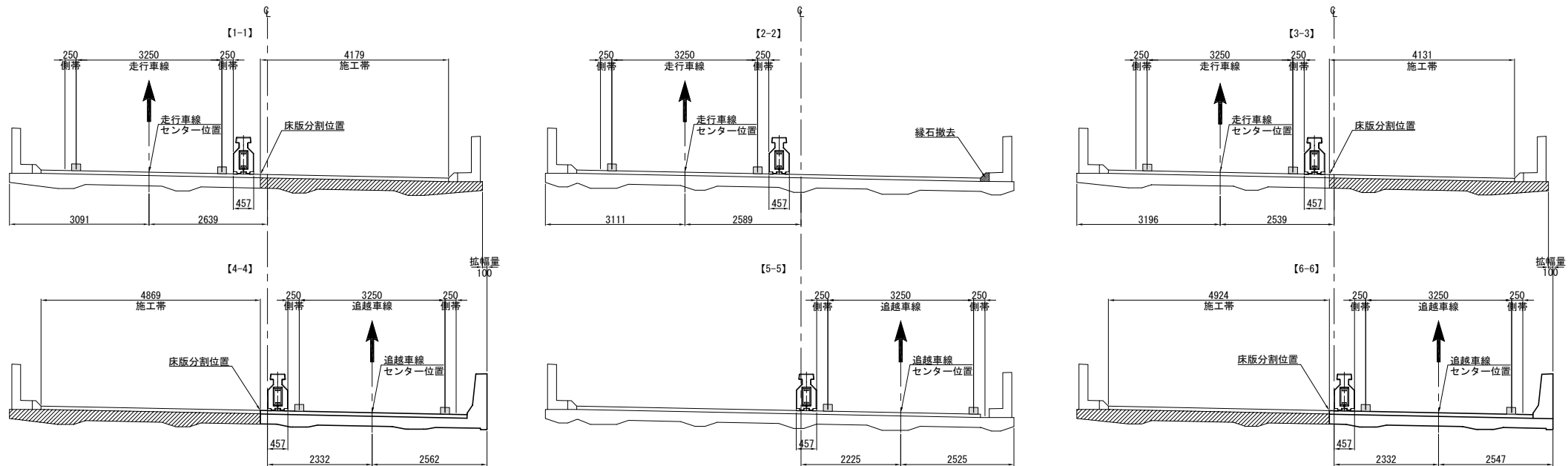
常盤自動車道 宮田川橋床版取替工事	宮田川橋(下り線)
図面の種類	交通保安要員配置図
縮尺	図示 図面番号 154 / 165
設計会社名	
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸営業事務所



側 面 図 S=1:400

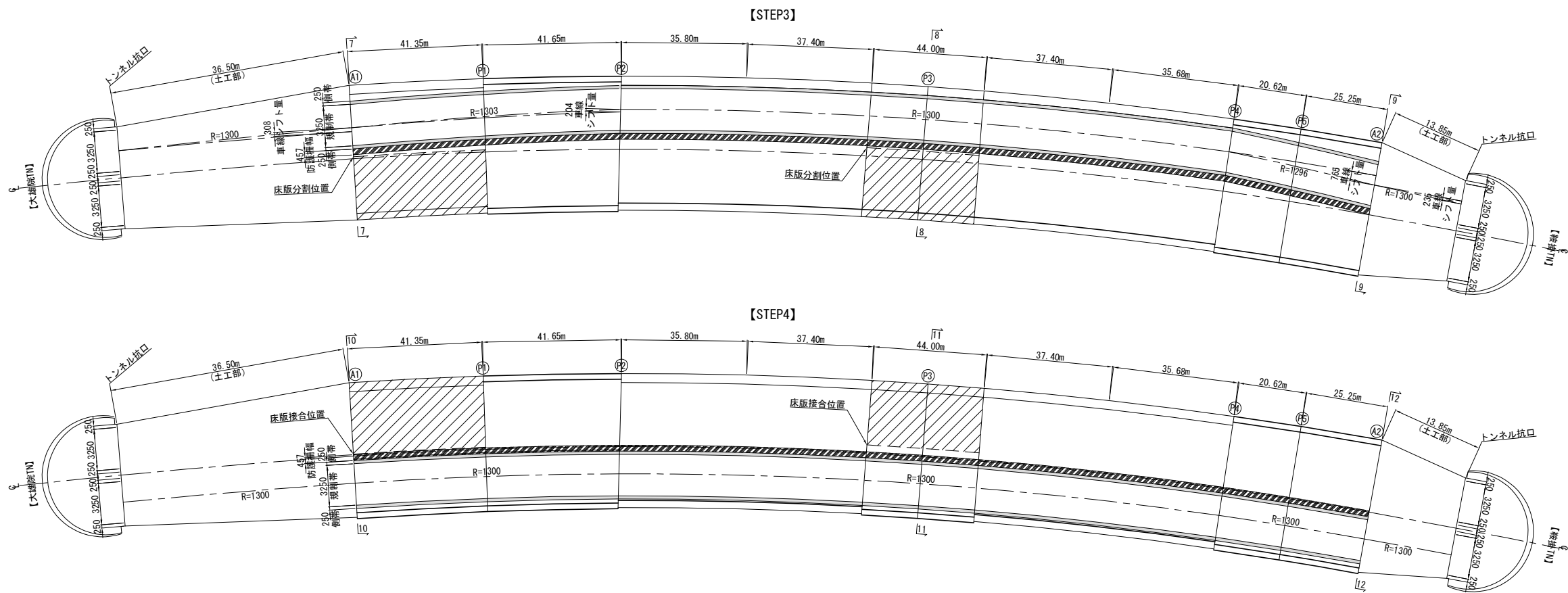


断 面 図 S=1:125

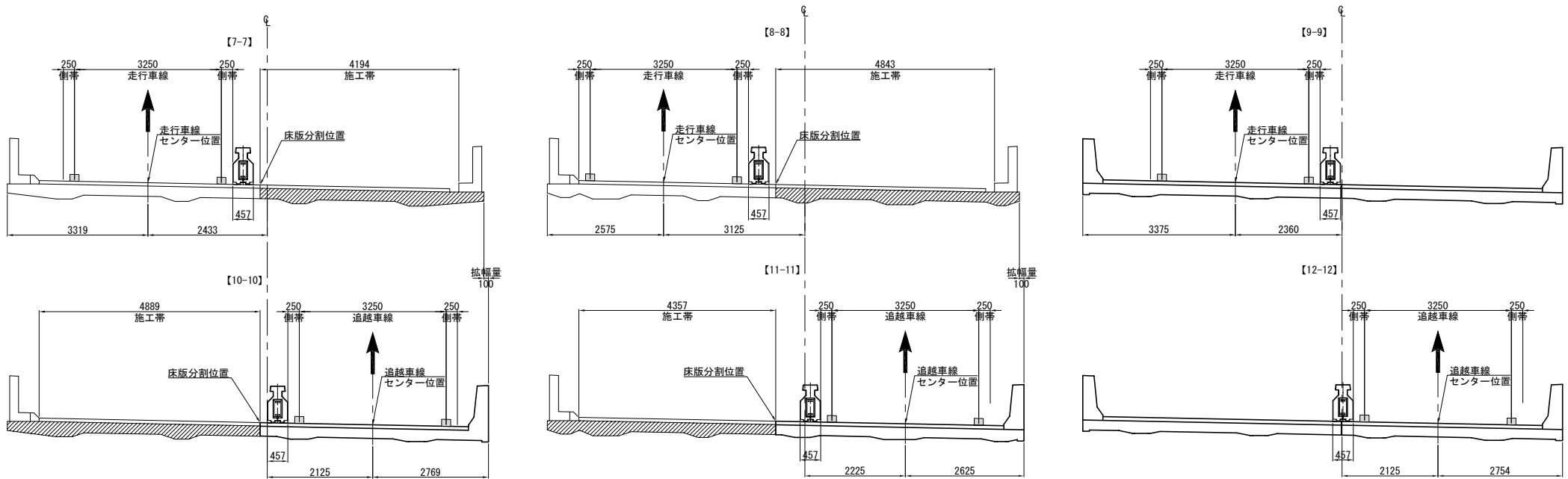


常磐自動車道			
宮田川橋床版取替工事			
図面の種類	宮田川橋(下り線) 車線シフト平面図(参考図)(その1)		
縮 尺	図 示	図面番号	155 / 165
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水 戸 管 理 事 務 所		

側 面 図 S=1:400

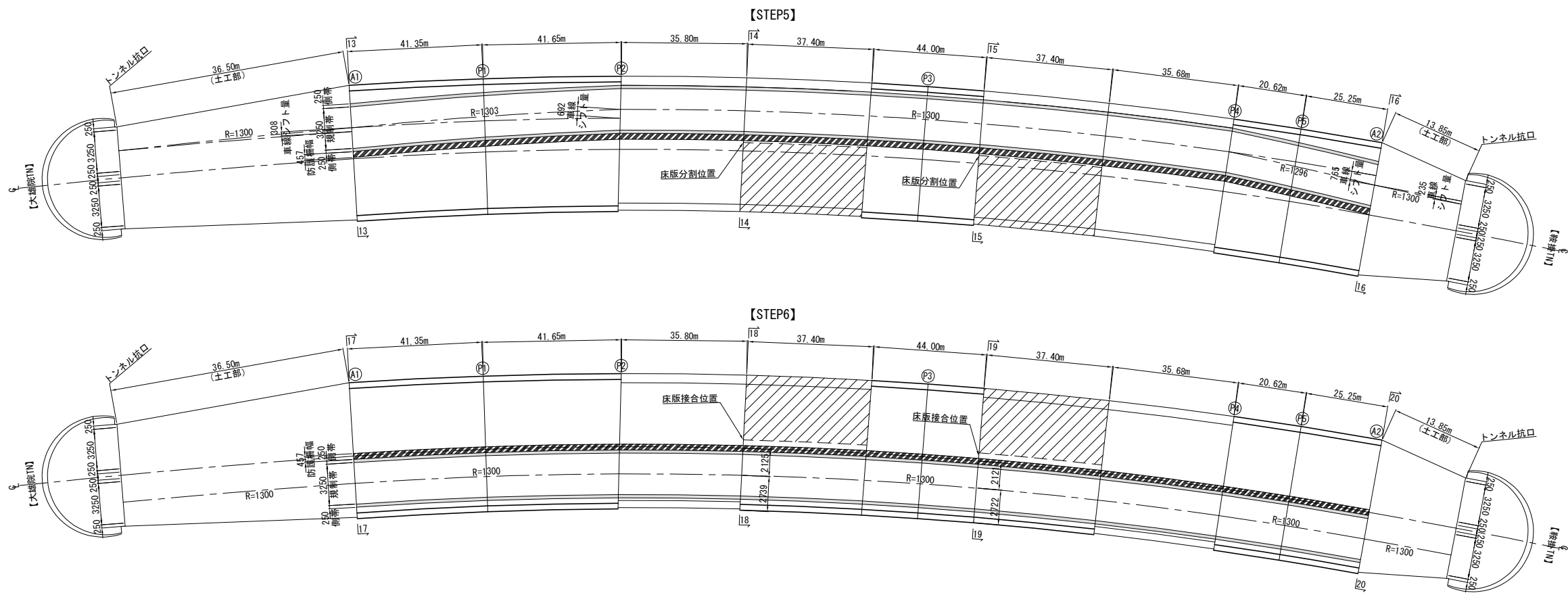


断 面 図 S=1:125

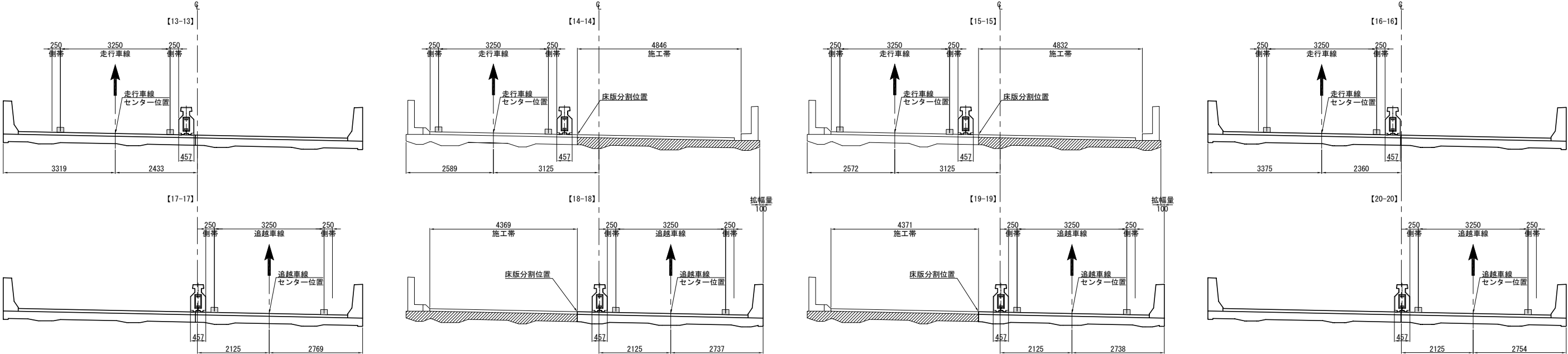


常磐自動車道			
宮田川橋床版取替工事			
図面の種類	宮田川橋(下り線) 車線シフト平面図(参考図)(その2)		
縮 尺	図 示	図面番号	156 / 165
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水 戸 管 理 事 務 所		

側面図 S=1:400

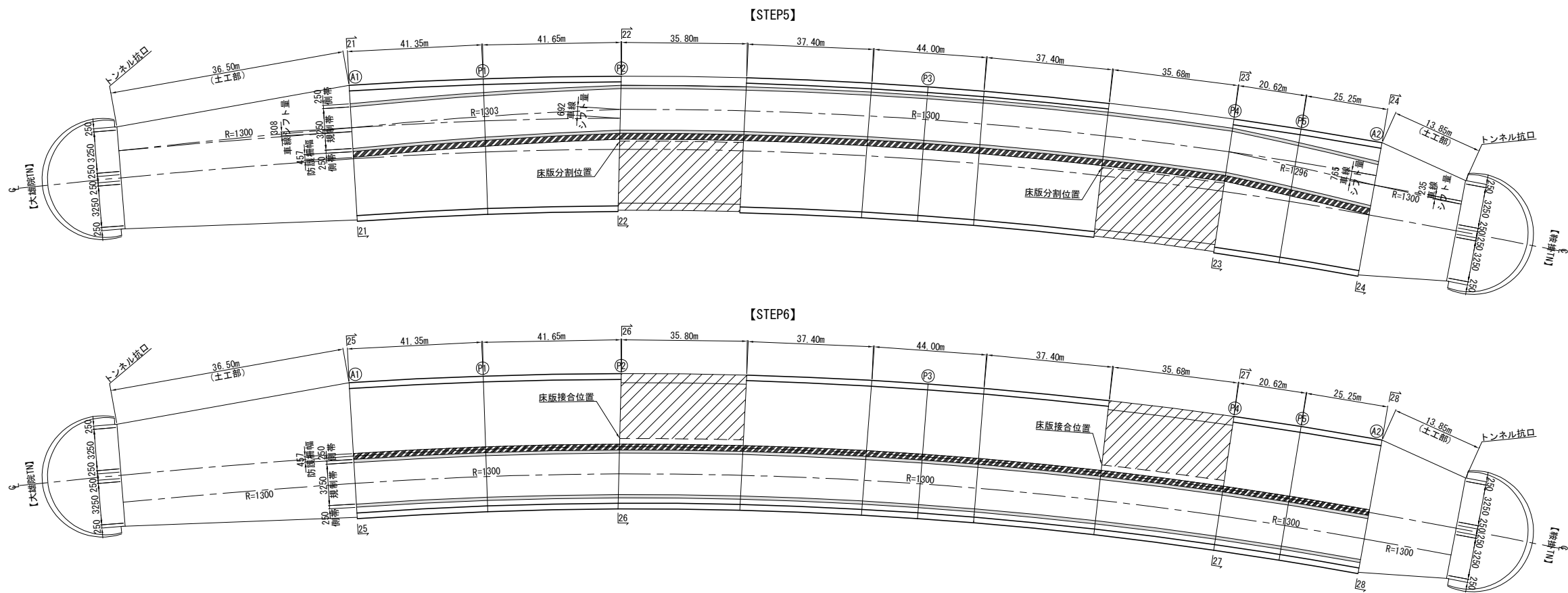


断面図 S=1:125

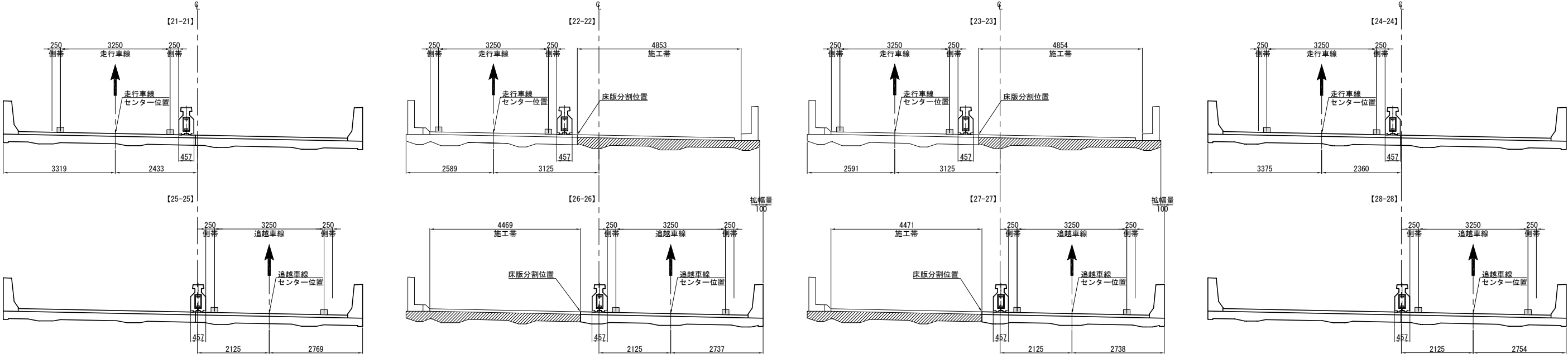


常磐自動車道			
宮田川橋床版取替工事			
図面の種類	宮田川橋(下り線) 車線シフト平面図(参考図)(その3)		
縮尺	図示	図面番号	157 / 165
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

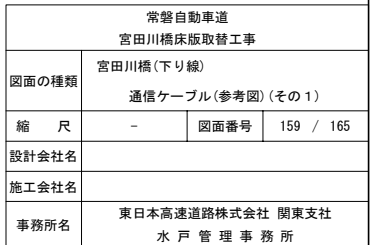
側面図 S=1:400



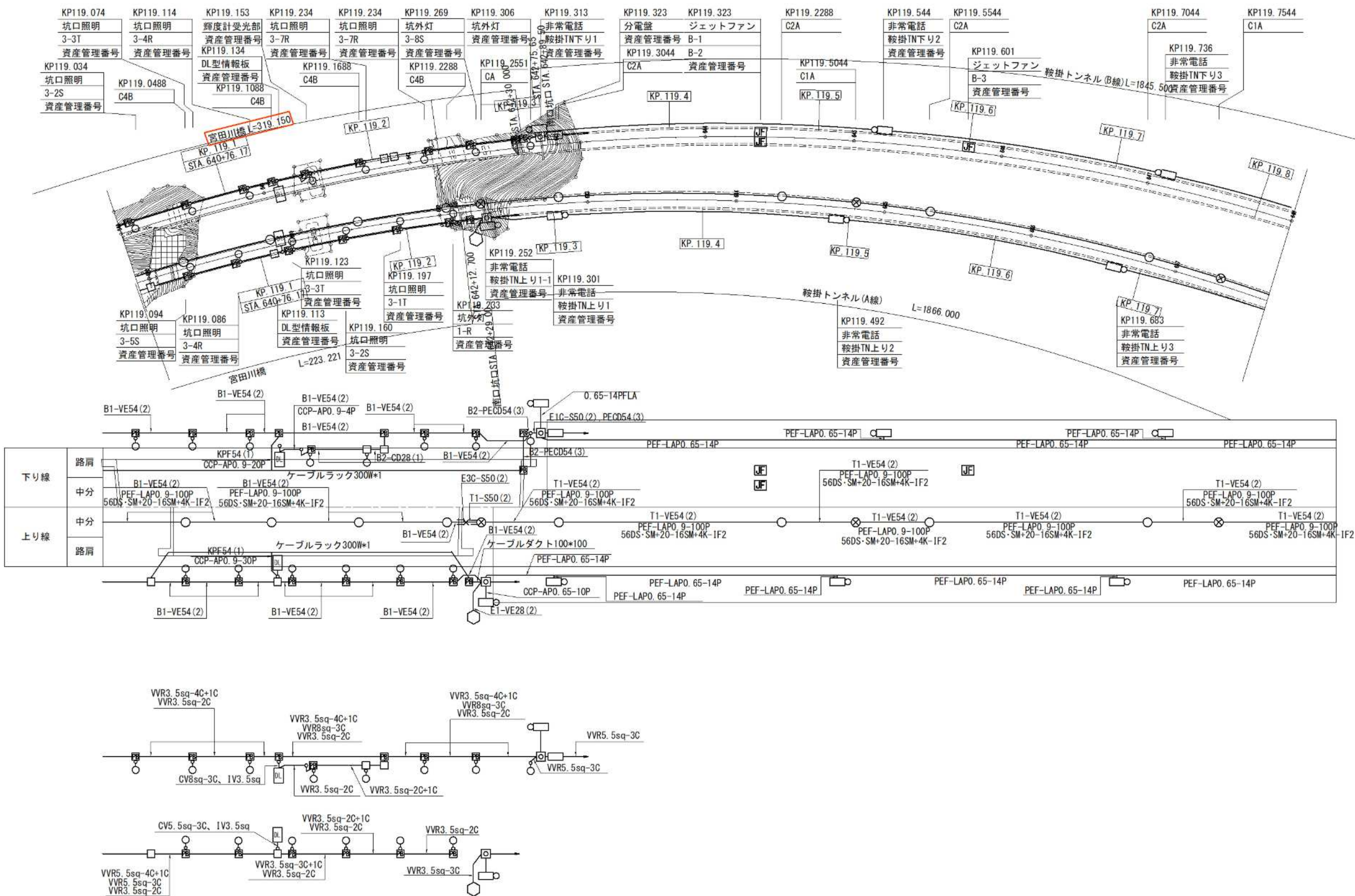
断面図 S=1:125



常磐自動車道			
宮田川橋床版取替工事			
図面の種類	宮田川橋(下り線) 車線シフト平面図(参考図)(その4)		
縮 尺	図 示	図面番号	158 / 165
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水 戸 管 理 事 務 所		

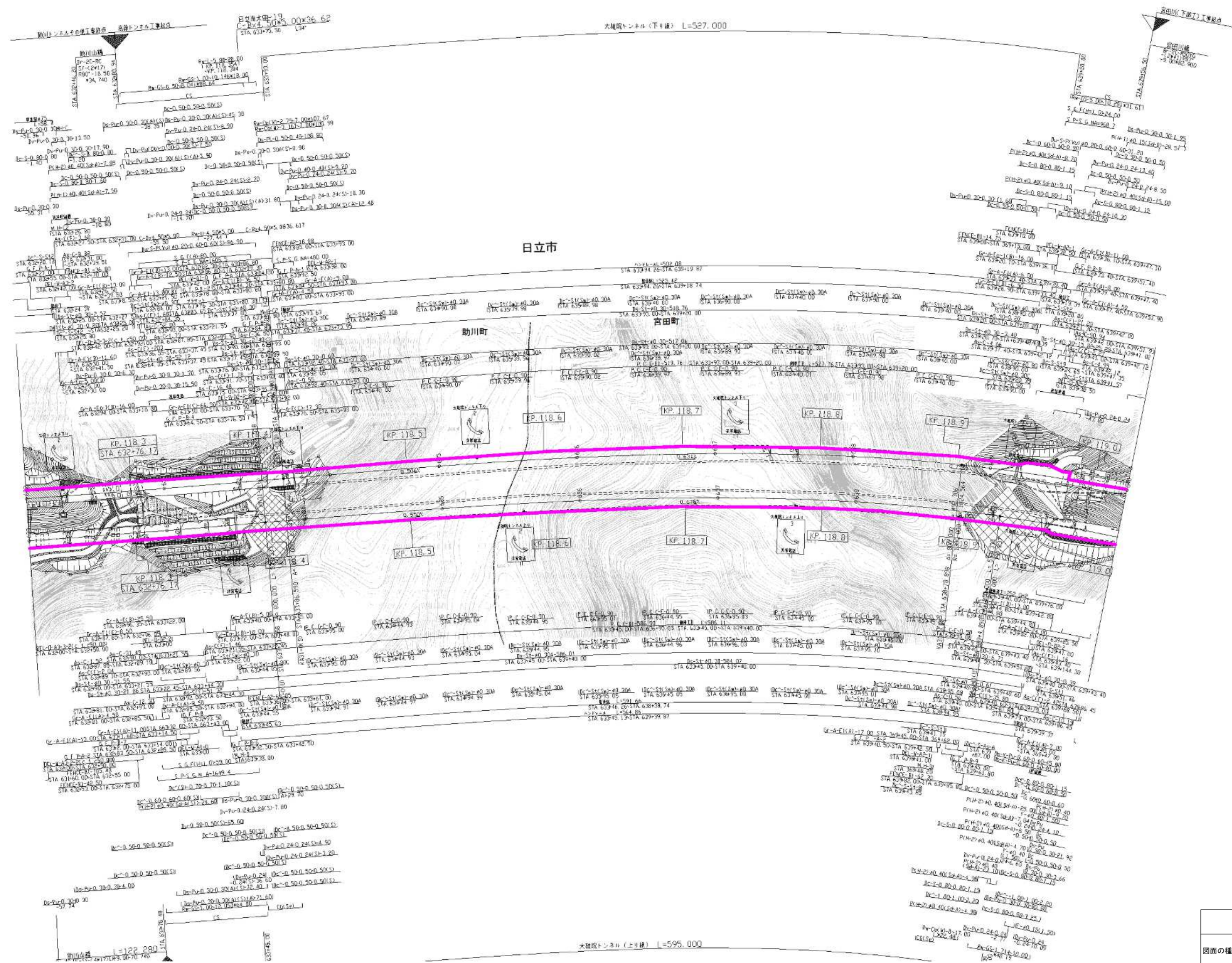






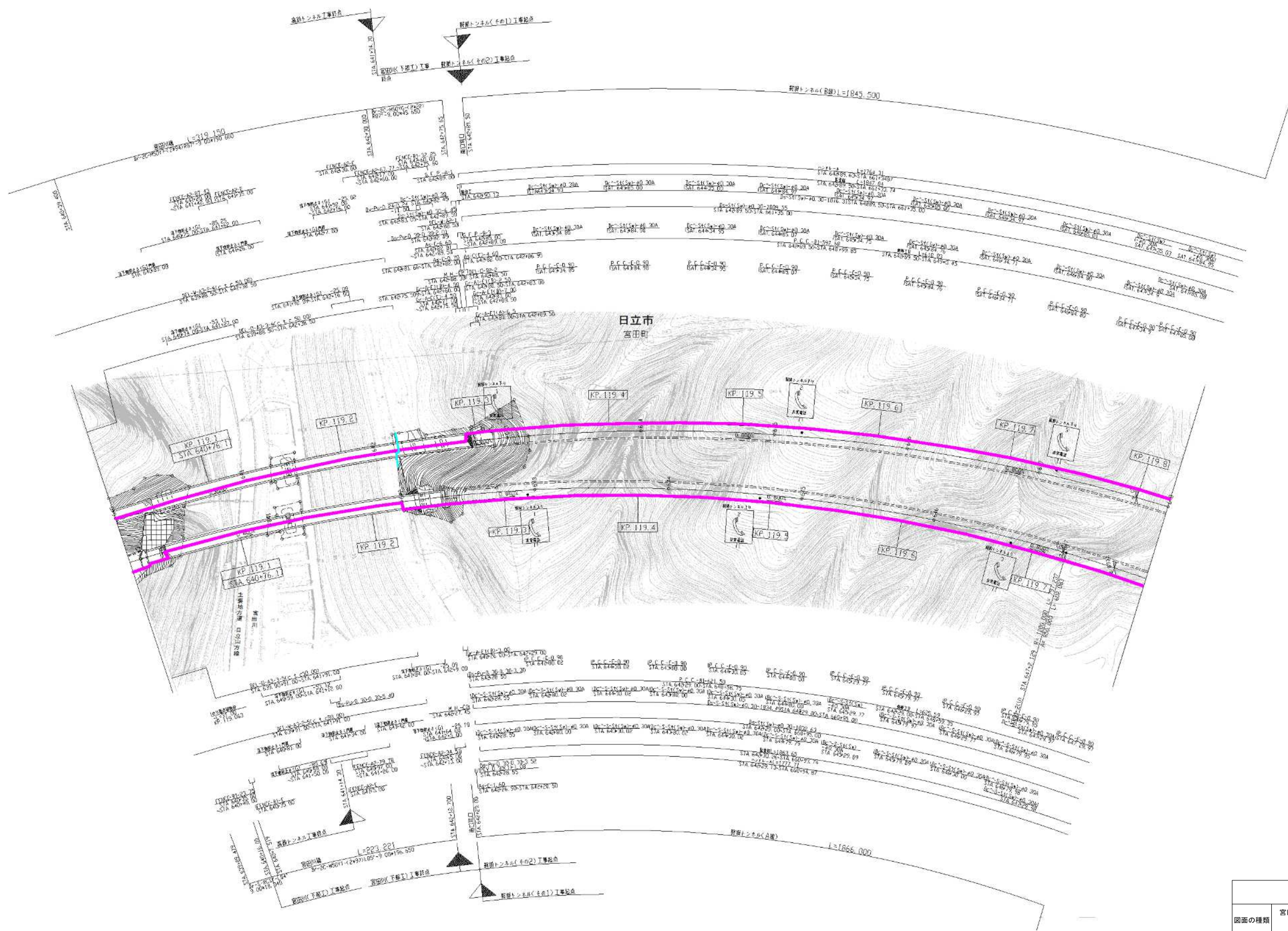
常磐自動車道	
宮田川橋床版取替工事	
図面の種類	宮田川橋(下り線) 通信ケーブル(参考図)(その2)
縮尺	- 図面番号 160 / 165
設計会社名	
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所





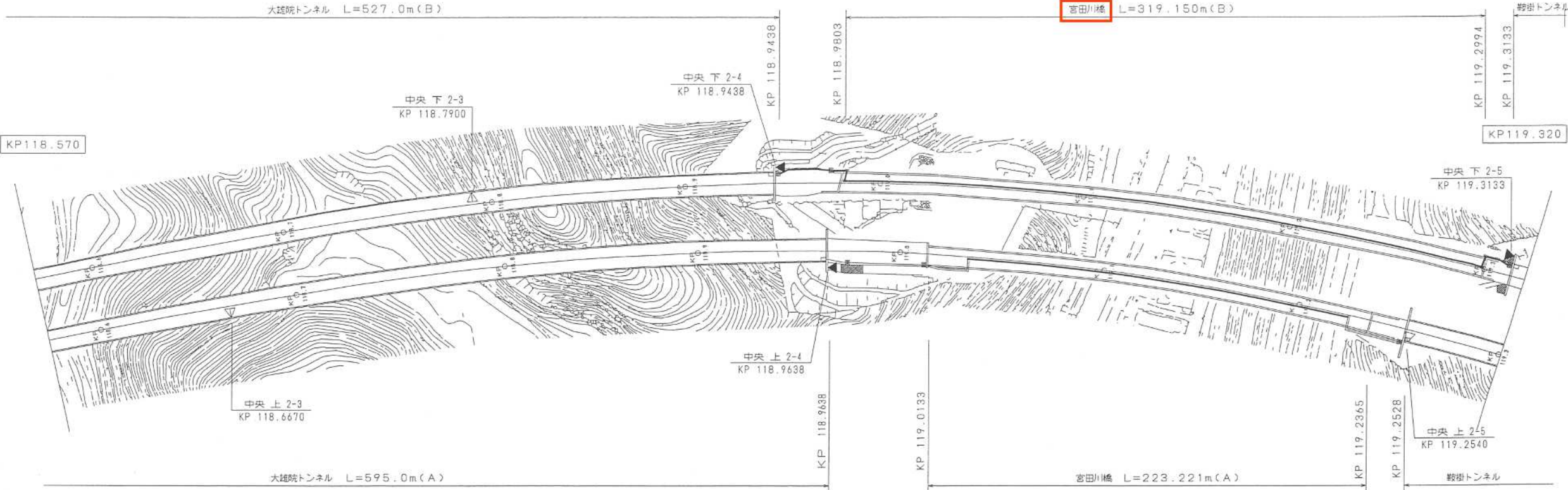
常磐自動車道	
宮田川橋床版取替工事	
図面の種類	宮田川橋(下り線) 通信ケーブル(参考図)(その3)
縮尺	- 図面番号 161 / 165
設計会社名	
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所





常磐自動車道	
宮田川橋床版取替工事	
図面の種類	宮田川橋(下り線) 通信ケーブル(参考図)(その4)
縮 尺	- 図面番号 162 / 165
設計会社名	
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水 戸 管 理 事 務 所





下 り 線	布 設 状 況	ケーブルラック		00管・ラック + レースウェイ ※1		ケーブルラック
	光ケーブル種別	4-40-4-4SM+OK-TNIF2		4-24-4-4SM+OK-TNIF1 ※1		
	ケーブル実長(m)	371.0	157.0	411.0 ※1		149.0
	電源ケーブル種別	VVR-FR 14 mm <sup>2</sup> -4C	VVR-FR 14 mm <sup>2</sup> -2C			
	ケーブル実長(m)	369.0	92-JB2 155.0 92-JA1			92-JA1 147.0
設 置 機 器 類	E/C × 1 4SM-MT-TN1-SC-SPC<1.0>		E/C × 1 4SM-MT-TN1-SC-SPC<1.0>		E/C × 1 4SM-MT-TN1-SC-SPC<1.0>	
	□ × 1 VVR-FR 5.5 mm <sup>2</sup> -2C, IV5.5*		□ × 1 VVR-FR 5.5 mm <sup>2</sup> -2C, IV5.5*		□ × 1 VVR-FR 5.5 mm <sup>2</sup> -2C, IV5.5*	
	△ × 1 TN-8D×2		△ × 1 TN-10D×2		△ × 1 TN-10D×2	
上 り 線	布 設 状 況	ケーブルラック		00管・ラック・ダクト + レースウェイ ※1		ケーブルラック
	光ケーブル種別	4-40-4-4SM+OK-TNIF2		4-24-4-4SM+OK-TNIF1		
	ケーブル実長(m)	295.0	292.0	330.0		369.0
	電源ケーブル種別	VVR-FR 14 mm <sup>2</sup> -4C	VVR-FR 14 mm <sup>2</sup> -2C			VVR-FR 14 mm <sup>2</sup> -2C
	ケーブル実長(m)	293.0	92-JB2 290.0 92-JA1			92-JA1 367.0
設 置 機 器 類	E/C × 1 4SM-MT-TN1-SC-SPC<1.0>		E/C × 1 4SM-MT-TN1-SC-SPC<1.0>		E/C × 1 4SM-MT-TN1-SC-SPC<1.0>	
	□ × 1 VVR-FR 5.5 mm <sup>2</sup> -2C, IV5.5*		□ × 1 VVR-FR 5.5 mm <sup>2</sup> -2C, IV5.5*		□ × 1 VVR-FR 5.5 mm <sup>2</sup> -2C, IV5.5*	
	△ × 1 TN-8D×2		△ × 1 TN-10D×2		△ × 1 TN-8D×2	

常磐自動車道			
宮田川橋床版取替工事			
図面の種類	宮田川橋(下り線) 通信ケーブル(参考図)(その5)		
縮 尺	-	図面番号	163 / 165
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水 戸 管 理 事 務 所		



常磐自動車道			
宮田川橋床版取替工事			
図面の種類	宮田川橋(下り線)		
	通信ケーブル(参考圖) (その6)		
縮 尺	1:4000	図面番号	164 / 165
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸 管 理 事 務 所		

記号	配管種別	回路名	配線仕様	負荷名称	備 考
◁1▷		直埋	内2 SC-VVR22sq-3C	内照2	
		直埋	A SC-VVR8sq-3C	A型情報板	
◁2▷		直埋	① SC-VVR3. 5sq-4C+1C, A3. 5sq		
		直埋	② SC-VVR3. 5sq-4C+1C		
		直埋	③ SC-VVR8sq-4C+1C		
◁3▷		直埋	内1 SC-VVR5. 5sq-2C	内照1	
		直埋	内2 SC-VVR22sq-3C	内照2	
		直埋	A SC-VVR8sq-3C	A型情報板	
◁4▷		直埋	② SC-VVR3. 5sq-2C+1		
		直埋	内1 SC-VVR5. 5sq-2C	内照1	
		直埋	内2 SC-VVR22sq-3C	内照2	
		直埋	A SC-VVR8sq-3C	A型情報板	
◁5▷	E1C-FP50 (1)	FP50	① VVR3. 5sq-4C+1C		
			② VVR3. 5sq-4C+1C		
			③ VVR8sq-4C+1C		
◁6▷		直埋	② SC-VVR3. 5sq-3C+1		
		直埋	内1 SC-VVR5. 5sq-2C	内照1	
		直埋	内2 SC-VVR22sq-3C	内照2	
		直埋	A SC-VVR8sq-3C	A型情報板	
◁7▷		直埋	② SC-VVR3. 5sq-4C+1		
		直埋	内1 SC-VVR5. 5sq-2C	内照1	
		直埋	内2 SC-VVR22sq-3C	内照2	
		直埋	A SC-VVR8sq-3C	A型情報板	
◁8▷		直埋	② SC-VVR3. 5sq-2C+1C, A3. 5sq		
◁9▷		直埋	① SC-VVR3. 5sq-4C+1C		
		直埋	② SC-VVR3. 5sq-4C+1C		
		直埋	③ SC-VVR8sq-4C+1C		
◁10▷		直埋	③ SC-VVR3. 5sq-2C+1		
◁1▷		直埋	③ SC-VVR3. 5sq-3C+1		
◁2▷	B2-CD54 (1)	CD54	① SC-VVR3. 5sq-4C+1C		
	ホックスカルパート		② SC-VVR3. 5sq-4C+1C		
			③ SC-VVR8sq-4C+1C		
◁3▷	E1-FP30 (1)	FP30	③ VVR3. 5sq-4C+1, IV3. 5sq		
◁4▷		直埋	② SC-VVR3. 5sq-2C+1		
		直埋	③ SC-VVR3. 5sq-4C+1		
◁5▷		直埋	③ SC-VVR3. 5sq-2C+1		
◁6▷	E2S-PS50 (2)	PS50	② VVR3. 5sq-2C+1C, IV3. 5sq		
			③ VVR3. 5sq-4C+1C		
		PS50	予 ----- C -----		
◁7▷		直埋	② SC-VVR3. 5sq-4C+1C		
		〃	③ SC-VVR3. 5sq-4C+1C		
		〃	B SC-VVR3. 5sq-2C		
◁8▷		直埋	③ SC-VVR3. 5sq-2C+1		
◁9▷		直埋	② SC-VVR3. 5sq-2C+1, A3. 5sq		
		〃	③ SC-VVR3. 5sq-2C+1		
◁10▷		直埋	③ SC-VVR3. 5sq-2C+1, A3. 5sq		
◁11▷		直埋	③ SC-VVR3. 5sq-3C+1, A3. 5sq		
		〃	④ SC-VVR8sq-4C		
		〃	C SC-VVR3. 5sq-3C		
		〃	B SC-VVR3. 5sq-3C		
	E1-FP100 (2) 50 (4)	FP50	建		
		FP100	建		
		FP50	可		
		FP50	NTT		
◁12▷		直埋	③ SC-VVR3. 5sq-2C+1, A3. 5sq		
		直埋	③ SC-VVR3. 5sq-3C+1, A3. 5sq		

記号	配管種別	回路名	配線仕様	負荷名称	備 考
◁22▷		直埋	③ SC-VVR3. 5sq-3C+1, A3. 5sq		
		〃	④ SC-VVR8sq-4C		
		〃	C SC-VVR3. 5sq-3C		
		〃	B SC-VVR3. 5sq-3C		
◁23▷		直埋	③ SC-VVR3. 5sq-2C+1, A3. 5sq		
		〃	④ SC-VVR8sq-4C		
		〃	C SC-VVR3. 5sq-3C		
		〃	② SC-VVR3. 5sq-2C+1		
	E1-FP100 (2) 50 (6)	FP50	建		
		FP100	建		
		FP50	可		
		〃	NTT		
◁21▷		直埋	② SC-VVR3. 5sq-2C+1		
		〃	④ SC-VVR8sq-4C		
		〃	C SC-VVR3. 5sq-3C		
		〃	B SC-VVR3. 5sq-3C		
	E1-FP100 (2) 50 (4)	FP50	建		
		FP100	建		
		FP50	可		
		FP50	NTT		
◁26▷		直埋	③ SC-VVR3. 5sq-2C+1, A3. 5sq		
		直埋	③ SC-VVR3. 5sq-2C+1, A3. 5sq		
		直埋	② SC-VVR3. 5sq-2C+1, A3. 5sq		
		直埋	② SC-VVR3. 5sq-3C+1, A3. 5sq		
		直埋	② SC-VVR3. 5sq-2C+1, A3. 5sq		
		直埋	③ SC-VVR3. 5sq-2C+1, A3. 5sq		
		直埋	② SC-VVR3. 5sq-2C+1, A3. 5sq		
		直埋	③ SC-VVR3. 5sq-2C+1, A3. 5sq		
◁34▷	E2S-PS50 (4)	PS50	② VVR3. 5sq-4C+1, IV3. 5sq		
			A VVR8sq-3C		
			内1 VVR5. 5sq-2C		
		PS50	B VVR3. 5sq-2C		
			内2 VVR22sq-3C		
		PS50	予		
		PS50	予		
◁35▷		直埋	② SC-VVR3. 5sq-4C+1		
		〃	B SC-VVR3. 5sq-2C		
		〃	内1 SC-VVR5. 5sq-2C		
		〃	内2 SC-VVR22sq-3C		
		〃	A SC-VVR8sq-3C		
		直埋	② SC-VVR3. 5sq-3C+1, A3. 5sq		
		直埋	② SC-VVR3. 5sq-2C+1, A3. 5sq		
		直埋	① SC-VVR3. 5sq-4C+1C, A3. 5sq		
◁39▷		FP30	内1 VVR3. 5sq-2C, IV3. 5sq		
◁40▷		直埋	① SC-VVR3. 5sq-4C+4C, A3. 5sq		
◁41▷		FP30	① VVR3. 5sq-2C+1, IV3. 5sq		
			内1 VVR3. 5sq-2C		
◁42▷		FP30	① VVR3. 5sq-3C+1, IV3. 5sq		
		直埋	内1 SC-VVR3. 5sq-2C, A3. 5sq		

記号	配管種別	回路名	配線仕様	負荷名称	備 考
◁43▷		直埋	① SC-VVR3. 5sq-4C+1		
		〃	内1 SC-VVR3. 5sq-2C		
◁44▷	B2-CD54 (1)	CD54	① SC-VVR3. 5sq-4C+4C, A3. 5sq		
◁45▷	B2-CD28 (1)	CD28	① VVR3. 5sq-4C+1C		
◁46▷		直埋	① SC-VVR3. 5sq-4C+1		
		〃	B SC-VVR3. 5sq-3C		
		〃	内1 SC-VVR3. 5sq-3C		
◁47▷		直埋	③ SC-VVR3. 5sq-2C+1, A3. 5sq		
◁48▷	E2S-PS50 (3)	PS50	③ VVR3. 5sq-2C+1, IV3. 5sq		
			B VVR3. 5sq-2C+1		
		PS50	予 ----- C -----		
		PS50	① VVR3. 5sq-2C+1		
			内1 VVR3. 5sq-2C+1		
◁49▷		直埋	③ SC-VVR3. 5sq-2C+1		
◁50▷		直埋	③ SC-VVR3. 5sq-3C+1		
◁51▷		直埋	③ SC-VVR3. 5sq-4C+1, A3. 5sq		
◁52▷	B2-CD28 (1)	CD28	③ VVR3. 5sq-4C+1, IV3. 5sq		
◁53▷		直埋	③ SC-VVR3. 5sq-4C+1, A3. 5sq		
◁54▷			③ VVR3. 5sq-4C+1, IV3. 5sq		
◁55▷		直埋	③ SC-VVR3. 5sq-4C+1, A3. 5sq		
◁56▷		直埋	③ SC-VVR3. 5sq-3C+1, A3. 5sq		
◁57▷		直埋	③ SC-VVR3. 5sq-2C+1, A3. 5sq		
◁58▷		直埋	内1 SC-VVR3. 5sq-3C+1		
◁59▷		直埋	② SC-VVR3. 5sq-2C+1, A3. 5sq		
		〃	③ SC-VVR3. 5sq-2C+1		
		〃	内1 SC-VVR3. 5sq-3C+1		
◁60▷		直埋	② SC-VVR3. 5sq-2C+1, A3. 5sq		
		〃	③ SC-VVR3. 5sq-3C+1, A3. 5sq		
		〃	内1 SC-VVR3. 5sq-3C+1		
◁61▷	B2-CD28 (2)	CD28	③ VVR3. 5sq-4C+1, IV3. 5sq		
		〃	内1 VVR3. 5sq-3C+1		
	E1-CD28 (1)	CD28	② VVR3. 5sq-2C+1, IV3. 5sq		
◁62▷	E1-FP30 (2)	FP30	③ VVR3. 5sq-4C+1, IV3. 5sq		
		〃	内1 VVR3. 5sq-3C+1		
	E1-FP30 (1)	FP30	② VVR3. 5sq-2C+1, IV3. 5sq		
◁63▷	E1-FP50 (2)	FP50	③ VVR3. 5sq-4C+1, IV3. 5sq		
◁64▷		直埋	③ SC-VVR3. 5sq-4C+1, A3. 5sq		
◁65▷			③ VVR3. 5sq-4C+1, IV3. 5sq		
◁66▷		直埋	③ SC-VVR3. 5sq-4C+1, A3. 5sq		
◁67▷	B2-CD28 (1)	CD28	③ VVR3. 5sq-4C+1, IV3. 5sq		
◁68▷		直埋	③ SC-VVR3. 5sq-4C+1, A3. 5sq		
◁69▷		直埋	③ SC-VVR3. 5sq-3C+1, A3. 5sq		
◁70▷		直埋	③ SC-VVR3. 5sq-2C+1, A3. 5sq		
◁71▷		直埋	① SC-VVR3. 5sq-2C+1, A3. 5sq		
◁72▷		直埋	① SC-VVR3. 5sq-4C+1, A3. 5sq		
◁73▷		PE54	① VVR3. 5sq-4C+1		
◁74▷		直埋	① SC-VVR3. 5sq-4C+1, A3. 5sq		
◁75▷		直埋	① SC-VVR3. 5sq-3C+1, A3. 5sq		
◁76▷		直埋	① SC-VVR3. 5sq-2C+1, A3. 5sq		

常磐自動車道 宮田川橋床版取替工事			
図面の種類	宮田川橋(下り線) 通信ケーブル(参考図)(その7)		
縮 尺	—	図面番号	165 / 165
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水 戸 管 理 事 務 所		